NTT DoCoMo

取扱説明書

FOMA® F881iES '06.2

i mode

FOMA らくらくホン

ドコモ　W-CDMA方式

このたびは、「FOMA F881iES」をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、裏面のお問い合わせ先までご連絡ください。
FOMA F881iESは、あなたの有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMAは無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中など電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い所や静かな所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.
- FOMA F881iESは、バイリンガル機能には対応しておりません。

取扱説明書の構成

FOMA F881iESの取扱説明書は『取扱説明書』『かんたん操作ガイド』の2冊で構成されています。目的に合わせてお読みください。
なお、取扱説明書はなくさないよう大切に保管してください。

FOMA F881iES取扱説明書（本書）

- F881iESのすべての機能を詳しく説明しています。
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスなど、当社が提供するネットワークサービスについて説明しています。
- 「故障かな？」と思ったときの対処方法やアフターサービスなどについて説明しています。
- 巻末にクイックマニュアルが付いています。→P614

FOMA F881iES取扱説明書　かんたん操作ガイド

- F881iESの代表的な機能を、簡単な表現でわかりやすく説明しています。

この『FOMA F881iES取扱説明書』の本文中においては、「FOMA F881iES」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

※「安全上のご注意」は、P16に記載しています。ご使用の前に必ずお読みください。

本書の見かた

ここでは、本書の構成や説明方法について紹介します。

● 本書では、（マルチカーソルボタン）を押して機能や項目を選ぶ操作を「選択」と表記しています。
● 操作方法が複数ある場合は、最も簡単な操作方法で説明しています。
● 文字の入力方法は主にインライン入力（入力欄に文字を直接入力する方法）で説明しています。→P529

本書の引きかたについて

知りたい機能をすぐに探すことができるように、本書は次の検索方法を用意しています。

かんたん検索から ▶ **P4**

よく使う機能や知っていると便利な機能を、わかりやすい言葉で探します。

メニュー一覧から ▶ **P550**

画面に表示されるメニューから探します。

表紙インデックスから ▶ **表紙**

表紙右端のインデックスを使って、本書をめくりながら探します。

P2～3で例をあげて説明しています。

目次から ▶ **P6**

目的別に章で分類された目次から探します。
機能名やサービス名などがわからないとき、掲載ページを探すのに便利です。

特徴から ▶ **P14**

F881iESの特徴的な機能や便利な機能から探します。
F881iESならではの機能を使用したいとき、役立ちます。

索引から ▶ **P600**

機能名や知りたい項目のキーワード、サービス名で探します。
機能名やサービス名がわかっているとき、掲載ページを探すのに便利です。

クイックマニュアルを利用する ▶ **P614**

本書から切り取って外出時などに利用できる簡易なマニュアルです。

本書で掲載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

かんたん検索から探すとき

よく使う機能や知っていると便利な機能が、わかりやすい言葉で目的別に分類されています。

音・振動を変える

メニュー一覧から探すとき

FOMA 端末の画面に表示されるメニューから探すことができます。

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 電話してきた相手を見る（）	―	P84
2 電話・電話帳を使う		
1 電話帳の内容を見る	―	P134
2 電話帳に登録する	―	P120
3 電話を受けた時の音を選ぶ		
1 音声電話の着信音を選ぶ	着信音設定：鳴らす 着信音　　：着信音 1	P160
2 テレビ電話の着信音を選ぶ	着信音設定：鳴らす 着信音　　：ハープ	P160
4 電話を受けた時の振動を選ぶ		
1 音声電話の振動を選ぶ	振動させない	P163
2 テレビ電話の振動を選ぶ	振動させない	P163
5 電話を受けた時の音量を調節する	音量 4	P88
…を調節する	音量 4	P86

13:23
1電話帳の内容を見る
2電話帳に登録する
3電話を受けた時の音を選ぶ
4電話を受けた時の振動を選ぶ
決定

表紙インデックスから探すとき

インデックスを頼りに、表紙→章扉→機能の説明ページという順で探すことができます。

目次／注意事項
ご使用前の確認
電話のかけかた／受けかた
テレビ電話のかけかた／受けかた
電話帳
音／画面／照明設定
あんしん設定
音声呼出し／読み上げ機能
カメラ

音／画面／照明設定

音の設定

着信を振動でお知らせします<バイブレータ>

お買い上げ時　音声電話：振動させない　テレビ電話：振動させない

音声電話やテレビ電話着信時に振動（バイブレータ）でお知らせします。

- 本機能を使用して机の上などに置いたままにすると、振動で落下するおそれがあります。
- 通話中に着信があった場合は振動しません。

1 待受画面で(メニュー)▶「2 電話・電話帳を使う」▶「4 電話を受けた時の振動を選ぶ」を押す

1 音声電話の振動を選ぶ
2 テレビ電話の振動を選ぶ
決定

「1 音声電話の振動を選ぶ」：音声電話着信時のバイブレータを設定します。

「2 テレビ電話の振動を選ぶ」：テレビ電話着信時のバイブレータを設定します。

音／画面／照明設定　バイブレータ

1 待受画面で電話帳番号（0～9）を入力▶(通話)を押す

(通話)ボタンで音声電話
(テレビ電話)ボタンでテレビ電話
2 ─ 電話帳番号
メニュー

発信しています
井上太郎
090XXXXXXXX
電話帳の名前と1件目の電話番号が点滅します。

- 電話帳番号を入力して(テレビ電話)を押すと、テレビ電話をかけることができます。

お知らせ

- 入力した電話帳番号の電話帳データに電話番号を登録していない場合や、FOMA端末電話帳に電話帳データを登録していない場合は、(通話)または(テレビ電話)を押すと該当するデータがない旨のメッセージが表示されます。決定を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く ➜

000

※ページはイメージです。本文中のページとは異なります。

タイトル<機能名>
索引にはこの機能名を記載しています。

お買い上げ時の設定

機能の概要説明と補足
補足には、操作するときに気をつけることを記載しています。

インデックス
章のタイトルと、各ページの項目や機能名を表示しています。章ごとに位置が変わります。

画面表示
基本的に操作後の画面を記載しています。

操作に関する補足説明
各操作の補足的な説明を記載しています。

お知らせ
知っていると便利な情報を記載しています。

次ページへ続く
操作手順やお知らせが次のページへ続く場合に記載しています。

基本的な操作手順

操作の方法をショートカット操作（→P42）で説明しています。また、操作手順の一部を簡略化して表記しています。

1 待受画面で(メニュー)▶「2 電話・電話帳を使う」▶「4 電話を受けた時の振動を選ぶ」を押す

待受画面で(メニュー)（メニューボタン）を押してメニュー画面を表示させます。

(2)（2に対応するダイヤルボタン）を押します。

(4)（4に対応するダイヤルボタン）を押します。

かんたん 検索

よく使う機能や知っていると便利な機能を、わかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能

電話に出られないとき

音・振動を変える

画面表示を変える

メールを使う

カメラを使う

安心して使うために

その他の機能

目次

ご使用前の確認

電話のかけかた／受けかた

電話のかけかた

電話の受けかた

電話に出られないとき／出られなかったとき

テレビ電話のかけかた／受けかた

電話帳

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

あんしん設定

暗証番号について

携帯電話の操作や機能を制限します

発着信や送受信を制限します

その他の「あんしん設定」について

音声呼出し／読み上げ機能

カメラ

ｉモード

サイトを表示する

サイトから画像やメロディなどをダウンロードする

ｉモードの便利な機能

ｉモードの設定を行う

メッセージサービスを利用する

証明書を利用する

メール

ｉモードメールを作成します

ｉモードメールを受けます・操作します

メールの設定を行います

SMS（ショートメッセージ）を使います

メールを管理します

メールの便利な機能

iモーション

データ表示／編集／管理

画像を使いこなします

動画を使いこなします

メロディを使いこなします

その他の便利な機能

ネットワークサービス

データ通信

文字入力

付録

困ったときには

索引／クイックマニュアル

FOMA F881iES の特徴

FOMA は、第三世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の１つとして認定された W-CDMA 方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

楽しいｉモード機能

ｉモード（有料） → P248

簡単なボタン操作でサイトやインターネットホームページに接続し、情報を閲覧できるオンラインサービスです。

ｉモードメール → P325

ｉモードをご契約の携帯電話はもちろん、パソコンなどとのメールのやりとりができます。

ｉモーション → P410

サイトやインターネットから映像や音をダウンロードして楽しむことができます。FOMA 端末に保存したｉモーションを着信音や着信画像に設定できます（着モーション）。

ｉモーションメール → P331

FOMA 端末内蔵のカメラで撮影したビデオや、サイトやインターネットから取得したｉモーションを、ｉモードメールに添付して手軽に送信することができます。

F881iES ならではの便利な機能

光ナビゲーションとガイド機能 → P38、→ P80、P234

音声電話やテレビ電話がかかってくると、ボタンが明るく点滅して電話に出る方法をお知らせします。ビデオ撮影時や設定を確定するときなど、次に押すボタンがわかります。画面下に「ガイド」が表示されるメニューや機能名などは、その説明を読むことができます。

音声認識 → P209、P214

名前や単語を音声登録して、電話帳や各機能を簡単に呼び出すことができます。

ワンタッチダイヤル → P156

ディスプレイの下の数字ボタン（ワンタッチダイヤルボタン）を押すだけで、登録した相手に、簡単に電話をかけたりメールを作成したりすることができます。登録相手専用の着信音や着信画像を設定することも可能です。

音声読み上げ → P215

表示中の操作の説明、受信メールやサイトの内容を読み上げます。
FOMA 端末を折り畳んでいるときに右側面の（ボタン）を１秒以上押せば、日時を声でお知らせします。読み上げの声質や速さを変更して、聞きやすい読み上げ動作を設定することができます。

簡単メール → P320

画面の表示に従って操作すると、手軽にメールを作成できます。写真やビデオの添付も簡単です。さらに、伝えたいことをその場で録音し、メールに添付して送信することもできます（音声メール）。

ゆっくりボイスとはっきりボイス → P67

相手の声のスピードを調節する「ゆっくりボイス」と、騒音の中でも相手の声を明瞭にする「はっきりボイス」。音声電話の際に相手の声を聞き取りやすくする２つの機能を備えています。

データ通信に関する詳細は添付の CD-ROM 内に記載しています。

多彩なあんしん設定

個人情報表示制限 →P193

メールや電話帳データ、FOMA端末内蔵のカメラで撮影した写真などを、ディスプレイに表示しないように設定することができます。見られたくないデータがあるときに便利です。

履歴表示制限 →P193

リダイヤルや着信履歴などを表示しないように設定することができます。知られたくない発信・着信情報があるときに便利です。

迷惑メールなどの受信拒否 →P314

知らないアドレスからのメールや不要な勧誘メールなどを受信しないように設定することができます。シークレットコード登録やアドレス指定による受信拒否など、さまざまな迷惑メールへの対処方法があります。

その他の役立つ機能

ツインカメラ →P228

内側カメラと外側カメラを搭載しているので、テレビ電話の相手に送信する画像を切り替えることができます。FOMA端末の右側面の(📷)を押せば、ワンタッチでカメラが起動します。写真撮影画面からは簡単にビデオに切り替えることができます。

歩数計 →P480

FOMA端末を歩数計として利用し、歩いた距離、消費したカロリーなどを算出することができます。また、歩数計の情報を、毎日同じ時間、同じ宛先に自動的に送ることができます（歩数自動送信メール）。

新着情報 →P37

新しい不在着信・受信メール・伝言メモ・受信メッセージリクエストなどがあると、待受画面にはその内容を確認するためのボタンが表示されます。
簡単なボタン操作で、未確認の情報を確認することができます。

テレビ電話 →P102

テレビ電話に対応したFOMA端末どうしで、画面に映し出される相手の顔を見ながら通話できます。スピーカーホン機能を利用すると、FOMA端末を置いたままでもお話しすることができます。

ワンタッチアラーム →P476

緊急時にスイッチを使って大音量のアラームを鳴らし、自分の居場所を周囲に知らせることができます。

くっきり補正 →P109、P241

テレビ電話やビデオの画質を自動的に補正する機能を備えています。暗い画像は明るい画像に、明るい画像はより色鮮やかな画像にします。

予定表 →P464

行事や用件などを登録して、必要なときに確認できます。また、登録した予定を音声でお知らせすることもできます。

豊富なネットワークサービス

- **留守番電話サービス（有料）**※1 →P501
- **キャッチホン（有料）**※1 →P504
- **転送でんわサービス**※1 →P507
- **SMS（ショートメッセージ）**※2 →P372
- **デュアルネットワークサービス（有料）**※1※3 →P514

※1：お申し込みが必要です。
※2：お申し込みは不要です。
※3：設定の際にネットワーク暗証番号が必要になります。→P179

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の 6 項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

危険

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合、FOMA端末や電池パック、その他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。
電池パック　F07　卓上ホルダ　F09　FOMA ACアダプタ 01
FOMA DCアダプタ 01　車内ホルダ　01
その他、互換性のある商品についてはドコモショップなどの窓口までお問い合わせください。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の所で使用、放置しないでください。
機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると、発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

警告

禁止

ガソリンスタンドなど、引火、爆発のおそれがある所では、使用しないでください。
プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

指示

使用中、充電中、保管時に異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントやソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。
そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

⚠ 注意

指示
子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

禁止
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

指示
乳幼児の手の届かない所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

禁止
湿気やほこりの多い所や高温になる所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

指示
充電、または動画撮影や再生、テレビ電話、ｉモードの繰り返しや長時間連続使用などの場合においてFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れると、お客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じるおそれがあります。
FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には、特にご注意ください。

FOMA端末の取り扱いについて

⚠ 警告

指示
航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示
高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤作動するなどの影響を与える場合があります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
　補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
　植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

禁止
医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットなどへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となるおそれがあります。

指示
心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

警告

禁止

自動車などを運転中に使用しないでください。
2004 年 11 月 1 日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。車載ハンズフリー機器をご利用の場合でも、車を安全な所に停車してからご利用ください。運転中は、公共モード（ドライブモード）または留守番電話サービスをご利用ください。

指示

スピーカーホン機能を動作させて通話する場合や、ワンタッチアラームを使用する場合は、必ず FOMA 端末を耳から離してください。
難聴になる可能性があります。

禁止

エアバックの近くのダッシュボードなど、エアバックの展開による影響が予想される所に FOMA 端末を置かないでください。
エアバックが展開した場合、FOMA 端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

注意

禁止

ストラップなどを持って FOMA 端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診断を受けてください。
次の箇所に金属を使用しています。

材　質	使用箇所
アルミ蒸着	背面液晶の周囲
マグネシウム合金	ディスプレイ表示側フロントケース※

※：樹脂コートされていますが、これがはがれると肌に触れる可能性があります。

禁止

FOMAカード挿入口には、水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、故障、感電の原因となります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。
安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止

磁気カードなどを FOMA 端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となることがあります。

FOMA端末の取り扱いについて（つづき）

⚠ 注意

指示
誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

指示
誤ってディスプレイ、カメラのレンズを破損したときは、割れたガラスなどにご注意ください。
けがの原因となります。
ディスプレイ、カメラのレンズの表面は、ガラス板上にプラスチックパネルを取り付け、ガラスが飛散しにくい構造になっていますが、万一、切断面などに触れますとけがをすることがあります。

禁止
内蔵のカメラのレンズに太陽光などの強い光が進入する状態で長時間放置しないでください。
レンズの集光作用により、火災が発生する原因となります。

電池パックの取り扱いについて

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠ 危険

指示
電池パック内部の液体が目のなかに入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。
失明の原因となります。

禁止
火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止
端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止
釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止
電池パックをFOMA端末に取り付けするときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けしてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックの取り扱いについて（つづき）

警告

指示

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害を起こす原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなどの窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

オプション品（ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダ、車内ホルダ）の取り扱いについて

警告

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。
また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い所では使用しないでください。
感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

警告

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、FOMA 海外兼用 AC アダプタ 01 を使用してください。
AC アダプタ：
AC100V
FOMA 海外兼用 AC アダプタ：
AC100 ～ 240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DC アダプタ：
DC12V・24V（マイナスアース車専用）

指示

DC アダプタのヒューズが万一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別取扱説明書でご確認ください。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

指示

プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

禁止

充電中は、アダプタ（充電器含む）および卓上ホルダを安定した所に置いてください。また、アダプタ（充電器含む）および卓上ホルダを布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。
FOMA 端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、FOMA 端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

禁止

電源プラグがコンセントから抜けない場合、無理に抜かないでください。
破損し、感電や故障の原因となります。

禁止

コンセントや配線器具の定格を超えた使用はしないでください。
タコ足配線などで定格を超えると、発熱、火災の原因となります。

指示

車内ホルダは確実に取り付けてください。
急ブレーキなどで機器が外れると、事故や故障の原因となります。

注意

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。
感電の原因となります。

指示

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

FOMA カードの取り扱いについて

注意

指示

FOMA カードを取り外す際にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

警告

指示

満員電車の中など混雑した所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
・病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
・自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取扱上の注意について

■ 共通のお願い

●水をかけないでください。

・FOMA 端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）は防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し、故障の原因となります。
調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証の対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証の対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

●お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。

・FOMA 端末のディスプレイは、特殊コーティングを施してあります。お手入れの際に、乾いた布などで強くこすると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で行ってください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれたりすることがあります。

・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

●端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

・端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることなどがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

●エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

・急激な湿度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

●FOMA 端末に無理な力がかかるような所に置かないでください。

・多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

●電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別取扱説明書をよくお読みください。

■ FOMA 端末についてのお願い

●極端な高温、低温は避けてください。

・温度は 5℃～ 35℃、湿度は 45％～ 85％の範囲でご使用ください。

●一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた所でご使用ください。

●お客様ご自身で FOMA 端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

・万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●ズボンやスカートの後ろポケットに FOMA 端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、かばんの底など無理な力がかかるような所には入れないでください。

・故障、破損の原因となります。

●ストラップなどを挟んだまま、FOMA 端末を折り畳まないでください。

・故障、破損の原因となります。

次ページへ続く

●使用中や充電中、FOMA 端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

●カメラを直射日光に向けて放置しないでください。
・素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

●FOMA 端末を異物のある机上などに置かないでください。
・破損の原因となります。

●通常はイヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。
・ほこり、水などが入り故障の原因となることがあります。

●ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
・傷つくことがあります。

●ディスプレイ面やダイヤルボタンのある面に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
・故障、破損の原因となります。

■ 電池パックについてのお願い

●電池パックは消耗品です。
・十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。なお、電池パックの寿命は、使用状態などによっても異なります。

●充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃）の所で行ってください。

●初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

●電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

●直射日光が当たらず、風通しのよい涼しい所に保管してください。
・長時間使用しないときは、使い切った状態で FOMA 端末またはアダプタ（充電器含む）から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。

●電池パックの金属部分（端子）が汚れると、端末との接触が悪くなり電源が切れたりすることがあります。汚れたら乾いた布や綿棒などで拭いてからご使用ください。

●電池パックは、電池残量なしの状態で保管・放置をしないでください。
・長時間放置される場合は FOMA 端末から外し、乾燥した冷暗所に保存してください。また、半年に 1 回程度、電池パックの補充電を行ってください。

●電池パックは、長期間使用しない場合でも 6 か月に一度は充電してください。
・電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

■ アダプタ（充電器含む）についてのお願い

●充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃）の所で行ってください。

●次のような所では、充電しないでください。
・湿気、ほこり、振動の多い所
・一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く

●充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

●DC アダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
・車のバッテリーを消耗させる原因となります。

●抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

●強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
・故障の原因となります。

■ FOMA カードについてのお願い

- **FOMA カードの取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。**
- **ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。**
- **使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。**
- **他の IC カード読み取り装置（リーダー／ライター）などに FOMA カードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC 部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。**
- **お客様ご自身で FOMA カードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になった FOMA カードはドコモショップなどの窓口にお持ちください。**
- **極端な高温・低温は避けてください。**
- **IC を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **FOMA カードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障の原因となります。
- **FOMA カードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。**
  - 故障の原因となります。

■ カメラについて

お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

> **カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。**

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「mova」「iモーション」「iモード」「iモーションメール」「iショット」「iメロディ」「iアニメ」「DoPa」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「WORLD WING」「ショートメール」「クイックキャスト」「着モーション」「デコメール」「Vライブ」「iエリア」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「sigmarion」「musea」「ビジュアルネット」「公共モード」「eビリング」「メッセージF」「トクだねニュース便」「My DoCoMo」および「FOMA」ロゴ「i -mode」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
  （Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® operating systemです。）
- JavaおよびJavaに関連するすべての商標は、米国およびその他の国において米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 本製品は、インターネット機能としてNetFront® v3.0 for FOMAを搭載しています。
  NetFront® v3.0* は株式会社ACCESSの製品です。
  *：Copyright© 1996-2005, ACCESS CO., LTD.
  NetFront®および**NetFront**®は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における商標または登録商標です。
  本ソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- AdobeおよびReaderは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。
- QuickTimeは米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- 本機には、Symbian Software Ltd© 1998-2005 よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。**symbian**およびSymbian OSはSymbian Ltd.の商標です。

● その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。

● Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
● Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
● Windows Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
● Windows 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
● Windows 98SEは、Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITIONの略です。
● Windows NT Serverは、Microsoft® Windows NT® Server Network operating system Version 4.0の略です。
● Windows XP、2000、Me、98のように併記する場合があります。
● Windows 98とWindows 98SEをまとめてWindows 98と表記しています。

その他

● 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  • MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
  • 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  • MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

● 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

4,901,307　5,600,754　5,267,261　5,506,865　5,710,784
5,504,773　5,416,797　5,568,483　5,228,054　5,778,338
5,109,390　5,490,165　5,414,796　5,544,196
5,535,239　5,101,501　5,659,569　5,337,338
5,267,262　5,511,073　5,056,109　5,657,420

本体付属品および主なオプション品について

■ 本体付属品

FOMA F881iES
（リアカバー F10、保証書含む）

FOMA F881iES
取扱説明書（本書）

FOMA F881iES
かんたん操作ガイド

※ P614にクイックマニュアルを記載しています。

FOMA F881iES 用
CD-ROM

※ PDF版「データ通信マニュアル」を収録しています。

■ 主なオプション品

FOMA AC アダプタ 01
（保証書、取扱説明書付き）

卓上ホルダ F09
（取扱説明書付き）

電池パック F07
（取扱説明書付き）

その他のオプション品について→ P573

ご使用前の確認

各部の名称と機能

ここでは、FOMA 端末の各部の名称と、ボタンに割り当てられている主な操作の説明をします。

サイズ（mm）：高さ 107 ×幅 51 ×厚さ 23
※高さ、厚さは折り畳み時
質量（g）　：約 122
※電池パック装着時

① 受話口※
相手の声がここから聞こえます。

② 内側カメラ
ここから映像を撮影します。→P102、P228

③ ディスプレイ→P35

④ ①②③ワンタッチダイヤルボタン 1 ／ 2 ／ 3
ワンタッチダイヤルの登録や発信に使います。

⑤ メニュー メニューボタン
メニューの表示、ガイド行の左に表示される操作の実行、機能の音声呼出しに使います。

⑥ スピーカー※
着信音などがここから聞こえます。また、スピーカーホン機能使用中は、相手の声がここから聞こえます。→P68、P83、P105

⑦ 戻る 戻るボタン
文字入力時の入力内容の消去、1 つ前の画面に戻る、新着情報表示の消去に使用します。

⑧ 開始／スピーカーホン／文字ボタン

音声電話をかける／受ける、スピーカーホン機能での音声電話発信や通話切り替え、留守番電話の伝言メッセージ再生、文字入力時の入力モード切り替えに使います。

⑨ **ダイヤルボタン**

電話番号や文字の入力、メニュー項目の実行に使います。

⑩ ＊／公共モード（ドライブモード）ボタン

「＊」の入力、公共モードの設定／解除に使います。

⑪ **テレビ電話開始ボタン**

テレビ電話をかける／受ける、スピーカーホン機能でのテレビ電話発信、文字入力時の大文字／小文字切り替えに使います。

⑫ **送話口／マイク**

自分の声を伝えます。

- 通話中やビデオ撮影中などに送話口／マイクをふさぐと、相手にお客様の声が聞こえにくくなったり、音声などが録音されない場合があります。

⑬ **マルチカーソルボタン**

決定ボタン

選択した操作の実行、iモードメニューの表示に使います。新着メッセージR受信後に、メッセージR一覧を表示します。

メール／↑ボタン

メールメニューの表示、新規メール作成、カーソルの上方向への移動、音量の調節に使います。新着メール受信後に、受信メールの受信箱のメール一覧を表示します。

伝言メモ／↓ボタン

伝言メモの再生／削除、伝言メモの設定／解除、カーソルの下方向への移動、音量の調節に使います。

着信履歴／←（前へ）ボタン

着信履歴の表示、画面の切り替え、カーソルの左方向への移動に使います。

リダイヤル／→（次へ）ボタン

リダイヤルの表示、画面の切り替え、カーソルの右方向への移動に使います。

⑭ **電話帳ボタン**

電話帳メニュー画面の表示、ガイド行の右に表示される操作の実行、スピーカーホン機能での通話切り替え、電話帳の音声呼出しに使います。

⑮ **電源／終了／応答保留ボタン**

電源を入れる／切る、通話の終了、操作中の機能の終了、応答保留、シークレットモードの解除に使います。

⑯ **#／マナーモード／改行ボタン**

「#」の入力、マナーモードの設定／解除、文字入力時の改行に使います。

⑰ **外部接続端子**

各種オプション品などを接続します。

⑱ **充電端子**

⑲ **アンテナ部分**

- アンテナは本体に内蔵されています。
- 通話中や通信中はアンテナ部分を指で覆わないようにしてください。

⑳ **外側カメラ**

ここから映像を撮影します。→P102、P228

㉑ **着信ランプ／充電ランプ**

電話の着信時やメールの受信時、カメラの起動中や充電中などに点灯／点滅します。

㉒ **背面ディスプレイ**→P39

㉓ **ストラップ取付口**

ここにストラップを取り付けます。

㉔ **スピーカー**※

着信音などがここから聞こえます。また、スピーカーホン機能使用中は、相手の声がここから聞こえます。→P68、P83、P105

㉕ **ワンタッチアラームスイッチ**

ワンタッチアラームを鳴らすときに使います。

㉖ **音量ボタン大**→P34

㉗ **音量ボタン小**→P34

㉘ **イヤホンマイク端子**

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続します。→P491

㉙ **音声読み上げボタン**

読み上げの開始／停止、音声電話中のはっきりボイス設定／解除、歩数表示の切り替えに使います。

㉚ **（📷）カメラボタン**

写真撮影画面の起動、外側カメラと内側カメラの切り替え、音声電話中のゆっくりボイス設定／解除に使います。

※：読み上げの音声はここから聞こえます。
→P218

お知らせ

- 操作の説明では、各ボタンをここで説明したイラストで表しています。

左右側面のボタンでできる主な操作

FOMA端末の左右側面には音量ボタン（△▽）、音声読み上げボタン（）、カメラボタン（）の3種類のボタンがあります。本書では、それぞれ音量ボタン（△▽）、、（）のボタンイラストで表記しています。
FOMA端末ではこれらのボタンを押してさまざまな操作ができますが、主な操作は次のとおりです。

ボタン	操　作	FOMA端末の状態
△▽	受話音量の調節	通話中、通話中着信中、受話音量調節中
	着信音量の調節	着信中、着信音量調節中、64Kデータ通信着信中
	読み上げ音量の調節	読み上げ音量調節中、読み上げ中
	再生音量の調節	メロディ再生中、動画／iモーション再生中※1
	目覚まし音の停止	目覚まし動作中※2
	読み上げ開始	読み上げマーク（）表示中
	読み上げ停止	読み上げ中※2
	日時の読み上げ	待受画面表示中※3
	はっきりボイスの設定	音声電話中
	歩数表示の切り替え（背面ディスプレイ）	歩数計使用中※4
（）	カメラ（写真撮影画面）の起動	待受画面表示中※1
	カメラの切り替え	テレビ電話中※1、写真／ビデオ撮影待機中※1
	ゆっくりボイスの設定	音声電話中

※1：FOMA端末を開いた状態でのみ操作できます。
※2：FOMA端末を折り畳んでいても停止できます。
※3：FOMA端末を折り畳んでいるときは、1秒以上押します。
新着情報や当日の歩数の履歴があるときは、これらを読み上げます。
※4：FOMA端末を折り畳んだ状態でのみ操作できます。

お知らせ

- FOMA端末を折り畳んでいるときに音量ボタン（△▽）、、（）いずれかのボタンを押すと、背面ディスプレイが点灯します。
- FOMA端末を折り畳んでを1秒以上押して読み上げを行う場合、以外を同時に押さないようにしてください。読み上げない場合があります。

ディスプレイの見かた

ここでは、ディスプレイに表示されるマークの説明をします。

■ ディスプレイ

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩
9月15日 木曜日
13時 23分
メールあり 着信あり 伝言あり メッセージリクエストあり
iモード 決定 長押し
メニュー 電話帳
⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓

① ：電池残量の表示→P54
② ：受信レベルの表示→P56
圏外：圏外の表示→P56
Self：セルフモード中→P191
：データ転送（送受信）中／データリンクソフトの使用中→P522、P574
③ ：iモード接続中、パケット通信中→P255
SSL：SSLページ表示中→P256
：パソコンを接続してパケット通信中→P522
：パソコンを接続してデータ送受信中→P522
④ ：シークレットモード中→P192
⑤ ：音声電話中→P66
64K：テレビ電話中（64K）→P102
32K：テレビ電話中（32K）→P102
64K：64Kデータ通信中→P522

：音声読み上げ可能／音声読み上げ中→P215
⑥ ※1：iモードメール、SMS、メッセージR/Fの受信完了通知→P294、P345、P378
：ワンタッチアラーム有効→P476
：ワンタッチアラーム利用不可状態→P478
⑦ ※2 H：USBハンズフリー通信中→P79
：スピーカーホン機能の使用中→P68、P105
AUTO：オートスピーカーホン機能の設定中→P83
通信中：iモード通信中→P255
取得中：iモーションデータの取得中→P410
⑧ ※3：マナーモード中→P168
SV：音声電話のバイブレータと着信音量の消音を同時に設定中→P88、P163
V：音声電話のバイブレータを設定中→P163
S：着信音量を消音に設定中→P88
漢かな／半角ｶﾅ／英字／数字／全角かな／全角カナ：文字入力モードの表示→P530
：iモードメール、SMSの受信中→P345、P378
R（青）：メッセージRの受信中→P294
F（青）：メッセージFの受信中→P294
⑨ ：公共モード（ドライブモード）中→P91
：FOMAカードを読み込み中→P56
⑩日付・時刻の表示→P58、P174
⑪新着情報の表示→P37

次ページへ続く

⑫ 留守番 長押し：
※2
留守番電話の伝言メッセージあり
→P37、P503
iモード 決定 長押し※4：
iモードの接続操作の表示
→P255

⑬ ：伝言メモが満杯→P94
※2
：未確認の伝言メモあり→P98
：伝言メモの設定中→P94

⑭ ：未確認の不在着信情報あり
→P85

⑮ ：未読iモードメール、SMSが満杯で、FOMAカードにSMSが満杯
※2
→P346、P379
：未読iモードメール、SMSが満杯→P346、P379
：FOMAカードにSMSが満杯
→P379
：未読iモードメール、SMSあり
→P345、P378

⑯R／R（青／赤）：
未読メッセージRあり／満杯
→P294、P295

⑰F／F（青／赤）：
未読メッセージFあり／満杯
→P294、P295

⑱ ：センターにiモードメールとメッセージR/Fが満杯
※2
→P295、P346
／／：
センターにiモードメール、またはメッセージR/Fが満杯
→P295、P346
：センターに未受信のiモードメールとメッセージR/Fあり
→P295、P346
／／：
センターに未受信のiモードメール、またはメッセージR/Fあり
→P295、P346

⑲ ：ソフトウェア更新の予約中
→P591

⑳ ：FOMA USB接続ケーブルでパソコンなどと接続中
→P522、P574

㉑ ：個人の情報表示を制限中
※2
→P193
：ダイヤル入力での発信を制限中
→P195

㉒ ：目覚まし設定中→P460
：通知する予定あり→P465
：目覚まし設定中に通知する予定あり→P460、P465

㉓ ／：
※5
歩数計の使用中、または歩数自動送信メールを設定中
→P482、P486

※1：待受画面に戻ると表示が消えます。
※2：現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※3：待受画面以外では、時刻が表示されます。
※4：待受画像を標準の画像（草原）、または「表示なし」に設定したときのみ表示されます。
※5：⑫に留守番 長押しのマークが表示されているときは、㉓のマークは表示されません。

お知らせ

- 次の現象は液晶ディスプレイの特性であり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。
  - FOMA端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。
  - FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、しばらくの間、ディスプレイから残像が消えない場合があります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
  - FOMA端末を開いた状態でしばらく同じ画面を表示していると、何か操作を行って画面表示が切り替わったときに、前の画面表示の残像がディスプレイに残る場合があります。

新着情報の表示

メールやメッセージRの受信、不在着信の記録、伝言メモの録音、留守番電話サービスセンターに伝言メッセージの録音があると、待受画面で新着情報があることをお知らせします。

9月15日 木曜日
13時 23分
メールあり
着信あり
伝言あり
メッセージリクエストあり
留守番 長押し
メニュー
電話帳

- 新着情報が表示されているときは、次の操作ができます。

画面表示	ボタン操作	説　明
メールあり	を押す	受信箱のメール一覧が表示されます。 →P351
着信あり	を押す	着信履歴の表示画面が表示されます。 →P84
伝言あり	を押す	伝言メモの件数確認画面が表示されます。 →P99
メッセージリクエストあり	決定 を押す	メッセージR一覧が表示されます。 →P301 • お買い上げ時は、「トクだねニュース便のご案内」のメッセージRが保存されています。
留守番 長押し	を1秒以上押す	留守番メッセージを再生するかどうかの確認画面が表示されます。→P503

- 戻る を1秒以上：新着情報の表示を消します。新たに情報が追加されると、新着情報が再表示されます。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに新着情報が表示されます。→P39

ガイド行の表示

ガイド行には、メニュー、決定、電話帳を押して実行できる操作が表示されます。

表示位置とボタンは、図のように対応しています。

本書では、ガイド行に表示される操作の説明を、対応するボタン（メニュー、決定、電話帳）を使って説明しています。

ガイド行に表示される操作は画面により異なります。

● ガイド行の◆は、マルチカーソルボタンの に対応しています。

ガイド行

ガイド行の右側に「ガイド」と表示されるとき電話帳を押すと、機能の詳細を説明するガイド画面が表示されます。

● 電話帳または戻るを押すと、1つ前の画面に戻ります。

背面ディスプレイの見かた

FOMA端末を折り畳んでいても、設定されている機能やさまざまな情報を確認できます。

背面ディスプレイに表示されるマーク一覧

①②③④⑤⑥⑦

9月15日（木）⑧

13時23分⑨

① ：電池残量の表示→P54
② ：受信レベルの表示→P56
圏外：圏外の表示→P56
self：セルフモード中→P191
③ ：iモード接続中、パケット通信中→P255
④ ：ワンタッチアラーム有効→P476
：ワンタッチアラーム利用不可状態→P478
⑤ ：マナーモード中→P168
※1 ：音声読み上げ可能／音声読み上げ中→P215
⑥ ：公共モード（ドライブモード）中→P91
⑦ ：目覚まし設定中→P460
：通知する予定あり→P465
：目覚まし設定中に通知する予定あり→P460、P465

⑧日付の表示→P58
新着情報の表示→P37
着信：不在着信あり
メール：受信メールあり
伝言：伝言メモあり
留守：留守番電話の伝言メッセージあり
歩数計の使用中および歩数の表示→P483
⑨時刻の表示→P58、P174
歩数計の使用中および歩数の表示※2→P483

※1：両方を設定している場合は、マナーモードが表示されます。
※2：歩数計の使用中に新着情報があるときのみ表示されます。

背面ディスプレイの主な表示

FOMA端末を折り畳んでいるときに、電話を着信した場合やメール受信中など、待受中から変化があると、状態を表示してお知らせします。主な表示内容は次のとおりです。

■ 音声電話やテレビ電話の状態表示

電話です
橋本花子

<音声電話がかかってきたとき>

通話中や応答保留中、切断中などの状態が表示されます。

- 音声電話の受けかた→P80
- テレビ電話の受けかた→P107

次ページへ続く

■ 目覚まし時刻や予定を通知する日時になったとき

＜目覚まし時刻になったとき＞

- 目覚まし機能→P460
- 予定表→P464

■ ｉモードメールやSMS、メッセージR/F受信中のとき

＜ｉモードメール受信中のとき＞

- ｉモードメール受信→P345
- SMS受信→P378
- メッセージR/F受信→P293

■ データ通信の状態表示

＜パケット通信中のとき＞

- データ通信→P522

■ 伝言メモの状態表示

＜応答中または録音中のとき＞

応答中や録音中に表示されます。

- 伝言メモ→P93

■ ワンタッチアラームの状態表示

＜ワンタッチアラーム動作中のとき＞

ワンタッチアラームスイッチを入れたときの、ワンタッチアラームの状態が表示されます。

- ワンタッチアラーム→P476

お知らせ

- 背面ディスプレイの照明が消灯したときは、音量ボタン（ ）、 、 （ ）いずれかのボタンを押すと点灯します。
- FOMA端末を折り畳んでいるときに電話がかかってきたりメールを受信したりして背面ディスプレイの表示が自動的に切り替わった場合は、照明が自動的に点灯します。
- 背面ディスプレイに情報を表示しないように設定しているときは、電話がかかってきても相手の発信者情報（電話番号や名前）は背面ディスプレイに表示されません。→P172
- 背面ディスプレイの時計の表示形式を設定できます。→P174

メニュー操作のしかた

待受中に、メニューボタンを押すと表示されるメニュー画面や、電話帳ボタンを押すと表示される電話帳メニュー画面などから、各種機能を選択して実行します。機能を選択するには、マルチカーソルボタンを押して選択する方法と、各機能に対応したダイヤルボタンを押して選択する方法の 2 とおりがあります。

● メニュー画面から選択して実行できる機能については、付録の「メニュー一覧」をご覧ください。→ P550

マルチカーソルボタンでメニューから機能を選択します

〈例〉「電話を受けた時の音量を調節する」を実行するとき

1 待受画面で メニュー を押す

メニュー画面が表示されます。

2 を押して「2 電話・電話帳を使う」を選択し、決定 を押す

「電話・電話帳を使う」のメニュー画面が表示されます。

● ：カーソルが上の機能に移動します。

● ：カーソルが下の機能に移動します。

3 を押して「5 電話を受けた時の音量を調節する」を選択し、決定 を押す

次ページへ続く

4 または音量ボタン（ ）を押して音量を調節し、決定を押す

電話の音量を設定した旨のメッセージが表示されます。

● 音量 6 のときに ／ ／ ：
　「だんだん大きく」（消音→音量 1 →…→音量 6）に設定します。

● 音量 1 のときに ／ ／ ：
　「消音」に設定します。

5 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

ダイヤルボタンでメニューから機能を選択します（ショートカット操作）

各機能にはそれぞれ番号や記号が割り当てられており、各機能の左側に表示されています。機能は、対応するダイヤルボタン（0わをん記号〜9らWXYZ）、または記号（＊、#改行マナー）を押して選択できます。これをショートカット操作といいます。
本書では、待受画面でメニューを押してメニュー画面を表示し、該当するダイヤルボタンを順番に押すショートカット操作で、主に操作を説明しています。

〈例〉「電話を受けた時の音量を調節する」を実行するとき

1 待受画面でメニュー▶「2 電話・電話帳を使う」▶「5 電話を受けた時の音量を調節する」を押す

2 音量を調節する

●操作方法は、「マルチカーソルボタンでメニューから機能を選択します」の操作４～５と同様です。→Ｐ42

待受画面や１つ前の画面に戻るには

機能を選択した後で、待受画面や１つ前の画面に戻るときは次のボタンを押します。

戻る：１つ前の画面に戻ります。
：待受画面に戻ります。

サブメニューから機能を選択します

ガイド行の左側に メニュー が表示されているときは、メニュー を押してサブメニューを表示し、さまざまな操作ができます。

〈例〉メール作成画面のサブメニューを表示するとき

1 待受画面で を１秒以上押す

メール作成：新規
To：
題名：
本文：
送信する
メニュー 決定 簡単

●簡単メール作成画面が表示されたときは、電話帳 ▶「1 切替える」を押します。

ガイド行の左側に メニュー が表示されます。

2 メニュー を押す

1送信する
2保存する
3署名付きで送信
4添付データ
5電話帳を呼出す
6例文を使う
7宛先を追加
8宛先を削除
戻る 決定

サブメニューが表示されます。

●サブメニューは、操作する画面により異なります。

カーソル：選択している機能の色が変わります。

表示中のメニュー画面に続きがある場合に表示されます。
続きを表示するときは、 を数回押してカーソルを移動するか、 を押して画面を切り替えます。

次ページへ続く

3 を押して機能を選択し、決定を押す

機能が実行されます。

- 画面左端に表示される番号に対応するダイヤルボタンを押しても選択できます。
- サブメニュー表示中に メニュー を押すと、サブメニューが閉じます。

お知らせ

- 各種ロック機能を設定している場合や、FOMAカードを取り付けていない場合などは、実行できない機能の文字がグレーなどで薄く表示され、その機能は選択できません。

FOMA カードを使います

FOMA カードとは、電話番号などのお客様情報を記録できるカードです。FOMA 端末に挿入して使用します。

- FOMAカードを正しく取り付けていない場合や、FOMAカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- FOMAカードの取り扱いについての詳細は、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。
- FOMA カードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから FOMA 端末を折り畳み、手に持って行ってください。FOMA 端末を置いた状態で行うと、背面ディスプレイが破損するおそれがあります。
- FOMAカードの取り付け／取り外しを行うときは、IC部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。

FOMA カードを取り付けます

① 親指でリアカバーを押し付けながら、矢印方向に約3mmスライドさせて外します。
電池パックが取り付けられている場合は、取り外してください。
→ P49

リアカバー

ここに指を当てる

② FOMA カードのIC 面を下にして、図のような向きでFOMA カードスロットへ矢印方向に差し込みます。

FOMA カードスロット

FOMA カード

切り欠き

IC

③ 図のようにロックがスライドしてFOMA カードが固定されるまで、さらに差し込みます。

ロック

④ 電池パックとリアカバーを取り付けます。→ P48 操作②〜③

FOMA カードを取り外します

① リアカバーと電池パックを取り外します。→ P49
FOMA カードに指が触れないようにロックを矢印方向にスライドさせ、FOMAカードを少し飛び出させます。

ロック

FOMA カード

② FOMA カードをまっすぐ静かに取り出します。
このときFOMA カードが落ちないようにご注意ください。

FOMA カード

次ページへ続く

お知らせ

- FOMAカードを無理に取り付けようとしたり、引き抜こうとしたりすると、FOMAカードが変形や破損するおそれがありますのでご注意ください。
- 取り外したFOMAカードは、なくさないようにご注意ください。
- FOMAカードを取り外すときは、強く押し付けないでください。変形や破損するおそれがあります。
- ロックのスライド時にFOMAカードに指が触れるなどして、FOMAカードの飛び出し量が少なく取り外しにくい場合は、奥まで差し込んでもう一度ロックをスライドさせてください。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号があります。→P179

ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、4～8桁の任意の数字に変更できます。→P183、P185

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護したり、第三者が著作権を有するデータやファイルを保護したりするための機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA端末にお客様のFOMAカードを取り付けている状態で、サイトなどからファイルやデータをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得したりすると、それらのデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
- FOMA端末に別のFOMAカードを取り付けた場合や、FOMAカードを取り付けていない場合、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできなくなります。
- 動作制限の対象となるデータは次のとおりです。

• 画面メモ	• メッセージR/F	
• iモードメールに添付されているデータ		
• iモーション	• 画像（静止画／アニメーション）	• メロディ

お知らせ

- FOMAカード動作制限機能の対象になっているデータを、待受画面や着信音などに設定しているとき、別のFOMAカードに差し替えて使用したり、FOMAカードを取り付けずに使用したりすると、待受画面や着信音などの設定がお買い上げ時の状態に戻ります。データをダウンロードしたときに使用したFOMAカードを取り付けると、設定は元の状態に戻ります。
- データリンクソフトを利用して入手したデータや、内蔵のカメラで撮影した写真やビデオには、FOMAカード動作制限機能が設定されません。

FOMAカードの機能差分について

FOMAカードには緑色と青色の2種類があり、それぞれのカードは次のように機能が異なります。

項　目	FOMAカード（緑色）	FOMAカード（青色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大26桁	最大20桁	P131
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用可	利用不可	P305
WORLD WINGサービスの利用	利用可	利用不可	下記
サービスダイヤル	利用可	利用不可	P516

WORLD WING

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応の海外用携帯電話（GSM方式）に差し替えることにより、海外でのご利用時も、日本で契約している携帯電話番号のままで発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。WORLD WINGのご利用にはお申し込みが必要です。詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
※一部ご利用になれない料金プランがあります。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

電池パックを取り付けます／取り外します

● 電池パックの交換や取り付け／取り外しは、電源を切ってからFOMA端末を折り畳み、手に持って行ってください。電源を切らずに行うと、データが消失するおそれがあります。FOMA端末を置いた状態で行うと、背面ディスプレイが破損するおそれがあります。

取り付けます

① 親指でリアカバーを押し付けながら、矢印方向に約3mmスライドさせて外します。

② 電池パックの印字面を上にして、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、❷の方向に押し付けてはめ込みます。

③ リアカバーの4箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせます。FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付けます。

取り外します

①親指でリアカバーを押し付けながら、矢印方向に約3mmスライドさせて外します。

リアカバー

ここに指を当てる

②電池パックのツメを持って、矢印方向に持ち上げて取り外します。

ツメ

お知らせ

- 電池パックを無理に取り付けようとすると、FOMA端末の端子が破損するおそれがありますのでご注意ください。
- 力を入れすぎるとリアカバーが破損するおそれがあります。
- 上記以外の方法で取り付け／取り外しを行うと、FOMA端末やリアカバーが破損するおそれがあります。

携帯電話を充電します

お買い上げのとき、電池パックは十分に充電されていません。
必ず専用のアダプタで充電してからお使いください。

- 電池パック単体での充電はできません。
- 電池パック F07の取り扱いについての詳細は、電池パックの取扱説明書をご覧ください。

充電時間（目安）

FOMA端末の電源を切って、電池パックを空の状態から充電したときの時間です。
FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

FOMA ACアダプタ 01	約135（分）
FOMA DCアダプタ 01	約135（分）

十分に充電したときの使用時間（目安）

充電のしかたや使用環境によって、使用時間は変動します。

連続待受時間（静止時）	約470（時間）
連続待受時間（移動時）	約345（時間）
連続通話時間（音声電話時）	約165（分）
連続通話時間（テレビ電話時）	約105（分）

- 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態での目安です。

次ページへ続く

● 連続待受時間はFOMA端末を折り畳んで電波を正常に受信できる状態で移動した場合の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受時間は約半分程度になる場合があります。ｉモード通信を行うと、通話や通信、待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信、マルチアクセスをしなくても、ｉモードメールの作成、音声読み上げ、カメラの使用、動画／ｉモーションの再生、歩数計の使用、データ通信などによっても、通話や通信、待受時間は短くなります。

電池パックの上手な使いかた

FOMA端末の性能を十分に発揮するために、専用の電池パックをご利用ください。

● **電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。**
FOMA端末の電源を入れた状態で充電が完了した後は、FOMA端末は電池パックから電源が供給されます。そのままの状態で長時間置くと、電池パックが消費され、短い時間しか使用できずに電池残量警告音が鳴ってしまう場合があります。その場合は、FOMA端末をACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。

● **電池パックの寿命は？**
電池パックは消耗品です。どのような充電式電池も、充電を繰り返すたびに1回の使用時間が次第に短くなっていきます。1回の使用時間が使用開始時に比べて半分以下になったら、電池パックの寿命とお考えください（電池パックの寿命の目安は、約1年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります）。

● **環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。**

Li-ion

充電時の留意事項

● 充電中に充電ランプが点滅する場合は、「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧ください。→P577

● 環境によっては、充電開始時に充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、故障ではありません。しばらくたっても点灯しない場合は、FOMA端末をACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくたっても点灯しない場合は、ドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。

● 高温環境下で充電中にテレビ電話をかけたり、パケット通信を行ったりすると、FOMA端末が高温になり、充電が正常に完了しない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。

● 充電中にメールを受信したり、カメラ撮影をしたりして着信ランプが使用されると、充電ランプが一時的に消灯したり、着信ランプの緑色と充電ランプの赤色が交互に点灯したりします。

● 電源を切っているとき、通話中や通信中、マナーモード中、公共モード中、充電確認音を「知らせない」に設定しているときは、確認音は鳴りません。
→P165

● 音声読み上げ機能を設定しているときは、充電の完了を音声でお知らせします。
→P215

AC アダプタでの充電方法

必ず FOMA AC アダプタ 01（別売）の取扱説明書もご覧ください。

（1）FOMA 端末に電池パックを取り付けます。

（2）FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き（①）、AC アダプタのコネクタを矢印の表記面を上にして、FOMA 端末と水平に差し込みます（②）。

（3）AC アダプタの電源プラグを起こし、AC100V コンセントへ差し込みます。

（4）充電開始音が鳴り、充電ランプが点灯したことを確認します。

- 待受中に充電すると、ディスプレイ、背面ディスプレイの電池マークが点滅します。
- 充電中はFOMA端末や電池パック、AC アダプタが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。

（5）充電が終わると充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯します。

- ディスプレイ、背面ディスプレイの電池マークの点滅も止まります。

（6）AC アダプタをコンセントから抜き、コネクタの両側のリリースボタンを押して、FOMA 端末から水平にコネクタを外します。

（7）端子キャップを閉じます。

お知らせ

- ACアダプタのコネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

卓上ホルダと組み合わせた充電方法

必ず卓上ホルダ F09（別売）の取扱説明書もご覧ください。

- FOMA端末を卓上ホルダへ取り付ける際は、ストラップなどをはさまないようにご注意ください。
- FOMA ACアダプタ 01と卓上ホルダ F09を組み合わせると、FOMA端末の端子キャップを開かなくても充電できます。
- 正しく取り付けるために、端子キャップは閉じた状態で卓上ホルダに取り付けてください。
- 卓上ホルダだけでは充電できません。
- 卓上ホルダは平らな面に置いて使用してください。また、卓上ホルダへの取り付けや取り外しを行うときは、FOMA端末を折り畳んだ状態で行ってください。

(1) ACアダプタのコネクタを、矢印の表記面を上にして卓上ホルダに接続します。

(2) ACアダプタの電源プラグを起こして、AC100Vコンセントへ差し込みます。

(3) 電池パックを取り付けたFOMA端末を卓上ホルダの端子に合わせ、FOMA端末を差し込みます。

(4) 充電開始音が鳴り、充電ランプが点灯したことを確認します。
- 待受中に充電すると、背面ディスプレイの電池マークが点滅します。
- 充電中はFOMA端末や電池パック、卓上ホルダ、ACアダプタが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。

(5) 充電が終わると充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯します。
- 背面ディスプレイの電池マークの点滅も止まります。

(6) FOMA端末を卓上ホルダから取り外します。
- 長時間使用しないときはACアダプタをコンセントから抜いてください。

取り外しかた
卓上ホルダを押さえながらFOMA端末を持ち上げ、矢印方向に引き抜きます。

お知らせ

- ACアダプタのコネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

DC アダプタでの充電方法

必ず FOMA DC アダプタ 01（別売）の取扱説明書もご覧ください。

（1）FOMA 端末に電池パックを取り付けます。

（2）FOMA 端末の外部接続端子の端子キャップを開き（①）、DC アダプタのコネクタを矢印の表記面を上にして、FOMA 端末と水平に差し込みます（②）。

（3）DCアダプタのシガーライタプラグを、車のシガーライタソケットへ差し込みます。DCアダプタの動作ランプが赤く点灯したことを確認します。

（4）充電開始音が鳴り、充電ランプが点灯したことを確認します。

● 待受中に充電すると、ディスプレイ、背面ディスプレイの電池マークが点滅します。

● 充電中はFOMA端末や電池パック、DC アダプタが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。

（5）充電が終わると充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯します。

● ディスプレイ、背面ディスプレイの電池マークの点滅も止まります。

（6）コネクタの両側のリリースボタンを押して、FOMA 端末から水平にコネクタを外し、シガーライタプラグをシガーライタソケットから抜きます。

（7）端子キャップを閉じます。

お知らせ

● DCアダプタをシガーライタソケットに接続したままエンジンを止めると、車のバッテリーを消耗させてしまう場合があります。使用しないときや車から離れるときは、DC アダプタのシガーライタプラグをシガーライタソケットから外し、FOMA 端末から DC アダプタのコネクタを抜いてください。

● DC アダプタのヒューズ（1A）は消耗品です。交換するときは、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

● DC アダプタは車内ホルダ 01（別売）と組み合わせてお使いになると便利です。

● DCアダプタのコネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

電池残量の確認のしかた<電池残量>

ディスプレイに電池残量が表示されます。

- 電池残量表示は目安です。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに電池残量が表示されます。→P39

電池マーク

電池残量 3（十分残っています）	電池残量 2（少なくなっています）	電池残量 1（充電が必要です）
→	→	

電池残量を音と表示で確認します<電池残量確認>

- 次の場合は電池残量確認音は鳴りません。
  - ボタン確認音を「鳴らさない」に設定しているとき→P164
  - マナーモード中
  - 着信音量を「消音」に設定しているとき

1 待受画面で（メニュー）▶「# 詳細な機能を設定する」▶「7 情報の表示やリセットを行う」▶「5 電池残量を確認する」を押す

（電池残量 3）　電池残量　音が 3 回鳴ります

（電池残量 2）　電池残量　音が 2 回鳴ります

（電池残量 1）　電池残量　音が 1 回鳴ります

しばらく電池残量が表示された後、メニュー画面に戻ります。

- （終話）を押すと待受画面に戻ります。

電池が切れそうになると

電池が切れそうになると、ディスプレイのメッセージ表示や電池残量警告音でお知らせします。充電を開始すれば電池残量警告音は止まりますが、電池残量警告音をすぐに止める場合は(終話)を押してください。

〈例〉音声電話中のとき

受話口から電池残量警告音が聞こえ、電池残量がない旨のメッセージがディスプレイに表示されます。電池残量警告音が聞こえてから約20秒後に通話が切れて、待受中と同じ電池残量の警告メッセージが表示されます。その約1分後に自動的に電源が切れます。

〈例〉待受中のとき

電池残量がない旨のメッセージがディスプレイに表示されます。このメッセージは(決定)を押すと消えますが、しばらくたつと電池残量警告音が鳴ります。ディスプレイに表示されているすべてのマークが点滅して、再び電池残量がない旨のメッセージが表示されます。(終話)を押すと電池残量警告音は止まり、約1分後に自動的に電源が切れます。

● FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「電池残量なし」と点滅表示されます。ただし、公共モード中は表示されません。

電池残量警告音を鳴らさないようにします＜電池残量警告音＞

お買い上げ時	鳴らす

● 次の場合、本機能を「鳴らす」に設定していても、電池残量警告音は鳴りません。
- 電源を切っているとき
- マナーモード中
- 公共モード中

1 待受画面で(メニュー) ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「3 音を設定する」▶「2 電池残量の警告音を設定する」を押す

電池残量警告音を鳴らすかどうかの確認画面が表示されます。

2 「2 鳴らさない」を押す

電池残量警告音を解除した旨のメッセージが表示されます。
● 「1 鳴らす」：電池残量警告音を鳴らすようにします。

次ページへ続く

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● ☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 通話中に電池が切れそうになったときは、本機能の設定やマナーモード、公共モードの設定に関わらず、受話口から電池残量警告音が鳴り、電池残量がない旨のメッセージが表示されます。

電源を入れます／切ります ＜電源 ON ／ OFF ＞

電源を入れます

1 ☎を 2 秒以上押す

「起動中 しばらくお待ちください」とメッセージが表示された後、待受画面が表示されます。

電池マーク、受信レベル

FOMA カードの読み込み中に表示され、終わると消えます。

日付・曜日・時刻

待受画像

受信レベル	Y.ıl	Y.ı	Y.	圏外
状態	強	中	弱	サービスエリア外や電波の届かない所

● 日付・時刻を設定していないときは、左のメッセージが表示されます。決定を押して、日付・時刻を設定してください。→ P58

● PIN1 コードを使用するように設定しているときは、PIN1 コードの入力が必要です。→ P181

● FOMA カードを取り付けていない場合は、FOMA カードの挿入が必要な旨のメッセージが表示されます。電源を切り、FOMA カードを取り付けてから電源を入れ直してください。→ P45

●歩数計を利用するかどうかの確認画面が表示されたときは、「1利用する」～「3後で設定する」のいずれか1つの番号を押して、歩数計を設定してください。→P482
●「3後で設定する」を押した場合は、電源を入れ直した際に、再び確認画面が表示されます。

●ワンタッチアラームを有効にするかどうかの確認画面が表示されたときは、「1有効にする」～「3後で設定する」のいずれか1つの番号を押して、ワンタッチアラームを設定してください。→P476
●「3後で設定する」を押した場合は、電源を入れ直した際に、再び確認画面が表示されます。

お知らせ

●サービスエリア外や電波の届かない所で圏外が表示されているときに通話や通信を行うには、表示が消える場所まで移動してください。ただし、Yıılが表示されていて、移動せずに通話していても、通話が切れる場合があります。

電源を切ります

1 [電話]を2秒以上押す

「電源切断中です」とメッセージが表示された後、電源が切れます。

日付・時刻を合わせます
＜日付時刻設定＞

FOMA 端末の日付と時刻を設定します。

●設定した時刻は、電池パックを交換しても保持されますが、長い間電池パックを外しているとリセットされることがあります。その場合はもう一度、日付・時刻の設定を行ってください。

1 待受画面で メニュー ▶「9 初めに行う設定」▶「8 時計を設定する」▶「1 日付と時刻を設定する」を押す

日付と時刻を
入力してください
(0~23時0~59分)
日付
2005年01月01日
時刻
00時00分
確定

2 日付を入力する

●西暦は下 2 桁を入力します。月、日が 1 桁のときは、前に 0 を付けます。

●2000 年 1 月 1 日から 2050 年 12 月 31 日まで設定できます。

●　：変更する数字を選択できます。

●　：日付と時刻の入力を切り替えます。

3 時刻を入力する

日付と時刻を
入力してください
(0~23時0~59分)
日付
2005年09月15日
時刻
13時23分
確定

●24 時間制（00：00～23：59）で設定します。時、分が 1 桁のときは、前に 0 を付けます。

●　：変更する数字を選択できます。

●　：日付と時刻の入力を切り替えます。

4 決定 を押す

日付と時刻を設定した旨のメッセージが表示されます。

5 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●(電話キー)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●日付・時刻を設定していないときは、次の機能は使用できません。
- 再生期限制限や再生期間制限が設定されているｉモーションの取得→P410、P412
- 自動電源ON
- 自動電源OFF
- 通知時刻自動電源ON
- 目覚まし機能
- 予定表
- 歩数計
- ソフトウェア更新

●日付・時刻を設定していないときは、次の機能で日時が記録されず、「----/--/--」などと表示されます。
- リダイヤル
- 着信履歴
- 伝言メモ
- カメラで撮影した写真、ビデオの保存日時（データ名）→P230、P231
- 送信メール、未送信メールの日時→P343、P376

相手に自分の電話番号を通知します ＜発信者番号通知＞

電話をかけたとき、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

●本機能の設定には「ネットワーク暗証番号」の入力が必要になります。ネットワーク暗証番号とは、お買い上げのときにお客様ご自身が指定した4桁の暗証番号です。→P179

●発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際は、十分にご注意ください。

●相手の電話機がデジタル携帯電話など、発信者番号の表示が可能なときに表示されます。

●サービスエリア外や電波の届かない所では、発信者番号通知は設定できません。電波状態のよい所で行ってください。

●詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

次ページへ続く

1 待受画面で[メニュー]▶「[9]初めに行う設定」▶「[1]発信者番号通知を使う」▶「[1] 発信者番号通知を設定する」を押す

ネットワーク暗証番号の入力画面が表示されます。

2 4 桁のネットワーク暗証番号を入力▶[決定]を押す

相手に電話番号を
通知しますか?

[1]通知する
[2]通知しない

決定

「[1] 通知する」　：発信者番号を通知します。
「[2] 通知しない」：発信者番号を通知しません。

3 「[1] 通知する」を押す

ネットワークに接続され、発信者番号通知を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 [決定]を押す

メニュー画面に戻ります。
● [終話]を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 電話をかけたとき、発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。
● 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合は、相手の電話番号がディスプレイに表示されます。相手の電話番号を電話帳に登録していると、登録している名前が表示されます。→ P119
● 次の場合は、通知されない理由（発信者番号非通知理由）が表示されます。

発信者番号非通知理由	意　味
非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外や一般電話から各種転送サービスを経由した場合など、発信者番号を通知できない状態で発信した場合（経由する電話会社によっては通知される場合もあります）

● 電話をかけるたびに、発信者番号を通知／非通知にすることができます。→ P74

設定内容を確認します

1 **待受画面で メニュー ▶「9 初めに行う設定」▶「1 発信者番号通知を使う」▶「2 発信者番号通知設定を確認する」を押す**

発信者番号通知の
設定を
確認しますか？
1確認する
2確認しない
決定

「1 確認する」　：設定内容を確認します。
「2 確認しない」：設定内容を確認しません。

2 **「1 確認する」を押す**

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。

3 **決定 を押す**

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

自分の電話番号を確認します ＜個人情報表示＞

自分のFOMA端末の電話番号（自局電話番号）や名前、メールアドレスなどを確認します。

● 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を使用できません。
→P193

1 **待受画面で メニュー ▶「0 自分の電話番号を見る」を押す**

個人情報(基本)
名称未登録
電話番号
090XXXXXXXX
メールアドレス
詳細　修正

● お買い上げ時は電話番号のみ表示されます。

■ **詳細情報を確認するとき**

① **決定 を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

② **4～8桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す**

詳細画面が表示されます。

- 決定　：基本画面と詳細画面を切り替えます。
- ：登録情報が複数ある場合に表示を切り替えます。

次ページへ続く

2 戻る を押す

メニュー画面に戻ります。

● ☎ を押すと待受画面に戻ります。

個人情報を登録・修正します

自分のFOMA端末の電話番号以外の電話番号や名前、メールアドレスなどを登録します。

● 登録できるのは次の項目です。

- 名前、フリガナ
- 電話番号（FOMA 端末の電話番号を含めて最大 3 件）
- メールアドレス（最大 3 件）

1 待受画面で メニュー ▶「0 自分の電話番号を見る」を押す

個人情報(基本)
名称未登録

電話番号
090XXXXXXXX
メールアドレス

詳細 修正

2 電話帳 ▶ 4 ～ 8 桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す

漢かな
個人情報登録
名前を
入力してください

メニュー 確定 ガイド

3 名前を入力 ▶ 決定 を押す

個人情報登録
松尾太郎

フリガナを
入力してください
ﾏﾂｵﾀﾛｳ

メニュー 確定 ガイド

入力した名前のフリガナが自動的に入力されています。
- 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。
- 全角で最大 16 文字、半角で最大 32 文字入力できます。

4 フリガナを確認 ▶ 決定 を押す

2 件目の電話番号を登録するかどうかの確認画面が表示されます。
- 半角カタカナ、半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。
- 半角で最大 32 文字入力できます。

5 「1 入力する」または「2 入力しない」を押す

- 「1 入力する」　：他の電話番号を登録します。
- 「2 入力しない」：他の電話番号を登録しません。操作 8 に進みます。

6 電話番号を入力 ▶ 決定 を押す

3 件目の電話番号を登録するかどうかの確認画面が表示されます。
- 最大 26 桁入力できます。

7 「1 入力する」または「2 入力しない」を押す

- 「1 入力する」　：他の電話番号を登録します。操作 6 を繰り返します。
- 「2 入力しない」：他の電話番号を登録しません。

8 メールアドレスを入力 ▶ 決定 を押す

2 件目のメールアドレスを登録するかどうかの確認画面が表示されます。
- 半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。
- 半角で最大 50 文字入力できます。
- 何も入力しないで 決定　：メールアドレスを入力しません。操作 10 に進みます。
- 英字入力モード時に 1 ：「@」「.」「-」など宛先によく使う記号を入力できます。
- 英字入力モード時に * ：「@docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。

次ページへ続く

9 「1 入力する」または「2 入力しない」を押す

- 「1 入力する」　：他のメールアドレスを登録します。操作 8 を繰り返します。
- 「2 入力しない」：他のメールアドレスを登録しません。個人情報を登録した旨のメッセージが表示されます。

10 決定を押す

基本画面に戻ります。

- （終話キー）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 自分の FOMA 端末の電話番号（自局電話番号）は FOMA カードに登録されています。それ以外の項目を登録すると、FOMA 端末に記録されます。
- 個人情報のメールアドレスを変更しても、ｉモードのメールアドレスは変更されません。また、ｉモードのメールアドレスを変更しても、個人情報のメールアドレスは自動的には変更されません。
- 個人情報（詳細）画面からも同様に操作できます。

電話のかけかた／受けかた

電話のかけかた

電話の受けかた

電話に出られないとき／出られなかったとき

電話をかけます

FOMA 端末では、音声のみで利用する音声電話と、映像を利用するテレビ電話の 2 種類の方法で電話をかけることができます。
ここでは、音声電話のかけかたを説明します。

- 通話中はアンテナ部分を手で覆わないでください。
- 相手の携帯電話の電源が入っていないとき、または相手が電波の届かない所にいるときには、音声ガイダンスで接続できないことをお知らせします。
- ダイヤル入力での発信を制限しているときには、緊急通報（110番、119 番、118 番）以外は電話番号を入力して電話をかけることはできません。
→ P195

1 待受画面で電話番号を入力する

一般電話にかける	市外局番－市内局番－電話番号 • 同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
携帯電話にかける	090 － XXXX － XXXX 080 － XXXX － XXXX
PHS にかける	070 － XXXX － XXXX

- 最大 80 桁入力できます。
- 戻る：電話番号を訂正できます。1 秒以上押すと待受画面に戻ります。

2 を押す

「プッププッ」という発信音が聞こえます。相手が出たらお話しください。

■「ツーツー」という音が聞こえたとき

相手がお話し中です。を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。→ P72

■ 発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえたとき

を押していったん発信を終了し、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。
→ P59、P74

3 お話しが終わったらを押す

- FOMA 端末を折り畳んでも電話を切ることができます。

お知らせ

- ●（電話ボタン）を押してから電話番号を入力しても、約5秒経過すると自動的に音声電話がかかります。
- ●発信者番号の通知／非通知を指定しないで電話番号を入力して電話をかけた場合は、発信者番号通知の設定に従って動作します。→P59
- ●複数の通信機能を同時に利用することができます（マルチアクセス）。→P571

はっきりボイスを設定します

騒音が多い中でも音声電話中の相手の声が強調されて聞き取りやすくなります。

- ●スピーカーホン機能使用中は、本機能を使用できません。
- ●はっきりボイスの設定内容は、通話終了後も保持されます。

1 通話中に（はっきりボイスボタン）を押す

通話中
はっきりボイスオン
（はっきりボイスボタン）ボタンでオフ
（カメラボタン）ボタンで
ゆっくりボイスオン
05秒
090XXXXXXXX
メニュー　保留　（音量）

- ●はっきりボイスを設定中に（はっきりボイスボタン）：
  はっきりボイスを解除します。

お知らせ

- ●本機能は音量を調節するものではありません。相手の声の音量は、受話音量で調節してください。→P86

ゆっくりボイスを設定します

音声電話中の相手の話す速度が調節されて聞き取りやすくなります。

- ●スピーカーホン機能使用中でも、本機能は使用できます。
- ●ゆっくりボイスの設定内容は、通話を終了すると解除されます。

1 通話中に（ボタン）（（カメラ））を押す

通話中
（はっきりボイスボタン）ボタンで
はっきりボイスオン
ゆっくりボイスオン
（カメラボタン）ボタンでオフ
05秒
090XXXXXXXX
メニュー　保留　（音量）

- ●ゆっくりボイスを設定中に（ボタン）（（カメラ））：
  ゆっくりボイスを解除します。

ゆっくりボイスとは

無音区間を利用して、相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節する機能です。

- ゆっくりボイスを設定すると、相手の声質が変化する場合があります。
- 相手が区切りのない話しかたをしたときなど、ゆっくりボイスが機能しない場合は、通常の速度に聞こえます。
- 時報や音楽などを聞くときは、ゆっくりボイスを設定しないでください。

スピーカーホン機能を使用して通話します

相手の声がスピーカーから聞こえる状態で音声電話をかけることができます。

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続中は、本機能を使用できません。
- FOMA 端末から約 50cm 以内の距離でお話しください。
- スピーカーホン機能を使用した通話に切り替えると、音量が急に大きくなりますので、FOMA 端末を耳から離して使用してください。
- スピーカーホン機能は、通話を終了すると解除されます。

1 待受画面で電話番号を入力▶ を１秒以上押す

音声電話がかかり、ディスプレイ上部に が表示されます。

- 発信中、呼出中、通話中に 、または通話中に 電話帳：
  受話口からの通話とスピーカーホン機能を使用した通話を切り替えます。

お知らせ

- 通話中、周囲や相手側の雑音が大きい場合は、聞き取りにくいことがあります。その場合は受話口からの通話に切り替えてください。

音声電話中に保留にします<通話中保留>

自分の声を相手に聞こえないように通話を保留にします。

- 保留中も、電話をかけた方に通話料金がかかります。
- 保留中に FOMA 端末を折り畳むと、電話は切れます。

1 通話中に決定を押す

通話保留中
ボタンで保留解除
19秒
090XXXXXXX
メニュー 解除

点滅します。

左の画面が表示され、着信ランプが点滅します。自分の FOMA 端末と相手にメロディ（エンターテイナー）が流れます。

- 決定または：保留を解除します。

お知らせ

- 保留中に流れるメロディ（エンターテイナー）は変更できません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続して保留中にFOMA端末を折り畳んだ場合は、保留は継続されます。

音声電話中の操作について

サブメニュー（→ P43）から次の操作ができます。

- 受話音量を調節することもできます。→ P34、P86

次ページへ続く

1通話を保留
2電話帳を見る
3着信履歴を見る
4ﾘﾀﾞｲﾔﾙを見る
5はっきりﾎﾞｲｽｵﾝ
6ゆっくりﾎﾞｲｽｵﾝ
7ｽﾋﾟｰｶｰで聞く
8日付時刻の設定
戻る 決定

「1 通話を保留」／「1 保留を解除」：
通話を保留または保留を解除します。→ P69

「2 電話帳を見る」　：電話帳を表示します。→ P134

「3 着信履歴を見る」　：着信履歴を表示します。→ P84

「4 リダイヤルを見る」：リダイヤルを表示します。→ P72

「5 はっきりボイスオン」／「5 はっきりボイスオフ」：
はっきりボイスを設定または解除します。→ P67
- 保留中はオン／オフを切り替えられません。

「6 ゆっくりボイスオン」／「6 ゆっくりボイスオフ」：
ゆっくりボイスを設定または解除します。→ P67
- 保留中はオン／オフを切り替えられません。

「7 スピーカーで聞く」／「7 受話口で聞く」：
スピーカーホン機能を設定または解除します。
→ P68
- 保留中はスピーカー／受話口を切り替えられません。

「8 日付時刻の設定」　：日付・時刻を設定します。→ P58

「0 自分の電話番号」　：自分の電話番号（自局電話番号）を表示します。
→ P61

プッシュ信号（DTMF）を送ります

FOMA 端末からプッシュ信号（DTMF）を送って、ご自宅の留守番電話や各種のプッシュホンサービスなどを操作できます。また、音声電話をかけるときにポーズやタイマーを入力することにより、番号を区切って送出することができます。

音声電話中にプッシュ信号（DTMF）を送ります

1 通話中に 0 〜 9 、* 、# を押す

ポーズ「P」を入力するには

1 電話番号の後に * を 1 秒以上押す

ポケットベル※へのメッセージ送信や自宅の留守番電話の操作、チケットの予約などに利用します。

● 電話番号の先頭に入力すると発信できません。

〈例〉「03XXXXXXXXP12345」で発信したとき
電話がつながった後に決定を押すと、ポーズ（「P」）以降の番号が送出されます。

タイマー「T」を入力するには

1 内線番号の前で #(改行/マナー) を１秒以上押す

外線番号に続けて内線番号を入力するときなどに利用します。外線番号と内線番号の間に「T」を入力することによって、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されます。

- タイマー１つにつき、約１秒の間隔をとります。
- タイマーは連続して入力できます。
- 電話番号の先頭に入力すると発信できません。

お知らせ

- プッシュ信号（DTMF）は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
- チケットの予約など、音声ガイダンスに従ってプッシュ信号（DTMF）を送出する必要がある場合には、スピーカーホン機能を使用すると便利です。この場合、スピーカーホン機能を使用した通話に切り替えた後で、プッシュ信号（DTMF）を入力してください。
- ポーズやタイマーを入れた電話番号をあらかじめ電話帳に登録しておくこともできます。

サブアドレスを指定して電話をかけます

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出します。

- サブアドレスとは、同じ電話番号内にある複数の電話機や通信機器の中から、特定の機器を呼び出すときに使う番号です（ISDN回線で、サブアドレスが振られている機器を複数接続している場合など）。
また、映像配信サービス「Vライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

1 電話番号の後に ＊ （サブアドレスの区切り）を押し、サブアドレスを入力する

2 （発信キー）を押す

- テレビ電話のときはテレビ電話を押します。

次ページへ続く

※：2001年1月から、ドコモのポケットベルは「クイックキャスト」に名称が変わりました。

お知らせ

- 電話番号の先頭に「＊」を入力した場合は、「＊」以降の番号はサブアドレスとして認識されず、「＊」を含んだ番号として発信されます。
- ポーズ（「P」）やタイマー（「T」）を入力した後に「＊」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「＊」を含んだプッシュ信号（DTMF）として送出されます。

前にかけた相手にかけ直します ＜リダイヤル＞

こちらからかけた電話を発信履歴（リダイヤル）として記録します。相手が話し中で電話がつながらなかった場合などに簡単な操作でかけ直せます。
日付時刻設定（→P58）で日付・時刻を設定していると、電話をかけた日時が記録されます。

- 最大30件記録されます。30件を超えた場合は、古いものから削除されます。
- 同じ電話番号に通知または非通知を設定してかけた場合は、それぞれ最新の1件のみが記録されます。
- シークレットモードで呼び出した電話番号へ発信した場合でも、リダイヤルには相手の電話番号が表示されます。その電話番号を他の人に知られたくないときは、リダイヤルを削除してください。
- 履歴の表示を制限しているときには、本機能を使用できません。→P193
- 個人の情報表示を制限していたり、ダイヤル入力での発信を制限していると、リダイヤルは削除されます。ただし、設定後にかけた電話はリダイヤルに記録され、リダイヤルから電話をかけることができます。→P193、P195
- リダイヤルから i モードメールを作成することができます。→P73 操作 2

1 待受画面で ▶ を押してかけ直すリダイヤルを表示する

画面表示	説明
リダイヤル01	リダイヤルの番号
9月15日 木曜日 / 13時23分 / 音声電話	電話をかけた日付、曜日、時間、発信の種別（音声電話／テレビ電話）が表示されます。
090XXXXXXXX	電話番号が表示され、電話帳に登録しているときは名前も表示されます。→P119
発番通知あり	発信者番号の通知／非通知が表示されます。→P59、P74
メニュー / ガイド	

2 [通話キー]を押す

音声電話がかかります。

● [テレビ電話]：テレビ電話をかけます。

■ iモードメールを作成するとき

[メニュー]▶「9 メールを作る」を押す

リダイヤルの電話番号をメールアドレスとともに電話帳に登録している場合は、その1件目のメールアドレスを宛先にしたメール作成画面（→P325）が表示されます。それ以外の場合は、リダイヤルの電話番号を宛先にしたメール作成画面が表示されます。

リダイヤルを削除します

1件ずつ、またはすべてのリダイヤルをまとめて削除できます。

1 待受画面で[左方向キー]▶[メールキー][下方向キー]を押して削除するリダイヤルを表示する

リダイヤルの表示画面が表示されます。

2 [メニュー]▶「8 削除する」を押す

削除するリダイヤルを選んでください
1 選択1件
2 全件
決定

「1 選択1件」：表示していた1件を削除します。
「2 全件」　：リダイヤルを全件削除します。

3 「1 選択1件」または「2 全件」を押す

選択した／全てのリダイヤルを削除した旨のメッセージが表示されます。

4 [決定]を押す

リダイヤルの表示画面に戻ります。リダイヤルがない場合や、全件削除した場合は、待受画面に戻ります。

● [終話キー]を押すと待受画面に戻ります。

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にします＜186／184＞

電話をかけるときに相手の電話番号の前に特定の番号を付けることで、自分の電話番号を相手に通知するか通知しないかを選択できます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。
- 相手の電話機がデジタル携帯電話など、発信者番号表示が可能なときに表示されます。
- 自分の電話番号を相手に通知するかどうかを設定するには、次の方法があります。
  - 電話をかけるときの発信者番号の通知／非通知をあらかじめ一括して設定→P59
  - 電話番号の前に「186」または「184」を付けて発信者番号の通知／非通知を設定→下記
  - 電話をかけるときに発信者番号の通知／非通知をサブメニューから設定→P75

「186」／「184」を付けて電話をかけます

「186」を付けて発信します

相手に電話番号を通知します。

1 **待受画面で 1 8 6 ▶ 相手の電話番号を入力する**

2 **（発信キー）を押す**

電話がかかります。

- テレビ電話：テレビ電話をかけます。

3 お話しが終わったら[終話キー]を押す

● FOMA 端末を折り畳んでも電話を切ることができます。

「184」を付けて発信します

相手に電話番号を通知しません。

1 待受画面で[1][8][4]▶相手の電話番号を入力する

2 [発信キー]を押す

電話がかかります。

● [テレビ電話]：テレビ電話をかけます。

3 お話しが終わったら[終話キー]を押す

● FOMA 端末を折り畳んでも電話を切ることができます。

サブメニューから通知／非通知を設定します

電話番号を入力してから発信者番号の通知／非通知を設定します。リダイヤルや着信履歴などから電話をかけるときにも設定できます。

〈例〉発信者番号を通知して音声電話をかけるとき

1 待受画面で電話番号を入力▶[メニュー]を押す

「3 通知で音声電話」：発信者番号を通知して音声電話をかけます。

「4 非通知音声電話」：発信者番号を通知しないで音声電話をかけます。

「5 通知でテレビ電話」：発信者番号を通知してテレビ電話をかけます。

「6 非通知テレビ電話」：発信者番号を通知しないでテレビ電話をかけます。

次ページへ続く

2 「3 通知で音声電話」を押す

発信しています

[発番号通知]

090XXXXXXXX

音声電話がかかります。

● テレビ電話をかけるときは、「5 通知でテレビ電話」または「6 非通知テレビ電話」を押し、通信速度（→P102）の選択画面から「1 64Kテレビ電話」または「2 32Kテレビ電話」を押します。

お知らせ

● 電話をかけたとき、発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。
● 複数の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次のような順位（①→③）で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知の発信が異なる場合があります。
①相手の電話番号に「186」または「184」を付けた場合
②発信時にサブメニューから番号通知方法を選択した場合
③発信者番号通知の設定をした場合
● 相手の電話番号に「186」または「184」を付けて発信した場合、リダイヤルにはその番号がついた電話番号が記録されます。

国際電話を利用します ＜WORLD CALL＞

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

● 通話方法

0 0 9 1 3 0 ▶ 0 1 0 ▶ 国番号▶市外局番▶相手の電話番号▶ (発信) を押す

※上記の操作方法をFOMA端末の電話帳に登録できます。
※市外局番が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

● 通話先は世界約220の国と地域です。
● 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせてご請求します。
● 申込手数料・月額使用料はかかりません。
※FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

●一部ご利用になれない料金プランがあります。
●国際電話ダイヤル手順の変更について
携帯電話などの移動体通信は、電話会社選択サービス「マイライン」のサービス対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」をご利用いただけませんが、「マイライン」の導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（上記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
●詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
※ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、上記ダイヤル方法の後にテレビ電話モード（発信時に(テレビ電話)を押す）で発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
●接続可能な国および通信事業者等の情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
●国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

簡単な方法で国際電話をかけます

1 **待受画面で国番号を含めた電話番号を入力する**

ボタンで音声電話
(テレビ電話)ボタンでテレビ電話
86XXXXXXXX
メニュー

2 (メニュー)▶「7 ワールドコール」を押す

ボタンで音声電話
(テレビ電話)ボタンでテレビ電話
0091300
1086XXXXXXXX
メニュー

電話のかけかた／受けかた WORLD CALL

次ページへ続く

3 を押す

国際電話がかかります。
- テレビ電話：国際電話をテレビ電話でかけます。

4 お話しが終わったらを押す

- FOMA 端末を折り畳んでも電話を切ることができます。

お知らせ
- 国番号を含めた電話番号をあらかじめ電話帳に登録しておくと、簡単に国際電話をかけることができます。→P120

途切れた電話を再接続するときのアラームを設定します<再接続アラーム>

お買い上げ時　高音で鳴らす

トンネルやビルの陰などで電波状態が悪くて途切れた音声電話やテレビ電話を、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラームを設定します。
- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
- 利用状態や電波状態により、再接続されるまでの時間は異なります。目安は最長10秒間です。
- 再接続されるまでの時間（最長10秒間）も通話料金がかかります。
- 利用状態や電波状態により、アラームが鳴らずに通話が切れてしまう場合があります。

1 待受画面でメニュー▶「# 詳細な機能を設定する」▶「3 音を設定する」▶「5 再接続した時の音を選ぶ」を押す

再接続した時の
アラーム音を
選んでください
1高音で鳴らす
2低音で鳴らす
3鳴らさない
決定

「1 高音で鳴らす」：アラームを高音で鳴らします。
「2 低音で鳴らす」：アラームを低音で鳴らします。
「3 鳴らさない」　：アラームを鳴らしません。

2 「1 高音で鳴らす」～「3 鳴らさない」のいずれか1つの番号を押す

アラーム音を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

● ☎ を押すと待受画面に戻ります。

車の中で手を使わずに話します＜車載ハンズフリー＞

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。

● ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01（別売）をご利用時には、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

お知らせ

● 着信時のディスプレイ表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。ただし、ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA端末でマナーモード中や着信音設定を「鳴らさない」に設定していても、電話がかかってくるとハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
● ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA端末を折り畳んでも通話は継続されます。
● 公共モード中の着信動作は、公共モードの設定に従います。
● 伝言メモ設定中の着信動作は、伝言メモの設定に従います。
● ハンズフリー対応機器から電話帳やリダイヤルを利用してテレビ電話をかけた場合、ハンズフリー対応機器からの通信速度設定に従います。設定されていない場合は、64K固定でテレビ電話を発信します。
● ハンズフリー対応機器からテレビ電話をかけたり受けたりした場合、相手には代替画像が送信されます。

電話を受けます

ここでは、音声電話の受けかたを説明します。
● FOMA 端末を開くだけでは電話に出ることはできません。

1 電話がかかってくる

着信しています
ボタンで通話
090XXXXXXXX
メニュー

着信音が鳴り、ディスプレイの照明が点灯して、着信ランプと が点滅します。
● FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「電話です」が点滅表示されます。→P39

2 を押す

通話中
ボタンで はっきりボイスオン
ボタンで ゆっくりボイスオン
05秒
090XXXXXXXX
メニュー　保留

お話しください。
ディスプレイには通話時間が表示されます。

3 お話しが終わったら を押す

● FOMA 端末を折り畳んでも電話を切ることができます。

ディスプレイの表示について

相手からの発信状況やFOMA端末の設定に従って、電話番号や名前、画像などがディスプレイに表示されます。
● 電話番号が通知されたときは、背面ディスプレイにも電話番号や電話帳に登録している名前が表示されます。電話番号が通知されていないときは、発信者番号非通知理由が表示されます。
• 背面ディスプレイに情報を表示しないように設定できます。→ P172

■ 相手が電話番号を通知してきたとき

着信しています
ボタンで通話
090XXXXXXXX
メニュー

相手の電話番号を電話帳に登録していない場合は、相手の電話番号が表示されます。

- 着信音に映像のある動画／ｉモーションを設定している場合は、その映像が表示されます。

着信しています
ボタンで通話
橋本花子
メニュー

相手の電話番号を電話帳に登録している場合は、相手の名前と電話番号が表示されます。→P119

- ワンタッチダイヤルに登録している場合は、相手の名前とワンタッチダイヤルに設定した着信画像が表示されます。→P145
- ワンタッチダイヤルの着信音に映像のある動画／ｉモーションを設定している場合は、その映像が表示されます。動画／ｉモーションが音声のみ（歌手の歌声など映像のないｉモーション）の場合は、ワンタッチダイヤルに設定した着信画像が表示されます。

■ 相手の都合で電話番号が通知されなかったとき

着信しています
ボタンで通話
非通知設定
メニュー

通知されなかった理由が表示されます。→P60

- 音声電話がかかってきた場合、非通知理由別着信設定で設定した着信動作が優先されます。→P199

音声電話着信中の操作について

着信音が鳴っている間にサブメニュー（→P43）から次の操作ができます。
通話中着信動作選択（→P516）を「通常着信する」に設定していると、音声電話中に別の音声電話がかかってきたときも同様に操作できます。

サブメニュー	説　明
1 伝言メモ※1	伝言メモで応対します（クイック伝言メモ）。
2 留守番電話※2	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
3 転送でんわ※3	かかってきた電話を転送登録先へ転送します。
4 着信拒否	電話が切れます。相手側に通話料金はかかりません。

次ページへ続く

※１：通話中に別の電話がかかってきたときは選択できません。
※２：留守番電話サービスをご契約いただき、音声電話がかかってきた場合のみ有効です。
※３：転送でんわサービスをご契約いただき、転送先を登録している場合に有効です。
● 着信音量を調節することもできます。→P34、P88

音声電話中に「ププ…ププ…」という音（通話中着信音）が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただくと、音声電話中に別の音声電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえます。このとき、次の動作が可能です。

ご契約の内容	動　作
留守番電話サービス※	留守番電話サービスセンターに接続します。→P501
キャッチホン	通話中の音声電話を保留にして、かかってきた電話に応答します。→P504
転送でんわサービス※	転送登録先へ転送します。→P507

※：通話中着信設定を「開始する」に設定し、通話中着信動作選択を「通常着信する」に設定した場合に限り、選択できます。→P516、P517

お知らせ

- 電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときに、着信音などの呼出動作をすぐに開始しないように設定したり（→P201）、着信を拒否したり（→P203）できます。
- 電話帳に登録している相手に対して、着信拒否を設定できます。→P196
- ｉモード中でも音声電話の着信を受けることができます。電話を切ると、通話前に表示していたｉモードの画面に戻ります。
- 複数の通信機能を同時に利用することができます（マルチアクセス）。→P571
- FOMA端末から転送された電話がかかってきた場合は、着信画面の左下に転送元の電話番号が「転：XXX…」のように表示されます。転送元の電話番号を電話帳に登録していても、名前は表示されません。ただし、転送元によっては、転送元の電話番号が表示されないことがあります。着信音に映像のある動画／ｉモーションを設定している場合や、ワンタッチダイヤルに発信元の電話番号を登録していて、着信画像を設定している場合は、転送元の電話番号は表示されません。
- 音声電話中にメールを受信すると受信中に✉、メッセージR/Fを受信すると受信中にR/Fがディスプレイ上部に点滅表示されます。メールの受信が完了した場合は、ディスプレイ上部に📫が表示されます。電話を切って待受画面に戻ると、メールを受信した場合は未読メールがあることを示す✉、メッセージR/Fを受信した場合は未読のメッセージR/FがあることをR/Fがディスプレイ下部に表示されます。また、メールやメッセージRを受信した場合は新着情報も表示されます。→P37
- 国際電話を着信した場合、発信者番号の先頭に「＋」が表示されます。
- ビル電話やPBXなど、ダイヤル市外通話のできない電話機からは、FOMA端末へ電話をかけられません。

自動で電話を受けます
<オートスピーカーホン機能>

お買い上げ時 解除する

音声電話がかかってきて着信音が約４秒間鳴った後、自動で電話を受けるように設定します。電話を受けるとスピーカーから相手の声が聞こえます。

- スピーカーホン機能を使用するときには、FOMA端末から約50cm以内の距離でお話しください。
- 本機能を設定すると、音量が大きくなりますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。
- 公共モード中またはマナーモード中は、本機能は動作しません。→P91、P168

1 待受画面でメニュー▶「# 詳細な機能を設定する」▶「2 電話・電話帳の詳細を設定する」▶「8 オートスピーカーホンを設定する」を押す

オートスピーカーホンを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 設定する」を押す

オートスピーカーホンを設定した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 解除する」：オートスピーカーホン機能を解除します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- 終話キーを押すと待受画面に戻ります。
- オートスピーカーホンの設定中はディスプレイ上部にAUTOアイコンが表示されます。

お知らせ

- 本機能はテレビ電話には対応していません。
- 電話を受けた後の動作は、スピーカーホン機能を使用した通話と同様です。→P68
- 次の場合は、本機能を設定していても動作しません。
  - 自動的に電話がつながる前に通話キーを押して電話を受けた場合
  - 通話中に電話がかかってきた場合
  - FOMA端末を折り畳んでいる場合
  - 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や外部機器などを接続中の場合
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスを開始に設定している場合、設定した時間によって動作の優先が異なります。
- 発信者番号通知のない相手に対する着信動作(→P199)、着信を拒否／許可する相手(→P196)、電話帳登録外の着信の拒否（→P203）を設定中は、着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。
- 本機能と伝言メモを同時に設定している場合、設定した時間によって動作の優先が異なります。
- 本機能と無音着信時間設定（→P201）を同時に設定している場合、無音着信時間を４秒以上に設定すると、本機能は動作しません。

着信履歴を利用します＜着信履歴＞

かかってきた電話に応答した履歴や、電話に出なかったとき（不在着信）の履歴を記録しておく機能です。伝言メモに録音されたときも記録されます。
日付時刻設定（→P58）で日付・時刻を設定していると、電話がかかってきた日時が記録されます。また、電話番号が通知されたときは、その番号も記録されます。

- 最大30件記録されます。30件を超えた場合は、古いものから削除されます。
- 不在着信の場合は、着信してから相手が呼び出しを止めるまでの時間（呼出時間）が表示されます。覚えのない番号からの不在着信があった場合、着信履歴を残す目的だけの迷惑電話（「ワン切り」など）なのかどうかを確認できます。
- 履歴の表示を制限しているときには、本機能を使用できません。→P193
- 個人の情報表示を制限すると、着信履歴は削除されます。ただし、設定後にかかってきた電話は着信履歴に記録され、着信履歴から電話をかけることができます。→P193
- ダイヤル入力での発信を制限すると、着信履歴は削除されます。ただし、設定後にかかってきた電話は着信履歴に記録され、「制限しない」に設定すると着信履歴から電話をかけることができます。→P195

〈例〉着信履歴から電話をかけるとき

1 待受画面で ▶ を押して目的の着信履歴を表示する

着信履歴01　不在
9月15日　木曜日
13時23分
音声電話
橋本花子
090XXXXXXX
呼出：8秒
メニュー　ガイド

- 着信履歴の番号
- 不在着信の場合は「不在」、伝言メモが録音されている場合は「伝言」が表示されます。
- 電話がかかってきた日付、曜日、時間、着信の種別（音声電話／テレビ電話／64Kデータ通信）が表示されます。
- 電話番号が表示され、電話帳に登録しているときは名前も表示されます。→P119
  発信者番号が非通知の場合は発信者番号非通知理由が表示されます。→P60
- 不在着信の場合は呼出時間が表示されます。

- 無音着信時間内の不在着信（→P201）のみが着信履歴に記録されている場合、待受画面でを押すと、表示されていない着信履歴がある旨の確認画面が表示されます。

2 [通話キー]を押す

音声電話がかかります。

● テレビ電話：テレビ電話をかけます。

■ iモードメールを作成するとき

メニュー▶「9 メールを作る」を押す

着信履歴の電話番号をメールアドレスとともに電話帳に登録している場合は、その1件目のメールアドレスを宛先にしたメール作成画面（→P325）が表示されます。それ以外の場合は、着信履歴の電話番号を宛先にしたメール作成画面が表示されます。

かかってきた電話に出なかったとき（不在着信）

かかってきた電話に出なかったときは、待受画面に新着情報（→P37）と[アイコン]が表示されます。

また、FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに **着信** が表示されます。

お知らせ

- 無音着信時間内の不在着信を表示する場合は、着信履歴の表示画面でメニュー▶「0表示切替」▶「2 呼出なし着信」を押します。通常の着信履歴表示に戻す場合は、メニュー▶「0 表示切替」▶「1 呼出あり着信」を押します。
- 会社などでダイヤルインをご利用の相手からの着信の場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示されることがあります（ダイヤルインとは、1本の回線で着信用の電話番号を複数持てるサービスです）。

着信履歴を削除します

1件ずつ、またはすべての着信履歴をまとめて削除できます。

1 待受画面で[キー]▶[キー][キー]を押して削除する着信履歴を表示する

着信履歴の表示画面が表示されます。

次ページへ続く

2 メニュー ▶「8 削除する」を押す

削除する
着信履歴を
選んでください
1選択１件
2全件
決定

「1 選択１件」：表示していた１件を削除します。
「2 全件」　：着信履歴を全件削除します。

3 「1 選択１件」または「2 全件」を押す

選択した／全ての着信履歴を削除した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

着信履歴の表示画面に戻ります。着信履歴がない場合や、全件削除した場合は、待受画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

相手の声の音量を調節します ＜受話音量＞

お買い上げ時　音量４

相手の声の大きさを調節します。

● 音量１（最小）～音量６（最大）の６段階で調節できます。
● 受話音量は電源を切っても保持されます。

通話中に調節します

1 通話中に または音量ボタン（ ）を押す

相手の声の音量を
調節してください
大
小
音量4
決定

2 [メール][テレビ][左][右]または音量ボタン（[△][▽]）を押して音量を調節する

● 次のボタンを押して音量を調節できます。

<マルチカーソルボタンを使うとき>　<音量ボタンを使うとき>

大きくする
小さくする
大きくする
小さくする

● [決定]、[戻る]、[終話]を押すか、ボタンの操作を止めてしばらくすると音量が設定され、通話中の画面に戻ります。

お知らせ

● テレビ電話中の音量調節は音量ボタンのみ有効です。
● 受話音量は、ボタン確認音や伝言メモの再生音量にも反映されます。

待受中に調節します

1 待受画面で[メニュー]▶「[2]電話・電話帳を使う」▶「[6]相手の声の音量を調節する」を押す

相手の声の音量を
調節してください
大▲
▼小
音量4
決定

2 [メール][テレビ][左][右]または音量ボタン（[△][▽]）を押して音量を調節し、[決定]を押す

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 [決定]を押す

メニュー画面に戻ります。
● [終話]を押すと待受画面に戻ります。

着信音の音量を調節します ＜着信音量＞

お買い上げ時 音量 4

●消音、音量 1 ～音量 6 の 7 段階で調節できます。待受中は「だんだん大きく」にも設定できます。
●待受中に変更した着信音量は、電源を切っても保持されます。

着信中に調節します

1 着信中に または音量ボタン（ ）を押す

電話の呼出音量を調節してください
大 小 音量4
決定

●音量 1 のときに ／ ／ : 「消音」に設定します。

2 または音量ボタン（ ）を押して音量を調節する

●次のボタンを押して音量を調節できます。

＜マルチカーソルボタンを使うとき＞

メニュー 電話帳 決定 音量
大きくする
小さくする

＜音量ボタンを使うとき＞

大きくする
小さくする

待受中に調節します

1 **待受画面で（メニュー）▶「2 電話・電話帳を使う」▶「5 電話を受けた時の音量を調節する」を押す**

電話の呼出音量を
調節してください
大 小 音量4
決定

2 **または音量ボタン（ ）を押して音量を調節し、決定を押す**

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 音量６のときに ／ ／ ：
  「だんだん大きく」（消音→音量１→…→音量６）に設定します。
- 音量１のときに ／ ／ ：
  「消音」に設定します。

3 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 着信音量を消音に設定しているときは、待受画面にＳが表示されます（S:SILENT（サイレント））。また、同時に電話のバイブレータを設定中は、SVが表示されます。
- 着信音量は、電池残量確認音および予定を通知する音声の音量にも反映されます。
- 着信音量を消音に設定しても、電話がかかってきたときにディスプレイのメッセージ表示の他に、バイブレータの振動や背面ディスプレイのメッセージ表示でお知らせするように設定できます。→P163、P172

すぐに電話に出られないとき保留にします<応答保留>

●応答保留中でも相手側には通話料金がかかります。

1 着信中に[通話キー]を押す

応答保留になります。相手には「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」という応答保留ガイダンスが流れます。

●テレビ電話の場合は、相手には応答保留ガイダンスとともにテレビ電話応答保留画像が送信されます。

応答保留中
[通話キー]ボタンで保留解除
15秒
090XXXXXXXX
解除

＜音声電話応答保留中＞

応答保留
AV ×1
音量5
応答保留
1分15秒

＜テレビ電話応答保留中＞

●応答保留中にFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイに「応答保留中」または「テレビ電話応答保留中」が表示されます。

●応答保留中に[通話キー]を押すか、相手が電話を切ると、通話は切れます。

2 電話に出られる状態になったら[通話キー]を押す

●音声電話の応答保留中に[通話キー]　：保留を解除します。

●テレビ電話の応答保留中に[テレビ電話]：保留を解除しカメラ映像を送信します。

●テレビ電話の応答保留中に[通話キー]　：保留を解除しカメラオフ画像(→P109)を送信します。

お知らせ

●オートスピーカーホン機能を設定中は、着信してからオートスピーカーホン機能が動作するまでの約4秒間に応答保留の操作を行ってください。→P83

運転中や公共の場で電話を受けないようにします＜公共モード（ドライブモード／電源OFF）＞

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（ドライブモード）を設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、切断されます。公共モード（電源OFF）を設定すると、FOMA端末の電源を切っている間の着信時に電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、切断されます。サービスエリア外や電波の届かない所にいる場合もガイダンスは流れます。

● 公共モード（ドライブモード）の設定や解除は、ディスプレイ上部に「圏外」が表示されているときでも可能です。
● 公共モード（ドライブモード）中でも、通常どおり電話をかけることができます。
● 公共モード（ドライブモード）は、データ通信中は利用できません。
● 詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

設定します

公共モード中は、次のように動作します。

● 次の音が鳴りません。また、バイブレータや着信ランプも動作しません。
- 電話および64Kデータ通信の着信音
- メールやメッセージR/Fの着信音
- 目覚ましのアラーム音
- 予定のアラーム音

● メールやメッセージR/Fを受信しても、受信中画面や受信結果画面は表示されません。ただし、iモード問合せを行った場合は、受信中画面や受信結果画面が表示されます。また、このときにメールやメッセージR/Fを受信すると受信中画面が表示され、受信が完了すると受信結果画面が更新されます。
● FOMA端末を折り畳んでいる場合に、電話の着信、メールやメッセージR/Fを受信したときなどは、背面ディスプレイに新着情報が表示されます。
● 音声電話がかかってきたときは相手に公共モード（ドライブモード／電源OFF）のガイダンスが流れ、電話が切れます。テレビ電話がかかってきたときは相手に公共モードの映像ガイダンスが表示され、電話が切れます。公共モード（ドライブモード）中は自分のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には新着情報（→P37）が表示され、着信履歴に記録されます。

〈例〉公共モード（ドライブモード）を設定するとき

1 待受画面で[*]を1秒以上押す

「ドライブモードを設定しました」と表示されます。

●公共モード（電源OFF）を設定するには、待受画面で[*][2][5][2][5][1][発信]を押します（待受画面上の変化はありません）。公共モード（電源OFF）の設定を確認するには待受画面で[*][2][5][2][5][9][発信]を押します。

2 [決定]を押す

待受画面に戻ります。

●本機能を設定中は待受画面に🚗が表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに🚗が表示されます。

解除します

1 公共モード（ドライブモード）中に待受画面で[*]を1秒以上押す

「ドライブモードを解除しました」と表示されます。

●公共モード（電源OFF）を解除するには、待受画面で[*][2][5][2][5][0][発信]を押します。

2 [決定]を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- 緊急通報（110番、119番、118番）をすると、本機能は解除されます。
- 公共モード中は次の機能は動作しません。
  - マナーモード
  - 伝言メモ
  - オートスピーカーホン機能
- 公共モード中にｉモードを利用している場合は、電話がかかってくると次の動作の後に電話が切れます。着信履歴には記録されます。
  - 音声電話の場合は、相手に公共モードのガイダンスが流れます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを利用している場合は、それぞれの着信動作になります。
  - テレビ電話の場合は、通話中である旨のメッセージが表示されます。

ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード／電源OFF）中の着信動作

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に公共モードのガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※1	相手に公共モードの映像ガイダンスが表示されず、留守番電話サービスセンターにも接続されずに切断されます。
転送でんわサービス	相手に公共モードのガイダンスが流れた後、転送先に転送されます。※1 相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されずに、転送先に転送されます。※2 転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は切断されます。
キャッチホン※3	• 音声電話中の場合、相手に公共モードのガイダンスが流れた後、切断されます。 • テレビ電話中の場合、相手に話中音が流れた後、切断されます。	相手に公共モードの映像ガイダンスが表示された後、切断されます。
迷惑電話ストップサービス	相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否のガイダンスが流れた後、切断されます。※4	相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。※4
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードのガイダンスが流れた後、切断されます。	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが表示された後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、公共モードの映像ガイダンスが表示された後、切断されます。

※１：留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定している場合は、公共モードのガイダンスは流れず、着信も記録されません。
※２：転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定している場合は、着信が記録されません。
※３：公共モード（電源OFF）には対応していません。
※４：着信が記録されません。

電話に出られないときに用件を録音します<伝言メモ>

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の用件を録音します。
日付時刻設定（→P58）で日付・時刻を設定していると、用件を録音した日時も自動的に記録されます。また、電話番号が通知されたときは、その番号なども記録されます。

● 音声電話とテレビ電話を合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音できます。
● テレビ電話に伝言メモで応答した場合、音声電話と同様に音声のみ録音されます。
● 個人の情報表示を制限しているときや、履歴の表示を制限しているときには、本機能を使用できません。→P193
● 伝言メモの内容は、別にメモを取るなどして保管してください。FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによって、録音内容が消失してしまう場合があります。万一、録音内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

次ページへ続く

伝言メモを設定します

お買い上げ時 停止する

1 待受画面で［伝言メモキー］を1秒以上押す

伝言メモを設定した旨のメッセージが表示されます。

2 決定を押す

待受画面に戻ります。

- ［終話キー］を押しても待受画面に戻ります。
- 伝言メモの設定中は待受画面に［伝言メモアイコン］が表示されます。
- 本機能を停止する場合は待受画面で［伝言メモキー］を1秒以上押して決定を押します。

お知らせ

- 伝言メモが4件録音されると、待受画面に［Fullアイコン］が表示されます。このマークは、これ以上伝言メモを録音できないという意味です。伝言メモを停止してもマークは消えません。
- 伝言メモがすでに4件録音されている場合は、伝言メモを設定できません。不要な伝言メモを削除してから操作をやり直してください。→P100

伝言メモを設定したときは

- 伝言メモを設定していても電話を受けられます。

1 電話がかかってくる

伝言メモ応答中
橋本花子
090XXXXXXXX

呼出時間の設定に従って着信音が鳴った後、伝言メモ応答中の画面が表示され、相手には伝言メモ応答メッセージが流れます。

- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「伝言メモ起動中」または「テレビ電話伝言メモ中」が表示されます。
- 音声電話またはテレビ電話着信中／応答中に［通話キー］：
  音声電話、またはカメラオフ画像（→P109）でテレビ電話を受けます。
- テレビ電話着信中／応答中にテレビ電話：
  テレビ電話を受けます。

2 相手のメッセージが録音される

録音終了までの目安が表示されます。

＜音声電話伝言メモ録音中＞

録音終了までの目安が表示されます。

＜テレビ電話伝言メモ録音中＞

- 録音の開始時と終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。また、録音開始時から約25秒後に、録音終了予告音（ピピッ）が鳴ります。
- 音声電話またはテレビ電話伝言メモ録音中に（電話キー）：
  音声電話、またはカメラオフ画像（→P109）でテレビ電話を受けます。それまでの録音内容は記録されません。
- テレビ電話伝言メモ録音中に テレビ電話 ：
  テレビ電話を受けます。それまでの録音内容は記録されません。

3 録音が終了すると、電話が切れる

伝言メモが録音されると、待受画面に新着情報（→P37）と（伝言メモアイコン）が表示されます。

- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに 伝言 が表示されます。

お知らせ

- 圏外が表示されているときは、伝言メモ機能は動作しません。留守番電話サービス（有料）をご利用ください。
- 伝言メモがすでに4件録音されている場合は、伝言メモ機能は動作せずに着信音が鳴り続けます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定している場合は、各サービスが動作します。
- 電波の状態により、録音内容が途切れる場合があります。
- 伝言メモが録音された場合でも、着信履歴に記録されます。
- 伝言メモ録音中に別の電話がかかってきた場合は、着信を拒否して録音を継続します。

録音が始まるまでの時間を設定します<呼出時間設定>

お買い上げ時　8 秒

電話がかかってきてから応答メッセージが流れるまでの時間を設定します。

1 **待受画面で（メニュー）▶「2 電話・電話帳を使う」▶「7 伝言メモを使う」▶「2 伝言メモを設定する」▶「3 呼出時間設定」を押す**

伝言メモの
呼出時間を
設定してください
(0～120秒)

8 秒

確定

2 **呼出時間を入力▶（決定）を押す**

呼出時間を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 0 ～ 120 秒の範囲で設定できます。

3 **（決定）を押す**

メニュー画面に戻ります。

- （終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 留守番電話サービスや転送でんわサービスと伝言メモを同時に設定している場合、各サービスの呼出時間設定で設定した時間により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの呼出時間を各サービスの呼出時間設定よりも短く設定してください。ただし、電波状態によっては伝言メモが優先されないことがあります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続時に自動で着信する設定の応答時間と、伝言メモの呼出時間は同じ時間に設定できません。→ P494
- 本機能とオートスピーカーホン機能を同時に設定している場合、本機能の呼出時間を 3 秒以下に設定していると本機能が動作します。→ P83
- 無音着信時間の設定に関わらず、着信した時点から伝言メモの呼出時間がカウントされます。→ P201

伝言メモの応答メッセージを選択します<伝言メモメッセージ選択>

お買い上げ時　標準

● 応答メッセージは、次の 3 種類から選択できます。

種　類	内　容
1 標準	ただいま、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30秒以内でメッセージをお話しください。なお、テレビ電話の場合でも、音声メッセージのみのお預かりとなります。
2 会議中用	会議中のため、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30 秒以内でメッセージをお話しください。なお、テレビ電話の場合でも、音声メッセージのみのお預かりとなります。
3 移動中用	移動中のため、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30 秒以内でメッセージをお話しください。なお、テレビ電話の場合でも、音声メッセージのみのお預かりとなります。

1 待受画面で（メニュー）▶「2 電話・電話帳を使う」▶「7 伝言メモを使う」▶「3 伝言メモの応答メッセージを選ぶ」を押す

伝言メモの
応答メッセージを
選んでください

1標準
2会議中用
3移動中用

決定　再生

● （電話帳）：応答メッセージを再生します。
● 応答メッセージ再生中に（メール）（テレビ）または音量ボタン（△▽）：
再生中の応答メッセージの音量を調節します。

2 「1 標準」～「3 移動中用」のいずれか 1 つの番号を押す

伝言メッセージを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。
● （終話）を押すと待受画面に戻ります。

着信中の電話に出られないときに用件を録音します<クイック伝言メモ>

伝言メモが停止中でも、着信中に操作を行うと、その着信に限り伝言メモを動作させることができます。

● この操作は、伝言メモを設定するものではありません。

1 電話がかかってくる ▶ メニュー を押す

1伝言メモ
2留守番電話
3転送でんわ
4着信拒否

戻る　決定

2 「1 伝言メモ」を押す

伝言メモ応答中

橋本花子

090XXXXXXXX

伝言メモ応答中の画面が表示され、相手のメッセージが録音されます。

伝言メモを再生／削除します

● 未確認の伝言メモがあるときは、待受画面に新着情報（→P37）とが表示されます。

● 個人の情報表示を制限しているときや、履歴の表示を制限しているときには、本機能を使用できません。→P193

伝言メモを再生します

1 待受画面で［下キー］を押す

伝言メモ
　２件あります
決定

●伝言メモが録音されていない場合は、伝言メモがない旨のメッセージが表示されます。

2 決定を押す

伝言メモ１
9月15日　木曜日
13時23分
音声電話
橋本花子
090XXXXXXXX
メニュー　決定　ガイド

伝言メモの番号

伝言メモを録音した日付、曜日、時間、着信の種別（音声電話／テレビ電話）が表示されます。

電話番号が表示され、電話帳に登録している場合は名前も表示されます。→P119
発信者番号が非通知の場合は、発信者番号非通知理由が表示されます。→P60

3 ［上キー］［下キー］を押して再生する伝言メモを表示▶決定を押す

伝言メモ再生中
橋本花子
090XXXXXXXX
停止

時間経過の目安が表示されます。

伝言メモが再生されます。

- 決定：伝言メモの再生を途中で停止します。
- ［上キー］［下キー］または音量ボタン（［△］［▽］）：
  再生中の伝言メモの音量を調節します。
- ［通話キー］：伝言メモがスピーカーから聞こえるようになります。

再生が終了すると、伝言メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1 削除する」または「2 削除しない」を押す

■ 削除するとき

①「1 削除する」を押す
伝言メモを削除した旨のメッセージが表示されます。

次ページへ続く

② 決定 を押す

次の伝言メモの表示画面が表示されます。

- 次の伝言メモがない場合は待受画面に戻ります。

■ 削除しないとき

「2 削除しない」を押す

伝言メモの表示画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 伝言メモの表示画面でを押すと音声電話、テレビ電話を押すとテレビ電話をかけることができます。また、サブメニューから発信者番号通知／非通知を設定して音声電話やテレビ電話をかけたり、通信速度を指定してテレビ電話をかけたりすることもできます。

伝言メモを削除します

1 件ずつ、またはすべての伝言メモをまとめて削除できます。

1 待受画面で ▶ 決定 ▶ を押して削除する伝言メモを表示する

伝言メモの表示画面が表示されます。

2 メニュー ▶「9 削除する」を押す

削除する
伝言メモを
選んでください
1選択 1 件
2全件
決定

「1 選択 1 件」：表示していた 1 件を削除します。

「2 全件」　：伝言メモを全件削除します。

3 「1 選択 1 件」または「2 全件」を押す

選択した／全ての伝言メモを削除した旨のメッセージが表示されます。

4 決定 を押す

伝言メモの表示画面に戻ります。伝言メモがない場合や、全件削除した場合は、待受画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。また、自分の映像の代わりにカメラオフ画像（→P109）を送信することもできます。

ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。
※ 1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）
第三世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体
※ 2：3G-324M
第三世代携帯テレビ電話の国際規格
●テレビ電話の通信速度には、次の 2 種類があります。
- 64K：通信速度 64kbps で通信をします。
- 32K：通信速度 32kbps で通信をします。

テレビ電話中の画面の見かた

表　示		説　明
①	親画面	－
②	通信速度	64K：64K　32K：32K
③	スピーカーホン機能	表示なし：受話口からの通話中 ：スピーカーホン機能使用中
④	子画面	－
⑤	チャンネル開設状態	AV：音声チャンネル開設 AV：映像チャンネル開設 AV：音声・映像チャンネル開設
⑥	表示倍率	×1：標準～×3：3 倍（外側カメラ） ×1：標準～×2：2 倍（内側カメラ）
⑦	くっきり補正設定	表示なし：くっきり補正オフ 補正：くっきり補正オン
⑧	受話音量／スピーカーホン音量	音量1～音量6： 受話音量／スピーカーホン音量
⑨	通話時間	分・秒の形式で表示

テレビ電話をかけます

ここでは、テレビ電話のかけかたを説明します。

●ダイヤル入力での発信を制限しているときには、電話番号を入力してテレビ電話をかけることはできません。→P195
●相手の顔を見ながらテレビ電話をかけるときはスピーカーホン機能を使用するか、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続してください。→P105、P491
●ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して、国際テレビ電話をかけられます。→P76

1 待受画面で電話番号を入力する

●音声電話の入力方法と同様です。→P66

2 テレビ電話を押す

●テレビ電話を１秒以上：スピーカーホン機能を使用してテレビ電話をかけます。→P105
●画面に「テレビ電話接続中」と表示された時点から通話料金がかかります。

■「ツーツー」という音が聞こえたとき

相手がお話し中です。ディスプレイには「お話中です」または「接続できませんでした」が表示されます。終話を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。→P72
その他の表示されるメッセージ→P104

3 通話する

画面には、相手の映像が表示されます。
●通話中に電話帳または通話：
受話口からの通話とスピーカーホン機能を使用した通話を切り替えます。→P105
●相手の設定により映像が送信されなかった場合は、相手の映像は表示されず、カメラオフ画像（→P109）などが表示されます。

4 お話しが終わったら終話を押す

●FOMA端末を折り畳んでも電話を切ることができます。

次ページへ続く

お知らせ

- テレビ電話を押してから電話番号を入力しても、約5秒経過すると自動的にテレビ電話がかかります。
- カメラオフ画像（→P109）を利用しても、通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になりますのでご注意ください。
- テレビ電話がかからなかったときは、画面に次のメッセージ（文字情報）が表示され、自動的に待受画面に戻ります。なお、通話する相手の電話機やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。

メッセージ	説　明
番号をご確認の上おかけ直し下さい	使われていない電話番号です。
お話中です	相手が話し中、またはパケット通信中です。
電波が届かないか電源が入っていません	相手が電波の届かない所にいるか、電源が入っていません。
発信者番号通知を「通知する」に設定してください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます（Vライブやビジュアルネットなどへの発信時）。
接続できませんでした	上記のいずれにも該当しない場合に表示されます。

- テレビ電話に対応したFOMA端末にテレビ電話をかける場合、通信速度は64Kでかけることをおすすめします。32Kによるテレビ電話は、ネットワーク状況によって64Kでのテレビ電話が利用できないPHSなどの機器と接続するためのものです。64Kでテレビ電話をかけたときでも相手が32Kエリアなどの通信環境だった場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。音声再発信の設定（→P114）を「かけ直す」に設定中でも、32Kでの再発信が優先されます。
  ※32Kでテレビ電話接続をした場合でも、64Kで接続したデジタル通信料と同じになります。
- ポーズやタイマーを入力した場合（→P70）、ポーズやタイマーの前のダイヤルで発信動作を行い、それ以降のダイヤルは無効となります。
- 音声や映像の送受信に失敗した場合（AVまたはAVが表示された場合）でも、そのまま通話が継続されることがあります。
- テレビ電話をかけてつながらなかった場合、次のように再発信が自動で行われます。

発信方法	音声再発信を設定する	再発信動作
64K	**かけ直す**	64K→32K→音声
	かけ直さない	64K→32K→切断
32K	**かけ直す**	32K→音声
	かけ直さない	32K→切断

- テレビ電話をかけた場合、通常は64Kで発信されます。通信速度は、サブメニューから発信者番号通知／非通知を選択後に指定することができます。→P75
- 音声再発信の設定を「かけ直す」に設定すると、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスでmovaサービスを利用中の場合などに、自動的に音声電話に切り替えて再発信するので、相手へのアクセスがより確実になります。
  ※音声電話で再発信した場合、かかる通話料金は音声通話料になります。

●テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合や、相手がテレビ電話に対応している電話機でも圏外にいる場合や電源を切っている場合は接続できません。テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合で、音声再発信の設定を「かけ直す」に設定しているときは、テレビ電話接続前に相手から切断され、音声電話として電話をかけ直します。ただし、ISDN同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324M（→P102）に対応していないISDNのテレビ電話など（2005年8月現在）、間違い電話をした場合は、このような動作にならないことがあります。通話料金が発生する場合もありますのでご注意ください。
●テレビ電話中に電波状況が悪くなった場合、映像がモザイク表示になることがあります。
●音声再発信の設定を「かけ直す」に設定中にFOMA端末から緊急通報（110番、119番、118番）へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。

スピーカーホン機能を使用して通話します

相手の声がスピーカーから聞こえる状態でテレビ電話をかけることができます。
●平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続中は、本機能を使用できません。
●FOMA端末から約50cm以内の距離でお話しください。
●スピーカーホン機能を使用した通話に切り替えると、音量が急に大きくなりますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。
●スピーカーホン機能は、通話を終了すると解除されます。

1 待受画面で電話番号を入力▶ テレビ電話 を１秒以上押す

テレビ電話がかかり、ディスプレイ上部にが表示されます。→P102
●発信中、呼出中、通話中に、または通話中に 電話帳 ：
受話口からの通話とスピーカーホン機能を使用した通話を切り替えます。

お知らせ

●通話中、周囲や相手側の雑音が大きい場合は、聞き取りにくいことがあります。その場合は受話口からの通話に切り替えてください。

テレビ電話中に保留にします<通話中保留>

自分の声が相手に聞こえないように通話を保留にします。
●保留中も、電話をかけた方に通話料金がかかります。
●保留中にFOMA端末を折り畳むと、電話は切れます。

次ページへ続く

1 通話中に決定を押す

テレビ電話中保留画像

左の画面が表示され、着信ランプが点滅します。自分のFOMA端末と相手にメロディ（エンターテイナー）が流れます。

- 決定：保留を解除して、保留前の通話状態に戻します。
- （通話キー）：保留を解除して、相手にカメラオフ画像（→P109）を送信します。
- テレビ電話：保留を解除して、相手にカメラ映像を送信します。

お知らせ

- 保留中に流れるメロディ（エンターテイナー）は変更できません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続して保留中にFOMA端末を折り畳んだ場合は、保留は継続され、相手にはカメラオフ画像が送信されます。

テレビ電話中の操作について

サブメニュー（→P43）から次の操作ができます。

- 受話音量を調節することもできます。→P34、P86

「1 通話を保留」：
通話を保留にします。→P105

「2 カメラオフ」／「2 カメラオン」：
カメラをオフまたはオンに切り替えます。→P109

「3 外側カメラへ切替」／「3 内側カメラへ切替」：
外側と内側のカメラの表示を切り替えます。→P109

「4 スピーカーで聞く」／「4 受話口で聞く」：
スピーカーホン機能を設定または解除します。→P105

「5 くっきり補正オン」／「5 くっきり補正オフ」：
画質自動補正機能を設定または解除します。→P109

「6 画面表示を設定」：
画面の表示方法を変更します。→P110

「7 明るさを選ぶ」：
画面の明るさを変更します。→P111

「8 親画面サイズ変更」：
親画面の大きさを変更します。→P111

「0 自分の電話番号」：
自分の電話番号（自局電話番号）を表示します。→P61

テレビ電話を受けます

ここでは、テレビ電話の受けかたを説明します。

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、ディスプレイの照明が点灯して、着信ランプ、テレビ電話、が点滅します。

- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「テレビ電話着信」が点滅表示されます。→P39

2 テレビ電話を押す

相手とつながるまではテレビ電話接続中の状態となり、画面には自分の映像が表示されます。

■ **カメラオフ画像でテレビ電話を受けるとき**

を押す

テレビ電話がつながったときから、相手にはカメラ映像の代わりにカメラオフ画像（→P109）が送信されます。

3 通話する

画面には、相手の映像が表示されます。

- 通話中に電話帳または：
  受話口からの通話とスピーカーホン機能を使用した通話を切り替えます。→P105
- 相手の設定により映像が送信されなかった場合は、相手の映像は表示されず、カメラオフ画像（→P109）などが表示されます。

4 お話しが終わったらを押す

- FOMA 端末を折り畳んでも電話を切ることができます。

テレビ電話着信中の操作について

サブメニュー（→P43）から次の操作ができます。

サブメニュー	説　明
1 伝言メモ	伝言メモで応対します（クイック伝言メモ）。
2 転送でんわ※	かかってきた電話を転送登録先へ転送します。
3 着信拒否	電話が切れます。相手側に通話料金はかかりません。

※：転送でんわサービスをご契約いただき、転送先を登録している場合に有効です。

● 着信音量を調節することもできます。→P34、P88

お知らせ

● テレビ電話がかかってきたときは、転送でんわサービスを開始に設定していても、転送先を3G-324M（→P102）に準拠したテレビ電話対応機に設定していない場合、接続されないことがあります。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。
● 音声や映像の送受信に失敗した場合（AVまたはAVが表示された場合）でも、そのまま通話が継続されることがあります。

テレビ電話中に画面の設定などを変更します

● 設定できる項目は次のとおりです。

項　目	参照先	項　目	参照先
カメラをオン／オフに切り替えます	P109	画面の明るさを変更します※	P111
外側と内側のカメラを切り替えます	P109	親画面の大きさを変更します※	P111
画質補正機能を設定します	P109	カメラで撮っている映像を拡大します	P112
画面の表示方法を変更します※	P110	プッシュ信号（DTMF）を送ります	P112

※：通話終了後も設定内容が保持されます。

カメラをオン／オフに切り替えます

相手に送信する映像を、カメラで撮影中のカメラ映像とカメラオフ画像で切り替えます。自分の映像を相手に送信したくない場合などにカメラオフ画像を使います。

●カメラオフ画像に切り替えているときは、外側と内側のカメラを切り替えることはできません。→下記

1 通話中に(テレビ電話)を押す

カメラオフ
AV ×1 通話中
音量4 0分09秒
メニュー 保留

カメラオフ画像

カメラをオン／オフに切り替えた旨のメッセージが表示され、映像が切り替わります。

●(テレビ電話)を押すたびにカメラ映像とカメラオフ画像が切り替わります。

●テレビ電話接続中も同様に操作できます。
→P103、P107

外側と内側のカメラを切り替えます

●カメラオン（→上記）の場合のみ変更できます。

1 通話中に(　)(📷)を押す

外側／内側のカメラを有効にした旨のメッセージが表示され、切り替わったカメラからの映像が表示されます。

AV ×1 通話中
音量4 0分09秒
メニュー 保留

→

AV ×1 通話中
音量4 0分10秒
メニュー 保留

●(　)(📷)を押すたびに内側カメラと外側カメラが切り替わります。

画質補正機能を設定します<くっきり補正>

お買い上げ時	くっきり補正オフ

相手の映像の色や明るさのバランスを自動的に補正する機能を設定します。

次ページへ続く

1 通話中に メニュー ▶「5 くっきり補正オン」を押す

AV ×1 補正 通話中
音量4 0分09秒
メニュー 保留

くっきり補正オンにすると表示されます。

● くっきり補正を解除するには、メニュー ▶「5 くっきり補正オフ」を押します。

お知らせ

● くっきり補正オンにすると、相手の映像の色や明るさのバランスは補正されますが、動きのなめらかさが低下します。動きを優先したいときは、くっきり補正オフでご使用ください。
● くっきり補正をオンにしても、相手の環境によっては、状態があまり変化しなかったり、補正が極端に強調されたりする場合があります。

画面の表示方法を変更します

お買い上げ時　相手を大きく

テレビ電話中画面に表示される相手の映像と、自分のカメラ映像の表示方法を設定します。また、相手の映像のみ表示したり、自分のカメラ映像のみ表示したりすることもできます。

1 通話中に メニュー ▶「6 画面表示を設定」を押す

テレビ電話中の
画面表示を
選んでください

1 相手を大きく
2 自分を大きく
3 相手画像のみ
4 自画像のみ
決定

2 表示方法を選択する

● 操作方法→ P112

画面の明るさを変更します

お買い上げ時 標準の明るさ

1 通話中に（メニュー）▶「7 明るさを選ぶ」を押す

テレビ電話中の
画面の明るさを
選んでください

1暗くする
2標準の明るさ
3明るくする

決定

2 明るさを選択する

●操作方法→P113

親画面の大きさを変更します

お買い上げ時 拡大して表示

ディスプレイの中央に表示されている親画面の大きさを設定します。

1 通話中に（メニュー）▶「8 親画面サイズ変更」を押す

親画面の大きさを
選んでください

1標準の大きさ
2拡大して表示

決定

2 親画面の大きさを選択する

●操作方法→P116

カメラで撮っている映像を拡大します

●カメラオン（→P109）の場合のみ利用できます。

1 通話中に［メール］［テレビ］を押す

カメラ映像が拡大します。

表示倍率が変更されます。

● ［メール］を押すたびに次の順に切り替わります。

外側カメラ：標準（×1）→2倍（×2）→3倍（×3）

内側カメラ：標準（×1）→2倍（×2）

［テレビ］を押すと逆の順で切り替わります。

プッシュ信号（DTMF）を送ります

●受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。

1 通話中に［0 わをん 記号］～［9 らWXYZ］、［＊］、［＃ 改行 マナー］を押す

プッシュ信号（DTMF）が送出されます。

テレビ電話中の画面表示を設定します＜テレビ電話画面表示設定＞

お買い上げ時　相手を大きく

テレビ電話中画面に表示される相手の映像と、自分のカメラ映像の表示方法を設定します。相手の映像のみ表示したり、自分のカメラ映像のみ表示したりすることもできます。

＜相手を大きくした場合＞

＜自分を大きくした場合＞

＜相手の映像のみの場合＞

＜自分の映像のみの場合＞

1 **待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「2 電話・電話帳の詳細を設定する」▶「0 テレビ電話を設定する」▶「1 テレビ電話画面の表示を設定する」を押す**

テレビ電話中の
画面表示を
選んでください

1相手を大きく
2自分を大きく
3相手画像のみ
4自画像のみ
決定

「1 相手を大きく」：相手の映像を画面上に大きく表示します。
「2 自分を大きく」：自分の映像を画面上に大きく表示します。
「3 相手画像のみ」：相手の映像のみを画面上に表示します。
「4 自画像のみ」　：自分の映像のみを画面上に表示します。

2 **「1 相手を大きく」〜「4 自画像のみ」のいずれか1つの番号を押す**

画面表示を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 **決定 を押す**

メニュー画面に戻ります。
● を押すと待受画面に戻ります。

テレビ電話中の画面の明るさを設定します <テレビ電話画面明るさ設定>

お買い上げ時　標準の明るさ

1 **待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「2 電話・電話帳の詳細を設定する」▶「0 テレビ電話を設定する」▶「2 テレビ電話画面の明るさを設定する」を押す**

テレビ電話中の
画面の明るさを
選んでください

1暗くする
2標準の明るさ
3明るくする
決定

「1 暗くする」　　：画面の明るさを標準より暗くします。
「2 標準の明るさ」：画面の明るさを標準にします。
「3 明るくする」　：画面の明るさを標準より明るくします。

次ページへ続く

2 「1 暗くする」～「3 明るくする」のいずれか1つの番号を押す

画面の明るさを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

テレビ電話がつながらないときの動作を設定します<音声再発信設定>

お買い上げ時 かけ直さない

テレビ電話をかけたときに、相手の電話機がテレビ電話に対応していないなどの理由で電話が切られた場合、自動的に音声電話で再発信するように設定します。

1 待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「2 電話・電話帳の詳細を設定する」▶「0 テレビ電話を設定する」▶「3 音声再発信を設定する」を押す

テレビ電話が
つながらない時に
自動的に
音声電話で
かけ直しますか？

1かけ直す
2かけ直さない
決定

2 「1 かけ直す」または「2 かけ直さない」を押す

音声再発信動作を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

テレビ電話をかけたときに自画像を送るかどうかを設定します<発信時自画像送信設定> お買い上げ時 送る

自分の映像を送信しないように設定した場合は、相手にはカメラオフ画像が送信されます。

1 待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「2 電話・電話帳の詳細を設定する」▶「0 テレビ電話を設定する」▶「4 発信時の自画像送信を設定する」を押す

テレビ電話を
かけた時に
自画像を
送りますか？

1送る
2送らない

決定

2「1 送る」または「2 送らない」を押す

自画像の送信方法を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

テレビ電話中の親画面の大きさを設定します <テレビ電話画面大きさ設定>

お買い上げ時　拡大して表示

＜標準の大きさの場合＞　＜拡大して表示の場合＞

1 待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「2 電話・電話帳の詳細を設定する」▶「0 テレビ電話を設定する」▶「5 テレビ電話画面の大きさを設定する」を押す

「1 標準の大きさ」：親画面の大きさを標準にします。
「2 拡大して表示」：親画面の大きさを拡大します。

2 「1 標準の大きさ」または「2 拡大して表示」を押す

親画面の大きさを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

電話帳

FOMA 端末で使用できる電話帳について

FOMA F881iES では、FOMA 端末電話帳と FOMA カード電話帳を利用できます。

FOMA 端末電話帳と FOMA カード電話帳の違い

FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に登録できる情報（電話帳データ）には、次のような違いがあります。

● FOMAカードに直接電話帳データを登録することはできません。FOMAカード電話帳に登録するには、FOMA 端末電話帳に登録した電話帳データをコピーしてください。→P130

○：可　×：不可

項　目		FOMA 端末電話帳	FOMA カード電話帳	参照先
電話帳登録件数		最大 500 件	最大 50 件	—
登録内容	名前	○	○	P120
	フリガナ	○	○	P121
	電話番号	1 人につき最大 3 件登録可能	1 人につき 1 件登録可能	P121
	メールアドレス	1 人につき最大 3 件登録可能	1 人につき 1 件登録可能	P122
	グループ	30 グループおよび「グループなし」に登録可能	10 グループおよび「グループなし」に登録可能	P123
	電話帳番号	○	×	P123
電話帳検索	50 音順検索	○	○	P134
	音声検索	○	×	P135
	グループ検索	○	○	P136
	フリガナ検索	○	○	P137
	電話番号検索	○	○	P137
	電話帳番号検索	○	×	P138
各種設定	シークレットコード入力	○	×	P142
	シークレット属性設定	○	×	P144

項　目		FOMA 端末電話帳	FOMA カード電話帳	参照先
その他	ワンタッチダイヤル	○	×	P156
	音声呼出し（ボイスダイヤル）	○	×	P209
	ツータッチダイヤル	○	×	P157
	ツータッチメール	○	×	P329

名前の表示について

FOMA端末電話帳、FOMAカード電話帳に登録した相手と電話の発着信を行うと、電話帳に登録した名前が発信中、呼出中、着信中、通話中の画面に表示されます。
電話帳に登録した名前は、発着信情報を記録しているリダイヤルや着信履歴、伝言メモ、受信メールの発信元、送信メール・未送信メールの宛先にも表示されます。

- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に、同じ電話番号／メールアドレスで名前が異なる電話帳を登録している場合、電話帳を検索せずに電話番号／メールアドレスを入力したときは、FOMA端末電話帳に登録した名前が表示されます。
- メールを受信した際、発信元のメールアドレスと電話帳に登録しているメールアドレスが@以降のドメイン名も含めて完全に一致すると、各着信音の設定に従って動作し、電話帳に登録した名前が表示されます。ただし、発信元がｉモード端末の場合は、ドメイン名（@docomo.ne.jp）を省略してメールアドレスを電話帳に登録しても各着信音の設定に従って動作し、電話帳に登録した名前が表示されます。メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録してください。
- SMSを受信した際、電話帳に登録している電話番号が一致した場合は電話帳の設定で動作します。

お知らせ

- FOMA端末電話帳の電話帳データにシークレット属性を設定している場合は、シークレットモード中のみ相手の名前が表示されます。→P144
- 個人の情報表示を制限しているときには、電話帳に登録している相手へ電話をかけても、または電話帳に登録している相手から電話がかかってきても、相手の名前は表示されません。相手の電話帳データがリダイヤルや着信履歴、伝言メモなどに表示されている場合も同様です。→P193
- 電話帳に登録している名前が長い場合、発着信時の画面、着信履歴や伝言メモの表示画面などには、画面に表示できる文字数分のみ名前が表示されます。

FOMA端末電話帳に登録します ＜電話帳登録＞

よく利用する電話番号やメールアドレスを、名前とともに登録できます。

- 最大登録件数→P118
- 個人の情報表示を制限しているときや、ダイヤル入力での発信を制限しているときには、本機能を使用できません。→P193、P195

お知らせ

- 圏外が表示されている場合でも電話帳の登録はできます。
- 電話帳に登録した内容は、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、添付のCD-ROM内のFOMA Fシリーズデータリンクソフトと FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管することもできます。→P574
- FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。万一、電話帳などに登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ドコモショップなどの窓口で機種変更時など新機種へコピーする際は、新機種の仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

FOMA端末電話帳登録の流れ

FOMA端末電話帳への登録は、次の手順で行います。

ステップ1　名前を登録します

相手の名前や会社名などを入力します。

- 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。
- 全角で最大16文字、半角で最大32文字入力できます。

1 待受画面で電話帳 ▶「2 電話帳に登録する」を押す

名前の入力画面が表示されます。

2 名前を入力する

電話帳登録
名前を
入力してください
橋本花子

メニュー　確定　ガイド

3 決定を押す

フリガナの入力画面が表示されます。

ステップ 2　フリガナを登録します

ステップ 1 で入力した名前のフリガナを確認して、必要に応じて修正します。
- 半角カタカナ、半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。
- 半角で最大 32 文字入力できます。

1 フリガナを確認する

電話帳登録
橋本花子

フリガナを
入力してください
ﾊｼﾓﾄﾊﾅｺ

メニュー　確定　ガイド

- フリガナは電話帳の検索に使用しますので、正しく入力してください。
- 「タロウ」を「タロー」のように長音（「ー」）を使用して登録すると、電話帳の音声読み上げがより自然になります。→ P215

2 決定を押す

電話番号の入力画面が表示されます。

ステップ 3　電話番号を登録します

電話番号を市外局番から入力します。
- 最大 26 桁入力できます。

1 電話番号を入力する

電話帳登録
電話番号を
入力してください
03XXXXXXXX

メニュー　確定

- ポーズ（「P」）、タイマー（「T」）、「#」、サブアドレスの区切り（「*」）を入力できます。→ P70
- 186、184 を付けて電話帳に登録すると、SMS 作成時の宛先に選択した際、送信できません。

2 決定を押す

2 件目の電話番号を登録するかどうかの確認画面が表示されます。

次ページへ続く

3 「1 入力する」または「2 入力しない」を押す

●「1 入力する」 ：他の電話番号を登録できます。ステップ3の操作1、2を繰り返します。3件目を登録すると、自動的にステップ4に進みます。
●「2 入力しない」：他の電話番号を登録しません。

ステップ4　メールアドレスを登録します

メールアドレスを入力します。
●半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。
●半角で最大50文字入力できます。

1 メールアドレスを入力する

電話帳登録
メールアドレスを入力してください
※:定型ｱﾄﾞﾚｽ入力
docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp
メニュー 確定 ガイド

●何も入力しないで 決定 ：
メールアドレスを入力しません。ステップ5に進みます。
●英字入力モード時に 1 ：
「@」「.」「-」など宛先によく使う記号を入力できます。
●英字入力モード時に ＊ ：
「@docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。

2 決定 を押す

2件目のメールアドレスを登録するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1 入力する」または「2 入力しない」を押す

●「1 入力する」 ：他のメールアドレスを登録できます。ステップ4の操作1、2を繰り返します。3件目を登録すると、自動的にステップ5に進みます。
●「2 入力しない」：他のメールアドレスを登録しません。

お知らせ

●相手がシークレットコードを登録しているとき→P142
●メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にしている相手を電話帳に登録する場合、186、184を付けて電話帳に登録すると、iモードメール作成時の宛先に選択した際、送信できません。

ステップ5　グループを登録します

電話帳を登録するグループを選択します。

●グループ1〜30および「グループなし」から選択できます。「グループなし」以外のグループ名は変更することができます。→P128

1 グループを選択する

電話帳登録
グループなし
グループ1
グループ2
グループ3
グループ4
登録先を
選んでください
決定　ガイド

●（左右キー）：前後のページを表示できます。

2 決定を押す

電話帳番号の入力画面が表示されます。

ステップ6　電話帳番号を登録します

電話帳の番号を割り当てます。

●電話帳番号0〜9の電話帳データの1件目に電話番号やメールアドレスを登録しておくと、ツータッチダイヤル（→P157）で簡単に電話をかけたり、ツータッチメール（→P329）で簡単にメールを作成したりすることができます。

●平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチで電話をかけるには、相手の電話番号を電話帳番号0の1件目の電話番号に登録しておきます。

1 電話帳番号（0〜499）を入力する

電話帳登録
電話帳番号を
入力してください
0:ｲﾔﾎﾝ短縮ﾀﾞｲﾔﾙ
0〜9:短縮ﾀﾞｲﾔﾙ
10〜499:短縮なし
4
確定　ガイド

電話帳番号の入力画面には、現在使用されていない最も小さい電話帳番号が自動的に入力されています。

●電話帳番号が「001」のように1桁の場合は「1」、「010」のように2桁の場合は「10」と入力します。

●0〜499までの番号を設定してください。500以上の番号を入力した場合は、自動的に499が入力されます。

次ページへ続く

2 決定を押す

電話帳を
登録しました。
ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙまたは
音声呼出しに
登録しますか？

1登録する
2終了する
決定 ガイド

- 登録済みの電話帳番号を指定したときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「2 新規登録する」を押すと、現在使用されていない最も小さい電話帳番号に登録されます。

「1 登録する」：ワンタッチダイヤルまたは音声呼出しに登録します。
「2 終了する」：電話帳登録を終了します。

3 「2 終了する」を押す

メニュー画面に戻ります。電話帳登録は終了です。

- 「1 登録する」：ステップ７に進みます。
- ☎を押すと待受画面に戻ります。

ステップ７　ワンタッチダイヤル／音声呼出しに登録します

電話帳登録に続けてワンタッチダイヤル（→P145）や音声呼出し（→P206）に登録します。

1 ステップ６の操作３で「1 登録する」を押す

電話帳設定
登録先を
　選んでください

1ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録
2音声呼出し登録
3終了する
決定

2 「1ワンタッチダイヤル登録」または「2音声呼出し登録」を押す

■ ワンタッチダイヤルに登録するとき

①「1 ワンタッチダイヤル登録」を押す

ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録
1ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ1
「未登録」
2ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ2
「未登録」
3ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ3
「未登録」
決定

②「1 ワンタッチダイヤル 1」〜「3 ワンタッチダイヤル 3」のいずれか 1 つの番号を押して登録する

ワンタッチダイヤル登録方法→P146「ステップ2」操作1〜「ステップ4」操作7

登録が終了するとワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示され、決定を押すと登録先の選択画面に戻ります。

- すでに音声呼出しを登録している場合は、メニュー画面に戻ります。

■ 音声呼出しに登録するとき

①「2 音声呼出し登録」を押す

橋本花子
読みを
3文字以上で
登録してください
ﾊｼﾓﾄﾊﾅｺ
メニュー 確定 ガイド

- 電話帳呼出し用の単語をすでに100件登録している場合は、登録ができない旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、登録先の選択画面に戻ります。

②**単語を入力▶決定を押す**

単語を登録した旨のメッセージが表示されます。

- あらかじめフリガナの先頭10文字が単語として入力されており、そのまま登録することもできます。
- 半角カタカナで3〜10文字入力できます。

③**決定を押す**

登録先の選択画面に戻ります。

- すでにワンタッチダイヤルを登録している場合は、メニュー画面に戻ります。

3 「3 終了する」を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録します

リダイヤルや着信履歴などから、電話番号を電話帳に登録します。新しい電話帳データとして登録することも、登録済みの電話帳に追加することもできます。

●次の画面から登録できます。

- ダイヤル入力画面
- リダイヤルの表示画面
- 着信履歴の表示画面
- 伝言メモの表示画面

●サイトやｉモードメールなどから電話番号やメールアドレスを登録することもできます。→P284、P406

新規に登録します

〈例〉リダイヤルから登録するとき

1 待受画面で を押す

リダイヤル01
9月15日 木曜日
13時23分
音声電話
090XXXXXXXX
発番通知あり
メニュー ガイド

●ダイヤル入力画面の表示→P66

●着信履歴の表示→P84

●伝言メモの表示→P99

2 を押して登録する電話番号を表示▶メニュー▶「1 電話帳に登録」を押す

電話帳登録
名前を
入力してください
メニュー 確定 ガイド

3 電話帳登録と同様の方法で、名前やメールアドレスなどを登録する

●操作方法→P120

●電話番号の入力画面には、選択したリダイヤルの電話番号が表示されます。

登録済みの電話帳に追加します

〈例〉リダイヤルから登録するとき

1 待受画面で を押す

リダイヤル01
9月15日 木曜日
13時23分
音声電話
090XXXXXXXX
発番通知あり
メニュー ガイド

●ダイヤル入力画面の表示→P66
●着信履歴の表示→P84
●伝言メモの表示→P99

2 を押して追加する電話番号を表示▶ メニュー ▶「2 電話帳に追加」を押す

検索方法を
選んでください
1 50音順検索
2 音声検索
3 グループ検索
4 フリガナ検索
5 電話番号検索
6 電話帳番号検索
決定

3 電話帳を検索して登録先の電話帳データを選択▶ 決定 を押す

電話番号3に
追加しました
決定

●登録先の電話帳データに電話番号をすでに3件登録しているときは、上書きする電話番号の選択画面が表示されます。上書きする電話番号を選択し、決定 を押します。上書きしないときは 戻る を押して電話帳の検索一覧に戻ります。

4 決定 を押す

ワンタッチダイヤルまたは音声呼出しに登録するかどうかの確認画面が表示されます。

●操作方法→P124「ステップ6」操作2以降

グループの名前や着信音を設定します

FOMA端末電話帳のグループの名前を変えたり、着信音をグループごとに設定したりできます。

グループ名を変更します<グループ名変更>

FOMA 端末電話帳の「グループ 1」～「グループ 30」を、「家族」「会社」などのわかりやすい名前に自由に変更できます。

●「グループなし」のグループ名は変更できません。

1 待受画面で電話帳▶「4 電話帳のグループを設定する」▶「1 グループ名を変更する」を押す

グループ名変更
グループ1
グループ2
グループ3
グループ4
グループ5
グループ6
グループ7
決定

● ◁ ▷：前後のページを表示できます。

2 グループを選択▶決定を押す

グループ名変更
グループ名を入力してください
グループ1
メニュー 確定 ガイド

3 グループ名を入力▶決定を押す

グループ名が登録された旨のメッセージが表示されます。

●漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。

●全角で最大 10 文字、半角で最大 20 文字入力できます。

●何も入力しないで決定を押すと、お買い上げ時のグループ名に戻ります。

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●終話を押すと待受画面に戻ります。

グループ別の着信音を設定します

お買い上げ時　着信音設定：専用設定なし　着信音：専用設定なし

電話がかかってきたときやメールを受信したときの着信音を、FOMA端末電話帳のグループごとに設定できます。

● 「グループなし」の着信音は設定できません。

〈例〉電話着信音を設定するとき

1 待受画面で 電話帳 ▶「4 電話帳のグループを設定する」▶「2 グループ専用の電話着信音を選ぶ」を押す

ｸﾞﾙｰﾌﾟ着信音設定
グループ1
グループ2
グループ3
グループ4
グループ5
グループ6
グループ7
決定

● ：前後のページを表示できます。

● メール着信音を設定するときは、待受画面で 電話帳 ▶「4 電話帳のグループを設定する」▶「3 グループ専用のメール着信音を選ぶ」を押します。

2 グループを選択 ▶ 決定 を押す

電話を受けた時に
鳴らす音を
設定してください

1着信音設定
　専用設定なし
2着信音
　専用設定なし

変更　完了

項　目	説　明
1 着信音設定	グループ専用の着信音を設定します。
2 着信音	グループ専用の着信音を鳴らすときのメロディまたは動画／iモーションを設定します。

3 「1 着信音設定」を押す

グループ専用の電話着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

● 「2 着信音」：着信音から設定します。操作5に進みます。

● 着信音設定に「専用設定なし」が表示されているときは、「2 着信音」からは設定できません。

4 「1 設定する」を押す

着信音選択画面が表示されます。

● 「2 設定しない」：グループ専用の着信音を設定しません。操作6に進みます。

● メール着信音を設定するときは、「1 設定する」を押すとメロディ一覧が表示されます。

次ページへ続く

5 **「1 メロディ」または「2 着モーション」▶フォルダを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す**

操作 2 の画面に戻ります。「1 着信音設定」には「専用設定あり」が表示され、「2 着信音」には選択した着信音が表示されています。

● メール着信音を設定するときは、フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押します。

● メロディまたは動画／ｉモーションの再生については「携帯電話から鳴る着信音を変えます」のお知らせをご覧ください。→P161

6 **電話帳を押す**

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

7 **決定を押す**

操作 1 の画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

電話帳をコピーします

FOMA 端末電話帳を FOMA カード電話帳にコピーしたり、FOMA カード電話帳を FOMA 端末電話帳にコピーしたりします。

● 個人の情報表示を制限しているときや、ダイヤル入力での発信を制限しているときには、本機能を使用できません。→P193、P195

FOMA 端末電話帳を FOMA カード電話帳にコピーします

● FOMA端末電話帳の検索結果一覧から操作する場合は、複数の電話帳データをまとめてコピーできます。FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は、表示中の電話帳データがコピーされます。

● FOMA 端末電話帳のグループ名と同じ名前のグループが FOMA カード電話帳にある場合は、そのグループにコピーされます。同じ名前のグループがない場合は、「グループなし」にコピーされます。

● 次の項目がコピーされます。ただし、FOMA カードに保存できる最大文字数を超えた部分は削除されます。

- 名前　：全角で最大10文字、半角で最大21文字コピーされます。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、最大 10 文字となります。

• フリガナ　　　：半角カタカナは全角カタカナに置き換えられます。全角で最大12文字、半角で最大25文字コピーされます。
• 電話番号　　　：1件目に登録した電話番号が最大26桁コピーされます。FOMAカードの種類によっては最大20桁となります。→P47
タイマー（「T」）を登録している場合は削除されます。
• メールアドレス：1件目に登録したメールアドレスが半角で最大50文字コピーされます。

1 FOMA端末電話帳の検索結果一覧を表示する

● 検索方法→P134

2 メニュー ▶「6 FOMAカードへコピー」を押す

電話帳選択画面が表示されます。

3 コピーする相手を選択 ▶ 決定 を押す

電話帳
FOMAｶｰﾄﾞへｺﾋﾟｰ
ｱ ｶ ｻ ﾀ ﾅ ﾊ ﾏ ﾔ ﾗ ﾜ 他
□篠塚健次
☑橋本花子
□牧野美紀
□松下智子
□三田明夫
全選択　解除　決定

● 相手の□が☑に変わります。
● 決定 ：電話帳データを選択／解除します。
● メニュー ：すべての電話帳データを選択／解除します。

4 電話帳 を押す

FOMAカードにコピーした旨のメッセージが表示されます。

5 決定 を押す

FOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。
● 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

FOMAカード電話帳をFOMA端末電話帳にコピーします

●FOMAカード電話帳の検索結果一覧から操作する場合は、複数の電話帳データをまとめてコピーできます。FOMAカード電話帳の詳細画面から操作する場合は、表示中の電話帳データがコピーされます。
●FOMAカード電話帳のグループ名と同じ名前のグループがFOMA端末電話帳にある場合は、そのグループにコピーされます。同じ名前のグループがない場合は、「グループなし」にコピーされます。
●次の項目がコピーされます。
- 名前　：名前にコピーされます。
- フリガナ　：フリガナにコピーされます。全角カタカナは半角カタカナに置き換えられます。
- 電話番号　：電話番号にコピーされます。
- メールアドレス：メールアドレスにコピーされます。

1 FOMAカード電話帳の検索結果一覧を表示する

●検索方法→P134

2 メニュー ▶「4 本体へコピー」を押す

電話帳選択画面が表示されます。

3 コピーする相手を選択 ▶ 決定 を押す

FOMAｶｰﾄﾞ電話帳
本体電話帳へｺﾋﾟｰ
ｱ ｶ ｻ ﾀ ﾅ ﾊ ﾏ ﾔ ﾗ ﾜ 他
□篠塚健次
☑橋本花子
□牧野美紀
□松下智子
□三田明夫
全選択　解除　決定

●相手の□が☑に変わります。
●決定：電話帳データを選択／解除します。
●メニュー：すべての電話帳データを選択／解除します。

4 電話帳 を押す

FOMA端末電話帳にコピーした旨のメッセージが表示されます。

5 決定 を押す

FOMAカード電話帳の検索結果一覧に戻ります。
●（終話キー）を押すと待受画面に戻ります。

登録内容をコピーします

FOMA端末電話帳やFOMAカード電話帳に登録した電話帳データの個々の登録内容（名前や電話番号など）をコピーします。

1 FOMA端末電話帳の検索結果一覧を表示する

●検索方法→P134

2 コピーする相手を選択▶決定▶メニュー▶「8 名前等をコピー」を押す

項目一覧
橋本花子
03XXXXXXXX
090XXXXXXXX
docomo.taro.ΔΔ…
docomo-ΔΔ-taro…
コピーする項目を選んでください
決定

●FOMAカード電話帳から操作するときは、コピーする相手を選択▶決定▶メニュー▶「6 名前等をコピー」を押します。

3 コピーする項目を選択▶決定を押す

選択した項目をコピーした旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

FOMA端末電話帳の詳細画面に戻ります。

●貼付け→P542

●（終話キー）を押すと待受画面に戻ります。

電話帳から電話をかけます
<電話帳検索>

電話をかける相手の電話帳データを電話帳から呼び出し、簡単に電話をかけることができます。

● 電話帳の呼び出しかたには次の方法があります。

項　目	説　明	参照先
50音順検索	50音順に検索して表示します。	下記
音声検索※	音声で検索します。	P135
グループ検索	グループから検索します。	P136
フリガナ検索	フリガナから検索します。	P137
電話番号検索	電話番号の一部から検索します。	P137
電話帳番号検索※	電話帳番号から検索します。	P138

※：FOMAカード電話帳では利用できません。

● シークレット属性が設定されている電話帳データも含めて検索する場合は、シークレットモードに設定してから検索してください。→P192

● 個人の情報表示を制限しているときには、電話帳を検索できません。→P193

50音順に検索して表示します<50音順検索>

50音順に検索して表示します。

1 待受画面で［電話帳］▶「1 電話帳の内容を見る」▶「1 50音順検索」を押す

電話帳
50音順検索
ア|カ|サ|タ|ナ|ハ|マ|ヤ|ラ|ワ|他
阿部浩之
井上太郎
上田二郎
榎本正雄
佐藤友子
メニュー　決定

● FOMAカード電話帳を検索するときは、待受画面で［電話帳］▶「1 電話帳の内容を見る」▶［電話帳］▶「1 50音順検索」を押します。

［電話帳］を押して、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳を切り替えます。

2 を押して相手を選択する

電話帳
５０音順検索
ア|カ|サ|タ|ナ|ハ|マ|ヤ|ラ|ワ|他
篠塚健次
橋本花子
牧野美紀
松下智子
三田明夫
メニュー 決定

● 0わをん記号 ～ 9WXYZ、*、#改行マナー：
ボタンに割り当てられている行の先頭の電話帳データを表示します。
1：ア行　2ABC：カ行　3DEF：サ行
4GHI：タ行　5JKL：ナ行　6MNO：ハ行
7PQRS：マ行　8TUV：ヤ行　9WXYZ：ラ行
0わをん記号：ワ行
*／#改行マナー：他（アルファベット、数字、フリガナが空白で始まるもの、記号、フリガナなし順）
たとえば､｢牧野美紀｣を表示する場合は「ま」に対応する 7PQRS を押します。

● ：
画面上部にある50音表示のカーソルを移動して、各行の先頭の電話帳データを表示します。

3 を押す

● テレビ電話をかける場合は テレビ電話 を押します。
● 2 件目以降に登録した電話番号に電話をかける場合は、相手を選択▶決定▶電話番号を選択▶ または テレビ電話 を押します。

音声で検索します＜音声検索＞

音声で電話帳データを検索します。

● あらかじめ電話帳データを音声呼出しに登録しておく必要があります。
→ P124、P206
● 周囲の状況や発声のしかたにより、音声が認識されない場合があります。
→ P214

1 待受画面で 電話帳 ▶「1 電話帳の内容を見る」▶「2 音声検索」を押す

決定ボタンを押し
ピーという
発信音の後に
呼出す相手を
お話しください
決定

次ページへ続く

2 決定▶音声で検索して電話をかける

●操作方法→P209

お知らせ

●待受画面で電話帳を1秒以上押しても、音声で電話帳データを検索できます。

グループで検索します<グループ検索>

グループに登録した電話帳データを検索します。

●FOMA端末電話帳にグループを設定せずに登録した電話帳データは、「グループなし」に登録されています。

●FOMA端末電話帳に登録した電話帳データのグループが次のような場合は、FOMAカード電話帳にコピーされると「グループなし」に登録されています。

- グループを設定していないとき
- グループ11以降に登録しているとき
- 名前が変更したグループに登録しているとき

1 待受画面で電話帳▶「1電話帳の内容を見る」▶「3グループ検索」を押す

グループ検索画面が表示されます。

●FOMAカード電話帳を検索するときは、待受画面で電話帳▶「1電話帳の内容を見る」▶電話帳▶「2グループ検索」を押します。

2 検索するグループを選択▶決定を押す

電話帳
会社
アカサタナハマヤラワ他
井上太郎
佐藤友子
篠塚健次
橋本花子
牧野美紀
メニュー 決定

●0わをん記号～9WXYZ、*、#改行マナー：

ボタンに割り当てられている行の先頭の電話帳データを表示します。→P135

●◀▶：

画面上部にある50音表示のカーソルを移動して、各行の先頭の電話帳データを表示します。

●同じグループ内の電話帳データは次のフリガナ順に表示されます。

①50音順　②アルファベット順　③数字
④空白で始まるもの　⑤記号　⑥フリガナなし

3 相手を選択▶発信を押す

●テレビ電話をかける場合はテレビ電話を押します。

●2件目以降に登録した電話番号に電話をかける場合は、相手を選択▶決定▶電話番号を選択▶発信またはテレビ電話を押します。

フリガナで検索します<フリガナ検索>

フリガナを入力して、その文字から始まる電話帳データを検索します。

- 半角カタカナ、半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。
- 電話帳は半角で最大 32 文字入力できます。
- FOMAカード電話帳は全角で最大12文字、半角で最大25文字入力できます。

1 待受画面で 電話帳 ▶「1 電話帳の内容を見る」▶「4 フリガナ検索」を押す

フリガナ検索画面が表示されます。

- FOMA カード電話帳を検索するときは、待受画面で 電話帳 ▶「1 電話帳の内容を見る」▶ 電話帳 ▶「3 フリガナ検索」を押します。

2 フリガナを入力 ▶ 決定 を押す

電話帳
フリガナ検索
ｱ|ｶ|ｻ|ﾀ|ﾅ|ﾊ|ﾏ|ﾔ|ﾗ|ﾜ|他
牧野美紀
松下智子
ﾒﾆｭｰ 決定

- フリガナは一部を入力することで検索できます。

3 相手を選択 ▶ (発信) を押す

- テレビ電話をかける場合は テレビ電話 を押します。
- 2 件目以降に登録した電話番号に電話をかける場合は、相手を選択 ▶ 決定 ▶ 電話番号を選択 ▶ (発信) または テレビ電話 を押します。

電話番号で検索します<電話番号検索>

電話番号の一部だけを入力して、その数字を含む電話番号を検索します。

1 待受画面で 電話帳 ▶「1 電話帳の内容を見る」▶「5 電話番号検索」を押す

電話番号検索画面が表示されます。

- FOMA カード電話帳を検索するときは、待受画面で 電話帳 ▶「1 電話帳の内容を見る」▶ 電話帳 ▶「4 電話番号検索」を押します。

次ページへ続く

2 電話番号の一部を入力▶決定を押す

- 0わをん記号 ～ 9WXYZら、＊゛゜、#改行マナー：
  ボタンに割り当てられている行の先頭の電話帳データを表示します。→P135
- ◀▶：
  画面上部にある50音表示のカーソルを移動して、各行の先頭の電話帳データを表示します。

3 相手を選択▶発信を押す

- テレビ電話をかける場合はテレビ電話を押します。
- 2件目以降に登録した電話番号に電話をかける場合は、相手を選択▶決定▶電話番号を選択▶発信またはテレビ電話を押します。

電話帳番号で検索します＜電話帳番号検索＞

電話帳番号を入力して検索します。

1 待受画面で電話帳▶「1電話帳の内容を見る」▶「6電話帳番号検索」を押す

電話帳番号検索画面が表示されます。

2 電話帳番号を入力▶決定を押す

- 電話帳番号が「001」のように1桁の場合は「1」、「010」のように2桁の場合は「10」と入力します。
- 0～499までの番号を入力してください。500以上の番号を入力した場合は、自動的に499が入力されます。

3 相手を選択▶発信を押す

- テレビ電話をかける場合はテレビ電話を押します。
- 2件目以降に登録した電話番号に電話をかける場合は、相手を選択▶決定▶電話番号を選択▶発信またはテレビ電話を押します。

FOMA端末電話帳／FOMAカード電話帳の詳細を表示します

登録内容を表示して確認します。

1 **電話帳の検索結果一覧を表示する**

● 検索方法→P134

2 **詳細表示する電話帳データを選択▶決定を押す**

名前、フリガナ
電話帳番号
グループマーク、グループ名
電話、メールマーク
選択している電話番号／メールアドレス

＜FOMA端末電話帳＞　＜FOMAカード電話帳＞

● 0〜9、*、#：ボタンに割り当てられている行の先頭の電話帳データを表示します。→P135
● 上下：前後の電話帳データの詳細画面を表示します。
● 左右：登録している電話番号、メールアドレスの表示を切り替えます。
● 発信：音声電話をかけます。
● テレビ電話：テレビ電話をかけます。

発信方法を選択して電話をかけます

電話帳の検索結果一覧から発信方法を選択して電話をかけます。
● 電話帳データに電話番号を登録していない場合は、本機能を使用できません。

1 **電話帳の検索結果一覧を表示する**

● 検索方法→P134

次ページへ続く

2 電話をかける相手を選択▶ メニュー ▶「1 電話をかける」を押す

電話の種類を
選んでください
1音声電話
264Kテレビ電話
332Kテレビ電話
決定

「1 音声電話」　　　　：音声電話をかけます。
「2 64Kテレビ電話」：64Kの通信速度でテレビ電話をかけます。
「3 32Kテレビ電話」：32Kの通信速度でテレビ電話をかけます。

- 選択した相手の1件目に登録した電話番号が対象になります。
- 2件目以降に登録した電話番号に電話をかける場合は、FOMA端末電話帳の詳細画面を表示▶電話番号を選択▶ メニュー ▶「1電話をかける」を押します。

3「1 音声電話」～「3 32Kテレビ電話」のいずれか1つの番号を押す

電話をかけるかどうかの確認画面が表示されます。

4「1 電話をかける」を押す

設定した方法で電話がかかります。

- 「2 電話をかけない」：電話をかけることを中止します。

お知らせ

- 電話をかけるかどうかの確認画面表示中に次の操作ができます。
  - 電話番号を通知しないで電話をかける：メニュー ▶「1 非通知で電話」▶「1 電話をかける」を押します。
  - 電話番号を通知して電話をかける　　：メニュー ▶「2 通知で電話」▶「1 電話をかける」を押します。
  - 国際電話をかける　　　　　　　　　：メニュー ▶「3 ワールドコール」▶「1 電話をかける」を押します。

電話帳を修正します<電話帳修正>

FOMA 端末電話帳に登録した電話帳データの内容を修正したり、電話帳データを他のグループに移動することができます。

- FOMAカード電話帳の電話帳データは直接修正できません。修正する場合は、一度FOMA端末電話帳にコピーし、修正を行ってからFOMAカードにコピーし直すなどの操作を行ってください。
- 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を使用できません。→P193

1 FOMA端末電話帳の検索結果一覧を表示する

●検索方法→ P134

2 修正する相手を選択▶ メニュー ▶「4 修正する」を押す

名前入力画面が表示されます。

3 電話帳データを修正して登録する

●操作方法→ P120

●グループを修正／確認すると、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは「1 上書きする」を押します。上書きしないときは「2 新規登録する」を押し、他の電話帳番号を登録します。

お知らせ

- 名前を修正してもフリガナは自動で変更されません。フリガナについても、変更してください。
- 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、1件目に登録した電話番号やメールアドレスを削除すると2件目以降、繰り上げ登録されます。

グループを変更します

電話帳データを他のグループに移動します。

1 FOMA端末電話帳の検索結果一覧を表示する

●検索方法→ P134

2 グループを変更する相手を選択▶ メニュー ▶「5 グループを移動」を押す

グループ選択画面が表示されます。

3 グループを選択▶ 決定 を押す

選択したグループに移動した旨のメッセージが表示されます。

4 決定 を押す

FOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

● 終話キー を押すと待受画面に戻ります。

メールアドレスにシークレットコードを設定します<シークレットコード入力>

相手がメールアドレス（携帯電話番号@docomo.ne.jp）にシークレットコードを登録している場合は、そのシークレットコードを電話帳データのメールアドレスに設定しておくことで、電話帳を検索してｉモードメールを作成するときに自動的にシークレットコードが付加されます。

● ダイヤル入力での発信を制限しているときや（→P195）、電話帳データにメールアドレスを登録していないときには、本機能を使用できません。

1 FOMA端末電話帳の検索結果一覧を表示する

● 検索方法→P134

2 シークレットコードを設定する相手を選択▶決定を押す

詳細画面が表示されます。

3 メールアドレスを選択▶メニュー▶「0シークレットコード入力」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

4 4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

シークレットコードを
入力してください

確定　ガイド

5 4桁のシークレットコードを入力▶決定を押す

シークレットコードを設定した旨のメッセージが表示されます。

● シークレットコードを解除するには、戻るでシークレットコードをすべて削除▶決定を押します。

6 決定を押す

FOMA端末電話帳の詳細画面に戻ります。

● 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 設定したシークレットコードは、電話帳データの詳細画面やｉモードメール作成時の宛先などには表示されません。シークレットコードの設定と同様の操作で確認できます。
- メールアドレスを「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合はその相手にメールの返信ができません。また、「携帯電話番号@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合、シークレットコードを設定しても、その相手にメールの返信ができません。電話帳データの「@docomo.ne.jp」を削除してから設定し直してください。

電話帳を削除します<電話帳削除>

電話帳に登録している1件分の電話帳データを削除します。

- 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を使用できません。→P193

1 FOMA端末電話帳の検索結果一覧を表示する

- 検索方法→P134

2 削除する相手を選択▶メニュー▶「8 電話帳から削除」を押す

電話帳を
削除しますか？
1 削除する
2 削除しない
決定

- FOMAカード電話帳から操作するときは、削除する相手を選択▶メニュー▶「6 電話帳から削除」を押します。

「1 削除する」：選択した相手の電話帳データを削除します。

「2 削除しない」：選択した相手の電話帳データを削除しません。

3 「1 削除する」を押す

電話帳を削除した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

FOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

- 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

知られたくない電話帳を守ります＜シークレット属性設定／解除＞

他の人に見られたくないFOMA端末電話帳データには、シークレット属性を設定します。シークレット属性を設定するには、FOMA端末をシークレットモードに設定する必要があります。

1 シークレットモードを設定する

●操作方法→P192

2 FOMA端末電話帳の検索結果一覧を表示する

●検索方法→P134

3 シークレット属性を設定する相手を選択▶決定▶メニュー▶「9 シークレット属性設定」を押す

シークレット属性を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

選択されている電話帳データにシークレット属性が設定されていると が点滅します。

電話帳の詳細画面に戻ります。

●を押すと待受画面に戻ります。

■ シークレット属性を解除するとき

①シークレットモード中にシークレット属性が設定されている電話帳データを表示する

②メニュー▶「9 シークレット属性解除」を押す
シークレット属性を解除した旨のメッセージが表示されます。

お知らせ

- シークレットモード中に登録したFOMA端末電話帳は、自動的にシークレット属性が設定されます。
- シークレット属性を設定した電話帳データは、シークレットモード中のみ検索できます。また、ワンタッチダイヤルやツータッチダイヤル、ツータッチメールなど電話帳を利用する機能の場合も同様です。
- シークレット属性を設定した電話帳データの名前は、シークレットモード中のみ、着信画面、リダイヤル、着信履歴などに表示されます。また、グループ別に設定した着信音も同様です。→P119、P129
- ワンタッチダイヤルに登録した電話帳データにシークレット属性を設定した場合、ワンタッチダイヤル専用の着信音や着信画像を設定していても設定した着信音は動作せず、画像も表示されません。→P150、P152

よく連絡を取り合う相手を登録します ＜ワンタッチダイヤル登録＞

よく連絡を取る相手の電話帳データをワンタッチダイヤルに登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタンを押すだけで簡単に電話をかけたり、メールを送ったりできます。→ P156
また、着信音や画像を設定することができます。

- ワンタッチダイヤルに登録するには、あらかじめ、相手の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録しておいてください。

ワンタッチダイヤルボタン

「写真 de コール」について
画像を設定すると、待受中に電話がかかってきたときやメールを受信したときに、画像を表示して着信をお知らせします。相手の写真などを登録しておけば、誰からの電話またはメールなのか一目でわかります。設定方法→ P150

- 着信画像はワンタッチダイヤルに登録した電話帳データのみに設定できます。
- 設定した画像の表示は、相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
- 着信音に映像のある動画／ｉモーションを設定した場合、着信画像は表示されません。

- ワンタッチダイヤルは 3 件登録できます。
- FOMA 端末電話帳の登録時に本機能を登録することもできます。→P124
- 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を使用できません。→P193

電話帳から相手を選択して登録します<電話帳選択>

ワンタッチダイヤルへの登録は、次の手順で行います。
●FOMA カード電話帳から選択することはできません。

ステップ 1　登録する相手を選びます

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン①～③を押す

ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録
ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙが登録されていません。
登録しますか？
1電話帳から選ぶ
2新規に登録する
3登録しない
決定

●すでに登録しているワンタッチダイヤルボタンを押すと、ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。→P148
●FOMA 端末電話帳に 1 件も電話帳データを登録していない場合は、新規に登録するかどうかの確認画面が表示されます。「1 新規に登録する」を押して電話帳へ登録してください。→P120

2 「1 電話帳から選ぶ」を押す

FOMA 端末電話帳の検索方法選択画面が表示されます。

3 登録する相手を検索して選択する

● メニュー を押すと、選択した相手の電話帳データの詳細画面が表示されます。

ステップ 2　電話番号を登録します

1 決定を押す

■ **電話番号を 1 件登録しているとき**

表示中の電話番号を登録する旨のメッセージが表示されます。

決定を押す

- メールアドレスを登録していないときは、決定を押すとステップ 4 に進みます。

■ **電話番号を 2 件以上登録しているとき**

登録する電話番号の選択画面が表示されます。

登録する電話番号を選択▶決定を押す

- メールアドレスを登録していないときは、決定を押すとステップ 4 に進みます。

■ **電話番号を 1 件も登録していないとき**

決定を押すとステップ 3 に進みます。

ステップ 3　メールアドレスを登録します

1 登録するメールアドレスを選択する

■ **メールアドレスを 1 件登録しているとき**

表示中のメールアドレスを登録する旨のメッセージが表示されます。

■ **メールアドレスを 2 件以上登録しているとき**

登録するメールアドレスの選択画面が表示されます。
登録するメールアドレスを選択します。

■ **メールアドレスを 1 件も登録していないとき**

ステップ 4 に進みます。

2 決定を押す

ワンタッチダイヤル専用の着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

ステップ 4　着信音を設定します

音声電話用やテレビ電話用、メール用の着信音を設定します。

1 「1 設定する」を押す

ワンタッチダイヤル専用の音声電話着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

- 「2 設定しない」：ワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示されます。操作 8 に進みます。
- 電話番号を登録していない場合は、「1 設定する」を押すとワンタッチダイヤル専用のメール着信音を設定するかどうかのメッセージが表示されます。操作 6 に進みます。

2 「1 設定する」または「2 設定しない」を押す

- 「1 設定する」　：着信音の選択画面が表示されます。
- 「2 設定しない」：音声電話用の着信音を設定しません。ワンタッチダイヤル専用のテレビ電話着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。操作 4 に進みます。

3 「1 メロディ」または「2 着モーション」▶フォルダを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す

ワンタッチダイヤル専用のテレビ電話着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

- 映像のある動画／ｉモーションを設定すると、着信時には着モーションの映像が表示される旨のメッセージが表示されます。
- メロディまたは動画／ｉモーションの再生については「携帯電話から鳴る着信音を変えます」のお知らせをご覧ください。→ P161

次ページへ続く ➜

4 「1 設定する」または「2 設定しない」を押す

- 「1 設定する」　：着信音の選択画面が表示されます。
- 「2 設定しない」：テレビ電話用の着信音を設定しません。ワンタッチダイヤル専用のメール着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。操作6に進みます。

5 「1 メロディ」または「2 着モーション」▶フォルダを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す

ワンタッチダイヤル専用のメール着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

- 映像のある動画／iモーションを設定すると、着信時には着モーションの映像が表示される旨のメッセージが表示されます。
- メロディまたは動画／iモーションの再生については「携帯電話から鳴る着信音を変えます」のお知らせをご覧ください。→P161

6 「1 設定する」または「2 設定しない」を押す

- 「1 設定する」　：メロディ一覧が表示されます。
- 「2 設定しない」：メール用の着信音を設定しません。操作8に進みます。

7 フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押す

ワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示されます。

- メロディの再生については「携帯電話から鳴る着信音を変えます」のお知らせをご覧ください。→P161

8 決定を押す

＜ワンタッチダイヤル詳細画面＞

- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- ワンタッチダイヤルに登録した電話番号やメールアドレスを電話帳から変更した場合は、ワンタッチダイヤルの登録にも反映されます。ただし、電話番号やメールアドレスを登録していない電話帳データをワンタッチダイヤルに登録した後、その電話帳データに電話番号やメールアドレスを追加しても、ワンタッチダイヤルには反映されません。ワンタッチダイヤルに登録し直してください。→P146

新規に相手を登録します<新規登録>

ワンタッチダイヤルに登録する前に、電話帳に登録します。

●ダイヤル入力での発信を制限しているときには、本機能を使用できません。→P195

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン①～③を押す

ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録
ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙが登録されていません。
登録しますか？
1 電話帳から選ぶ
2 新規に登録する
3 登録しない
決定

●すでに登録しているワンタッチダイヤルボタンを押すと、ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。→P148

2 「2 新規に登録する」を押す

電話帳登録
名前を
入力してください
ﾒﾆｭｰ 確定 ｶﾞｲﾄﾞ

3 登録する

●操作方法→P120

登録相手を変更します

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン①～③を押す

橋本花子
03XXXXXXXX
docomo.taro.ΔΔ…
メールを作る
電話をかける
テレビ電話
ﾒﾆｭｰ

●登録していないワンタッチダイヤルボタンを押すと、登録するかどうかの確認画面が表示されます。→P146

次ページへ続く

2 メニュー ▶「1 登録相手を変更」を押す

FOMA 端末電話帳の検索方法選択画面が表示されます。

3 登録する

●操作方法→ P146

登録相手の電話着信時／メール受信時に表示する画像を設定します

ワンタッチダイヤルに登録した相手に画像を設定すると、電話がかかってきたときに設定した画像を表示してお知らせします（写真 de コール→ P145）。

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン①～③を押す

橋本花子
03XXXXXXXX
docomo.taro.ΔΔ…
メールを作る
電話をかける
テレビ電話
メニュー

●登録していないワンタッチダイヤルボタンを押すと、登録するかどうかの確認画面が表示されます。→ P146

2 メニュー ▶「5 着信画像を設定」を押す

設定する画像を
選んでください

1今から撮影する
2アルバムから選ぶ
3解除する

決定

電話帳

ワンタッチダイヤル登録

3 「1 今から撮影する」～「3 解除する」のいずれか１つの番号を押す

■ 写真をその場で撮影して設定するとき

①「1 今から撮影する」を押す

写真撮影
Sｻｲｽﾞ 残り 160枚
ﾒﾆｭｰ 撮影

- 写真撮影→Ｐ２３１
- 写真の大きさは「Ｓサイズ（１７６×１４４）」固定です。
- メニュー：撮影時の設定ができます。→Ｐ２３６

②被写体にカメラを向けて決定を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、撮影した写真が表示されます。

③決定を押す

写真を保存した旨のメッセージが表示されます。

④決定を押す

着信画像を設定した旨のメッセージが表示されます。

⑤決定を押す

ワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

- 設定した画像を確認する場合は、ワンタッチダイヤル詳細画面で電話帳を押します。
- 終話を押すと待受画面に戻ります。

■ 写真をアルバムから選択して設定するとき

①「2 アルバムから選ぶ」を押す

アルバム一覧
撮影した写真
iモード
アイテム
内蔵写真
データ交換
決定

②フォルダを選択▶決定▶画像を選択▶決定を押す

着信画像を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 着信画像に設定できる画像の最大サイズは、横縦（または縦横）が６４０×４８０（ドット）までです。
- 画像にカーソルを合わせてメニューを押すと表示できます。

③決定を押す

ワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

- 設定した画像を確認する場合は、ワンタッチダイヤル詳細画面で電話帳を押します。
- 終話を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く

■ 着信画像を表示しないとき

①「3 解除する」を押す

着信画像を解除した旨のメッセージが表示されます。

② 決定 を押す

ワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

- ☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 設定した画像のサイズなどにより、着信画像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

着信音を設定します

ワンタッチダイヤルに登録した相手の音声電話用やテレビ電話用、メール用の着信音を設定します。

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン①〜③を押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

● 登録していないワンタッチダイヤルボタンを押すと、登録するかどうかの確認画面が表示されます。→P146

2 メニュー ▶「2 音声電話着信音」〜「4 メール着信音」のいずれか1つの番号を押す

着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 音声電話着信音を設定するとき

「2 音声電話着信音」を押す

■ テレビ電話着信音を設定するとき

「3 テレビ電話着信音」を押す

■ メール着信音を設定するとき

①「4 メール着信音」を押す

メールの着信音を
設定してください
1 メール着信音設定
鳴らす
2 着信音
専用設定なし
3 鳴らす時間
3秒
変更 完了

項　目	説　明
1 メール着信音設定	着信音を鳴らすかどうかを設定します。
2 着信音	着信音を鳴らすときのメロディを設定します。
3 鳴らす時間	着信音を鳴らす時間を1〜30秒の間で設定します。

②「1 メール着信音設定」▶「1 鳴らす」を押す

- 「2 鳴らさない」：着信音を鳴らしません。電話帳を押して操作5に進みます。

③「2 着信音」を押す

3 「1 設定する」を押す

着信音の選択画面が表示されます。

●「2 設定しない」：ワンタッチダイヤル専用の着信音を解除します。操作5に進みます。

■ メール着信音を設定するとき

「1 設定する」を押すとメロディ一覧が表示されます。

• 「2 設定しない」：ワンタッチダイヤル専用のメール着信音を解除します。

4 「1 メロディ」または「2 着モーション」▶フォルダを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す

ワンタッチダイヤル専用の着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

●映像のある動画／ｉモーションを設定すると、着信時には着モーションの映像が表示される旨のメッセージが表示されます。

■ メール着信音を設定するとき

①フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押す

②「3 鳴らす時間」▶鳴らす時間を入力▶決定▶電話帳を押す

ワンタッチダイヤル専用のメール着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

5 決定を押す

ワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

●終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●登録した複数の相手から同時にメールが送られてきた場合は、最後に受信したメールの相手の設定に従って動作します。

登録相手の設定情報を確認します

ワンタッチダイヤルに登録した相手の設定情報（登録した電話番号やメールアドレス）を確認します。

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン①～③を押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

●登録していないワンタッチダイヤルボタンを押すと、登録するかどうかの確認画面が表示されます。→P146

次ページへ続く

2 メニュー ▶「6 設定情報を確認」を押す

ワンタッチダイヤル1情報
名前
橋本花子
電話番号
03XXXXXXXX
メールアドレス
docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp
決定

- (メール)(電話帳)：画面をスクロールして設定情報を表示します。
- 決定：ワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。
- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

ワンタッチダイヤルの登録を解除します

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン(1)〜(3)を押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

- 登録していないワンタッチダイヤルボタンを押すと、登録するかどうかの確認画面が表示されます。→P146

2 メニュー ▶「7 ワンタッチダイヤル解除」を押す

ワンタッチダイヤル設定を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1 解除する」を押す

ワンタッチダイヤル設定を解除した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 解除しない」：ワンタッチダイヤル設定の解除を中止します。

4 決定を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- 登録した相手の電話番号やメールアドレスと同じものを他のワンタッチダイヤルに登録している場合は、最も小さいワンタッチダイヤル番号に登録した電話帳データの名前が表示されます。
- ワンタッチダイヤルに登録した相手の電話帳データを削除した場合は、ワンタッチダイヤルに登録したデータも削除されます。

電話帳の登録件数を確認します ＜登録件数確認＞

FOMA端末電話帳の登録件数やシークレット属性（→P144）を設定した電話帳データの件数などを表示して確認します。

●個人の情報表示を制限しているときには、本機能を使用できません。→P193

●シークレット属性を設定した電話帳データの件数は、シークレットモード中のみ表示されます。→P192

1 **待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「2 電話・電話帳の詳細を設定する」▶「1 電話帳の登録件数を見る」を押す**

電話帳登録件数	
本体内	
登録数	14件
残り	486件

決定

● 電話帳 ：FOMAカード電話帳の登録件数を確認できます。

2 **確認が終わったら 決定 を押す**

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

ボタン 1 つで電話をかけます ＜ワンタッチダイヤル＞

頻繁に電話をかける相手の電話番号をワンタッチダイヤルに登録すると、ワンタッチダイヤルボタン 1 つで簡単に電話をかけることができます。

F881iES

ワンタッチダイヤルボタン

●個人の情報表示を制限しているときには、本機能を使用できません。→P193
●ワンタッチダイヤルに登録した電話帳データに電話番号がない場合や、ワンタッチダイヤルを登録していない場合は、ワンタッチダイヤルで電話をかけることはできません。→ P145

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン①～③を 1 秒以上押す

発信しています
橋本花子
03XXXXXXXX

ワンタッチダイヤルボタンに登録している相手に音声電話がかかります。

お知らせ

●ワンタッチダイヤルボタン①～③を押すと、ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。[電話]を押して音声電話、[テレビ電話]を押してテレビ電話をかけることもできます。メールアドレスを登録していれば、[メール]を押してメールを作成することもできます。

少ないボタン操作で電話をかけます <ツータッチダイヤル>

頻繁に電話をかける相手の電話番号を電話帳番号の0～9に登録しておくと、ダイヤルボタンと(発信)の2つのボタンを押すだけで電話をかけることができます。

●個人の情報表示を制限しているときには、本機能を使用できません。→P193

1 待受画面で電話帳番号（0～9）を入力 ▶ (発信)を押す

ボタンで音声電話
テレビ電話ボタンでテレビ電話
2
メニュー

電話帳番号

発信しています
井上太郎
090XXXXXXXX

電話帳の名前と１件目の電話番号が点滅します。

●電話帳番号を入力して(テレビ電話)を押すと、テレビ電話をかけることができます。

お知らせ

●入力した電話帳番号の電話帳データに電話番号を登録していない場合や、FOMA端末電話帳に電話帳データを登録していない場合は、(発信)または(テレビ電話)を押すと該当するデータがない旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと待受画面に戻ります。

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

携帯電話から鳴る着信音を変えます<着信音設定>

お買い上げ時　音声電話：鳴らす／着信音１　テレビ電話：鳴らす／ハープ

電話がかかってきたときに鳴る音を設定します。

● 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を使用できません。→P193

1 待受画面で（メニュー）▶「2 電話・電話帳を使う」▶「3 電話を受けた時の音を選ぶ」を押す

1音声電話の着信音を選ぶ
2テレビ電話の着信音を選ぶ
決定

「1 音声電話の着信音を選ぶ」：音声電話の着信音を設定します。

「2 テレビ電話の着信音を選ぶ」：テレビ電話の着信音を設定します。

2 「1 音声電話の着信音を選ぶ」または「2 テレビ電話の着信音を選ぶ」を押す

電話を受けた時に鳴らす音を設定してください
1着信音設定　鳴らす
2着信音　着信音1
変更　完了

「1 着信音設定」：着信音を鳴らすかどうかを設定します。

「2 着信音」：着信音を鳴らすときのメロディや着モーションを設定します。

3 「1 着信音設定」▶「1 鳴らす」を押す

● 「2 鳴らさない」：着信音を鳴らさないように設定します。操作５に進みます。

● 「鳴らさない」に設定すると、着信音は設定できません。

4 「1 メロディ」または「2 着モーション」▶フォルダを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す

操作２の画面に戻ります。「2 着信音」には選択した着信音が表示されています。

● メロディまたは動画／ｉモーションの再生についてはお知らせをご覧ください。→P161

5 電話帳を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

6 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 音声のない動画／ｉモーション、または情報の着信音設定（→P435）が「設定不可」になっている動画／ｉモーションは、着信音の着モーションに設定できません。

● メロディにカーソルを合わせて 電話帳 を押すと再生できます。メロディ再生中は次の操作ができます。

/音量ボタン（△▽）：音量調節

：前後のメロディ再生

決定：メロディの選択

● 動画／ｉモーションにカーソルを合わせて メニュー を押すと再生できます。動画／ｉモーション再生中は次の操作ができます。

決定：休止／再生

/音量ボタン（△▽）：音量調節

電話帳：早送り再生

メニュー：停止

● 着モーションに設定できる内蔵ビデオは「にわとり」のみです。→P433

● 発信者番号が通知された場合は、次の優先順位で鳴ります。

① ワンタッチダイヤルの着信音設定

② 電話帳のグループ専用の着信音設定

③ 本機能の設定

● 相手が発信者番号を通知してこなかった場合、音声電話の着信音は発信者番号通知のない相手に対する着信動作（→P199）の設定に従い、テレビ電話の着信音は本機能のテレビ電話の設定に従います。

メロディ一覧

お買い上げ時は次のメロディが「内蔵メロディ」フォルダに登録されています。

分　類	表示名	作曲者
固定着信音	着信音 1 ～ 9	――――
メロディ	涙そうそう	BEGIN
	ルージュの伝言	荒井　由実
	さんぽ	久石　譲
	カルメン（闘牛士）	GEORGE BIZET
	乾杯の歌	GIUSEPPE VERDI
	ジュピター	GUSTAV HOLST
	パリのアメリカ人	GEORGE GERSHWIN
	アメージンググレース	アメリカ民謡
	ます	FRANZ SCHUBERT
	ブラームスの子守唄	JOHANNES BRAHMS
	カノン	JOHANN PACHELBEL
	静かな湖畔	スイス民謡
	凱旋行進曲	GIUSEPPE VERDI
	愛の挨拶	EDWARD ELGAR
	エンターテイナー	SCOTT JOPLIN
効果音／ボイス	福引き　歌舞伎　発車ベルと汽笛 グリーン　ジムノペディ（作曲者：ERIK SATIE） 目覚まし 1　目覚まし 2　黒電話 ハープ　癒やし　残念 ビール　電話だよ　テレビ電話だよ メールだよ　起きて下さい　くしゃみ ナイスショット　予定の時刻です	

許諾番号：T-0550252　JASRAC

着信を振動でお知らせします<バイブレータ>

お買い上げ時 音声電話：振動させない　テレビ電話：振動させない

音声電話やテレビ電話着信時に振動（バイブレータ）でお知らせします。

- 本機能を使用して机の上などに置いたままにすると、振動で落下するおそれがあります。
- 通話中に着信があった場合は振動しません。

1 待受画面で（メニュー）▶「2 電話・電話帳を使う」▶「4 電話を受けた時の振動を選ぶ」を押す

1音声電話の振動を選ぶ
2テレビ電話の振動を選ぶ
決定

「1 音声電話の振動を選ぶ」：音声電話着信時のバイブレータを設定します。

「2 テレビ電話の振動を選ぶ」：テレビ電話着信時のバイブレータを設定します。

2 「1 音声電話の振動を選ぶ」または「2 テレビ電話の振動を選ぶ」を押す

音声電話の振動を選んでください
1パターンAで振動
2パターンBで振動
3パターンCで振動
4振動させない
決定

「1 パターンAで振動」：0.5秒振動→0.5秒停止→0.5秒振動→1.5秒停止の繰り返しで振動させます。

「2 パターンBで振動」：1秒振動→2秒停止の繰り返しで振動させます。

「3 パターンCで振動」：0.25秒振動→0.25秒停止の繰り返しで振動させます。

「4 振動させない」：振動させません。

- （上）（下）を押してパターンを選択すると、選択されているパターンで約60秒間振動します。

3 「1 パターンAで振動」～「4 振動させない」のいずれか1つの番号を押す

振動パターンを設定した旨のメッセージが表示されます。

次ページへ続く

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● (終話ボタン)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 本機能で音声電話のバイブレータを設定すると、待受画面にVが表示されます。また、同時に着信音量を消音に設定するとSVが表示されます。

ボタンを押したときの音を鳴らすかどうかを設定します<ボタン確認音>

お買い上げ時 鳴らす

● 本機能を「鳴らさない」に設定していても、通話中にダイヤルボタンを押した場合の、受話口からのプッシュ音（DTMF）は鳴ります。

1 待受画面でメニュー▶「9初めに行う設定」▶「5ボタンを押した時の音を設定する」を押す

ボタンを
押した時に音を
鳴らしますか？

1鳴らす
2鳴らさない

決定

2 「1 鳴らす」または「2 鳴らさない」を押す

ボタン確認音を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● (終話ボタン)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● ボタン確認音と音声読み上げ機能の動作について→P218

充電時の音を鳴らすかどうかを設定します<充電確認音>

お買い上げ時 知らせる

充電の開始／終了時に鳴る充電確認音を設定します。

●マナーモード中や公共モード中は充電確認音は鳴りません。

1 **待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「3 音を設定する」▶「1 充電開始と完了時の音を設定する」を押す**

充電の開始と
完了を音で
知らせますか？

1知らせる
2知らせない

決定

2 **「1 知らせる」または「2 知らせない」を押す**

充電確認音を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。

3 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

●（終話）を押すと待受画面に戻ります。

通話が途切れそうなときのアラームを設定します<通話品質アラーム>

お買い上げ時　高音で鳴らす

音声電話やテレビ電話の通話状態が悪く、途中で通話が途切れてしまうおそれのある場合、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

● 急に通話状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまう場合があります。

1 待受画面で(メニュー)▶「# 詳細な機能を設定する」▶「3 音を設定する」▶「4 通話状態が悪い時に音で知らせる」を押す

通話状態が悪い時のアラーム音を選んでください
1 高音で鳴らす
2 低音で鳴らす
3 鳴らさない
決定

「1 高音で鳴らす」：通話品質アラームを高音で鳴らします。
「2 低音で鳴らす」：通話品質アラームを低音で鳴らします。
「3 鳴らさない」　：通話品質アラームを鳴らしません。

2 「1 高音で鳴らす」～「3 鳴らさない」のいずれか1つの番号を押す

アラーム音を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

イヤホンだけから着信音を鳴らします<スピーカー／イヤホン切替>

お買い上げ時 イヤホンマイク＋スピーカー

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続したときに、着信音をイヤホンマイクとスピーカーの両方から鳴らすか、イヤホンマイクのみから鳴らすかを設定します。

1 待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「3 音を設定する」▶「3 イヤホンマイク利用時の切替を設定する」を押す

イヤホンマイク使用中に
着信音の鳴る所を
選んでください

1 イヤホンマイク+スピーカー
2 イヤホンマイクのみ

決定

「1 イヤホンマイク＋スピーカー」：
着信音をイヤホンマイクとスピーカーの両方から鳴らします。

「2 イヤホンマイクのみ」：
着信音をイヤホンマイクからのみ鳴らします。

2 「2 イヤホンマイクのみ」を押す

イヤホンマイク切替を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

● 終話 を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●「イヤホンマイクのみ」に設定した場合でも、着信音の開始から20秒経過するとスピーカーからも着信音が鳴ります。

電話から鳴る音を消します ＜マナーモード＞

マナーモードは、着信を振動で知らせたり、ボタンを押したときの確認音を消したりして、周囲の迷惑にならないようにする機能です。

- マナーモード中に動画／ｉモーションやメロディの再生を行うと、再生を行うかどうかの確認画面が表示されます。
- マナーモード中は、ｉモードメールやメッセージR/Fを表示したときに添付のメロディを自動演奏するように設定していても、メロディは再生されません。ただし、再生するメロディを選択して決定を押した場合は、再生を行うかどうかの確認画面が表示されます。→P297、P371
- マナーモード中でも、写真やビデオ撮影時の撮影確認音は鳴ります。

マナーモードを設定すると

マナーモード中は次のように動作します。

項　目	設定状態	説　明
バイブレータ	パターンＡで振動	待受中の着信を振動で知らせます。ただし、通話中に着信があった場合は振動しません。
ボタン確認音	鳴らさない	ボタンを押しても確認音は鳴りません。
着信音量	消音	着信音は鳴りません。
電池残量警告音	鳴らさない	電池が切れそうになっても警告音は鳴りません。
目覚まし音	消音	指定した時刻に目覚まし音は鳴らず、振動と画面表示で知らせます。
予定の通知音声	消音	指定した時刻に通知音声は鳴らず、振動と画面表示で知らせます。
オートスピーカーホン	動作しない	着信があっても自動応答しません。
充電確認音	知らせない	充電を開始したときや完了したときに音で知らせません。
音声読み上げ	読み上げなし	を押しても読み上げません。

設定します

1 待受画面で #（改行マナー） を１秒以上押す

バイブレータが振動して、マナーモードを設定した旨のメッセージが表示されます。

2 決定を押す

待受画面に戻ります。

● マナーモード中は、待受画面に が表示されます。FOMA 端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに が表示されます。

解除します

1 マナーモード中に待受画面で #改行マナー を 1 秒以上押す

マナーモードを解除した旨のメッセージが表示されます。

2 決定を押す

待受画面に戻ります。

待受画面の表示を変えます ＜待受画面設定＞

お買い上げ時　画像を表示：標準の画像（草原）

待受画面に表示されている画像を別の画像に変更したり、カレンダー表示に切り替えたりすることができます。

● 個人の情報表示を制限しているときには、画像を選択することができません。→P193

● 画像によっては、待受画面に設定しても、ダウンロードしたときに使用したFOMAカードを取り付けていない場合や、個人の情報表示を制限している場合には、表示されないものがあります。その場合は、待受画面に標準の画像（草原）が表示されます。→P171

1 待受画面で メニュー ▶「9初めに行う設定」▶「2待受画面に画像カレンダーを設定する」を押す

待受画面の設定を選んでください
1画像を表示
2カレンダーを表示
3表示なし
決定

項　目	説　明
1 画像を表示	待受画面に表示される画像を設定します。
2 カレンダーを表示	待受画面にカレンダーが表示されるように設定します。
3 表示なし	画像やカレンダーを表示しないように設定します。

次ページへ続く

2 「1 画像を表示」を押す

アルバム一覧
撮影した写真
モード
アイテム
内蔵写真
データ交換
決定

■ 待受画面にカレンダーを表示するように設定するとき

「2 カレンダーを表示」を押す

カレンダーを設定するかどうかの確認画面が表示されます。
「1 設定する」を押すと、カレンダーを設定した旨のメッセージが表示されます。操作5に進みます。
「2 設定しない」を押すと、設定を中止し、操作1の画面に戻ります。

■ 待受画面に画像やカレンダーを表示しないように設定するとき

「3 表示なし」を押す

画像またはカレンダーを解除するかどうかの確認画面が表示されます。
「1 解除する」を押すと、画像またはカレンダーを解除した旨のメッセージが表示されます。操作5に進みます。
「2 解除しない」を押すと、設定を中止し、操作1の画面に戻ります。

3 フォルダを選択▶決定▶画像を選択▶決定を押す

待受画像を
設定しますか?
1設定する
2設定しない
決定

「1 設定する」　：待受画面を設定します。
「2 設定しない」：待受画面を設定しません。

4 「1 設定する」を押す

画像を設定した旨のメッセージが表示されます。

5 決定を押す

メニュー画面に戻ります。
● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● お買い上げ時は、待受画面サイズの画像として次の画像が「内蔵写真」フォルダに登録されています。

草原　トイプードル　砂漠

パンジー　登山列車　コンパス

● アニメーションを待受画面に設定すると、待受画面表示中にFOMA 端末を開いたとき、戻るまたは（終話キー）を押したときや待受画面に戻ったときに再生します。再生中は次の操作ができます。

戻る：一時停止／再生

（終話キー）：停止／先頭から再生

● 待受画面に設定できる画像の最大サイズは、横縦（または縦横）が640 × 480（ドット）までです。また、横縦のサイズが240 × 320（ドット）を超える画像は、縮小して待受画面に設定されます。

● アニメーションに再生回数が設定されていない場合、または再生回数が16 回以上に設定されている場合は、最大16 回まで繰り返して再生します。

● 待受画像を変更していても、全ての操作を制限すると標準の画像（草原）が表示されます。→ P190

● 設定した画像が写真のアルバムから削除されると、待受画面には標準の画像（草原）が表示されます。

● カレンダーを設定すると、次のような待受画面が表示されます。

9/15(木)　13:23

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

メニュー　電話帳

• カレンダーを設定している場合でも、新着情報や伝言メモがあるときは新着情報や伝言メモが優先され、カレンダーは表示されません。

電話がかかってきたときの背面ディスプレイの表示を設定します<背面表示設定>

お買い上げ時　表示する

電話がかかってきたときに、背面ディスプレイに相手の電話番号や名前を表示するかどうかを設定します。

● 本機能を「表示する」に設定しても、FOMA 端末を開いているときなど背面ディスプレイの表示が消えている場合は、何も表示されません。

1　待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「2 電話・電話帳の詳細を設定する」▶「7 背面の画面表示を設定する」を押す

着信時に背面に
相手の情報を
表示しますか？

1 表示する
2 表示しない

決定

2　「1 表示する」または「2 表示しない」を押す

背面の画面表示を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。

3　決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

● ☎ を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 本機能を「表示しない」に設定した場合、電話がかかってくると、背面ディスプレイには「電話です」などの状態のみが表示されます。

画面のカラー配色を変更します＜画面配色設定＞

お買い上げ時　ブルー

画面の配色を変更します。

● カラー配色は 3 種類から選択できます。

1 待受画面で メニュー ▶「9初めに行う設定」▶「3画面の配色を設定する」を押す

画面の配色を
選んでください
1ブルー
2ピンク
3白黒反転
決定

「1 ブルー」　：画面の配色をブルー系統の色にします。

「2 ピンク」　：画面の配色をピンク系統の色にします。

「3 白黒反転」：画面の配色を白黒反転にします。

● を押して配色の種類を選択すると、選択されている配色で画面が表示されます。

2 「1 ブルー」～「3 白黒反転」のいずれか1つの番号を押す

画面の配色を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●「ピンク」に設定すると、待受画面で メニュー を押したときに表示されるメニュー項目と電話帳メニューの一部にマークが表示されます。

ディスプレイの照明を設定します <照明設定>

お買い上げ時　画面の明るさ：標準の明るさ　照明時間：30秒

ディスプレイの照明の明るさや点灯時間を設定します。

1 待受画面で メニュー ▶「9初めに行う設定」▶「4画面の明るさを設定する」を押す

画面の照明を
設定してください
1画面の明るさ
　標準の明るさ
2照明時間
　30秒
変更　完了

「1 画面の明るさ」：ディスプレイ点灯時の明るさを設定します。

「2 照明時間」　：照明の点灯時間を設定します。

次ページへ続く

2 「1 画面の明るさ」または「2 照明時間」を押す

■ 画面の明るさを設定するとき

「1 画面の明るさ」▶「1 暗い」～「3 明るい」のいずれか1つの番号を押す

- 「1 暗い」　　　　：標準より暗くします。
- 「2 標準の明るさ」：標準にします。
- 「3 明るい」　　　：標準より明るくします。

■ 照明時間を設定するとき

「2 照明時間」▶「1 10秒」～「5 5分」のいずれか1つの番号を押す

- 「1 10秒」：点灯時間を10秒にします。
- 「2 15秒」：点灯時間を15秒にします。
- 「3 30秒」：点灯時間を30秒にします。
- 「4 1分」　：点灯時間を1分にします。
- 「5 5分」　：点灯時間を5分にします。

3 設定した後に（電話帳）を押す

照明を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● （終話）を押すと待受画面に戻ります。

時計の表示を設定します<時計表示設定>

お買い上げ時　待受時計表示：表示する　表示形式：24時間形式

待受画面の時計表示の有無や、待受画面と背面ディスプレイの表示形式（24時間／12時間）を設定します。

＜時計を表示するとき＞

＜時計を表示しないとき＞

1 待受画面で（メニュー）▶「9初めに行う設定」▶「8時計を設定する」▶「2 待受画面に時計を表示する」を押す

「1 待受時計表示」：時計を表示するかどうかを設定します。

「2 表示形式」：時計の表示形式を24時間形式と12時間形式のどちらで表示するかを設定します。

2 「1 待受時計表示」または「2 表示形式」を押す

■ 待受時計表示を設定するとき

「1 待受時計表示」▶「1 表示する」または「2 表示しない」を押す

■ 表示形式を設定するとき

「2 表示形式」▶「1 24時間形式」または「2 12時間形式」を押す

3 設定した後に（電話帳）を押す

時計表示を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● （終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 表示形式を12時間形式に設定した場合、待受画面と背面ディスプレイのみ反映されます。

あんしん設定

暗証番号について

携帯電話の操作や機能を制限します

発着信や送受信を制限します

その他の「あんしん設定」について

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号の必要な場合があります。暗証番号には、各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、i モードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

● 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
● 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
● ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
● 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末※、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
※：ご契約者ご本人が購入された携帯電話でない場合、受け付けできない場合があります。

端末暗証番号

次の機能を使用する場合、端末暗証番号入力が必要となります。お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、数字4～8桁で自由に変更できます。→P180

- 着信を拒否する相手を指定する
- 着信を許可する相手を指定する
- 電話帳登録外の着信を拒否する
- 発番通知のない着信を設定する
- 全ての操作を制限する
- 個人の情報表示を制限する
- 履歴の表示を制限する
- シークレットモードに設定する
- 電話帳のシークレットコード入力
- ダイヤル入力での発信を制限する
- 暗証番号を変更する
- FOMAカードのPINコードを設定する
- 各機能の全件削除※1
- 個人情報詳細表示
- 個人情報修正
- 設定を初めの状態に戻す
- 通話時間をリセットする
- ソフトウェアを更新する
- 受信したメール／送信したメールのフォルダ削除※2
- ブックマークのフォルダ内削除
- 接続先番号の編集
- 例文一覧の全件を初期状態に戻す
- FOMA端末本体のデータを一括削除する

※1：機能によっては表示されません。
※2：フォルダ内にメールがあるときのみ表示されます。

● 端末暗証番号の入力を、電源を入れてからの累積で5回間違えると、FOMA端末の電源が自動的に切れます。電源をもう一度入れるか、正しい端末暗証番号を入力すると、累積回数はクリアされます。

ネットワーク暗証番号

各種ネットワークサービスご利用時やドコモｅサイトでの各種手続き時にお使いいただく数字４桁の番号で、ご契約時に設定します。
パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「My DoCoMo ID ／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
「My DoCoMo」「ドコモｅサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。
なお、ｉモードからは、ドコモｅサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更できます。

PIN1コード／PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという２つの暗証番号を設定できます。PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、FOMAカードを取り付けるたび、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する４～８桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。
PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金のリセットを行うときなどに使用する４～８桁の暗証番号です。
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、自由に変更できます。
→P183、P185
●新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。PIN1コード、PIN2コードを変更されていない場合は、「0000」となります。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための８桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモード有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には、４桁の「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますが、数字４桁で自由に変更できます。
この他にも各IP（情報サービス提供者）が独自にパスワードを設定している場合があります。
ｉモードから変更される場合は、1 ｉ Menu→8 オプション設定→2 ｉモードパスワード変更から変更ができます。

お知らせ

●いたずら防止のため、端末暗証番号、PIN1コード、PIN2コード、ｉモードパスワードはご契約後にお好きな番号に変更してください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。
●電話番号の下４桁などのわかりやすい番号の使用は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。

端末暗証番号を変更します <端末暗証番号変更>

お買い上げ時 0000

お買い上げ時の端末暗証番号や、現在設定している端末暗証番号を変更します。

●入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。

1 待受画面で（メニュー）▶「# 詳細な機能を設定する」▶「8 操作の制限をする」▶「6 暗証番号を変更する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 現在の 4 ～ 8 桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

新しい暗証番号を
入力してください

確定

3 新しい 4 ～ 8 桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

確認のため新しい
暗証番号を再度
入力してください

確定

4 操作 3 で入力した 4 ～ 8 桁の端末暗証番号をもう一度入力▶決定を押す

端末暗証番号を変更した旨のメッセージが表示されます。

5 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●（終話）を押すと待受画面に戻ります。

PIN コードを設定します
< PIN コード設定>

PIN1 コードは、FOMA 端末を不正に使用されないための 4 ～ 8 桁の暗証番号です。
PIN2 コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する 4～8 桁の暗証番号です。

● PIN1 コード、PIN2 コードは変更できます。→ P183、P185

電源を入れたときに PIN1 コードを入力するように設定します< PIN1 コード使用>

ご契約時 使用しない

FOMA 端末の電源を入れたときに PIN1 コードの入力を要求するように設定します。

● 入力した端末暗証番号または PIN1 コードは「*」で表示されます。

1 待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「8 操作の制限をする」▶「7 FOMA カードの PIN コードを設定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4 ～ 8 桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す

FOMAカードの
PINコードを
設定してください

1 PIN1コード変更
2 PIN2コード変更
3 PIN1コード使用

決定

3 「3 PIN1 コード使用」を押す

PIN1 コードを使用するかどうかの確認画面が表示されます。

次ページへ続く

4 「1 使用する」を押す

PIN1コードを
入力してください
残り 3回
入力できます
確定

● 「2 使用しない」：FOMA 端末の電源を入れたときにPIN1コードの入力を要求しないようにします。操作6に進みます。

5 PIN1 コード入力 ▶ 決定 を押す

PIN1 コードを使用する旨のメッセージが表示されます。

● ご契約時の PIN1 コードは「0000」に設定されています。

6 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

● 終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 目覚まし時刻に電源を入れるように設定しているときは(→P459)、目覚ましの設定により自動的に電源が入ると、PIN1コード入力画面よりも優先して目覚ましが動作します。終話を押すと、PIN1 コードの入力画面が表示されます。

PIN1 コードを入力します

ご契約時 0000

PIN1コードを使用するように設定しているときは(→P181)、FOMA端末の電源を入れるとPIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発着信や各種通信機能の操作ができません。

● 入力した PIN1 コードは「*」で表示されます。

1 FOMA 端末の電源が入っていない状態で 終話 を 2 秒以上押す

PIN1コードを
入力してください
残り 3回
入力できます
確定

電源が入ります。

2 PIN1 コードを入力▶決定を押す

PIN 1 コードが認証された旨のメッセージが表示されます。

FOMA カードの読み込みが始まると表示され、終わると消えます。

お知らせ

- PIN1 コードの入力を 3 回連続して失敗すると、PIN1 コードが認証できなかった旨のメッセージが表示され、決定を押すと PIN1 コードが自動的にロックされます。決定を押すと PIN ロック解除コードの入力画面が表示されます。→ P187

PIN1 コードを変更します< PIN1 コード変更>

ご契約時	0000

- PIN1コードを変更するときは、あらかじめPIN1コードを使用するように設定する必要があります。→ P181
- 入力した端末暗証番号または PIN1 コードは「*」で表示されます。

1 待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「8 操作の制限をする」▶「7 FOMA カードの PIN コードを設定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4 ～ 8 桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

FOMAカードの
PINコードを
設定してください

1PIN1コード変更
2PIN2コード変更
3PIN1コード使用

決定

次ページへ続く

3 「1 PIN1コード変更」を押す

現在の
PIN1コードを
入力してください
残り 3回
入力できます

確定

4 現在のPIN1コードを入力▶決定を押す

新しい
PIN1コードを
入力してください

確定

5 新しい4～8桁のPIN1コードを入力▶決定を押す

確認のため新しい
PIN1コードを再度
入力してください

確定

6 操作5で入力した4～8桁のPIN1コードをもう一度入力▶決定を押す

PIN1コードを変更した旨のメッセージが表示されます。

- 操作5で入力した新しいPIN1コードと一致しない場合、PIN1コードが一致しない旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作5からやり直してください。

7 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● 現在のPIN1コードの入力に失敗すると、認証できなかった旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作4からやり直してください。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 現在のPIN1コードの入力を3回連続して失敗すると、PIN1コードが認証できなかった旨のメッセージが表示され、決定を押すとPIN1コードが自動的にロックされます。決定を押すとPINロック解除コード入力画面が表示されます。→P187

PIN2コードを変更します<PIN2コード変更>

ご契約時 0000

● PIN2コードは、SSL通信でのFirstPassのユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用します。→P251、P305

● 入力した端末暗証番号またはPIN2コードは「*」で表示されます。

1 待受画面でメニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「8 操作の制限をする」▶「7 FOMAカードのPINコードを設定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4〜8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

FOMAカードの
PINコードを
設定してください

1 PIN1コード変更
2 PIN2コード変更
3 PIN1コード使用

決定

3 「2 PIN2コード変更」を押す

現在の
PIN2コードを
入力してください
残り 3回
入力できます

確定

次ページへ続く

4 現在のPIN2コードを入力▶ 決定 を押す

5 新しい4～8桁のPIN2コードを入力▶ 決定 を押す

6 操作5で入力した4～8桁のPIN2コードをもう一度入力▶ 決定 を押す

PIN2コードを変更した旨のメッセージが表示されます。

- 操作5で入力した新しいPIN2コードが一致しない場合、PIN2コードが一致しない旨のメッセージが表示されます。決定 を押して操作5からやり直してください。

7 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

- 現在のPIN2コードの入力に失敗すると、認証できなかった旨のメッセージが表示されます。決定 を押して操作4からやり直してください。
- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 現在のPIN2コードの入力を3回連続して失敗すると、PIN2コードが認証できなかった旨のメッセージが表示され、決定 を押すとPIN2コードが自動的にロックされます。決定 を押すとPINロック解除コード入力画面が表示されます。→P187

PIN ロックを解除します

PIN コード入力画面で PIN コードの入力を 3 回連続して失敗すると、PIN コードが自動的にロックされます。その場合は、PIN ロック解除コードを入力してロックを解除してから新しい PIN コードを設定します。

- PIN ロック解除コードとは、PIN1 コード、PIN2 コードがロックされた状態を解除するための 8 桁の番号です。お買い上げ時にお客様にお知らせします。PIN ロック解除コードを忘れた場合や PIN ロックを解除できなくなった場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- PIN1 コード、PIN2 コードともに操作方法は同様です。
- 入力した PIN ロック解除コード、PIN1 コード、PIN2 コードは「*」で表示されます。

〈例〉PIN1 コードのロックを解除するとき

1 PIN1 コードがロックされた旨の確認画面で 決定 を押す

PINロック
解除コードを
入力してください
残り10回
入力できます

確定

2 8 桁の PIN ロック解除コードを入力 ▶ 決定 を押す

新しい
PIN1コードを
入力してください

確定

次ページへ続く

3 新しい4～8桁のPIN1コードを入力▶決定を押す

確認のため新しい
PIN1コードを再度
入力してください

確定

4 操作3で入力した4～8桁のPIN1コードをもう一度入力▶決定を押す

PINロック解除コードが認証された旨のメッセージが表示されます。

● 操作3で入力した新しいPIN1コードと一致しない場合、新しいPIN1コードが一致しない旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作3からやり直してください。

5 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● PINロック解除コードの入力に失敗すると、認証できなかった旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作2からやり直してください。

● ☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードが自動的にロックされます。

PIN1コード、PIN2コード入力 → OK → FOMA端末使用可能

PIN1コード、PIN2コード入力 → 3回連続間違い → PINロック解除コード入力

PINロック解除コード入力 → OK → 新PIN1コード、新PIN2コード設定可能

PINロック解除コード入力 → 10回連続間違い → ドコモショップ窓口にお問い合わせください

各種ロック機能について

FOMA端末を他の人が不正に使用したり、個人情報や電話帳データを見たりしないように、さまざまなロック機能があります。目的に合わせてご利用ください。

- 万一、端末暗証番号をお忘れになった場合は、他の人が不正に変更することを防止するために、FOMA端末、および契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただくことになりますのでご注意ください。
- シークレットモード以外の次のロック機能は、電源を切っても設定は保持されます。

項　目	説　明	参照先
全ての操作を制限する	各機能の操作などができなくなり、他の人が不正に使用するのを防ぎます。	P190
セルフモードを設定する	電話の発着信やメールの送受信などの通信機能を使用できないようにします。	P191
シークレットモードに設定する	電話帳データおよび予定にシークレット属性を設定すると、そのデータは4～8桁の端末暗証番号の入力を行ってシークレットモード中のみ表示され、通常の状態では表示されなくなります。	P192
履歴の表示を制限する	リダイヤルや着信履歴、伝言メモの表示を制限します。	P193
個人の情報表示を制限する	電話帳やメールなどが表示・編集できなくなり、個人情報の表示や改ざんを防ぎます。また、本機能を設定中に電話帳に登録されている相手と電話の発着信を行っても相手の名前は表示されず、メールを受信しても受信結果画面は表示されません。	P193
ダイヤル入力での発信を制限する	ダイヤルボタンで直接電話番号を入力して電話をかけることができなくなります。	P195

複数のロック機能を同時に設定します

たとえば、ダイヤルボタンによる電話発信と、電話帳や個人情報などの表示を同時に制限するときは、ダイヤル入力での発信を制限して（→P195）、個人の情報表示を制限します（→P193）。

- 同時に設定した場合の待受画面の表示→P36

他の人が使用できないようにします <オールロック>

オールロック中は、各機能の操作などができなくなり、他の人が不正にFOMA端末を使用するのを防ぐことができます。

オールロック中は、電話をかけたり、受けたりすることもできなくなります。 オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して（発信キー）を押します。 入力した緊急通報番号は、暗証番号の入力欄に「*」で表示されます。

設定します

1 待受画面で（メニュー）▶「# 詳細な機能を設定する」▶「8 操作の制限をする」▶「1 全ての操作を制限する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

全ての操作を制限した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

9月15日 木曜日
13時 23分
全ての操作を
制限しています

待受画面に戻ります。

- オールロック中は、FOMA端末を折り畳んでいるときに（サイドキー）を押すと、背面ディスプレイに「オールロック中」と表示されます。

解除します

1 オールロック中に4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

全ての操作の制限が解除された旨のメッセージが表示されます。

2 決定を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- オールロック中の着信は拒否されて相手には話中音が流れますが、着信履歴には記録されます。本機能を解除すると待受画面にが表示されます。
- オールロック中にメールやメッセージR/Fを受信しても、受信結果画面は表示されません。
- オールロック中の待受画面には、画像を変更していたり、カレンダー表示していても、標準の画像（草原）が表示されます。
- オールロック中は、目覚まし機能は動作しません。

発信や着信ができないようにします＜セルフモード＞

お買い上げ時 解除する

セルフモード中は、電話の発着信やメールの送受信など、通信を必要とするすべての機能が使えなくなります。

- セルフモード中に緊急通報（110番、119番、118番）をすると、本機能は解除されます。

1 待受画面でメニュー▶「# 詳細な機能を設定する」▶「8 操作の制限をする」▶「2 セルフモードを設定する」を押す

セルフモードを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 設定する」を押す

セルフモードを設定した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 解除する」：セルフモードを解除します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。
- セルフモード中は、ディスプレイ上部にSelfが表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときには、背面ディスプレイにselfが表示されます。

お知らせ

- セルフモード中は、電話をかけてきた相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。なお、ドコモの留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。

シークレット設定されている情報を表示します<シークレットモード>

お買い上げ時 解除する

電話帳データや予定にシークレット属性を設定したり、シークレット属性を設定したデータを表示したり、またシークレット属性を解除したりするときには、FOMA 端末をシークレットモードにする必要があります。

設定します

1 待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「8 操作の制限をする」▶「3 シークレットモードに設定する」を押す

シークレットモードを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 設定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

- 「2 解除する」：シークレットモードを解除します。

3 4～8 桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す

シークレットモードを設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。
- 本機能を使用中は、待受画面に が表示されます。

解除します

1 シークレットモード中に待受画面で を押す

シークレットモードが解除されます。

お知らせ

- 電話帳データにシークレット属性を設定する→ P144

あんしん設定 シークレットモード

リダイヤル・着信履歴・伝言メモの表示を制限します<履歴表示制限>

お買い上げ時 制限しない

リダイヤルや着信履歴、伝言メモの表示を規制して、他の人に発着信情報を知られないようにします。

1 **待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「8 操作の制限をする」▶「4 履歴の表示を制限する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **4～8 桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す**

履歴の表示を制限するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1 制限する」を押す**

履歴の表示を制限した旨のメッセージが表示されます。

●「2 制限しない」：履歴の表示の制限を解除します。

4 **決定 を押す**

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 本機能を「制限する」に設定しても、発着信情報はリダイヤル／着信履歴に記録されます。制限を解除すると、制限中に記録された発着信情報を表示することができます。

電話帳やメールなどの個人情報を表示しないようにします<個人情報表示制限>

お買い上げ時 制限しない

本機能を使用して、電話帳やメールなどの個人情報の表示や改ざんを防ぎます。

● 電話帳登録外の着信を拒否しているときには、本機能を使用できません。→ P203

● 本機能を使用すると、設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されますが、設定後にかけた電話はリダイヤルに、かかってきた電話は着信履歴に記録されます。また、リダイヤルと着信履歴からは電話をかけることができます。

次ページへ続く

1 待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「8 操作の制限をする」▶「5 個人の情報表示を制限する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8 桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す

個人の情報表示を制限しますか？
1制限する
2制限しない
決定 ガイド

「1 制限する」　：個人の情報表示を制限します。
「2 制限しない」：個人の情報表示を制限しません。

3「1 制限する」を押す

個人の情報表示の制限を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

● 本機能を使用中は、待受画面に が表示されます。

個人情報の表示を制限すると

● 次の機能（すべて、または一部の設定）が利用できなくなります。メニュー画面を表示した場合、利用できない機能がグレーなどで薄く表示され、選択できません。

- 個人情報
- 電話帳
- ｉモード
- メール／ SMS ／メッセージ R/F※
- 写真
- ビデオ
- メロディ
- 目覚まし
- 歩数計
- 伝言メモ
- 発番通知のない着信を設定する
- ブックマークを見る
- ｉモード問合せ
- 写真のアルバムを見る
- ビデオのアルバムを見る
- 保存した曲の詳細を設定する
- 予定表
- ソフトウェアを更新する

※：受信されますが、受信結果画面は表示されません。

● 本機能を使用中は、電話帳に登録している相手から電話がかかってきても、相手の名前は表示されません。

●本機能の対象となっている画像やメロディを待受画面や着信音などに設定していると、本機能を使用中は設定がお買い上げ時の状態になります。本機能を解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「内蔵写真」「内蔵メロディ」「内蔵ビデオ」フォルダ内に登録されているデータを設定している場合は、本機能を使用してもお買い上げ時の状態には戻りません。
●外部機器からの AT コマンドによる本機能の設定／解除はできません。

ダイヤル発信を禁止します <ダイヤル発信制限>

お買い上げ時　制限しない

ダイヤルボタンを押して電話をかけられない状態にします。

●本機能を使用しても、緊急通報（110 番、119 番、118 番）はできます。
●本機能を使用すると、設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されますが、設定後に電話帳などからかけた電話はリダイヤルに、かかってきた電話は着信履歴に記録されます。リダイヤルからは電話をかけることができます。

1 待受画面で（メニュー）▶「# 詳細な機能を設定する」▶「8 操作の制限をする」▶「8 ダイヤル入力での発信を制限する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4 〜 8 桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

ダイヤル入力での発信を制限するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1 制限する」を押す

ダイヤル入力での発信の制限を設定した旨のメッセージが表示されます。
●「2 制限しない」：ダイヤル入力での発信の制限を解除します。

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。
●（終話）を押すと待受画面に戻ります。
●本機能を使用中は、待受画面にアイコンが表示されます。
●本機能を使用中に個人の情報表示を制限すると（→ P193）、待受画面のアイコンはアイコンに切り替わります。→ P36

ダイヤル入力での発信を制限すると

● 次の操作はできません。
- 着信履歴からの発信
- 電話帳の修正、登録、削除
- ｉモードメール／SMSの送信（電話帳を利用しての送信、または電話帳に登録した相手からのメールへの返信は可能）
- Phone To（AV Phone To）、Mail To機能
- ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用

● 外部機器からのATコマンドによる本機能の設定／解除はできません。

指定した電話番号からの電話だけを受けません／受けます<電話帳指定着信拒否／許可>

FOMA端末電話帳から相手を選んで着信拒否／許可一覧に登録し、その相手の電話番号に対して着信拒否／許可を設定します。
拒否を設定すると、登録した相手からの電話はつながりません。また、許可を設定すると、登録した相手からの電話のみつながります。
相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。

● あらかじめ電話帳の登録が必要です。→P120

● 番号通知お願いサービス（→P512）や発信者番号通知のない相手に対する着信動作の設定（→P199）を併用することをおすすめします。

● 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を使用できません。→P193

着信を拒否／許可する相手を登録します

着信を拒否／許可する相手を電話帳から指定して登録します。

● 拒否／許可する相手は、それぞれ最大20件登録できます。

● FOMAカード電話帳から指定することはできません。

〈例〉着信を拒否する相手を登録するとき

1 待受画面で（メニュー）▶「# 詳細な機能を設定する」▶「2 電話・電話帳の詳細を設定する」▶「2 着信を拒否する相手を指定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

● 着信を許可する相手を登録するときは、待受画面で（メニュー）▶「# 詳細な機能を設定する」▶「2 電話・電話帳の詳細を設定する」▶「3 着信を許可する相手を指定する」を押します。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶ 決定 を押す

登録した相手を
着信拒否に
設定しますか？

1設定する
2解除する
3相手を登録する

決定

「1 設定する」　：着信拒否を設定します。
「2 解除する」　：着信拒否を解除します。
「3 相手を登録する」：着信を拒否する相手を着信拒否登録一覧に登録します。

3 「3 相手を登録する」を押す

着信拒否登録一覧
1:　[未登録]
2:　[未登録]
3:　[未登録]
4:　[未登録]
5:　[未登録]
6:　[未登録]
7:　[未登録]
決定

● ：前後のページを表示できます。

4 登録先の番号を選択▶ 決定 を押す

電話帳の検索方法選択画面が表示されます。

● 登録済みの相手を変更する：相手を選択▶ メニュー ▶「1編集する」を押します。
● 登録済みの相手を削除する：相手を選択▶ メニュー ▶「2削除する」▶「1削除する」を押します。操作6に進みます。

5 登録する相手を検索して選択▶ 決定 を押す

着信を拒否／許可する相手に登録した旨のメッセージが表示されます。

● 検索方法→P134

6 決定 を押す

登録一覧に戻ります。

● 戻る を押すと、操作2の画面に戻ります。続けて着信拒否／許可の設定ができます。→P198 操作3～4
● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 登録した相手にシークレット属性が設定されている場合、シークレットモード中でないときは、登録一覧には相手の名前が「**********」と表示されます。また、着信があっても着信拒否／許可の動作は行われません。
● 登録した相手の電話帳データを修正／削除した場合は、着信を拒否／許可に登録した相手のデータも修正／削除されます。

着信拒否／許可を設定します

お買い上げ時 解除する

電話帳指定着信拒否または電話帳指定着信許可を設定します。

● 電話帳指定着信拒否と電話帳指定着信許可を同時に設定できません。

〈例〉着信拒否を設定するとき

1 待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「2 電話・電話帳の詳細を設定する」▶「2 着信を拒否する相手を指定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

● 着信を許可する相手を登録するときは、待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「2 電話・電話帳の詳細を設定する」▶「3 着信を許可する相手を指定する」を押します。

2 4～8 桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す

登録した相手を
着信拒否に
設定しますか？

1設定する
2解除する
3相手を登録する

決定

「1 設定する」　：着信拒否を設定します。

「2 解除する」　：着信拒否を解除します。

「3 相手を登録する」：着信を拒否する相手を着信拒否登録一覧に登録します。

3 「1 設定する」を押す

着信拒否／許可を設定した旨のメッセージが表示されます。

● 着信を拒否／許可する相手を登録していない場合は、相手が登録されていない旨のメッセージが表示されます。決定 を押して相手を登録してください。

→ P196

4 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

● 終話 を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 電話帳指定着信拒否を設定中に拒否した電話番号の着信があった場合、または電話帳指定着信許可を設定中に許可していない電話番号の着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。
留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を 0 秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。

● ｉモードメールや SMS は、本機能の設定に関わらず受信されます。

発信者番号のわからない電話を受けません<非通知理由別着信設定>

お買い上げ時 非通知設定：設定を解除　通知不可能：設定を解除　公衆電話：設定を解除

発信者番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由（発信者番号非通知理由→ P60）によって異なる着信動作を設定します。

- 発信者番号が通知されない電話がかかってくると、電話を受けたときの音（→ P160）の設定より本機能で設定した着信音が優先して鳴ります。
- 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を使用できません。→P193

1 待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「2 電話・電話帳の詳細を設定する」▶「5 発番通知のない着信を設定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8 桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す

発番通知されない
着信の種類を
選んでください
1非通知設定
2通知不可能
3公衆電話
決定

「1 非通知設定」：非通知設定の着信動作を設定します。
「2 通知不可能」：通知不可能の着信動作を設定します。
「3 公衆電話」　：公衆電話などの着信動作を設定します。

3 「1 非通知設定」～「3 公衆電話」のいずれか 1 つの番号を押す

選んだ
発番通知なし
着信の動作を
設定してください
1着信音を選択
2着信音量を消音
3着信を拒否
4設定を解除
決定

「1 着信音を選択」　：発信者番号の非通知理由ごとに着信音を設定します。
「2 着信音量を消音」：着信音を鳴らさないようにします。
「3 着信を拒否」　　：着信を拒否します。
「4 設定を解除」　　：着信動作の設定を解除します。

次ページへ続く

4 「1 着信音を選択」～「4 設定を解除」のいずれか１つの番号を押す

●「2 着信音量を消音」～「4 設定を解除」：操作６に進みます。

5 「1 メロディ」または「2 着モーション」▶フォルダを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

●メロディまたは動画／ｉモーションの再生については「携帯電話から鳴る着信音を変えます」のお知らせをご覧ください。→Ｐ161

6 決定を押す

非通知理由の選択画面に戻ります。

●着信動作を設定した項目には「＊」が表示されます。設定済みの項目を選択して決定を押すと、操作３の画面が表示されます。

●☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●本機能を「着信を拒否」に設定中に発信者番号が通知されない着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。
留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を０秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。

●本機能と番号通知お願いサービス（→Ｐ512）を同時に設定した場合は、番号通知お願いサービスが優先して動作します。

●ｉモードメールやＳＭＳは、本機能の設定に関わらず受信されます。

●発信者番号が通知されないテレビ電話の着信があった場合は、着信動作を「着信を拒否」に設定したときのみ本機能が動作します。それ以外に設定した場合は、テレビ電話の着信音の設定に従って動作します。→Ｐ160

電話帳未登録の相手の着信音を無音にします ＜無音着信時間設定＞

お買い上げ時　無音着信動作：設定しない

FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳に登録されていない相手や電話番号を通知してこない相手から電話がかかってきたときに、着信音やバイブレータ、背面ディスプレイ、着信ランプの動作（呼出動作）をすぐに開始せずに、設定した時間が経過した後に呼出動作を開始するように設定します。「ワン切り」など迷惑電話に効果的です。

- 本機能を使用中は、次のように動作します。
  - 待受中または通話中に音声電話がかかってくると、無音着信時間内はディスプレイの表示のみで着信を知らせます。無音着信時間が経過すると、待受中の場合は通常の呼出動作を開始します。通話中の場合は「ププ…ププ…」という通話中着信音（→P82）が受話口から聞こえます。
  - 呼出時間が無音着信時間内の不在着信は、呼出しなし着信として記録され、着信履歴に表示されません。また、新着情報とも表示されません。ただし、表示の切り替えにより、無音着信時間内の不在着信を表示することができます。→P85
  - 通常の着信履歴と無音着信時間内の不在着信は、合わせて最大30件記録されます。
- 登録外着信拒否を「拒否する」に設定している場合は、本機能は使用できません。

1 待受画面で（メニュー）▶「# 詳細な機能を設定する」▶「2 電話・電話帳の詳細を設定する」▶「9 無音着信時間を設定する」を押す

無音着信時間を設定してください
1無音着信動作　設定しない
2無音着信時間　4秒間
変更　完了

「1 無音着信動作」：本機能を有効にするかどうかを設定します。

「2 無音着信時間」：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を設定します。

2 「1 無音着信動作」を押す

無音着信動作を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

次ページへ続く

3 「1 設定する」を押す

無音着信時間を
設定してください
(1～99秒)

4秒間

確定

●「2 設定しない」：無音着信動作を設定しません。
操作 5 に進みます。

4 無音着信時間を入力▶決定を押す

無音着信時間の設定画面に戻ります。

●1～99 秒の範囲で設定できます。

5 電話帳を押す

無音着信時間を設定した旨のメッセージが表示されます。

6 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●終話キーを押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 電話帳に登録されている相手から電話がかかってきても、次のような場合は無音着信時間内の不在着信として記録され、着信履歴に表示されません。
  - 個人の情報表示を制限している場合（→P193）で、相手が無音着信時間内で電話を切ったとき
  - シークレットモード中でない場合で、シークレット属性が設定されている相手が無音着信時間内で電話を切ったとき
  - 発信者番号を非通知で電話をかけてきた相手が、無音着信時間内で電話を切ったとき
● 留守番電話サービスや転送でんわサービス、伝言メモを設定しているときは、電話がかかってくると、本機能の設定に関わらず各機能が動作します。
● 公共モード中は、本機能は動作しません。
● 発信者番号通知のない相手に対する着信動作（→P199）、着信を拒否／許可する相手（→P196）を設定中は、着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。
● 本機能とイヤホン接続時着信設定（→P494）を同時に設定している場合、無音着信時間をイヤホン接続時着信設定の応答時間以上に設定すると、イヤホン接続時着信設定は動作しません。
● 本機能とオートスピーカーホン機能（→P83）を同時に設定している場合、無音着信時間を4秒以上に設定すると、オートスピーカーホン機能は動作しません。

電話帳未登録の相手からの電話を受けません<登録外着信拒否>

お買い上げ時 許可する

FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳に登録されていない相手からの着信を拒否します。

- 番号通知お願いサービス（→P512）や着信を拒否する相手の設定（→P196）、発信者番号通知のない相手に対する着信動作の設定（→P199）を併用することをおすすめします。
- 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を使用できません。→P193
- 無音着信時間設定を「設定する」にしている場合は、本機能は使用できません。

1 待受画面でメニュー▶「# 詳細な機能を設定する」▶「2 電話・電話帳の詳細を設定する」▶「4 電話帳登録外の着信を拒否する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

電話帳に
登録されていない
相手からの着信を
受けますか？

1拒否する
2許可する

決定

「1 拒否する」：電話帳に登録されていない相手からの着信を拒否します。
「2 許可する」：電話帳に登録されていない相手からの着信を許可します。

3 「1 拒否する」を押す

電話帳登録外の着信を拒否するように設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- ☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能を「拒否する」に設定中に電話帳に登録されていない電話番号からの着信があった場合や、電話帳に登録されている相手が発信者番号を通知せずに電話をかけてきた場合、またはシークレット属性を設定した電話帳データからシークレットモード中でないときに着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。

次ページへ続く

● 留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を 0 秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
● i モードメールや SMS は、本機能の設定に関わらず受信します。

その他の「あんしん設定」について

FOMA 端末では暗証番号や各種ロック機能以外にも、次のような「あんしん設定」を利用することができます。

● 迷惑メールの対策に関する設定は『i モード操作ガイド』もご覧ください。

目　的	あんしん設定	参照先
大量に届くメールの中から、必要なメールだけを受信します。	メール選択受信	P347
メールアドレスを変更します。	メールアドレス変更	『i モード操作ガイド』をご覧ください。
指定するドメインからのメールのみを受信します。	ドメイン指定受信	
i モードどうしのメールだけを受信／拒否します。	i モードメールのみ受信／拒否	
一方的に送られてくる広告メールを受信しません。	未承認広告※メール拒否	
1 日 1 台の i モード携帯電話から送信される 200通目以降の i モードメールを拒否します。	i モードメール大量送信者からのメール受信制限	
災害時に i モードを利用して、安否情報を登録／確認します。	「i モード災害用伝言板」サービス	
受信するすべてのメールのうち、指定するアドレスからのメールを受信／拒否します。	アドレス指定受信／拒否	P314
メール機能を一時的に停止します。	メール機能停止	P315
いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの「迷惑電話」を受けません。	迷惑電話ストップサービス	P510
電子認証サービス「FirstPass」を利用して、安全で信頼性のあるデータ通信を行います（FirstPass 対応のサイトに限ります）。	FirstPass	P256 P308
パケット通信を使って FOMA 端末のソフトウェアを最新の状態にします。	ソフトウェア更新	P587

音声呼出し／読み上げ機能

音声で呼び出す電話帳の単語を登録します<ボイスダイヤル登録>

FOMA端末の電話帳データを音声で呼び出せるように呼出辞書データとして単語を登録することができます。

- 最大100件登録できます。
- 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を使用できません。→P193
- 1つの電話帳データに対して複数の単語を登録することはできません。
- 複数の電話帳データに対して同じ単語を登録することはできません。

1 待受画面で 電話帳 ▶「3 音声で呼出す電話帳を登録する」を押す

電話帳呼出し用の
単語登録状況

登録数 2件
残り 98件

決定

登録した単語の件数と、登録できる件数が表示されます。

2 決定 を押す

新規登録
井上太郎
佐藤友子

決定

単語を登録した場合は、登録した電話帳データの一覧が表示されます。

3 「新規登録」を選択▶ 決定 を押す

電話帳の検索方法選択画面が表示されます。

4 登録する相手を検索して選択▶決定を押す

橋本花子
読みを
3文字以上で
登録してください
ﾊｼﾓﾄﾊﾅｺ
メニュー 確定 ガイド

●検索方法→P134
●登録済みの相手を選択した場合、同じ電話帳が登録されている旨のメッセージが表示されます。決定を押すと電話帳データの一覧に戻ります。

5 単語の読みを入力▶決定を押す

音声呼出し用の単語を登録した旨のメッセージが表示されます。

●半角カタカナで3～10文字入力できます。
読みの中に次の文字を含む単語は登録できません。
- 1文字目が「ﾝ」「ｰ」「ｧ」「ｨ」「ｩ」「ｪ」「ｫ」「ｬ」「ｭ」「ｮ」「ｯ」「ﾞ」「ﾟ」
- 認識しにくい文字
〈例〉「ｯｰ」「ﾝﾝ」「ﾝｰ」「ﾝｯ」「ｰｰ」「ｰｯ」など
- 空白

●あらかじめ電話帳に登録したフリガナの先頭10文字が単語として入力されており、そのまま登録することもできます。
●登録済みの単語の読みを入力した場合、読みがすでに登録されている旨のメッセージが表示されます。決定を押すと単語の読みの入力画面に戻ります。
●登録した単語の読みが短かったり、似た読みの単語をすでに登録していたりすると認識されにくいことがあります。正しく認識されなかった場合は、単語の読みを変更してください。

6 決定を押す

電話帳データの一覧に戻ります。

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●ボイスダイヤルの単語に登録した電話帳データを削除した場合は、ボイスダイヤルに登録した単語も削除されます。
●ボイスダイヤルの単語に登録した電話帳データのフリガナを修正しても、ボイスダイヤルの単語の読みは変更されません。

登録した内容を確認します

1 登録した電話帳データの一覧を表示する

●操作方法→P206 操作1～2

次ページへ続く

2 確認する電話帳データを選択▶決定を押す

登録内容
呼出す相手
橋本花子
読み
ﾊｼﾓﾄﾊﾅｺｻﾝ
ﾒﾆｭｰ 一覧 編集

- 決定を押すと電話帳データの一覧に戻ります。
- ☎を押すと待受画面に戻ります。

登録した内容を修正します

1 登録した電話帳データの一覧を表示する

- 操作方法→P206 操作1～2

2 修正する電話帳データを選択▶電話帳を押す

読みの入力画面が表示されます。

3 単語の読みを修正する

- 操作方法→P207 操作5～6

登録した内容を削除します

1 登録した電話帳データの一覧を表示する

- 操作方法→P206 操作1～2

2 削除する電話帳データを選択▶メニュー▶「2 削除する」を押す

選択した単語を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1 削除する」を押す

音声呼出し用の単語を削除した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 削除しない」：削除を中止します。

4 決定を押す

電話帳データの一覧に戻ります。
- 📞を押すと待受画面に戻ります。

音声で電話帳を呼び出します ＜ボイスダイヤル＞

音声で電話帳を呼び出して、電話をかけたりメールを作成したりできます。
- あらかじめ電話帳をボイスダイヤルに登録しておく必要があります。→P206
- 周囲の状況や発声のしかたにより、音声が認識されない場合があります。→P214
- 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を使用できません。→P193

1 待受画面で電話帳を1秒以上押す

決定ボタンを押し
ピーという
発信音の後に
呼出す相手を
お話しください
決定

2 決定▶FOMA端末を耳にあて、「ピー」と鳴ったらボイスダイヤルに登録した単語の読み（→P207 操作5）を話す

電話帳
橋本花子
ﾊｼﾓﾄﾊﾅｺ
No.004
会社
03XXXXXXXX
ﾒﾆｭｰ 決定

単語の読みに該当する電話帳が表示されます。
- 目的の電話帳が表示されなかった場合などは、決定を押して操作1からやり直してください。
- 該当する電話帳がない場合や、4秒以内に話さなかった場合は、認識できなかった旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作1からやり直してください。

次ページへ続く

3 を押す

- テレビ電話をかける場合はテレビ電話を押します。
- 2件目以降に登録した電話番号に電話をかける場合は、を押して電話番号を選択▶またはテレビ電話を押します。

音声で呼び出す機能の単語を登録します<ボイスメニュー登録>

各機能を音声で呼び出せるように呼出辞書データとして登録することができます。

- 最大50件登録できます。
- お買い上げ時は、15件の機能が登録されています。
- メニュー画面で表示される機能のみ登録できます。
- 1つの機能に対して複数の単語を登録することはできません。
- 複数の機能に対して同じ単語を登録することはできません。

1 待受画面でメニュー▶「9初めに行う設定」▶「7音声呼出しを登録する」▶「2音声で呼出す機能を登録する」を押す

機能呼出し用の
単語登録状況

登録数 15件
残り 35件

決定

登録されている単語の件数と、登録できる件数が表示されます。

2 決定を押す

新規登録

音声電話の
着信音を選ぶ
電話を受けた時
の音量を調節する
伝言メモ
を再生する

決定

登録されている機能の一覧が表示されます。

3 「新規登録」を選択▶決定を押す

登録可能な機能の一覧が表示されます。

1電話してきた相手を見る
2電話・電話帳を使う
3メールを使う
4写真・ビデオを撮る・見る
決定

4 登録する機能を選択▶決定を押す

メールを作る
読みを3文字以上で登録してください
メニュー 確定 ガイド

＜「メールを作る」を選択した場合＞

●操作 3 の画面でが付いている機能を選択して決定を押すと、次の階層が表示されます。
●登録済みの機能を選択した場合、同じ機能が登録されている旨のメッセージが表示されます。決定を押すと機能の一覧に戻ります。

5 単語の読みを入力▶決定を押す

音声呼出し用の単語を登録した旨のメッセージが表示されます。

●半角カタカナで 3 ～ 10 文字入力できます。
読みの中に次の文字を含む単語は登録できません。
- 1 文字目が「ﾝ」「ｰ」「ｧ」「ｨ」「ｩ」「ｪ」「ｫ」「ｬ」「ｭ」「ｮ」「ｯ」「ﾞ」「ﾟ」
- 認識しにくい文字
〈例〉「ｯｰ」「ﾝﾝ」「ﾝｰ」「ﾝｯ」「ｰｰ」「ｰｯ」など
- 空白

●登録済みの単語の読みを入力した場合、読みがすでに登録されている旨のメッセージが表示されます。決定を押すと単語の読みの入力画面に戻ります。
●登録した単語の読みが短かったり、似た読みの単語をすでに登録していたりすると認識されにくいことがあります。正しく認識されなかった場合は、単語の読みを変更してください。

6 決定を押す

機能の一覧に戻ります。

●を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く

お知らせ

● お買い上げ時は次の機能が登録（呼出辞書データ）されています。

呼び出す機能名	単語の読み
音声電話の着信音を選ぶ	オンセイ
電話を受けた時の音量を調節する	オンリョウ
伝言メモを再生する	デンゴン
受信したメールを見る	ジュシンメール
例文を使ってメールを作る	レイブン
届いているメール･メッセージを受信する	トイアワセ
写真を撮影する	シャシンサツエイ
ビデオを撮影する	ビデオサツエイ
写真のアルバムを見る	シャシンアルバム
ビデオのアルバムを見る	ビデオアルバム
目覚ましを使う	メザマシ
電卓を使う	デンタク
発信者番号通知を設定する	バンゴウツウチ
自分の電話番号を見る	デンワバンゴウ
電池残量を確認する	デンチザンリョウ

登録した内容を確認します

1 登録した機能の一覧を表示する

● 操作方法→ P210 操作 1 ～ 2

2 確認する機能を選択 ▶ 決定 を押す

登録内容
呼出す機能
メール
を作る
読み
メール
メニュー　一覧　編集

● 決定 を押すと機能の一覧に戻ります。
● ☎ を押すと待受画面に戻ります。

登録した内容を修正します

1 登録した機能の一覧を表示する

●操作方法→ P210 操作 1 ～ 2

2 単語を修正する機能を選択 ▶ 電話帳 を押す

読みの入力画面が表示されます。

3 単語の読みを修正する

●操作方法→ P211 操作 5 ～ 6

登録した内容を削除します

1 登録した機能の一覧を表示する

●操作方法→ P210 操作 1 ～ 2

2 削除する機能を選択 ▶ メニュー ▶「2 削除する」を押す

選択した単語を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3「1 削除する」を押す

音声呼出し用の単語を削除した旨のメッセージが表示されます。

●「2 削除しない」：削除を中止します。

4 決定 を押す

機能の一覧に戻ります。

●終話キーを押すと待受画面に戻ります。

音声で機能を呼び出します <ボイスメニュー>

音声で機能を呼び出して、操作することができます。

- あらかじめ機能をボイスメニューに登録しておく必要があります。→P210
- 音声で機能を呼び出すときには、次のようなことにご注意ください。
  - 周囲の雑音が大きい所では、音声が認識されない場合があります。なるべく静かな所で呼び出しを行ってください。
  - なるべくはっきりとお話しください。
  - 発声の前後に咳払いや呼吸音、その他雑音など、登録した単語の読みとは無関係な声や音は出さないでください。
  - 発声時にボタンを押したり、こすったりしないでください。
  - 登録した単語の読みを発声するときは、単語を切らずにお話しください。途中で切ると、単語がそこで終わったと認識されてしまう場合があります。
  - 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使用する場合、マイク部分に口を近づけてお話しください。
- 次の機能は、音声で呼び出すことができません。
  - セルフモード中に使用できない機能→P191
  - 個人情報の表示を制限しているときに使用できない機能→P194
  - ダイヤル入力での発信を制限しているときに使用できない機能→P196
  - 履歴の表示を制限しているときに使用できない機能→P193

1 待受画面で メニュー を1秒以上押す

決定ボタンを押し
ピーという
発信音の後に
呼出す機能を
お話しください

決定

2 決定 ▶ FOMA端末を耳にあて、「ピー」と鳴ったらボイスメニューに登録した単語の読み（→P211 操作5）を話す

単語の読みに該当する機能が表示されます。

- 目的の機能が表示されなかった場合は、終話 を押して操作1からやり直してください。
- 該当するデータがない場合や、4秒以内に話さなかった場合は、認識できなかった旨のメッセージが表示されます。決定 を押して操作1からやり直してください。

機能の説明やメールの内容などを音声で読み上げます

メニュー画面やサイト画面などの音声読み上げに対応した画面を表示したときに、機能や項目の説明などを自動または手動で読み上げを行うように設定することができます。また、読み上げの声質や速さ、音量を設定することもできます。

●「自動で読み上げ」または「手動で読み上げ」に設定すると、読み上げに対応した画面にが表示されます。読み上げ中はが点滅します。

●次のような項目が音声読み上げに対応しています。

- 日付・曜日・時刻※1
- 新着情報※1
- 充電完了時のお知らせ
- メニュー画面やサブメニューの各機能説明
- 各機能の設定画面や編集画面などの説明
- リダイヤルや着信履歴の内容
- 伝言メモの履歴
- 電話帳の内容や操作方法
- オールロックや公共モードなどの制限機能使用中のお知らせ※1
- サイト表示中の内容
- メールやメッセージ R/F の内容
- 待受画面でダイヤルボタンを押して入力した数字
- 選択した絵文字や記号、定型文※3
- 電卓の操作内容
- 歩数計の歩数※1
- 入力した文字
- 文字入力モードを切り替えたとき※2

※1：自動で読み上げを行うように設定しても自動では読み上げません。待受画面でを押すと読み上げます。

※2：手動で読み上げを行うように設定して、を押しても読み上げません。

※3：入力時に読み上げる内容については、「絵文字入力変換・読み上げ一覧」（→P564）、「記号・半角カタカナ・半角英数字読み上げ一覧」（→P566）をご覧ください。

音声読み上げを設定します<音声読み上げ設定>

お買い上げ時	動作：なし　声質：女声　速さ：2　音量：4

音声読み上げの動作や声質、速さを変更できます。また、読み上げの音量を調節できます。

次ページへ続く

1 待受画面で メニュー ▶「9 初めに行う設定」▶「6 音声読み上げを使う」▶「1 音声読み上げを設定する」を押す

音声読み上げを
設定してください
1 動作 なし
2 声質 女声
3 速さ 2
4 音量 4
変更 完了

● マナーモード中は、マナーモードを解除するかどうかの確認画面が表示されます。設定を行うときは「1 解除する」を押します。

項 目	説 明
1 動作	読み上げの動作（自動／手動）を設定します。また、読み上げが行われないように設定を解除します。
2 声質	読み上げるときの声質（女声／男声）を設定します。
3 速さ	読み上げるときの速さを、1（低速）～5（高速）の5段階で設定します。
4 音量	読み上げるときの音量を、音量1（最小）～音量6（最大）の6段階で調節します。

2 「1 動作」を押す

読み上げる動作を
選んでください
1 自動で読み上げ
2 手動で読み上げ
3 読み上げなし
決定

「1 自動で読み上げ」：読み上げに対応した画面で自動的に読み上げます。
「2 手動で読み上げ」：読み上げに対応した画面で (ボタン) を押すと読み上げます。
「3 読み上げなし」　：読み上げません。

3 「1 自動で読み上げ」～「3 読み上げなし」のいずれか1つの番号を押す

読み上げる声質を
選んでください
1 女性の声
2 男性の声
決定

● 「3 読み上げなし」：操作7に進みます。

4 「1 女性の声」または「2 男性の声」を押す

読み上げる速さを選んでください

▲速くする

▼遅くする

決定

5 速さを設定▶決定を押す

読み上げの音量を調節してください

大▲

▼小

音量4

決定

● を押して速さを設定します。

6 または音量ボタン（ ）を押して音量を調節▶決定を押す

音声読み上げの設定画面に戻ります。

7 電話帳を押す

読み上げを設定した旨のメッセージが表示されます。

8 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

●「自動で読み上げ」または「手動で読み上げ」に設定すると、読み上げに対応した画面に が表示されます。待受画面を表示中にFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイに が表示されます。読み上げ中は が点滅します。

次ページへ続く

お知らせ

- 待受画面を表示中にFOMA端末を折り畳んでいる場合は、(読み上げボタン)を1秒以上押すと次の項目などを読み上げます（(読み上げボタン)以外の左右側面のボタンを同時に押さないようにしてください。読み上げない場合があります）。
  - 日付・曜日・時刻
    （日付・時刻を設定していない場合は、時計が設定されていない旨をお知らせします）
  - 新着情報
  - 公共モード中のお知らせ
  - 歩数計の歩数
- 読み上げを途中で停止するときは、読み上げ中に(読み上げボタン)、(戻る)、(終話)のいずれかを押します。ただし、表示している画面や選択している項目により、読み上げが停止しない場合があります。読み上げを停止中に(読み上げボタン)を押すと、初めから読み上げます。
- 読み上げ中に音量ボタン（(△)(▽)）を押すと、読み上げの音量を調節できます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続中は、音声読み上げの送出先の設定（→下記）に関わらず、イヤホンからのみ音声が聞こえます。
- 本機能を「自動で読み上げ」に設定して、iモードメールやメッセージR/Fを表示したときに添付のメロディを自動演奏するように設定していると、iモードメールやメッセージR/Fは読み上げられずメロディが演奏されます。メロディ演奏後に(読み上げボタン)を押すと、読み上げが開始されます。→P297、P371
- 本機能の「動作」とボタン確認音の設定（→P164）により、待受画面でボタンを押したときの読み上げとボタン確認音の動作は次のようになります。

動作の設定 ＼ ボタン確認音の設定	自動で読み上げ	手動で読み上げ／読み上げなし
鳴らす	(0わをん記号)～(9WXYZら)、(*)、(#改行マナー)は読み上げます。 その他のボタンは確認音が鳴ります。	確認音が鳴ります。
鳴らさない	(0わをん記号)～(9WXYZら)、(*)、(#改行マナー)は読み上げます。	—

音声読み上げの送出先を切り替えます<スピーカー／受話口切替>

お買い上げ時	スピーカー

- 音声読み上げの送出先を「スピーカー」に設定すると、音量が大きくなりますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。

1 **待受画面で メニュー ▶「9 初めに行う設定」▶「6 音声読み上げを使う」▶「3 スピーカー／受話口の切替を行う」を押す**

「1 スピーカー」：音声読み上げの送出先をスピーカーにします。

「2 受話口」：音声読み上げの送出先を受話口にします。

2 **「1 スピーカー」または「2 受話口」を押す**

音声送出先を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

● [終話]を押すと待受画面に戻ります。

音声読み上げのルールについて

メールやサイト、電話帳などの内容は、おおむね次の規則に基づいて読み上げられます。希望どおりに読み上げが行われない場合は、読み上げ用の単語を登録してください。→P223

● 音声読み上げ辞書に登録されている単語を別の読みかたで登録した場合は、登録した読みかたが優先されます。

● 音声読み上げの開始時、または音声読み上げ時に次のようなことが起きると、読み上げが停止されます。

- 音声電話／テレビ電話がかかってきたとき
- データ通信を行ったとき
- 外部機器にデータを送信したとき
- FOMA 端末を折り畳んだとき
- 電池残量警告音が鳴ったとき
- 目覚ましが起動したとき
- 表示中の画面で停止操作が可能なボタン（[終話]、戻る、[読み上げ]）を押したとき※

※：サイト画面を表示している場合、[読み上げ]を押して読み上げ動作を行ったときは、音量ボタン（[▲][▼]）以外の任意のボタンを押したり、[メール]や[iモード]を 1 秒以上押して連続スクロールをしても読み上げが停止されます。ただし、表示しているサイトや項目によっては読み上げが停止されない場合があります。

次ページへ続く

読み上げ項目	ルール／読み上げ例
数字	●数字が並んでいる場合は、24桁まで桁読みします。 ※先頭に「0」がある場合は桁読みしません。 〈例〉12345：イチマンニセンサンビャクヨンジューゴ
英字	●読み上げ辞書に従って読み上げます。 〈例〉i ー mode：アイモード ●読み上げ辞書に登録されていない英字の文字列は、次のように読み上げます。 • 英字文字列が3文字以下 〈例〉abc：エービーシー • 英字文字列が4文字以上 すべてローマ字と判定できる場合はローマ字読みで読み上げます。 〈例〉yamamoto：ヤマモト すべてローマ字と判定できない場合は、アルファベット読みで読み上げます。 〈例〉yyyyy：ワイワイワイワイワイ
絵文字・記号	●絵文字・記号を読み上げます。ただし、表示している画面や項目によっては、一部の記号を読み上げない場合があります。 ●メールなどで使われる「(＾＾)」のような顔文字の一部を読み上げます。 〈例〉(＾＾)　：ニコ (；；)　：シクシク (＾_＾)V　：ピースなど ●同じ絵文字・記号が3つ以上連続する場合は、まとめて読み上げます。 該当するのは、すべての絵文字と次の記号です。 〆（）「」＜＞＋±×÷＝≠≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄￠￡％ ＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆ ⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡√∽∝∵∫∬Å‰♯ ♭♪†‡¶∮∑∟⊿ 〈例〉※※※：サンコノ　コメジルシ　マーク
日付	●数字を「／」や「.」で区切ると、日付として読み上げます。 ※次の形式以外の場合は日付として読み上げません。 〈例〉2005／9／15（または2005.9.15）： ニセンゴネン　クガツ　ジューゴニチ 5／9／15（または5.9.15）： ゴネン　クガツ　ジューゴニチ 9／15：クガツ　ジューゴニチ H17／9／15： ヘーセージューナナネン　クガツ　ジューゴニチ S45／1／1： ショーワヨンジューゴネン　イチガツ　ツイタチ T10／1／1： タイショージューネン　イチガツ　ツイタチ M10／1／1： メージジューネン　イチガツ　ツイタチ

読み上げ項目	ルール／読み上げ例
時刻	●数字を「：」で区切ると、時刻として読み上げます。 ※次の形式以外の場合は時刻として読み上げません。 〈例〉9：30（または09：30）： クジ　サンジュップン AM11：30（または11：30AM）： ゴゼン　ジューイチジ　サンジュップン PM11：30（または11：30PM）： ゴゴ　ジューイチジ　サンジュップン 23：30： ニジューサンジ　サンジュップン 9：30：30： クジ　サンジュップン　サンジュービョー
返信、転送	●「Re：」「Re ＞」「Re［2］：」「Re［2］＞」「Re ＊ 2：」「Re ＊ 2 ＞」「Re^2：」「Re^2 ＞」はすべて「ヘンシン」と読み上げます。 これらが連続する場合は、「ヘンシン」と一回のみ読み上げます。 ●「Fw：」「Fw ＞」「Fw［2］：」「Fw［2］＞」「Fw ＊ 2：」「Fw ＊ 2 ＞」「Fw^2：」「Fw^2 ＞」はすべて「テンソー」と読み上げます。 これらが連続する場合は、「テンソー」と一回のみ読み上げます。 ●「ヘンシン」と「テンソー」が混ざって複数個連続する場合は、次のように読み上げます。 〈例〉Re：Fw：Fw：Re：Re：Re： ヘンシン　テンソー　ヘンシン
サイト内の項目	●ダイレクトキー（1 2･･･）は「キー×××」と読み上げます。 ●ラジオボタン ◉ は「ボタンオン」、○ は「ボタンオフ」と読み上げます。 ●チェックボックス ☑ は「チェックアリ」、□ は「チェックナシ」と読み上げます。 ●プルダウンメニューは「×コノセンタクシ」の後、選択されている項目を読み上げます。 ●文字入力枠は「モジニューリョク」と読み上げます。文字が入力されている場合は、入力されている文字も読み上げます。 ●パスワード入力枠が未入力のときは「パスワード」、入力済みのときは「パスワードニューリョクスミ」と読み上げます。 ●ボタンは「×××ボタン」と読み上げます。 ●サイトの内容を読み上げているときは、項目を読み上げた後に「ピピッ」という区切り音が鳴ります。 ●サイトを表示すると、ページのタイトルを最初に読み上げます。ページの最初の項目を選択してもページタイトルを読み上げます。 ●サイトの内容を表示中に を押すと、選択している項目を読み上げます。また、 を1秒以上押すと、表示しているページの選択している項目以降をすべて読み上げます。選択している項目より前は読み上げません。

次ページへ続く

読み上げ項目	ルール／読み上げ例
サイト内の項目	●サイトのリンク項目は、設定と違う声質（「女性の声」に設定しているときは「男性の声」）で読み上げます。 ●サイトのリンク情報以外の項目を選択した場合は、深緑色に反転表示されます。なおサイトの背景、文字、リンク項目の反転表示の色により、読み上げる反転表示の色が変更されることがあります。 ●サイトの項目によっては、絵文字などを読み上げない場合があります。
その他	●文章の内容や記載内容（特に地名や固有名詞など）により、正しく読み上げない場合があります。希望どおりに読み上げない場合は、読み上げ用の単語を登録してください。→P223 ●「は」を含む外来語（カタカナ語）がひらがなで表記された場合は、読みかたを誤る場合があります。 〈例〉はんどる　：ワンドル 　　　ふるはうす：フルワウス ●読み上げの音声は自然の音声とは異なるため、聞きづらい音やアクセントになる場合があります。 ●句読点（「。」「、」）がある場合は、句読点の位置で読み上げを区切ります。 ●1つ目の「↵」（改行マーク）を入力して改行し、2つ目を続けて次の行に入力して1行空いている場合、2つ目の位置で読み上げを区切ります。「↵」（改行マーク）を入力して改行し、次の行に続けて文章を入力した場合は、区切らずにそのままつなげて読み上げます。 なお、「↵」（改行マーク）は読み上げません。 ●漢字を使用した場合、正しく読み上げない場合もあります。メールでの読み誤りを減らすには、よくメールをやりとりする相手に次のことをお願いすることをおすすめします。 ・句読点を多めに使ってメールを作成してください。 ・読みが難しい漢字はカタカナにしてください。 ・カタカナを使うときには長音（「ー」）を使用してください。 ●電話帳の名前の読み上げは、登録されている「フリガナ」を読み上げます。「フリガナ」が登録されていないときは、名前に入力された文字を読み上げます。 ●単語によってはフリガナの登録時に長音（「ー」）を使用すると、より自然に読み上げます。 ●メールやサイトの内容を読み上げ中に✉または▣を押すと、読み上げが一時停止する場合があります。 ●画像や動画／iモーション、メロディなどの題名やファイル名が数字の羅列になっている場合は、桁読みを行わずに数字を読み上げます。 〈例〉12345：イチニサンヨンゴ

音声読み上げ辞書によく使う単語を登録します＜音声読み上げ単語登録＞

単語の読みかたを読上辞書データとして登録できます。
たとえば、お買い上げ時に「ゴジュウミネ」と読み上げられる「五十嶺」の読みとして「イソミネ」を登録すると、読み上げに対応したすべての画面で「イソミネ」と読み上げられるようになります。

●最大 50 件登録できます。

1 待受画面で（メニュー）▶「9初めに行う設定」▶「6音声読み上げを使う」▶「2 音声読み上げ用の単語を登録する」を押す

音声読み上げ用の
単語登録状況
登録数　0件
残り　50件
決定

登録した単語の件数と、登録できる件数が表示されます。

2 決定を押す

新規登録
決定

単語を登録した場合は、登録した単語の一覧が表示されます。

●一覧は区点コードの順に表示されます。

3 「新規登録」を選択▶決定を押す

単語を
入力してください
メニュー　確定　ガイド

次ページへ続く

4 単語を入力▶決定を押す

読みの入力画面が表示されます。

- ひらがな／漢字入力モードでのみ入力できます。全角の英数字や記号を入力する場合は、付録の「記号・特殊文字入力一覧」をご覧ください。
→ P558
- 全角で最大 6 文字入力できます。

5 読みを入力▶決定を押す

音声読み上げ用の単語を登録した旨のメッセージが表示されます。

- 半角カタカナで最大 12 文字入力できます。

6 決定を押す

単語の一覧に戻ります。

- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 単語によっては読みの登録時に長音（「ー」）を使用すると、より自然に読み上げます。
- 読みの入力で「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）を正しく入力していない場合や、先頭に「ッ」や「ー」、空白を入力した場合は、単語を登録できません。

登録した内容を確認します

登録した読み上げ用の単語と読みを確認します。

1 単語の一覧を表示する

- 操作方法→ P223 操作 1 ～ 2
- 一覧は区点コードの順に表示されます。

2 確認する単語を選択▶決定を押す

登録内容
読み上げる単語
五十嶺
読み
ｲｿﾐﾈ
ﾒﾆｭｰ 一覧 編集

- 決定を押すと単語の一覧に戻ります。
- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

登録した内容を修正します

1 **単語の一覧を表示する**

●操作方法→ P223 操作 1 ～ 2
●一覧は区点コードの順に表示されます。

2 **修正する単語を選択▶ 電話帳 を押す**

単語の入力画面が表示されます。

3 **単語と読みを修正する**

●操作方法→ P224 操作 4 ～ 6

登録した内容を削除します

1 **単語の一覧を表示する**

●操作方法→ P223 操作 1 ～ 2
●一覧は区点コードの順に表示されます。

2 **削除する単語を選択▶ メニュー ▶「2 削除する」を押す**

選択した単語を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1 削除する」を押す**

音声読み上げ用の単語を削除した旨のメッセージが表示されます。
●「2 削除しない」：削除を中止します。

4 **決定 を押す**

単語の一覧に戻ります。
●（終話）を押すと待受画面に戻ります。

カメラ

カメラをご使用になる前に

撮影して保存した写真やビデオでこんなこともできます

カメラを使って撮影した写真やビデオは、表示／再生するだけでなく、次の操作ができます。

● ｉモードメールに添付して送信→P420、P434
● 待受画面に設定→P421
● データ転送で送信→P574

カメラのご使用について

カメラで撮影するときは、FOMA端末を開いて待受画面を表示させ、カメラボタン（▭（📷））を押してカメラを起動します。カメラを起動すると、ディスプレイには外側カメラからの映像が表示されます。

▭：カメラボタン

カメラからの映像が表示されます。

内側カメラと外側カメラを使って写真やビデオを撮影することができます。

内側カメラ
- 内側カメラでは、自画像は鏡像表示されます。撮影後に保存した写真やビデオは、正像となります。

外側カメラ

● カメラ画素数→P597

お知らせ

- カメラを起動中に、FOMA端末を開いた状態のまま約5分間何も操作をしなかった場合は、カメラを終了する旨のメッセージが表示され、カメラは自動的に終了します。決定を押すと待受画面に戻ります。
- 写真／ビデオ撮影待機中にFOMA端末を折り畳むとカメラは終了します。
- 写真撮影した状態でFOMA端末を折り畳んだりしてもカメラは終了しません。FOMA端末を開くと撮影した写真の操作を選ぶ画面が表示されます。
- ビデオ撮影中（休止中を含む）にFOMA端末を折り畳むと撮影を中止します。その後FOMA端末を開くと、中止した時点まで撮影したビデオの操作を選ぶ画面が表示されます。

撮影時の留意事項

- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布できれいに拭いてください。
- 撮影する場合は、レンズ部分を指などで覆わないようにしてください。
- 手ぶれにご注意ください。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、FOMA端末を安定した場所に置き、セルフタイマー機能を使用して撮影してください。
- 決定を押してから実際に撮影されるまでに多少の時間差がありますので、決定を押してから少しの間、FOMA端末を動かさないようにしてください。
- 速く動いている被写体を撮影すると、決定を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは多少ずれた位置で被写体が撮影される場合があります。
- 暗い場所で写真撮影画面を表示すると、露光時間が自動的に長くなるため、ディスプレイの表示の更新がスムーズでない場合があります。
- 動きの激しいものを動画撮影したり、明るさが大きく変わる場所などを撮影した場合、映像が荒くなったり、うまく撮影できないことがあります。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末を温かい場所や直射日光が当たる場所に長時間放置したりすると、撮影する画像や映像が劣化することがあります。
- 太陽や照明などの強い光源を撮影しようとしたり、電池残量が少ないと、画面が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- レンズの特性により、画像がゆがんで見える場合があります。
- 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらつくことがありますが、「明るさの調節」の設定を変更することにより、ちらつきを軽減できる場合があります。→P242
  また、撮影のタイミングによっては、画像の色合いが異なることがあります。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影および録音したものなど、およびサイト（番組）やインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されておりますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音したものなどをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

保存形式について

カメラで撮影した写真（静止画データ）やビデオ（動画データ）の保存形式は次のとおりです。

静止画データ

項　目	説　明
データ形式	JPEG
撮影サイズ	Sサイズ（176×144）、待受（240×320）、 Mサイズ（352×288）、Lサイズ（640×480） • 内側カメラで撮影できるのは、SサイズとMサイズのみです。
拡張子	jpg
データ名	撮影日時により自動設定 （例）2005年9月15日13時23分に撮影した場合 →「200509151323」 日付・時刻を設定していない場合→「------------」
最大保存件数	500件 • データサイズや他の静止画の有無によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。

動画データ

項　目	説　明
データ形式	MP4（MobileMP4）
符号化方式	映像：MPEG-4　音声：AMR
撮影サイズ	176 × 144（QCIF）
拡張子	3gp
データ名	撮影日時により自動設定 （例）2005年9月15日13時23分に撮影した場合 動画→「200509151323」 音声→「音声09151323」 日付・時刻を設定していない場合→「------------」
データサイズの制限	メール添付、大容量メール添付
最大保存件数	50件 • データサイズや他の動画の有無によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。

写真を撮影します<写真撮影>

さまざまな撮影方法を選択して写真（静止画）を撮影します。

● 撮影（保存）可能な枚数は、「写真の大きさ」の設定（→P240）や撮影状況によって変わります。撮影（保存）できる枚数の目安は次のとおりです。

写真の大きさ	Sサイズ（176 × 144）	待受（240 × 320）	Mサイズ（352 × 288）	Lサイズ（640 × 480）
枚数	約460（枚）	約410（枚）	約307（枚）	約142（枚）

• 「アイテム」フォルダに保存されているフレームなども枚数に含まれます。
• 残り枚数を確認できます。→P430

1 待受画面で（📷）を押す

写真撮影
Sｻｲｽﾞ　残り　153枚
ﾒﾆｭｰ　撮影　見る

写真撮影画面が表示されます。

着信ランプが緑色で約2秒間隔で点滅します。

● メニュー：撮影時の設定ができます。→P236

● 電話帳：「撮影した写真」フォルダに保存されている撮影済みの写真を見ることができます。→P418

写真の大きさと、現時点で撮影（保存）できる残りの最大撮影枚数の目安が表示されます。

次ページへ続く

2 被写体にカメラを向けて決定を押す

撮影した
写真の操作を
選んでください
1保存する
2メールで送る
3待受画面に貼る
4撮りなおす
決定 確認

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、着信ランプが赤色で点滅して写真が撮影され、左の画面が表示されます。

● 電話帳：撮影した写真を確認できます。

項　目	説　明
1 保存する	撮影した写真を保存します。
2 メールで送る	撮影した写真を保存した後に、ｉモードメールに添付します。
3 待受画面に貼る	撮影した写真を保存した後に、待受画面に設定します。→P169
4 撮りなおす	撮影した写真を保存せずに撮り直します。

3 「1 保存する」を押す

写真を保存した旨のメッセージが表示されます。

■ｉモードメールで送るとき

①「2 メールで送る」を押す

- 写真を保存した旨のメッセージが表示された場合は、操作③に進みます。
- 撮影した写真のサイズを縮小して送るかどうかの確認画面が表示された場合は、操作②に進みます。

② 送りかたを選択▶決定を押す

- 送りかたの項目については、「画像を添付してｉモードメールを作成します」のお知らせをご覧ください。→P420
- 写真を保存した旨のメッセージが表示された場合は、操作③に進みます。
- 撮影した写真のサイズによっては、待受画面の大きさに合わせるかどうかの確認画面が表示されます。「1 小さくして送る」または「2 このまま送る」を押すと写真が保存されます。

③ 決定を押す

メール作成画面が表示されます。→P325

4 決定を押す

写真撮影画面に戻ります。

●「写真のアルバムを見る」の「撮影した写真」フォルダに保存されます。→P418

●終話キーを押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な写真を削除するかどうかの確認画面が表示されます。撮影（保存）する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の画像を削除してください。→P598
- 撮影した写真のデータサイズや空き容量によっては、写真撮影画面に表示される残り枚数が減らない場合があります。

セルフタイマーを利用します

セルフタイマーを使用すると約10秒後に自動で写真を撮影します。

1 待受画面で（カメラ）▶メニュー▶「5 セルフタイマーを使う」を押す

写真撮影
セルフタイマー待機中
メニュー 開始 見る

セルフタイマー待機中になります。

- メニュー：撮影時の設定ができます。→P236
- 電話帳：「撮影した写真」フォルダに保存されている撮影済みの写真を見ることができます。→P418
- セルフタイマーを解除するときはもう一度メニュー▶「5 セルフタイマーを解除」を押します。

2 被写体にカメラを向けて決定を押す

写真撮影
あと10秒
中止

撮影までの残り秒数が表示されます。

カウント音が鳴り、着信ランプが緑色で点滅します。撮影時間に近づくと、カウント音と着信ランプの点滅の間隔が短くなります。

- 決定：セルフタイマーを途中で中止します。

3 約10秒後に自動的に撮影される

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、着信ランプが赤色で点滅して写真が撮影されます。

- 保存時の操作は通常の写真撮影と同様です。→P232 操作3

お知らせ

- セルフタイマーのカウントダウン中にFOMA端末を折り畳むと、その時点でカウントダウンおよび撮影が中止されます。

ビデオを撮影します<ビデオ撮影>

さまざまな撮影方法を選択してビデオを撮影します。

●撮影中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。

●撮影（保存）可能な時間は「サイズを制限」「画質の設定」の設定（→P241、P244）や撮影状況によって変わります。撮影（保存）できる時間の目安は次のとおりです。

項　目	画質の設定	サイズの制限	
		メール添付	大容量メール添付
1回あたりの撮影時間	長時間	約88(秒)	約148(秒)
	標準の画質	約44(秒)	約75(秒)
	高画質	約30(秒)	約51(秒)
最大撮影時間（最大保存件数50件）	長時間	約37(分)	約38(分)
	標準の画質	約18(分)	約19(分)
	高画質	約12(分)	約13(分)

1 待受画面で（📷）▶ メニュー ▶「1 ビデオを撮影」を押す

ビデオ撮影[補正]
残り 00:20:35
メニュー 撮影 見る

ビデオ撮影画面が表示されます。

着信ランプが緑色で約3秒間隔で点滅します。

● メニュー：撮影時の設定ができます。→P236

● 電話帳：「撮影したビデオ」フォルダに保存されているビデオを見ることができます。→P431

現時点で撮影（保存）できる残りの最大撮影時間の目安が表示されます。

2 被写体にカメラを向けて 決定 を押す

撮影確認音が鳴り撮影が開始され、着信ランプが赤色で約 3 秒間隔で点滅します。

●撮影終了までの時間の目安が 00:00:00 になると、撮影が自動的に終了して操作 3 の画面が表示されます。

●メニュー：撮影が休止され、もう一度押すと再開されます。

撮影終了までの時間の目安が表示されます。
撮影終了までの目安が表示されます。

3 決定 を押す

終了確認音が鳴り、撮影が終了して左の画面が表示されます。

●電話帳：撮影したビデオを確認できます。

項　目	説　明
1 保存する	撮影したビデオを保存します。
2 メールで送る	撮影したビデオを保存した後に、ｉモードメールに添付します。
3 撮りなおす	撮影したビデオを保存せずに撮り直します。

4 「1 保存する」を押す

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。

■ｉモードメールで送るとき

①「2 メールで送る」を押す

• ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。

② 決定 を押す

メール作成画面が表示されます。→ P325

5 決定 を押す

ビデオ撮影画面に戻ります。

●「ビデオのアルバムを見る」の「撮影したビデオ」フォルダに保存されます。→ P431

●終話キーを押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く

お知らせ

- 動画の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なビデオを削除するかどうかの確認画面が表示されます。撮影する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の動画を削除してください。→P598
- ビデオ撮影画面上の時間表示はサイズ制限に達するまでの目安を示しています。
- 撮影中に充電を開始すると、設定によっては充電の開始を知らせる音が録音されます。→P165
- 撮影中に撮影終了までの時間表示の更新が遅くなる場合があります。
- 撮影中に電話がかかってきた場合、その時点で撮影が中断され、着信のメッセージが表示されます。通話終了後、撮影したビデオの操作を選ぶ画面が表示されます。
- 撮影中に目覚ましの設定時刻になった場合、その時点で撮影が中止されアラームが鳴ります。アラームを解除すると撮影したビデオの操作を選ぶ画面が表示されますが、撮影したビデオの最後にアラーム音が記録されることがあります。
- 撮影中に電池が切れそうになると、電池残量警告音が鳴り、撮影が中止されます。その際、撮影したデータの最後に電池残量警告音が録音されることがあります。

撮影時の設定をします

撮影するときの設定を変更します。

- 設定できる項目は次のとおりです。

項　目	参照先	項　目	参照先
ズームします	P237	明るさを調節します※	P242
撮影モードを切り替えます	P237	色の濃さを調節します※	P242
外側と内側のカメラを切り替えます	P238	撮影日時の記録方法を設定します※	P243
フレームを重ねて撮影します	P238	ビデオの画質を設定します※	P244
写真の大きさを設定します※	P240	シャッター音を設定します※	P245
ビデオのデータサイズを設定します※	P241	ディスプレイの照明を設定します※	P246
ビデオの画質を自動的に補正する機能を設定します※	P241		

※：撮影終了後も設定内容が保持されます。

ズームします

- 撮影待機中およびビデオ撮影中（休止中を含む）に操作できます。
- 撮影するサイズによって変更できるズーム倍率は次のとおりです。

設定可：○　設定不可：－

カメラ切り替え	撮影サイズ	ズーム倍率		
		1倍	2倍	3倍
外側カメラ	Sサイズ（176×144）	○	○	○
	待受（240×320）	○	－	－
	Mサイズ（352×288）	○	－	－
	Lサイズ（640×480）	○	－	－
内側カメラ	Sサイズ（176×144）	○	○	－
	Mサイズ（352×288）	○	－	－

- ビデオ撮影時は、Sサイズ（176×144）固定になります。

1 写真撮影画面／ビデオ撮影画面で [✉] [📹] を押し、ズーム倍率を変更する

写真撮影
Sｻｲｽﾞ 残り 153枚
ﾒﾆｭｰ 撮影 見る

写真撮影
ズーム倍率×2
撮影

現在の倍率が表示されます。

- しばらくするとズームが設定され、写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

撮影モードを切り替えます

写真撮影とビデオ撮影を切り替えます。

1 写真撮影画面で [メニュー] ▶「1 ビデオを撮影」を押す

撮影モードが切り替わります。

- ビデオ撮影画面から操作する場合は、[メニュー] ▶「1 写真を撮影」を押します。

外側と内側のカメラを切り替えます

撮影に使用するカメラを外側カメラと内側カメラで切り替えます。

1 写真撮影画面／ビデオ撮影画面で（📷）を押す

切り替えたカメラからの映像が表示されます。

●(📷)を押すたびに外側カメラ／内側カメラが切り替わります。

お知らせ

●ズームを使用しているときに、カメラの切り替えを行うとズームが自動的に解除されます。

●外側カメラで「写真の大きさ」を「待受（240×320)」または「Lサイズ（640×480)」に設定しているときに内側カメラに切り替えた場合は、自動的に「Mサイズ（352×288)」に変更されます。

フレームを重ねて撮影します＜フレーム選択＞

FOMA端末に保存されているフレームを重ねて撮影します。

●撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面／ビデオ撮影画面で メニュー ▶「2 フレームを選ぶ」を押す

フレーム
001/020枚
ハート(S) GIF
決定 表示

フレームの番号／フレーム件数

●電話帳：撮影中の画面とフレームを重ねて表示して を押すと、フレームが切り替わります。

2 フレームを選択 ▶ 決定 を押す

フレームが設定されます。

●重ねたフレームを外す場合は、メニュー ▶「3 フレームを外す」を押します。

お知らせ

- フレームが表示されるまで、時間がかかることがあります。
- お買い上げ時に登録されている次のフレームは、「写真の大きさ」を「Sサイズ（176×144）」、「待受（240 × 320）」に設定したときに利用できます。
- ［ ］の部分にカメラからの映像が入ります。

＜ 176 × 144 ドットサイズ＞

＜ 240 × 320 ドットサイズ＞

カメラ

撮影時の設定をします

写真の大きさを設定します<撮影サイズ>

お買い上げ時	Sサイズ（176×144）

撮影する写真の大きさを設定します。

●写真の撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面で メニュー ▶「6 写真の大きさ」を押す

撮影する写真の
大きさを
選んでください

1Sｻｲｽﾞ(176x144)
2待受 (240x320)
3Mｻｲｽﾞ(352x288)
4Lｻｲｽﾞ(640x480)
決定

撮影サイズ	説　明
1 Sサイズ（176×144）	ｉモードメールでｉモード端末やパソコンなどに送信するのに適したサイズです。
2 待受（240×320）	待受画面に設定するのに適したサイズです。
3 Mサイズ（352×288）	パソコンなどで表示するのに適したサイズです。
4 Lサイズ（640×480）	

2 「1 Sサイズ（176×144）」～「4 Lサイズ（640×480）」のいずれか1つの番号を押す

撮影サイズを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

写真撮影画面に戻ります。

お知らせ

●「Sサイズ（176×144）」以外の大きさで撮影した写真は、縮小してｉモードメールに添付できます。→P420

ビデオのデータサイズを設定します<ビデオサイズ>

お買い上げ時 メール添付

撮影するビデオのデータサイズを設定します。
● ビデオの撮影待機中のみ操作できます。

1 **ビデオ撮影画面で メニュー ▶「5 サイズを制限」を押す**

撮影するビデオのサイズ制限を選んでください
1メール添付
2大容量メール添付
決定

データサイズ	説　明
1 メール添付	ｉモードメールに添付してｉモード端末やパソコンなどに送信するときに設定します。
2 大容量メール添付	「メール添付」よりも長時間撮影するときに設定します。

2 **「1 メール添付」または「2 大容量メール添付」を押す**

サイズ制限を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 **決定 を押す**

ビデオ撮影画面に戻ります。

ビデオの画質補正機能を設定します<くっきり補正>

お買い上げ時 くっきり補正オン

色や明るさのバランスを自動的に補正する機能を、設定または解除します。
● ビデオの撮影待機中のみ操作できます。

1 **ビデオ撮影画面で メニュー ▶「6 くっきり補正オン」／「6 くっきり補正オフ」を押す**

ビデオ撮影[補正]
残り 00:20:35
メニュー 撮影 見る

くっきり補正オンにすると表示されます。

画質補正機能が設定または解除され、ビデオ撮影画面に戻ります。

カメラ

撮影時の設定をします

次ページへ続く

お知らせ

● くっきり補正をオンにしていても、撮影する環境によっては、状態があまり変化しなかったり、補正が極端に強調されたりすることがあり、くっきり補正をオフにしたほうがよい場合もあります。

明るさを調節します<明るさ調節>

お買い上げ時 ± 0

撮影時の明るさを調節します。
● 5 段階（− 2、− 1、± 0、＋ 1、＋ 2）で調節できます。
● 撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面／ビデオ撮影画面で メニュー ▶「7 詳細を設定」▶「1 明るさの調節」を押す

写真撮影
明るさ ±0
決定

現在の明るさが表示されます。

2 ✉ 📷 または音量ボタン（△ ▽）を押し、明るさを調節 ▶ 決定 を押す

明るさを調節した旨のメッセージが表示されます。

3 決定 を押す

写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

お知らせ

● 被写体によっては、明るさを調節しても表示があまり変化しない場合があります。

色の濃さを調節します<色の濃さ調節>

お買い上げ時 ± 0

撮影時の色の濃さを調節します。
● 5 段階（− 2、− 1、± 0、＋ 1、＋ 2）で調節できます。
● 撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面／ビデオ撮影画面で メニュー ▶「7 詳細を設定」▶「2 色の濃さの調節」を押す

写真撮影
色の濃さ ±0
決定

現在の色の濃さが表示されます。

2 [メール]/[カメラ] または音量ボタン（△/▽）を押し、色の濃さを調節 ▶ 決定 を押す

色の濃さを調節した旨のメッセージが表示されます。

3 決定 を押す

写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

お知らせ

● 被写体によっては、色の濃さを調節しても表示があまり変化しない場合があります。

撮影日時の記録方法を設定します<撮影日時記録設定>

お買い上げ時	表示しない

保存する写真に記録される撮影日時を設定します。保存後の写真を表示すると、画面右下に撮影日時が表示されます。

● 記録された日付と時間は、変更や消去することはできません。

200509151323
003/013枚
2005/09/15 13…
メニュー 一覧 拡大

＜「日付と時間」に設定したとき＞

次ページへ続く

1 写真撮影画面で メニュー ▶「7 詳細を設定」▶「3 撮影日時の記録」を押す

撮影日時の記録を
選んでください

1日付と時間
2日付のみ
3表示しない

決定

項　目	説　明
1 日付と時間	保存する写真に日付と時間が記録されます。 （例）2005年9月15日13時23分に撮影した場合 →「2005/09/15 13:23」
2 日付のみ	保存する写真に日付が記録されます。 （例）2005年9月15日に撮影した場合 →「2005/09/15」
3 表示しない	保存する写真に日付と時間が記録されません。

2 「1 日付と時間」～「3 表示しない」のいずれか1つの番号を押す

撮影日時の表示を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

写真撮影画面に戻ります。

ビデオの画質を設定します<画質設定>

お買い上げ時　標準の画質

ビデオ撮影後に保存するデータの画質を設定します。

● 撮影待機中のみ操作できます。

1 ビデオ撮影画面で メニュー ▶「7 詳細を設定」▶「3 画質の設定」を押す

撮影するビデオの
画質を
選んでください

1長時間
2標準の画質
3高画質

決定

項　目	説　明
1 長時間	長時間撮影するときに設定します。 • 画質は「標準の画質」より悪くなります。
2 標準の画質	標準の画質で撮影するときに設定します。
3 高画質	最もよい画質で撮影するときに設定します。 • 撮影時間は最も短くなります。

2 「1 長時間」～「3 高画質」のいずれか1つの番号を押す

画質を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

ビデオ撮影画面に戻ります。

シャッター音を設定します<シャッター音設定>

お買い上げ時　標準

撮影時のシャッター音を設定します。

● 撮影時のシャッター音を鳴らさないようにすることはできません。

1 写真撮影画面／ビデオ撮影画面で メニュー ▶「7 詳細を設定」▶「4 シャッター音の設定」を押す

シャッター音を選んでください

1 標準
2 ファニー
3 メタル
4 チャイム
5 スピード

決定　再生

<写真撮影の場合>

● 電話帳：シャッター音を確認できます。

2 「1 標準」～「5 スピード」のいずれか1つの番号を押す

シャッター音を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

ディスプレイの照明を設定します<照明設定>

お買い上げ時 常に点灯

撮影時のディスプレイの照明を設定します。

1 写真撮影画面／ビデオ撮影画面で メニュー ▶「7 詳細を設定」▶「5 照明の設定」を押す

カメラ撮影中に
画面の照明を常に
点灯させますか？

1常に点灯
2設定時間で消灯

決定

項　目	説　明
1 常に点灯	撮影中は常時点灯するように設定します。
2 設定時間で消灯	「画面の明るさを設定する」の「照明時間」の点灯時間が経過すると消灯するように設定します。→P173

2 「1 常に点灯」または「2 設定時間で消灯」を押す

照明を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

ｉモード

ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

●サイト（番組）接続
ｉモードメニュー（らくらくｉメニュー）からメニューリストを選択して、天気、ニュースなどIP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。

●インターネット接続
ｉモード端末にホームページアドレス（URL）を直接入力することで、ｉモード対応のさまざまなホームページを見ることができます。

●ｉモードメール
ｉモード端末どうしをはじめ、インターネットのメールアドレスを持っている人となら誰とでもe-mail（電子メール）のやりとりが全角で最大5000文字までできます。さらにデコメールを受信したり、画像や動画／ｉモーションを送受信したり楽しいメールのやり取りができます。→P313

サービスのしくみ

ｉモード端末

ｉモードセンター
IP（情報サービス提供者）とｉモード端末をつなぎます。また、メールやメッセージをお預かりします。

IP（情報サービス提供者）
サイト（番組）を提供します。

インターネット

FOMAサービスエリア
ｉモードのサービスエリアは、FOMAサービスエリア（通話のできるエリア）と同じです。

パソコンなど

●ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。

お知らせ

- 新規でFOMAサービスをご契約いただきますと、当日よりすべてのサービスが利用できます。
- movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスで利用していた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。ただし、サイトによって、FOMAに「マイメニュー」が引き継がれないサイトもありますので、その場合は再登録が必要です。なお、「マイメニュー」引継対応サイトについては、らくらくｉメニュー内「ドコモからお客様へ お知らせ＆ヘルプ」で確認できます。
- ｉモードは送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載していません。ご利用料金などにつきましては『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- ｉモードのサービス内容は変更することがありますので、詳細は『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

サイト（番組）接続

簡単なボタン操作でサイトに接続して、IP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。
たとえば銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなど、さまざまなオンラインサービスがあります。

サイトを表示するには

らくらくiメニュー
ニュース スポーツ・天気
証券 株式情報
交通 乗換案内・渋滞
着信メロディ 着信音
趣味 競馬
健康 医療・災害
⇒メニューリスト
[特集 山歩き]

通常iMenuを使う
■お気に入りメニュー
マイメニュー
■懸賞やキャンペーンの情報
とくするメニュー
■周辺地域の情報
iエリア
■お店の会員向けサービスなど（登録制）
マイボックス
■ご利用料金確認
料金＆お申込

■ｉモードとメールに関する設定
オプション設定
■ドコモからお客様へ
お知らせ＆ヘルプ
■こんなトラブルにご注意！
迷惑メール防止策
迷惑電話防止策
その他のトラブル
(C)NTT DoCoMo
メニュー 決定

＜全体イメージ＞

この端末よりｉモードセンターに接続すると、最初にらくらくｉメニューが表示されます。ここから、各サイト（番組）などへアクセスします。
サイトの表示方法→P255
※画面はイメージです。設定によっては、表示が異なる場合があります。

次ページへ続く

●ニュース　スポーツ・天気
●証券　株式情報
●交通　乗換案内・渋滞
●着信メロディ　着信音
●趣味　競馬
●健康　医療・災害
●⇒メニューリスト

ここでは、人気が高いジャンル（サイトの種類）を紹介します。ジャンルから見たいサイトを選択して接続できます。ジャンルは不定期に変更します。
また、⇒メニューリストからすべてのサイトをジャンル別・地域別に見ることができます。

●特集
1つのテーマについて期間限定で特集を組んで紹介します。

●通常ｉ Menuを使う
この端末以外のｉモード端末からｉモードセンターに接続した際は最初にｉ Menuが表示されます。この端末からｉ Menuを表示する場合はここからアクセスします。

■ お気に入りメニュー　マイメニュー
よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単にサイトに接続できます。→P262
ｉ Menu内の有料サイトなどは自動的に登録されます。登録可能な件数は45件です。

■ 懸賞やキャンペーンの情報　とくするメニュー
楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます。（提供：D2コミュニケーションズ）

■ 周辺地域の情報　ｉエリア
今いる場所やその周辺に関する天気・地図・タウン情報などを簡単にご利用になれます。

■ お店などの会員向けサービスなど（登録制）　マイボックス
サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスできる会員向けのサービスです。

■ ご利用料金確認　料金＆お申込
料金の確認やお支払い、また、ご契約内容の変更・各種サービスのお申し込みができます。

■ ｉモードとメールに関する設定　オプション設定
ｉモードメールの設定やｉモードパスワードの変更などを行います。

■ ドコモからお客様へ　お知らせ＆ヘルプ
ドコモからのお知らせや、ｉモードの利用方法やご利用規則を掲載しています。

■ こんなトラブルにご注意！
ｉモードを利用する上で知っていただきたい情報を掲載しています。

お知らせ

- サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- IP（情報サービス提供者）が提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- アイコンが点滅していても、ｉモードセンターとの通信中以外はパケット通信料はかかりません。
- デュアルネットワークサービスご契約の場合、ｉMenu（らくらくｉメニュー）画面などが一部異なります。
- らくらくｉメニューの掲載内容は変更される場合があります。

こんなこともできます

■ ｉモーション

ｉモードのサイトから映像や音をｉモード端末に取得し、再生して楽しむことができます。

- ｉモーションを取得する→P410
- ｉモーションを再生する→P431
- ｉモーションの自動再生設定をする→P415

■ 着モーション／着うた®

ｉモードのサイトからｉモーションをｉモード端末に取得し、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなく、お好きな歌手の歌声なども着信音としてご利用いただけます。ただし、一部の対応していないｉモーションは、着モーションに設定できません。

- 着モーションを設定する→P129、P152、P160、P199

「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

■ SSL通信

SSLとは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴やなりすまし、書き換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

SSL通信には、ｉモード端末から特別な操作なしに端末内のCA証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと2種類あります。なお、サイトによって使用する証明書は異なります。

- ｉモード端末に保存されているCA証明書を利用する→P291
- FirstPassのユーザ証明書を利用する→P305

次ページへ続く

ｉモード端末　ｉモードセンター　IP（情報サービス提供者）

なりすまし※

解読　暗号化

暗号化　解読

書きかえ　盗聴

※：なりすましとは、第三者がサイトになりすまして、不正にお客様の情報を入手したりすることです。

■ FOMA カード動作制限機能

お客様情報（電話番号・電話帳（一部）など）を格納している FOMA カードをｉモード端末に取り付けることによって、サイトからダウンロードしたり、メールで取得したメロディ・画像・動画などのファイルの動作を制限します。この機能によって、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを取り付けずに電源を入れたときは、取得したファイルの再生・表示ができなくなります。→P46

※カメラ機能によりお客様が撮影した写真・ビデオからｉモード端末内に保存したデータについては、本機能の対象外となります。

※着信音や待受画面設定などをｉモード端末に設定していた場合、本機能により設定がリセットされます。

■ ｉメロディ

サイトから最新の曲やお好みの曲をｉモード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。→P280

■ ｉアニメ

サイトからお好みのアニメーション画像をｉモード端末にダウンロードし、待受画面や着信画面に表示できます。→P150、P169

■ メッセージサービス

メッセージサービスは、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のｉモード端末に届くサービスです。

メッセージサービスにはメッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

メッセージリクエスト（メッセージ R）	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと、欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージフリー（メッセージ F）	パケット通信料がかからずに届けられるメッセージです。

- メッセージフリーの設定方法→P293
- メッセージサービスの受信方法→P294、P298

- メッセージF（フリー）の設定について、2004年10月1日以降にFOMAの新規ご契約と同時にｉモードをお申し込みの場合は、メッセージF設定の初期設定が「受信する」となっております。お客様が受信を希望されない場合は、メッセージF設定をお客様ご自身で「受信しない」設定にご変更いただく必要がございますので、ご了承ください。
  ※上記の場合以外のお客様がメッセージFをご利用になるには、あらかじめオプション設定からの受信設定が必要です。初期設定では、「受信しない」設定になっております。

お知らせ

- お客様のｉモード端末の電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、メッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
- ｉモードセンターでのメッセージR/Fの保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管期間を過ぎたメッセージR/Fは削除されます。最大保管件数を超えた場合は、最も古いメッセージR/Fから順に削除されます。

	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

- ｉモードセンターに保管されたメッセージR/Fは、ｉモード問合せ（→P298）により受信できます。

■ トクだねニュース便

メッセージR（リクエスト）機能を使用し、ニュースや天気などの情報をｉモード端末にドコモが配信するサービスです。
トクだねニュース便はお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込み完了後、自動的にマイメニュー登録され、マイメニューからアクセスしても同じ情報を見ることができます。

- メッセージRの表示方法→P301

■ ｉモードパスワード

有料サイトのお申し込みやマイメニューの登録・解除、ｉモードメールの設定などを行うときには「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますので、お客様独自の4桁の数字に変更してください。→P264
ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス（URL）を入力することにより、インターネットに接続し、ｉモード対応のインターネットホームページを表示することができます。

- 表示方法→P265

次ページへ続く

お知らせ

- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。
ｉモード対応のインターネットホームページとは、ｉモード対応のタグなどで作成されたホームページのことです。
- パソコン上での表示とは異なる場合があります。
- URLが512文字を超えるインターネットホームページは、表示できない場合があります。

ｉモードのご使用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらのサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- ｉモード端末に保存されている内容（メール、メッセージR/F、画面メモ、ｉモーション）やブックマークなどの登録内容は、ｉモード端末の故障、修理やその他の取り扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ｉモード端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉモーションでダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを取り付けずに電源を入れたときは、機種によってサイトから取り込んだ画像・ｉモーション・メロディやメールで送受信した添付データ（画像・動画・メロディ）、「画面メモ」および「メッセージR/F」などを表示・再生できません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定していると、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを取り付けずに電源を入れると、設定内容は初期状態にリセットされます。データを受信・ダウンロードしたときに使用したFOMAカードを取り付けると、設定は元の状態に戻ります。

お知らせ

- パソコンをお持ちの場合は、添付のCD-ROM内のFOMA Fシリーズデータリンクソフトと FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、メール、ブックマークなどの内容をパソコンに転送・保管することができます。→P574

サイトを表示します<ｉモードメニュー>

ｉモードに接続して、さまざまなサイトを表示します。

●サイト画面はイメージです。実際に表示される画面とは異なる場合があります。

1 待受画面で 決定 を1秒以上▶「1 Menuを見る」を押す

ｉモード通信中に点滅

ｉモード中は点滅

13:23

接続中

中断

通信中

ページ取得中

中断

13:23

らくらくｉメニュー

ニュース スポーツ・天気

証券 株式情報

交通 乗換案内・渋滞

メニュー 決定

● ｉモード接続中画面で 決定 ：接続を中止します。

●ページ取得中画面で 電話帳 ：ページの読み込みを中止します。

2 「ニュース スポーツ・天気」を選択▶ 決定 を押す

ニュース

1△△新聞
最新ニュースや、スポーツ情報、天気予報を速報でお届けします。

2△△ニュース
経済ニュースや株価情報をメールでお知らせ

メニュー 決定

3 見たい項目を選択▶ 決定 を押す

サイトに接続されます。以降目的のページが表示されるまで、操作3を繰り返します。

● ▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く

お知らせ

- サイト表示中かららくらくｉメニューを表示する場合は、メニュー ▶「1 Menu」を押して選択して操作します。
- サイト表示中の文字の大きさを変更できます。→P286
- サイトによっては、利用するために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- IP（情報サービス提供者）が提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- サイトによっては、項目選択時に次の画面が表示されることがあります。

携帯電話情報を
送信しますか？
1送信する
2送信しない
3元の画面へ戻る
決定 ガイド

・サイトからお客様の携帯電話情報が要求されたときに表示されます。「1送信する」を押すと、お客様の携帯電話情報が送信されます。
送信するお客様の携帯電話情報（FOMA 端末の製造番号、FOMAカードの製造番号）はインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。

- 画像を含むサイトを表示したとき、画像の代わりに次のマークが表示されることがあります。
  - ：「画像表示・照明を設定する」（→P287）で画像を「表示しない」に設定しているときや、受信中に圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
  - ：画像のデータが不正なときや画像が見つからないとき
  - ：画像の URL の誤りなどで画像が表示できないとき
- ｉモードは通信を使ったサービスのため、圏外が表示されているときはご利用になれません。
- サイト表示中（ｉモード中）は が点滅します。

SSL 対応のページに接続します

SSL対応ページでは、データを暗号化して送受信することにより、データの盗聴や書き換えを防ぎ、お客様の個人情報をより安全にやりとりすることができます。

- SSL 対応のページによっては、日付・時刻の設定をしないと接続できない場合があります。→P58
- FirstPass 対応のページに接続するには、ユーザ証明書を FirstPass センターからダウンロードし、緑色の FOMA カードに保存する必要があります（→P47）。青色の FOMA カードを取り付けている場合は FirstPass センターに接続できません。

SSL 対応のページに接続します

SSL 対応のページに接続する場合は次の画面が表示されます。

オンライン
ショッピング
1クレジットカード
2代金引換
3銀行振込
SSL通信を開始します（認証中）
決定 中断

- SSL 対応のページが表示されるとディスプレイ上部の （点滅）が SSL（点灯）に変わります。
- 表示中のページに使われている証明書を表示する場合は、メニュー ▶「0URL等を確認」▶「2証明書詳細表示」を押します。→P291

SSL 対応のページから通常のページに進みます

SSL 対応のページから通常のページに進む場合は次の画面が表示されます。

●「1終了する」を押すと通常のページが表示され、ディスプレイ上部の SSL（点灯）が 🔒（点滅）に変わります。

FirstPass 対応のページに接続します

FirstPass 対応のページに接続する場合は次の操作が必要です。

①「1 送信する」▶ PIN2 コードを入力 ▶ 決定 を押す

② 決定 を押す

お知らせ

- 接続先との通信の安全性が確認できない場合、接続するかどうかの確認画面が表示されます。接続するときは「1 接続する」、接続を中止するときは「2 接続しない」を押します。
- SSL 通信を行うには、接続先と FOMA 端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要です。→ P292
- FirstPass対応サイトに接続した際のパケット通信料は、パケ・ホーダイの対象となります。

サイトの見かたと操作

サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

リンク先や項目を選択します

リンク先を表示します

表示中のページから関連するページへ進むための項目をリンク項目といいます。

文字にリンク情報があるとき
選択すると反転表示されます。決定を押すとリンク先のサイトが表示されます。

1、2 などの番号付きのリンク項目のとき
番号のボタンを押すとリンク先のサイトが表示されます（ダイレクトキー機能）。ただし、サイトによっては選択できない場合があります。

画像にリンク情報があるとき
選択すると枠で囲まれます。決定を押すとリンク先のサイトが表示されます。

お知らせ

- 音声読み上げ機能を設定している場合は、サイト情報の内容を選択すると深緑色（背景や文字の色により色が変化します）に反転表示されますが、リンク情報ではありません。

ラジオボタンを選択します

◉（ラジオボタン）は、選択肢の中から１つだけ選択する場合のマークです。
◉が選択されている状態、○が選択されていない状態です。

上下キーを押してラジオボタンを選択 ▶ 決定を押す

○が◉に変わります。

チェックボックスを選択します

☑（チェックボックス）は、選択肢の中から複数項目を選択できる場合のマークです。☑が選択されている状態、□が選択されていない状態です。

を押してチェックボックスを選択▶決定を押す

□が☑に変わります。

● もう一度☑を選択して決定を押すと□に戻ります。

▼更に条件を選択
☑駐車場あり
□クーポンあり
□朝までオープン
検索開始
0HOME
メニュー 決定

プルダウンメニューを選択します

プルダウンメニューは、選択肢が隠れた状態で表示されるメニューです。

を押してプルダウンメニューを選択▶決定▶を押してメニュー項目を選択▶決定を押す

●誕生地域を選択
北海道～三重まで

滋賀～その他まで

登録
メニュー 決定

→

茨城県
栃木県
群馬県
埼玉県
千葉県
東京都
神奈川県
選択

→

●誕生地域を選択
北海道～三重まで
東京都
滋賀～その他まで

登録
メニュー 決定

お知らせ

● プルダウンメニューによっては、選択画面で項目を選択▶決定を押す操作を繰り返すことにより、複数の項目が選択できます。選択後に電話帳を押すと、選択項目がすべて反映されて元の画面に戻ります。

文字を入力します

入力欄を選択して文字を入力します。

を押して入力欄を選択▶決定▶文字を入力▶決定を押す

●生年月日
西暦年/月/日8桁で入力
例:1980年1月1日生まれの場合
『19800101』
メニュー 決定

→

文字入力 残0
19XXMMDD
で入力文字の切替
テレビ電話で大/小文字の切替
メニュー 確定 ガイド

→

●生年月日
西暦年/月/日8桁で入力
19XXMMDD
例:1980年1月1日生まれの場合
『19800101』
メニュー 決定

● 入力できる文字モードと文字数は、入力欄により異なります。

● ｉモードパスワードなどを入力した場合、「*」で表示されることがあります。

ボタンを押します

ページの設定内容を確定してサイトに送信したり、ページの設定内容を取り消したりできます。

を押してボタンを選択▶決定を押す

●ボタンの名称はサイトにより異なります。

前のページに戻ります・進みます

FOMA端末は、ページの履歴を最大20件記録しています。これにより前のページに戻したり、次のページに進めたりできます。このように、表示したインターネットホームページなどの履歴を、一時的に記録する端末内の場所のことを「キャッシュ」といいます。を押すことで、通信を行わずにキャッシュに記録されたページを表示できます。ただし、端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、サイトによって必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示したりするときは、を押すと通信を行います。

●FirstPassセンター接続中（→P305）は本機能を使用できません。

2つ前のページ　1つ前のページ　現在のページ

前のページに戻れることを示します。

次のページに進めることを示します。

お知らせ

- サイトの表示履歴が満杯になると、キャッシュに保存されている履歴が消去される場合があり、これによって を押しても前ページに戻れないことがあります。
- ページの履歴からURLが削除されたページをもう一度表示する場合や、最新情報を読み込むように設定されたページを表示する場合は、もう一度通信が行われ新しいページが表示されます。ただし、表示するページによっては、履歴にURLが記録されていても通信を行う場合があります。
- 入力した文字や設定などの情報は記録されません。
- ｉモードを終了すると、記録されたページはすべて消去されます。
- ページＡ→Ｂ→Ｃの順に表示（①、②）した後でページＡに戻り（③、④）、ページＤに進む（⑤）と、ページＡ→Ｂ→Ｃの表示履歴は消去されます。
  ページＤからページＡには戻れますが、さらにページＢへ戻ることはできません。

ページＡ
モーション
天気/ニュース/情報
モバイルバンキング
証券/カード/保険
交通/地図/旅行
ショッピング/チケット
ファッション/コスメ
グルメ情報
メニュー 決定

① ④

ページＢ
天気
1ウェザーニュース
2気象協会
3お天気.com
4ＢＪお天気Dr.
5e-天気.net
新聞(全国紙)
6毎日新聞・スポニチ
メニュー 決定

② ③

ページＣ
お天気ニュース
最新!!台風情報
ΔΔΔ情報
ココの天気は?
カンタン検索
お出かけ前に
メニュー 決定

⑤

ページＤ
乗換案内
1AD乗換案内
2駅前探険倶楽部
3駅すぱあと
4JRトラベルナビゲータ
交通情報
5動く！道路情報
6ATIS交通情報
メニュー 決定

画面をスクロールします

サイトやインターネットホームページ、受信メールやメッセージＲ/Ｆの内容などを表示中に画面をスクロールします。

お天気ニュース
最新!!台風情報
ΔΔΔ情報
ココの天気は?
カンタン検索
お出かけ前に
メニュー 決定

- ：スクロールします。１秒以上押すと連続スクロールとなります。
- ：１秒以上押すと画面単位でスクロールします。

すべての行が表示されていないとき、またはリンク項目が選択できるときは▲や▼が表示されます。

情報を再読み込みします

ページの情報が正常に受信できなかった場合に、再読み込みを行ってページの情報を受信し直します。

1 サイト表示中に（メニュー）▶「5 再読込みをする」を押す

ページの情報が受信され、ページが再表示されます。

お知らせ

- 接続が中断されるなどしてサイトが表示できなかった場合、上記の操作で再読み込みを行うとページを表示できることがあります。

URL を表示します

〈例〉サイトの URL を表示するとき

1 サイト表示中に（メニュー）▶「0 URL 等を確認」▶「1 URL を表示」を押す

URL表示
http://△△△△△△.ne.jp/□□□□□□/△△△.html
メニュー　決定

お知らせ

- URL履歴一覧、ブックマーク一覧が表示されている画面、画面メモ一覧から操作する場合は、（メニュー）▶「URL を表示」を押して操作します。

マイメニューを使います ＜マイメニュー＞

よく利用するサイトをマイメニューに登録することによって、次回からそのサイトに簡単にアクセスすることができます。

- mova サービス（ｉモードをご契約）から FOMA サービスへ契約を変更された場合、mova サービスで利用していた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。ただし、サイトによっては、FOMA に「マイメニュー」が引き継がれないサイトもありますので、その場合は再登録が必要です。
- 有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューに登録します

- マイメニュー登録にはｉモードパスワードが必要です。
- マイメニューに登録できるのはｉモードのサイトだけです。ただし、登録できないサイトもあります。インターネットホームページを登録する場合はブックマークに登録します。
- 最大45件登録できます。

1 マイメニューに登録するサイトを表示し、「マイメニュー登録」を選択▶決定を押す

ｉモードパスワード入力画面が表示されます。

- 各サイトによりページ構成が異なりますので、該当する番号のボタンを押すか、該当する項目を選択▶決定を押します。

2 ｉモードパスワード欄を選択▶決定▶ｉモードパスワードを入力▶決定を押す

入力したパスワードは「*」で表示されます。

- ｉモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

3 「決定」を選択▶決定を押す

サイトがマイメニューに登録されます。

- ☎▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

マイメニューからサイトを表示します

1 待受画面で決定を1秒以上▶「1 Menuを見る」▶「マイメニュー」を選択▶決定を押す

マイメニュー一覧が表示されます。

2 表示するサイトを選択▶決定を押す

サイトが表示されます。

- ☎▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

iモード用のパスワードを変更します<iモードパスワード変更>

マイメニュー登録／削除、メッセージサービスやiモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定を行うときはiモードパスワードが必要です。iモードパスワードはiモードご契約時には「0000」に設定されていますので、安全のためお客様独自のiモードパスワードに変更してください。なお、iモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

- iモードパスワード欄には、4桁の数字を入力します。入力したパスワードは「*」で表示されます。
- iモードパスワードをお忘れの場合は、ドコモショップ窓口において運転免許証などの公的証明書によりご契約者本人であることを確認させていただいた上で、iモードパスワードを「0000」にリセットさせていただきます。

1 待受画面で決定を1秒以上▶「1 Menuを見る」▶「オプション設定」を選択▶決定▶「iモードパスワード変更」を選択▶決定を押す

iﾓｰﾄﾞﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ変更
現在のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ確認
決定
ﾒﾆｭｰ 決定

2 現在のパスワード欄を選択▶決定▶iモードパスワードを入力▶決定を押す

パスワード　残0
****
でﾕ入力文字の切替
ﾃﾚﾋﾞ電話で大/小文字の切替
ﾒﾆｭｰ 確定 ｶﾞｲﾄﾞ

3 新パスワード欄を選択▶決定▶新しいiモードパスワードを入力▶決定を押す

4 新パスワード確認欄を選択▶決定▶操作3で入力したｉモードパスワードを入力▶決定を押す

iモードパスワード変更
現在のパスワード
****
新パスワード
****
新パスワード確認
****
決定
メニュー 決定

5 「決定」を選択▶決定を押す

ｉモードパスワードが変更されます。

● 入力した内容に誤りや抜けがあったときは、エラー画面が表示されます。「再入力」を選択▶決定を押して操作2からやり直してください。

● ☎▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

インターネットホームページを表示します<インターネット接続>

インターネットに接続して、ｉモード対応のホームページにアクセスします。接続先はインターネットホームページのアドレス（URL）で指定します。

● ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。

1 待受画面で決定を1秒以上▶「3 インターネットに接続する」▶「1 URLを入力して接続する」を押す

URL入力画面が表示されます。

● 2回目からは前回接続操作をしたURLが表示されます。

2 決定▶インターネットホームページのURLを入力▶決定▶電話帳を押す

インターネットホームページに接続されます。

● 半角で最大256文字入力できます。

● 英字入力モード時に 1 ：「/」「.」「-」などの記号を入力できます。

● 英字入力モード時に ＊ ：「http://www.」「.co.jp」「.ne.jp」「.com」「.html」などを入力できます。

● ☎▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く

お知らせ

- サイト表示中から操作する場合は、メニュー▶「7 インターネットに接続」▶「1 URLを入力」を押して操作します。
- インターネットホームページ表示中に他のホームページに接続することができます。操作方法は、ｉモードのサイトの場合と同様です。
- 受信データが1ページの最大サイズを超えたときはメッセージが表示され、決定を押すと受信できた分のデータが表示されます。

URL履歴を使って表示します＜URL履歴＞

FOMA端末は、接続操作をしたインターネットホームページのURLを新しい順に最大5件記録しています。この履歴からインターネットホームページに接続できます。

1 待受画面で決定を1秒以上▶「3 インターネットに接続する」▶「2 サイトの入力履歴から接続する」を押す

URL履歴
1/3件
http://www.△△△△.co.jp
http://www.□□□□.co.jp
http://www.△□△□.co.jp
メニュー 決定

URL履歴番号／URL履歴件数

- ◀▶：URL履歴が複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

2 表示するインターネットホームページのURLを選択▶決定を押す

インターネットホームページに接続されます。

- 終話▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

■ URL履歴を削除するとき

①削除するURLを選択▶メニュー▶「2 削除する」▶「1 選択1件」を押す

URL履歴を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- URLをすべて削除するときは、メニュー▶「2 削除する」▶「2 全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押します。

②「1 削除する」を押す

URL履歴を削除した旨のメッセージが表示されます。

- 削除を中止するときは、「2 削除しない」を押します。

③決定を押す

URL履歴一覧に戻ります。

- 終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- サイト表示中から操作する場合は、メニュー ▶「7インターネットに接続」▶「2履歴から接続」を押して操作します。
- URL履歴一覧でURLが途中までしか表示されていないときは、メニュー ▶「3URLを表示」を押します。
- URL履歴が5件を超えた場合は、古いものから上書きされます。

文字を正しく表示します＜文字コード＞

サイトやインターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更して正しく表示します。

1 サイトやインターネットホームページ表示中にメニュー ▶「*表示を設定」▶「3文字コード変更」▶「1切替え」を押す

文字コードを変更して再表示します。

- 操作1を繰り返すたびに、文字コードが自動選択→SJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。操作を5回繰り返すと元の表示に戻ります。
- サイトやインターネットホームページを表示した時点では「自動で選択」に設定されています。

お知らせ

- この操作を繰り返しても、文字を正しく表示できない場合があります。
- 文字が正しく表示されているときに文字コードを変更すると、正しく表示されなくなる場合があります。
- 文字コードとは、文字をコンピュータで利用可能にするために作られた取り決めやしくみの総称のことです。FOMA端末でインターネットホームページやサイトを表示する際に、文字コードが一致していないと文字が正しく表示されません。

ホームページやサイトを登録して すばやく表示します<ブックマーク>

特定の地域の天気予報や特定銘柄の株価情報など、同じサイトの同じページを頻繁に見るときは、ブックマークに登録すると便利です。登録したブックマークを選択するだけで、サイトやインターネットホームページをすばやく表示することができます。

- ブックマークに登録できるのはURL文字数が半角で256文字までのサイトです。最大文字数を超えるサイトはブックマークに登録できません。
- タイトルが登録可能な最大文字数を超える場合は、超えた部分が削除されて登録されます。
- サイトによってはブックマークに登録できないものがあります。

ブックマークに登録します

ブックマークを5個のフォルダに分けて登録できます。

- 最大保存件数→P598

1 ブックマークに登録するサイトを表示して メニュー ▶「2 ブックマークに登録」を押す

登録先フォルダ選択画面が表示されます。

2 登録先フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

ブックマークを追加した旨のメッセージが表示されます。

3 決定 を押す

サイト表示に戻ります。

- ▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- ブックマークが最大保存件数を超えるときは、登録済みのブックマークを書き換えるかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従い書き換えるブックマークを選択します。
- すでに同じURLが登録されているときは、ブックマークを書き換えるかどうかの確認画面が表示されます。書き換える場合は「1 書きかえる」を押し、決定 を押します。
- 画面メモ一覧、画面メモ表示画面、URL履歴一覧から操作する場合は、メニュー ▶「ブックマークに登録」を選択 ▶ 決定 を押して操作します。
- メッセージR/F詳細画面から操作する場合は、メニュー ▶「4 登録する」▶「3 ブックマーク登録」を押して操作します。

ブックマークからホームページやサイトを表示します

1 待受画面で決定を1秒以上▶「2 ブックマークを見る」を押す

ブックマーク一覧
フォルダ1
フォルダ2
フォルダ3
フォルダ4
フォルダ5
メニュー 決定

● フォルダの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	状　態
(ブックマーク付きフォルダ)	ブックマークが保存されている
(空のフォルダ)	ブックマークが保存されていない

2 フォルダを選択▶決定を押す

フォルダ1
1/3件
△△△ニュース 0
□□□天気予報
アドレス確認
メニュー 決定

● (左右キー)：ブックマークが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

● ブックマークの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	状　態
(ブックマーク)	簡易接続に登録されていない
(簡易接続付きブックマーク)	簡易接続に登録されている
0～9	簡易接続に登録されているボタンの番号

3 表示するブックマークを選択▶決定を押す

サイトやインターネットホームページに接続されます。

● (終話)▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

■ URLを確認するとき

URLを確認するブックマークを選択▶メニュー▶「4 URLを表示」を押す

URLが表示されます。

お知らせ

● サイト表示中から操作する場合は、メニュー▶「3 ブックマークを見る」を押して操作します。

iモード　ブックマーク

ブックマークのフォルダ名を変更します

1 **待受画面で決定を1秒以上▶「2 ブックマークを見る」を押す**

ブックマーク一覧が表示されます。

2 **フォルダ名を変更するフォルダを選択▶メニュー▶「3 フォルダ名変更」を押す**

フォルダ名を
入力してください
お天気情報
メニュー 確定 ガイド

3 **フォルダ名を入力▶決定を押す**

フォルダ名を変更した旨のメッセージが表示されます。

●全角で最大7文字、半角で最大14文字入力できます。

4 **決定を押す**

ブックマーク一覧に戻ります。

●終話キーを押すと待受画面に戻ります。

ブックマークの題名を変更します

● ブックマークのURLは変更できません。

1 **待受画面で 決定 を1秒以上 ▶「2 ブックマークを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す**

フォルダ内のブックマーク一覧が表示されます。

2 **題名を変更するブックマークを選択 ▶ メニュー ▶「1 題名を変更」を押す**

題名を
入力してください
●○○ニュース

メニュー 確定 ガイド

3 **題名を入力 ▶ 決定 を押す**

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。

● 全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。

4 **決定 を押す**

フォルダ内のブックマーク一覧に戻ります。

● ☎ を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 何も入力しないで題名を登録すると、フォルダ内のブックマーク一覧ではURLの先頭から半角28文字までが表示されます。表示しきれない部分は末尾に「…」が表示され、省略されます。

少ないボタン操作でサイトを表示します

ブックマークを簡易接続に登録すると、待受画面から手早くサイトやインターネットホームページを表示できます。

簡易接続に登録します

1 **待受画面で決定を1秒以上▶「2 ブックマークを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す**

フォルダ内のブックマーク一覧が表示されます。

2 **登録するブックマークを選択▶メニュー▶「2 簡易接続に登録」を押す**

簡易接続先選択
1/10件
0 未登録
1 未登録
2 未登録
決定

簡易接続登録番号／全登録可能件数

■ **簡易接続の登録を解除するとき**

解除するブックマークを選択▶メニュー▶「2 簡易接続を解除」▶決定を押す

3 **登録先を選択▶決定を押す**

簡易接続先に登録した旨のメッセージが表示されます。

- 登録先選択画面の番号（0～9）が、サイト表示に使用するキー（0～9）に対応しています。登録するボタンの番号を選択します。
- ◀▶：登録先選択画面を切り替えます。

4 **決定を押す**

フォルダ内のブックマーク一覧に戻ります。

- フォルダ内のブックマーク一覧で、登録したブックマークのマークがから に変わり、対応するボタンの番号（0～9）が表示されます。
- を押すと待受画面に戻ります。

簡易接続に登録したサイトを表示します

- 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を使用できません。
→P193

1 **待受画面で簡易接続に登録した番号（0～9）を入力▶メニュー▶「8 簡易サイト接続」を押す**

簡易接続に登録したサイトやインターネットホームページに接続されます。

● ▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

ブックマークを削除します

1件ずつ削除したり、フォルダ内のブックマークをまとめて削除したり、すべてのブックマークをまとめて削除したりします。

●ブックマークのフォルダは削除できません。

1 **待受画面で決定を1秒以上▶「2 ブックマークを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す**

フォルダ内のブックマーク一覧が表示されます。

●ブックマークを全件削除するときは、ブックマーク一覧でメニュー▶「2全て削除」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押して操作3に進みます。

●フォルダ内のブックマークを全件削除するときは、ブックマーク一覧でフォルダを選択してメニュー▶「1 フォルダ内削除」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押して操作3に進みます。

2 **削除するブックマークを選択▶メニュー▶「3 削除する」▶「1 選択1件」を押す**

ブックマークを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

●フォルダ内のブックマークを全件削除するときは、メニュー▶「3削除する」▶「2フォルダ内全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押します。

3 **「1 削除する」を押す**

ブックマークを削除した旨のメッセージが表示されます。

●「2 削除しない」：削除を中止します。

4 **決定を押す**

フォルダ内のブックマーク一覧に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●簡易接続に登録したブックマークを削除すると、簡易接続登録も解除されます。

ブックマークを他のフォルダに移動します

1 **待受画面で決定を1秒以上▶「2 ブックマークを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す**

フォルダ内のブックマーク一覧が表示されます。

2 **移動するブックマークを選択▶メニュー▶「6 フォルダを移動」を押す**

ブックマーク一覧
フォルダ1
フォルダ2
フォルダ3
フォルダ4
フォルダ5
移動先を
選んでください
決定

3 **移動先フォルダを選択▶決定を押す**

ブックマークを移動した旨のメッセージが表示されます。

4 **決定を押す**

フォルダ内のブックマーク一覧に戻ります。

● 終話を押すと待受画面に戻ります。

ブックマーク一覧の並び順を変更します

フォルダ内のブックマーク一覧の並び順(「アクセス日付順」)を一時的に並べ替えます。並べ替えはすべてのフォルダが対象になります。

1 待受画面で決定を 1 秒以上▶「2 ブックマークを見る」を押す

ブックマーク一覧が表示されます。

2 フォルダを選択▶決定▶メニュー▶「7 並び順を変更」を押す

並び順を
選んでください
1アクセス日付順
2題名順
3URL順
4アクセス回数順
決定

項　目	説　明
1 アクセス日付順	アクセス日時が新しい順に並べ替えます。
2 題名順	題名を 50 音順に並べ替えます。
3 URL 順	URL をアルファベット順に並べ替えます。
4 アクセス回数順	アクセス回数が多い順に並べ替えます。

3 「1 アクセス日付順」～「4 アクセス回数順」のいずれか 1 つの番号を押す

フォルダ内のブックマーク一覧が一時的に並び替わります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● ブックマークの表示を終了すると「アクセス日付順」に戻ります。
● 題名に全角／半角の文字や英字、漢字、題名がなく URL 表示になっているものが混在していると、並べ替えた結果が 50 音順にならない場合があります。

サイトの内容を保存します<画面メモ>

表示中のサイトの内容を画面メモとして保存します。

画面メモに保存します

- 保存できる画面メモのデータサイズは、画面内の画像などを含め１件あたり最大１００Ｋバイトです。
- 最大保存件数→Ｐ５９８

1 画面メモに保存するサイトを表示して(メニュー)▶「4 画面メモに保存」を押す

画面メモに保存した旨のメッセージが表示されます。

2 (決定)を押す

サイト表示に戻ります。

- (終話)▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 画面メモの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、保存されている画面メモを上書きするかどうかの確認画面が表示されます。画面メモを保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き容量に達するまで上書きする画面メモを選択します。
  - 保護されている画面メモは上書きされません。

画面メモを表示します

保存した画面メモを表示します。

1 待受画面で(決定)を１秒以上▶「4 画面メモを見る」を押す

画面メモ一覧
1/3件
○○○ニュース
○○○天気予報
□□□銀行
(メニュー) (決定)

画面メモ番号／画面メモ件数

- (左)(右)：画面メモが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。
- 画面メモの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	状　態
(通常マーク)	通常の画面メモ
(保護マーク)	保護されている画面メモ

iモード
画面メモ

2 表示する画面メモを選択▶決定を押す

画面メモの内容が表示されます。

● 画面メモ表示中の操作方法は、一部を除きサイト表示中と同様です。

● 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

画面メモの題名を変更します

1 待受画面で決定を1秒以上▶「4 画面メモを見る」を押す

画面メモ一覧が表示されます。

2 題名を変更する画面メモを選択▶メニュー▶「1題名を変更」を押す

題名を
入力してください
●○○天気予報

メニュー　確定　ガイド

3 題名を変更▶決定を押す

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。

● 全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。

4 決定を押す

画面メモ一覧に戻ります。

● 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

画面メモを削除します

1件ずつ削除したり、すべての画面メモをまとめて削除したりできます。

●保護されている画面メモは削除できません。全件削除しても保護されている画面メモは残ります。保護を解除してから削除してください。

1 待受画面で決定を1秒以上▶「4 画面メモを見る」を押す

画面メモ一覧が表示されます。

2 削除する画面メモを選択▶メニュー▶「3 削除する」▶「1 選択1件」を押す

画面メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

●画面メモを全件削除するときは、メニュー▶「3 削除する」▶「2 全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押します。

3 「1 削除する」を押す

画面メモを削除した旨のメッセージが表示されます。

●「2 削除しない」：削除を中止します。

4 決定を押す

画面メモ一覧に戻ります。

●終話キーを押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●画面メモ表示中から操作する場合は、メニュー▶「3 削除する」▶「1 削除する」を押して操作します。

画面メモを保護／解除します

画面メモを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防げます。

●最大保護件数→ P598

1 待受画面で決定を1秒以上▶「4 画面メモを見る」を押す

画面メモ一覧が表示されます。

2 保護する画面メモを選択▶ メニュー ▶「4 保護する」を押す

画面メモが保護されます。

- 画面メモ一覧で、保護された画面メモのマークが に変わります。
- 保護を解除するときは、保護されている画面メモを選択▶ メニュー ▶「4 保護を解除する」を押します。
- を押すと待受画面に戻ります。

サイトから画像をダウンロードします＜画像保存＞

サイトから、お気に入りの画像やフレームなどをFOMA端末に保存します。保存した画像は表示したり、待受画面などに設定したりできます。

- 保存できる画像のデータサイズは、1件あたり最大100Kバイトです。
- GIF形式、JPEG形式の画像を保存できます。
- 最大保存件数→P598

1 画像のあるサイトを表示して メニュー ▶「6 画像を選択」を押す

●イラスト集

保存

保存する画像の枠

2 保存する画像を選択▶ 決定 を押す

写真の保存
題名
Sample
メモ
ファイル制限
なし
ファイル名
メニュー 決定

- 各項目の説明→P422
- メニュー：題名の変更や待受画面などに設定することができます。→P421、P422

3 決定 を押す

画像を保存した旨のメッセージが表示されます。

次ページへ続く

4 決定を押す

サイト表示に戻ります。

●「写真のアルバムを見る」の「iモード」フォルダに保存されます。
→P418

●終話▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な画像を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画像を保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の画像を削除します。
● 画像入りのサイトを表示する際、画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
● 画像によっては正しく表示できない場合があります。
● 横縦（または縦横）のサイズが次の大きさを超える画像は保存できません。
GIF形式：640×480（ドット）　JPEG形式：1280×960（ドット）

サイトからメロディをダウンロードします＜iメロディ＞

サイトからお気に入りのメロディをダウンロードし、FOMA端末に保存します（iメロディ対応）。保存したメロディを再生したり、着信音に設定したりできます。

● 保存できるメロディのデータサイズは1件あたり最大100Kバイトです。
● SMF形式、MFi形式のメロディを保存できます。
● 最大保存件数→P598

1 メロディのあるサイトを表示し、ダウンロードするメロディを選択▶決定を押す

ダウンロードが
完了しました
1再生する
2保存する
3保存しない
決定

● ダウンロード中に電話帳：ダウンロードを中止できます。

「1 再生する」　：メロディを再生します。
→P444 操作3

「2 保存する」　：メロディを保存します。

「3 保存しない」：メロディの保存を中止します。

2 「2 保存する」を押す

題名を
入力してください
エリーゼのために

メニュー 確定 ガイド

●題名を変更するときは、題名を入力します。全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。

3 決定を押す

メロディを保存した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

サイト表示に戻ります。

●「保存した曲の詳細を設定する」の「iモード」フォルダに保存されます。
→P443

●終話▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●メロディの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。メロディを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のメロディを削除します。

●メロディによっては正しく再生できない場合があります。

iモードの便利な機能

表示中の画面の電話番号やe-mailアドレス、URLから直接電話をかけたり、メールを作成したり、サイトに接続したりすることができます。また、FOMA端末電話帳に登録することもできます。

表示中の画面から電話をかけます<Phone To（AV Phone To）機能>

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/Fなど）の電話番号から、直接電話（テレビ電話を含む）をかけます。

次ページへ続く

〈例〉サイト中の電話番号に電話をかけるとき

1 サイトを表示し、電話番号を選択▶決定を押す

● 反転表示される電話番号のみ選択できます。

2 「1 音声電話」〜「3 32K テレビ電話」のいずれか1つの番号を押す

電話をかけるかどうかの確認画面が表示されます。

● テレビ電話をかけるときは、「2 64K テレビ電話」または「3 32K テレビ電話」を押します。

3 「1 電話をかける」を押す

選択した電話番号に電話がかかります。

● 「2 電話をかけない」：電話をかけることを中止します。

● 発信者番号通知→ P59

お知らせ

● サイトによっては Phone To（AV Phone To）機能を使用できない場合があります。

表示中の画面からメールを送信します< Mail To 機能>

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージ R/F など）のメールアドレスから、直接 i モードメールを作成します。

● SMS は作成できません。

〈例〉サイト内のメールアドレスに i モードメールを送信するとき

1 サイトを表示し、メールアドレスを選択▶決定を押す

選択したメールアドレスがあらかじめ宛先に設定されているメール作成画面が表示されます。

● 反転表示されるメールアドレスのみ選択できます。

2 i モードメールを作成して送信する

選択したメールアドレスに i モードメールが送信されます。

● i モードメールの作成・送信方法→ P320、P325

お知らせ

- 複数のメールアドレスが列記されている場合、Mail To 機能を使用できない場合があります。
- サイトによっては Mail To 機能を使用できない場合があります。
- 表示しているサイトの URL をメールの本文に挿入して、メールを作成することができます。
  サイト表示中に メニュー ▶「8 メールを作る」を押して操作します。

表示中の画面からインターネットに接続します<Web To 機能>

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージ R/F など）の URL から、直接サイトやインターネットホームページに接続します。

〈例〉画面メモに表示されている URL に接続するとき

1 画面メモを表示し、URL を選択 ▶ 決定 を押す

選択した URLサイトに接続します。

- 画面メモ表示方法→ P276
- 反転表示される URLのみ選択できます。
- (終話) ▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 表示中の画面によってはURLを選択 ▶ 決定 を押すと、i モードに接続してサイトを表示するかどうかの確認画面が表示されます。「1 接続する」を押すとサイトに接続します。
- サイトによっては Web To 機能を使用できない場合があります。

URL をコピーします

表示中のサイトや画面メモの URL をコピーします。コピーした文字は、メール作成画面などの入力欄に貼り付けることができます。

- コピーした文字は電源を切るまで FOMA 端末に記録され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
- 記録できるのは 1 件だけです。新たにコピーを行うと、直前にコピーしている文字に上書きされます。

〈例〉サイトの URL をコピーするとき

1 サイトのURLを表示して メニュー ▶「1 URLをコピー」を押す

http://ΔΔΔΔΔΔ.ne
.jp/□□□□□□/Δ□Δ□Δ
□Δ□Δ.html

コピー開始位置を
選んでください
全選択 始点

- サイトの URL の表示方法→ P262

次ページへ続く

2 コピーする範囲の開始位置を選択▶決定▶終了位置を選択▶決定を押す

URLをコピーした旨のメッセージが表示されます。
- 開始位置を選択し直すときは戻るを押します。
- 開始位置を選択する前にメニュー：全文が選択されます。
- 開始位置選択後にメニュー／電話帳：カーソルが文頭／文末に移動します。

3 決定を押す

URL表示画面に戻ります。
- ☎▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

4 貼り付け先の文字入力画面を表示し、文字を貼り付ける

- 操作方法→P543

お知らせ
- URLは半角で最大256文字コピーできます。
- URL履歴一覧、フォルダ内のブックマーク一覧が表示されている画面、画面メモ一覧から操作する場合は、メニュー▶「URLをコピー」を選択▶決定を押して操作します。これらの画面から操作する場合はURL全体がコピーされます。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/F）の電話番号やメールアドレスをFOMA端末電話帳に登録します。新規に登録することも、登録済みの電話帳データに追加することもできます。

新規登録します

〈例〉サイトの電話番号やメールアドレスを新規登録するとき

1 電話番号やメールアドレスがあるサイトを表示する

2 登録する電話番号やメールアドレスを選択▶ メニュー ▶「9 電話帳に登録」▶「1 新規に登録」を押す

電話帳登録
名前を
入力してください

メニュー 確定 ガイド

● 反転表示される電話番号、メールアドレスのみ登録できます。

3 名前などを設定して登録する

● 電話帳の登録方法→P120

お知らせ

● サイトによっては登録できない場合があります。
● メッセージR/F詳細画面から操作する場合は、登録する電話番号やメールアドレスを選択▶ メニュー ▶「4 登録する」▶「1 電話帳新規登録」を押して操作します。

登録済みの電話帳データに追加します

〈例〉サイトの電話番号やメールアドレスを追加登録するとき

1 電話番号やメールアドレスがあるサイトを表示する

2 登録する電話番号やメールアドレスを選択▶ メニュー ▶「9 電話帳に登録」▶「2 追加で登録」を押す

検索方法を
選んでください
1 50音順検索
2 音声検索
3 グループ検索
4 フリガナ検索
5 電話番号検索
6 電話帳番号検索
決定

● 反転表示される電話番号、メールアドレスのみ登録できます。

3 追加登録する電話帳データを選択▶ 決定 を押す

電話帳データに追加した旨のメッセージが表示されます。

● 検索方法→P134

次ページへ続く

4 決定を押し、「2 終了する」を押す

サイト表示に戻ります。

● ▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 登録済みの電話帳データに追加すると、以前に登録した内容が変更される場合があります。

● メッセージR/F詳細画面から操作する場合は、登録する電話番号やメールアドレスを選択▶ メニュー ▶「4 登録する」▶「2 電話帳追加登録」を押して操作します。

iモードの詳細機能を設定します

サイトやメッセージR/Fなどの詳細機能を設定します。

文字の大きさを変更します＜文字サイズ設定＞

お買い上げ時 標準の大きさ

サイトを表示するときの文字の大きさを設定します。

＜標準の大きさ ：1行全角で10文字（半角20文字）＞

＜大きく表示 ：1行全角で8文字（半角16文字）＞

1 待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「6 iモードの詳細を設定する」▶「2 文字の大きさを選ぶ」を押す

2 「1 標準の大きさ」または「2 大きく表示」を押す

iモードサイト表示の文字の大きさを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 文字の大きさを変更すると、次にサイトを表示するときも変更後の文字の大きさで表示されます。

画像の表示、照明を設定します<画像表示・照明設定>

お買い上げ時	画像：表示する　アニメーション：再生する　照明設定：常に点灯

サイトや画面メモ、メッセージR/Fなどの内容を表示したときの画像や照明を設定します。

1 待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「6 iモードの詳細を設定する」▶「3 画像表示・照明を設定する」を押す

変更する項目を選んでください
1画像 表示する
2アニメーション 再生する
3照明設定 常に点灯
変更 完了

項　目	説　明
1 画像	画像を表示するかしないかを設定します。
2 アニメーション	アニメーションを再生するかしないかを設定します。
3 照明設定	ディスプレイの照明方法を設定します。

2 「1 画像」～「3 照明設定」のいずれか1つの番号を押す

■ 画像を表示するかしないかを設定するとき

「1 画像」▶「1 表示する」または「2 表示しない」を押す

- 「表示しない」に設定すると、「アニメーション」は設定できません。

■ アニメーションを再生するかしないかを設定するとき

「2 アニメーション」▶「1 再生する」または「2 再生しない」を押す

次ページへ続く

■ 照明方法を設定するとき

「3 照明設定」▶「1 常に点灯」または「2 設定時間で消灯」を押す

- 「常に点灯」に設定すると、サイトなどの表示中はディスプレイの照明が常時点灯します。
- 「設定時間で消灯」に設定すると、「画面の明るさを設定する」の「照明時間」に従います。→P173

3 設定した後に（電話帳）を押す

画像表示・照明を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●（終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- ●サイト表示中から操作する場合は、（メニュー）▶「＊ 表示を設定」▶「1 表示・効果設定」を押して操作します。
- ●「画像」を「表示する」に設定しても、画像が正しく表示されない場合があります。
- ●「画像」を「表示しない」に設定すると、画像の位置にが表示されます。
- ●「画像」を「表示しない」に設定すると、ｉモードメール本文中に記載されているURLに接続しても、画像は表示されません。
- ●「アニメーション」を「再生しない」に設定したときは、アニメーションの最初の画像が表示されます。
- ●「画像」の設定は、メッセージR/Fの本文に表示される画像の表示／非表示には影響しますが、添付されている画像の表示／非表示には影響しません。

接続までの待ち時間を設定します<接続待ち時間設定>

お買い上げ時　60秒間

ｉモードセンターに接続するまでの最大待ち時間を設定します。接続が正常に行われないときなどに、設定した時間で自動的に接続を中断するので、ボタン操作で中断する必要はありません。

1 待受画面で（メニュー）▶「# 詳細な機能を設定する」▶「6 ｉモードの詳細を設定する」▶「5 接続までの待ち時間を設定する」を押す

接続するまでの
最大の待ち時間を
選んでください

1 60秒間
2 90秒間
3 時間制限なし

決定

2 「1 60秒間」～「3 時間制限なし」のいずれか1つの番号を押す

接続までの待ち時間を設定した旨のメッセージが表示されます。
- 接続するまでの待ち時間を設定せずに、接続するまで待つときは「3 時間制限なし」を押します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。
- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 「時間制限なし」に設定しても、電波状況などによりｉモードセンターとの接続が中断されることがあります。

ｉモードから接続先を変更します<ISP接続通信>

お買い上げ時 ｉモード

※ドコモのｉモードサービスをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

- ｉモード契約時の接続先は、ご契約いただいた地域により異なります。

ISP接続通信とは

ドコモのｉモード端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）への接続が可能になります。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。
- ISP接続を行った際のパケット通信は、パケ・ホーダイの対象とはなりませんのであらかじめご了承ください。

※ドコモへの新たなお申し込みは不要です。

プロバイダ契約について

- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモよりご請求することはありません。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号が実際に閲覧されるサイトを提供するプロバイダに通知されることがあります。
- 登録できる接続先は最大10件です。
- 通信中は接続先の設定／変更はできません。

次ページへ続く

1 待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「6 iモードの詳細を設定する」▶「6 接続先番号を設定する」を押す

接続先一覧
☑ iモード
ユーザ設定1
ユーザ設定2
ユーザ設定3
ユーザ設定4
ユーザ設定5
ユーザ設定6
選択 登録

■ iモードを利用する設定に戻すとき

「iモード」を選択▶決定を押す

□が☑に変わります。操作8に進みます。

■ 以前に設定した接続先に変更するとき

接続先を選択▶決定を押す

□が☑に変わります。操作8に進みます。

2 編集するユーザ設定を選択▶ メニュー を押す

暗証番号を
入力してください
確定

3 4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

iモード接続先を
設定してください
1接続先名称
2接続先
未設定
3接続先アドレス
未設定
変更 確定

4 「1 接続先名称」▶接続先名を入力▶決定を押す

- 全角で最大6文字、半角で最大12文字入力できます。

5 「2 接続先」▶接続先を入力▶決定を押す

- 半角英数字で最大99文字入力できます。

6 「3 接続先アドレス」▶アドレスを入力▶決定を押す

- 半角英数字で最大30文字入力できます。
- 文字入力後に メニュー を押すと、全項目に入力した内容を削除することができます。

7 電話帳 ▶編集した接続先を選択▶決定を押す

選択した接続先の□が☑に変わります。

8 電話帳を押す

接続先を設定した旨のメッセージが表示されます。

9 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

証明書を表示して有効／無効を設定します<証明書表示／使用設定>

SSL通信用の証明書を表示して確認したり、有効／無効を設定したりできます。

●青色のFOMAカードを取り付けて使用している場合は、「ドコモ証明書」「ユーザ証明書」は表示されません。

1 待受画面でメニュー▶「# 詳細な機能を設定する」▶「6 i モードの詳細を設定する」▶「7 証明書の表示と使用を設定する」を押す

証明書一覧
☑CA証明書1
☑CA証明書2
☑CA証明書3
☑CA証明書4
☑CA証明書5
☑CA証明書6
☑CA証明書7
無効 表示 登録

●設定状態は次のとおりです。

☑：有効　□：無効

● ：証明書が複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

iモード

iモードの詳細機能を設定します

次ページへ続く

2 表示する証明書を選択▶決定を押す

CA証明書1
証明書の所有者：
CN=XXXXXXXX
O=ΔΔΔΔΔΔΔΔ, Inc.
C=US
証明書の発行者：
CN=XXXXXXXX
OU=ΔΔΔΔΔΔΔΔ, Inc
決定

- ：前後の証明書を表示できます。
- を押すと待受画面に戻ります。

■ 証明書の有効／無効を設定するとき

① **設定する証明書を選択▶メニューを押す**

チェックボックスが☑または□に切り替わります。

- 無効に設定すると、その証明書を使うページに接続できなくなります。

② **電話帳を押す**

SSL通信に使用する証明書を登録した旨のメッセージが表示されます。

③ **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- CA証明書 … 認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の端末内に保存されています。
- ドコモ証明書 … FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、あらかじめ緑色のFOMAカード内に保存されています。
- ユーザ証明書 … FirstPass対応サイトへ接続するために必要な証明書で、ダウンロードすると緑色のFOMAカード内に保存されます。FirstPassセンターで発行要求を行います。→P305
- 証明書の表示内容
  証明書の所有者
  CN= …（Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
  O= …（Organization）会社名など
  C= …（Country）国名
  証明書の発行者
  CN= …（Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
  OU= …（Organization Unit）会社の部署など
  O= …（Organization）会社名など
  有効期限
  シリアル番号
- 証明書の所有者、発行者、有効期限について記述がない場合、記述がない項目は項目名のみ表示されます。

メッセージR/Fを受信したときは <メッセージR/F受信>

メッセージサービスは、欲しい情報が自動的にお客様のFOMA端末に届くサービスです。

メッセージFを受信するかどうかを設定します

1 待受画面で決定を1秒以上▶「1 Menuを見る」▶「オプション設定」を選択▶決定▶「メッセージF設定」を選択▶決定を押す

メッセージF設定
メッセージFはパケット通信料・登録料無料FREEで、キャンペーンや最新の商品情報をiモードに自動的にお届けするNTTドコモのメッセージサービスです！
例えば、ブランド品プレゼ
メニュー

2 「○受信する」または「○受信しない」を選択▶決定を押す

メッセージFを
◉受信する
○受信しない
iモードパスワード
(数字4桁)
決定
※iモードパスワードはご契
メニュー 決定

- 選択されると○が◉に変わります。

3 iモードパスワード欄を選択▶決定▶iモードパスワードを入力▶決定を押す

メッセージFを
◉受信する
○受信しない
iモードパスワード
(数字4桁)
****
決定
※iモードパスワードはご契
メニュー 決定

次ページへ続く

4 「決定」を選択▶決定を押す

メッセージFが設定されます。

● ▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

メッセージR/Fを自動的に受信します

メッセージR/Fを受信すると、画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したメッセージR/FはFOMA端末に保存されます。

● 最大保存件数→P598

1 メッセージR/Fを受信する

メッセージ゛R受信中

中断

<メッセージRの場合>

とRまたはFが点滅し、左の画面が表示されます。

● メッセージ受信中に決定を押すと受信を中止できますが、受信中の状況によってはメッセージR/Fを受信する場合があります。

2 メッセージの受信結果が表示される

13:23

受信結果

1メール ---件

2メッセージ゛R 2件

3メッセージ゛F ---件

決定

が点灯してメッセージR/F着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。

● 受信結果画面が表示されてから約15秒間、またはメッセージ着信音が鳴り終わるまでの間（鳴らす時間を15秒以上に設定している場合）何も操作しないと、自動的に受信前の画面に戻ります。

● すぐに受信前の画面に戻すときは戻るを押します。

● 待受画面に戻るとが消えます。

■ 受信したメッセージR/Fをすぐに確認するとき

「2 メッセージR」または「3 メッセージF」を押す

メッセージ一覧が表示されます。→P301

■ 受信に失敗したとき

「2メッセージR」「3メッセージF」の後ろに「×」が表示されます。

- メッセージR/Fを受信し直すには、「届いているメール・メッセージを受信する」を行ってください。→P298

■ メッセージR/Fの自動表示を設定しているとき

受信前の画面に戻る前に、設定に従って受信したメッセージR/Fの内容が表示されます。→P296

お知らせ

- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに受信状態が表示されます。→P39
- メッセージR/Fの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、古いメッセージR/Fから順に上書きされます。ただし、未読のメッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fには上書きされません。残しておきたいメッセージR/Fは保護してください。→P304
  未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯で上書きできないときは、メッセージR/Fの受信は中止され、画面にはRやFのマークが表示されます。→P36
- FOMA端末でメッセージR/Fを受信すると、iモードセンターに保管されているメッセージR/Fは削除されます。
- iモードセンターにメッセージR/Fが残っているときは、のマーク（→P36）が表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合もあります。また、iモードセンターの保管件数（→P253）が満杯になったときは、マークがに変わります。
  iモードセンターに残っているメッセージR/Fを受信する場合は、「届いているメール・メッセージを受信する」（→P298）を行ってください。ただし、受信したメッセージR/Fが最大保存件数まで達しているときは、あらかじめ未読のメッセージR/Fの内容を見る（→P301）、保護を解除する（→P304）などを行う必要があります。
- 次のような場合に送られてきたメッセージR/FはiモードセンターにMore保管されます。メッセージR/Fを受信する場合は、iモード問合せを行ってください。
  - 電源が入っていないとき
  - テレビ電話中
  - セルフモード中
  - FirstPassセンター接続中
  - 受信に失敗したとき
  - iモード圏外のとき
  - SMS受信中
  - 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯のとき
- 待受画面／メニュー画面以外（他の機能が起動中）のときや個人情報表示を制限しているときには、ディスプレイ上部にRまたはFが表示されてメッセージR/Fを自動受信しますが、受信中画面や受信結果画面は表示されず、着信音と着信ランプも動作しません。受信したメッセージR/Fを確認するには、他の機能を終了／各制限を解除してください。

受信したメッセージR/Fを自動的に表示するかどうかを設定します

お買い上げ時 メッセージR優先

メッセージR/Fの受信結果画面（→P294 操作2）から受信前の画面に戻るときに、受信したメッセージR/Fの内容を自動的に表示できます。

1 待受画面で（メニュー）▶「# 詳細な機能を設定する」▶「5 メッセージの詳細を設定する」▶「2 未読メッセージを自動で表示する」を押す

自動で表示する
メッセージを
選んでください
1メッセージRのみ
2メッセージFのみ
3メッセージR優先
4メッセージF優先
5自動表示しない
決定

項　目	説　明
1 メッセージRのみ	受信したメッセージRを自動表示するように設定します。メッセージFのみ受信した場合は、自動表示されません。
2 メッセージFのみ	受信したメッセージFを自動表示するように設定します。メッセージRのみ受信した場合は、自動表示されません。
3 メッセージR優先	メッセージRとメッセージFを受信した場合に、メッセージRを優先して自動表示するように設定します。メッセージFのみ受信した場合は、メッセージFを自動表示します。
4 メッセージF優先	メッセージRとメッセージFを受信した場合に、メッセージFを優先して自動表示するように設定します。メッセージRのみ受信した場合は、メッセージRを自動表示します。
5 自動表示しない	メッセージR/Fを受信しても、自動で表示しないように設定します。

2 「1 メッセージRのみ」～「5 自動表示しない」のいずれか1つの番号を押す

メッセージの自動表示方法を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● （終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- メッセージR/Fの内容は約15秒間表示されます。自動表示中にボタン操作を行わなかった場合は、メッセージR/Fは未読の状態で保存されます。
- 受信結果画面からメールやメッセージR/Fの表示操作を行った場合は自動表示されません。また、「届いているメール・メッセージを受信する」でメッセージR/Fを受信したときは、自動表示されません。
- 待受画面／メニュー画面以外（他の機能が起動中）からは自動表示できません。

添付されたメロディを自動演奏するかどうかを設定します

お買い上げ時	自動演奏する

メロディが添付されているメッセージR/Fを表示したときに、メロディを自動的に演奏するかどうかを設定します。

1 **待受画面でメニュー▶「# 詳細な機能を設定する」▶「5 メッセージの詳細を設定する」▶「1 メッセージのメロディを自動演奏する」を押す**

添付された
メロディを自動で
演奏しますか？
1自動演奏する
2自動演奏しない
決定

2 **「1 自動演奏する」または「2 自動演奏しない」を押す**

自動演奏する／自動演奏しないを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

- ☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能の設定は、「添付のメロディを自動演奏する」の設定にも反映されます。→P371

メッセージR/Fがあるかどうかを問い合わせます<ｉモード問合せ>

圏外にいた間や電源を切っていた間などにメッセージR/Fが届いていないかを問い合わせます。

●電波状態によってはｉモード問合せができない場合があります。

1 待受画面で決定を１秒以上▶「5 メッセージを見る」▶「3 届いているメール・メッセージを受信する」を押す

ｉモード問合せが実行されます。ｉモードセンターにメッセージR/Fが保管されていれば受信します。

●ｉモード問合せ中に決定を押すと、問い合わせを中止できます。

●受信結果画面の操作は自動受信時と同様です。→P294
ただし、ｉモード問合せでメッセージR/Fを受信したときは、自動受信時とは異なり、約15秒経過しても元の画面には戻りません。メッセージR/Fを表示せずに待受画面に戻すときは戻るを3回押します。

お知らせ

●問い合わせを行うメッセージの種類は選択できます。→P350

メッセージR/Fが着信したときの着信音を設定します

お買い上げ時　着信音設定：鳴らす　着信音：着信音1　鳴らす時間：3秒

1 待受画面で決定を１秒以上▶「5 メッセージを見る」▶「4 メッセージが届いた時の音を選ぶ」を押す

着信音を
設定するﾒｯｾｰｼﾞを
選んでください

1ﾒｯｾｰｼﾞﾘｸｴｽﾄ
2ﾒｯｾｰｼﾞﾌﾘｰ

決定

2 「1 メッセージリクエスト」または「2 メッセージフリー」を押す

メッセージ着信音を
設定してください
1着信音設定
鳴らす
2着信音
着信音1
3鳴らす時間
3秒
変更 完了

項　目	説　明
1 着信音設定	着信音を鳴らすかどうかを設定します。
2 着信音	着信音を鳴らすときのメロディを設定します。
3 鳴らす時間	着信音を鳴らす時間を1～30秒の間で設定します。

3 「1 着信音設定」を押す

着信音を鳴らすかどうかの確認画面が表示されます。

- 「2 着信音」　：着信音から設定します。操作 5 に進みます。
- 「3 鳴らす時間」：鳴らす時間から設定します。操作 6 に進みます。

着信音設定を「鳴らさない」に設定しているときは、「着信音」「鳴らす時間」は設定できません。

4 「1 鳴らす」を押す

メロディ一覧が表示されます。

- 「2 鳴らさない」：着信音を鳴らさないように設定します。操作7に進みます。

5 フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押す

着信音を鳴らす時間を設定する画面が表示されます。

6 鳴らす時間を入力▶決定を押す

操作2の画面に戻ります。「2 着信音」には選択した着信音が表示され、「3 鳴らす時間」には入力した時間が表示されています。

7 電話帳を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

8 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- 終話を押すと待受画面に戻ります。

メッセージ R/F が着信したときの振動パターンを設定します

お買い上げ時　振動させない

メッセージ R、メッセージ F を受信したときの振動パターンを設定します。

1 **待受画面で決定を1秒以上▶「5 メッセージを見る」▶「5 メッセージが届いた時の振動を選ぶ」を押す**

振動ﾊﾟﾀｰﾝを
設定するﾒｯｾｰｼﾞを
選んでください
1ﾒｯｾｰｼﾞﾘｸｴｽﾄ
2ﾒｯｾｰｼﾞﾌﾘｰ
決定

2 **「1 メッセージリクエスト」または「2 メッセージフリー」を押す**

ﾒｯｾｰｼﾞが
届いた時の振動を
選んでください
1ﾊﾟﾀｰﾝAで振動
2ﾊﾟﾀｰﾝBで振動
3ﾊﾟﾀｰﾝCで振動
4振動させない
決定

●振動パターンについて→ P163 操作 2

3 **「1 パターン A で振動」～「4 振動させない」のいずれか 1 つの番号を押す**

振動パターンを設定した旨のメッセージが表示されます。

4 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

●☎を押すと待受画面に戻ります。

受信したメッセージR/Fを表示します＜メッセージR/F＞

FOMA端末に保存されているメッセージR/Fを表示します。

- 未読のメッセージR/Fがあるときは待受画面にRまたはFが表示されます。
- お買い上げ時は､｢トクだねニュース便のご案内｣のメッセージRが保存されています。

〈例〉メッセージRを表示するとき

1 待受画面で決定を1秒以上▶「5 メッセージを見る」▶「1 メッセージリクエストを見る」を押す

メッセージR
4/14件
14:40最新ニュース
14:34最新ペット情報
9/14最新ペット情報
メニュー 決定

メッセージR/F番号／メッセージ件数

受信日時（受信当日：時刻　当日以外：日付）、題名

- メッセージFを表示するときは決定を1秒以上▶「5メッセージを見る」▶「2メッセージフリーを見る」を押します。
- ：メッセージR/Fが複数ページある場合は､前後のページを表示できます。
- メッセージの状態は､次のマークで確認できます。

マーク		説　明
状　態	✉	未読メッセージ
	表示なし	既読メッセージ
	🔑	保護されたメッセージ
添　付	🖼	添付画像
	♪🖼	添付画像＋添付メロディ
	♪	添付メロディ
	✉／	異常添付データ

次ページへ続く

2 表示するメッセージ R を選択▶決定を押す

メッセージR
04/14件
05/09/15 14:40
題最新ニュース
今日のトップニュース
パンダの子供生まれる
最新画像.jpg
約4.4KB
メニュー 確定

状態マーク、添付マーク、メッセージ R/F 番号／メッセージ件数

添付データがある場合は、マーク、データ名、データサイズが表示→ P355、P359、P361

● ：表示されている前後のメッセージ R/F を表示できます。
● メッセージ本文は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
(時計)	受信した日時
題	題名

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● メッセージのメロディを自動演奏するように設定している場合（→P297）、メロディが添付されているメッセージ R/F を表示すると、「電話を受けた時の音量を調節する」（→ P89）で設定した音量で、メロディが自動的に再生されます。再生を途中で止めるときは、戻るを押します。
● 本文中に画像が挿入されている場合は画像が表示されます。
- 画像をFOMA端末に取得できます。操作方法はサイトから画像を保存するときと同様です。→ P279
- 画像を正常に受信できなかったときは受信し直すことができます。→下記
- 画像が受信できなかったときは／／が表示されます。
- 本文中に表示されている画像は削除できません。

メッセージ R/F の画像をもう一度読み込みます<画像再読込み>

メッセージR/Fの本文中に未受信の画像があるときに、画像を受信し直します。
●「画像表示・照明を設定する」で「画像」を「表示しない」に設定しているときは、再読み込みを行っても画像は受信できません。→ P287
● 画像によっては再読み込みを行っても表示できない場合があります。

1 メッセージ R/F 一覧を表示する

● 操作方法→ P301 操作 1

2 メッセージ R/F を選択▶決定を押す

メッセージ R/F 詳細画面が表示されます。
● は受信していない画像データがあることを示します。

3 画像を選択▶メニュー▶「1 再読込みをする」を押す

画像が読み込まれます。

お知らせ

- 本文中に未受信の画像がないときは、再読み込みを行っても画像は受信されません。

メッセージ R/F を削除します<メッセージ削除>

1件ずつ選択して削除したり、既読のメッセージR/FやすべてのメッセージR/Fをまとめて削除したりすることができます。

- 保護されているメッセージR/Fは削除できません。全件削除しても保護されているメッセージ R/F は残ります。保護を解除してから削除してください。

1 メッセージ R/F 一覧を表示する

- 操作方法→ P301 操作 1

2 削除するメッセージ R/F を選択▶メニュー▶「1 削除する」▶「1 選択 1 件」を押す

メッセージを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 既読のみ削除するときは、メニュー▶「1 削除する」▶「2 既読のみ全件」を押します。
- 全件削除するときは、メニュー▶「1削除する」▶「3メッセージ全件」を押し、4 ～ 8 桁の端末暗証番号を入力▶決定を押します。

3 「1 削除する」を押す

メッセージを削除した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 削除しない」：削除を中止します。

4 決定を押す

メッセージ一覧に戻ります。

- 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- メッセージ R/F 詳細画面から 1 件削除する場合は、メニュー▶「2 削除する」を押して操作します。

メッセージR/Fを保護／解除します<メッセージ保護>

保存領域の空きがなくなっても、メッセージR/Fを受信したときに上書きされないようにメッセージR/Fを保護します。

●未読のメッセージR/Fは保護できません。

●最大保護件数→P598

1 メッセージR/F一覧を表示する

●操作方法→P301 操作1

2 保護するメッセージR/Fを選択▶メニュー▶「2 保護／解除する」▶「1 選択1件保護」を押す

メッセージR/Fが保護されます。

●状態マークが🔑に変わります。

●📞を押すと待受画面に戻ります。

■ 保護を解除するとき

保護を解除するメッセージR/Fを選択▶メニュー▶「2 保護／解除する」▶「2 選択1件解除」を押す

- 保護を全件解除するときは、メニュー▶「2 保護／解除する」▶「3 全件解除」を押します。

お知らせ

●メッセージR/F詳細画面から保護／保護を解除する場合は、メニュー▶「3 保護する」または「3 保護を解除する」を押して操作します。

メッセージR/F一覧の表示方法を変更します

お買い上げ時	全て表示

メッセージR/F一覧を一時的にメッセージの状態別に表示します。

1 メッセージR/F一覧を表示する

●操作方法→P301 操作1

2 メニュー ▶「3 表示方法を変更」を押す

表示方法を
選んでください

1全て表示
2未読のみ表示
3既読のみ表示
4保護のみ表示

決定

項　目	説　明
1 全て表示	すべてのメッセージを一覧表示します。
2 未読のみ表示	未読のメッセージを一覧表示します。
3 既読のみ表示	既読のメッセージを一覧表示します。
4 保護のみ表示	保護されているメッセージを一覧表示します。

3 「1 全て表示」～「4 保護のみ表示」のいずれか 1 つの番号を押す

選択した表示方法で表示されます。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● メッセージ R/F 一覧の表示を終了すると「全て表示」に戻ります。
●「既読のみ表示」では、保護されているメッセージ R/F は表示されません。

ユーザ証明書を操作します <ユーザ証明書操作>

FirstPassセンターからユーザ証明書の発行要求や、ダウンロードができます。

● 青色の FOMA カードではご利用になれません。
● FirstPass センターに接続するには、日付・時刻の設定をしてください。
→ P58
● FirstPassセンター接続中は、によるページの移動はできません。

ユーザ証明書の発行を要求してダウンロードします

1 待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「6 i モードの詳細を設定する」▶「8 ユーザ証明書を操作する」を押す

FirstPass

・FirstPassをご利用いただくためには、ユーザ証明書の発行申請、ダウンロードが必要です。
・「次へ」を選択して、ユーザ証明書の発行申請ダウンロードを行ってく

メニュー

2 「次へ」を選択 ▶ 決定 を押す

FirstPass

1証明書発行
2ダウンロード
3その他
4ご利用規則

メニュー 決定

■ 発行された証明書を失効させるとき

①「3 その他」を選択 ▶ 決定 ▶「1 証明書失効」を選択 ▶ 決定 を押す

ユーザ証明書を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

②「1 送信する」を押す

PIN2 コード入力画面が表示されます。

→ P185

③ PIN2 コードを入力 ▶ 決定 ▶ 決定 を押す

④「実行」を選択 ▶ 決定 ▶「次へ」を選択 ▶ 決定 ▶「実行」を選択 ▶ 決定 を押す

3 「1 証明書発行」を選択 ▶ 決定 を押す

総額は、「UMAY」と基本使用量の1か月分を上限とします。

「ご利用規則」にご同意の上、実行を行って下さい。

実行/メニュー

メニュー 決定

4 「実行」を選択▶ 決定 を押す

PIN2コードを
入力してください
残り 3回
入力できます

確定

● PIN2 コード→ P185

5 PIN2 コードを入力▶ 決定 を押す

PIN2 コードが認証された旨のメッセージが表示されます。

6 決定 を押す

完了画面が表示され、ユーザ証明書の発行申請が完了します。

● ▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

7 「ダウンロード」を選択▶ 決定 を押す

R Secondary 1
O=NTT DoCoMo, Inc.
C=JP
有効期限:
XXXXXXXXXXXXXXXX
シリアル番号:
XXXXX

実行/メニュー

メニュー 決定

8 「実行」を選択▶ 決定 を押す

完了画面が表示され、ユーザ証明書がダウンロードされます。

● ▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く

お知らせ

- FirstPass センターに接続した際のパケット通信料はかかりません。
- FirstPass センターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
- FirstPass センターに接続中は、メールの送受信やメッセージ R/F の受信はできません。
- ユーザ証明書は、お客様がFOMA契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書は緑色のFOMAカードに保存され、FirstPass対応サイトで利用できます。
- 添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末をパソコンに接続して、パソコンのブラウザを使ってFirstPassの通信を行うことができます。詳細はCD-ROM内の「FirstPassManual」をご覧ください。「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます(別途通信料がかかります)。詳細はアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

FirstPass ご使用にあたって

- FirstPass とはドコモの電子認証サービスです。FirstPass を利用することにより、サイト側と FOMA 端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、添付のCD-ROM内のFirstPass PCソフトが必要です。
- ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、要求してください。
- ユーザ証明書のご利用には PIN2 コードの入力が必要です。→P185
  PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、ドコモショップなどの窓口でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

証明書の発行先を変更します<証明書発行先設定>

お買い上げ時 接続先：ドコモ

FirstPass以外のサービスを受けるときに、接続先を設定します。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 **待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「6 i モードの詳細を設定する」▶「9 証明書の発行先を変更する」を押す**

証明書発行先を
設定してください
1接続先
ドコモ
2ﾕｰｻﾞ設定接続先
3初期画面URL
変更 完了

2 **「1 接続先」▶「1 ドコモ」または「2 ユーザ設定」を押す**

- FirstPassに接続する設定に戻すときは「1 ドコモ」を押し、操作5に進みます。

3 **「2 ユーザ設定接続先」▶ 接続先を入力 ▶ 決定 を押す**

- 半角英数字で最大99文字入力できます。

4 **「3 初期画面URL」▶ URLを入力 ▶ 決定 を押す**

- 半角英数字で最大100文字入力できます。

5 **電話帳 を押す**

接続先を設定した旨のメッセージが表示されます。

6 **決定 を押す**

メニュー画面に戻ります。

- (終話キー)を押すと待受画面に戻ります。

メール

SMS（ショートメッセージ）を使います

メールを管理します

メールの便利な機能

FOMA端末のメール機能について

FOMA端末では、iモードメール、SMSの2種類のメール機能を使用できます。

● iモードメールを使用するには、iモードのご契約が必要です。

● SMSは、iモードをご契約されていなくてもご使用いただけます。

メール機能の送受信について

FOMA端末→FOMA端末

iモードメール、SMSのどちらも使用できます。

SMS → SMS
最大70文字（日本語）
最大160文字（英語）

iモードメール → iモードメール
全角で最大5000文字

FOMA端末　　FOMA端末

FOMA端末→movaサービスのiモード端末

iモードメール、SMSのどちらも利用できます。SMSはiモードメールとして受信されます。

※SMS設定で送達通知を「要求する」に設定しているとき（→P390）は、movaサービスのiモード端末にSMSを送信できません。

SMS → iモードメール
最大70文字（日本語）
最大160文字（英語）

iモードメール → iモードメール
全角で最大2000文字※

FOMA端末　　movaサービスのiモード端末

※：movaサービスのiモード端末の設定により異なります。

movaサービスのiモード端末→FOMA端末

movaサービスのiモード端末から送られたiモードメールとショートメールを受信できます。ショートメールはSMSとして受信します。

ショートメール 特番1655をダイヤル → SMS
最大50文字

iモードメール → iモードメール
全角で最大250文字

movaサービスのiモード端末　　FOMA端末

※ショートメールとは、ドコモの携帯電話間で文字メッセージをやりとりできるサービスです。

ｉモードメールについて

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末（mova 含む）間はもちろん、インターネットを経由してパソコンの e-mail とのメールのやりとりができます。

ｉモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規にｉモードをご契約の場合
@ マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモード契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
〈例〉abc1234 ～ 789xyz@docomo.ne.jp

●お客様のメールアドレスの確認方法
メニュー ▶「5 ｉモードを使う」▶「1 ｉMenu を見る」▶「オプション設定」を選択 ▶ 決定 ▶「メール設定」▶ アドレス確認

● ｉモード端末（mova 含む）間でメールをやりとりする場合は、@マークより前の部分のみのアドレスで送信できます。
● パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、「@docomo.ne.jp」も含めた全体を使用します。

• ｉモードメールを送信する→ P320、P325
• ｉモードメールを受信したとき→ P345
• ｉモード問合せ方法→ P349

■ メールを選択して受信します

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、受信するｉモードメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでｉモードメールを削除したりできます。→ P347、P348

メール設定を行います

● 設定方法
メニュー ▶「5 ｉモードを使う」▶「1 ｉMenu を見る」▶「オプション設定」を選択 ▶ 決定 ▶「メール設定」▶ 各設定

次ページへ続く

●メール設定の詳細は『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

■ メールアドレスを変更します【アドレス変更】

たとえば「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの@マークより前の部分を、お好みのアドレスに変更できます。

■ シークレットコードを登録します【メールアドレス設定（その他設定）→シークレットコード登録】

電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

■ メールアドレスを電話番号にします（アドレスリセット）【メールアドレス設定（その他設定）→アドレスリセット】

メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にすることができます。

■ メールアドレスを確認します【アドレス確認】

現在設定しているメールアドレスを確認できます。

■ 特定のメールを受信／拒否します

以下のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限することができます。

① ドメイン指定受信【メール受信設定(受信／拒否設定)→ドメイン指定受信】

- au・ボーダフォン・TU-KA・ウィルコムのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。
- 上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインからのメールを受信します。

※NTTドコモのｉモード・ｉショット・一定額到達通知サービス・eビリング請求額お知らせメール・ビジュアルネットからのメールはすべて受信します。

② アドレス指定受信／拒否【メール受信設定(受信／拒否設定)→アドレス指定受信、アドレス指定拒否】

- 受信するすべてのメールのうち、指定するアドレスからのメールを受信／拒否します。

③ ｉモードメールのみ受信／拒否【メール受信設定(受信／拒否設定)→ｉモードメールのみ受信、ｉモードメールのみ拒否】

- ｉモードどうしのメールのみ受信（インターネット経由のメールを拒否）／拒否します。

④ ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限【メール受信設定(その他設定)→ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限】

- 1日に1台のｉモード端末（mova含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否する場合は設定する必要はありません。

⑤ **未承諾広告※メール拒否【メール受信設定(その他設定)→未承諾広告※メール拒否】**
- 受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール表題部の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否する場合は設定する必要はありません（送信者はメール件名欄の最前部に未承諾広告※（全角６文字）と記載することが法律で義務づけられています）。

※「ドメイン指定受信」「アドレス指定受信」「アドレス指定拒否」「ｉモードメールのみ受信」「ｉモードメールのみ拒否」は同時に設定することができません。

⑥ **SMS拒否【メール受信設定(その他設定)→ SMS拒否設定／確認】**
- すべてのSMSまたは非通知SMSのみを受信しないよう設定したり、設定の状況を確認することができます。

■ メール設定状況を確認します【設定状況確認】
現在設定しているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。

■ メールのサイズを制限します【メールサイズ制限】
あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限することができます。

■ メール機能を停止します【メール機能停止】
メール機能を使用しない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止ができます。

送受信できる文字数
ｉモードメールで送受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	全角文字（漢字、ひらがな、絵文字など）	半角文字（英字、数字、カタカナなど）
題名	15文字	30文字
メールアドレス	―	50文字
本文	5000文字	10000文字

お知らせ
- ｉモードメールの本文は全角5000文字（10000バイト）まで送受信できますが、添付データのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。
- 本文が受信できる文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。
- movaサービスのｉモード端末へｉモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは全角で最大2000文字です。また、ｉショット・ｉモーションメールはURLの記載されたメールとして送信され、それ以外の添付データは削除されます。
- 題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- ｉモード端末（mova含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されない場合があります。

メールを受信できないとき

ｉモードセンターに届いたｉモードメールは、すぐにお客様のFOMA端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末の電源が入っていない、ｉモード圏外などで受信できないときは、ｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターに保管されたメールは、一定の時間をおいて最大３回再送されます。また、メール選択受信設定により、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを選択して受信することができます。

お知らせ

● ｉモードセンターでのｉモードメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。

	最大保管件数	最大保管期間
ｉモードメール	207～1000件 (約2Mバイトまで)	720時間

● 保管期間が過ぎたｉモードメールは自動的に削除されます。
● 最大保管件数は、ｉモードメールのデータサイズにより異なります。保管件数を超えた場合は、ｉモードセンターではｉモードメールを受信せずに、送信者にエラーメッセージとともに返信します。このときｉモード端末にはまたはが表示されます。→P36
ただし、メール選択受信設定を「利用する」にしているときは、保管件数を超えてもまたはは表示されません。
● ｉモードセンターに保管されているｉモードメールは、ｉモード問合せ（→P349）やメール選択受信（→P348）により受信できます。また、新しいｉモードメールが届いたときは、保管されている他のｉモードメール、メッセージR/Fもあわせて受信できます。
● ｉモードメールを受信するとｉモードセンターに保管されていたｉモードメールは削除されます。受信したｉモードメールはｉモード端末に保存されます。→P351
● 極端に容量の大きいｉモードメールはｉモードセンターで受け付けないことがあります。

こんなこともできます

■ ファイル添付メール

• メロディ添付メール

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディデータを、ｉモードメールに添付して送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディデータは送信できません）。

– 送信する→P331　– 受信したとき→P361

• 画像添付メール

サイトやインターネットホームページからダウンロードした画像データをｉモードメールに添付して送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像データは送信できません）。

– 送信する→P331　– 受信したとき→P355

■ ｉショット

カメラ機能付き端末で撮影した写真データを添付データとしてｉモード端末（mova含む）およびパソコンや他社携帯電話との間で送受信できます。受信

側には添付データ形式、または画像閲覧用URL（またはアイコン）に画像の保存期限が記載されたメールとして送信され、そのURLを選択することで画像を取得できます。
mova端末へ送信できるメール本文は最大全角184文字（369バイト）で、複数データを添付した場合添付データは削除され、メール本文のみ通知されます。
– 送信する→P331　　– 受信したとき→P355、P358

FOMA端末
iモードセンター
パソコンなど
iショットで
画像送信
インターネット
添付画像
として送信
①添付画像、または添付画像のURLを記載したメール、または添付画像のアイコン（URL）を記載したメール
FOMA端末
②メール上のURL選択▶決定を押す（Web To機能）※
③添付画像データ※
iショットセンター
mova
サービスの
iモード端末

※：添付画像のURLを記載したメールを受信した場合

- iショットセンターでは最大10日間画像が保存され、保存期間を過ぎると自動的に削除されます。
- FOMA端末が送信できるのは、最大500Kバイトまでの画像です。20Kバイトより大きい画像を添付してiモード端末に送信した場合、受信側では自動的にサイズの圧縮された画像を取得します。

■ デコメール

文字や背景の色を変えたり画像を本文中に貼り付けるなど、装飾された楽しいメールを受信することが可能です。→P352
ただし、この端末でデコメールを作成／編集して送信することはできません。

■ メール同報送信

同じiモードメールを、一度に複数の宛先（最大5件）に送信できます。
→P328

お知らせ

- 通信料は、1通のみ送信した場合と同様です。ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます。

■ Cc、Bcc送受信

パソコンなどと同様に、iモードメール編集時に宛先をTo、Cc、Bccから選択できます。ただし、Toが1件もない場合は、メールを送信できません。
→P328、P344、P352

ｉモーションメールについて

ｉモーションメール対応端末で撮影したビデオや録音した音声（音声メール）、サイトやインターネットホームページから取得した動画を、対応端末およびパソコンや他社携帯電話との間で送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画データは送信できません）。

● ｉモーションメールを送信する→P331
● ｉモーションメールを受信したとき→P359

●サービスのしくみ

ｉモーションメールに添付された動画データはｉモーションメールセンターに送信され、そこで保存されます（送信先がパソコンなどの場合は、直接添付データとして送信されます）。
ｉモーションメール対応端末で受信した場合は、メール本文中に表示されているURLを選択して決定を押すことにより、動画を取得することができます。
ｉモーションメール非対応端末へ動画を添付して送信した場合は、ｉモーションが連続静止画に変換され、URLの記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを選択すると連続静止画を取得することができます。また、音声を添付して送信した場合、添付データは削除され、メール本文に［添付ファイル削除］と通知されます。

- ｉモーションメールセンターでは最大10日間画像が保存され、保存期間を過ぎると自動的に削除されます。
- ｉモーションメール対応端末が受信できるのは、最大500Kバイトまでの動画です。取得した動画はｉモーションメール対応端末の画面に合わせてサイズを自動的に変換します。

SMS（ショートメッセージ）について

FOMA 端末間で文字メッセージをやりとりできます。

● SMS を送信する→ P372
● SMS を受信したとき→ P378
● SMS 問合せ方法→ P379

お知らせ

● 海外からは SMS の文字メッセージを送受信できません。

SMS（ショートメッセージ）の宛先

SMS の宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

送受信できる文字数

SMS で送受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	送信文字種「日本語」	送信文字種「英語」
宛先	20 文字（数字のみ）	
本文	全角・半角を問わず 70 文字	半角 160 文字※

※：半角の英数字と記号（｡｢｣､･ﾞﾟを除く）を送信できます。
記号（|＾{}[]~\）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。

お知らせ

● SMS では題名は送信できません。
● SMSの本文に半角カタカナ、絵文字を使用すると、受信側で正しく表示されない場合があります。

SMS（ショートメッセージ）を受信できないとき

SMSセンターに届いたSMSは、すぐにお客様のFOMA端末に送信されます。ただし、お客様のFOMA端末がテレビ電話中、電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、SMS は SMS センターに保管されます。

お知らせ

● SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。送信者が保管する有効期間を指定することもできます。→ P390
● 保管期間が過ぎた SMS は自動的に削除されます。
● SMS センターに保管されている SMS は、SMS 問合せで受信できます。→ P379
● SMSを受信すると、SMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。受信したSMSは FOMA 端末に保存されます。→ P380

こんなこともできます

■ **送達通知**

送信したSMSが相手に届いたかどうかを知らせる送達通知を受け取ることができます。→P390

■ **FOMAカードへの保存**

受信したSMSや送信したSMSをFOMAカードに保存できます。→P384

簡単な操作でｉモードメールを作成して送信します<簡単メール作成・送信>

簡単な操作方法でｉモードメールを作成して送信することができます。

1 待受画面で（メールキー）を1秒以上押す

メール作成：新規
To ：
題名：
本文：
送信する
メニュー 決定 簡単

●前回、簡単メール作成でメールを作成した場合は、操作3の画面が表示されます。

2 （電話帳キー）を押す

簡単メール作成に切替えますか？
1切替える
2元の画面に戻る
決定

3 「1 切替える」を押す

簡単メール作成:新規
送りたいメールを
選んでください
1文章のみ送る
2音声を送る
3写真を送る
4ビデオを送る
決定 通常

4 「1 文章のみ送る」を押す

簡単メール作成:新規
宛先を
入力してください
To: <宛先なし>
1電話帳から選ぶ
2直接入力する
3次へ進む
4他アドレス編集
決定 通常

■ 音声を添付するとき(音声メール)

「2 音声を送る」を押す

- 以降は「■音声を添付するとき(音声メール)」の操作②〜⑤と同様の操作(→P333)を行います。操作後に操作4の画面が表示されます。

■ 写真をその場で撮影して添付するとき

「3 写真を送る」▶「1 今から撮影する」を押す

- 以降は「■写真をその場で撮影して添付するとき」の操作②〜④と同様の操作(→P334)を行います。操作後に操作4の画面が表示されます。

■ 写真をアルバムから選択して添付するとき

「3 写真を送る」▶「2 アルバムから選ぶ」を押す

- 以降は「■写真をアルバムから選択して添付するとき」の操作②と同様の操作(→P335)を行います。操作後に操作4の画面が表示されます。

■ ビデオをその場で撮影して添付するとき(i モーションメール)

「4 ビデオを送る」▶「1 今から撮影する」を押す

- 以降は「■ビデオをその場で撮影して添付するとき(i モーションメール)」の操作②〜⑤と同様の操作(→P335)を行います。操作後に操作4の画面が表示されます。

■ ビデオをアルバムから選択して添付するとき(i モーションメール)

「4 ビデオを送る」▶「2 アルバムから選ぶ」を押す

- 以降は「■ビデオをアルバムから選択して添付するとき(i モーションメール)」の操作②〜③と同様の操作(→P336)を行います。操作後に操作4の画面が表示されます。

次ページへ続く

5 「2 直接入力する」▶宛先を入力▶決定を押す

宛先　残23
docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp
◁
で入力文字の切替
テレビ電話で大/小文字の切替
メニュー　確定　ガイド

- 半角で最大50文字入力できます。
- ｉモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- 英字入力モード時に1：
  「@」「.」「-」などを入力できます。
- 英字入力モード時に*：
  「docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。

■ 電話帳から選択するとき

①「1 電話帳から選ぶ」▶検索方法を選択▶決定を押す

電話帳の検索結果の一覧が表示されます。

- FOMAカードの電話帳から選択する場合は電話帳を押します。
- 検索方法→P134

②送信する相手を選択▶決定を押す

送信する相手のメールアドレス画面が表示されます。

③メールアドレスを選択▶決定を押す

操作4の画面に戻ります。「3 次へ進む」を押すと操作6の画面が表示されます。

■ 追加した宛先を編集するとき

- 新しくメールを作成する場合や追加した宛先がない場合は操作できません。

①操作4で「4 他アドレス編集」▶編集するアドレスを選択▶決定を押す

宛先入力画面が表示されます。

②宛先を編集▶決定▶電話帳を押す

操作4の画面に戻ります。「3 次へ進む」を押すと操作6の画面が表示されます。

6 「3 次へ進む」を押す

簡単メール作成:新規
題名を
入力してください
題名:

1直接入力する
2例文から選ぶ
3次へ進む
決定　通常

簡単メール作成:新規
To : docomo.tar
題名: 音声メール
添付 約19.9KB
音声09151323.3
音声付メールです
1このまま送信
2題名本文を変更
決定 通常

■ 操作 4 で音声を添付したとき

左の画面が表示されます。

- 題名には「音声メール」、本文には「音声付メールです。」と入力されています。

  「1 このまま送信」 :
  このままｉモードメール（音声メール）を送信します。操作 13 に進みます。

  「2 題名本文を変更」:
  題名と本文を変更します。操作 6 の画面が表示されます。

7 「1 直接入力する」▶題名を入力▶決定を押す

題名 残12
おはようございます
で入力文字の切替
テレビ電話で大/小文字の切替
メニュー 確定 ガイド

- 全角で最大 15 文字、半角で最大 30 文字入力できます。
- メニュー:絵文字や記号を入力したり、定型文を貼り付けたりすることができます。→ P530

■ 例文から選択するとき

①「2 例文から選ぶ」▶例文を選択▶決定を押す

例文を読み込んだ旨のメッセージが表示されます。

- 題名を入力していた場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

  「1 上書きする」 :入力済みの文章を消去して例文を読み込みます。

  「2 上書きしない」:例文の選択を中止します。

②決定を押す

例文が読み込まれ、操作 6 の画面に戻ります。「3 次へ進む」を押すと操作 8 の画面が表示されます。

8 「3 次へ進む」を押す

簡単メール作成:新規
本文を
入力してください
本文:
1本文を編集する
2次へ進む
決定 通常

次ページへ続く

9 「1 本文を編集する」▶本文を入力▶決定を押す

本文　残9952
お元気ですか。↵
こんどの日曜日に
おじゃまします。

●全角で最大5000文字、半角で最大10000文字入力できます。
●メニュー：絵文字や記号を入力したり、定型文を貼り付けたりすることができます。→P530
●#改行マナー：文中で改行することができます。改行も本文の文字数に含まれます。

10 「2 次へ進む」を押す

簡単メール作成：新規
To : docomo.tar
題名：おはようご
お元気ですか。
こんどの日曜日に
おじゃまします。

●メニュー：作成したｉモードメールを修正します。

11 内容を確認▶決定を押す

簡単メール作成：新規
メールを
送信しますか？
1送信する
2保存して終了

「1 送信する」　：ｉモードメールを送信します。
「2 保存して終了」：作成したｉモードメールを「未送信のメールを見る」に保存して終了します。

12 「1 送信する」を押す

ｉモードメールが送信されます。
送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。
●接続中画面で決定：接続を中止します。
●送信中画面で☎：送信を中止します。ただし、タイミングによっては送信されることがあります。

13 決定を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

●簡単メール作成・送信についての注意事項は「ｉモードメールを作成して送信します」のお知らせをご覧ください。→P327

ｉモードメールを作成して送信します＜ｉモードメール作成・送信＞

ｉモードメールを作成して送信します。

1 待受画面で［メールキー］を１秒以上押す

メール作成：新規
To ：
題名：
本文：
送信する
メニュー 決定 簡単

● 簡単メール作成画面が表示されたときは、［電話帳］▶「1 切替える」を押します。

2 To（宛先）欄を選択▶決定を押す

宛先を
選んでください
1電話帳から選ぶ
2直接入力する
決定

3 「2 直接入力する」▶宛先を入力▶決定を押す

宛先 残23
docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp
で入力文字の切替
テレビ電話で大/小文字の切替
メニュー 確定 ガイド

● 半角で最大 50 文字入力できます。
● ｉモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
● 英字入力モード時に［1］：「@」「.」「 - 」などを入力できます。
● 英字入力モード時に［＊］：「docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。

■ 電話帳から選択するとき

①「1 電話帳から選ぶ」▶検索方法を選択▶決定を押す

電話帳の検索結果の一覧が表示されます。

- FOMA カードの電話帳から選択する場合は［電話帳］を押します。
- 検索方法→ P134

メール

ｉモードメール作成・送信

次ページへ続く

②送信する相手を選択▶決定を押す
送信する相手のメールアドレス画面が表示されます。

③メールアドレスを選択▶決定を押す
操作1の画面に戻ります。電話帳に登録した名前がTo（宛先）欄に入力されています。操作4に進みます。

4 題名欄を選択▶決定▶題名を入力▶決定を押す

題名　残12
おはようございます
で入力文字の切替
テレビ電話で大/小文字の切替
メニュー　確定　ガイド

●全角で最大15文字、半角で最大30文字入力できます。
●メニュー：絵文字や記号を入力したり、定型文を貼り付けたりすることができます。→P530

5 本文欄を選択▶決定▶本文を入力▶決定を押す

本文　残9952
お元気ですか。
こんどの日曜日におじゃまします。
で入力文字の切替
テレビ電話で大/小文字の切替
メニュー　確定　ガイド

●全角で最大5000文字、半角で最大10000文字入力できます。
●メニュー：絵文字や記号を入力したり、定型文を貼り付けたりすることができます。→P530
●#改行マナー：文中で改行することができます。改行も本文の文字数に含まれます。

6 「送信する」を選択▶決定を押す

iモードメールが送信されます。
送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。
●接続中画面で決定：接続を中止します。
●送信中画面で終話：送信を中止します。ただし、タイミングによっては送信されることがあります。

■署名付きで送信するとき

メニュー▶3DEFを押す
本文の最後に署名が挿入されて送信されます。
• 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。→P368
• 署名の文字数も本文の文字数に含まれます。

7 決定を押す

待受画面に戻ります。

電話帳を表示してｉモードメールを作成します

電話帳の検索結果一覧から、ｉモードメールを作成します。

●電話帳データにメールアドレスを登録していない場合は、本機能を使用できません。

1 電話帳の検索結果一覧を表示する

●検索方法→P134

2 メールを送信する相手を選択▶メニュー▶「2メールを作る」を押す

メール作成：新規
To ：橋本花子
題名：
本文：
送信する
メニュー 決定 簡単

電話帳に登録した名前が入力されます。

●ｉモードメール作成方法→P320、P325

お知らせ

●メールの保存領域に空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、メールを作成できない旨のメッセージが表示され、ｉモードメールを作成できません。「未送信のメールを見る」から不要なｉモードメール、SMSを削除してください。→P343、P395
●データを添付しているときは、本文に入力できる文字数が減ります。
●半角カタカナ、絵文字は正しく表示されない場合がありますので、ｉモード端末（mova含む）どうしのやりとり以外には使用しないでください。
●一部の絵文字は、相手のｉモード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
●電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
●送信が正常に終了したときは、ｉモードメールが「送信したメールを見る」に保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない古い送信メールから順に上書きされます。残しておきたい送信メールは保護してください。→P343、P398
●送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、ｉモードメールが「未送信のメールを見る」に保存されます。「未送信のメールを見る」からｉモードメールを編集して送信できます。→P343
●ｉモードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示されることがあります。
●ドコモ以外のメールアドレスにｉモードメールを送信した場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
●FOMA端末電話帳の検索結果一覧からメールアドレスを複数登録している相手を選択してメールを作成すると、1件目に登録しているメールアドレスがTo（宛先）に設定されます。2件目以降に登録しているメールアドレスを設定する場合は、FOMA端末電話帳の詳細画面を表示し、2件目以降のメールアドレスを選択してから作成します。→P139

宛先を追加します<宛先追加>

ｉモードメールを最大5人の相手に同時に送信（同報送信）できます。

1 ｉモードメールを作成する

●操作方法→P325 操作1～5

2 メニュー ▶「7 宛先を追加」を押す

追加する
宛先の種類を
選んでください
1 To
2 Cc
3 Bcc
決定 ガイド

「1 To」：送信相手のメールアドレスを入力します。Toに1件も入力していないメールは送信できません。

「2 Cc」：直接の送信相手（To）以外にメールの内容を知らせたい宛先を追加します。

「3 Bcc」：ToやCcに設定した送信相手に知らせたくない宛先を追加します。入力したメールアドレスは他の送信相手には表示されません。

●宛先のTo、Cc、Bccを変更する場合は、変更する宛先を選択▶メニュー▶「9 宛先種別を変更」▶変更する宛先の種類を押します。

●追加した宛先を削除する場合は、削除する宛先を選択▶メニュー▶「8 宛先を削除」▶「1 削除する」を押します。

3 「1 To」～「3 Bcc」のいずれか1つの番号を押す

宛先を
選んでください
1 電話帳から選ぶ
2 直接入力する
決定

4 宛先の入力方法を選択し、宛先を入力して送信する

●操作方法は、宛先欄が1件の場合と同様です。→P325 操作3以降

●宛先をさらに追加する場合は、操作2～4を繰り返し行います。

お知らせ

●同じ宛先は設定できません。同じ宛先を設定しようとすると、すでに入力済みである旨のメッセージが表示されます。

●「To」と「Cc」に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

よく送る相手にボタン２つでメールを作成します<ツータッチメール>

頻繁にｉモードメールやSMSを送信する相手の電話番号やメールアドレスをFOMA端末電話帳番号（→P123）の0～9に登録しておくと、ボタンを2つ押すだけで、簡単にｉモードメールやSMSの作成画面を表示させることができます。

●個人の情報表示を制限しているときには、本機能を使用できません。
→P193

1 待受画面で電話帳番号（0～9）を入力▶（メールボタン）を押す

電話帳に登録した名前が入力されます。

電話帳番号

2 ｉモードメールを編集して送信する

●操作方法→P320、P325

■ SMS作成画面を表示するとき

① 電話帳番号（0～9）を入力▶（メールボタン）を1秒以上押す

入力した電話帳番号に登録した名前が宛先に入力されてSMS作成画面が表示されます。

② SMSを編集して送信する

• 操作方法→P373 操作4～6

お知らせ

●入力した電話帳番号の電話帳データに電話番号やメールアドレスを登録していない場合や、電話帳データを登録していない場合、宛先がない／該当する電話帳データがない旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、宛先が設定されていないｉモードメール／SMS作成画面が表示されます。

●複数の電話番号やメールアドレスを登録している相手を選択してメールを作成すると、1件目に登録している電話番号やメールアドレスがTo（宛先）に設定されます。

作成中のｉモードメールを保存しておき、あとで送信します<ｉモードメール保存>

作成中のｉモードメールを送信せずに保存したり、保存したｉモードメールを再編集して送信したりできます。

作成中のｉモードメールを保存します

作成途中のｉモードメールを送信せずに保存しておきます。

●宛先、題名、本文、添付データのいずれかを入力、設定すると保存できます。

●最大保存件数→ P598

1 ｉモードメールを作成する

●操作方法→ P325 操作１～５

2 メニュー ▶「2 保存する」を押す

メールを保存した旨のメッセージが表示されます。

3 決定 を押す

待受画面に戻ります。

●ｉモードメールが「未送信のメールを見る」に保存されます。→ P343

送信／保存したｉモードメールを編集・送信します

送信したｉモードメールや、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたｉモードメールを、編集して送信できます。

〈例〉未送信メールを再編集するとき

1 待受画面で ✉ ▶「4 未送信のメールを見る」を押す

未送信メール一覧が表示されます。

●送信メールを再編集する場合は、✉ ▶「5 送信したメールを見る」を押し、フォルダを選択 ▶ 決定 を押します。

2 編集するｉモードメールを選択▶決定を押す

●送信したメールを再編集するときは、編集するｉモードメールを選択▶電話帳を押します。

3 ｉモードメールを編集して送信する

●操作方法→P320、P325

お知らせ

●送信メール詳細画面からも同様にして編集できます。
●送信メールや未送信メールを編集して送信する場合、1件ずつしか送信できません。
●添付メロディを自動演奏するように設定している場合は、メロディが添付されている送信メールを表示すると、「電話を受けた時の音量を調節する」で設定している音量で自動的に再生されます。再生を止めるときは決定を押します。→P89、P371

ｉモードメールで静止画やメロディ、動画／ｉモーション、音声を送信します

ｉモードメールに画像やメロディを添付したり、FOMA端末で撮影した写真やビデオ、音声を添付したりして、送信できます。

●添付可能なデータは次のとおりです。

データの種類	1件のメールに添付可能な最大件数	添付の条件
メロディ	10件※4	MFi形式（→P361）のメロディデータは添付できません。
10000バイト以内の画像※1		画像（GIF、JPEG）、アニメーション（GIF）のみ添付できます。
10000バイトを超える、500Kバイトまでの画像※1	1件	画像（JPEG）のみ添付できます。
500Kバイトまでの動画／ｉモーション※2		再生制限が設定（→P437）されているものは添付できません。※5
音声※3		―

次ページへ続く

※1：受信側の端末やパソコンなどの機器によって、URLが記載されたメールとして受信したり、添付ファイルとして受信したりします。また、画像が正しく受信しなかったり、粗く表示される場合があります。
※2：受信側の端末や機器によって、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されたりして表示される場合があります。
※3：iモーションとして送信されます。iモーションメール非対応端末へ送信した場合、添付データは削除されます。相手の端末では本文に［添付ファイル削除］と表示され、音声を聞くことはできません。
※4：画像とメロディを合計最大10件、メール本文を含め最大10000バイト添付できます。ただし、添付データのサイズによっては、添付可能な最大件数は少なくなります。
※5：再生制限が設定されていないファイルでも添付できない場合があります。

- 本文（添付したメロディ・画像を含む）の残りのデータ量が全角100文字（半角200文字）分未満の場合は、動画／iモーション、音声、10000バイトを超える画像を添付できません。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているデータ（この端末でファイル制限を「設定する」にした画像を除く）、FOMAカード動作制限機能が設定されているデータは添付できません。
- movaサービスのiモード端末へ送信する場合は、JPEG形式の画像（最大500Kバイト）1枚のみ添付できます。送信相手の端末にはURLの記載されたメール（iショットメール）として受信されます。その際、送信できるメール本文の文字数は全角で最大184文字（369バイト）です。それ以外の添付データは削除されます。

1 メール作成画面を表示する

- 操作方法→P325 操作1

2 メニュー ▶「4 添付データ」▶「1 追加する」を押す

添付する対象を
選んでください

1音声
2写真
3ビデオ
4メロディ

決定

3 「1 音声」～「4 メロディ」のいずれか1つの番号を押す

- 録音済みの音声を添付する場合は「■ビデオをアルバムから選択して添付するとき（iモーションメール）」の操作を行います。→P336

●次の操作を行った後に操作 4 に進みます。

操　作	参照先
■音声を添付するとき（音声メール）	下記
■写真をその場で撮影して添付するとき	P334
■写真をアルバムから選択して添付するとき	P335
■ビデオをその場で撮影して添付するとき（i モーションメール）	P335
■ビデオをアルバムから選択して添付するとき（i モーションメール）	P336
■メロディを添付するとき	P337

■ 音声を添付するとき（音声メール）

- 音声は送話口から録音されます。周囲の雑音が少ないできるだけ静かな所で録音してください。
- 音声は 1 件につき約 60 秒録音できます。
- 音声録音中にボタン操作を行うと、操作音が録音されることがあります。

①「1 音声」を押す

音声録音
決定ボタンで
録音開始
残り 01:59:11
開始

音声録音画面が表示されます。
着信ランプが緑色で約 5 秒間隔で点滅します。

録音（保存）できる残り時間の目安

② 決定 を押す

音声録音
決定ボタンで停止
00:00:34
休止 停止

録音確認音（ビデオのシャッター音）が鳴り録音が開始され、着信ランプが赤色で約 5 秒間隔で点滅します。

- 録音終了までの時間の目安が 00：00：00 になると、録音が自動的に終了して操作③の画面が表示されます。
- メニュー：録音が休止／再開されます。

録音終了までの時間の目安
録音終了までの目安

次ページへ続く

③ 決定 を押す

終了確認音が鳴り、録音が終了します。

- メニュー ：録音した音声を保存せずに音声録音画面に戻ります。
- 電話帳 ：録音した音声を確認できます。

④ 決定 を押す

録音した音声を保存した旨のメッセージが表示されます。

⑤ 決定 を押す

メール作成画面に戻ります。録音した音声が添付されています。

- 録音した音声は「ビデオのアルバムを見る」の「撮影したビデオ」フォルダにビデオとして保存されます。→P431

■ 写真をその場で撮影して添付するとき

①「2 写真」▶「1 今から撮影する」を押す

写真撮影画面が表示されます。

着信ランプが緑色で約2秒間隔で点滅します。

- メニュー：撮影時の設定ができます。→P236
  ただし、次の設定ができません。
  - 「ビデオを撮影」に切り替えの設定
  - 「写真の大きさ」の設定（写真の大きさは「Sサイズ（176×144）」固定です）

② 被写体にカメラを向けて 決定 を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、着信ランプが赤色で点滅して撮影されます。

- メニュー：撮影した写真を保存せずに写真撮影画面に戻ります。

③ 決定 を押す

写真を保存した旨のメッセージが表示されます。

④ 決定 を押す

メール作成画面に戻ります。撮影した写真が添付されています。

- 撮影した写真は「写真のアルバムを見る」の「撮影した写真」フォルダに保存されます。→P418

■ 写真をアルバムから選択して添付するとき

- 添付できない画像は選択できません。

①「2 写真」▶「2 アルバムから選ぶ」を押す

アルバム一覧
撮影した写真
i モード
アイテム
内蔵写真
データ交換
決定

②フォルダを選択▶決定▶画像を選択▶決定を押す

メール作成画面に戻ります。選択した画像が添付されています。

- 選択した画像のデータサイズによっては、送信方法を選択する画面が表示されます。選択する画面については「画像を添付してｉモードメールを作成します」のお知らせをご覧ください。→P420

■ ビデオをその場で撮影して添付するとき（ｉモーションメール）

- ビデオ撮影中にボタン操作を行うと、操作音が録音されることがあります。

①「3 ビデオ」▶「1 今から撮影する」を押す

ビデオ撮影[補正]
残り 00:19:54
メニュー 撮影

ビデオ撮影画面が表示されます。

着信ランプが緑色で約３秒間隔で点滅します。

- メニュー：撮影時の設定ができます。→P236
  ただし、次の設定ができません。
  –「写真を撮影」に切り替えの設定
  –「サイズを制限」の設定（サイズの制限は「メール添付」固定です）

現時点で撮影（保存）できる残りの最大撮影時間の目安が表示されます。

②被写体にカメラを向けて決定を押す

ビデオ撮影[補正]
00:00:23
休止 停止

撮影確認音（シャッター音）が鳴り撮影が開始され、着信ランプが赤色で約3秒間隔で点滅します。

- 撮影終了までの時間の目安が００：００：００になると、撮影が自動的に終了して操作③の画面が表示されます。
- メニュー：撮影が休止／再開されます。

撮影終了までの時間の目安

撮影終了までの目安

次ページへ続く

③ 決定 を押す

終了確認音が鳴り、撮影が終了します。
- メニュー：撮影したビデオを保存せずにビデオ撮影画面に戻ります。
- 電話帳：撮影したビデオを確認します。

④ 決定 を押す
ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。

⑤ 決定 を押す
メール作成画面に戻ります。撮影したビデオが添付されています。
- 撮影したビデオは「ビデオのアルバムを見る」の「撮影したビデオ」フォルダに保存されます。→ P431

■ ビデオをアルバムから選択して添付するとき（ｉモーションメール）

- 添付できない動画／ｉモーションは選択できません。

①「3 ビデオ」▶「2 アルバムから選ぶ」を押す

② フォルダを選択▶ 決定 ▶動画／ｉモーションを選択▶ 決定 を押す

「1 このまま送る」：ビデオをそのまま添付します。
「2 内容を確認する」：ビデオの内容を確認できます。
「3 送信を中止する」：ビデオの添付を中止します。
- 選択した動画／ｉモーションのデータサイズが300Kバイトを超える場合、送信方法を選択する画面が表示されます。選択する画面については「動画／ｉモーションを添付してｉモードメールを作成します」のお知らせをご覧ください。→ P434

③「1 このまま送る」を押す
メール作成画面に戻ります。選択した動画／ｉモーションが添付されています。

■ メロディを添付するとき

- 添付できないメロディは選択できません。

①「4 メロディ」を押す

②フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押す

メール作成画面に戻ります。選択したメロディが添付されています。

4 iモードメールを編集して送信する

●操作方法→ P325

お知らせ

- ●音声録音画面／ビデオ撮影画面上の時間表示は目安です。録音や撮影するものにより誤差が生じます。
- ●音声／写真／ビデオの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な写真／ビデオを削除するかどうかの確認画面が表示されます。録音／撮影する場合は、画面の指示に従い FOMA 端末内のデータを削除します。→ P598
- ●音声録音中に休止操作を繰り返し行うと、録音できる時間が短くなる場合があります。
- ●音声録音／ビデオ撮影中に充電を開始すると、設定によっては充電の開始を知らせる音が記録されます。→ P165
- ●音声録音／ビデオ撮影中にメール着信があっても、録音／撮影を継続したままメールを受信できますが、録音／撮影終了までの時間表示の更新が遅くなる場合があります。
- ●音声録音／ビデオ撮影中（休止中を含む）に電話がかかってきたり、FOMA 端末を折り畳んだりすると、その時点で録音／撮影が中止されます。その後に電話を切ったり、FOMA 端末を開くと、撮影したビデオの操作を選ぶ画面が表示されます。
- ●音声録音／ビデオ撮影中に目覚ましの設定時刻になった場合、その時点で録音が中止されアラームが鳴ります。アラームを解除すると撮影したビデオの操作を選ぶ画面が表示されますが、録音／撮影したデータの最後にアラーム音が記録されることがあります。
- ●音声録音／ビデオ撮影中に電池が切れそうになると、電池残量警告音が鳴り、録音／撮影が中止されます。その際、撮影したデータの最後に電池残量警告音が録音されることがあります。
- ●メロディを送信する場合、受信側が FOMA F881iES、F880iES、F901iS、F901iC、F900iC、F900iT、F900i、F700iS、F700i以外の場合は受信したメロディを正しく再生できない場合があります。
- ●メールに添付されたｉモーションをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要です。詳細はドコモのホームページをご覧ください。

添付データを追加／解除する

〈例〉添付データを 1 件解除するとき

1 データが添付されているメール作成画面を表示する

●操作方法→ P332 操作 1 〜 3

2 解除する添付データを選択▶ メニュー ▶「4 添付データ」を押す

添付データの
操作を
選んでください
1追加する
2解除する
3全て解除する
4表示/再生する
5題名を確認
決定

3 「2 解除する」を押す

解除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 添付データを追加するとき

「1 追加する」▶追加するデータを選択する→ P332 操作 3 以降

■ 添付データを全件解除するとき

「3 全て解除する」を押す

4 「1 解除する」を押す

添付データが解除されます。

●「2 解除しない」：添付データの解除を中止します。

例文を利用してメールを作成します <メール例文>

例文は、本文の先頭に同じ文章を入れたり、類似の内容を何度も送信したりするために、あらかじめｉモードメールの内容を登録しておく機能です。例文を呼び出して内容を追加・修正するだけで、簡単にｉモードメールを作成できます。

● お買い上げ時は次の例文が登録されています。

題　名	本　文
電話ください	手が空いたら連絡ください。
もうすぐ着きます	駅まで迎えに来てください。
今、行きます	今、待ち合わせ場所に向かっています。
到着が遅れます	すみません、待ち合わせに遅れます。
遅くなります	ご飯はいりません。また連絡します。
急用ができました	急用ができました。また連絡します。
電車の中です	今、電車の中なので、後で連絡します。
御礼申し上げます	先日は有難うございました。楽しかったです。
ご無沙汰してます	ご無沙汰しています。お暇なときにでもメールください。
今から帰ります	時ごろ家につきます。

● ＳＭＳには使用できません。
● ダイヤル入力での発信を制限しているときには、電話帳に登録していない宛先が入力されている例文は読み込むことができません。

例文を使ってｉモードメールを作成します

1 **待受画面で ▶「3 例文を使ってメールを作る」を押す**

例文一覧
電話ください
もうすぐ着きます
今、行きます
到着が遅れます
遅くなります
急用ができました
電車の中です
決定　詳細

● 電話帳：例文の本文を確認できます。
● ：前後のページを表示できます。

次ページへ続く

2 読み込む例文を選択▶決定を押す

メール作成：編集
To ：
題名：電話くださ
本文：手が空いた
送信する
メニュー 決定 簡単

例文の内容がメール作成画面に設定されます。

3 内容を追加・修正して送信する

●操作方法→ P320、P325

例文を編集して保存します

FOMA 端末に保存されている例文の内容を変更します。

●お買い上げ時に登録されている例文を変更しても、お買い上げ時の内容に戻すことができます。→ P342

1 待受画面で ✉ ▶「8 メールを設定する」▶「4 例文を編集する」を押す

例文一覧
電話ください
もうすぐ着きます
今、行きます
到着が遅れます
遅くなります
急用ができました
電車の中です
メニュー 決定

●◀▶：前後のページを表示できます。

2 編集する例文を選択▶ メニュー ▶「1 編集する」を押す

例文編集
To ：
題名：電話くださ
本文：手が空いた
メニュー 決定 保存

●編集方法はｉモードメールを作成する場合と同様です。→ P325 操作 2 ～ 5

3 編集した後に[電話帳]を押す

例文一覧
電話ください
もうすぐ着きます
今、行きます
到着が遅れます
遅くなります
保存先を
選んでください
決定

4 保存先の例文を選択▶[決定]を押す

例文を上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

5 「1 上書きする」を押す

例文を上書きした旨のメッセージが表示されます。

●「2 編集に戻る」：例文の保存を中止します。

6 [決定]を押す

例文一覧に戻ります。

●[終話]を押すと待受画面に戻ります。

作成したｉモードメールを例文として保存します

FOMA 端末に保存されている例文に、作成した例文を上書き保存します。

●宛先、題名、本文のいずれかを設定すると登録できます。

●最大 10 件登録できます。

●添付データは例文に保存できません。

●お買い上げ時に登録されている例文に上書きしても、お買い上げ時の内容に戻すことができます。→ P342

1 メール作成画面を表示する

●操作方法→ P325 操作 1

次ページへ続く

2 例文に保存する内容を作成する

メール作成：新規
To ：docomo.tar
題名：おはようご
本文：今日は良い
送信する
メニュー 決定 簡単

●作成方法→P325 操作2～5

3 メニュー ▶「6 例文を使う」▶「2 例文に保存」を押す

例文一覧
電話ください
もうすぐ着きます
今、行きます
到着が遅れます
遅くなります
保存先を
選んでください
決定

4 保存先の例文を選択 ▶ 決定 を押す

例文に保存するかどうかの確認画面が表示されます。

5 「1 保存する」を押す

例文を保存した旨のメッセージが表示されます。

●「2 保存しない」：例文の保存を中止します。

6 決定 を押す

メール作成画面に戻ります。

● ▶「1 保存して終了」▶ 決定 を押すと待受画面に戻ります。

例文をお買い上げ時の状態に戻します

1 待受画面で ▶「8 メールを設定する」▶「4 例文を編集する」を押す

例文一覧が表示されます。

2 初期化する例文を選択▶メニュー▶「2 初期状態に戻す」▶「1 選択１件」を押す

お買い上げ時の状態に戻した旨のメッセージが表示されます。

● すべての例文をお買い上げ時の状態に戻すときは、メニュー▶「2初期状態に戻す」▶「2 全件」▶４～８桁の端末暗証番号を入力▶決定を押します。

3 決定を押す

例文一覧に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

未送信／送信したｉモードメールを見ます<未送信／送信メール>

〈例〉送信したメールを見るとき

1 待受画面で ▶「5 送信したメールを見る」を押す

送信メール
保護01/05件
送信箱
会社
友達
メニュー 決定

保護メール数／全メール件数

● 未送信メールを表示する場合は、▶「4未送信のメールを見る」を押します。操作3に進みます。

● ：フォルダが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

● フォルダの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
（グレー）	メールが保存されていないフォルダ
（ブルー）	メールが保存されているフォルダ

2 フォルダを選択▶決定を押す

送信箱
01/05件
13:23 docomo…
電話ください
09/14 docomo…
おはようござ…
09/13 docomo…
おはようござ…
メニュー 決定 編集

フォルダ名
メール番号／フォルダ内件数
送信日時（送信当日：時刻　当日以外：日付）、宛先、題名

● ：メールが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

● 宛先を電話帳に登録しているときは電話帳に登録した名前が表示されます。→P119

次ページへ続く

● メールの状態は、次のマークで確認できます。

マーク		説　明
状　態	表示なし	通常の i モードメール
	(鍵マーク)	保護されたメール
	(歩数マーク)	歩数自動送信メール
添　付※	(画像マーク)	10000 バイト以内の画像が添付
	♪	メロディが添付されたメール
	(画像・メロディマーク)	10000 バイト以内の画像とメロディが添付
	(フィルムマーク)	録音した音声、 i モーションが添付
	(Hマーク)	10000 バイトを超える画像が添付
SMS	(SMSマーク)	SMS

※：複数のデータが添付されている場合は、(フィルムマーク)または(Hマーク)が優先して表示されます。

3 表示する i モードメールを選択して 決定 を押す

送信箱
01/05件
05/09/15 13:40
To docomo taro …
Cc docomo-ΛΛ-ta…
題 電話ください
待ち合わせの場所につきました。
メニュー 決定 編集

状態マーク、添付／SMS マーク、メール番号／件数

● 未送信メール一覧でメールを選択 ▶ 決定 を押すと、メール編集画面が表示されます。→ P330

● (左右キー)：前後のメールを表示できます。

● メール本文は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
(時計マーク)	送信した日時
To	送信先のアドレスまたは電話帳に登録した名前
Cc Bcc	送信先のアドレスまたは電話帳に登録した名前→ P328
題	題名

● 添付データがある場合は、本文の最後に添付マーク、データ名、データサイズが表示されます。
→ P355、P359、P361

● (終話キー)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 送信日時・保存日時を表示するには、日付・時刻の設定が必要です。→ P58

ｉモードメールを受信したときは ＜ｉモードメール受信＞

送信されてきたｉモードメールを自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したｉモードメールは「受信したメールを見る」に保存されます。

●最大保存件数→P598

1 ｉモードメールを受信する

ｉと✉が点滅し、左の画面が表示されます。

●メール受信中に決定を押すと受信を中止できますが、受信中の状況によってはメールを受信する場合があります。

2 ｉモードメールの受信結果が表示される

📪が点灯してメール着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。

●受信結果画面が表示されてから約15秒間、またはメール着信音が鳴り終わるまでの間（鳴らす時間を15秒以上に設定している場合）何も操作しないと、自動的に受信前の画面に戻ります。

●すぐに受信前の画面に戻すときは戻るを押します。

●待受画面に戻ると📪が消えます。

■ 受信したメールをすぐに確認するとき

「1 メール」を押す

受信メールのフォルダ一覧が表示されます。

→P351

■ 受信に失敗したとき

「1 メール」の後ろに「×」が表示されます。

- メールを受信し直すには、「届いているメール・メッセージを受信する」を行ってください。
→P349

次ページへ続く

お知らせ

- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに受信状態が表示されます。→P40
- FOMA端末電話帳にメール着信設定のある相手からｉモードメールを受信した場合は、その設定に従って動作します。
  - 電話帳との照合については「名前の表示について」をご覧ください。→P119
  - 複数のｉモードメールを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメールに設定されている条件に従いメール着信音が動作します。
- 受信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古い受信メールから順に上書きされます。ただし、未読メールと保護されているメールには上書きされません。残しておきたい受信メールは保護してください。→P398
  未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、ｉモードメールの受信は中止され、画面には や のマークが表示されます。→P36
- ｉモードセンターにｉモードメールが残っているときは、 や のマーク（→P36）が表示されます。ただし、ｉモードメールがあっても表示されない場合もあります。また、ｉモードセンターの保管件数（→P316）が満杯になったときは、マークが や に変わります。
  ｉモードセンターに残っているｉモードメールを受信する場合は、「届いているメール・メッセージを受信する」（→P349）または「メール選択受信を行う」（→P348）を行ってください。ただし、受信メールが最大保存件数まで達しているときは、あらかじめ未読メールの内容を見る（→P351）、不要なメールを削除する（→P395）、保護を解除する（→P398）などを行う必要があります。
- 新しいｉモードメールが届いたときには、ｉモードセンターで保管している他のｉモードメールもあわせて受信します。
- 「メール選択受信を設定する」を「利用する」に設定すると、メールを自動的に受信せずに、必要なメールだけを選択して受信できます。→P347、P348
- 極端に容量の大きいｉモードメールは、ｉモードセンターで受け付けずに送信者に返信されることがあります。
- ｉモードメールではメロディや画像を添付データとして送受信できます。対応していない添付データはｉモードセンターで削除されます。添付データが削除された場合は、題名の下に［添付ファイル削除］と表示されます。
- 受信メールのデータ量（文字数、添付ファイル）が、オプション設定のメールサイズ制限で設定した文字数（データ量）より大きい場合、添付ファイルはｉモードセンターで削除され、受信できません。添付可能なデータ量→P331
- パソコンなど、デコメール対応FOMA端末以外から装飾されたメールを受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。
- ｉモーションメールを受信した場合は、動画／ｉモーションデータはｉモーションメールセンターに保存されます。
- ｉモードメールを受信すると、ｉモードセンターのｉモードメールは削除されます。
- 次のような場合に送られてきたｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないとき
  - テレビ電話中
  - セルフモード中
  - FirstPassセンター接続中
  - 受信に失敗したとき
  - ｉモード圏外のとき
  - SMS受信中
  - メール選択受信設定が「利用する」に設定されているとき
  - 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯のとき
- 待受画面／メニュー画面以外（他の機能が起動中）のときや個人の情報表示を制限しているときには、メールを自動受信しますが、受信中画面や受信結果画面は表示されず、着信音と着信ランプも動作しません。受信したメールを確認するには、他の機能を終了／各制限を解除してください。

ｉモードメールを選択して受信します

送信されてきたｉモードメールを自動受信せずに、選択して受信するように設定します。

ｉモードメールを自動で受信しないようにします<メール選択受信設定>

お買い上げ時 利用しない

1 **待受画面で [メールキー] ▶「8 メールを設定する」▶「5 メール選択受信を設定する」を押す**

メール選択受信を利用しますか？
1利用する
2利用しない
決定 ガイド

● [電話帳]：本機能の動作説明を表示します。
「1 利用する」　：メール選択受信を利用します。
「2 利用しない」：メール選択受信を利用しません。

2 **「1 利用する」を押す**

メール選択受信を利用するに設定した旨のメッセージが表示されます。

3 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。
● [終話キー]を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

センターに
メールがあります
決定

● 「利用する」に設定した場合、送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管され、FOMA端末には自動的に配信されません。ｉモードセンターにメールが届くと左の画面が表示されますが、着信音やバイブレータ、着信ランプは動作しません。決定を押すと待受画面に戻ります。
● 「利用する」に設定しても、SMS、メッセージR/Fは自動受信します。

必要なメールだけを選択して受信します<メール選択受信>

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、必要なメールだけを選択して受信します。不要なｉモードメールを受信せずに削除することもできます。

- メール選択受信を利用するには、あらかじめ「メール選択受信を設定する」を「利用する」に設定しておく必要があります。→P347
- 「メール選択受信を設定する」を「利用する」に設定した場合でも、「届いているメール・メッセージを受信する」を行うと全メールを受信しますので、不要なメールを受信したくない場合には、「問合せ内容を選ぶ」の項目から「メール」を外しておいてください。→P350

1 待受画面で ▶「6 メールがあるか問合せる」▶「2 メール選択受信を行う」を押す

✉ﾒｰﾙ選択受信✉
(1/1ﾍﾟｰｼﾞ)

選択受信説明
[1] 保留
05/09/15 09:56
おはよう
docomo.taro.
ﾒﾆｭｰ 決定

ｉモードに接続され、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールが一覧表示されます。

- メールの末尾の絵文字の意味は次のとおりです。

絵文字	説　明
📷	画像データが添付されています。
♪	メロディデータが添付されています。
🎥	ｉモーションが添付されています。

2 メールごとに「保留」を選択▶ 決定 ▶「受信」「削除」「保留」のいずれかを選択▶ 決定 を押す

1/1ﾍﾟｰｼﾞまで選択したﾒｰﾙを
受信/削除
----
iﾓｰﾄﾞｾﾝﾀｰから全てのﾒｰﾙを
削除
ﾒﾆｭｰ 決定

- 「保留」を選択した場合は、そのままｉモードセンターに保管されます。ｉモード問合せなどで受信できます。
- ページが複数ある場合には、メール一覧の最後に表示される「前ページ」「次ページ」を選択▶ 決定 を押すと前後のページを表示できます。

3 「受信／削除」を選択▶決定を押す

確認画面
受信：　2件
削除：　0件
保留：　1件

よろしいですか?
決定
ｷｬﾝｾﾙ
ﾒﾆｭｰ　決定

■ i モードセンターに保管されている全メールを削除するとき

「i モードセンターから全てのメールを」の「削除」を選択▶決定を押す

4 「決定」を選択▶決定を押す

「受信」を選択したメールはすぐに受信され、受信結果画面が表示されます。
→P345

i モードメールがあるかどうかを問い合わせます<i モード問合せ>

圏外にいた間や電源を切っていた間などに i モードメールが届いていないかを問い合わせます。

● 電波状態によっては i モード問合せができない場合があります。

1 待受画面で（メールキー）▶「6 メールがあるか問合せる」▶「1 届いているメール・メッセージを受信する」を押す

メール問合せ中
中断

i モード問合せが実行されます。i モードセンターに i モードメールが保管されていれば受信します。

● i モード問合せ中やメールの受信中に決定を押すと、問い合わせを中止できますが、問い合わせの状況によってはメールを受信する場合があります。

● 受信結果画面の操作は自動受信時と同様です。
→P345
ただし、この操作で i モードメールを受信したときは、自動受信時とは異なり、約15秒経過しても元の画面には戻りません。

問い合わせの内容を設定します<iモード問合せ設定>

お買い上げ時 すべて選択

iモードセンターへ問い合わせをする際に、iモードメール、メッセージR/Fの中から受信する項目を設定します。

● お買い上げ時はメール、メッセージR、メッセージFのすべてに☑が付いています。メッセージRやメッセージFの配信を希望しない場合は□にしてください。

1 待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「4 メールの詳細を設定する」▶「1 問合せ内容を選ぶ」を押す

問合せを
行う項目を
選んでください

1☑メール
2☑メッセージR
3☑メッセージF

全解除 解除 決定

● 設定状態は次のとおりです。
☑：有効　□：無効
● メニュー：すべての項目を選択／解除します。

2「1 メール」～「3 メッセージF」の番号を押す

チェックボックスが☑または□に切り替わります。

● すべての項目を解除すると設定できません。

3 電話帳 を押す

問い合わせを行う項目を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

● ☎を押すと待受画面に戻ります。

受信したｉモードメールを見ます ＜受信メール＞

受信したｉモードメールは「受信したメールを見る」に保存されます。

1 待受画面で [メールボタン] ▶「1 受信したメールを見る」を押す

受信メール
未読001/010件
受信箱
会社
友達
メニュー 決定

未読メール数／全メール件数

● [左右ボタン]：フォルダが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

● フォルダの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
（グレー）	メールが保存されていないフォルダ
（ブルー）	メールが保存されているフォルダ
[未読マーク付きフォルダ]	未読メールが保存されているフォルダ

2 フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

受信箱
001/010件
13:23 docomo…
電話ください
09/14 docomo…
到着します
09/13 docomo…
急用ができま…
メニュー 決定 返信

フォルダ名

メール番号／フォルダ内件数

受信日時（受信当日：時刻　当日以外：日付）、送信元、題名（SMS：本文の先頭）

● [左右ボタン]：メールが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

● 送信元を電話帳に登録しているときは、電話帳に登録した名前が表示されます。→P119

● メールの状態は、次のマークで確認できます。

マーク		説　明
状態	[未読]	未読メール
	表示なし	既読メール
	[保護]	保護されたメール
	[未読・返信済み]	未読メール（返信済み）
	[返信済み]	既読メール（返信済み）
	[保護・返信済み]	保護されたメール（返信済み）
	[未読・返信不可]	未読メール（返信不可）

マーク		説　明
状態	[返信不可]	既読メール（返信不可）
	[保護・返信不可]	保護されたメール（返信不可）
	[未読・転送済み]	未読メール（転送済み）
	[転送済み]	既読メール（転送済み）
	[保護・転送済み]	保護されたメール（転送済み）

次ページへ続く

マーク		説　明	マーク		説　明
添 付		10000バイト以内の画像が添付	添 付		添付データ無効→P355
	♪	メロディが添付			受信データ不正
		10000バイト以内の画像とメロディが添付	SMS		SMS

3 iモードメールを選択▶決定を押す

状態マーク、宛先マーク、添付マーク、メール番号／フォルダ内件数

● ：前後のメールを表示できます。

● メール本文は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
To Cc Bcc	送信元からどの宛先（To、Cc、Bcc）で送られてきたのかを示すマーク
	受信した日時
F	送信元のアドレスまたは電話帳に登録した名前
To Cc	送信先のアドレスまたは電話帳に登録した名前→P328
題	メールの題名

● 添付データがある場合は、マーク、データ名、データサイズが表示されます。
→P355、P359、P361

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● デコメールを受信・表示できます。ただし、文字の大きさを変更する装飾がされているデコメールを表示した場合は、装飾がそのまま反映されずにこの端末内で作成される2種類の文字の大きさに置き換わります。

● iモードメールでは、送信元または宛先のメールアドレスが電話帳データのメールアドレス欄と照合されます。SMSでは、送信元または宛先の電話番号が電話帳データの電話番号欄と照合されます。

・電話帳との照合については「名前の表示について」をご覧ください。→P119

ｉモードメールに返事を出します ＜ｉモードメール返信＞

受信したｉモードメールに返信します。
●受信メールによっては返信できない場合があります。

1 待受画面で（メールキー）▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 返信するｉモードメールを選択▶電話帳を押す

メール作成：返信
To ：docomo.tar
題名：RE:おはよ
本文：
送信する
メニュー 決定 簡単

受信メールの送信元のメールアドレスまたは電話帳に登録した名前が入力されます。
先頭に「RE:」の付いた受信メールの題名が入力されます。

●簡単メール作成画面に切り替えて返信するときは、電話帳▶「1 切替える」を押します。

■複数の宛先に送られた受信メールに返信するとき

返信先を選択する画面が表示されます。
「1 送信元のみ」：送信元のみに返信します。
「2 全員に返信」：自分以外のすべての宛先と送信元に返信します。

3 ｉモードメールを編集して送信する

●操作方法→ P320、P325
●返信すると、受信メールの状態マークが、表示なし（既読）／✉／🔑から↩／✉／🔑に変わります。→ P351 操作 2

お知らせ
●返信時は本文、添付データともに引用されません。

ｉモードメールを他の宛先に転送します＜ｉモードメール転送＞

受信したｉモードメールを他の宛先に転送します。

● ｉモードメールで転送されます。

1 待受画面で（メールキー）▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶（決定）を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 転送するｉモードメールを選択▶（メニュー）▶「2 転送する」を押す

メール作成：転送	
To ：	
題名：	FW:おはよ
本文：	今日は良い
送信する	
メニュー　決定　簡単	

- 題名：先頭に「FW:」の付いた受信メールの題名が入力されます。
- 本文：受信メールの本文が入力されます。

● 簡単メール作成画面に切り替えて転送するときは、（電話帳）▶「1 切替える」を押します。

3 ｉモードメールを編集して送信する

●操作方法→ P320、P325

●転送すると、受信メールの状態マークが、表示なし（既読）／✉／🔑から➡／✉➡／🔑➡に変わります。→ P351 操作 2

お知らせ

● 添付データのあるメールを転送する場合は、添付データを送るかどうかの確認画面が表示され、本文のみを送ることもできます。

● メール添付や FOMA 端末外への出力が禁止されているデータは転送メールに添付されません。ただし、出力が禁止されていなくても、メロディデータの種類によっては添付されない場合があります。

● 受信メール本文中に表示されるメロディ（MFi 形式）は転送メールには設定されません。

● この端末で受信したデコメールは、添付データ（本文中に挿入されている画像も含む）と文字データのみ転送できます。ただし、転送できるデータ量を超えた場合は送信できない旨のメッセージが表示され、送信できません。

ｉモードメールに添付された静止画を操作します

ｉモードメールに添付されている画像を表示・保存します。保存した画像は「写真のアルバムを見る」で表示したり、待受画面などに設定したりできます。

添付された画像を表示します

データ名のみ表示されている画像を選択して、画像を表示したり、元に戻したりします。

1 待受画面で［メール］▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶［決定］を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 画像が添付されているｉモードメールを選択▶［決定］を押す

受信箱
001/010件
05/09/15 13:40
F docomo.taro…
題 おめでとう！
試験合格おめでとう！みんなで乾杯
200509151323…
約2.4KB
－ END －
メニュー 決定 返信

＜全体イメージ＞

画像のマークとデータ名、データサイズ

データサイズの下に画像が表示されます。

●添付された画像は、次のマークで確認できます。

マーク		説　明
受　信メール	［画像マーク］	メール添付やこの端末の外へ転送可能なデータ
	［画像マーク©］	メール添付やこの端末の外へ転送不可能なデータ
	［×］／［×©］	異常データ
送　信メール	［画像マーク］	10000バイト以内のデータ
	［画像マークH］	10000バイトを超えたデータ

●［終話］を押すと待受画面に戻ります。

■ 画像表示からデータ名表示にするとき

表示されている画像のデータ名を選択▶［決定］を押す

お知らせ

- ●送信メール詳細画面からも同様にして表示／非表示を切り替えられます。
- ●画像が添付されている受信メールを表示したときは、添付された画像は自動的に表示されます。
- ●メール本文中の添付データ（ｉモーションが再生できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ（MFi形式））が複数添付されていると添付データは無効になります。このとき添付マークには［?］が表示されます。
- ●画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- ●画像によっては正しく表示できない場合があります。
- ●デコメールでは、メール詳細画面本文中に表示される画像のデータ名などは表示されません。

添付された画像を保存します

● 最大保存件数→P598

1 **待受画面で✉▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶ 決定 を押す**

受信メール一覧が表示されます。

2 **画像が添付されているｉモードメールを選択▶ 決定 を押す**

受信メール詳細画面が表示されます。

3 **保存する画像のデータ名を選択▶ メニュー ▶「8 添付データ確認」▶「2 画像を保存」を押す**

写真の保存
題名
合格
メモ
ファイル制限
なし
ファイル名
メニュー 決定

● 各項目の説明→P422

4 **決定 を押す**

画像を保存した旨のメッセージが表示されます。

5 **決定 を押す**

受信メール詳細画面に戻ります。

● 「写真のアルバムを見る」の「ｉモード」フォルダに保存されます。
→P418

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な画像を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画像を保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の画像を削除します。

● デコメールに挿入されている画像を保存するときは、メール詳細画面で メニュー ▶「0 登録する」▶「4 画像を選択」▶保存する画像を選択▶ 決定 ▶ 決定 ▶ 決定 を押します。

● 送信メール詳細画面からも同様にして保存できます。

● 横縦（または縦横）のサイズが次の大きさを超える画像は保存できません。
GIF形式：640×480（ドット）　JPEG形式：1280×960（ドット）

● 添付されているフレームのサイズが176×144（ドット）、240×320（ドット）、352×288（ドット）以外の場合は保存できません。

添付された画像の題名を確認します

1 **待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す**

受信メール一覧が表示されます。

●送信メールに表示されている画像の題名を確認するときは ▶「5 送信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押します。

2 **画像が添付されているｉモードメールを選択 ▶ 決定 を押す**

受信メール詳細画面が表示されます。

3 **題名を表示する画像のデータ名を選択 ▶ メニュー ▶「8 添付データ確認」▶「5 題名を確認」を押す**

題名

合格. jpg

決定

●送信メール詳細画面から操作するときは、題名を確認する画像のデータ名を選択 ▶ メニュー ▶「7 添付データ確認」▶「5 題名を確認」を押します。

●送信メールでは、「.jpg」などの拡張子は表示されません。

4 **決定 を押す**

受信メール詳細画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

画像を表示するURLの記載されたメールの画像を表示します

10000バイトを超える画像データが添付されて送られてきたメールは、画像を表示するURLが記載されています。画像を表示するには、Web To機能でｉショットセンターに接続して画像を表示します。

● ｉショットセンターに接続して画像を表示すると、パケット通信料がかかります。

1 待受画面で（メールボタン）▶「1 受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 画像を表示するURLの記載されたｉモードメールを選択 ▶ 決定 を押す

受信箱
画像あり ― 画像が添付されていることを示す
http://www.docomo-camera.ne.jp/XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX ― 画像閲覧のためのURL
保存期限:05/09/25 ― ｉショットセンターでの画像の保存期限
メニュー　決定　返信

3 URLを選択 ▶ 決定 ▶「1 接続する」を押す

画像が表示されます。

● 画像を保存する方法は、サイトの画像を保存する場合と同様です。→P279

●「2 接続しない」：接続を中止します。

お知らせ

● 受信したURLの記載されたメールを、ｉモード対応機種以外に転送しても、画像を表示できません。

● 画像を表示するURLの記載されたｉモードメールは、画像のマークでは確認できません。→P355

ｉモードメールからｉモーションを再生・保存します＜ｉモーションメール＞

送信元がメールに添付した動画／ｉモーションはｉモーションメールセンターに保存され、受信メールにはｉモーション閲覧のためのURLと保存期限が記載されます（ｉモーションメール）。このURLを選択して、ｉモーションを受信したり、再生したりできます。

- 再生時の音量はｉモーションの音量設定に従います。→P442
- 最大保存件数→P598

1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 ｉモーションのURLが記載されたｉモードメールを選択▶ 決定 を押す

受信箱
ありhttp://www.docomo-camera.ne.jp/XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
保存期限:2005/09/25
メニュー　決定　返信

- ｉモーションが添付されていることを示す
- ｉモーション閲覧のためのURL
- ｉモーションメールセンターでのｉモーションの保存期限

3 ｉモーションのURLを選択▶ 決定 ▶「1 接続する」を押す

再生中　3　0:00:10
停止　休止

ｉモーションメールセンターに接続され、ｉモーションの受信・再生が始まります。

- 再生画面の操作方法→P432
- 「2 接続しない」：接続を中止します。

次ページへ続く

4 再生が終了する

「1 再生する」：iモーションを再生します。
「2 保存する」：iモーションを保存します。
「3 情報を表示する」：iモーションの情報を表示します。→P435
「4 戻る」：iモーションを保存するかしないかを選択できます。

5 「2 保存する」を押す

●題名を変更するときは、題名を入力します。全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

6 決定を押す

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。

7 決定を押す

iモーションの取得完了画面に戻ります。

●「ビデオのアルバムを見る」の「iモード」フォルダに保存されます。
→P431

●（終話）▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 送信メール詳細画面から「ファイル名」を選択して、決定を押すと同様に再生できます。ただし、動画／iモーションがFOMA端末から削除されているときは再生できません。
- iモード端末からiモーションメールを受信した場合、iモーションメールセンターに保存されたiモーション閲覧用URL1件につき50回まで取得することができます。50回を超えた場合は、iモーションの取得ができなくなります。
- メールに添付されたiモーションをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要です。詳細はドコモのホームページをご覧ください。

ｉモードメールに添付されたメロディを操作します

ｉモードメールに添付されているメロディを再生・保存します。保存したメロディは再生したり、着信音に設定したりできます。

●送信元がFOMA F881iES、F880iES、F901iS、F901iC、F900iC、F900iT、F900i、F700iS、F700i以外の場合は受信したメロディを正しく再生できない場合があります。

添付されたメロディを再生します

●添付メロディの表示形式には、メロディデータの種類によって2種類あります。

1 待受画面で[メールキー]▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 メロディが添付されているｉモードメールを選択▶決定を押す

受信箱
アップしましたので、音楽とともにお楽しみください。それでは！
♪melody.mid
約4.0KB
- END -
メニュー 決定 返信

メロディのマークとファイル名、データサイズ

<本文の後に表示（SMF形式）>

受信箱
題おはよう
昨日はおつかれさま！またよろしくね。
♪トッカータとフーガ
0.1KB
- END -
メニュー 決定 返信

メロディのマークと題名、データサイズ

<本文中に表示（MFi形式）>

●添付されたメロディは、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
♪	メール添付やこの端末の外へ転送可能なデータ※
♪©	メール添付やこの端末の外へ転送不可能なデータ
♪×／♪©×	メロディデータ異常

※：本文中に表示されるメロディ（MFi形式）は、メール添付や転送はできません。

3 再生するメロディを選択▶決定を押す

メロディが再生されます。

●再生を止めるときは決定を押します。

●[終話キー]を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く→

お知らせ

- 添付のメロディを自動演奏する設定にしている場合は、メロディが添付されているメールを表示すると、「電話を受けた時の音量を調節する」で設定している音量で自動的に再生されます。再生を止めるときは決定を押します。→P89、P371
- 送信メール詳細画面からも同様にして再生できます。
- 本文中に表示されるメロディ（MFi形式）に題名が設定されていない場合、題名にはメールを受信した日時が表示されます。

添付されたメロディを保存します

- 最大保存件数→P598

1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 メロディが添付されているｉモードメールを選択▶ 決定 を押す

受信メール詳細画面が表示されます。

3 保存するメロディを選択▶ メニュー ▶「8 添付データ確認」▶「2 メロディを保存」を押す

題名を
入力してください
melody

メニュー　確定　ガイド

- 題名を変更するときは、題名を入力します。全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。

4 決定 を押す

メロディを保存した旨のメッセージが表示されます。

5 決定 を押す

受信メール詳細画面に戻ります。

- 「保存した曲の詳細を設定する」の「iモード」フォルダに保存されます。
→P443
- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- メロディの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。メロディを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のメロディを削除します。
- 送信メール詳細画面からも同様にして保存できます。

添付されたメロディの題名を確認します

メロディに付けられている題名を確認します。

〈例〉本文中に表示されているメロディ（MFi形式）の題名を確認するとき

1 待受画面で［メール］▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶［決定］を押す

受信メール一覧が表示されます。

- 送信メールに表示されているメロディの題名を確認するときは、［メール］▶「5 送信したメールを見る」▶フォルダを選択▶［決定］を押します。

2 メロディが添付されているｉモードメールを選択▶［決定］を押す

受信メール詳細画面が表示されます。

3 題名を確認するメロディを選択▶［メニュー］▶「8 添付データ確認」▶「4 題名を確認」を押す

題名

名曲集

決定

- 送信メール詳細画面から操作するときは、題名を確認するメロディを選択▶［メニュー］▶「7 添付データ確認」▶「4 題名を確認」を押します。

4 ［決定］を押す

受信メール詳細画面に戻ります。

- ［終話］を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 本文の後に表示されているメロディ（SMF形式）の題名を確認する場合は、メロディを選択▶［メニュー］▶「8 添付データ確認」▶「5 題名を確認」を押して操作します。

本文中に表示されているメロディの表示を切り替えます

本文中に表示されているメロディのデータを文字として表示することができます。
●本文の後に表示されるメロディ（SMF形式）では本機能を使用できません。

1 **待受画面で（メールボタン）▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す**

受信メール一覧が表示されます。

2 **メロディが添付されているｉモードメールを選択▶決定を押す**

受信メール詳細画面が表示されます。

3 **データ表示するメロディを選択▶メニュー▶「8添付データ確認」▶「5データ表示あり」を押す**

受信箱
題おはよう
昨日の演奏よかったです。この曲を練習しませんか？
ーB:M
XXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXX
メニュー 決定 返信

●（終話ボタン）を押すと待受画面に戻ります。

■ 題名表示に戻すとき

データ表示されているメロディの先頭行を選択▶決定を押す

お知らせ

●本文の文字が誤ってメロディデータとして認識されてしまった場合は、この操作で文字を表示し、読むことができます。

ｉモードメールに添付されたデータを削除します

ｉモードメールに添付されている画像、メロディを削除します。

● メール本文中の添付データ（ｉモーションが再生できるリンク項目や画像が表示できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ（MFi形式））は削除できません。

〈例〉添付されている画像を削除するとき

1 待受画面で ▶「1受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

● 送信メールに添付されているメロディを削除するときは、▶「5送信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押します。

2 画像が添付されているｉモードメールを選択 ▶ 決定 を押す

受信メール詳細画面が表示されます。

3 削除する画像のデータ名を選択 ▶ メニュー ▶「8添付データ確認」▶「3 1件削除」または「4 全て削除」を押す

添付データを
削除しますか？
1削除する
2削除しない
決定

● 送信メール詳細画面から操作するときは、削除する画像データを選択 ▶ メニュー ▶「7 添付データ確認」▶「3 1件削除」または「4 全て削除」を押します。

「1 削除する」　：添付データを削除します。
「2 削除しない」：添付データを削除しません。

4「1 削除する」を押す

データを削除した旨のメッセージが表示されます。

5 決定 を押す

受信メール詳細画面が表示されます。

● 削除した添付データはデータ名が薄く表示されて選択できなくなります。
● を押すと待受画面に戻ります。

メール受信時の着信音を設定します＜メール着信音設定＞

お買い上げ時　メール着信音設定：鳴らす　着信音：着信音１　鳴らす時間：３秒

ｉモードメール、SMSを受信したときの着信音を設定します。

1 待受画面で（メールキー）▶「8 メールを設定する」▶「1 メールが届いた時の音を選ぶ」を押す

メールの着信音を
設定してください
1メール着信音設定
鳴らす
2着信音
着信音1
3鳴らす時間
3秒
変更　完了

項　目	説　明
1 メール着信音設定	着信音を鳴らすかどうかを設定します。
2 着信音	着信音を鳴らすときのメロディを設定します。
3 鳴らす時間	着信音を鳴らす時間を１～30秒の間で設定します。

2 「1 メール着信音設定」を押す

着信音を鳴らすかどうかの確認画面が表示されます。

- 「2 着信音」　：着信音から設定します。操作４に進みます。
- 「3 鳴らす時間」：鳴らす時間から設定します。操作５に進みます。

着信音設定を「鳴らさない」に設定しているときは、「着信音」「鳴らす時間」からは設定できません。

3 「1 鳴らす」を押す

メロディ一覧が表示されます。

- 「2 鳴らさない」：着信音を鳴らさないように設定します。操作６に進みます。

4 フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押す

着信音を鳴らす時間を設定する画面が表示されます。

- メロディの再生については「携帯電話から鳴る着信音を変えます」のお知らせをご覧ください。→P161

5 鳴らす時間を入力▶決定を押す

操作１の画面に戻ります。「2 着信音」には選択した着信音が表示され、「3 鳴らす時間」には入力した時間が表示されています。

6 電話帳を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

7 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● メールを受信したときの着信音は、次の優先順位で鳴ります。
① ワンタッチダイヤルの着信音設定
② 電話帳のグループ専用の着信音設定
③ 本機能の設定

メール受信時の振動を設定します <メール着信振動設定>

お買い上げ時 振動させない

i モードメール、SMS を受信したときの振動を設定します。

1 待受画面で ▶「8 メールを設定する」▶「2 メールが届いた時の振動を選ぶ」を押す

メールが
届いた時の振動を
選んでください

1パターンAで振動
2パターンBで振動
3パターンCで振動
4振動させない
決定

● 振動パターンについて→ P163 操作 2

2 「1 パターン A で振動」～「4 振動させない」のいずれか 1 つの番号を押す

振動パターンを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

署名を付けてメールを送信します ＜署名設定＞

署名を登録します

ｉモードメールの本文に付ける署名を登録します。

1 待受画面で ▶「8 メールを設定する」▶「3 メールに付ける署名を登録する」▶ 署名を入力する

署名登録　残70
松尾 太郎↵
電話：↵
090XXXXXXXX
でで入力文字の切替
テレビ電話で大/小文字の切替
メニュー 確定 ガイド

● 全角で最大50文字、半角で最大100文字入力できます。

2 決定を押す

署名を登録した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

署名を付けて送信します

● SMSには署名を設定できません。

1 ｉモードメールを作成する

● 操作方法→P325 操作1〜5

2 メニュー ▶「3 署名付きで送信」を押す

ｉモードメールが送信されます。

3 決定を押す

待受画面に戻ります。

● 接続中画面で 決定 ：接続を中止します。

● 送信中画面で ：送信を中止します。ただし、タイミングによっては送信されることがあります。

お知らせ

- 署名も本文の文字数に含まれます。
- 半角カタカナ、絵文字は正しく表示されない場合がありますので、ｉモード端末（mova 含む）どうしのメールのやりとり以外には使用しないでください。
- 一部の絵文字は､相手のｉモード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
- 署名に電話番号やメールアドレス､URLを入れておくと、ｉモード端末にｉモードメールを送信した場合、相手が Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To 機能を使うことができます。

添付データを受信するかどうかを設定します<添付データ受信設定>

ｉモードメールに添付されている画像､添付メロディを受信するかどうかを設定します。

画像データを受信するかどうかを設定します

お買い上げ時　受信する

1 **待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「4 メールの詳細を設定する」▶「2 添付の画像を受信する」を押す**

メールに
添付された画像を
受信しますか？

1受信する
2受信しない

決定

2 **「1 受信する」または「2 受信しない」を押す**

受信する／受信しないを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 **決定 を押す**

メニュー画面に戻ります。

- ☎ を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く ➜

お知らせ

- 「受信しない」に設定すると、画像データやデコメールに挿入された画像はｉモードセンターで削除され、受信できなくなりますのでご注意ください。

メロディデータを受信するかどうかを設定します

お買い上げ時 受信する

1 **待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「4 メールの詳細を設定する」▶「3 添付のメロディを受信する」を押す**

メールに
添付された
メロディを
受信しますか？

1受信する
2受信しない

決定

2 **「1 受信する」または「2 受信しない」を押す**

受信する／受信しないを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

- ☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 「受信しない」に設定すると、メロディデータはｉモードセンターで削除され、受信できなくなりますのでご注意ください。
- メール本文中に表示されるメロディ（MFi形式）は、本設定に関わらず受信します。

添付されたメロディを自動演奏するかどうかを設定します

お買い上げ時 自動演奏する

メロディが添付されているｉモードメールやメッセージR/Fを表示したときに、メロディを自動的に演奏するかどうかを設定します。

1 **待受画面で（メニュー）▶「# 詳細な機能を設定する」▶「4 メールの詳細を設定する」▶「4 添付のメロディを自動演奏する」を押す**

添付された
メロディを自動で
演奏しますか？

1自動演奏する
2自動演奏しない

決定

2 **「1 自動演奏する」または「2 自動演奏しない」を押す**

自動演奏する／自動演奏しないを設定した旨のメッセージが表示されます。

3 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

●（終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●本機能の設定は、「メッセージのメロディを自動演奏する」の設定にも反映されます。
→P297

SMS（ショートメッセージ）を作成して送信します＜SMS作成・送信＞

SMSを作成して送信します。

●ダイヤル入力での発信を制限しているときには、宛先に電話番号を直接入力できません。→P195

1 **待受画面で［メールキー］▶「9 SMSを使う」▶「1 SMSを作る」を押す**

メッセージ作成：新規
To ：
本文：
送信する
メニュー　決定

2 **To（宛先）欄を選択▶［決定］を押す**

宛先を
選んでください
1電話帳から選ぶ
2直接入力する
決定

3 「2 直接入力する」▶宛先を入力▶決定を押す

宛先　残15
090XXXXXXXX
メニュー 確定

● 相手の FOMA 端末の電話番号を入力します。

■ 電話帳から選択するとき

① 「1 電話帳から選ぶ」▶検索方法を選択▶決定を押す

電話帳の検索結果の一覧が表示されます。

- FOMA カードの電話帳から選択する場合は 電話帳 を押します。
- 検索方法→ P134

② 送信する相手を選択▶決定を押す

送信する相手の電話番号画面が表示されます。

③ 電話番号を選択▶決定を押す

操作1の画面に戻ります。電話帳に登録した名前が To（宛先）欄に入力されています。

4 本文欄を選択▶決定▶本文を入力▶決定を押す

本文　残54
おひさしぶりです。元気でしたか？
で入力文字の切替
テレビ電話 で大/小文字の切替
メニュー 確定 ガイド

● SMS設定で送信文字種を「日本語」に設定した場合は、全角・半角を問わず最大 70 文字入力できます。→ P390

● SMS設定で送信文字種を「英語」に設定した場合は、半角の英数字と記号（。「 」、・ ゛ ゜ を除く）を最大 160 文字入力できます。→ P390

● メニュー：絵文字や記号を入力したり、定型文を貼り付けたりすることができます。→ P530

● #改行マナー：文中で改行することができます。改行も本文の文字数に含まれます。

5 「送信する」を選択▶決定を押す

SMS が送信されます。

送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。

6 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

電話帳を表示して SMS（ショートメッセージ）を作成します

電話帳の検索結果一覧から、SMS を作成します。

● 電話帳データに電話番号を登録していない場合は、本機能を使用できません。

次ページへ続く

1 電話帳の検索結果一覧を表示する

●検索方法→P134

2 SMSを送信する相手を選択▶メニュー▶「3 SMSを作る」を押す

メッセージ作成:新規
To：橋本花子
本文：
送信する
メニュー 決定

電話帳に登録した名前が入力されます。

●SMS作成方法→P373 操作4～6

お知らせ

- 発信者番号通知を「通知しない」に設定していても、SMS送信時は送信先に発信者番号が通知されます。
- メールの保存領域に空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、SMSを作成できない旨のメッセージが表示され、SMSを作成できません。「未送信のメールを見る」から不要なｉモードメール、SMSを削除してください。→P343、P395
- 半角カタカナ、絵文字は、相手のFOMA端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信する文字種や送達通知を受け取るかどうかは、あらかじめSMS設定で設定します。→P390
- SMS作成画面で送達通知を受け取るかどうかを設定する場合は、メニュー▶「4 SMS送達通知」を押します。ただし、この場合は作成中のSMSにのみ設定が有効になります。
- SMS作成画面で送達通知を「要求する」に設定して送信した場合（→P390）、SMSが相手のFOMA端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は「受信したメールを見る」に保存されます。→P380
- 送信文字種により送信できない文字があります。→P319、P390
- 送信が正常に終了したときは、SMSが「送信したメールを見る」に保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古い送信メールから順に上書きされます。ただし、保護されている送信メールには上書きされません。残しておきたい送信メールは保護してください。→P376、P398
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、SMSが「未送信のメールを見る」に保存されます。「未送信のメールを見る」からSMSを編集して送信できます。→P375
- 送信文字種が英語の場合、一部の記号（| ^ { } [ ] ~ \ ）を入力すると送信できる文字数が少なくなるため、最大文字数以下の文字数でも送信できない場合があります。この場合は、入力文字を少なくして送信し直してください。
- FOMA端末電話帳の検索結果一覧から電話番号を複数登録している相手を選択してSMSを作成すると、1件目に登録している電話番号がTo（宛先）に設定されます。2件目以降に登録している電話番号を設定する場合は、FOMA端末電話帳の詳細画面を表示し、2件目以降の電話番号を選択してから作成します。→P139

作成中のSMS（ショートメッセージ）を保存しておき、あとで送信します<SMS保存>

作成中のSMSを送信せずに保存したり、保存したSMSを再編集して送信したりできます。

作成中のSMS（ショートメッセージ）を保存します

作成途中のSMSを、送信せずに保存しておきます。

- 宛先、本文のいずれかを入力すると保存できます。
- 最大保存件数→P598

1 SMSを作成する

- 操作方法→P372 操作1～4

2 メニュー ▶「2 保存する」を押す

メールを保存した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- SMSが「未送信のメールを見る」に保存されます。→P376
- （終話）を押すと待受画面に戻ります。

送信・保存したSMS（ショートメッセージ）を編集・送信します

送信したSMSや、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたSMSを編集して送信できます。

〈例〉未送信SMSを再編集するとき

1 待受画面で（メール）▶「4 未送信のメールを見る」を押す

未送信メール一覧が表示されます。

- 送信SMSを再編集する場合は、（メール）▶「5 送信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押します。
- SMSは（SMSアイコン）が表示されます。

次ページへ続く

2 編集するSMSを選択▶決定を押す

メッセージ作成:編集
To :090XXXXXXXX
本文:おひさしぶ
送信する
メニュー 決定

●送信したSMSを再編集するときは、編集するSMSを選択▶電話帳を押します。

3 SMSを編集して送信する

●操作方法→P372

お知らせ

●送信SMS詳細画面からも同様にして編集できます。
●FOMAカード内のSMSを送信した場合、送信したSMSは本体の「送信したメールを見る」に保存されます。→下記

未送信/送信したSMS（ショートメッセージ）を見ます<未送信/送信メール>

送信したSMSは「送信したメールを見る」に保存されます。送信せずに保存したり送信に失敗したりしたSMSは「未送信のメールを見る」に保存されます。

〈例〉送信したSMSを表示するとき

1 待受画面で ✉ ▶「5 送信したメールを見る」を押す

送信メール
保護01/05件
送信箱
会社
友達
メニュー 決定

保護メール件数/全メール件数

●未送信メールを表示する場合は、✉▶「4 未送信のメールを見る」を押します。操作3に進みます。
●◀▶：フォルダが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。
●フォルダの状態をマークで確認できます。→P343 操作1

2 フォルダを選択▶決定を押す

送信箱
01/05件
13:23 090XXX…
待ち合わせの…
09/14 docomo…
電話ください
09/14 docomo…
おはようござ…
メニュー 決定 編集

フォルダ名
メール番号／フォルダ内件数
送信日時（送信当日：時刻　当日以外：日付）、宛先
本文の先頭

- ：SMS ／メールが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。
- SMS はが表示されます。
- 宛先を電話帳に登録しているときは、電話帳に登録した名前が表示されます。→P119
- メールの状態をマークで確認できます。
→P344 操作 2

3 表示する SMS を選択▶決定を押す

送信箱
01/05件
05/09/15 13:23
To 090XXXXXXXX
題 送信SMS
待ち合わせの場所につきました。連絡待ってます。
メニュー 決定 編集

状態マーク、SMS マーク、メール番号／フォルダ内件数

- 未送信SMSではSMS編集画面が表示されます。
→P375
- ：前後の SMS ／メールを表示できます。
- SMS 本文は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
🕒	送信した日時
To	送信先の電話番号または電話帳に登録した名前
題	題名「送信 SMS」

- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 未送信 SMS の場合、送信日時の表示には、日付・時刻の設定が必要です。→P58

SMS（ショートメッセージ）を受信したときは＜SMS受信＞

SMSが送られてきたときは自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したSMSは「受信したメールを見る」に保存されます。

● 最大保存件数→P598

1 SMSを受信する

✉が点滅し、 が点灯します。

● メッセージ受信中に を押すと受信を中止できますが、受信中の状況によってはSMSを受信する場合があります。

2 SMSの受信結果が表示される

メール着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。

● 受信結果画面が表示されてから約15秒間、またはメール着信音が鳴り終わるまでの間（鳴らす時間を15秒以上に設定している場合）何も操作しないと、自動的に受信前の画面に戻ります。

● すぐに受信前の画面に戻すときは 戻る を押します。

● 待受画面に戻ると が消えます。

■ 受信したSMSをすぐに確認するとき

「1 メール」を押す

受信メールのフォルダ一覧が表示されます。

→P380

■ 受信に失敗したとき

「1 メール」の後ろに「×」が表示されます。

- SMSを受信し直すには、「届いているSMSを全部受信する」を行ってください。→P379

お知らせ

- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに受信状態が表示されます。→P40
- 受信メールの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、古い受信メールから順に上書きされます。ただし、未読メールと保護されているメールには上書きされません。残しておきたい受信メールは保護してください。→P398
  未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、SMSの受信は中止され、画面には や のマークが表示されます。→P36
- FOMAカードにSMSが20件保存されているときは、「受信したメールを見る」に空きがあってもSMSを受信できないことがあり、画面には や のマークが表示されます。FOMA端末本体に移動するか、FOMAカードのSMSを削除してください。→P387、P388
- 待受画面／メニュー画面以外（他の機能が起動中）のときや個人情報表示を制限しているときには、SMSを自動受信しますが、受信中画面や受信結果画面は表示されず、着信音と着信ランプも動作しません。受信したSMSを確認するには、他の機能を終了／各制限を解除してください。
- ｉモードメール、メッセージR/F受信中は、SMSを自動受信しません。また、ｉモードメール、メッセージR/Fの受信完了後も自動受信はされません。「届いているSMSを全部受信する」を行ってください。→下記
- FOMA端末でSMSを受信すると、SMSセンターに保管されているSMSは削除されます。
- movaサービスのｉモード端末から送信したショートメールは、FOMA端末ではSMSとして受信します。

SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを問い合わせます＜SMS問合せ＞

圏外にいた間や電源を切っていた間などにSMSが届いていないかを問い合わせます。

- 電波状態によってはSMS問合せができない場合があります。

1 待受画面で ▶「9 SMSを使う」▶「2 届いているSMSを全部受信する」を押す

SMS問合せが実行されます。SMSセンターにSMSが保管されていれば受信します。

- SMS問合せ中やSMS受信中に を押すと、問い合わせを中止できますが、問い合わせの状況によってはSMSを受信する場合があります。
- 受信結果画面の操作は自動受信時と同様です。→P378

お知らせ

- 受信するまでに時間がかかる場合があります。

受信したSMS（ショートメッセージ）を見ます<受信メール>

受信したSMSは「受信したメールを見る」に保存されます。

1 待受画面で（メールキー）▶「1 受信したメールを見る」を押す

受信メール
未読001/010件
受信箱
会社
友達
メニュー 決定

未読メール数／全メール件数

● （左右キー）：フォルダが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

● フォルダの状態をマークで確認できます。
→P351 操作1

2 フォルダを選択▶決定を押す

受信箱
001/010件
13:23 090XXX…
おひさしぶり…
09/14 docomo…
電話ください
09/14 docomo…
急用ができま…
メニュー 決定 返信

フォルダ名

メール番号／フォルダ内件数

受信日時（受信当日：時刻　当日以外：日付）、送信元、本文の先頭または「SMS送達通知」

● （左右キー）：SMS／メールが複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

● SMSは（SMSアイコン）が表示されます。

● 送信元を電話帳に登録しているときは、電話帳に登録した名前が表示されます。→P119

● メールの状態をマークで確認できます。
→P351 操作2

3 SMSを選択▶決定を押す

受信箱
To✉ 001/010件
05/09/15 13:23
F 090XXXXXXXX
題受信SMS
おひさしぶりです。お元気でしたでしょうか。
メニュー 決定 返信

宛先マーク、SMSマーク、メール番号／フォルダ内件数

- ●（左右キー）：前後のメールを表示できます。
- ●SMS本文は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
（時計）	受信した日時
F	送信元の電話番号または電話帳に登録した名前
×（返信不可）	送信元（返信不可） • 送達通知の場合は「SMS Center」
題	題名「受信SMS」 • 送達通知の場合は「SMS送達通知」

- ●（終話キー）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- ●受信したSMSに、区点コード一覧（→P560）に記載されていない全角文字（ラテン文字やギリシア文字などの特殊文字）は、空白で表示されます。
- ●データ異常のSMSは次のように表示されます。
  受信メール一覧画面：×が表示され、受信日時には--/--（受信当日のみ）となります。送信元は表示されません。
  SMS詳細画面　：×が表示され、F以外は表示されません。

SMS（ショートメッセージ）に返事を出します＜SMS返信＞

受信したSMSに返信します。

● 送信元に「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」が表示される受信SMSには返信できません。

1 待受画面で（メール）▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 返信するSMSを選択▶（電話帳）を押す

メッセージ作成：返信
To：090XXXXXXX
本文：
送信する
メニュー 決定

受信SMSの送信元の電話番号または電話帳に登録した名前が入力されます。

3 SMSを編集して送信する

● 操作方法→ P373 操作4～6

● 返信すると、受信SMSの状態マークが、表示なし（既読）／✉／🔑から ⮌／✉／⮌に変わります。→ P351 操作2

お知らせ

● FOMAカード内のSMSから返信した場合、送信したSMSは本体の「送信したメールを見る」に保存されます。→ P376

SMS（ショートメッセージ）を他の宛先に転送します＜SMS転送＞

受信したSMSを他の宛先に転送します。

●SMSで転送されます。

1 待受画面で［メールキー］▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶［決定］を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 転送するSMSを選択▶［メニュー］▶「2 転送する」を押す

メッセージ作成：転送
To ：
本文：今日は良い
送信する
メニュー 決定

受信SMSの本文が入力されます。

3 SMSを編集して送信する

●操作方法→P372

●転送すると、受信SMSの状態マークが、表示なし（既読）／［未読］／［保護］から［転送済］／［未読転送済］／［保護転送済］に変わります。→P351 操作2

お知らせ

●FOMAカード内のSMSから転送した場合、送信したSMSは本体の「送信したメールを見る」に保存されます。→P376

SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに保存します

送受信したSMSを、FOMA端末本体から移動またはコピーしてFOMAカードに保存できます。

FOMA端末本体のSMSをFOMAカードへ移動／コピーします

FOMA端末本体に保存しているSMSを、FOMAカードに移動またはコピーします。

- ｉモードメールは、FOMAカードに保存できません。
- 「未送信のメールを見る」のSMSは、FOMAカードに保存できません。
- 送信SMSを移動／コピーすると、対応する送達通知が同時にFOMAカードの「FOMAカードの受信SMSを見る」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。

〈例〉受信SMSをFOMAカードに移動／コピーするとき

1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

- 送信SMSを移動／コピーするときは、 ▶「5 送信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押します。

2 移動／コピーするSMSを選択 ▶ メニュー ▶「6 FOMAカードへ保存」を押す

FOMAカードへの
保存方法を
選んでください
1移動する
2コピーする
決定

- 送信メール一覧から操作するときは、移動／コピーするSMSを選択 ▶ メニュー ▶「5 FOMAカードへ保存」を押します。

3 「1 移動する」または「2 コピーする」を押す

移動またはコピーするかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1 移動する」または「1 コピーする」を押す

メッセージを移動またはコピーした旨のメッセージが表示されます。

5 決定を押す

受信メール一覧に戻ります。

● (終話キー)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- FOMA カードには、送受信した SMS を合わせて最大 20 件（送達通知は含まれません）保存できます。すでに 20 件保存されているときは移動／コピーできません。FOMA カードから不要な SMS を削除してください。→ P388
- 受信 SMS 詳細画面、送信 SMS 詳細画面からも同様にして FOMA カードへ移動やコピーができます。
- 送信 SMS を FOMA カードに移動／コピーした場合、FOMA カード内の送信 SMS から送信日時のデータが消去されます。

FOMA カード内の SMS（ショートメッセージ）を見ます

FOMA カードに保存されている SMS を表示します。

〈例〉受信 SMS を表示するとき

1 待受画面で (メールキー) ▶「9 SMS を使う」▶「4 FOMA カードの受信 SMS を見る」を押す

FOMAカード受信SMS
01/05件
11:03 080XXX…
今週金曜の正…
10:37 090XXX…
明日の夕方ま…
10:37 SMS Ce…
SMS送達通知
メニュー 決定 返信

メッセージ番号／全メッセージ件数

受信日時※（受信当日：時刻　当日以外：日付）、送信元または宛先
本文の先頭または「SMS 送達通知」
※：送信 SMS は、送信時刻が表示されません。

- 送信SMSを表示するときは、(メールキー)▶「9 SMSを使う」▶「5 FOMAカードの送信SMSを見る」を押します。
- (左右キー)：SMS が複数ページある場合は、前後のページを表示できます。
- 送信元を電話帳に登録しているときは、電話帳に登録した名前が表示されます。→ P119
- SMS の状態は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
(未読マーク)	未読 SMS
表示なし	既読 SMS
(未読返信不可マーク)	未読 SMS（返信不可能）
(既読返信不可マーク)	既読 SMS（返信不可能）
(送達通知マーク)	送達通知

次ページへ続く

2 SMS を選択▶決定を押す

FOMAカード受信SMS
01/05件
05/09/15 11:03
090XXXXXXXX
題受信SMS
今週金曜の正午に駅交番前で待ち合わせしましょう。
メニュー 決定 返信

メッセージ番号／全メッセージ件数

● ：前後のメールを表示できます。

● SMS 本文は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
	受信 SMS
	受信 SMS（返信不可能）
	送信 SMS
	送達通知
	FOMA カード内の SMS

- 上記以外のマーク
→ P377 操作 3、P381 操作 3

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● FOMA カード内の SMS からも、返信／転送、電話帳登録などの操作ができます。操作方法は本体に保存されている SMS と同様です。→ P382、P383、P406

FOMAカード内のSMSをFOMA端末本体へ移動／コピーします

FOMAカードに保存されているSMSを、FOMA端末本体の「受信したメールを見る」、「送信したメールを見る」に移動またはコピーします。

- 送信SMSを移動／コピーすると、対応する送達通知が同時に「受信したメールを見る」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。

〈例〉受信SMSをFOMA端末本体に移動／コピーするとき

1 待受画面で ▶「9 SMSを使う」▶「4 FOMAカードの受信SMSを見る」を押す

受信SMS一覧が表示されます。

- 送信SMSを移動／コピーするときは、 ▶「9 SMSを使う」▶「5 FOMAカードの送信SMSを見る」を押します。

2 移動／コピーするSMSを選択▶ メニュー ▶「4 本体へ保存」を押す

本体への
保存方法を
選んでください
1 移動する
2 コピーする
決定

- 送信SMS一覧から操作するときは、移動／コピーするSMSを選択▶ メニュー ▶「3 本体へ保存」を押します。

3 「1 移動する」または「2 コピーする」を押す

受信メール
受信箱
フォルダ1
フォルダ2
フォルダ3
フォルダ4
移動先を
選んでください
決定

<「1 移動する」を押した場合>

4 移動先またはコピー先のフォルダを選択▶ 決定 を押す

メッセージを移動またはコピーした旨のメッセージが表示されます。

次ページへ続く

5 決定を押す

受信SMS一覧に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 受信メールまたは送信メールの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、移動／コピーできません。保護されていないSMSやｉモードメールがあっても上書きされません。→P598

● 受信SMS詳細画面、送信SMS詳細画面からも同様にして、本体へ移動やコピーができます。

FOMAカード内のSMS（ショートメッセージ）を削除します

FOMAカードに保存しているSMSを1件ずつ削除したり、まとめて削除したり、送達通知だけをまとめて削除できます。

● 送信SMSを削除した場合、対応する送達通知がFOMAカード内にあれば、同時に削除されます。

〈例〉受信SMSを削除するとき

1 待受画面で ▶「9 SMSを使う」▶「4 FOMAカードの受信SMSを見る」を押す

受信SMS一覧が表示されます。

● 送信SMSを削除するときは、 ▶「9 SMSを使う」▶「5 FOMAカードの送信SMSを見る」を押します。

2 削除するSMSを選択 ▶ メニュー ▶「3 削除する」を押す

削除するﾒｯｾｰｼﾞを
選んでください

1 選択1件
2 FOMAｶｰﾄﾞ内全件
3 送達通知全件

決定

● 送信SMS一覧から操作するときは、削除するSMSを選択 ▶ メニュー ▶「2 削除する」を押します。

3 「1 選択1件」～「3 送達通知全件」のいずれか1つの番号を押す

メッセージを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ FOMAカード内のメッセージを1件削除するとき

「1 選択1件」を押す

■ FOMAカード内のメッセージを全件削除するとき

「2 FOMAカード内全件」▶4～8桁の暗証番号を入力▶決定を押す

■ FOMAカード内の送達通知を全件削除するとき

「3 送達通知全件」▶4～8桁の暗証番号を入力▶決定を押す

- 受信SMSのみ操作できます。

4 「1 削除する」を押す

メッセージを削除した旨のメッセージが表示されます。

●「2 削除しない」：削除を中止します。

5 決定を押す

受信SMS一覧に戻ります。

●（終話キー）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 受信SMS詳細画面、送信SMS詳細画面から削除する場合は、メニュー▶「削除する」を選択▶決定▶「1 削除する」を押します。

SMS（ショートメッセージ）の設定をします<SMS設定>

お買い上げ時 送達通知：要求しない　左記以外はFOMAカードの設定に従う

SMSを利用する際の各種条件を設定します。

通常はSMSC、アドレス、Type of Numberの設定を変更する必要はありません。

1 待受画面で［メール］▶「9 SMSを使う」▶「3 SMSを設定する」を押す

SMSを
設定してください
1 送信文字種
日本語
2 送達通知
要求しない
3 有効期間
3日
詳細　変更　完了

項　目	説　明
送信文字種	日本語のメッセージを送信するか、英語のメッセージを送信するかを選択します。文字種により送信できる文字数が異なります。→P319
送達通知	SMSを送信する際に、相手に届いたことを知らせる送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。
有効期間	送信したSMSを相手が受け取れないときに、SMSセンターで保管する期間を選択します。
SMSC※	ドコモ以外のSMSサービスを受ける場合に設定します。 •「その他」に設定したときは、アドレス欄を選択し、アドレスを入力します。半角で最大20文字入力できます。
Type of Number※	「international」「unknown」のどちらかを設定します。

※：左の画面で［メニュー］を押すと表示され、設定できます。

2 「1 送信文字種」～「3 有効期間」のいずれか1つの番号を押す

■ 送信文字種を設定するとき

「1 送信文字種」▶「1 日本語」または「2 英語」を押す

■ 送達通知を設定するとき

「2 送達通知」▶「1 要求する」または「2 要求しない」を押す

■ 有効期間設定するとき

「3 有効期間」▶「1 0日」～「4 3日」のいずれか1つの番号を押す

3 電話帳を押す

SMSを設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● 終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 送達通知を「要求する」に設定して送信した場合は、SMSが相手のFOMA端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は「受信したメールを見る」に保存されます。→P380

メールを管理します

FOMA端末には、メールをより使いやすくするためのさまざまな管理機能があります。

メールのフォルダを作成します

●「受信したメールを見る」では「受信箱」フォルダ以外に最大29個、「送信したメールを見る」では「送信箱」フォルダ以外に最大9個作成できます。

〈例〉受信メールのフォルダを追加するとき

1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

●送信メールのフォルダを追加するときは、 ▶「5 送信したメールを見る」を押します。

2 メニュー ▶「1 フォルダを追加」▶ フォルダ名を入力する

フォルダ名を
入力してください
マイフォルダ
メニュー 確定 ガイド

●全角で最大7文字、半角で最大14文字入力できます。

■ フォルダ名を変更するとき

フォルダ名を変更するフォルダを選択 ▶ メニュー ▶「3 フォルダ名変更」▶ フォルダ名を入力する

- 「受信箱」「送信箱」フォルダのフォルダ名は変更できません。

3 決定を押す

フォルダを追加した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

フォルダ一覧に戻ります。

●☎を押すと待受画面に戻ります。

メールのフォルダを削除します

- 「受信箱」「送信箱」フォルダは削除できません。
- 保護されているメールがあるフォルダは削除できません。保護を解除してからフォルダを削除してください。

〈例〉受信メールのフォルダを削除するとき

1 待受画面で [メール] ▶「1 受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

- 送信メールのフォルダを削除するときは、[メール] ▶「5 送信したメールを見る」を押します。

2 削除するフォルダを選択 ▶ [メニュー] ▶「2 フォルダを削除」を押す

フォルダを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- フォルダ内にメールが残ったままフォルダを削除するときは、4～8桁の端末暗証番号を入力 ▶ [決定] を押します。

3 「1 削除する」を押す

フォルダを削除した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 削除しない」：削除を中止します。

4 [決定] を押す

フォルダ一覧に戻ります。

- [終話] を押すと待受画面に戻ります。

メールを他のフォルダに移動します<メール移動>

〈例〉受信メールを他のフォルダに移動するとき

1 待受画面で [メール] ▶「1 受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ [決定] を押す

受信メール一覧が表示されます。

- 送信メールを他のフォルダに移動するときは、[メール] ▶「5 送信したメールを見る」を押します。

メール

メールを管理します

次ページへ続く

2 移動するメールを選択▶ メニュー ▶「5 フォルダを移動」を押す

受信メール
受信箱
フォルダ1
フォルダ2
フォルダ3
フォルダ4
移動先を
選んでください
決定

● 送信メール一覧から操作するときは、移動するメールを選択▶ メニュー ▶「4 フォルダを移動」を押します。

3 移動先のフォルダを選択▶ 決定 を押す

メールを移動した旨のメッセージが表示されます。

4 決定 を押す

受信メール一覧に戻ります。

● 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

メールの保存件数を確認します<メール件数を確認>

受信メールまたは送信メールが何件保存されているかを、フォルダごとに確認します。

〈例〉受信メールの保存件数を確認するとき

1 待受画面で メールキー ▶「1 受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

● 送信メールの保存件数を確認するときは、メールキー ▶「5 送信したメールを見る」を押します。

2 件数を確認するフォルダを選択▶ メニュー ▶「5 メール件数確認」を押す

ﾌｫﾙﾀﾞ内ﾒｰﾙ件数	
未読	0件
既読	5件
保護	2件

決定

3 確認が終わったら 決定 を押す

フォルダ一覧に戻ります。

● (電源キー)を押すと待受画面に戻ります。

メールを削除します<メール削除>

「受信したメールを見る」「未送信のメールを見る」「送信したメールを見る」から不要なメールを削除します。

● 保護されているメールは削除できません。まとめて削除する場合でも、保護されているメールは削除されずに残ります。保護を解除してから削除してください。

受信メールを削除します

● 次の方法で削除できます。

○：実行可　－：実行不可

削除方法	削除されるメール	実行する画面		
		フォルダ一覧	メール一覧	詳細表示
選択 1 件	選択したメール	－	○	○
フォルダ内既読	フォルダ内の既読メール	○	○	－
フォルダ内全件	フォルダ内の全メール（未読も削除）	○	○	－
受信メール全件	全メール（未読も削除）	○	－	－

1 待受画面で (メールキー) ▶「1 受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

■ 受信メールを全件削除するとき

メニュー ▶「4 メールを削除」▶「3 受信メール全件」▶ 4 ～ 8 桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す

• 操作 5 に進みます。

次ページへ続く

3 削除するメールを選択▶メニュー▶「3 削除する」を押す

削除するメールを
選んでください
1選択1件
2フォルダ内既読
3フォルダ内全件
決定

4 「1 選択1件」～「3 フォルダ内全件」のいずれか1つの番号を押す

メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ フォルダ内のメールを1件削除するとき

「1 選択1件」を押す

■ フォルダ内の既読メールを削除するとき

「2 フォルダ内既読」を押す

■ フォルダ内のメールを全件削除するとき

「3 フォルダ内全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

5 「1 削除する」を押す

メールを削除した旨のメッセージが表示されます。

●「2 削除しない」：削除を中止します。

6 決定を押す

受信メール一覧に戻ります。

●終話キーを押すと待受画面に戻ります。

未送信／送信したメールを削除します

●次の方法で削除できます。

〇：実行可　－：実行不可

削除方法	削除されるメール	実行する画面		
		フォルダ一覧	メール一覧	詳細表示
選択 1 件	選択したメール	－	〇	〇※1
フォルダ内全件※1	フォルダ内の全メール	〇	〇	－
メール全件	全メール	〇※1	〇※2	－

※ 1：送信メールのみ
※ 2：未送信メールのみ

〈例〉送信メールを削除するとき

1 待受画面で ▶「5 送信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

●未送信メールを削除するときは、 ▶「4未送信のメールを見る」を押して操作 3 に進みます。

■ 送信メールを全件削除するとき

メニュー ▶「4メールを削除」▶「2送信メール全件」▶ 4～8桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す

- 操作 5 に進みます。

2 フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

送信メール一覧が表示されます。

3 削除するメールを選択 ▶ メニュー ▶「2 削除する」を押す

削除するメールを選んでください
1選択 1 件
2フォルダ内全件
決定

●未送信メール一覧から操作するときは、削除するメールを選択 ▶ メニュー ▶「3 削除する」を押します。

メール
メールを管理します

次ページへ続く

4 「1 選択 1 件」または「2 フォルダ内全件」を押す

メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ フォルダ内のメールを 1 件削除するとき

「1 選択 1 件」を押す

■ フォルダ内のメールを全件削除するとき

「2 フォルダ内全件」▶ 4 ～ 8 桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す

- 未送信メールを全件削除するときは、「2 全件」▶ 4 ～ 8 桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押します。

5 「1 削除する」を押す

メールを削除した旨のメッセージが表示されます。

●「2 削除しない」：削除を中止します。

6 決定 を押す

送信メール一覧に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

メールを保護／解除します<メール保護>

受信メール、送信メール、未送信メールの保存領域の空きがなくなっても、メールや SMS を受信したときに上書きされないように、メールを保護します。

●未読メールは保護できません。

●最大保護件数→ P598

〈例〉受信メールを保護するとき

1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

●未送信メールを保護するときは、 ▶「4 未送信のメールを見る」を押します。

●送信メールを保護するときは、 ▶「5 送信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押します。

2 保護するメールを選択▶ メニュー ▶「4 保護／解除する」を押す

保護または保護を解除するメールを選んでください

1 選択1件保護
2 全件保護
3 選択1件解除
4 全件解除
決定

● 未送信／送信メール一覧から操作するときは、保護するメールを選択▶ メニュー ▶「保護／解除する」を選択▶ 決定 を押します。

3「1 選択1件保護」または「2 全件保護」を押す

メールが保護されます。

● メールを保護すると状態マークが次のいずれかに変わります。

受信メール　：（既読）、（返信不可）、（返信済み）、（転送済み）
未送信メール：
送信メール　：

● を押すと待受画面に戻ります。

■ 保護を解除するとき

① **受信メール一覧、未送信メール一覧で、保護を解除するメールを選択▶ メニュー ▶「4 保護／解除する」を押す**

• 送信メール一覧から操作するときは、保護を解除するメールを選択▶ メニュー ▶「3 保護／解除する」を押します。

② **「3 選択1件解除」を押す**

• 保護を全件解除するときは、「4 全件解除」を押します。

お知らせ

● メール詳細画面から保護する場合は、メニュー ▶「保護する」を選択▶ 決定 を押して操作します。保護を解除する場合は、メニュー ▶「保護を解除」を選択▶ 決定 を押して操作します。

● 全件保護の途中で最大保護件数を超える場合は、日時が新しいメールから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。

メール一覧の並び順を変更します＜並び順変更＞

「受信したメールを見る」「送信したメールを見る」のメール一覧の並び順（「日付順」）を一時的に並べ替えます。

●「未送信のメールを見る」「FOMA カードの受信 SMS を見る」「FOMA カードの送信 SMS を見る」の並び順は変更できません。

〈例〉受信メール一覧を並べ替えるとき

1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

●送信メール一覧を並べ替えるときは、 ▶「5 送信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押します。

2 メニュー ▶「7 並び順を変更」を押す

並び順を
選んでください
1日付順
2送信元順
3題名順
決定

●送信メール一覧から操作するときは、メニュー ▶「6 並び順を変更」を押します。
「1 日付順」「2 宛先順」「3 題名順」から選択できます。

3 「1 日付順」～「3 題名順」のいずれか1つの番号を押す

メールが一時的に並び替わります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 受信メール一覧または送信メール一覧の表示を終了すると「日付順」に戻ります。
● 題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、「題名順」の並び順の結果が 50 音順にならない場合があります。
● フォルダ内にSMSが含まれているときに題名順で並べ替えると、一覧画面ではSMSは題名部分にメッセージの本文の先頭が表示されるため 50 音順にはなりません。

メール一覧の表示方法を変更します<表示方法変更>

「受信したメールを見る」のメール一覧を一時的にメールの状態別に表示します。

- 「送信したメールを見る」「未送信のメールを見る」「FOMA カードの受信SMS を見る」「FOMA カードの送信 SMS を見る」の表示方法は選択できません。

1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 メニュー ▶「8 表示方法を変更」を押す

表示方法を
選んでください
1全て表示
2未読のみ表示
3既読のみ表示
4保護のみ表示
決定

項　目	説　明
1 全て表示	すべてのメールを一覧表示します。
2 未読のみ表示	未読のメールを一覧表示します。
3 既読のみ表示	既読のメールを一覧表示します。
4 保護のみ表示	保護されているメールを一覧表示します。

3 「1 全て表示」～「4 保護のみ表示」のいずれか 1 つの番号を押す

選択した表示方法で表示されます。

- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 受信メール一覧の表示を終了すると「全て表示」に戻ります。
- 「既読のみ表示」では、保護されている受信メールは表示されません。

メールの文字の大きさを変更します<文字サイズ設定>

お買い上げ時 大きく表示する

受信メールや送信メール、例文などの内容を表示するときの文字サイズを変更します。

- 本機能の設定は受信メール、送信メール、例文表示、FOMAカード内のSMSすべてに反映されます。
- メール作成／編集時の文字サイズは変更できません。

<大きく表示する：
1行全角で8文字（半角16文字）>

<小さく表示する：
1行全角で10文字（半角20文字）>

〈例〉受信メール詳細画面で文字サイズを変更するとき

1 待受画面で ▶「1 受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 メールを選択▶ 決定 ▶ メニュー ▶「7 小さく表示する」を押す

文字の大きさが変わります。

- を押すと待受画面に戻ります。
- 小さく表示されている場合は、メニュー▶「7 大きく表示する」を押します。

お知らせ

- 送信メール詳細画面、FOMAカード内の受信／送信SMS詳細画面から操作する場合は、メニュー▶「大きく表示する」または「小さく表示する」を選択▶ 決定 を押して操作します。
- 例文表示画面から操作する場合は、メニュー を押します。押すたびに文字の大きさが切り替わります。
- 文字サイズを変更すると、次にメールを表示するときも同じ文字サイズで表示されます。

メールの送信元や宛先などを確認します<送信元／宛先確認>

メールに表示されているメールアドレスや電話帳に登録した名前がすべて表示されない場合は、この方法でメールアドレスを確認できます。宛先が複数あるときは全宛先のメールアドレスを、受信メールの場合には自分以外の宛先を表示します。

〈例〉受信メール一覧でメールアドレスを確認するとき

1 **待受画面で[メール] ▶「[1]受信したメールを見る」▶ フォルダを選択 ▶ [決定]を押す**

受信メール一覧が表示されます。

●未送信／送信メール一覧→ P343 操作 1 ～ 2

2 **アドレスを表示するメールを選択 ▶ [メニュー] ▶「[0]送信元等を確認」を押す**

送信元確認
題名:
お知らせ
From:
docomo.ΔΔΔ.taro@
docomo.ne.jp
To:
docomo.taro.ΔΔ@d
決定

受信メールの場合、自分以外の宛先があると「To:」「Cc:」が表示

●未送信／送信メール一覧から操作するときは、アドレスを表示するメールを選択 ▶ [メニュー] ▶「宛先を確認」を選択 ▶ [決定]を押します。宛先確認では「題名：」「From：」は表示されません。

●メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合や SMS では、電話番号が表示されます。

3 **確認が終わったら[決定]を押す**

受信メール一覧に戻ります。

●[終話]を押すと待受画面に戻ります。

■ メール詳細画面から表示するとき

① **メール詳細画面を表示する**

- 受信／送信メール詳細画面→ P343 操作 1 ～ 3、P351 操作 1 ～ 3
- 受信／送信 SMS 詳細画面→ P376 操作 1 ～ 3、P380 操作 1 ～ 3

次ページへ続く

②表示する送信元または宛先を選択▶決定を押す

アドレス表示

docomo.ΔΔΔ.taro@
docomo.ne.jp

決定

③確認が終わったら決定を押す

メール詳細画面に戻ります。

メールの便利な機能

ｉモードメール、SMSの本文中の文字をコピーします。また、本文に電話番号やメールアドレスがあるとき、それらを選択してFOMA端末電話帳に登録することもできます。

本文などをコピーします

ｉモードメール、SMSの本文中の文字をコピーします。コピーした文字は、メール作成画面やFOMA端末電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けることができます。

●次のコピーができます。

コピーする項目	説　明
選択中の項目	反転表示されている項目（メールアドレス、電話番号など）をコピーします。
宛先または送信元	宛先または送信元をコピーします。
題名	題名をコピーします。
本文	本文中の指定した範囲の文字をコピーします。

●記録できるのは1件だけです。新たにコピーを行うと前にコピーした文字に上書きされます。

〈例〉受信メール詳細画面からコピーするとき

1 コピーする項目を含む受信メール詳細画面を表示する

●受信／送信メール詳細画面→P343 操作1～3、P351 操作1～3
●受信／送信SMS詳細画面→P376 操作1～3、P380 操作1～3
●FOMAカード内の受信／送信SMS詳細画面→P385 操作1～2
●例文一覧→P340 操作1

2 メニュー▶「9 内容をコピー」を押す

コピーする項目を
選んでください
1選択中の項目
2題名
3本文
決定

■ 送信メール詳細画面から操作するとき

メニュー▶「8 内容をコピー」を押す

■ FOMA カード内の受信 SMS 詳細画面から操作するとき

メニュー▶「6 内容をコピー」を押す

「1 送信元」「2 本文」から選択できます。

■ FOMA カード内の送信 SMS 詳細画面から操作するとき

メニュー▶「5 内容をコピー」を押す

「1 宛先」「2 本文」から選択できます。

■ 例文一覧から操作するとき

メニュー▶「3 内容をコピー」を押す

「1 宛先」「2 題名」「3 本文」から選択できます。

- 「3 本文」を選択すると、本文全体がコピーされます。

3 「1 選択中の項目」～「3 本文」のいずれか 1 つの番号を押す

コピーした旨のメッセージが表示されます。

● 「3 本文」を押した場合はコピーする範囲を指定します。
→ P543 操作 2 ～ 3

4 決定を押す

内容がコピーされます。

5 貼り付け先の文字入力画面を表示し、文字を貼り付ける

コピーした文字が貼り付けられます。

● 操作方法→ P543

お知らせ

● コピーした文字は電源を切るまでFOMA端末に記録され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。

電話番号やアドレスを電話帳に登録します

ｉモードメール、SMSの本文中のメールアドレスや電話番号をFOMA端末電話帳に登録します。新規に登録することも、登録済みの電話帳データに追加することもできます。

● ｉモードメール、SMSの本文中にメールアドレスや電話番号が記載されていても、反転表示されなければ登録操作はできません。ただし、受信メールでは送信元、送信メールでは宛先（複数宛先のときは選択可能）を反転表示して電話帳に登録することはでき、ｉモードメールではメールアドレス、SMSでは電話番号が登録できます。

〈例〉受信メール詳細画面から電話帳登録するとき

1 登録する項目を含む受信メール詳細画面を表示する

●操作方法→P351 操作1～3

2 項目を選択▶メニュー▶「0 登録する」を押す

登録先を
選んでください

1電話帳新規登録
2電話帳追加登録
3ブックマーク登録
4画像を選択

決定

3 「1 電話帳新規登録」または「2 電話帳追加登録」を押す

●電話帳の登録方法→P120 操作2以降、P127 操作3～4

お知らせ

● 送信メール詳細画面、FOMAカード内の受信／送信SMS詳細画面から操作する場合は、メニュー▶「登録する」を選択▶決定を押して操作します。
● メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

URL をブックマークに登録します

ｉモードメール、SMSの本文中にURLがあるとき、メール詳細画面から直接、URL をブックマークに登録できます。

〈例〉受信メール詳細画面からブックマーク登録するとき

1 登録する URL を含む受信メール詳細画面を表示する

● 操作方法→ P351 操作 1 ～ 3

2 URL を選択 ▶ メニュー ▶「0 登録する」を押す

登録先を
選んでください
1 電話帳新規登録
2 電話帳追加登録
3 ブックマーク登録
4 画像を選択
決定

3 「3 ブックマーク登録」▶ 登録先フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

ブックマークを追加した旨のメッセージが表示されます。

4 決定 を押す

受信メール詳細画面に戻ります。

● 終話 を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 送信メール詳細画面、FOMA カード内の受信／送信 SMS 詳細画面から操作する場合は、メニュー ▶「登録する」を選択 ▶ 決定 を押して操作します。

ｉモーション

ｉモーションを取得します

サイトやインターネットホームページから映像や音を取得し、再生したり、保存したりできます。保存した映像や音はｉモーションとして再生したり、着モーションに設定できます。

● ｉモーションには、次のような種類があります。種類はサイトにより異なり、取得するときに変更したり、選択したりできません。

種　類		説　明
タイプ	再生の種類	
標準タイプ（保存可※）	データを取得しながら再生（最大500Kバイト）	ｉモーションのデータを取得しながら再生します。取得完了後は、データを取得した後に再生するときと同様に操作できます。
	データを取得した後に再生（最大500Kバイト）	ｉモーションのデータをすべて取得した後に再生します。
ストリーミングタイプ（保存不可）	データを取得しながら再生（最大２Mバイト）	ｉモーションのデータを取得しながら再生します。再生が終わったｉモーションデータは消去され、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存することはできません。

※：標準タイプのｉモーションによっては、保存できないものもあります。

サイトからｉモーションを取得して再生します

1 ｉモーションのあるサイトを表示し、取得したいｉモーションを選択▶決定を押す

ｉモーションの取得が始まります。

● ｉモーション取得中画面で電話帳：
　ｉモーションの取得を中断します。

16KB/299KB

中断

取得済みのデータ量／全体のデータ量

■ データを取得しながら再生するｉモーション（標準タイプ）のとき

取得が始まると取得しながら再生されます。

- 再生中に次の操作ができます。再生終了後は、データを取得した後に再生するｉモーションと同様に操作できます。

操作ボタン	ｉモーションの動作
決定	休止※／再生
（メール）（iアプリ）／音量ボタン（△▽）	音量調節
メニュー	停止※
戻る	中断※（取得中）／終了（取得完了後）

※：データの取得は継続します。

- データの取得中に再生を中断すると、取得を中断するかどうかの確認画面が表示されます。中断する場合は「1 中断する」を押します。
- データの取得が完了すると、取得が完了した旨の画面が表示されます。→P413

■ データを取得した後に再生するｉモーション（標準タイプ）のとき

取得が完了すると自動的に再生されます。

- 再生中に次の操作ができます。

操作ボタン	ｉモーションの動作
決定	休止／再生
（メール）（iアプリ）／音量ボタン（△▽）	音量調節
メニュー／戻る	停止
電話帳	早送り再生

- 再生を停止すると、取得が完了した旨の画面が表示されます。→P413

次ページへ続く

■ データを取得しながら再生するｉモーション（ストリーミングタイプ）のとき

再生中　3　0:00:10　中断

ストリーミング再生するかどうかの確認画面が表示され、「1 再生する」を押すと取得しながら再生されます。

- 再生中に次の操作ができます。

操作ボタン	ｉモーションの動作
決定／戻る	中断
／音量ボタン（△▽）	音量調節

- 中断すると、取得を中断するかどうかの確認画面が表示されます。中断する場合は「1 中断する」を押します。
- 再生が終了するとサイトに戻り、保存できません。

お知らせ

- 再生する期間や期限が設定されているｉモーションを取得する場合には、日付・時刻の設定が必要です。→P58
- ｉモーションには、次のような再生制限が設定されている場合があります。

種　類	説　明
再生回数制限	設定されている回数まで再生できます。FOMA 端末にｉモーションを保存すると再生回数がカウントされます。
再生期限制限	設定されている期限を過ぎていると再生、保存および取得できません。
再生期間制限	設定されている期間の前は保存、取得できますが再生できません。設定されている期間を過ぎているときは再生、保存および取得できません。

- ストリーミングタイプのｉモーションを取得するときに「ｉモーションタイプ」を「標準・ストリーミング」に設定していない場合、設定を変更するかどうかの確認画面が表示され、設定を変更することができます。→P415
- 「ｉモーションの再生を設定する」の「自動再生設定」（→P415）を「自動再生しない」にしているときは、自動的に再生されません。ただし、ストリーミングタイプのｉモーションは設定に関わらず、ストリーミング再生するかどうかの確認画面が表示されます。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときにデータの受信待ちになり、再生が一時停止する場合があります。データを受信し始めると自動的に再生を再開します。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときに、電波状況などにより再生ができなくなったり、停止したり、画像が乱れたりする場合があります。そのような場合でも、データが正常に受信されていれば取得後に再生できます。ただし、ｉモーションによってはデータを取得できても、正しく再生できない場合があります。
- ｉモーションのデータが不正だった場合、ｉモーションの受信が中止されることがあります。
- ストリーミングタイプのｉモーションを取得しながら再生しているときに、FOMA端末を折り畳んだり、電話がかかってきたり、目覚ましや予定表で指定していた時間になった場合は、取得、再生が中断されます。標準タイプのｉモーションを取得しながら再生しているときは、取得が継続されたまま、再生が停止します。

サイトから取得したｉモーションを保存します

●ストリーミングタイプや保存不可のｉモーションは保存できません。

1 サイトからｉモーションを取得し、再生が終了する

モーションの取り込みが完了しました
1再生する
2保存する
3情報を表示する
4戻る
決定

● ｉモーションの取得方法→P410

「1 再生する」：ｉモーションを再生します。
「2 保存する」：ｉモーションを保存します。
「3 情報を表示する」：ｉモーションの情報を表示します。→P435
「4 戻る」：ｉモーションを保存するかどうかの確認画面が表示されます。「2 保存しない」を選択すると、サイト表示に戻ります。

2 「2 保存する」を押す

題名を入力してください
小犬の特集
メニュー 確定 ガイド

●題名を変更するときは、題名を入力します。全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

3 決定を押す

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

操作1の画面に戻ります。

●「ビデオのアルバムを見る」の「モード」フォルダに保存されます。→P431

●▶「1 終了する」を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● ｉモーションの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って保存可能な空き容量が確保できるまでFOMA端末に保存されている動画／ｉモーションを削除してください。→P598

テロップにリンクが設定されていたときは

ｉモーションのテロップに電話番号（Phone To、AV Phone To）やメールアドレス（Mail To)、サイト（Web To）などのリンクが設定されているときは、リンク先に接続できます。

〈例〉テロップのリンク（Web To）に接続するとき

1 サイトからｉモーションを取得し、再生が終了する

リンク先に接続するかどうかの確認画面が表示されます。

- ストリーミングタイプの場合は、再生を中断しても確認画面が表示されます。
- ｉモーションのテロップにあるリンク項目は選択できません。

2 「1 続きを見る」を押す

リンク先が表示されます。

■ ｉモーションを保存するとき

ｉモーションを保存していないときには、リンク先を表示する前に保存するかどうかの確認画面が表示されます。

①「1 保存する」を押す

ｉモーション保存画面が表示されます。

- 保存せずにリンク先を表示したときは、取得したｉモーションのデータは破棄されますのでご注意ください。

②題名を確認▶決定▶決定を押す

保存が完了し、リンク先が表示されます。

お知らせ

- 複数のリンク項目がある場合は、１つのリンク項目が有効になります。有効になるリンク項目は、ｉモーションによって異なります。

ｉモーションの動作を設定します ＜ｉモーション設定＞

お買い上げ時　自動再生設定：自動再生する　モーションタイプ：標準

ｉモーションを自動的に再生するかどうかを設定したり、取得するｉモーションタイプを設定したりします。

1 待受画面で（メニュー）▶「# 詳細な機能を設定する」▶「6 モードの詳細を設定する」▶「4 モーションの再生を設定する」を押す

モーションを設定してください
1自動再生設定
自動再生する
2 モーションタイプ
標準
変更　完了

項　目	説　明
1 自動再生設定	標準タイプのｉモーションを取得中、または取得後に自動的に再生するかどうかを設定します。
2 モーションタイプ	取得するｉモーションのタイプを設定します。

2 「1 自動再生設定」または「2 モーションタイプ」を押す

■ ｉモーションを自動再生するかしないかを設定するとき

「1 自動再生設定」▶「1 自動再生する」または「2 自動再生しない」を押す

- 「2 自動再生しない」に設定しても、取得完了後に表示される画面から手動で再生することができます。
- ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生設定の設定に関わらず自動的に再生されます。

■ ｉモーションタイプを設定するとき

「2 モーションタイプ」▶「1 標準」または「2 標準・ストリーミング」を押す

- ストリーミングタイプのｉモーションを再生するときは、「2 標準・ストリーミング」に設定します。

3 （電話帳）を押す

ｉモーションの設定を変更した旨のメッセージが表示されます。

次ページへ続く

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● サイト表示中から操作する場合は、メニュー ▶「＊ 表示を設定」▶「2 モーション設定」を押して操作します。

データ表示／編集／管理

画像を使いこなします

動画を使いこなします

メロディを使いこなします

画像を表示します

FOMA 端末に保存されている写真や画像を表示します。

●表示できる画像の種別は次のとおりです。

画像の種別	説　明
静止画	ｉモードサイトやメールから取得した画像(アニメーション以外)、カメラで撮影した写真、フレーム、内蔵画像など
アニメーション	ｉモードサイトやメールから取得したアニメーション画像（ｉアニメ含む）

●表示の他に次の操作ができます。

項　目	参照先	項　目	参照先
ｉモードメールに添付します	P420	**情報を表示します**	P421
待受画面に設定します	P421	**題名などを変更します**	P422

1 待受画面で[メニュー]▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「3 写真のアルバムを見る」を押す

アルバム一覧
撮影した写真
ｉモード
アイテム
内蔵写真
データ交換
マイアルバム
メニュー　決定　ガイド

●画像は、次の 5 つの固定フォルダに分類して保存されます。

マーク	説　明
	カメラで撮影した写真が保存されているフォルダ
	ｉモードサイトやメールから取得した画像が保存されているフォルダ
	お買い上げ時に FOMA 端末に内蔵されているアイテム（フレーム）や、ダウンロードしたフレームが保存されているフォルダ
	お買い上げ時に FOMA 端末に内蔵されている画像が保存されているフォルダ
	データリンクソフトで取り込んだ画像が保存されているフォルダ

●アルバムを作成すると表示されます。→ P424

マーク	説　明
	作成したアルバム

2 フォルダを選択▶決定を押す

画面説明：題名／フォルダ名／画像番号／フォルダ内の画像数／データ形式マーク、メール添付マーク

- 電話帳：押すたびに画像表示とリスト表示が切り替わります。
- 画像の状態は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
GIF	GIF 形式の画像データ
JPG	JPEG 形式の画像データ
OK	メールに添付可能なデータ
OK（縮小）	メールに添付可能な縮小データ
表示なし	メールに添付不可能なデータ

3 表示する画像を選択▶決定を押す

画面説明：題名／画像番号／フォルダ内の画像数

メモ表示：「メモ表示あり」に設定しているときに表示されます。→P422

- 画面より小さい画像を表示している場合は電話帳を押すと、拡大／等倍表示に切り替えられます。
- 選択した画像がアニメーションのときは、自動的に再生されます。再生途中で決定を押すと停止します。もう一度押すと再生します。
- ：フォルダ内の前後の画像を表示できます。
- 決定を押すと画像一覧に戻ります。
- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- FOMA カード動作制限機能（→P46）で表示できない画像がある場合、操作 2 の画面の一覧には画像は表示されず、が表示されます。
- パソコンをお持ちの場合は、添付の CD-ROM 内の FOMA F シリーズデータリンクソフトと FOMA USB 接続ケーブル（別売）を利用して、画像をパソコンに転送・保管することができます。→P574

画像を添付してｉモードメールを作成します

1 **P418の操作1～2を行う▶添付する画像を選択▶メニュー▶「1 メールで送る」▶ｉモードメールを作成する**

メール作成：新規
To ：
題名：
添付　約6.1KB
200509151323.
本文：
送信する
メニュー　決定　簡単

● ｉモードメール作成方法→P320、P325

選択した画像が添付され、ファイル名が表示されます。→P422

お知らせ

● データサイズが9001～10000バイトの画像を選択した場合は、次の画面が表示されます。

選択された写真を
縮小するとメール
本文に書き込める
文字数が増えます
縮小しますか？
1縮小して送る
2このまま送る
3送らない
決定

「1 縮小して送る」：
　データサイズを縮小して添付します。縮小すると本文に書き込める文字数が増えます。
「2 このまま送る」：
　データサイズを変えずに添付します。
「3 送らない」：
　添付を中止します。

● データサイズが10000バイトを超える画像を選択した場合は、次の画面が表示されます。

選択された写真は
標準ｻｲｽﾞを
超えています。
標準ｻｲｽﾞに
縮小しますか？
1標準ｻｲｽﾞで送る
2最大ｻｲｽﾞで送る
3送らない
決定

「1 標準サイズで送る」：
　ｉモードメールの標準サイズに縮小して添付します。
「2 最大サイズで送る」：
　ｉモードメールに添付できるサイズ（500K）の範囲で、最大のサイズで添付します。
　・画像サイズの横縦（または縦横）が320×240ドットを超える場合は、待受画面の大きさに合わせるかどうかの確認画面が表示されます。合わせる場合は「1 小さくして送る」を押します。そのまま送る場合は「2 このまま送る」を押します。
「3 送らない」：
　添付を中止します。

● 添付するときにデータサイズを変えた画像は、選択した画像と同じフォルダ内に同じ題名で保存され、が表示されます。

画像を待受画面に設定します

1 **P418の操作1～2を行う▶設定する画像を選択▶メニュー▶「2 待受画面に貼る」▶「1 設定する」▶決定を押す**

待受画像を
設定しますか?
1設定する
2設定しない
決定

待受画面に設定され、画像一覧に戻ります。

●「2 設定しない」：設定を中止します。

●終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●待受画面に設定できる画像の最大サイズは、横縦（または縦横）が640×480（ドット）までです。また、横縦のサイズが240×320（ドット）を超える画像は、縮小して待受画面に設定されます。

画像の情報を表示します

1 **P418の操作1～2を行う▶情報を確認する画像を選択▶メニュー▶「3 情報を見る」を押す**

画像の情報
題名
200509151323
ファイル制限
なし
表示サイズ
Sｻｲｽﾞ
ファイルサイズ
決定

●情報を見終わったら決定を押します。

●終話を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く

項　目	説　明
題名※1	この端末内で表示される題名を表示します。
ファイル制限※1	メールで送信したり、データ転送でパソコンなどへ出力したりすることができる「なし」／できない「あり」を表示します。 • ファイル制限について→P423
表示サイズ	画像を表示したときの大きさを表示します。 Sサイズ→176×144　Mサイズ→352×288 待受　　→240×320　Lサイズ→640×480 • 上記サイズ以外の画像は数値（ドット）で表示されます。
ファイルサイズ	画像データのサイズを表示します。
ファイル種別	画像データの種類を表示します。
種別	この端末内で管理するための種類（静止画／アニメーション）を表示します。
ファイル名	画像データの名前が表示されます。 • メールに添付したときなどに表示されます。
保存日時	画像を保存した日時を表示します。
保存元	最初に保存されていた場所を表示します。 カメラ　　→（撮影した写真） iモード　→ 表示なし　→（アイテム）／（内蔵写真） データ交換→
メモ※1	メモを表示します。
故障時退避可否※2	お客様のFOMA端末を修理する際、お客様のデータをドコモ指定の故障取扱窓口において移行できるかどうかを表示します。

※1：内容を変更することができます。→下記

※2：万一、お客様のデータを移行できない場合およびデータの消失、変化に関し、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

画像の題名やメモ、ファイル制限を変更します

1 **P418の操作1～2を行う▶題名などを変更する画像を選択▶メニュー▶「4題名等を変更」▶「1題名の変更」～「4ファイル制限の設定」のいずれか1つの番号を押す**

変更する項目を
選んでください
1題名の変更
2メモの変更
3メモ表示なし
4ファイル制限の設定
決定

■ 題名を変更するとき

「1 題名の変更」▶題名を入力▶決定▶決定を押す

• 全角で最大18文字、半角で最大36文字入力できます。

■ メモの内容を変更するとき

「2 メモの変更」▶メモを入力▶決定▶決定を押す

- 全角で最大50文字、半角で最大100文字入力できます。

■ 画像を表示したときにメモを表示するかしないかを設定するとき

「3 メモ表示なし」または「3 メモ表示あり」を押す

■ ファイル制限を設定するとき

「4 ファイル制限の設定」▶「1 設定する」を押す

- ファイル制限を解除する場合は「2 設定しない」を押します。

● 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 画像データによっては設定できない項目があります。
● この端末の外へ出力が禁止されている画像（この端末でファイル制限を「設定する」にした画像を除く）、サイト画面（画面メモを含む）やメールから保存してファイル制限が設定されている画像は、「題名」と「メモ表示あり／メモ表示なし」のみ変更できます。

ファイル制限について

ファイル制限は、この端末で撮影した写真やビデオ、またデータリンクソフトで取り込んだ画像や動画を他の端末に送信したときに、それを受信した相手の端末から、さらに他の端末に送信／転送することを制限する機能です。したがって、ファイル制限を設定しても、この端末からの送信／転送は制限されません。

アルバムを利用します

アルバムを作成してイベントやジャンル別などで画像を整理し、保存します。

アルバムを作成します

- 最大100個作成できます。
- お買い上げ時に登録されている固定フォルダ（→P418）のフォルダ名は変更できません。

（→P418）

1 **待受画面で メニュー ▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「3 写真のアルバムを見る」を押す**

アルバム一覧が表示されます。

2 **メニュー ▶「1 アルバムを追加」▶ アルバム名を入力する**

アルバム名を
入力してください
マイアルバム
メニュー 確定 ガイド

- 全角で最大7文字、半角で最大14文字入力できます。

■ アルバム名を変更するとき

アルバム名を変更するアルバムを選択 ▶ メニュー ▶「3 アルバム名変更」を押す

3 **決定 を押す**

アルバムを追加した旨のメッセージが表示されます。

4 **決定 を押す**

アルバム一覧に戻ります。

- ☎を押すと待受画面に戻ります。

アルバムを削除します

● お買い上げ時に登録されている固定フォルダ（→P418）は削除できません。

1 **待受画面で メニュー ▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「3 写真のアルバムを見る」を押す**

アルバム一覧が表示されます。

2 **削除するアルバムを選択 ▶ メニュー ▶「2 アルバムを削除」を押す**

アルバムを
削除しますか？
1削除する
2削除しない
決定

「1 削除する」　：作成したアルバムを削除します。
「2 削除しない」：作成したアルバムを削除しません。

3 **「1 削除する」を押す**

アルバムを削除した旨のメッセージが表示されます。

● アルバム内の画像と同時にアルバムを削除する場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 ▶「1 削除する」を押します。

4 **決定 を押す**

アルバム一覧に戻ります。

● ☎ を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 待受画面やワンタッチダイヤルの着信画像に使用されている画像のあるアルバムを削除すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

作成したアルバムに画像を移動します

固定フォルダ（→P418）に保存されている画像を、作成したアルバムへ移動したり、アルバム間で移動したりします。

● フォルダによってできる操作が異なります。

移動元のフォルダ名	できる操作	説　明
撮影した写真	アルバムに移動	画像を指定したアルバムに移動できます。 • アルバム以外には移動できません。
8 モード		
アイテム		
データ交換		
内蔵写真	移動できません	ー
アルバム	アルバムに移動	画像を指定したアルバムに移動したり、移動元の固定フォルダに戻したりできます。

1 **待受画面で メニュー ▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「3 写真のアルバムを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す**

画像一覧が表示されます。

2 **移動する画像を選択 ▶ メニュー ▶「6 アルバムを移動」を押す**

移動する写真を
選んでください
1選択１件
2アルバム内全件
3移動しない
決定

「1 選択１件」　：選択した画像を移動します。
「2 アルバム内全件」：アルバム内にあるすべての画像を移動します。
「3 移動しない」　：画像の移動を中止します。

3 **「1 選択１件」▶ 移動先のアルバムを選択 ▶ 決定 を押す**

画像を移動した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

画像一覧に戻ります。

●（終話）を押すと待受画面に戻ります。

■ 画像をアルバムから固定フォルダに戻すとき

① **待受画面で（メニュー）▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「3 写真のアルバムを見る」▶アルバムを選択▶決定を押す**

画像一覧が表示されます。

② **画像を選択▶（メニュー）▶「7 最初の（フォルダ）に戻す」を押す**

画像を元に戻した旨のメッセージが表示されます。

③ **決定を押す**

画像一覧に戻ります。アルバムに画像がなくなったときはアルバム一覧に戻ります。

- （終話）を押すと待受画面に戻ります。

画像を削除します<画像削除>

1件ずつ削除したり、フォルダ内の画像をまとめて削除します。

●「内蔵写真」フォルダ内の画像は削除できません。

1 待受画面でメニュー▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「3 写真のアルバムを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

画像一覧が表示されます。

2 削除する画像を選択▶メニュー▶「5 削除する」▶「1 選択1件」を押す

写真を
　削除しますか？

1削除する
2削除しない

決定

●フォルダ内の画像を全件削除するときは、メニュー▶「5 削除する」▶「2 アルバム内全件」▶4～8桁の端末暗証番号を入力▶決定を押します。

「1 削除する」　：写真を削除します。

「2 削除しない」：写真を削除しません。

3 「1 削除する」を押す

写真を削除した旨のメッセージが表示されます。

●「2 削除しない」：削除を中止します。

●削除する画像が、待受画面かワンタッチダイヤルの着信画像に設定されている場合は、写真を削除するかどうかの確認画面が表示されます。削除するときは「1 削除する」を押します。待受画面に設定していた場合は、削除すると標準の画像（草原）に、ワンタッチダイヤルの着信画像に設定していた場合は設定なしに戻ります。ただし、メールを受信した場合は、相手の名前とメール受信中の画面が表示されます。

4 決定を押す

画像一覧に戻ります。

●終話を押すと待受画面に戻ります。

画像一覧の並び順を変更します ＜並び順変更＞

お買い上げ時 保存日時で降順

画像一覧の並び順を変更します。

1 待受画面で メニュー ▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「3 写真のアルバムを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

画像一覧が表示されます。

2 メニュー ▶「8 並び順を変更」を押す

並び順を
選んでください
1題名で昇順
2題名で降順
3保存日時で昇順
4保存日時で降順
5大きさで昇順
6大きさで降順
決定

項　目	説　明
1 題名で昇順	題名を 50 音順に並べ替えます。
2 題名で降順	題名を 50 音順の逆に並べ替えます。
3 保存日時で昇順	保存日時の古い順に並べ替えます。
4 保存日時で降順	保存日時の新しい順に並べ替えます。
5 大きさで昇順	データサイズの小さい順に並べ替えます。
6 大きさで降順	データサイズの大きい順に並べ替えます。

3 「1 題名で昇順」～「6 大きさで降順」のいずれか 1 つの番号を押す

選択した並び順で画像一覧が並び替わります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、並び替えた結果が 50 音順にならない場合があります。

画像の残り枚数を確認します <残り枚数確認>

画像をあと残り何枚まで保存できるかを確認します。

1 **待受画面で メニュー ▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「3 写真のアルバムを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す**

画像一覧が表示されます。

2 **メニュー ▶「9 残り枚数を確認」を押す**

残り枚数の目安

Sｻｲｽﾞ	450枚
待受	334枚
Mｻｲｽﾞ	321枚
Lｻｲｽﾞ	136枚

決定

3 **確認が終わったら 決定 を押す**

画像一覧に戻ります。

● ☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● お買い上げ時の残り枚数は画像サイズごとに異なります。
● 撮影した枚数が最大保存件数に近づくと、大きい撮影サイズから残り枚数が少なくなります。

動画／ｉモーションを再生します

FOMA 端末に保存されている動画／ｉモーションを再生します。

●再生の他に次の操作ができます。

項　目	参照先	項　目	参照先
ｉモードメールに添付します	P434	題名を変更します	P436
情報を表示します	P435	ファイルを制限します	P436

1 待受画面で（メニュー）▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「4 ビデオのアルバムを見る」を押す

ビデオ一覧
撮影したビデオ
ｉモード
内蔵ビデオ
データ交換
メニュー　決定　ガイド

●動画／ｉモーションは、次の 4 つの固定フォルダに分類して保存されます。

マーク	説　明
（撮影フォルダ）	カメラで撮影したビデオが保存されているフォルダ
（ｉモードフォルダ）	ｉモードサイトやメールから取得したｉモーションが保存されているフォルダ
（内蔵フォルダ）	お買い上げ時に FOMA 端末に内蔵されている動画が保存されているフォルダ
（データ交換フォルダ）	データリンクソフトで取り込んだ動画が保存されているフォルダ

2 フォルダを選択▶決定を押す

撮影したビデオ
01/06件
200509151323
メニュー　決定　切替

題名
フォルダ名
動画番号／フォルダ内の動画数
メール添付マーク

音声の場合や画像が表示できない場合に表示されます。

●（電話帳）：押すたびに画像表示とリスト表示が切り替わります。

●動画／ｉモーションの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
（OK）	メールに添付可能なデータ
（切り出しOK）	メールに添付可能な切り出しデータ
表示なし	メールに添付不可能なデータ

次ページへ続く

3 再生する動画／ｉモーションを選択▶決定を押す

再生状態：▶ 再生中
❚❚ 一時停止中
■ 停止中

再生バー：現在の再生位置を表示します。
再生音量：現在の音量を表示します。
再生時間：現在の再生時間を表示します。

●再生中に次の操作ができます。

操作ボタン	ｉモーションの動作
決定	一時停止／再生
／ 音量ボタン（△▽）	音量調節
メニュー	停止 • 停止中に決定を押すと先頭から再生します。
電話帳	早送り再生

●再生が終わると自動的に停止します。

●戻るを押すと動画／ｉモーションの一覧に戻ります。

●を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時は、次の動画が「内蔵ビデオ」フォルダに登録されています。

にわとり　鍋草履　元犬

- 再生可能な動画／ｉモーションは次のとおりです。

ファイル形式	MP4（MobileMP4）
符号化方式	映像：MPEG-4 または H.263 音声：AMR または AAC
表示サイズ	176 × 144 ドット以下※

※：表示サイズによっては再生できないものもあります。

- 操作2の表示画面では、他のアプリケーションの影響により画像表示が表示できないときや、音声データの場合はが表示されます。
- 再生制限について→ P437
- 長い間電池パックを外していると、FOMA 端末で保持している日付・時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期限・再生期間が決められているｉモーションは再生できなくなります。
- 音声データを再生すると次の画面が表示されます。

  - 動画／ｉモーションと同様に操作できます。
  - 音声データを再生しているときは、再生画面に音声再生画像が表示されます。

- パソコンをお持ちの場合は、添付の CD-ROM 内の FOMA F シリーズデータリンクソフトと FOMA USB 接続ケーブル（別売）を利用して、動画／ｉモーションをパソコンに転送・保管して再生することができます。ただし、動画／ｉモーションによっては、転送・保管ができないものがあります。→ P574

動画／iモーションを添付してiモードメールを作成します

1 **P431の操作1～2を行う▶添付する動画／iモーションを選択▶メニュー▶「1 メールで送る」▶「1 このまま送る」▶iモードメールを作成する**

ビデオを
送信しますか？
1このまま送る
2内容を確認する
3送信を中止する
決定

メール作成：新規
To ：
題名：
添付 約46.3KB
200509151323.
本文：
送信する
メニュー 決定 簡単

選択した動画／iモーションが添付され、ファイル名が表示されます。→P435

- 「2 内容を確認する」：添付する前に再生して確認します。
- 「3 送信を中止する」：添付を中止します。
- iモードメール作成方法→P320、P325

お知らせ

- 選択した動画／iモーションのデータサイズが300Kバイトを超える大容量で、編集可能な場合は、次の画面が表示されます。

このビデオは
先頭を切り出して
送信できます。
切り出しますか？
1このまま送る
2切り出して送る
3内容を確認する
4送信を中止する
決定

・左の画面が表示されます。動画／iモーションを切り出してデータサイズを小さくしてから送るときは「2切り出して送る」を押します。

- 添付したメロディ・画像を含む本文の残りのデータ量が全角で最大100文字（半角200文字）分未満の場合は、動画／iモーションを添付できません。
- 添付したときに切り出した動画データは、選択した動画データと同じフォルダ内に同じ題名で保存され、が表示されます。

動画／ｉモーションの情報を表示します

1 **P431の操作1〜2を行う▶情報を確認する動画／ｉモーションを選択▶(メニュー)▶「2 情報を見る」を押す**

- ●情報を見終わったら(決定)を押します。
- ●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

項　目	説　明
題名※	この端末内で表示される題名を表示します。
オリジナルタイトル	あらかじめ設定されているタイトルを表示します。
ファイル制限※	メールで送信したり、データ転送でパソコンなどへ出力することができる「なし」／できない「あり」を表示します。 • ファイル制限について→P423
着信音設定	着信音に設定できるかどうかを表示します。
再生制限	再生制限が設定されているかどうかを表示します。 →P437
画像	再生可能かどうかを表示します。
音声	再生可能かどうかを表示します。
テロップ	テロップが挿入されているかどうかを表示します。→P414
再生時間	再生時間を表示します。
表示サイズ	動画／ｉモーションを再生したときの表示サイズを表示します。
ファイルサイズ	動画／ｉモーションのデータサイズを表示します。
ファイル種別	動画／ｉモーションのデータの種類を表示します。
音	動画／ｉモーションの音声データの種類を表示します。
ファイル名	動画／ｉモーションデータの名前を表示します。 • メールに添付したときなどに表示されます。
保存日時	動画／ｉモーションを保存した日時を表示します。
保存元	保存されている場所を表示します。 カメラ　→(撮影したビデオ)　ｉモード　→ 表示なし→(内蔵ビデオ)　　データ交換→
説明	この動画／ｉモーションの説明を表示します。
作成者	作成者の名前などを表示します。
コピーライト	著作者名や著作物の公表年月日などを表示します。

※：内容を変更することができます。→P436

次ページへ続く

お知らせ

- この端末で撮影したビデオの場合、「作成者」には個人情報に登録した名前が表示されます。個人情報に名前が登録されていないときは、「作成者」は設定されず「---」と表示されます。
→P435

動画／iモーションの題名を変更します

1 **P431の操作1～2を行う▶題名を変更する動画／iモーションを選択▶メニュー▶「3 題名を変更」▶「1 題名を変更する」▶題名を入力▶決定▶決定を押す**

選択した
ビデオの題名を
変更しますか？
1題名を変更する
2オリジナルタイトルに
戻す
決定

- 全角・半角を問わず最大36文字入力できます。
- 変更した題名をあらかじめ設定されていたオリジナルタイトルに戻す場合は、「2 オリジナルタイトルに戻す」を押します。
- 終話を押すと待受画面に戻ります。

動画／iモーションのファイル制限を設定します

1 **P431の操作1～2を行う▶ファイル制限を設定する動画／iモーションを選択▶メニュー▶「6 ファイル制限を設定」▶「1 設定する」▶決定を押す**

- ファイル制限を解除する場合は「2 設定しない」▶決定を押します。
- ファイル制限について→P423
- 終話を押すと待受画面に戻ります。

再生制限が設定されているときは

ｉモーションに再生制限が設定されているときは、再生開始前に確認画面が表示されます。

再生制限	状　態	説　明
回数制限	再生回数残あり	「あと×回再生できます。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「再生する」、中止するときは「再生しない」を選択します。
	規定回数再生済み	「再生可能回数が終了しました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「削除する」、残すときは「削除しない」を選択します。
期限制限	期限内	「××××年××月××日××時××分まで再生可能です」と表示されます。決定を押すと再生が始まります。中止するときは戻るを押します。
	期限が過ぎた	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「削除する」、残すときは「削除しない」を選択します。
期間制限	期間内	「あと××日間再生できます」と表示されます。決定を押すと再生が始まります。中止するときは戻るを押します。
	期間前	「再生可能日前です。再生できません」と表示されます。決定を押すと動画／ｉモーション一覧に戻ります。
	期間が過ぎた	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「削除する」、残すときは「削除しない」を選択します。

● 日付･時刻を変更しても、再生制限の期限や期間を延長することはできません。

動画／ｉモーションを削除します＜動画削除＞

1件ずつ削除したり、フォルダ内の動画／ｉモーションをまとめて削除します。

●「内蔵ビデオ」フォルダに保存されている動画は削除できません。

1 待受画面で メニュー ▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「4 ビデオのアルバムを見る」▶ フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

動画／ｉモーション一覧が表示されます。

2 削除する動画／ｉモーションを選択 ▶ メニュー ▶「4 削除する」▶「1 選択1件」を押す

ビデオを
削除しますか？
1削除する
2削除しない
決定

●フォルダ内の動画／ｉモーションを全件削除するときは、メニュー ▶「4 削除する」▶「2 アルバム内全件」▶ 4～8桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押します。

「1 削除する」　：動画／ｉモーションを削除します。

「2 削除しない」：動画／ｉモーションを削除しません。

3 「1 削除する」を押す

ビデオを削除した旨のメッセージが表示されます。

●削除する動画／ｉモーションが、着信音に設定されている場合は、ビデオを削除するかどうかの確認画面が表示されます。削除するときは「1 削除する」を押します。着信音に設定していた場合は、削除するとお買い上げ時の着信音（着信音1）に戻ります。

4 決定 を押す

動画／ｉモーション一覧に戻ります。

● 終話キー を押すと待受画面に戻ります。

動画一覧の並び順を変更します ＜並び順変更＞

お買い上げ時　保存日時で降順

動画／ｉモーション一覧の並び順を変更します。

1 **待受画面で（メニュー）▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「4 ビデオのアルバムを見る」▶フォルダを選択▶（決定）を押す**

動画／ｉモーション一覧が表示されます。

2 **（メニュー）▶「5 並び順を変更」を押す**

並び順を
選んでください
1題名で昇順
2題名で降順
3保存日時で昇順
4保存日時で降順
5大きさで昇順
6大きさで降順
決定

項　目	説　明
1 題名で昇順	題名を50音順に並べ替えます。
2 題名で降順	題名を50音順の逆に並べ替えます。
3 保存日時で昇順	保存日時の古い順に並べ替えます。
4 保存日時で降順	保存日時の新しい順に並べ替えます。
5 大きさで昇順	動画／ｉモーションのサイズの小さい順に並べ替えます。
6 大きさで降順	動画／ｉモーションのサイズの大きい順に並べ替えます。

3 **「1 題名で昇順」～「6 大きさで降順」のいずれか１つの番号を押す**

選択した並び順で動画／ｉモーション一覧が並び替わります。

●（終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、並び替えた結果が50音順にならない場合があります。

動画／ｉモーションの表示サイズを設定します<表示サイズ設定>

お買い上げ時 元の大きさで表示する

動画／ｉモーションの表示サイズ（最大240×200ドット）に合わせて拡大して表示するかどうかを設定します。

1 待受画面でメニュー▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「4 ビデオのアルバムを見る」を押す

ビデオ一覧が表示されます。

2 メニュー▶「1 表示サイズ設定」を押す

ビデオの
表示の大きさを
選んでください

1画面に合わせて
表示する
2元の大きさで
表示する
決定

項　目	説　明
1 画面に合わせて表示する	表示サイズの高さと幅の比率を保持したまま拡大し、画面の表示サイズに合わせて表示します。テロップが含まれる場合は、最大240×144のサイズまで拡大表示されます。また、ｉモーションによっては拡大表示できない場合があります。
2 元の大きさで表示する	元の表示サイズに戻します。

3 「1 画面に合わせて表示する」または「2 元の大きさで表示する」を押す

表示サイズを設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

ビデオ一覧に戻ります。

● 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

データ表示／編集／管理

表示サイズ設定

動画／ｉモーションを再生するときの照明を設定します<照明設定>

お買い上げ時 常に点灯

動画／ｉモーション再生中の照明動作を設定します。

1 待受画面で メニュー ▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「4 ビデオのアルバムを見る」を押す

ビデオ一覧が表示されます。

2 メニュー ▶「2 照明を設定」を押す

ビデオ再生中に
画面の照明を常に
点灯させますか？
1常に点灯
2設定時間で消灯
決定

項　目	説　明
1 常に点灯	動画／ｉモーション再生中はディスプレイの照明が常時点灯します。
2 設定時間で消灯	「画面の明るさを設定する」の「照明時間」の点灯時間が経過すると消灯するように設定します。→P173

3 「1 常に点灯」または「2 設定時間で消灯」を押す

照明を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

ビデオ一覧に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

動画／ｉモーションを再生するときの音量を設定します<音量設定>

動画／ｉモーション再生中の音量を設定します。

1 待受画面で（メニュー）▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」▶「4 ビデオのアルバムを見る」を押す

ビデオ一覧が表示されます。

2 （メニュー）▶「3 音量を調節」を押す

再生時の音量を
調節してください
大
小
音量3
決定

3 （方向キー）または音量ボタン（△▽）を押して音量を調節▶決定を押す

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

ビデオ一覧に戻ります。

●（終話キー）を押すと待受画面に戻ります。

メロディを再生します

FOMA 端末に保存されているメロディを再生します。

●再生の他に次の操作ができます。

項　目	参照先	項　目	参照先
i モードメールに添付します	P444	題名を変更します	P446
情報を表示します	P445	ファイルを制限します	P446

1 待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「3 音を設定する」▶「6 保存した曲の詳細を設定する」を押す

メロディ一覧
iモード
内蔵メロディ
データ交換
設定 決定 ガイド

メロディ一覧が表示されます。

●メロディは、次の３つの固定フォルダに分類して保存されます。

マーク	説　明
(iモードフォルダ)	i モードサイトやメールから取得したメロディが保存されているフォルダ
(内蔵フォルダ)	お買い上げ時にFOMA端末に内蔵されているメロディが保存されているフォルダ
(データ交換フォルダ)	データリンクソフトで取り込んだメロディが保存されているフォルダ

2 フォルダを選択 ▶ 決定 を押す

データ交換 ― フォルダ名
01/40件 ― メロディ番号／フォルダ内のメロディ数
着信音A ― メール添付マーク
着信音B
着信音C
着信音D
着信音E
着信音F
メニュー 再生

●メロディの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
(OKマーク)	メールに添付可能なデータ
表示なし	メールに添付不可能なデータ

次ページへ続く

3 再生するメロディを選択▶決定を押す

メロディ番号／フォルダ内のメロディ数
再生中のメロディの題名
再生バー：現在の再生位置を表示します。
再生音量：現在の音量を表示します。

●再生中に次の操作ができます。

操作ボタン	メロディの動作
決定	一覧に戻る
(上)(下)	フォルダ内の前後のメロディを再生
(左)(右)／音量ボタン（(▲)(▼)）	音量調節

●再生が終わると一覧に戻るまで繰り返し再生します。
●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●パソコンをお持ちの場合は、添付のCD-ROM内のFOMA Fシリーズデータリンクソフトと FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、メロディをパソコンに転送・保管することができます。→P574

メロディを添付してｉモードメールを作成します

1 P443の操作1～2を行う▶添付するメロディを選択▶メニュー▶「1 メールで送る」▶ｉモードメールを作成する

●ｉモードメール作成方法→P320、P325

選択したメロディが添付され、ファイル名が表示されます。
→P445

お知らせ

●相手がF881iES、F880iES、F901iS、F901iC、F900iC、F900iT、F900i、F700iS、F700i以外の場合、メロディを正しく送受信できないことがあります。

メロディの情報を表示します

1 P443の操作1～2を行う▶情報を確認するメロディを選択▶メニュー▶「2 情報を見る」を押す

メロディの情報
題名
着信音A
ｵﾘｼﾞﾅﾙﾀｲﾄﾙ
着信音A
ファイル名
Call01
決定

● 情報を見終わったら決定を押します。
● 終話を押すと待受画面に戻ります。

項　目	説　明
題名※1	この端末内で表示される題名を表示します。
オリジナルタイトル	あらかじめ設定されているタイトルを表示します。
ファイル名	メロディデータの名前を表示します。 • メールに添付したときなどに表示されます。
ファイル制限※1	メールで送信したり、データ転送でパソコンなどへ出力したりすることができる「なし」／できない「あり」を表示します。 • ファイル制限について→P423
ファイル種別	メロディのデータの種類を表示します。
ファイルサイズ	メロディのデータサイズを表示します。
再生時間	再生時間を表示します。
保存日時	メロディを保存した日時を表示します。
保存元	保存されている場所を表示します。 ｉモード　→[アイコン]　　表示なし→[アイコン]（内蔵メロディ） データ交換→[アイコン]
故障時退避可否※2	お客様のFOMA端末を修理する際、お客様のデータをドコモ指定の故障取扱窓口において移行できるかどうかを表示します。

※1：内容を変更することができます。→P446
※2：万一、お客様のデータを移行できない場合およびデータの消失、変化に関し、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

メロディの題名を変更します

1 **P443の操作1～2を行う▶題名を変更するメロディを選択▶(メニュー)▶「3 題名を変更」▶「1 題名を変更する」▶題名を入力▶決定▶決定を押す**

選択した
メロディの題名を
変更しますか？
1題名を変更する
2オリジナルタイトルに
戻す
決定

- 全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。
- 変更した題名をあらかじめ設定されていたオリジナルタイトルに戻す場合は、「2 オリジナルタイトルに戻す」を押します。
- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

メロディのファイル制限を設定します

1 **P443の操作1～2を行う▶ファイル制限を設定するメロディを選択▶(メニュー)▶「6 ファイル制限を設定」▶「1 設定する」▶決定を押す**

- ファイル制限を解除する場合は「2 設定しない」▶決定を押します。
- ファイル制限について→P423
- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- サイトなどからダウンロードしたメロディや、お買い上げ時に登録されているメロディは、ファイル制限を変更できません。

メロディを削除します
<メロディ削除>

1 件ずつ削除したり、フォルダ内のメロディをまとめて削除します。

●「内蔵メロディ」フォルダに保存されているメロディは削除できません。

1 待受画面でメニュー▶「# 詳細な機能を設定する」▶「3 音を設定する」▶「6 保存した曲の詳細を設定する」▶フォルダを選択▶決定を押す

メロディ一覧が表示されます。

2 削除するメロディを選択▶メニュー▶「4 削除する」▶「1 選択 1 件」を押す

選択したメロディを
削除しますか?
1削除する
2削除しない
決定

●フォルダ内のメロディを全件削除するときは、メニュー▶「4 削除する」▶「2 フォルダ内全件」▶4 ～ 8 桁の端末暗証番号を入力▶決定を押します。

「1 削除する」 :メロディを削除します。
「2 削除しない」:メロディを削除しません。

3 「1 削除する」を押す

メロディを削除した旨のメッセージが表示されます。

●「2 削除しない」:削除を中止します。

●削除するメロディが、着信音か目覚ましに設定されている場合は、メロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。削除するときは「1 削除する」を押します。着信音に設定していた場合は、削除するとお買い上げ時の着信音(着信音 1)に、目覚ましに設定していた場合は目覚まし 1 に戻ります。

4 決定を押す

メロディ一覧に戻ります。

●終話キーを押すと待受画面に戻ります。

メロディ一覧の並び順を変更します＜並び順変更＞

お買い上げ時　保存日時で降順

メロディを一覧で表示しているときの並び順を変更します。

1 待受画面で（メニュー）▶「# 詳細な機能を設定する」▶「3 音を設定する」▶「6 保存した曲の詳細を設定する」▶フォルダを選択▶（決定）を押す

メロディ一覧が表示されます。

2 （メニュー）▶「5 並び順を変える」を押す

並び順を
　選んでください
1題名で昇順
2題名で降順
3保存日時で昇順
4保存日時で降順
5大きさで昇順
6大きさで降順
決定

項　目	説　明
1 題名で昇順	題名を50音順に並べ替えます。
2 題名で降順	題名を50音順の逆に並べ替えます。
3 保存日時で昇順	保存日時の古い順に並べ替えます。
4 保存日時で降順	保存日時の新しい順に並べ替えます。
5 大きさで昇順	メロディサイズの小さい順に並べ替えます。
6 大きさで降順	メロディサイズの大きい順に並べ替えます。

3 「1 題名で昇順」～「6 大きさで降順」のいずれか1つの番号を押す

選択した並び順でメロディ一覧が表示されます。

● （終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、並び替えた結果が50音順にならない場合があります。

メロディを再生する位置を設定します <再生位置設定>

お買い上げ時　フルコーラス再生

メロディを再生したときの再生位置を設定します。

1 **待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「3 音を設定する」▶「6 保存した曲の詳細を設定する」を押す**

メロディ一覧が表示されます。

2 **メニュー を押す**

再生位置を
選んでください
1フルコーラス再生
2ポイント再生
決定

項　目	説　明
1 フルコーラス再生	メロディをすべて再生するように設定します。
2 ポイント再生	メロディを一部分のみ再生するように設定します。 • 設定しても、対応していないメロディではポイント再生を行いません。

3 **「1 フルコーラス再生」または「2 ポイント再生」を押す**

再生位置を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 **決定 を押す**

メロディ一覧に戻ります。

● 終話 を押すと待受画面に戻ります。

その他の便利な機能

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話やパケット通信（ｉモード、ｉモードメール、パソコンなどとFOMA端末をつないで行うデータ通信）から2つの通信を同時に利用できる機能です。
たとえば、ｉモードを利用しながら、かかってきた音声電話を受けたり、ｉモードメールを受信したりすることができます。

マルチアクセスでできる主な操作

マルチアクセスを使用して、次のような操作ができます。

現在の状態	利用できる操作	参照先
音声電話中	ｉモードメールを受信する	下記
	データ通信（パケット）を行う	P453
ｉモード中	音声電話をかける	P453
	かかってきた音声電話を受ける	P454
	ｉモードメールを受信する	P345
データ通信中（パケット）	音声電話をかける	P453
	かかってきた音声電話を受ける	P454

- マルチアクセスで同時に利用できる通信の詳細は「マルチアクセスの組み合わせについて」をご覧ください。→P571
- マルチアクセス中は、それぞれの通信に通信料がかかります。

音声電話中にｉモードメールを受信します

1 通話中にメールを受信する

通話中
ボタンで はっきりボイスオン
ボタンで ゆっくりボイスオン
06秒
橋本花子
03XXXXXXXX
メニュー 保留

メールの受信中はディスプレイ上部に🄸と✉が点滅表示され、受信が終了すると📫が表示されます。
- 着信音は鳴りません。
- 通話中にメールの内容を確認することはできません。

音声電話中にデータ通信を行います

1 通話中にパソコンから発信操作を行う

パｹｯﾄ通信発信中
mopera.ne.jp

データ通信が始まります。

● 電話はつながったままなので、そのまま話せます。データ通信を行う前にスピーカーホン機能を使用して通話を行っていた場合は、画面を見ながら話すことができます。→ P68
● データ通信を終了するには を押します。

お知らせ

● 音声電話の着信中にデータ通信の着信があった場合、画面は通信画面に切り替わり、音声電話に出ることはできません。通信の着信が切れたり通信を終了したりすると、音声電話に出られるようになります。

i モード中・データ通信中に音声電話をかけます

● 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）（→ P491）または Phone To 機能（→ P281）を使用してのみ音声電話をかけることができます。

〈例〉サイト表示中に平型スイッチ付イヤホンマイクを使って音声電話をかけるとき

1 i モード中に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1 秒以上押す

発信しています
佐藤友子
03XXXXXXXX

電話がつながります。

次ページへ続く

2 お話しが終わったら（電話ボタン）または平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを１秒以上押す

サイト表示中画面に戻ります。

お知らせ

- ｉモード中でもPhone To機能を使用してテレビ電話をかけることはできますが、ｉモードは切断されます。→P281

ｉモード中・データ通信中に音声電話を受けます

〈例〉サイト表示中に音声電話を受けるとき

1 電話がかかってくる

着信中の画面が表示されます。

2 （電話ボタン）を押す

電話がつながります。

3 お話しが終わったら[終話]を押す

サイト表示中画面に戻ります。

自動的に電源を入れます ＜自動電源ON＞

お買い上げ時　停止する

指定した時刻にFOMA端末の電源が自動的に入るように設定します。また、設定を1回のみとするか、毎日繰り返し行うかを設定します。

- 日付・時刻の設定が必要です。→P58
- 自動的に電源を切る時刻と同時刻に設定することはできません。→P457

1 待受画面で[メニュー]▶「# 詳細な機能を設定する」▶「9 決めた時刻に電源を入／切する」▶「1 電源が入る時刻を設定する」を押す

「1 自動電源入」：自動で電源を入れるかどうかを設定します。

「2 時刻」：自動で電源を入れる時刻を設定します。

「3 繰り返し」：自動で電源を入れる設定を繰り返すかどうかを設定します。

次ページへ続く

2 「1 自動電源入」を押す

決めた時刻に
電源を
入れますか？

1入れる
2入れない

決定

「1 入れる」　：自動で電源を入れるようにします。
「2 入れない」：自動で電源を入れないようにします。

3 「1 入れる」を押す

電源が入る時刻を
設定してください
(0~23時0~59分)

00時00分

確定

●「2 入れない」：操作 6 に進みます。

4 時刻を入力▶決定を押す

繰り返しの種類を
選んでください

1毎日繰り返す
2繰り返さない

決定

●24 時間制で入力します。時、分が 1 桁のときは、前に 0 を付けます。

「1 毎日繰り返す」：毎日指定した時刻に自動で電源を入れます。
「2 繰り返さない」：1 回のみ指定した時刻に自動で電源を入れます。

5 「1 毎日繰り返す」または「2 繰り返さない」を押す

電源が入る機能を設定する画面に戻ります。

6 電話帳を押す

電源を入れる設定を起動／停止した旨のメッセージが表示されます。

7 決定を押す

メニュー画面に戻ります。
●終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- PIN1コードを使用するように設定しているときは（→P181）、指定した時刻に電源が入った後、PIN1コード入力の画面が表示されます。PIN1コード入力後、待受画面が表示されます。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく、自動電源ONの設定も解除してください。

自動的に電源を切ります ＜自動電源OFF＞

お買い上げ時　停止する

指定した時刻にFOMA端末の電源が自動的に切れるように設定します。また、設定を1回のみとするか、毎日繰り返し行うかを設定します。

- 日付・時刻の設定が必要です。→P58
- 自動的に電源を入れる時刻と同時刻に設定することはできません。→P455

1 待受画面で（メニュー）▶「# 詳細な機能を設定する」▶「9 決めた時刻に電源を入／切する」▶「2 電源が切れる時刻を設定する」を押す

決めた時刻に
電源を切る機能を
設定してください
1自動電源切
停止する
2時刻　00時00分
3繰り返し
繰り返さない
変更　完了

「1 自動電源切」：自動で電源を切るかどうかを設定します。

「2 時刻」：自動で電源を切る時刻を設定します。

「3 繰り返し」：自動で電源を切る設定を繰り返すかどうかを設定します。

2 「1 自動電源切」を押す

決めた時刻に
電源を
切りますか？
1切る
2切らない
決定

「1 切る」：自動で電源を切るようにします。

「2 切らない」：自動で電源を切らないようにします。

次ページへ続く

3 「1 切る」を押す

電源を切る時刻を
設定してください
(0~23時0~59分)

00時00分

確定

●「2 切らない」：操作 6 に進みます。

4 時刻を入力▶決定を押す

繰り返しの種類を
選んでください

1毎日繰り返す
2繰り返さない

決定

● 24 時間制で入力します。時、分が 1 桁のときは、前に 0 を付けます。

「1 毎日繰り返す」：毎日指定した時刻に自動で電源を切ります。

「2 繰り返さない」：1 回のみ指定した時刻に自動で電源を切ります。

5 「1 毎日繰り返す」または「2 繰り返さない」を押す

電源を切る機能を設定する画面に戻ります。

6 電話帳を押す

電源を切る設定を起動／停止した旨のメッセージが表示されます。

7 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●終話キーを押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 待受画面表示中以外のときに指定した時刻になった場合、電源は切れません。動作中のそれぞれの機能を終了して待受画面に戻った後、電源が切れます。
● 目覚ましや予定の通知と本機能を同時刻に設定すると、終話キーを押して目覚ましや予定の通知の動作を終了した後に電源が切れます。
● 目覚ましが動作しているときに終話キー以外のボタンを押してスヌーズ動作（→P463）にすると、スヌーズ動作がすべて終了した後か、終話キーを押してスヌーズ動作を終了した後に電源が切れます。

目覚ましや予定の時刻に自動的に電源を入れます<通知時刻自動電源ON>

お買い上げ時　入れない

目覚ましや予定の通知の時刻に電源が切れているとき、電源を自動的に入れて目覚まし音や音声が鳴るようにします。

1 待受画面で（メニュー）▶「6 目覚まし・予定を登録する」▶「4 通知の時刻に電源を入れる」を押す

目覚ましや予定の
通知の時刻に
電源を
入れますか？

1入れる
2入れない

決定

「1 入れる」　：目覚ましや予定の通知の時刻に電源を入れます。

「2 入れない」：目覚ましや予定の通知の時刻に電源を入れません。

2 「1 入れる」を押す

目覚ましや予定の通知の時刻に電源を入れるように設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● （終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- PIN1 コードを使用するように設定している場合（→ P181）、指定した時刻に電源が入ると、PIN1 コード入力画面の表示よりも優先して目覚ましが動作します。このとき、ダウンロードしたメロディを目覚まし音に設定していた場合は「目覚まし 1」が鳴ります。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく、通知時刻自動電源 ON の設定も解除してください。

指定した時刻に目覚まし音でお知らせします<目覚まし機能>

お買い上げ時　目覚まし：停止

指定した時刻になったことを、設定した目覚まし音でお知らせします。1回のみ行うか、毎日繰り返し行うか、特定の曜日で繰り返して行うかを設定します。

● 日付・時刻の設定が必要です。→P58
● 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を使用できません。→P193
● 電源を切っている場合は、指定した時刻になっても目覚ましは動作しません。目覚ましを動作させるには、目覚ましや予定の通知の時刻に自動的に電源を入れる設定を行ってください。→P459

1 待受画面で（メニュー）▶「6 目覚まし・予定を登録する」▶「1 目覚ましを使う」を押す

目覚ましを
設定してください
1目覚まし　停止
2時刻　00時00分
3繰り返し
　毎日繰り返す
4音　目覚まし1
5音量　4
変更　完了

項　目	説　明
1 目覚まし	目覚ましを起動／停止します。
2 時刻	目覚ましの開始時刻を設定します。
3 繰り返し	目覚ましを繰り返し動作させるかどうかを設定します。
4 音	目覚まし音の種類を設定します。
5 音量	目覚まし音の音量を設定します。

2 「1 目覚まし」を押す

目覚ましを
動かしますか？
1動かす
2止める
決定

「1 動かす」：目覚ましを起動します。
「2 止める」：目覚ましを停止します。

3 「1 動かす」を押す

時刻を
設定してください
(0~23時0~59分)
00時00分
確定

● 「2 止める」：操作 10 に進みます。

4 時刻を入力▶決定を押す

繰り返しの種類を
設定してください
1毎日繰り返す
2曜日を指定する
3繰り返さない
決定

● 24 時間制で入力します。時、分が 1 桁のときは、前に 0 を付けます。

「1 毎日繰り返す」　：毎日目覚ましを起動します。
「2 曜日を指定する」：特定の曜日に目覚ましを起動します。
「3 繰り返さない」　：1回のみ目覚ましを起動します。

5 「1 毎日繰り返す」～「3 繰り返さない」のいずれか 1 つの番号を押す

● 「1 毎日繰り返す」：操作 8 に進みます。
● 「3 繰り返さない」：操作 8 に進みます。

6 「1 日曜日」～「7 土曜日」のうち、選択する項目の番号を押す

曜日を選びます
1☑日曜日
2□月曜日
3□火曜日
4□水曜日
5□木曜日
6□金曜日
7□土曜日
全選択　解除　決定

● 押したダイヤルボタンに対応した数字の□が☑に変わります。
● 決定：曜日を選択／解除します。
● メニュー：すべての曜日を選択／解除します。

次ページへ続く

7 電話帳を押す

メロディ一覧が表示されます。

8 フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押す

目覚ましの音量を調節してください
大
小
音量4
決定

●操作方法→P443 操作2～3

9 または音量ボタン（△▽）を押して音量を調節▶決定を押す

目覚ましの設定画面に戻ります。

10 電話帳を押す

目覚ましを設定した旨のメッセージが表示されます。

●目覚ましと同時に電源を入れるには、待受画面でメニュー▶「6目覚まし・予定を登録する」▶「4 通知の時刻に電源を入れる」を押して設定します。→P459

11 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●を押すと待受画面に戻ります。

●目覚ましを設定すると、待受画面にが表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイにが表示されます。

目覚まし時刻になると

設定した時刻になるとディスプレイの照明が点灯して左の画面が表示され、設定した音と音量で目覚まし音が鳴ります。

- 目覚ましが動作しているときにを押すと目覚ましが止まり、目覚ましが動作する前の画面に戻ります。
- 目覚ましが動作しているときに次の操作をすると、左の画面や目覚ましが止まり、スヌーズ動作（1分間鳴った後、4分間停止）を30分間繰り返します。
  - 約1分間何も操作をしない
  - 、音量ボタン（）、（）以外のいずれかのボタンを押す
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「時間です」と時刻が表示されます。を押すと目覚ましが止まり、スヌーズ動作を30分間繰り返します。

■ 設定した時刻に通話を行っているとき

目覚まし音ではなく警告音が鳴り、画面の表示でお知らせします。を押すと通話中画面に戻ります。

■ 設定した時刻に目覚ましの設定画面を表示しているときや電源を切っているとき、ソフトウェア更新中のとき

目覚ましは動作せずに、次のようになります。

- 繰り返しを「毎日繰り返す」または「繰り返さない」に設定している場合は、翌日の同時刻に目覚ましが動作するように再設定されます。
- 繰り返しを「曜日を指定する」に設定している場合は、翌日以降の指定された曜日の同時刻に目覚ましが動作するように再設定されます。

■ 設定した時刻にデータの送受信（パケット通信は除く）や電話の発着信・切断を行っているとき

それぞれの動作が終了すると、目覚ましが動作します。

■ 公共モード中のとき

目覚まし音は鳴らず、ディスプレイの照明も点灯せずに画面の表示のみでお知らせします。

■ マナーモード中のとき

目覚まし音は鳴らず、パターンAで振動してお知らせします。→P163

予定を管理します<予定表>

行事や用件などの予定を登録して、必要なときに確認できるようにします。登録した予定の日時になると音声で通知するように設定することもできます。

- 予定表の使用には、日付・時刻の設定が必要です。→P58
- 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を使用できません。→P193
- 最大300件登録できます。

カレンダーを表示します

予定は、カレンダー画面から登録、確認します。

1 待受画面で メニュー ▶「6 目覚まし・予定を登録する」▶「2 予定表を使う」を押す

2005年 9月						
日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8

前の月 決定 次の月

カーソル

当日はピンク（画面配色設定で白黒反転に設定している場合は黄色）、土曜日は青、日曜日・祝日は赤で表示されます。予定を登録している日付は左上に◤が表示されます。

- ：カーソルを移動します。
- メニュー：前の月が表示されます。
- 電話帳：次の月が表示されます。
- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- カレンダーは2000年1月1日から2060年12月31日まで表示できます。
- カレンダーの祝日設定は、「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成13年6月22日・法律第59号）」に基づいています（2005年8月現在）。
  ただし、春分の日・秋分の日は、前年2月1日の官報で発表されるため、カレンダーの表示と異なる場合があります。また、上記法律は2003年1月から施行されていますが、2002年までの海の日と敬老の日については改正前の日付では表示されませんのでご注意ください。

予定を登録します

1 カレンダー画面で登録する日付を選択▶決定を押す

予定はありません
登録しますか？
1登録する
2登録しない
決定

■ すでに予定を登録している日付に追加するとき

カレンダー画面で登録する日付を選択▶決定▶電話帳を押す

操作 3 に進みます。

「1 登録する」　：予定を登録します。
「2 登録しない」：予定を登録しません。

2 「1 登録する」を押す

予定を
入力してください
1予定の内容
2時刻　指定なし
3通知　なし
変更　完了

3 「1 予定の内容」を押す

予定の内容を
入力してください
メニュー　確定　ガイド

4 予定の内容を入力▶決定を押す

予定の時刻を
指定しますか？
1指定する
2指定しない
決定

● 全角で最大 45 文字、半角で最大 90 文字入力できます。

「1 指定する」　：予定の時刻を指定します。
「2 指定しない」：予定の時刻を指定しません。

その他の便利な機能

予定表

次ページへ続く

5 「1 指定する」を押す

予定の時刻を
入力してください
(0~23時0~59分)
13時23分
確定

●「2 指定しない」：操作 8 に進みます。

6 予定の時刻を入力▶ 決定 を押す

予定の時刻に
通知しますか？
1通知する
2通知しない
決定

● 24時間制で入力します。時、分が 1 桁のときは、前に 0 を付けます。

「1 通知する」　：予定の時刻に通知します。

「2 通知しない」：予定の時刻に通知しません。

7 「1 通知する」を押す

予定を
入力してください
1予定の内容
ドライブ
2時刻　14時00分
3通知　　あり
変更　完了

8 電話帳 を押す

予定を登録した旨のメッセージが表示されます。

9 決定 を押す

9月15日(木)予定
1/1件
14:00
ドライブ
メニュー　決定　新規

予定一覧画面が表示されます。

● 戻る を押すとカレンダー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

● 予定の時刻に通知する設定にしているときは、待受画面に が表示されます。FOMA 端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに が表示されます。

その他の便利な機能

予定表

お知らせ

- 最大登録件数を超えるときは、登録できない旨のメッセージが表示されます。不要な予定を削除してください。→P471
- 予定表に登録した内容は、別にメモを取るなどして保管してください。

予定を通知する日時になると

通知を設定した時刻になると、ディスプレイの照明が点灯して次の画面が表示され、「予定の時刻です」という音声でお知らせします。

14：00
ドライブ

- △、▽、⊖（📷）以外のボタンを押すと音声が止まります。予定の内容を確認し、決定を押すと予定の通知が動作する前の画面に戻ります。同じ日時に複数の予定を通知するように設定している場合は、決定を押すと次の予定の内容が確認できます。
- ☎を押すと音声が止まり、予定の通知が動作する前の画面に戻ります。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「予定時刻です」と表示されます。🔊を押すと音声が止まります。

お知らせ

- 通知音声の音量は、着信音量で設定している音量です。
- 通知時間は1分間です。何も操作せずに1分経過すると自動的に止まります。
- 設定した時刻に他の操作をしていたときや、公共モード中、マナーモード中などの動作は目覚ましと同様です。→P463

予定を確認します

1 カレンダー画面で確認する日付を選択▶決定を押す

予定一覧画面が表示されます。

9月15日(木)予定
1/4件
10:00
買い物
14:00
ドライブ
18:00
食事
メニュー　決定　新規

次ページへ続く

2 確認する予定を選択▶決定を押す

予定の詳細が表示されます。

9月15日(木)予定
1/4件
予定の内容
買い物
時刻 10:00
通知 なし
メニュー ◀一覧▶ 修正

- 戻るを押すと予定一覧画面に戻ります。
- を押すと待受画面に戻ります。

■ 表示中の予定を変更するとき

① 予定詳細画面で電話帳を押す
② 修正する項目を選択▶決定▶内容を修正
③ 電話帳を押す

予定を登録した旨のメッセージが表示されます。

■ 表示中の予定を削除するとき

① 予定詳細画面でメニュー▶「2 削除する」を押す
②「1 削除する」を押す

予定を削除した旨のメッセージが表示されます。

予定をコピーします

登録済みの予定を、別の日付にコピーします。

1 カレンダー画面でコピーする予定を登録している日付を選択▶決定を押す

2 コピーする予定を選択▶メニューを押す

1 登録する
2 修正する
3 削除する
4 指定日にコピー
5 翌日にコピー
6 日付を変更
戻る 決定

■ コピーする日付を指定するとき

①「4 指定日にコピー」を押す
② コピーする日付を入力▶決定を押す

予定をコピーした旨のメッセージが表示されます。

- 西暦は下 2 桁を入力します。月、日が 1 桁のときは、前に 0 を付けます。

■ 翌日にコピーするとき

「5 翌日にコピー」を押す

予定をコピーした旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

コピーした予定が予定一覧画面に表示されます。

- 戻るを押すとカレンダー画面に戻ります。
- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 予定詳細画面からコピーする場合は、メニュー ▶「3 指定日にコピー」または「4 翌日にコピー」を押します。

予定の日付を変更します

登録済みの予定の日付を変更します。日付を変更しても、予定の内容、時刻、通知の設定はそのまま引き継がれます。

1 カレンダー画面で変更する予定を登録している日付を選択 ▶ 決定 を押す

2 変更する予定を選択 ▶ メニュー ▶「6 日付を変更」を押す

3 日付を入力 ▶ 決定 を押す

予定の日付を変更した旨のメッセージが表示されます。

● 西暦は下 2 桁を入力します。月、日が 1 桁のときは、前に 0 を付けます。

お知らせ

● 予定詳細画面から変更する場合は、メニュー ▶「5 日付を変更」を押します。

知られたくない予定を守ります＜シークレット属性設定／解除＞

他の人に見られたくない予定には、シークレット属性を設定します。シークレット属性を設定するには、FOMA 端末をシークレットモードに設定する必要があります。

1 シークレットモードを設定する

●操作方法→ P192

2 カレンダー画面でシークレット属性を設定する予定を登録している日付を選択 ▶ 決定 を押す

3 シークレット属性を設定する予定を選択 ▶ 決定 ▶ メニュー ▶「6 シークレット属性設定」▶「1 設定する」を押す

シークレット属性を設定した旨のメッセージが表示されます。

次ページへ続く

4 決定を押す

9月15日(木)予定
4/4件
予定の内容
飲み会
時刻 20:00
通知 あり
メニュー 一覧 修正

選択している予定にシークレット属性を設定しているとが点滅します。

予定詳細画面に戻ります。
- 戻るを押すと予定一覧画 面に戻ります。
- を押すと待受画面に戻ります。

■ シークレット属性を解除するとき

①シークレットモード中にシークレット属性を設定している予定詳細画面を表示する

②メニュー▶「6 シークレット属性解除」▶「1 解除する」を押す

シークレット属性を解除した旨のメッセージが表示されます。

お知らせ

- シークレット属性を設定している予定は、シークレットモード中のみ表示できます。また、予定の通知もシークレットモード中のみ動作します。
- シークレットモード中に登録した予定は、自動的にシークレット属性が設定されます。

予定の登録件数を確認します<登録件数確認>

予定の登録件数やシークレット属性を設定している予定（→P469）の件数などを表示して確認します。

1 待受画面でメニュー▶「6 目覚まし・予定を登録する」▶「3 予定の登録件数を見る」を押す

予定表登録件数
登録件数 5件
残り 295件
決定

2 確認が終わったら決定を押す

メニュー画面に戻ります。
- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- シークレットモード中は、シークレット属性を設定している予定の件数も表示します。

予定を削除します

1 **カレンダー画面で削除する予定を登録している日付を選択▶決定を押す**

2 **削除する予定を選択▶メニュー▶「3 削除する」を押す**

削除する予定を
選んでください
1選択１件
2選択１日
3選択日前日まで
4全件
決定

3 **「1 選択１件」～「4 全件」のいずれか１つの番号を押す**

予定を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **選択した予定のみ削除するとき**
「1 選択１件」を押す

■ **選択した日付の予定をすべて削除するとき**
「2 選択１日」を押す

■ **選択した日付より前の日付の予定をすべて削除するとき**
「3 選択日前日まで」を押す

■ **すべての予定を削除するとき**
「4 全件」▶４～８桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

4 **「1 削除する」を押す**

予定を削除した旨のメッセージが表示されます。
- 「2 削除しない」：削除を中止します。

5 **決定を押す**

カレンダー画面に戻ります。
- 予定を削除した日付に他の予定がある場合と、選択した日付より前の日付の予定をすべて削除した場合は予定一覧画面に戻ります。
- ☎を押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く

お知らせ

● シークレット属性を設定している予定は、シークレットモード中のみ削除できます。

通話時間・積算時間を確認します <通話時間表示／積算時間表示>

直前に行った音声電話、テレビ電話、データ通信いずれかの通話時間と、これまでに行った通話の積算時間を確認します。

● 発信／着信どちらの場合でも、直前に行った通話時間が表示されます。

● 以前に積算の通話時間をリセット（→P473）した場合は、リセット時から現在までの積算した通話時間が表示されます。

● 表示される時間はあくまでも目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。

1 待受画面でメニュー▶「# 詳細な機能を設定する」▶「7 情報の表示やリセットを行う」▶「1 通話時間を見る」を押す

確認する項目を
選んでください
1直前の通話時間
2積算の通話時間
決定

「1 直前の通話時間」：直前に行った通話時間を表示します。

「2 積算の通話時間」：現在までの積算した通話時間を表示します。

2 「1 直前の通話時間」または「2 積算の通話時間」を押す

通話時間
直前の通話時間
01分 17秒
決定

<直前の通話時間>

積算通話時間
音声電話
1時間 53分 32秒
テレビ電話
20分 34秒
データ通信
00秒
決定

<積算の通話時間>

● 決定を押すと項目の選択画面に戻ります。

● 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

その他の便利な機能

予定表／通話時間表示／積算時間表示

お知らせ

- 直前の通話時間、積算の通話時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
- ｉモード通信、パケット通信の通信時間はカウントされません。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。

積算時間をリセットします＜積算リセット＞

積算の通話時間をリセットします。

1 待受画面で（メニュー）▶「# 詳細な機能を設定する」▶「7 情報の表示やリセットを行う」▶「3 通話時間をリセットする」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶ 決定 を押す

積算時間を
ﾘｾｯﾄする項目を
選んでください

1音声電話
2テレビ電話
3データ通信
4全ての通話
決定

「1 音声電話」　：音声電話の積算時間をリセットします。
「2 テレビ電話」：テレビ電話の積算時間をリセットします。
「3 データ通信」：データ通信の積算時間をリセットします。
「4 全ての通話」：すべての積算時間をリセットします。

3 「1 音声電話」～「4 全ての通話」のいずれか1つの番号を押す

リセットするかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1 リセットする」を押す

積算時間をリセットした旨のメッセージが表示されます。

- 「2 リセットしない」：リセットを中止します。

5 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

- （終話）を押すと待受画面に戻ります。

通話料金・積算料金を確認します ＜通話料金表示／積算料金表示＞

直前に行った音声電話、テレビ電話、データ通信いずれかの通話料金と、これまでに行った通話の積算料金を確認します。

- 以前に積算の通話料金をリセット（→P475）した場合は、リセット時から現在までの積算した通話料金の目安が表示されます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などにかけた場合は、直前通話料金に「0円」または「******」が表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算）が表示されます。
  ※901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積された料金を表示することはできません（FOMAカードには蓄積されています）。
- 表示される通話料金はあくまで目安であり、実際の通話料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれていません。

1 待受画面でメニュー▶「# 詳細な機能を設定する」▶「7 情報の表示やリセットを行う」▶「2 通話料金を見る」を押す

通話料金
直前通話料金
80 円
積算通話料金
6,529 円
前回リセット日時
2005年09月01日
10時45分
決定

- 決定を押すとメニュー画面に戻ります。
- 終話を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- ｉモード通信、パケット通信の通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- FOMA端末の電源を入れ直すと、直前通話料金に「******」が表示されます。

積算料金をリセットします<積算リセット>

積算の通話料金をリセットします。

1 **待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「7 情報の表示やリセットを行う」▶「4 通話料金をリセットする」を押す**

PIN2 コード入力画面が表示されます。

2 **PIN2 コードを入力 ▶ 決定 を押す**

PIN2 コードが認証された旨のメッセージが表示されます。

3 **決定 を押す**

リセットするかどうかの確認画面が表示されます。

4 **「1 リセットする」を押す**

積算通話料金をリセットした旨のメッセージが表示されます。

● 「2 リセットしない」：リセットを中止します。

5 **決定 を押す**

メニュー画面に戻ります。

● 終話 を押すと待受画面に戻ります。

ワンタッチで大音量アラームを鳴らします<ワンタッチアラーム>

お買い上げ時 無効にする

あらかじめワンタッチアラームを有効にしておくと、緊急時にワンタッチ操作で大音量のアラーム音を鳴らすことができます。

ワンタッチアラームを有効にします

1 待受画面で メニュー ▶「9 初めに行う設定」▶「9 ワンタッチアラームを使う」を押す

ワンタッチアラームを
有効にしますか?
マナーモード設定中も
アラームが鳴ります

1 有効にする
2 無効にする

決定

「1 有効にする」:ワンタッチアラームを有効にします。
「2 無効にする」:ワンタッチアラームを無効にします。

2 「1 有効にする」を押す

ワンタッチアラームを有効にした旨のメッセージが表示されます。

3 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。
- 待受画面に 、背面ディスプレイに が表示されます。

アラームを鳴らします

1 **本体裏面の(　)を押しながら外側にスライドさせ、スイッチを入れる**

ここを押す

ワンタッチアラームを鳴らしています
アラームを止めるには本体裏面にあるスイッチを元に戻してください

アラーム音が鳴り、着信ランプが赤色に点滅し、バイブレータが振動します。

● スイッチを元に戻すとアラームが止まります。元に戻すときは(　)を押さなくてもスライドできます。

■「ワンタッチアラームが無効です」と表示される場合

ワンタッチアラームが無効です
本体裏面にあるスイッチを元に戻してください。アラームを鳴らすにはメニュー[9][9]から設定してください

- ワンタッチアラームを「無効にする」に設定しているときにスイッチを入れると、ワンタッチアラームは動作しません。左の画面が表示されるので、スイッチを元に戻してください。ただし、ほかの機能の動作中にスイッチを入れたときは、機能を終了した後に左の画面が表示される場合があります。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「ワンタッチアラーム無効」と表示されます。

次ページへ続く

■「本体裏面にあるワンタッチアラームのスイッチを元に戻してください」と表示される場合

本体裏面にある
ﾜﾝﾀｯﾁｱﾗｰﾑの
ｽｲｯﾁを元に
戻してください

- ワンタッチアラームを「有効にする」に設定していて、次の場合にスイッチを入れると、ワンタッチアラームは動作しません。左の画面が表示されるので、スイッチを元に戻してください。
  - 電源を入れて起動中のとき
  - ソフトウェア更新で書き換え中のとき
  - パソコンとデータ通信中のとき
  - 電池が切れそうなとき→P55
- ワンタッチアラーム動作中に、次の場合はワンタッチアラームが停止します。左の画面が表示されるので、スイッチを元に戻してください。
  - 音声電話やテレビ電話がかかってきたとき
  - ソフトウェア更新中にスイッチを入れ、書き換えが始まったとき
  - 電池が切れそうになったとき→P55
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「ワンタッチアラーム利用不可」と表示されます。

お知らせ

- 電源が入っていないときは、ワンタッチアラームは動作しません。
- ワンタッチアラームの音量は調節できません。大音量で音が鳴りますので、ご使用の際はご注意ください。
- 通話中にスイッチを入れた場合、通話は切断されワンタッチアラームが動作します。
- 着信中にスイッチを入れた場合、着信は切断されワンタッチアラームが動作します。かかってきた電話は、着信履歴に記録されます。
- マナーモード中、オールロック中もワンタッチアラームは動作します。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続していても、アラーム音はFOMA端末のスピーカーから鳴ります。
- ワンタッチアラーム動作中に自動電源OFFの時刻になったときは、電源は切れません。ワンタッチアラームを止めた後に電源が切れます。
- ワンタッチアラーム動作中に目覚ましや予定の通知の時刻になったときは、ワンタッチアラームを止めた後に目覚まし音や音声が鳴ります。
- 長期間に渡って使用しない場合、定期的に操作して正常に動作することを確認してください。
- ワンタッチアラームは、周囲の注意をこちらに向けるためのもので、犯罪防止や安全を保障するものではありません。本機能を使用した際に、万一損害が発生したとしても、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電卓として使います<電卓>

FOMA 端末で＋、－、×、÷の計算ができます。

1 待受画面で メニュー ▶「7 電卓を使う」を押す

<電卓画面>

●電卓画面のデザインは、操作に使用するボタンの位置と機能がわかるようになっています。

2 計算する

●次のボタンを押して操作ができます。

操作ボタン	説　明
0〜9	数字を入力します。
▲(メール)	掛け算を行います。
▼	割り算を行います。
◀	引き算を行います。
▶	足し算を行います。
決定	計算を実行します。
メニュー	計算を取り消します。
*	小数点を入力します。
#	表示中の数字の＋と－を切り替えます。

〈例〉18 ＋ 30 ＝を計算するとき

1	8	＋	3	0	＝	→ 48 と表示されます。
1	8	▶	3	0	決定	

●メニューを押すと計算結果が消去されます。
●終話キーを押すと待受画面に戻ります。

次ページへ続く

お知らせ

- 最大 8 桁入力できます。
- 計算結果の整数部分が 8 桁を超えるとエラーとなり、「E」と表示されます。解除するには、メニューを押します。小数点を含む数値が 8 桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されて表示されます。

歩数計として使います<歩数計>

お買い上げ時 利用しない

歩数計を設定すると、カウントした歩数から歩いた距離と消費カロリーを計算して、表示します。
有酸素運動の目安となる「しっかり歩行」をカウントしたり、毎日の歩数データを指定した宛先へ自動的にメールで送信したりできます。

- 歩数計の利用には、日付・時刻の設定が必要です。→ P58
- 次の場合は、歩数のカウントを行いません。
  - 電源が入っていないとき
  - 歩数計を「利用しない」に設定しているとき
  - FOMA 端末が開いた状態のとき
  - バイブレータが振動しているとき
- カウントした歩数は、あくまでも目安としてご活用ください。
- カウントする歩数は、装着のしかたや歩きかたによって正確にカウントされない場合があります。

しっかり歩行とは

しっかり歩行の歩数および歩行時間は、有酸素運動（呼吸によって取り入れられる酸素を効果的に使い、全身持久力を高めつつ体脂肪を効果的に燃やす運動）の目安となる歩行を計測したものです。
FOMA 端末で次の条件を満たしたとき自動的にカウントされます。

- 毎分 60 歩以上の速さで歩くこと
- 10 分以上続けて歩くこと（1 分以内の休息は継続したものとします）

〈例〉毎分 120 歩の速さで 20 分歩いた場合、しっかり歩行の歩数は 2400 歩となります。

歩数計利用時の注意事項

正確に歩数をカウントするためには、正しく装着して毎分 100 ～ 120 歩程度の速さで歩くことをおすすめします。
また、装着するときは次の点にご注意ください。

- キャリングケース（別売）に入れるときは、キャリングケースを腰のベルトなどに装着してください。
- かばんに入れるときには、ポケットや仕切りの中に入れてください。

歩数カウント中のご注意

次の場合は、歩数を正確にカウントしないことがあります。

● FOMA 端末が地面と水平のとき

● FOMA 端末が地面に対して垂直から前後 30 度以上傾いているとき
垂直から前後 30 度以内の傾きであればカウントします。

30° 30°

地面に対して垂直であれば、傾いても逆さまになってもカウントします。

● FOMA 端末が不規則に動くとき
- FOMA端末を入れたバッグが足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
- FOMA端末を腰やバッグからぶら下げたとき

● 不規則な歩行をしたとき
- すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
- 混雑した場所を歩くときなど、歩行が乱れたとき

● 上下運動や振動の多い所で使用したとき
- 立ったり、座ったりしたとき
- 歩行以外のスポーツを行ったとき
- 階段や急斜面の昇り降りを行ったとき
- 乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車中の上下振動または横揺れのとき

● ジョギングをしたり、極端にゆっくり歩いたとき

歩数計を設定します

1 **待受画面で［メニュー］▶「8 歩数計を使う」▶「1 歩数計の利用／停止を設定する」を押す**

歩数計を
　利用しますか？
1利用する
2利用しない
決定

「1 利用する」　：歩数計を設定します。
「2 利用しない」：歩数計を停止します。

2 **「1 利用する」を押す**

歩数計の測定値は
あくまでも
目安として
ご利用ください
決定

● 「2 利用しない」：操作 6 に進みます。

3 **決定を押す**

あなたの歩幅を
入力してください
(30～120cm)
50 cm
確定

4 **歩幅を入力▶決定を押す**

あなたの体重を
入力してください
(30～120kg)
50 kg
確定

● 歩幅とは、1 歩歩いたときのつま先からつま先までの長さです。10 歩歩いた距離を歩数（10）で割ると、誤差が少なく測れます。
● 30 ～ 120cm の範囲で設定できます。

5 体重を入力▶決定を押す

歩数計を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 30～120kgの範囲で設定できます。

6 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- (電話ボタン)を押すと待受画面に戻ります。
- 本機能を使用中は、待受画面に(歩行アイコン)が表示され、歩数がカウントされます。

カウント中の歩数を確認します

歩数計利用中は、FOMA端末を折り畳んでいると、背面ディスプレイに歩数が表示されます。

自 Tıl
今日 321歩
13時23分

- (ボタン)を押すたびに、通常歩行の歩数→しっかり歩行の歩数→日付の順で、表示が切り替わります。
  通常歩行の歩数　　：歩数計でカウントした歩数
  しっかり歩行の歩数：10分以上続けて歩いたときの歩数

お知らせ

- 歩き始めは、誤カウントを防ぐために歩行を始めたかどうかを判断しているため、表示が変わりません。目安として4秒程度歩くとそこまでの歩数が一度に表示されます。
- 歩数は999999歩まで表示されます。999999歩を超えた場合は、下6桁のみ表示されます。
- カウントした歩数は、約10分ごとに保存されます。歩数計を使用中に、FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されていない歩数が消失してしまう場合があります。

歩数の履歴を確認します

毎日午前0時0分になると、一日分の歩数の履歴が自動的に保存されます。次の項目の履歴を、当日を含めて過去32日分、確認できます。

表示項目	内　容
通常歩行の歩数	通常歩行の一日分の歩数が表示されます。
通常歩行の距離	歩数と設定した歩幅から算出した歩行距離が表示されます。
通常歩行のカロリー	歩数、歩行時間、設定した体重から算出した消費カロリーが表示されます。ただし、1分間の歩数が30歩未満の場合は、カロリー計算は行われません。
しっかり歩数	しっかり歩行の一日分の歩数が表示されます。
しっかり歩行(時計)	しっかり歩行の一日分の歩行時間が表示されます。

次ページへ続く

1 待受画面でメニュー▶「8歩数計を使う」▶「2歩数の履歴を表示する」を押す

通常歩行	
	1/5件
09/15	1750歩
09/14	3000歩
09/13	3500歩
09/12	3000歩
09/11	3500歩
メニュー	決定

通常歩行の歩数の履歴が表示されます。

■ 歩いた距離を確認するとき

履歴が表示されている画面でメニュー▶「2通常歩行の距離」を押す

■ 消費カロリーを確認するとき

履歴が表示されている画面でメニュー▶「3通常歩行のカロリー」を押す

■ しっかり歩行の歩数を確認するとき

履歴が表示されている画面でメニュー▶「4しっかり歩数」を押す

■ しっかり歩行の時間を確認するとき

履歴が表示されている画面でメニュー▶「5しっかり歩行⏲」を押す

■ 歩数の履歴をメールで送信するとき

履歴が表示されている画面でメニュー▶「6メールで送る」を押す

- 以降の操作はｉモードメールを作成して送信する操作と同様です。
  →P325 操作2以降（操作4～5は必要があるときのみ操作してください）
- 送信される内容は歩数自動送信メールと同様です。→P489

2 確認が終わったら決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●📞を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 歩数は999999歩まで表示されます。999999歩を超えた場合は、下6桁のみ表示されます。
- 距離は999999kmまで表示されます。999999kmを超えた場合は、下6桁のみ表示されます。
- カロリーの算出は65535kcalまでです。
- 時間は99時間59分まで表示されます。99時間59分を超えた場合は、表示が0分に戻ります。
- FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによって、歩数の履歴が消失してしまう場合があります。また、歩数の履歴は、電池パックを外した状態や空の状態でも約1か月は保持されますが、それ以上経過すると消失してしまう場合があります。万一、歩数の履歴が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

歩数の履歴を削除します

すべての歩数の履歴を削除します

現在カウント中の歩数、履歴に保存されている歩数、歩数自動送信メールの累積歩数を削除します。歩数計の利用で設定した歩幅、体重の設定は削除されません。

1 待受画面で（メニュー）▶「8 歩数計を使う」▶「4 歩数の履歴を削除する」を押す

歩数の履歴を
削除しますか？
1削除する
2削除しない
決定

「1 削除する」 ：歩数の履歴を削除します。
「2 削除しない」：歩数の履歴を削除しません。

2 「1 削除する」を押す

履歴を削除した旨のメッセージが表示されます。

3 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。
● （終話）を押すと待受画面に戻ります。

今日の歩数を削除します

1 待受画面で（メニュー）▶「8 歩数計を使う」▶「5 今日の歩数を削除する」を押す

今日の歩数を
削除しますか？
1削除する
2削除しない
決定

「1 削除する」 ：今日の歩数を削除します。
「2 削除しない」：今日の歩数を削除しません。

次ページへ続く

2 「1 削除する」を押す

今日の歩数を削除した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● ☎を押すと待受画面に戻ります。

歩数の履歴をメールで自動送信します<歩数自動送信メール>

お買い上げ時　自動送信メール：送信しない

毎日指定した時間帯に、指定した宛先へ、最新の歩数の履歴を自動的にメールで送信します。

● ｉモードをご契約の方のみご利用になれます。
● 送信される歩数の履歴に当日分は含まれません。
● 設定できる歩数自動送信メールは１件のみです。
● 歩数自動送信メールを使用するための通信料は、お客様のご負担となります。

1 待受画面でメニュー▶「8 歩数計を使う」▶「3 歩数の自動送信メールを設定する」を押す

歩数の自動送信を
設定してください
1自動送信メール
送信しない
2送信先アドレス
3送信時間帯
18時～20時
変更　完了

2 「1 自動送信メール」を押す

毎日１回歩数を
指定した宛先に
メールで自動的に
送信しますか？
1送信する
2送信しない
決定

「1 送信する」　：歩数の履歴を自動的に送信します。
「2 送信しない」：歩数の履歴を自動的に送信しません。

3 「1 送信する」を押す

自動送信の宛先を
選んでください
1電話帳から選択
2直接入力する
3連携ｻｰﾋﾞｽ選択
決定

4 「2 直接入力する」▶宛先を入力▶決定を押す

歩数データの
送信先アドレスを
入力してください
⊠:定型ｱﾄﾞﾚｽ入力
ﾒﾆｭｰ 確定 ガイド

- 半角で最大 50 文字入力できます。
- i モード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- 英字入力モード時に 1 ：
  「@」「.」「-」などを入力できます。
- 英字入力モード時に ＊ ：
  「@docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。

■ 電話帳から選択するとき

① 「1 電話帳から選択」▶検索方法を選択▶決定を押す

電話帳の検索結果の一覧が表示されます。

- FOMA カードの電話帳から選択する場合は 電話帳 を押します。

② 送信する相手を選択▶決定を押す

送信する相手のメールアドレス画面が表示されます。

③ メールアドレスを選択▶決定を押す

5 送信時間帯を選択▶決定を押す

6 電話帳を押す

歩数の自動送信メールを設定した旨のメッセージが表示されます。

- 歩数計を「利用しない」に設定しているときは、歩数計が停止している旨のメッセージが表示されます。歩数計停止中は、歩数自動送信メールは送信されません。

7 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。
- 本機能を使用中は、待受画面に が表示されます。

送信時間帯になると

歩数自動送信メールは、送信時間帯に待受画面が表示されているときに送信されます。歩数自動送信メールが送信されると、ｉモードメールを送信した旨のメッセージが約3秒間表示されます。

送信しました

決定

● 歩数自動送信メールは、「送信したメールを見る」に保存されます。歩数自動送信メールは編集できません。

■ 送信に失敗したとき

送信時間帯に圏外にいたなどの理由で、自動送信に失敗した場合は、メール自動送信に失敗した旨のメッセージが表示されます。その場合は未送信メールとして保存され、自動で再送信されませんので、次の操作で再送信してください。

① 決定 ▶ メニュー ▶「3 メールを使う」▶「4 未送信のメールを見る」を押す

② 歩数自動送信メールを選択 ▶ メニュー ▶「1 送信する」を押す

■ FOMA端末を折り畳んでいるとき

ｉモードメールが自動的に送信されます。送信に失敗したときは、背面ディスプレイにメールの自動送信に失敗した旨のメッセージが表示されます。

お知らせ

● 次の場合は自動送信が行われず、未送信メールとして保存されます。
- セルフモード中
- FOMAカードを正しく取り付けていないときやFOMAカードに異常があるとき
- ダイヤル発信制限中で、電話帳に登録されていないメールアドレスを自動送信メールの送信先に設定しているとき（歩数計サービスへはダイヤル発信制限中でも自動送信されます）

● 送信時間帯に次の操作を行うと、当日の自動送信は行われず、未送信メールとしても保存されません。翌日から自動送信が行われます。
- 歩数自動送信メール設定の変更
- 日付・時刻の設定

● 送信時間帯に次の操作を行うと、自動送信される状態に戻しても、当日の自動送信は行われず、未送信メールとしても保存されません。翌日から自動送信が行われます。
- 電源を切る
- 歩数計の設定を「利用しない」に変更したとき

● 次の場合、自動送信は行われません。
- 前日の歩数の履歴がないとき
- 電源を切っているとき
- 歩数計を「利用しない」に設定しているとき
- オールロック中
- 個人の情報表示を制限しているとき

● メールの保存領域に空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、メールを作成できない旨のメッセージが表示され、自動送信できません。「未送信のメールを見る」から不要なｉモードメール、SMSを削除してください。

● 送信時間帯に待受画面が表示されなかった場合は、送信時間帯後に待受画面が表示されたとき自動送信されます。

歩数自動送信メールの内容

以下の内容のメールが自動的に作成され、送信されます。

送信箱
03/07件
05/09/15 16:51
To docomo.taro.…
題 2005/09/15 16:51 歩数
日付:2005/09/14
歩数:XXXXX歩
カロリー:XXXXkcal
累積歩数:XXXXX歩
しっかり歩数:XXXXX歩
しっかり累積歩数:XXXXX歩
- END -
メニュー　編集

送信日時が自動で入ります。

メール本文の項目	内　容
日付	歩数の計測日
歩数	計測日の通常歩行の歩数
カロリー	計測日の消費カロリー
累積歩数	いままでの通常歩行の累積歩数 （履歴に保存されている32日分より前の歩数も含まれます）
しっかり歩数	計測日のしっかり歩行歩数
しっかり累積歩数	いままでのしっかり歩行の累積歩数 （履歴に保存されている32日分より前の歩数も含まれます）

※ 歩数の数値が 0 の場合も送信されます。

歩数計サービスを利用します＜歩数計サービス＞

歩数自動送信メールを使用して、「@F ケータイ応援団」の歩数計サービスを利用できます。サービスの利用を設定すると、歩数の履歴が「@Fケータイ応援団」に自動送信され、「東海道五十三次」や「富士登山」などの仮想のコースを歩いて、チェックポイント通過時にそのポイントの写真や紹介文のメールを受け取ることができます。

- 歩数計サービスを利用するためにはｉモードのご契約が必要です。
- 歩数計サービスの利用料はかかりませんが、メールの送受信やｉモードサイトに接続するための通信料はお客様のご負担となります。
- ドメイン指定受信などによるメールの受信制限を行うと、歩数計サービスは利用できませんのでご注意ください。
- お客様ご自身のメールアドレスの変更を行うと、新たに歩数計サービスの利用開始となりますのでご注意ください。

次ページへ続く

●詳細は「@F ケータイ応援団」のサイトをご覧ください。

アクセス方法（2005 年 8 月現在）

待受画面で 決定 を 1 秒以上▶「1 Menu を見る」▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「@F ケータイ応援団」

※アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

1 歩数自動送信メールを「送信する」に設定する

操作方法→ P486 操作 1 ～ 3

2 「3 連携サービス選択」を押す

利用するｻｰﾋﾞｽを
選んでください

1東海道五十三次
2富士登山
3その他のコース

決定 ガイド

3 「1 東海道五十三次」～「3 その他のコース」のいずれか 1 つの番号を押す

● 以降の操作は「歩数自動送信メール」の操作 5 ～ 7 と同様です。→ P487
● 「3 その他のコース」を押した場合は、最初の自動送信後に送られてくるメールの指示に従って、コースを選択してください。

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた <スイッチ付イヤホンマイク>

イヤホンマイク端子に平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続すると、スイッチを押すだけで電話をかけたり受けたりすることができます。

- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをアンテナ部分に近づけると、雑音が入ることがあります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのプラグは、確実にFOMA端末に差し込んでください。差し込みが不十分な状態では、音が聞こえない場合があります。
- ステレオイヤホンセット（別売）には、対応しておりません。

スイッチ付イヤホンマイクを接続します

FOMA 端末に平型スイッチ付イヤホンマイクを接続します。

※イヤホンジャック変換アダプタ P001（別売）を使うと、従来のイヤホンマイクを使うことができます。

1 イヤホンマイク端子に、平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込む

イヤホンマイク
端子カバー

接続プラグ

スイッチを使って音声電話をかけます

あらかじめ電話帳番号０の１件目に、かけたい電話番号を登録すると、待受画面表示中に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すだけで、音声電話をかけることができます。

- 個人の情報表示を制限しているときには、本機能を使用できません。→P193

次ページへ続く

1 待受画面で平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピピッ」と音がするまで押し続けます。

電話帳番号 0 の 1 件目に登録されている電話番号に電話がかかります。

● FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに通信状態が表示されます。

2 お話しが終わったらスイッチを 1 秒以上押す

「ピッ」と音がするまで押し続けます。

● (終話キー)を押しても電話を切ることができます。

お知らせ

● 電話帳番号 0 にシークレット属性が設定されている場合は、スイッチを押して電話をかける前に、シークレットモードに設定してください。
● 通話中に別の相手の電話番号を入力してスイッチを 1 秒以上押しても、電話をかけることはできません。通話中の電話が切れるので、ご注意ください。
● オートスピーカーホン機能を設定中に平型スイッチ付イヤホンマイクを接続すると、設定が解除されます。
● 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続中は、FOMA 端末を折り畳んでも電話は切れません。

スイッチを使って電話を受けます

あらかじめ平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しておきます。

1 電話がかかってきたらスイッチを1秒以上押す

「ピピッ」と音がするまで押し続けると、電話がつながります。

- 着信音の鳴る位置は、スピーカー／イヤホン切替（→P167）の設定に従って鳴ります。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに通信状態が表示されます。

2 お話しが終わったらスイッチを1秒以上押す

「ピッ」と音がするまで押し続けます。

- [終話]を押しても電話を切ることができます。

お知らせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続中は、FOMA端末を折り畳んでも電話は切れません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続中にテレビ電話がかかってきた場合、イヤホンのスイッチを1秒以上押すとカメラオフ画像でテレビ電話を受けることができます。

音声電話中にかかってきた別の音声電話を受けます

キャッチホンをご契約いただくと、音声電話中に別の音声電話がかかってくると「ププ…ププ…」という通話中着信音（→P82）が聞こえます。サービスを「開始」に設定すると、キャッチホンがご利用いただけます。

1 通話中に電話がかかってくる

通話中着信音が聞こえます。

2 スイッチを1秒以上押す

キャッチホン中（マルチ接続中）の画面が表示されます。
最初の相手との通話が保留になり、後からかかってきた電話を受けます。

- 通話中に[電話帳]：通話の相手を切り替えます。
- 通話中に[決定]：現在通話中の相手も保留します。もう一度[決定]を押すと解除します。

イヤホンをつないで自動で電話を受けます <イヤホン接続時着信設定>

お買い上げ時 応答方法：手動

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続しているときに着信があった場合、設定した応答時間になると自動的に応答します。
音声電話またはテレビ電話を受けたとき、接続したイヤホンマイクなどから音声が聞こえます。

- テレビ電話を本機能で受けた場合、相手にはカメラオフ画像を送信して自動的にテレビ電話を開始します。
- 伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。
- 通話中の着信に対しては、本機能は動作しません。
- 公共モード中は、本機能は動作しません。

1 待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「2 電話・電話帳の詳細を設定する」▶「6 イヤホンマイク接続時に自動で着信する」を押す

イヤホンマイク使用中の
着信方法を
設定してください
1応答方法　手動
2応答時間　4秒
変更　完了

「1 応答方法」：自動と手動のどちらで接続するかを設定します。
「2 応答時間」：着信から自動で応答するまでの時間を設定します。

2 「1 応答方法」▶「2 自動で応答する」を押す

応答時間の設定画面が表示されます。

- 「1 手動で応答する」：手動で応答します。操作 4 に進みます。

3 時間を入力 ▶ 決定 を押す

平型スイッチ付イヤホンマイク使用中の着信方法の設定画面に戻ります。

- 応答時間の秒数を 0 ～ 120 の間で入力します。

4 電話帳 を押す

平型スイッチ付イヤホンマイク使用中の応答方法を設定した旨のメッセージが表示されます。

5 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●(終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- ●着信を拒否する相手の指定（→P196）、電話帳登録外の着信の拒否（→P203）、発信者番号通知のない相手に対する着信動作（→P199）を設定中は、対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。
- ●伝言メモの呼出時間と本機能の応答時間を同じ時間に設定できません。→P96
- ●本機能と無音着信時間設定（→P201）を同時に設定している場合、無音着信時間を本機能の応答時間以上に設定すると、本機能は動作しません。

各種機能の設定を初期状態に戻します＜設定リセット＞

お買い上げ時　すべて選択

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

●本機能を行ったときにお買い上げ時の状態に戻る機能については、付録の「メニュー一覧」をご覧ください。→P550

●「メニュー一覧」に記載されていない機能やお客様が登録したデータで、お買い上げ時の状態に戻るものは次のとおりです。

機能／データ	説　明
マナーモード	基本設定を選択すると解除されます。
公共モード	
ワンタッチダイヤル登録	
当日の歩数の履歴	基本設定を選択すると、当日カウントした歩数の履歴のみ消去されます。
予測変換機能で記録されたデータ	予測辞書データを選択すると消去されます。
単語登録のデータ	ユーザ辞書データを選択すると消去されます。
音声読み上げ単語登録のデータ	読上辞書データを選択すると消去されます。
ボイスメニュー ボイスダイヤル登録のデータ	呼出辞書データを選択すると消去されます。

次ページへ続く

1 待受画面でメニュー▶「# 詳細な機能を設定する」▶「7 情報の表示やリセットを行う」▶「6 設定を初めの状態に戻す」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8 桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

リセット項目選択
1☑基本設定
2☑メール設定
3☑モード設定
4☑ロック機能
5☑予測辞書データ
6☑ユーザ辞書データ
7☑読上辞書データ
全解除 解除 決定

3 「1 基本設定」～「8 呼出辞書データ」のうち、お買い上げ時の状態に戻さない項目の番号を押す

- 押したダイヤルボタンに対応した数字の☑が□に変わり、選択が解除されます。
- 決定：項目を選択／解除します。
- メニュー：すべての項目を選択／解除します。

4 電話帳を押す

選んだ項目をお買い上げ時の状態に戻すかどうかの確認画面が表示されます。

5 「1 戻す」を押す

選んだ項目をお買い上げ時の状態に戻した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 戻さない」：リセットを中止します。

6 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- 終話を押すと待受画面に戻ります。

登録したデータを一括して削除します <データ一括削除>

FOMA 端末に保存、登録、設定したデータをすべて削除します。

●保護したデータも削除されます。
●次のデータが削除されます。
- FOMA 端末の電話番号以外の個人情報
- リダイヤル
- 着信履歴
- 伝言メモ
- 電話帳データ
- 内蔵写真以外の画像、追加したアルバム
- 内蔵ビデオ以外のビデオ、動画／ｉモーション
- URL 入力、履歴
- ブックマーク
- 画面メモ
- 内蔵メロディ以外のメロディ
- メッセージ R/F、ｉモードメール、SMS
- 予定
- 通話時間
- 歩数の履歴
- 定型文

●設定リセット（→P495）の対象となる機能と次の機能は、お買い上げ時の状態に戻ります。
- 日付時刻設定
- 伝言メモの設定
- 伝言メモの応答メッセージ
- 電話帳のグループ設定
- 端末暗証番号
- 個人情報表示制限
- 写真、ビデオの撮影時の設定
- ビデオを再生するときの設定
- ｉモードサイト表示の文字の大きさ
- 編集したメール例文
- 保存した曲の詳細設定
- 目覚ましの設定
- 通話中着信動作選択

1 **待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能を設定する」▶「7 情報の表示やリセットを行う」▶「7 本体内データを全て削除する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **4～8 桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す**

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1 削除する」を押す**

FOMA端末が再起動してデータが削除され、日付・時刻の設定画面が表示されます。
●「2 削除しない」：削除を中止します。

お知らせ

●FOMA カードに保存されているデータは削除されません。
●パソコンから設定したデータ通信の設定は削除されません。

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

FOMA端末を便利に利用するために、次のネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	内　容	月額使用料	申し込み
留守番電話サービス →P501	電波の届かない所にいるとき、電源を切っているときなどに、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。	有料	必要
キャッチホン →P504	通話中の音声電話を保留にしたまま、第三者と通話できます。	有料	必要
転送でんわサービス →P507	電波の届かない所にいるとき、電源を切っているときなどに、かかってきた電話を自動的に転送します。	無料	必要
迷惑電話ストップサービス →P510	相手の電話番号を登録すると、以後登録した電話番号からの着信には、自動的にガイダンスが応答して迷惑電話を拒否します。	無料	必要
番号通知お願いサービス →P512	発信者番号が通知されない電話に番号通知をお願いする旨のガイダンスを流した後、自動的に電話を切ります。	無料	不要
デュアルネットワークサービス →P514	1つの電話番号でFOMA端末とmova端末を使い分けて利用できます。	有料	必要
英語ガイダンス →P515	音声ガイダンスを英語で聞けます。	無料	不要
サービスダイヤル※ →P516	ドコモ総合案内・受付や、ドコモ指定の故障取扱窓口へ電話をかけます。	無料	不要
公共モード（ドライブモード） →P91	運転中や通話を控える必要のある場所で電話を受けないようにします。	無料	不要
公共モード（電源OFF） →P91	電源を切る必要がある場所で電話を受けないようにします。	無料	不要

お知らせ

- お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 本書では各ネットワークサービスの概要説明のみ記載しております。注意事項や操作の詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。（※を除く）
- ネットワークサービスの開始や停止などの操作は、サービスエリア外や電波の届かない所では操作できません。電波状態のよい所で操作してください。

留守番電話サービスを利用します

電波の届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話をかけてきた相手から、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。
日本全国どこからでも伝言メッセージを聞けます。

● 応答しなかった音声電話は、留守番電話サービスセンターに接続し、伝言メッセージをお預かりします。待受画面の新着情報や着信履歴で、着信があったことをお知らせします。
● 留守番電話サービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。

お知らせ

● 伝言メッセージは１件あたり最長3分、最大20件録音でき、最長72時間保存されます。
● 留守番電話サービスを開始に設定していても、電話をかけたり、受けたりできます。
● 着信音が鳴っている間は、電話を受けることができます。着信音が鳴る時間（呼出時間）は変更できます。→P502
● 通話中や64Kデータ通信中にかかってきた音声電話を自動で留守番電話サービスセンターに接続できます。→P516
● 着信中の電話や通話中、64Kデータ通信中にかかってきた音声電話を手動で留守番電話サービスセンターに接続できます。→P81
● テレビ電話がかかってきたときは、留守番電話サービスセンターに接続されずに、呼出時間に設定した時間が経過すると切断されます。
● 留守番電話サービスと転送でんわサービスの両方をお申し込みになっても、2つのサービスを同時にはご利用になれません。転送でんわサービスを開始に設定すると、留守番電話サービスは自動的に停止になります（その後、転送でんわサービスを停止に設定しても、留守番電話サービスは自動的には再開しません）。
● 番号通知お願いサービスを開始に設定中に「非通知設定」の電話がかかってくると、発信者番号通知をお願いする内容のガイダンスが流れます。伝言メッセージはお預かりできません。
● 電話に出られないことをお伝えするだけの、不在案内機能もあります。
● プッシュ式の一般電話、公衆電話などからも、「ネットワーク暗証番号」を利用して留守番電話サービスの操作ができます。あらかじめ遠隔操作を開始に設定してください。→P518

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ 1
サービスを開始に設定する

ステップ 2
電話をかけてきた方が伝言メッセージを録音する※

ステップ 3
伝言メッセージを再生する

※ 急いでいるときなど、留守番電話の応答ガイダンスを省略して伝言メッセージを録音する場合は、応答ガイダンスが流れているときに［#改行マナー］を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えられます。

留守番電話サービスの利用料金

留守番電話サービスをご利用になるには、毎月の使用料とは別に伝言メッセージの再生などにかかる通話料が必要です。詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

留守番電話サービスを開始／停止します

留守番電話サービスを開始または停止します。また、設定内容を確認します。

開始します

1 **待受画面で（メニュー）▶「＊ ネットワークサービスを使う」▶「1 留守番サービスを使う」▶「3 留守番サービスを開始する」を押す**

開始するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 開始する」を押す**

呼出時間を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

- 「2 開始しない」：操作を中止します。

3 **「1 設定する」を押す**

呼出時間の入力画面が表示されます。

- 「2 設定しない」：呼出時間を設定せずに、ご契約時の呼出時間（15秒）で留守番電話サービスを開始します。操作5に進みます。

4 **呼出時間を入力▶決定を押す**

ネットワークに接続され、留守番電話サービスを開始した旨のメッセージが表示されます。

- 呼出時間の秒数を0～120の間で入力します。

5 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

- （終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 呼出時間を0秒に設定している場合は、着信が記録されません。
- 呼出時間だけを設定する場合は、待受画面で（メニュー）▶「＊ ネットワークサービスを使う」▶「1 留守番サービスを使う」▶「6 留守番呼出時間を設定する」を押して操作します。
- 呼出時間の設定は、留守番電話サービスを停止した後も保持されます。

停止します

1 **待受画面で（メニュー）▶「＊ ネットワークサービスを使う」▶「1 留守番サービスを使う」▶「4 留守番サービスを停止する」を押す**

停止するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 停止する」を押す**

ネットワークに接続され、留守番電話サービスを停止した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 停止しない」：操作を中止します。

3 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

- （終話）を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 留守番電話サービスを停止しても留守番電話サービスの契約は継続されます。留守番電話サービスの停止は、留守番電話サービスの契約そのものを解約するものではありません。

設定内容を確認します

1 **待受画面で（メニュー）▶「＊ ネットワークサービスを使う」▶「1 留守番サービスを使う」▶「7 留守番サービスの設定を確認する」を押す**

設定内容を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 確認する」を押す**

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。

- 「2 確認しない」：操作を中止します。

3 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

● (終話キー)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 設定内容表示中に次の操作ができます。
 • 留守番電話サービスの開始：メニュー ▶「1 留守番電話開始」を押します。
 • 留守番電話サービスの停止：メニュー ▶「2 留守番電話停止」を押します。
 • 留守番電話呼出時間の設定：メニュー ▶「3 呼出時間の設定」を押します。

伝言メッセージを聞きます

新しい伝言メッセージがあると、待受画面に **留守番 (長押し)** が表示された後、留守番電話件数が増加した旨のメッセージが表示され、着信音（着信音 1）が 5 回鳴ります。

1 待受画面で メニュー ▶「✱ ネットワークサービスを使う」▶「1 留守番サービスを使う」▶「1 留守番メッセージを再生する」を押す

再生するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 再生する」を押す

ネットワークに接続され、受話口から音声ガイダンスが聞こえます。

●「2 再生しない」：操作を中止します。

3 音声ガイダンスの指示に従って操作する

伝言メッセージが再生されます。

お知らせ

● 新しい伝言メッセージがあるときは、待受画面からすばやく伝言メッセージを再生できます。→ P37

● FOMA 端末を折り畳んでいるときに新しい伝言メッセージがあると、背面ディスプレイに **留守** が表示され、着信音（着信音 1）が 5 回鳴ります。→ P39

音声ガイダンスで留守番電話サービスを設定します

音声ガイダンスを聞きながら留守番電話サービスを設定します。

1 待受画面で メニュー ▶「✱ ネットワークサービスを使う」▶「1 留守番サービスを使う」▶「5 留守番サービスの詳細を設定する」を押す

設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 設定する」を押す

留守番電話サービスセンターに電話がかかり、受話口から音声ガイダンスが聞こえます。

●「2 設定しない」：操作を中止します。

3 音声ガイダンスの指示に従って操作する

留守番電話サービスが設定されます。

● 新しい伝言メッセージがあるか確認するときや、伝言メッセージを聞くときは、一度電話を切ってから操作してください。

新しい伝言メッセージがあるか確認します

新しい伝言メッセージがあるかどうかを留守番電話サービスセンターに問い合わせます。

1 待受画面で メニュー ▶「✱ ネットワークサービスを使う」▶「1 留守番サービスを使う」▶「2 メッセージがあるか問合せる」を押す

メッセージを問い合わせるかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 問合せる」を押す

ネットワークに接続され、問い合わせている旨のメッセージが表示されます。

●「2 問合せない」：操作を中止します。

次ページへ続く

3 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

- (終話)を押すと待受画面に戻ります。
- 新しい伝言メッセージがあると、待受画面に**留守番** (終話) **長押し**が表示されます。

お知らせ

- 伝言メッセージの問い合わせを行った後にお預かりした伝言メッセージは、もう一度伝言メッセージの問い合わせを行っても確認できない場合があります。

圏外にいても着信があったことを通知します

FOMA端末の電源が入っていないときや圏外にいるときに着信があった場合、電源が入ったときや圏内になったときに着信があったことをSMSでお知らせします。

- 1通で最大5件まで受信します。
- 設定および通知（SMSの受信）には料金はかかりません。
- SMS一括拒否をしていても、履歴は受信されます。

1 **待受画面で メニュー ▶「＊ ネットワークサービスを使う」▶「1 留守番サービスを使う」▶「8 着信通知を使う」を押す**

着信通知の設定画面が表示されます。

2 **「1 着信通知を開始する」を押す**

開始するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **着信通知を停止するとき**

「2 着信通知を停止する」▶「1 停止する」を押す

ネットワークに接続され、着信通知を停止した旨のメッセージが表示されます。操作5に進みます。

■ **設定内容を確認するとき**

「3 着信通知の設定を確認する」▶「1 確認する」を押す

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。操作5に進みます。

3 **「1 開始する」を押す**

発信者番号が通知された着信のみを対象にするかどうかの確認画面が表示されます。

- 「2 開始しない」：操作を中止します。

4 **「1 発番号ありのみ」または「2 全ての着信」を押す**

ネットワークに接続され、着信通知を開始した旨のメッセージが表示されます。

- 「1 発番号ありのみ」：
  発信者番号非通知と公衆電話からの着信を無視します。
- 「2 全ての着信」：
  すべての着信を通知します。

5 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

キャッチホンを利用します

音声電話中に第三者から音声電話がかかってきたことを、通話中着信音「ププ…ププ…」でお知らせします。通話を保留にして、第三者と音声通話することができます。

- 通話中の音声電話を保留にして、新たに別の相手に音声電話をかけられます。
- キャッチホンは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中に「非通知設定」の音声電話の着信があった場合は、番号通知お願いガイダンスが流れ、キャッチホンはご利用できません。→P512

- 次のとき、キャッチホンは動作しません。
  - 104、110、117※、118、119にかけているとき
    ※:117と通話中に音声電話がかかってくると「ププ…ププ…」という音が聞こえますが、電話に出られません(着信履歴には不在着信として残ります)。
  - ダイヤル中、および相手を呼び出し中
  - 留守番電話サービスをご利用のお客様で、伝言メッセージの再生など、留守番電話サービスセンターに接続されている間
  - 1411(留守番電話サービスの開始)、1420(転送でんわサービスの停止)など、各種ネットワークサービスの設定を行うために、4桁の電話番号にかけているとき
  - テレビ電話中(着信履歴には不在着信として残ります)
  - 音声電話中にテレビ電話がかかってきたとき(着信履歴には不在着信として残ります)
- 次の場合、通話中/通信中に着信があると「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、着信画面が表示されたり(通話)が点滅したりしますが、着信を受けることはできません。
  - キャッチホンを「停止する」に設定している場合
  - キャッチホンを契約せず、留守番電話サービス、転送でんわサービスのいずれかをご契約している場合
- 保留中も、電話をかけた方に通話料金がかかります。
- 通話中にテレビ電話をかけることはできません。

キャッチホンを開始/停止します

キャッチホンを開始または停止します。また、設定内容を確認します。

開始します

1 待受画面で(メニュー)▶「[＊] ネットワークサービスを使う」▶「[2] キャッチホンを使う」▶「[1] キャッチホンを開始する」を押す

開始するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「[1] 開始する」を押す

ネットワークに接続され、キャッチホンを開始した旨のメッセージが表示されます。

- 「[2] 開始しない」:操作を中止します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- キャッチホンを使用するときは、通話中着信動作を「通常着信する」に設定してください。→P516
  他の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても応答できません。

停止します

1 待受画面で(メニュー)▶「[＊] ネットワークサービスを使う」▶「[2] キャッチホンを使う」▶「[2] キャッチホンを停止する」を押す

停止するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「[1] 停止する」を押す

ネットワークに接続され、キャッチホンを停止した旨のメッセージが表示されます。

- 「[2] 停止しない」:操作を中止します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- キャッチホンを停止してもキャッチホンの契約は継続されます。キャッチホンの停止は、キャッチホンの契約そのものを解約するものではありません。

設定内容を確認します

1 **待受画面で メニュー ▶「✱ ネットワークサービスを使う」▶「2 キャッチホンを使う」▶「3 キャッチホンの設定を確認する」を押す**

設定内容を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 確認する」を押す**

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。

- 「2 確認しない」：操作を中止します。

3 **決定 を押す**

メニュー画面に戻ります。

- 終話 を押すと待受画面に戻ります。

通話中の音声電話を保留にしてかかってきた音声電話に出ます

1 **通話中に 通話 を押す**

キャッチホン中（マルチ接続中）の画面が表示されます。最初の相手との通話が保留になり、後からかかってきた電話を受けられます。

- 通話中に 電話帳：通話の相手を切り替えます。
- 通話中に 決定：現在通話中の相手も保留にします。もう一度 決定 を押すと解除します。

2 **一方の相手との通話が終わったら 終話 を押す**

一方の相手との通話が終了して着信音が鳴ります。

- 通話：保留中の相手との通話を再開します。

通話中の音声電話を終わらせてかかってきた音声電話に出ます

1 **通話中に 終話 を押す**

かかってきた電話の着信音が鳴ります。

2 **通話 を押す**

新しくかかってきた電話と通話できます。

通話中の音声電話を保留にして別の相手に音声電話をかけます

1 **通話中に電話番号を入力する**

入力した電話番号が表示されます。

2 **通話 を押す**

新しくかけた相手と通話できます。話し中の通話は自動的に保留になります。

- 通話中に 電話帳：通話の相手を切り替えます。
- 通話中に 決定：現在通話中の相手も保留します。もう一度 決定 を押すと解除します。

3 **新しくかけた相手との通話が終わったら 終話 を押す**

新しくかけた相手との通話が終了します。

- 通話：保留中の相手との通話が再開します。

お知らせ

- 電話帳、着信履歴、リダイヤルから音声電話をかける場合は、通話中に メニュー ▶「2 電話帳を見る」／「3 着信履歴を見る」／「4 リダイヤルを見る」▶ 相手を選択 ▶ 通話 を押して操作します。

保留中の通話を終わらせます

1 **キャッチホン中（マルチ接続中）に メニュー ▶「2 保留相手を切断」を押す**

保留中の相手との電話を切ります。

お知らせ

- キャッチホン中（マルチ接続中）に別の音声電話がかかってきても受けることはできません。ただし、着信履歴には不在着信として残ります。

転送でんわサービスを利用します

電波の届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、FOMA 端末にかかってきた電話を、ご家庭やオフィスなどに自動的に転送します。

- 転送でんわサービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額料金はかかりません。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。

お知らせ

- 転送先の登録は 1 件です。
- 転送でんわサービスを開始に設定していても、通常どおり電話をかけたり、受けたりできます。
- 着信音が鳴っている間は、電話を受けることができます。着信音が鳴る時間（呼出時間）は変更できます。→ P508
- 通話中や64Kデータ通信中にかかってきた電話を自動で転送できます。→ P516
- 着信中の電話や通話中、64K データ通信中にかかってきた電話を手動で転送できます。→ P81
- 転送でんわサービスと留守番電話サービスの両方をお申し込みになっても、2つのサービスを同時には利用できません。留守番電話サービスを開始に設定すると、転送でんわサービスは自動的に停止になります（その後、留守番電話サービスを停止に設定しても、転送でんわサービスは自動的には再開しません）。
- 番号通知お願いサービスを開始に設定中に「非通知設定」の音声電話がかかってくると、発信者番号通知をお願いする内容のガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
- プッシュ式の一般電話、公衆電話などからも、「ネットワーク暗証番号」を利用して転送でんわサービスの操作ができます。あらかじめ遠隔操作を開始に設定にしてください。→ P518
- テレビ電話がかかってきたときは、転送でんわサービスを開始に設定していても、転送先を 3G-324M（→ P102）に準拠したテレビ電話対応機に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ 1

転送でんわサービスを開始に設定する

↓

ステップ 2

転送先の電話番号を登録する

↓

ステップ 3

お客様の FOMA 端末に電話がかかる

↓

ステップ 4

電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

転送でんわサービスの利用料金

通話料

発信者 ←→ 転送でんわサービスのご契約者 ←→ 転送先

電話をかけた方のご負担です。

転送でんわサービスのご契約者のご負担です。

※ 転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始・停止、呼出時間の設定の通話料金はかかりません。

転送でんわサービスを開始／停止します

転送でんわサービスを開始または停止します。また、転送先の電話番号などの設定内容を確認します。

● 転送でんわサービスを開始に設定している場合、コレクトコール（料金着信払通話）での着信はできません。

開始します

1 待受画面で メニュー ▶「✻ ネットワークサービスを使う」▶「3 転送サービスを使う」▶「1 転送サービスを開始する」を押す

開始するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 開始する」を押す

転送先電話番号を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

● 「2 開始しない」：操作を中止します。

3 「1 設定する」を押す

転送先電話番号の入力画面が表示されます。

● 「2 設定しない」：
転送先電話番号を設定しません。操作 6 に進みます。

4 転送先電話番号を入力する

● 転送先として、フリーダイヤル、クイックナンバーおよび 110 番などの 3 桁の電話番号は指定できません。
● 最大 26 桁入力できます。
● 「#」「✻」を入力できます。

■ **転送先電話番号を電話帳から設定するとき**

① **メニュー ▶「7 電話帳を呼出す」を押す**
電話帳の検索方法選択画面が表示されます。

② **転送先電話番号を検索して選択 ▶ 決定 を押す**
電話番号が入力され、転送先電話番号の設定画面に戻ります。
・検索方法→ P134

5 決定 を押す

呼出時間を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

6 「1 設定する」を押す

呼出時間の入力画面が表示されます。

- 「2 設定しない」：呼出時間を設定せずに、ご契約時の呼出時間（7 秒）で転送でんわサービスを開始します。操作 8 に進みます。

7 呼出時間を入力 ▶ 決定 を押す

ネットワークに接続され、転送でんわサービスを開始した旨のメッセージが表示されます。

- 呼出時間の秒数を 0 〜 120 の間で入力します。

8 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

- ☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 呼出時間を0秒に設定している場合は、着信が記録されません。
- 電波が届かない場合や電源が入っていない場合は、着信音が鳴らずに自動的に転送されます。この場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスご契約者のご負担となります。
- 転送先から申し出があり、当社が必要と認めるときは、お客様に代わってその転送を中止させていただくことがあります。
- PBX、ポケットベル※、FAXを転送先とした場合、かけてきた方に誤解を与えることがありますので、ご注意ください。
- 転送先や呼出時間の設定は、転送先を変更したり、転送でんわサービスを停止した後も保持されます。

停止します

1 待受画面で メニュー ▶「✱ ネットワークサービスを使う」▶「3 転送サービスを使う」▶「2 転送サービスを停止する」を押す

停止するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 停止する」を押す

ネットワークに接続され、転送でんわサービスを停止した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 停止しない」：操作を中止します。

3 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

- ☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 転送でんわサービスを停止しても転送でんわサービスの契約は継続されます。転送でんわサービスの停止は、転送でんわサービスの契約そのものを解約するものではありません。

設定内容を確認します

転送でんわサービスの利用の有無や転送先の電話番号などを確認します。

1 待受画面で メニュー ▶「✱ ネットワークサービスを使う」▶「3 転送サービスを使う」▶「5 転送サービスの設定を確認する」を押す

設定内容を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 確認する」を押す

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。

- 「2 確認しない」：操作を中止します。

3 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

- ☎を押すと待受画面に戻ります。

※：2001 年 1 月から、NTT ドコモのポケットベルは「クイックキャスト」に名称が変わりました。

転送先を変更します

1 **待受画面で メニュー ▶「✱ ネットワークサービスを使う」▶「3 転送サービスを使う」▶「3 転送先を変更する」を押す**

転送先電話番号の入力画面が表示されます。

2 **転送先電話番号を入力 ▶ 決定 を押す**

転送先に設定するかどうかの確認画面が表示されます。

● 操作方法→P508

3 **「1 設定する」を押す**

ネットワークに接続され、転送先電話番号を設定した旨のメッセージが表示されます。

● 「2 設定しない」：操作を中止します。

4 **決定 を押す**

メニュー画面に戻ります。

● ☎ を押すと待受画面に戻ります。

転送ガイダンスの有／無を設定します

1 **待受画面で 1 4 2 9 ☎ を押す ▶ 音声ガイダンスの指示に従って操作する**

指定したガイダンスに設定されます。

転送先が通話中のとき留守番電話サービスで応対します

転送先の電話が通話中で転送できないときに、留守番電話サービスで応対するように設定します。

● 留守番電話サービスのご契約が必要です。

1 **待受画面で メニュー ▶「✱ ネットワークサービスを使う」▶「3 転送サービスを使う」▶「4 転送先が通話中の時の設定をする」を押す**

留守番電話サービスセンターへ接続するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 接続する」を押す**

ネットワークに接続され、転送先が通話中のときの応対を設定した旨のメッセージが表示されます。

● 「2 接続しない」：留守番電話サービスでの応対を解除します。

3 **決定 を押す**

メニュー画面に戻ります。

● ☎ を押すと待受画面に戻ります。

迷惑電話ストップサービスを利用します

迷惑電話を自動的に着信拒否します。迷惑電話の登録操作をすると、以降、同じ電話番号から電話がかかってきたときに、着信拒否のガイダンスまたは映像ガイダンスで応答し、切断されます。

● 最大30件登録できます。

● 迷惑電話ストップサービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料はかかりません。

最後に応答した電話番号を登録します

1 **迷惑電話がかかってきた後に メニュー ▶「✻ ネットワークサービスを使う」▶「4 迷惑電話ストップを使う」▶「1 迷惑電話着信拒否を登録する」を押す**

登録するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 登録する」を押す**

ネットワークに接続され、登録した旨のメッセージが表示されます。

- 最後に応答した電話番号が、着信を拒否する迷惑電話番号として登録されます。不在着信など通話していない場合は登録の対象になりません。
- 「2 登録しない」：操作を中止します。

■ **すでに30件登録したとき**

最も古い電話番号を削除して登録するかどうかの確認画面が表示されます。「1 登録する」を押すと、最も古い電話番号が削除され、新しい電話番号が登録されます。

3 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

- 終話を押すと待受画面に戻ります。

電話番号を指定して登録します

1 **待受画面で 1 4 4 発信 を押す ▶ 音声ガイダンスの指示に従って操作する**

指定した電話番号が登録されます。

お知らせ

- 発信者番号非通知の電話でも着信拒否登録できます。
- 着信拒否に登録した電話番号は、確認や問い合わせができません。着信拒否登録した電話番号をメモなどに控えておくことをおすすめします。
- 国際電話は着信拒否に登録できない場合があります。
- 着信拒否に登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。着信履歴にも残りません。
- 迷惑電話ストップサービスを設定中の着信と、各サービスとの関係は次のとおりです。

サービス名	着信拒否登録した電話番号からの着信の取り扱い
留守番電話サービス	着信拒否のガイダンスまたは映像ガイダンスで応答します。伝言メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	着信拒否のガイダンスまたは映像ガイダンスで応答します。転送先には転送されません。
キャッチホン	着信拒否のガイダンスまたは映像ガイダンスで応答します。
番号通知お願いサービス	着信拒否のガイダンスまたは映像ガイダンスで応答します。番号通知お願いサービスのガイダンスまたは映像ガイダンスは応答しません。
公共モード	着信拒否のガイダンスまたは映像ガイダンスで応答します。公共モードのガイダンスまたは映像ガイダンスは応答しません。

登録した電話番号を削除します

最後に登録した電話番号を削除したり、すべての電話番号をまとめて削除することもできます。

1 **待受画面で［メニュー］▶「[＊] ネットワークサービスを使う」▶「[4] 迷惑電話ストップを使う」を押す**

[1]迷惑電話着信拒否を登録する
[2]迷惑電話全登録を削除する
[3]迷惑電話１登録を削除する
決定

「[2] 迷惑電話全登録を削除する」：電話番号を全件削除します。
「[3] 迷惑電話１登録を削除する」：最後に登録した電話番号１件のみを削除します。

2 **「[2] 迷惑電話全登録を削除する」または「[3] 迷惑電話１登録を削除する」を押す**

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「[1] 削除する」を押す**

ネットワークに接続され、電話番号を削除した旨のメッセージが表示されます。

- 「[2] 削除しない」：操作を中止します。

4 **［決定］を押す**

メニュー画面に戻ります。

- ［終話］を押すと待受画面に戻ります。

番号通知お願いサービスを利用します

発信者番号を通知してこない電話がかかってくると、発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンスまたは映像ガイダンスで応答し、切断されます。迷惑電話などによるトラブルを防ぎ、安心して携帯電話を利用できます。

- 発信者番号の非通知理由が「非通知設定」の場合に、番号通知お願いサービスが動作します。非通知理由が「通知不可能」および「公衆電話」の場合は動作しません。
- ガイダンスが応答している間は、発信者に通話料金がかかります。
- 番号通知お願いサービスはお申し込み不要です。また、月額使用料はかかりません。

番号通知お願いサービスを開始します

1 **待受画面で［メニュー］▶「[＊] ネットワークサービスを使う」▶「[5] 番号通知お願いサービスを使う」▶「[1] 番号通知お願いサービスを開始する」を押す**

開始するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「[1] 開始する」を押す**

ネットワークに接続され、番号通知お願いサービスを開始した旨のメッセージが表示されます。

- 「[2] 開始しない」：操作を中止します。

3 **［決定］を押す**

メニュー画面に戻ります。

- ［終話］を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 番号通知お願いサービスを開始に設定しているときに、「非通知設定」の電話がかかってきたときは、着信音は鳴らず、着信履歴にも残りません。
- 番号通知お願いサービスは、お客様ご自身のFOMAカードを取り付けたFOMA端末からのみ開始／停止の操作ができます。留守番電話サービスや転送でんわサービスなどで可能な遠隔操作はできません。
→P518
なお、開始／停止の操作には通話料金はかかりません。
- 発信者番号通知のない相手に対する着信動作の設定（→P199）と本サービスを同時に設定した場合は、本サービスが優先されます。
- 番号通知お願いサービス開始中の着信と、各サービスの関係は次のとおりです。

サービス名	発信者番号を通知しない着信の取り扱い
留守番電話サービス	番号通知お願いのガイダンスまたは映像ガイダンスで応答します。伝言メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	番号通知お願いのガイダンスまたは映像ガイダンスで応答します。転送先には転送されません。
キャッチホン	番号通知お願いのガイダンスまたは映像ガイダンスで応答します。
迷惑電話ストップサービス	着信拒否に登録した電話番号から着信すると、着信拒否のガイダンスまたは映像ガイダンスで応答します。番号通知お願いのガイダンスまたは映像ガイダンスは応答しません。
公共モード	番号通知お願いのガイダンスまたは映像ガイダンスで応答します。公共モードのガイダンスまたは映像ガイダンスは応答しません。

番号通知お願いサービスを停止します

1 待受画面でメニュー▶「＊ ネットワークサービスを使う」▶「5 番号通知お願いサービスを使う」▶「2 番号通知お願いサービスを停止する」を押す

停止するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 停止する」を押す

ネットワークに接続され、番号通知お願いサービスを停止した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 停止しない」：操作を中止します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- 終話を押すと待受画面に戻ります。

設定内容を確認します

1 待受画面でメニュー▶「＊ ネットワークサービスを使う」▶「5 番号通知お願いサービスを使う」▶「3 番号通知お願いサービスを確認する」を押す

設定内容を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 確認する」を押す

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。

- 「2 確認しない」：操作を中止します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- 終話を押すと待受画面に戻ります。

デュアルネットワークサービスを利用します

お使いになっているFOMA端末の電話番号で、mova 端末を利用することができます。
FOMA サービスエリア外でも、mova サービスエリア内であれば mova 端末に切り替えることで通信が可能になります。

- FOMA 端末と mova 端末を同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用できない状態のFOMA 端末または mova 端末から行います。

mova 端末を使えるようにします

1 mova 端末で「1540」をダイヤル ▶ 音声ガイダンスの指示に従って操作する

mova 端末が利用できるようになります。

FOMA端末を使えるようにします

1 待受画面で メニュー ▶「＊ ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「3 デュアルネットワークを使う」▶「1 デュアルネットワークを切替える」を押す

切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 切替える」を押す

ネットワーク暗証番号入力画面が表示されます。

- 「2 切替えない」：操作を中止します。

3 4桁のネットワーク暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す

ネットワークに接続され、ネットワークを切り替えた旨のメッセージが表示されます。

4 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

- 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- ネットワーク暗証番号→ P179

利用状況を確認します

1 待受画面で メニュー ▶「＊ ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「3 デュアルネットワークを使う」▶「2 デュアルネットワークの状態を確認する」を押す

利用状況を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 確認する」を押す

ネットワークに接続され、現在の利用状況が表示されます。

- 「2 確認しない」：操作を中止します。

3 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。

- 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- FOMA 端末では従来どおり FOMA の i モードが利用できます。mova端末でもi モードを利用することが可能ですが、一部利用できないサービスがあります。また、i モード利用時や各種ネットワークサービスにおいては、FOMA、mova それぞれのネットワーク設備を利用するための制限事項や注意事項があります。詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

ガイダンスを日本語と英語で切り替えます

電波の届かない所にいたり、電源を切っている場合などのガイダンスを、英語に変更します。自分が聞くガイダンス（電話をかけたときの言語）と相手へのガイダンス（電話をかけてきたときの言語）の両方が切り替えられます。

- 利用できるガイダンス言語は、「日本語」と「英語」です。
- 英語ガイダンスはお申し込み不要です。また、月額使用料はかかりません。
- テレビ電話で発信または着信したときは、英語ガイダンスは利用できません。
- ドコモの携帯電話どうしでの通話の場合、流れるガイダンスは発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

1 待受画面で メニュー ▶「✱ ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「2 英語ガイダンスを使う」▶「1 ガイダンスを設定する」を押す

電話をかけたときの言語を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 設定する」を押す

電話をかけたときの言語選択画面が表示されます。

電話をかけた時の
音声案内の言語を
選んでください
1日本語
2英語
決定

「1 日本語」：自分が聞くガイダンスを日本語にします。
「2 英語」：自分が聞くガイダンスを英語にします。
- 「2 設定しない」：
  電話をかけたときの言語を設定しません。操作4に進みます。

3 「1 日本語」または「2 英語」を押す

電話をかけてきたときの言語を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1 設定する」を押す

電話をかけてきたときの言語選択画面が表示されます。

電話をかけてきた
相手に聞こえる
音声案内の言語を
選んでください
1日本語
2日本語＋英語
3英語＋日本語
決定

「1 日本語」：
　相手が聞くガイダンスを日本語にします。
「2 日本語＋英語」：
　相手が聞くガイダンスを日本語→英語の順にします。
「3 英語＋日本語」：
　相手が聞くガイダンスを英語→日本語の順にします。
- 「2 設定しない」：
  電話をかけてきたときの言語を設定しません。操作6に進みます。ただし、電話をかけたときの言語も設定しなかった場合は、メニュー画面に戻ります。

5 「1 日本語」～「3 英語＋日本語」のいずれか1つの番号を押す

ネットワークに接続され、音声ガイダンスを設定した旨のメッセージが表示されます。

6 決定 を押す

メニュー画面に戻ります。
- ☎を押すと待受画面に戻ります。

設定内容を確認します

1 **待受画面で メニュー ▶「＊ ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「2 英語ガイダンスを使う」▶「2 ガイダンスの設定を確認する」を押す**

確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 確認する」を押す**

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。

● 「2 確認しない」：操作を中止します。

3 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

● 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

サービスダイヤルを利用します

ドコモ指定の故障取扱窓口や、ドコモ総合案内・受付へ電話をかけます。

● サービスダイヤルはお申し込み不要です。また、月額使用料はかかりません。
● お使いのFOMAカードによっては、ドコモ指定の故障取扱窓口とドコモ総合案内・受付の項目番号が異なる場合や表示されない場合があります。→P47

総合案内・受付へ電話をかけます

1 **待受画面で メニュー ▶「＊ ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「4 サービスダイヤルを使う」▶「1 ドコモ総合案内・受付に電話する」を押す**

発信するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 電話する」を押す**

ドコモ総合案内・受付に電話がかかります。

● 「2 電話しない」：操作を中止します。

故障の問い合わせをします

1 **待受画面で メニュー ▶「＊ ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「4 サービスダイヤルを使う」▶「2 ドコモ故障問合せ窓口に電話する」を押す**

発信するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 電話する」を押す**

ドコモ故障問合せに電話がかかります。

● 「2 電話しない」：操作を中止します。

通話中に電話がかかってきたときの応対方法を選びます <通話中着信動作選択>

音声電話中または64Kデータ通信中に別の音声電話がかかってきたときに、留守番電話や転送でんわなどで対応します。

● 留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスは、あらかじめご契約が必要なオプションサービスです。
● サービスエリア外や電波の届いていない所でも操作できます。
● 音声電話中に64Kデータ通信の着信やテレビ電話がかかってきた場合、または64Kデータ通信中に64Kデータ通信の着信やテレビ電話がかかってきた場合は、「着信拒否」になります。
● 通話中着信動作がいずれの場合でも着信履歴に記録されます。

1 待受画面で メニュー ▶「＊ ネットワークサービスを使う」▶「7 通話中着信動作を選ぶ」を押す

通話中に
別の電話を
受けた時の動作を
選んでください
1通常着信する
2留守番電話
3電話を転送する
4電話を拒否する
決定

「1 通常着信する」：
通話中または64Kデータ通信中にかかってきた電話に応答したり、留守番電話サービスセンターや転送でんわサービスで登録した転送先に転送したりできます。

「2 留守番電話」：
通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときは、留守番電話サービスで応答します。

「3 電話を転送する」：
通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときは、あらかじめ登録した転送先に転送します。

「4 電話を拒否する」：
通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときは、着信を拒否して呼び出されないようにします。

2 「1 通常着信する」～「4 電話を拒否する」のいずれか1つの番号を押す

通話中着信動作を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 着信動作を選択しても、通話中着信設定は開始にはなりません。開始操作をしてください。→下記
● 留守番電話サービスを停止に設定中でも、本機能を「留守番電話」に設定した場合、通話中にかかってきた電話は、留守番電話サービスに接続されます。

通話中着信設定を利用します

通話中着信動作（→P516）で設定した応答方法を開始／停止します。
また、設定内容を確認します。

通話中着信設定を開始します

1 待受画面で メニュー ▶「＊ ネットワークサービスを使う」「6 通話中着信設定を使う」▶「1 通話中着信設定を開始する」を押す

通話中着信設定を開始するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 開始する」を押す

ネットワークに接続され、通話中着信設定を開始した旨のメッセージが表示されます。

● 「2 開始しない」：操作を中止します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

通話中着信設定を停止します

1 **待受画面で メニュー ▶「✱ ネットワークサービスを使う」▶「6 通話中着信設定を使う」▶「2 通話中着信設定を停止する」を押す**

通話中着信設定を停止するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 停止する」を押す**

ネットワークに接続され、通話中着信設定を停止した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 停止しない」：操作を中止します。

3 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

- 終話を押すと待受画面に戻ります。

設定内容を確認します

1 **待受画面で メニュー ▶「✱ ネットワークサービスを使う」▶「6 通話中着信設定を使う」▶「3 通話中着信設定を確認する」を押す**

設定内容を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 確認する」を押す**

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。

- 「2 確認しない」：操作を中止します。

3 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

- 終話を押すと待受画面に戻ります。

遠隔操作を利用します

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

遠隔操作を開始します

1 **待受画面で メニュー ▶「✱ ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「1 遠隔操作設定を使う」▶「1 遠隔操作を開始する」を押す**

遠隔操作を開始するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 開始する」を押す**

ネットワークに接続され、遠隔操作を開始した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 開始しない」：操作を中止します。

3 **決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

- 終話を押すと待受画面に戻ります。

遠隔操作を停止します

1 **待受画面で メニュー ▶「＊ ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「1 遠隔操作設定を使う」▶「2 遠隔操作を停止する」を押す**

遠隔操作を停止するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 停止する」を押す**

ネットワークに接続され、遠隔操作を停止した旨のメッセージが表示されます。

- 「2 停止しない」：操作を中止します。

3 **決定 を押す**

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

設定内容を確認します

1 **待受画面で メニュー ▶「＊ ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「1 遠隔操作設定を使う」▶「3 遠隔操作の設定を確認する」を押す**

設定内容を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 確認する」を押す**

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。

- 「2 確認しない」：操作を中止します。

3 **決定 を押す**

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

データ通信

データ通信について、詳細は添付の CD-ROM 内の「PDF 版「データ通信マニュアル」(データ通信.pdf)」をご覧ください。「PDF 版「データ通信マニュアル」(データ通信.pdf)」をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン 6.0 以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます（別途通信料がかかります)。
詳細はアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

データ通信について

ここでは、データ通信の形態やご利用時の留意点について説明します。

利用できるデータ通信形態

利用できる通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3つに分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータをバックアップしたりするには、添付のCD-ROMからソフトのインストールや各種の設定を行う必要があります。
- FOMA端末はFAX通信に対応していません。
- ドコモのPDA、museaやsigmarion IIと接続してデータ通信を行う場合は、museaやsigmarion IIをアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細はドコモのホームページをご覧ください。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりするのに適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの高速パケット通信ができます。
通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどデータ量の多い通信を行った場合、通信料が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

64kbpsの安定した通信速度でデータを送受信できます。データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行うのに適しています。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMA64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64kbpsアクセスポイントを利用します。

データ転送

データを転送・交換する、課金が発生しない通信形態です。データリンクソフトを利用して電話帳や送受信メール、ブックマークなどの各種データを送受信します。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンからインターネットを利用する場合は、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）に対する利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細はご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaがご利用いただけます。
  mopera Uは、お申し込みが必要なサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。使用した月だけ月額使用料がかかるプランも利用できます。FOMA端末でのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプションや国際ローミングなどに対応したmopera Uのご利用をおすすめします。
  moperaはお申し込み不要です。また、月額使用料はかかりません。今すぐインターネットに接続したい方に便利なサービスです。

接続先（プロバイダなど）について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64kbps対応の接続先をご利用ください。

● PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信やDoPaのアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細はプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定をしてください。詳細は添付のCD-ROM内の「FirstPassManual」をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。パソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページからダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳細はアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

● FirstPass PCソフトの動作環境

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機
OS（各日本語版）	Windows 98SE、Me、2000、XP
必要メモリ※	Windows 98SE、Me、2000：32MB以上 Windows XP：128MB以上
ハードディスク容量※	10MB以上の空き容量
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5以上

※：パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。

● FOMA USB接続ケーブル（別売）に対応したパソコンであること
● FOMAサービスエリア内であること
● パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
● 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64kbpsに対応していること

ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

次ページへ続く

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。次のような流れになります。

■データ通信の用語集

- **APN（Access Point Name）**

  パケット通信で接続するプロバイダや社内LANを識別する文字列。たとえば、mopera Uは「mopera.net」がAPNとなります。

- **cid（Context Identifier）**

  パケット通信の接続先（APN）に対応して、FOMA端末に登録したAPNに割り当てられる登録番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。

- **DNS（Domain Name System）**

  ドメインネーム（例：mopera.net）を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのこと。

- **OBEX（Object Exchange）**

  データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データの送受信ができます。

- **QoS（Quality of Service）**

  サービスの品質。通信時にユーザの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。

- **W-TCP**

  FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータ。
  FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

- **管理者権限**

  Windows XP、2000を使用するときに、OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザは、ドライバやソフトなどのインストール／アンインストールができません。

通信設定ファイル（ドライバ）について

FOMA 端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC 設定ソフトについて

添付のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末とパソコンを接続して、データ通信を行うために必要なさまざまな設定を、簡単な操作で行えます。

動作環境の確認

通信設定ファイルと FOMA PC 設定ソフトは、次の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体※1	PC/AT 互換機
OS（各日本語版）	Windows 98、Me、2000、XP
必要メモリ※2	Windows 98、Me：32MB 以上 Windows 2000：64MB 以上 Windows XP：128MB 以上
ハードディスク容量※2	5MB 以上の空き容量

※1：USB 接続の場合は、USB ポート（USB 仕様 1.1/2.0 に準拠）が必要です。
※2：「FOMA PC設定ソフト」に関する動作環境です。パソコンのシステム構成によっては異なることがあります。

● 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

AT コマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。FOMA 端末は AT コマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
AT コマンドの詳細は添付の CD-ROM 内の「データ通信マニュアル」をご覧ください。

文字入力

文字入力について

FOMA端末には電話帳やメールなど、文字を入力して活用する多くの機能があります。

- 文字は、ダイヤルボタンを押して入力します。個々のボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すたびに文字が変わります。文字の割り当てについては付録の「ダイヤルボタンの文字割り当て一覧」をご覧ください。→P557
- 文字の種類には「全角文字」と「半角文字」があります。
  全角文字は、半角文字2文字分にカウントされます。

○：入力可　―：入力文字なし

文字の種類	全角	半角
ひらがな／漢字、絵文字	○	―
カタカナ、英字、数字、記号	○	○

- 入力できる漢字はJIS第一水準漢字と第二水準漢字の6355文字です。
- 入力する文字の呼び出しかたがわからない場合などは、区点コードで入力することができます。→P544
- 複雑な漢字は一部変形または省略して表示されます。
- 全角の英数字の入力モードはありません。全角の英数字、記号の入力については付録の「記号・特殊文字入力一覧」をご覧ください。→P558

文字入力画面の見かた

文字の入力欄には、入力欄に直接文字を入力するインライン入力と、画面を切り替えて文字を入力する全画面入力の 2 種類があります。

インライン入力

入力欄を選択して 0 〜 9、*、# を押すと、入力欄に文字が直接入力できます。

〈例〉日付時刻設定の日付欄に文字を入力するとき

日付と時刻を
入力してください
(0~23時0~59分)
日付
2005年01月01日
時刻
00時00分
確定

＜入力欄を選択した状態＞

日付と時刻を
入力してください
(0~23時0~59分)
日付
2005年09月15日
時刻
00時00分
確定

＜文字を入力した状態＞

全画面入力

入力欄を選択して 決定 を押すと、入力エリアが全画面表示されます。

〈例〉メール作成画面で題名欄に文字を入力するとき

＜題名欄を選択し 決定 を押した状態＞

文字入力のガイド表示について

画面右下に ガイド が表示されている画面で 電話帳 を押すと、文字入力のガイド画面が表示されます。ガイド画面では、入力文字の切り替え、大文字／小文字の切り替えの操作を画像で説明しています。改行が可能な画面では、ガイド画面に改行の操作も表示されます。

＜文字入力のガイド画面の例＞

- ガイド画面は、改行ができない場合は改行の操作が表示されないなど、表示する画面により異なります。

文字入力画面のサブメニュー

サブメニュー（→P43）から次の操作ができます。

項　目	説　明	参照先
1 絵文字を入力	絵文字を一覧から入力します。	P535
2 記号を入力	記号を一覧から入力します。	P535
3 定型文を貼付け	定型文を一覧から入力します。	P536
4 編集を取り消す	文字入力を終了します。	−
5 文字をコピー	文字をコピーします。	P542
6 コピー貼付け	コピーした文字を貼り付けます。	P543
7 電話帳を呼出す	電話帳データの内容を入力します。	P547
8 文頭へ移動	カーソルを文頭に移動します。	−
9 文末へ移動	カーソルを文末に移動します。	−
0 入力予測有効／入力予測無効	予測変換候補を表示するかどうかを設定します。	P548
* 区点コード入力	区点コードを使って入力します。	P544

※ ひらがな／漢字入力モードでは、文字が確定するまでサブメニューを表示できません。

入力モードを切り替えます

文字入力画面で（ボタン）を押すたびに、次のように入力モードが切り替わります。

＜ひらがな／漢字＞　＜半角カタカナ＞　＜半角英字＞　＜半角数字＞

●入力欄によっては、表示されない入力モードがあります。

●ひらがなしか入力できない場合は**全角かな**、全角カタカナしか入力できない場合は**全角カナ**が表示されます。

文字を入力します

〈例〉電話帳の登録で「鈴木」と入力するとき

1 待受画面で 電話帳 ▶「2 電話帳に登録する」を押す

漢かなと表示されます。

2 「すずき」と入力する

「す」→ 3DEF を 3 回押します。
　　　 を押して、カーソルを 1 つ右に移動します。
「ず」→ 3DEF を 3 回押して ＊ を押します。
「き」→ 2ABC を 2 回押します。

● ボタンを押し間違えたときは 戻る を押して取り消します。

■ 同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するとき

最初の文字を入力した後に を押してカーソルを右に移動させ、次の文字を入力します。

■ 別のボタンに割り当てられている文字を続けて入力するとき

続けてボタンを押すと、カーソルは自動的に移動して文字が入力されます。

■ 文字に「゛」「゜」を付けるとき

文字を入力して ＊ を押します。

〈例〉「ほ」を入力して ＊ を押すと、押すたびに「ぼ」→「ぽ」→「ほ」と切り替わります。

- 「゛」「゜」が付けられない文字と半角文字の場合は、「゛」「゜」が別の 1 文字として入力されます。

次ページへ続く

■ 大文字と小文字を切り替えるとき

文字入力後に(テレビ電話)を押します。英字の大文字を入力するときも同様に操作します。小文字への切り替えが可能な文字については付録の「ダイヤルボタンの文字割り当て一覧」（→P557）をご覧ください。

〈例〉「あ」を入力して(テレビ電話)を押すと、押すたびに「ぁ」→「あ」→「ぁ」と切り替わります。

3 (電話帳)を押す

電話帳登録
名前を
入力してください
鈴木
全確定 確定 変換

- 予測変換候補（→P534）が表示されていない場合は(下)を押しても変換されます。
- (戻る)：変換前の状態に戻ります。

■ 変換候補を一覧表示するとき

(電話帳)を1回押しても目的の文字が表示されないときは、(上)(下)または(電話帳)を押すと変換候補が一覧表示されます。

(上)(下)を押して変換候補を選択し、(決定)を押します。候補の番号のダイヤルボタンを押しても選択できます。

- 変換候補の一覧が複数ページある場合は、(電話帳)を押して次ページ、(メニュー)を押して前ページに切り替えることができます。

電話帳登録
名前を
入力してください
すずき
カナ 確定 変換

→ (電話帳) →

電話帳登録
名前を
入力してください
鈴木
全確定 確定 変換

→ (電話帳)／(下) →

すずき (2/4)
1鈴木
2スズキ
3すずき
4ｽｽﾞｷ
確定

変換候補の番号／変換候補の件数

4 (決定)を押す

文字が確定します。

■ ひらがなのまま確定するとき

ひらがなを入力した状態で(決定)を押します。

■ カタカナに変換するとき

ひらがなを入力した状態で(メニュー)を押します。

文字入力 文字を入力します

■ 文字を挿入するとき

を押して挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

■ 文字を削除するとき

- カーソルが入力文字の途中にある場合（例：鈴木）
  - 戻る ：カーソル位置の 1 文字を削除します。
  - 戻る を 1 秒以上：カーソル位置の文字とそれ以降のすべての文字を削除します。
- カーソルが入力文字の末尾にある場合（例：鈴木▌）
  - 戻る ：カーソルの左の 1 文字を削除します。
  - 戻る を 1 秒以上：すべての入力文字を削除します。

■ 改行するとき

改行する位置にカーソルを移動して #改行マナー を押します。

- 改行した位置には「↵」（改行マーク）が表示されます。改行マークは全角 1 文字分にカウントされます。
- 入力欄によっては改行できない場合があります。

5 決定を押す

文字入力が終了して、フリガナの入力画面が表示されます。

●入力した文字を無効にして文字入力を終了するには、すべての文字を削除してから 戻る を押します。

複数の文節を一括変換するには

複数の文節を一括変換して、文章を簡単に入力できます。

●全角で最大 24 文字まで一括して変換できます。

〈例〉「イタリア料理を食べに行こう。」と入力するとき

本文 残10000
いたりありょうりをたべにいこう。

電話帳 変換

本文 残10000
イタリア料理を食べに行こう。

メニュー 全確定

本文 残9972
イタリア料理を食べに行こう。▌

決定 変換部分確定

本文 残10000
イタリア料理を食べに行こう。

変換範囲変更

本文 残10000
至りあ料理を食べに行こう。

変換範囲変更

本文 残10000
イタリアりョ売りを食べに行こう。

次ページへ続く

お知らせ

- ひらがなで読みを入力して、記号や絵文字、アルファベット、ギリシャ文字などを入力できます。読みと文字の対応は、付録の「記号・特殊文字入力一覧」「絵文字入力変換・読み上げ一覧」をご覧ください。→P558、P564
- 入力文字の末尾にカーソルがある場合、を押すと空白が入力できます。

入力予測機能を使用します

入力予測機能は、文字を入力したときに、読みの先頭部分が一致する予測変換候補が一覧表示される機能です。予測変換候補には、一度入力した単語が自動的に予測辞書データとして登録されるため、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力するだけですばやく入力できます。

- 次の単語や文字列が候補として表示されます。
  - 標準搭載の単語
  - 過去に入力した単語
  - 単語登録した文字列
- 入力予測機能は、主に次の画面のひらがな／漢字モードで使用できます。
  - メール作成画面の題名欄と本文欄
  - メール例文編集画面
  - 定型文編集画面
- 予測変換候補を表示しないように設定できます。→P548

1 文字を入力する

予測変換候補リストが表示されます。

本文　残10000
あ
候補選択　99
明日　ある　あり
朝　あさって
ありがとう
カナ　確定　変換

- 1文字、2文字、3文字と文字を入力するたびに候補は絞り込まれます。
- 電話帳：変換候補を表示します。
- 決定：ひらがなのまま確定します。
- メニュー：全角カタカナに変換します。

2 ▶候補を選択▶決定を押す

本文　残10000
あ
候補選択　1/99
明日　ある　あり
朝　あさって
ありがとう
確定　変換

予測候補の番号／予測候補の件数

本文　残9996
明日
で入力文字の切替
テレビ電話で大/小文字の切替
メニュー　確定　ガイド

- 目的の候補がない場合は、電話帳を押すと変換候補が表示され、予測変換候補が消えます。

絵文字・記号・定型文を入力します

絵文字、記号、定型文を一覧から入力します。

絵文字・記号を入力します

1 文字入力画面で[メニュー]▶「1 絵文字を入力」または「2 記号を入力」を押す

絵文字一覧または記号一覧が表示されます。

半角記号 1/8
! " # $ % & '
( ) * + , - . /
: ; < = > ? @ [
¥] ^ _ ` { | }
~ 。 「 」 、 ・ ゛ ゜
前頁 決定 次頁

＜記号入力の場合＞

- 絵文字・記号が入力できる場合のみ選択できます。

2 一覧から選択▶[決定]を押す

絵文字・記号が挿入されます。

- [メニュー]／[電話帳]：前後のページを表示できます。
- 次のかっこの左側（例：{ ）を選択した場合は、右側のかっこ（例：}）も自動的に入力されます。
  - 半角記号：( )　[ ]　{ }　｢ ｣
  - 全角記号：（ ）〔 〕［ ］｛ ｝〈 〉《 》「 」『 』【 】

お知らせ

- 絵文字や記号は、データ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。
- 絵文字を入力してｉモード端末以外の相手にメールを送信すると、正しく表示されない場合があります。
- 「絵文字一覧」（→P537）の絵文字２を入力してメールを送信すると、相手の端末によっては正しく表示されない場合があります。

定型文を入力します

1 文字入力画面でメニュー▶「3 定型文を貼付け」を押す

定型文一覧
挨拶・連絡
ビジネス
絵文字入り
顔文字
文例集
ｱﾄﾞﾚｽ・ﾃﾞｰﾀ形式
ユーザ作成
決定

定型文が登録されているフォルダが表示されます。
- 定型文が入力できる場合のみ選択できます。

2 フォルダを選択▶決定を押す

挨拶・連絡
1/29件
ＯＫです。
ＮＧです。
おはようござい…
こんにちは。
こんばんは。
おやすみなさい。
決定

定型文の番号／定型文の件数

3 一覧から選択▶決定▶決定を押す

定型文が挿入されます。
- ：前後のページを表示できます。
- 定型文を入力したとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、貼り付けるかどうかの確認画面が表示され、「1貼り付ける」を押すと入力可能な文字数以降は削除されます。

お知らせ
- 選択した定型文はカーソル位置に挿入されます。
- 顔文字の一部は「かお」の変換候補として表示されます。
- 顔文字を使ったメールを送信する場合、相手の端末のディスプレイの大きさ、表示文字数やフォントにより、形がくずれたり、見えかたが異なるなど、正しく表示されない場合があります。

絵文字・記号一覧

■ 絵文字一覧

絵文字 1

絵文字 2

■ 記号一覧

半角記号

! " # $ % & '
( ) * + , - . /
: ; < = > ? @ [
¥] ^ _ ` { | }
~ 。 「 」 、 ・ ゛ ゜

全角記号

？ ！ ゛ ゜ ´ ｀ ¨ ＾
￣ ＿ ヽ ヾ ゝ ゞ 〃 仝
々 〆 〇 ー ― ‐ ／ ＼
～ ‖ ｜ … ‥ ‘ ’ “
” （ ） 〔 〕 ［ ］ ｛
｝ 〈 〉 《 》 「 」 『
』 【 】 ＋ － ± × ÷
＝ ≠ ＜ ＞ ≦ ≧ ∞ ∴
♂ ♀ ° ′ ″ ℃ ￥ ＄
￠ ￡ ％ ＃ ＆ ＊ ＠ §
☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □
■ △ ▲ ▽ ▼ ※ 〒 →
← ↑ ↓ 〓 ∈ ∋ ⊆ ⊇
⊂ ⊃ ∪ ∩ ∧ ∨ ￢ ⇒
⇔ ∀ ∃ ∠ ⊥ ⌒ ∂ ∇
≡ ≒ ≪ ≫ √ ∽ ∝ ∵
∫ ∬ Å ‰ ♯ ♭ ♪ †
‡ ¶ ◯ Α Β Γ Δ Ε
Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν
Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ
Χ Ψ Ω α β γ δ ε
ζ η θ ι κ λ μ ν
ξ ο π ρ σ τ υ φ
χ ψ ω А Б В Г Д
Е Ё Ж З И Й К Л
М Н О П Р С Т У
Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы
Ь Э Ю Я а б в г
д е ё ж з и й к
л м н о п р с т
у ф х ц ч ш щ ъ
ы ь э ю я ─ │ ┌
┐ ┘ └ ├ ┬ ┤ ┴ ┼
━ ┃ ┏ ┓ ┛ ┗ ┣ ┳
┫ ┻ ╋ ┠ ┯ ┨ ┷ ┿
┝ ┰ ┥ ┸ ╂ ① ② ③
④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪
⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲
⑳ Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ
Ⅷ Ⅸ Ⅹ ㍉ ㌔ ㌢ ㍍ ㌘
㌧ ㌃ ㌶ ㍑ ㍗ ㌍ ㌦ ㌣
㌫ ㍊ ㌻ ㎜ ㎝ ㎞ ㎎ ㎏
㏄ ㎡ ㍻ 〝 〟 № ㏍ ℡
㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ㈱ ㈲ ㈹
㍾ ㍽ ㍼ ≒ ≡ ∫ ∮ ∑
√ ⊥ ∠ ∟ ⊿ ∵ ∩ ∪

次ページへ続く

■ ひらがな／漢字モードで「かお」と入力して変換される顔文字と絵文字

(^-^)	m(__)m	(^0^)v
(^_^;	(T_T)	(;_;)
(-。-;)	(>_<。)	(-_-)zzz･･
(o^_^o)	(^-^)v	(＊⌒▽⌒＊)
ヾ（＾▽＾）ノわーい	(x_x;)	(^^;;
（＾＾ゞ	σ（＾＿＿＾；）？	(＊´д｀＊)
(´・ω・｀)	(—”—；）なぬ？	(；￢＿￢）じ～っ
(-_-)	(-_-#)	ヽ（＊｀Д´）ノ
(—．—”）凸　チッチッチ	(ノ—”—）ノ～┻━┻	(゜0゜;)
Σ（￣□￣）！	(/_;)	(T-T)
(T^T)	(>_<)	(つд｀）
(；´д⊂)	φ（．＿＿．）メモメモ	(　＾—＾）⊃旦～
ヽ（´—｀）ノ	(｀＿＿´）ゞ了解！	(＿＿　＿＿）．ｏＯ
(＾＿＿＾）／～	ヾ（＾＿＿＾）ｂｙｅｂｙｅ！！	(^^)/ｼ
(＾ ３ ＾）／チュッ	♪～（￣ε￣）	ｏ—＿＿—）＝○☆
0(><;)(;><)0	(　ｉ＿＿ｉ）＼（＾＿＿＾）	(･･;)
(?_?)	(笑)	(爆)
(￣—＋￣）ふっ	○|￣|＿	(・∀・)
(＝゜ω゜）ノ	(-.-;)y-~~~	ヽ（＾＾　）
p(^-^)q	f(^_^)	(゜Д゜；≡；゜д゜)

定型文一覧

挨拶・連絡（29 種類）			
OK です。	NG です。	おはようございます。	こんにちは。
こんばんは。	おやすみなさい。	ごぶさたしております。	さようなら。
お疲れさま。	ありがとうございました。	ごめんなさい。	いってらっしゃい。
おまかせします。	お待ちしています。	すぐ行きます。	お休みします。
遅れます。	あとで連絡します。	先に行きます。	戻ってきます。
出席します。	欠席します。	再開します。	すぐに戻って下さい。
もう少し待って下さい。	すぐ連絡下さい。	迎えに来て下さい。	先に行って下さい。
今どこにいますか？			

ビジネス（16 種類）			
○○の件、よろしくお願い致します。	待ち合わせの変更です。場所は○○です。時間は○○時です。	○○の件、確認しました。	予定変更です。至急電話下さい。
○○時頃まで携帯電話の電源を切ります。	○○時頃出社します。	直行します。	直帰します。
本日の会議は、○○となりました。	本日のご訪問は、○○となりました。	FAX を確認して下さい。	ご報告いたします。
お知らせします。	よろしくお伝えください。	ご伝言をお願いいたします。	いつもお世話になっています。

絵文字入り（15 種類）			
【おはよう】 おはよう 今日も一日頑張りましょう！	【おやすみ】 おやすみなさい また明日ねzzz	【楽しかったよ】 今日はとっても楽しかったよ。ありがとう	【元気？】 お元気ですか？ご無沙汰しております
【遅れます】 ごめんなさい 遅れます。あと○○分くらいで着きます。	【外食して帰る】今日は外で食べて帰ります ご飯はいりません。	【誕生日】 HAPPY BIRTHDAY！お誕生日おめでとう	【アドレス変更】 アドレス変更しました。新アドレスは @docomo.ne.jp です。電話帳を変更してください。番号は変わりません。
【乗車中です】 すみません。今、電車に乗っているため電話に出られません。降りたら折り返し連絡します	【今から帰る】 今、終わりました これから帰ります	【洗濯物】 雨が降りそうです。洗濯物を取りこんでおいてください	【今夜の夕食】 今から買い物して帰ります♪今夜の夕食は何がいいですか？
【ビデオ録画】 ○○時から○○チャンネルで放送する○○をビデオ録画しておいてください	【帰ってきなさい】 今、どこに居るんですか!?遅くならないうちに帰ってきなさい	【お届けもの】 今日○○を送っておきました。届いたら連絡ください	

顔文字（15 種類）			
(^^)	(^^;	(; ;)	(-_-)
(^_^)/	(^_^)V	m(__)m	＼(^_^)／
(*_*)	(?_?)	(∵)	(. .)
(>_<)	(@_@)	o(^-^)o	

次ページへ続く

<table>
<tr><th colspan="4">文例集（16 種類）</th></tr>
<tr><td>【寒中見舞い】 寒さ厳しき折、お変わりございませんか。御身ご大切になさいますようお祈り申し上げます。</td><td>【暑中見舞い】 暑中お見舞い申し上げます。時節柄、ご健康には十分ご留意のうえご活躍くださいますよう心から祈念いたしております。盛夏</td><td>【御礼】 時下益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。この度は丁寧なお心遣いをいただき、厚く御礼申し上げます。</td><td>【残暑見舞い】 残暑お見舞い申し上げます。残暑ことのほか厳しい折柄、皆様のご健康をお祈り申し上げます。盛夏</td></tr>
<tr><td>【結婚祝い】 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。この度はご結婚おめでとうございます。お二人の門出を心より祝福申し上げます。</td><td>【出産祝い】 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。この度はご出産おめでとうございます。お子様の壮健なご成長を祈念いたします。</td><td>【入学祝い】 ご入学おめでとうございます。充実した学生生活を送り、さらに大きく飛躍されることをお祈りいたします。</td><td>【卒業祝い】 ご卒業おめでとうございます。新しい人生の門出を心よりお祝い申し上げます。</td></tr>
<tr><td>【就職祝い】 ご就職おめでとうございます。健康に留意され、ご活躍されることを心よりお祈り申し上げます。</td><td>【病気見舞い】 お体の具合はいかがでしょうか。一日も早いご回復を祈念し、心よりお見舞い申し上げます。</td><td>【転居案内】 転居のご案内を申し上げます。住所、電話番号などは追ってお知らせいたします。取り急ぎご連絡まで。</td><td>【詫状】 この度は多大なご迷惑をおかけし、誠に申し訳ありません。何卒ご寛容の上、引続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。</td></tr>
<tr><td>【誕生日祝い】 心から○○様のお誕生日をお祝いいたしますとともに、今後のご健康と御繁栄を祈念いたします。</td><td>【成功祝い】 ご成功の報に接し、心よりお祝い申し上げますとともに、今後の益々のご活躍を祈念いたします。</td><td>【就任祝い】 この度のご就任、心からお喜び申し上げます。今後ますますのご健勝とご隆盛をお祈りいたします。</td><td>【人事異動通知】 この度弊社の人事異動により○○へ移動となりました。今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願いいたします。</td></tr>
<tr><th colspan="4">アドレス・データ形式（9 種類）</th></tr>
<tr><td>http://www.</td><td>@docomo.ne.jp</td><td>.com</td><td>.ne.jp</td></tr>
<tr><td>.co.jp</td><td>.or.jp</td><td>.go.jp</td><td>.ac.jp</td></tr>
<tr><td>.html</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><th colspan="4">ユーザ作成（最大 50 件）</th></tr>
<tr><td colspan="4">登録した定型文が表示されます。</td></tr>
</table>

定型文を登録／編集します ＜定型文登録＞

定型文を新しく登録したり、お買い上げ時に登録されている定型文を編集して新しい定型文として登録したりできます。登録した定型文は「ユーザ作成」フォルダに登録されます。

●最大 50 件登録できます。

1 待受画面で（メニュー）▶「# 詳細な機能を設定する」▶「1 入力に関する設定を行う」▶「3 よく使う定型文を登録する」を押す

定型文一覧
挨拶・連絡
ビジネス
絵文字入り
顔文字
文例集
アドレス・データ形式
ユーザ作成
決定

■ 登録済みの定型文を編集して登録するとき

①利用したい定型文が登録されているフォルダを選択▶決定▶利用したい定型文を選択▶決定を押す

定型文が表示されます。

②決定を押す

定型文編集の画面が表示されます。操作3に進みます。

2 「ユーザ作成」フォルダを選択▶決定▶「＜新しい定型文＞」を選択▶決定を押す

定型文編集 残128
で入力文字の切替
テレビ電話で大/小文字の切替
メニュー 確定 ガイド

3 定型文を入力▶決定を押す

定型文を登録した旨のメッセージが表示されます。

●全角で最大 64 文字、半角で最大 128 文字入力できます。

4 決定を押す

定型文一覧に戻ります。

●（終話）を押すと待受画面に戻ります。

定型文を削除します

●「ユーザ作成」フォルダに登録されている定型文のみ削除できます。

1 定型文一覧を表示する

●操作方法→P541 操作1

2 「ユーザ作成」フォルダを選択▶決定▶削除する定型文を選択▶メニューを押す

定型文を
削除しますか？

1削除する
2削除しない

決定

●定型文を選択して決定を押し、定型文の詳細画面でメニューを押しても操作できます。

「1 削除する」　：定型文を削除します。
「2 削除しない」：定型文を削除しません。

3 「1 削除する」を押す

定型文を削除した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

定型文一覧に戻ります。

●終話を押すと待受画面に戻ります。

文字のコピーと貼り付け <文字コピー>

文字入力画面から文字のコピーを行い、別の場所に貼り付けます。別の文字入力画面に貼り付けることもできます。

●コピーした文字は電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。

●記録できるのは1件だけです。新たにコピーを行うと内容は上書きされます。

文字をコピーします

入力済みの文字を選択してコピーを行います。

1 文字入力画面でメニュー▶「5 文字をコピー」を押す

2 コピー開始位置にカーソルを合わせて決定を押す

● メニュー：全文を選択します。

3 ［メール］［電話帳］［左］［右］を押して終了位置にカーソルを合わせて決定を押す

コピーした旨のメッセージが表示されます。

● メニュー／電話帳：カーソルを文頭／文末に移動します。

4 決定を押す

文字入力画面に戻ります。

文字を貼り付けます

コピーした文字を文字入力画面に貼り付けます。

1 文字入力画面で、貼り付ける位置にカーソルを合わせてメニュー▶「6 コピー貼付け」を押す

文字がカーソル位置に挿入されます。

● 貼り付けを行ったとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、貼り付けるかどうかの確認画面が表示され、「1 貼り付ける」を押すと入力可能な文字数以降は削除されます。

お知らせ

● コピーした文字種と、貼り付け先の文字種が適合しているときのみ、貼り付けられます。たとえば、メールアドレス欄（半角英数字）にひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。

● 改行が入力できない入力画面に、「↵」（改行マーク）を含んだ文字列を貼り付けた場合は、空白に置き換えられます。

区点コードで入力します <区点コード入力>

区点コード一覧（→P560）の文字、数字、記号を4桁の区点コードを使って入力します。

〈例〉「携」（区点コード2340）を入力するとき

1 文字入力画面で（メニュー）▶「*区点コード入力」を押す

区点コードを
入力してください
(0101～8406)

区点コード　0101

確定

2 4桁の区点コード（この場合は2 3 4 0）を入力▶（決定）を押す

「携」が入力されます。

● 有効な区点コードは0101～8406です。この範囲でも、文字、数字、記号が割り当てられていない区点コードは無効です。

よく使う単語を登録します <単語登録>

よく使う単語をあらかじめユーザ辞書データに登録しておき、文字の変換のときに簡単に呼び出します。

● 最大 50 件登録できます。

1 待受画面で（メニュー）▶「# 詳細な機能を設定する」▶「1 入力に関する設定を行う」▶「2 よく使う単語を登録する」を押す

単語登録状況
登録数 0件
残り 50件
決定

登録されている単語の件数と、登録できる件数が表示されます。

2 決定 を押す

新規登録
決定

単語が登録されている場合は、登録した単語の一覧が表示されます。

■ **登録済みの単語を編集するとき**

編集する単語を選択▶（電話帳）を押す

単語の入力画面が表示されます。操作４に進みます。

3 「新規登録」を選択▶ 決定 を押す

単語を
入力してください
メニュー 確定▶ガイド

次ページへ続く

4 単語を入力▶決定を押す

DoCoMo
読みを
入力してください

メニュー 確定 ガイド

●全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。
●登録できる文字の種類は次のとおりです。
- ひらがな／漢字
- 全角／半角カタカナ
- 全角／半角英字
- 全角／半角数字
- 全角／半角記号
- 絵文字

5 読みを入力▶決定を押す

単語を登録した旨のメッセージが表示されます。

●ひらがなで最大16文字入力できます。

6 決定を押す

単語の一覧に戻ります。

●☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

●単語と読みは必ず入力してください。
●読みにひらがなと長音、濁点、半濁点以外の文字が入力されていた場合は、登録できません。
●単語と読みの組み合わせが同じ単語が登録されている場合は、登録できません。
●同じ読みの単語は、最大5つ登録できます。さらに登録する場合は、読みを変更して登録してください。

単語を削除します

1 単語の一覧を表示する

●操作方法→P545 操作1～2

2 削除する単語を選択▶メニュー▶「2 削除する」を押す

選択した単語を
削除しますか？

1削除する
2削除しない

決定

「1 削除する」　：単語を削除します。
「2 削除しない」：単語を削除しません。

●削除する単語を選択し決定を押すと、登録内容が確認できます。そのままメニューを押しても同様に削除できます。

3 「1 削除する」を押す

単語を削除した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

単語の一覧に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

電話帳を引用して入力します ＜電話帳呼出＞

電話帳の登録内容を引用して入力することができます。

1 文字入力画面で メニュー ▶「7 電話帳を呼出す」を押す

電話帳の検索画面が表示されます。

2 引用する電話帳データを検索して選択 ▶ 決定を押す

項目一覧
橋本花子
03XXXXXXXX
090XXXXXXXX
docomo.taro.ΔΔ…
docomo-ΔΔ-taro…
挿入する項目を
選んでください
決定

● 検索方法→P134

3 引用する内容を選択 ▶ 決定を押す

選択した内容が挿入されます。

お知らせ

● 入力画面によっては、選択した内容が挿入されない場合があります。

入力予測機能を使用します／使用しません<文字入力方法設定>

お買い上げ時　有効にする

文字を入力するときに、入力予測機能を使用するかどうかを設定します。

1 **待受画面で（メニュー）▶「# 詳細な機能を設定する」▶「1 入力に関する設定を行う」▶「1 文字の入力方法を設定する」を押す**

入力予測を
有効にしますか？

1有効にする
2無効にする

決定

2 **「1 有効にする」または「2 無効にする」を押す**

入力予測機能を有効／無効にした旨のメッセージが表示されます。

3 **（決定）を押す**

メニュー画面に戻ります。

● （終話）を押すと待受画面に戻ります。

文字入力中に設定を変更します

1 **文字入力画面で（メニュー）▶「0 入力予測無効」を押す**

入力予測機能が無効に設定されます。

● 入力予測機能が無効に設定されているときに有効にする場合は、文字入力画面で（メニュー）▶「0 入力予測有効」を押します。

付録

困ったときには

メニュー一覧

待受画面からショートカット操作で選択できるメニューの一覧です。

一覧表の見かた

● メニューを押し、メニューの左に記載されている数字や記号（項目番号）を順番に押すと、メニューを選択できます。
● いくつかのメニューは、メニューと項目番号を押す代わりにボタン１つで選択できます。メニューの右の（　）内にボタンを記載しています。
● 　は、「設定を初めの状態に戻す」を行うとお買い上げ時の状態に戻るメニューです。
● 音声でメニューの説明を聞くことができます。→ P215

〈例〉写真を撮影する方法

次の２とおりがあります。

<方法1>
待受画面でメニュー ▶ 4 ▶ 1

<方法2>
待受画面で（カメラ）を押す

4 写真・ビデオを撮る・見る
　1 写真を撮影する（（カメラ））
　2 ビデオを撮影する

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 電話してきた相手を見る（）	－	P84
2 電話・電話帳を使う		
1 電話帳の内容を見る	－	P134
2 電話帳に登録する	－	P120
3 電話を受けた時の音を選ぶ		
1 音声電話の着信音を選ぶ	着信音設定：鳴らす 着信音：着信音１	P160
2 テレビ電話の着信音を選ぶ	着信音設定：鳴らす 着信音：ハープ	P160
4 電話を受けた時の振動を選ぶ		
1 音声電話の振動を選ぶ	振動させない	P163
2 テレビ電話の振動を選ぶ	振動させない	P163
5 電話を受けた時の音量を調節する	音量４	P88
6 相手の声の音量を調節する	音量４	P86
7 伝言メモを使う		
1 伝言メモを再生する（）	－	P98
2 伝言メモを設定する	停止する	P94
3 伝言メモの応答メッセージを選ぶ	標準	P97
8 電話帳のグループを設定する		
1 グループ名を変更する	－	P128
2 グループ専用の電話着信音を選ぶ	専用設定なし	P129
3 グループ専用のメール着信音を選ぶ	専用設定なし	P129

メニュー	お買い上げ時	参照先
3 メールを使う（メールキー）		
1 受信したメールを見る	−	P351 P380
2 メールを作る（メールキー1秒以上）	−	P320 P325
3 例文を使ってメールを作る	−	P339
4 未送信のメールを見る	−	P343
5 送信したメールを見る	−	P343
6 メールがあるか問合せる		
1 届いているメール・メッセージを受信する	−	P349
2 メール選択受信を行う	−	P348
7 メールアドレスを確認・変更する	−	P314
8 メールを設定する		
1 メールが届いた時の音を選ぶ	メール着信音設定：鳴らす 着信音　　：着信音1 鳴らす時間：3秒	P366
2 メールが届いた時の振動を選ぶ	振動させない	P367
3 メールに付ける署名を登録する	−	P368
4 例文を編集する	−	P340
5 メール選択受信を設定する	利用しない	P347
9 SMSを使う		
1 SMSを作る	−	P372
2 届いているSMSを全部受信する	−	P379
3 SMSを設定する※1	送達通知：要求しない 上記以外はFOMAカードの設定に従う	P390
4 FOMAカードの受信SMSを見る	−	P385
5 FOMAカードの送信SMSを見る	−	P385
4 写真・ビデオを撮る・見る		
1 写真を撮影する（カメラキー（📷））	−	P231
2 ビデオを撮影する	−	P234
3 写真のアルバムを見る	−	P418
4 ビデオのアルバムを見る	−	P431
5 iモードを使う（決定1秒以上）		
1 iMenuを見る	−	P255
2 ブックマークを見る	−	P269
3 インターネットに接続する		
1 URLを入力して接続する	−	P265
2 サイトの入力履歴から接続する	−	P266
4 画面メモを見る	−	P276

次ページへ続く

メニュー	お買い上げ時	参照先
5 モードを使う（決定 1 秒以上）		
5 メッセージを見る		
1 メッセージリクエストを見る	―	P301
2 メッセージフリーを見る	―	P301
3 届いているメール・メッセージを受信する	―	P298
4 メッセージが届いた時の音を選ぶ		
1 メッセージリクエスト	着信音設定：鳴らす 着信音　：着信音 1 鳴らす時間：3 秒	P298
2 メッセージフリー	着信音設定：鳴らす 着信音　：着信音 1 鳴らす時間：3 秒	P298
5 メッセージが届いた時の振動を選ぶ		
1 メッセージリクエスト	振動させない	P300
2 メッセージフリー	振動させない	P300
6 目覚まし・予定を登録する		
1 目覚ましを使う	目覚まし：停止	P460
2 予定表を使う	―	P464
3 予定の登録件数を見る	―	P470
4 通知の時刻に電源を入れる	入れない	P459
7 電卓を使う	―	P479
8 歩数計を使う		
1 歩数計の利用／停止を設定する	利用しない	P482
2 歩数の履歴を表示する	―	P483
3 歩数の自動送信メールを設定する	自動送信メール：送信しない	P486
4 歩数の履歴を削除する	―	P485
5 今日の歩数を削除する	―	P485
9 初めに行う設定		
1 発信者番号通知を使う		
1 発信者番号通知を設定する	―	P59
2 発信者番号通知設定を確認する	―	P61
2 待受画面に画像カレンダーを設定する	画像を表示：草原	P169
3 画面の配色を設定する	ブルー	P172
4 画面の明るさを設定する	画面の明るさ：標準の明るさ 照明時間　：30 秒	P173
5 ボタンを押した時の音を設定する	鳴らす	P164
6 音声読み上げを使う		
1 音声読み上げを設定する	動作：なし 声質：女声 速さ：2 音量：4	P215

メニュー				お買い上げ時	参照先
9 初めに行う設定					
	6 音声読み上げを使う				
		2 音声読み上げ用の単語を登録する		―	P223
		3 スピーカー／受話口の切替を行う		スピーカー	P218
	7 音声呼出しを登録する				
		1 音声で呼出す電話帳を登録する		―	P206
		2 音声で呼出す機能を登録する		―	P210
	8 時計を設定する				
		1 日付と時刻を設定する		―	P58
		2 待受画面に時計を表示する		待受時計表示：表示する 表示形式：24時間形式	P174
	9 ワンタッチアラームを使う			無効にする	P476
0 自分の電話番号を見る				―	P61
* ネットワークサービスを使う					
	1 留守番サービスを使う				
		1 留守番メッセージを再生する		―	P503
		2 メッセージがあるか問合せる		―	P503
		3 留守番サービスを開始する		―	P502
		4 留守番サービスを停止する		―	P502
		5 留守番サービスの詳細を設定する		―	P503
		6 留守番呼出時間を設定する		―	P502
		7 留守番サービスの設定を確認する		―	P502
		8 着信通知を使う			
			1 着信通知を開始する	―	P504
			2 着信通知を停止する	―	P504
			3 着信通知の設定を確認する	―	P504
	2 キャッチホンを使う				
		1 キャッチホンを開始する		―	P505
		2 キャッチホンを停止する		―	P505
		3 キャッチホンの設定を確認する		―	P506
	3 転送サービスを使う				
		1 転送サービスを開始する		―	P508
		2 転送サービスを停止する		―	P509
		3 転送先を変更する		―	P510
		4 転送先が通話中の時の設定をする		―	P510
		5 転送サービスの設定を確認する		―	P509
	4 迷惑電話ストップを使う				
		1 迷惑電話着信拒否を登録する		―	P511
		2 迷惑電話全登録を削除する		―	P512
		3 迷惑電話1登録を削除する		―	P512

次ページへ続く

メニュー	お買い上げ時	参照先
[*] ネットワークサービスを使う		
5 番号通知お願いサービスを使う		
1 番号通知お願いサービスを開始する	―	P512
2 番号通知お願いサービスを停止する	―	P513
3 番号通知お願いサービスを確認する	―	P513
6 通話中着信設定を使う		
1 通話中着信設定を開始する	―	P517
2 通話中着信設定を停止する	―	P518
3 通話中着信設定を確認する	―	P518
7 通話中着信動作を選ぶ	通常着信する	P516
8 その他のサービスを使う		
1 遠隔操作設定を使う		
1 遠隔操作を開始する	―	P518
2 遠隔操作を停止する	―	P519
3 遠隔操作の設定を確認する	―	P519
2 英語ガイダンスを使う		
1 ガイダンスを設定する	―	P515
2 ガイダンスの設定を確認する	―	P516
3 デュアルネットワークを使う		
1 デュアルネットワークを切替える	―	P514
2 デュアルネットワークの状態を確認する	―	P514
4 サービスダイヤルを使う		
1 ドコモ総合案内・受付に電話する	―	P516
2 ドコモ故障問合せ窓口に電話する	―	P516
5 ソフトウェアを更新する	―	P588
[#] 詳細な機能を設定する		
1 入力に関する設定を行う		
1 文字の入力方法を設定する	有効にする	P548
2 よく使う単語を登録する	―	P545
3 よく使う定型文を登録する	―	P541
2 電話・電話帳の詳細を設定する		
1 電話帳の登録件数を見る	―	P155
2 着信を拒否する相手を指定する※2	解除する	P196
3 着信を許可する相手を指定する※2	解除する	P196
4 電話帳登録外の着信を拒否する	許可する	P203
5 発番通知のない着信を設定する	非通知設定 ：設定を解除 通知不可能 ：設定を解除 公衆電話 ：設定を解除	P199
6 イヤホンマイク接続時に自動で着信する	応答方法：手動	P494
7 背面の画面表示を設定する	表示する	P172
8 オートスピーカーホンを設定する	解除する	P83

メニュー	お買い上げ時	参照先
# 詳細な機能を設定する		
2 電話・電話帳の詳細を設定する		
9 無音着信時間を設定する	無音着信動作：設定しない	P201
0 テレビ電話を設定する		
1 テレビ電話画面の表示を設定する	相手を大きく	P112
2 テレビ電話画面の明るさを設定する	標準の明るさ	P113
3 音声再発信を設定する	かけ直さない	P114
4 発信時の自画像送信を設定する	送る	P115
5 テレビ電話画面の大きさを設定する	拡大して表示	P116
3 音を設定する		
1 充電開始と完了時の音を設定する	知らせる	P165
2 電池残量の警告音を設定する	鳴らす	P55
3 イヤホンマイク利用時の切替を設定する	イヤホンマイク＋スピーカー	P167
4 通話状態が悪い時に音で知らせる	高音で鳴らす	P166
5 再接続した時の音を選ぶ	高音で鳴らす	P78
6 保存した曲の詳細を設定する	―	P443
4 メールの詳細を設定する		
1 問合せ内容を選ぶ	すべて選択	P350
2 添付の画像を受信する	受信する	P369
3 添付のメロディを受信する	受信する	P370
4 添付のメロディを自動演奏する	自動演奏する	P371
5 メッセージの詳細を設定する		
1 メッセージのメロディを自動演奏する	自動演奏する	P297
2 未読メッセージを自動で表示する	メッセージR優先	P296
6 i モードの詳細を設定する		
1 問合せ内容を選ぶ	すべて選択	P350
2 文字の大きさを選ぶ	標準の大きさ	P286
3 画像表示・照明を設定する	画像　：表示する アニメーション：再生する 照明設定　：常に点灯	P287
4 i モーションの再生を設定する	自動再生設定：自動再生する i モーションタイプ：標準	P415
5 接続までの待ち時間を設定する	60秒間	P288
6 接続先番号を設定する	i モード	P289
7 証明書の表示と使用を設定する※3	CA証明書1～9 上記以外はFOMAカードの設定に従う	P291
8 ユーザ証明書を操作する	―	P306
9 証明書の発行先を変更する	接続先：ドコモ	P309
7 情報の表示やリセットを行う		
1 通話時間を見る	―	P472
2 通話料金を見る	―	P474
3 通話時間をリセットする	―	P473

次ページへ続く

メニュー	お買い上げ時	参照先
[#] 詳細な機能を設定する		
[7] 情報の表示やリセットを行う		
[4] 通話料金をリセットする	―	P475
[5] 電池残量を確認する	―	P54
[6] 設定を初めの状態に戻す	すべて選択	P495
[7] 本体内データを全て削除する	―	P497
[8] 操作の制限をする		
[1] 全ての操作を制限する	―	P190
[2] セルフモードを設定する	解除する	P191
[3] シークレットモードに設定する	解除する	P192
[4] 履歴の表示を制限する	制限しない	P193
[5] 個人の情報表示を制限する	制限しない	P193
[6] 暗証番号を変更する	0000	P180
[7] FOMAカードのPINコードを設定する	FOMAカードの設定に従う	P183 P185
[8] ダイヤル入力での発信を制限する	制限しない	P195
[9] 決めた時刻に電源を入／切する		
[1] 電源が入る時刻を設定する	自動電源入：停止する	P455
[2] 電源が切れる時刻を設定する	自動電源切：停止する	P457
[0] データ転送時の動作を設定する	確認後に保存	P575

電話帳 短押し

メニュー	お買い上げ時	参照先
[1] 電話帳の内容を見る	―	P134〜P138
[2] 電話帳に登録する	―	P120
[3] 音声で呼出す電話帳を登録する	―	P206
[4] 電話帳のグループを設定する		
[1] グループ名を変更する	―	P128
[2] グループ専用の電話着信音を選ぶ	―	P129
[3] グループ専用のメール着信音を選ぶ	―	P129

※1：「設定を初めの状態に戻す」を行うと、FOMAカードの設定が次の設定になります。
- 送信文字種：日本語　●送達通知：要求しない　●有効期間：3日
- SMSC　：ドコモ　●アドレス：81903101652
- Type of Number：International

※2：「設定を初めの状態に戻す」を行っても、着信拒否／許可一覧の登録内容はリセットされません。

※3：「設定を初めの状態に戻す」を行うと、FOMAカードの設定もすべて選択になります。

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧

ダイヤルボタンには、次のように文字が割り当てられています。

ボタン	ひらがな／漢字入力モード※1	半角カタカナ入力モード	半角英字入力モード	半角数字入力モード※2
1	あ い う え お 1	ｱ ｲ ｳ ｴ ｵ 1	. / @ ~ - : _ [¥] ^ ` { | } 1	1
2	か き く け こ 2	ｶ ｷ ｸ ｹ ｺ 2	a b c 2	2
3	さ し す せ そ 3	ｻ ｼ ｽ ｾ ｿ 3	d e f 3	3
4	た ち つ て と 4	ﾀ ﾁ ﾂ ﾃ ﾄ 4	g h i 4	4
5	な に ぬ ね の 5	ﾅ ﾆ ﾇ ﾈ ﾉ 5	j k l 5	5
6	は ひ ふ へ ほ 6	ﾊ ﾋ ﾌ ﾍ ﾎ 6	m n o 6	6
7	ま み む め も 7	ﾏ ﾐ ﾑ ﾒ ﾓ 7	p q r s 7	7
8	や ゆ よ 8	ﾔ ﾕ ﾖ 8	t u v 8	8
9	ら り る れ ろ 9	ﾗ ﾘ ﾙ ﾚ ﾛ 9	w x y z 9	9
0	わ を ん ー 、 。 ・ ？ ！ 「 」 □ 0	ﾜ ｦ ﾝ ｰ ､ ｡ ･ ? ! ｢ ｣ □ 0	! ” # $ % & ’ ( ) * + , ;< = > ? □ 0	0 +※3
*	゛ ゜	ﾞ ﾟ	@docomo.ne.jp .com .or.jp .go.jp .ne.jp .co.jp .ac.jp http://www. www. .html .htm	* P※3
#	改行（↵）	改行（↵）	改行（↵）	# T※3
テレビ電話	大文字と小文字の切り替え	大文字と小文字の切り替え	大文字と小文字の切り替え	

□：空白を示します。

■：文字入力後にテレビ電話を押すたびに、大文字と小文字が切り替わります。

※1：数字は半角で入力されます。

※2：半角数字入力モードの「*」「#」「P」「T」「+」は、これらの文字が有効な入力欄でのみ入力できます。

※3：該当するボタンを1秒以上押すと入力できます。

記号・特殊文字入力一覧

ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して変換してください。→P531

読　み	入力文字
あーる	㌃ Ｒ ｒ
あい	Ｉ ｉ
あるふぁ	α Α
あんだーばー	＿
あんど	＆
いー	Ｅ ｅ
いーた	Η η
いこーる	＝
いおた	Ι ι
いち	① Ⅰ
いぷしろん	Ε ε
えっくす	Ｘ ｘ
えっち	Ｈ ｈ
えー	Ａ ａ
えい	Ａ ａ
えいち	Ｈ ｈ
えす	Ｓ ｓ
えぬ	Ｎ ｎ
えふ	Ｆ ｆ
えむ	Ｍ ｍ
える	Ｌ ｌ
えん	￥
おー	Ｏ ｏ
おう	Ｏ ｏ
おす	♂
おみくろん	Ο ο
おめが	Ω ω
おんぐすとろーむ	Å
おんぷ	♪

読　み	入力文字
かっこ	（） 「」 ［］ ｛｝ 〔〕 〈〉 《》『』【】
かっぱ	Κ κ
かい	Χ χ
かける	×
かぶ	㈱
かぶしきがいしゃ	㈱ ㏍
から	～
かろりー	㌍
がんま	γ Γ
きゅー	Ｑ ｑ
きゅう	⑨ Ⅸ
きごう	< 〈 > 〉 ＠ ＠ ／ ／ 〃 ± 々 × ≠ ÷ ≦ ≧ ∴ § ＼ ∞ ∧ ∈ ∨ ¬ ∋ ∀ ⊆ ⊇ ∃ ∠ ⊂ ⊥ ⊃ ⌒ ∪ ∩ ∂ ⊿ ∇ Σ ≡ ≒ ∮ ≪ 〟 〝 ≫ ∟ √ ∽ ∝ ∵ ∫ ∬ Å ‰ † ‡ ¶
きろ	㌔
きろぐらむ	㎏
きろめーとる	㎞
く	⑨ Ⅸ
くさい	Ξ ξ
ぐらむ	㌘
けー	Ｋ ｋ

読　み	入力文字
けい	Ｋ ｋ
こめ	※
こめじるし	※
ころん	：
ご	⑤ Ⅴ
さん	③ Ⅲ
さんかく	▽▲△▼
し	④ Ⅳ
しゃーぷ	＃
しょうわ	㍼
しー	Ｃ ｃ
しーしー	㏄
しーた	θ Θ
しかく	□◆◇■
しぐま	Σ σ
しち	⑦ Ⅶ
しめ	〆
じぇー	Ｊ ｊ
じぇい	Ｊ ｊ
じゅう	⑩ Ⅹ
じゅういち	⑪
じゅうく	⑲
じゅうご	⑮
じゅうさん	⑬
じゅうし	⑭
じゅうしち	⑰
じゅうに	⑫
じゅうはち	⑱
じゅうよん	⑭
じゅうろく	⑯

読　み	入力文字
じー	Ｇ ｇ
すらっしゅ	／＼/
せくしょん	§
せみころん	；
せんち	㎝ ㌢
せんちめーとる	㎝
せんと	㌣ ¢
ぜーた	Ζ ζ
ぜっと	Ｚ ｚ
たいしょう	㍽
たう	Τ τ
たす	＋
だい	㈹
だいひょう	㈹
だぶりゅ	Ｗ ｗ
だぶりゅー	Ｗ ｗ
てぃー	Ｔ ｔ
てー	Ｔ ｔ
てん	…‥・．、’ ” ‘ “ ｀ ´ ¨ ヽ ヾ ゝ ゞ 、 ｀ ， ”
てんてん	‥…
でぃー	Ｄ ｄ
でるた	Δ δ
でんわ	℡
とん	㌧
どう	仝 々 〃
どしー	℃
どる	㌦ ＄
なな	⑦ Ⅶ
なみ	～
なんばー	№
に	② Ⅱ
にゅー	Ν ν
にじゅう	⑳
のま	々
はいふん	‐
はち	⑧ Ⅷ
はてな	？
ぱい	Π π
ばつ	×
ぱーせんと	％ ㌫
ひく	−
ひしがた	◇◆
びっくり	！
びー	Ｂ ｂ
ぴー	Ｐ ｐ
ふぁい	Φ φ
ふらっと	♭
ぶい	Ｖ ｖ
ぷさい	Ψ ψ
ぷらす	＋
へいせい	㍻
へいほうめーとる	㎡
へくたーる	㌶
べーた	β Β
ぺーじ	㌻
ほし	☆★
まいなす	−
まる	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㊤㊥㊦㊧㊨。○●◎
みゅー	Μ μ
みり	㎜ ㍉
みりぐらむ	㎎
みりばーる	㍊
みりめーとる	㎜
めーとる	㍍
めいじ	㍾
めす	♀
やじるし	→←↑↓⇒⇔
ゆー	Ｕ ｕ
ゆう	㈲
ゆうげんがいしゃ	㈲
ゆうびん	〒
ゆうびんばんごう	〒
ゆぷしろん	υ Υ
よん	④ Ⅳ
らむだ	λ Λ
りっとる	㍑
ろー	Ρ ρ
ろく	⑥ Ⅵ
わっと	㍗
わい	Ｙ ｙ
わる	÷

※特殊記号の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

※入力文字の中には、全角文字しか存在しないもの、半角文字しか存在しないもの、全角文字と半角文字の両方が存在するものがあります。

区点コード一覧

※区点コード入力の操作→ P544

※区点コード一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
						あ				
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
						い				
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
						う				
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
						え				
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
						お				
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
						か				
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
						き				
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
						く				
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
						け				
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
						こ				
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
						さ				
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪

区点コード一覧（つづき）

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	し									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	す									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	せ									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	そ									
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	た									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	ち									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	つ									
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	て									
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	と									
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	な									
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	に									
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	ぬ									
390									濡	
	ね									
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
	の									
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	は									
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	ひ									
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	ふ									
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	へ									
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	ほ									
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	ま									
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	み									
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	む									
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	め									
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	も									
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	や									
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
449	鑓									
					ゆ					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
					よ					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
					ら					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
					り					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
					る					
466	瑠	塁	涙	累	類					
					れ					
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
					ろ					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
					わ					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

絵文字入力変換・読み上げ一覧

ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して変換してください。→P531
また、一覧から入力することもできます。音声読み上げを設定している場合、絵文字を選択して入力したときに読み上げられます。→P535、P537

読　み	変 換	音声読み上げ	読　み	変 換	音声読み上げ	読　み	変 換	音声読み上げ
えもじ		くいっくきゃすとまーく	えもじ		だっしゅまーく	せいざ	♎	てんびんざまーく
		きつえんまーく			うーまーく		♏	さそりざまーく
		きんえんまーく			うーんまーく		♐	いてざまーく
		かめらまーく	おんぷ		るんるんまーく		♑	やぎざまーく
		かばんまーく			むーどまーく		♒	みずがめざまーく
		ほんまーく	かお		わーいまーく		♓	うおざまーく
		りぼんまーく			ぷんぷんまーく	そのた		でんわへまーく
		ぷれぜんとまーく			がくーまーく			めーるへまーく
		ばーすでーまーく			もうやだーまーく		FAX	ふぁっくすへまーく
		でんわまーく			ふらふらまーく			どこもていきょうまーく
		けいたいでんわまーく	からだ		めまーく			どこもぽいんとまーく
		めもまーく			みみまーく		¥	ゆうりょうまーく
		てれびまーく			ぐーまーく		FREE	むりょうまーく
		げーむまーく			ちょきまーく		ID	あいでぃーまーく
		しーでぃーまーく			ぱーまーく			ぱすわーどまーく
		くつまーく			あしまーく			つぎありまーく
		めがねまーく	すうじ	1	しかくいち		CL	くりあまーく
		くるまいすまーく		2	しかくに			さーちまーく
		いぬまーく		3	しかくさん		NEW	にゅーまーく
		ねこまーく		4	しかくよん			いちじょうほうまーく
		りぞーとまーく		5	しかくご			ふりーだいやるまーく
		くりすますまーく		6	しかくろく		#	しゃーぷだいやるまーく
		あいもーどまーく		7	しかくなな			もばきゅうまーく
		あいもーどまーく		8	しかくはち		OK	けっていまーく
		めーるまーく		9	しかくきゅう	ちず		いえまーく
		おんせんまーく		0	しかくぜろ			びるまーく
		かわいいまーく	すぽーつ		すぽーつまーく			ゆうびんきょくまーく
		ちゅっまーく			やきゅうまーく			びょういんまーく
		ぴかぴかまーく			ごるふまーく		BK	ぎんこうまーく
		ひらめきまーく			てにすまーく		ATM	えーてぃーえむまーく
		むかっまーく			さっかーまーく		H	ほてるまーく
		ぱんちまーく			すきーまーく		CVS	こんびにまーく
		ばくだんまーく			ばすけっとまーく		GS	がそりんすたんどまーく
	zzz	ねむいまーく			もーたーすぽーつまーく		P	ちゅうしゃじょうまーく
	!	びっくりまーく	せいざ	♈	おひつじざまーく			しんごうまーく
	!?	びっくりはてなまーく		♉	おうしざまーく			といれまーく
	!!	にじゅうびっくりまーく		♊	ふたござまーく			れすとらんまーく
		どーんまーく		♋	かにざまーく			きっさてんまーく
		あせあせまーく		♌	ししざまーく			ばーまーく
		あせたらーっまーく		♍	おとめざまーく			びーるまーく

読み	変換	音声読み上げ
ちず		ふぁーすとふーどまーく
		ぶてぃっくまーく
		びよういんまーく
		からおけまーく
		えいがまーく
		ゆうえんちまーく
		おんがくまーく
		あーとまーく
		えんげきまーく
		いべんとまーく
		ちけっとまーく
つき		しんげつまーく
		かけづきまーく
		はんげつまーく
		みかづきまーく
		まんげつまーく
てんき		はれまーく
てんき		くもりまーく
		あめまーく
		ゆきまーく
		かみなりまーく
		たいふうまーく
		きりまーく
		こさめまーく
とらんぷ		はーとまーく
		すぺーどまーく
		だいやまーく
		くらぶまーく
のりもの		でんしゃまーく
		ちかてつまーく
		しんかんせんまーく
		せだんまーく
		あーるぶいまーく
		ばすまーく
のりもの		ふねまーく
		ひこうきまーく
はーと		はーとまーく
		ゆれるはーとまーく
		しつれんまーく
		ふくすうはーとまーく
やじるし		みぎななめうえやじるしまーく
		みぎななめしたやじるしまーく
		ひだりななめうえやじるしまーく
		ひだりななめしたやじるしまーく
		ぐっどまーく
		ばっどまーく

の絵文字は、絵文字を選択して入力してください。→P535、P537

変換	音声読み上げ
	かちんこまーく
	ふくろまーく
	ぺんまーく
	ひとかげまーく
	いすまーく
	よるまーく
	すーんまーく
	おんまーく
	えんどまーく
	とけいまーく
	じてんしゃまーく
	れんちまーく
	ぱそこんまーく
	えんぴつまーく
	くりっぷまーく
	さゆうまーく
	じょうげまーく
	りさいくるまーく
	えぬじーまーく
	まるひまーく
	きんしまーく
	くうしつまーく
	ごうかくまーく
	まんしつまーく
	きけんまーく
	こぴーらいとまーく
	とれーどまーく
	れじすとれっどまーく
	あいあぷりまーく
	あいあぷりまーく
	どるぶくろまーく
	うでどけいまーく
	とけいまーく
	おにぎりまーく
	しょーとけーきまーく
	ぱんまーく
	どんぶりまーく
	ゆのみまーく
	とっくりまーく
	わいんぐらすまーく
	ばななまーく
	りんごまーく
	さくらんぼまーく
	くろーばーまーく
	ちゅーりっぷまーく
	わかばまーく
	もみじまーく
	さくらまーく
	かたつむりまーく
	ひよこまーく
	ぺんぎんまーく
	さかなまーく
	うままーく
	ぶたまーく
	てぃーしゃつまーく
	じーんずまーく
	けしょうまーく
	ゆびわまーく
	おうかんまーく
	ちゃぺるまーく
	どあまーく
	がっこうまーく
	なみまーく
	ふじさんまーく
	すのぼーまーく
	はしるひとまーく
	むむまーく
	ほっまーく
	ひやあせまーく
	ひやあせまーく
	ぷくっまーく
	ぼけーまーく
	らぶらぶまーく
	あっかんべーまーく
	うぃんくまーく
	うれしいまーく
	がまんまーく
	ねこまーく
	なきまーく
	なみだまーく
	うまいまーく
	うっしっしまーく
	げっそりまーく
	おーけーまーく
	らぶれたーまーく
	がまぐちさいふまーく

次ページへ続く

お知らせ

- 絵文字１の［絵文字］と絵文字２（→Ｐ５３７）は、ひらがな／漢字入力モードで変換して入力することができません。入力方法→Ｐ５３５
- 絵文字や絵文字２を入力してメールを送信すると、相手端末によっては正しく表示されない場合があります。

記号・半角カタカナ・半角英数字読み上げ一覧

■ 全角記号

音声読み上げ機能を自動で読み上げを行うように設定している場合（→Ｐ２１５）、全角記号を選択したり入力したときに読み上げられます。→Ｐ５３０、Ｐ５３５

入力文字	音声読み上げ	入力文字	音声読み上げ	入力文字	音声読み上げ
、	とーてん	‖	にじゅうたてせん	≠	のっといこーる
。	くてん	｜	たてせん	＜	しょーなり
，	こんま	…	さんてんりーだー	＞	だいなり
．	ぴりおど	‥	にてんりーだー	≦	しょーなりいこーる
・	なかぐろ	‘	ひだりいんようふ	≧	だいなりいこーる
：	ころん	’	みぎいんようふ	∞	むげんだい
；	せみころん	“	ひだりにじゅういんようふ	∴	ゆえに
？	ぎもんふ	”	みぎにじゅういんようふ	♂	おす
！	かんたんふ	（	かっこ	♀	めす
゛	だくてん	）	とじかっこ	°	ど
゜	はんだくてん	〔	きっこうかっこ	′	ふん
´	あくさんてぎゅ	〕	とじきっこうかっこ	″	びょー
｀	ばっくくおーと	［	だいかっこ	℃	どしー
¨	うむらうと	］	とじだいかっこ	￥	えん
＾	きゃれっと	｛	ちゅうかっこ	＄	どる
￣	おーばーらいん	｝	とじちゅうかっこ	¢	せんと
＿	あんだーらいん	〈	やまかっこ	£	ぽんど
ヽ	かたかなくりかえし	〉	とじやまかっこ	％	ぱーせんと
ヾ	かたかなだくてんくりかえし	《	にじゅうやまかっこ	＃	しゃーぷ
ゝ	かなくりかえし	》	とじにじゅうやまかっこ	＆	あんど
ゞ	かなだくてんくりかえし	「	かぎかっこ	＊	こめじるし
〃	おなじく	」	とじかぎかっこ	＠	あっとまーく
仝	どう	『	にじゅうかぎかっこ	§	せくしょん
々	かんじくりかえし	』	とじにじゅうかぎかっこ	☆	ほし
〆	しめ	【	すみつきかっこ	★	くろぼし
〇	ぜろ	】	とじすみつきかっこ	○	まる
ー	ちょーおん	＋	ぷらす	●	くろまる
—	だっしゅ	－	まいなす	◎	にじゅーまる
‐	はいふん	±	ぷらすまいなす	◇	ひしがた
／	すらっしゅ	×	かける	◆	くろひしがた
＼	ばっくすらっしゅ	÷	わる	□	しかく
～	から	＝	いこーる	■	くろしかく

入力文字	音声読み上げ	入力文字	音声読み上げ	入力文字	音声読み上げ
△	さんかく	¶	だんらくきごー	ψ	ぷしー
▲	くろさんかく	○	まる	ω	おめが
▽	さんかく	Α	あるふぁ おおもじ	А	あー おおもじ
▼	くろさんかく	Β	べーた おおもじ	Б	べー おおもじ
※	こめじるし	Γ	がんま おおもじ	В	べー おおもじ
〒	ゆーびんばんごー	Δ	でるた おおもじ	Г	げー おおもじ
→	みぎやじるし	Ε	いぷしろん おおもじ	Д	でー おおもじ
←	ひだりやじるし	Ζ	つぇーた おおもじ	Е	いぇー おおもじ
↑	うえやじるし	Η	いーた おおもじ	Ё	よー おおもじ
↓	したやじるし	Θ	しーた おおもじ	Ж	じぇー おおもじ
〓	げたきごー	Ι	いおた おおもじ	З	ぜー おおもじ
∈	ぞくする	Κ	かっぱ おおもじ	И	いー おおもじ
∋	ふくむ	Λ	らむだ おおもじ	Й	いくらとかや おおもじ
⊆	ぶぶんしゅうごう	Μ	みゅー おおもじ	К	かー おおもじ
⊇	ぶぶんしゅうごうふくむ	Ν	にゅー おおもじ	Л	える おおもじ
⊂	しんぶぶんしゅうごう	Ξ	くさい おおもじ	М	えむ おおもじ
⊃	しんぶぶんしゅうごうふくむ	Ο	おみくろん おおもじ	Н	えぬ おおもじ
∪	がっぺー	Π	ぱい おおもじ	О	おー おおもじ
∩	きょーつー	Ρ	ろー おおもじ	П	ぺー おおもじ
∧	および	Σ	しぐま おおもじ	Р	える おおもじ
∨	または	Τ	たう おおもじ	С	えす おおもじ
￢	ひてー	Υ	うぷしろん おおもじ	Т	てー おおもじ
⇒	ならば	Φ	ふぁい おおもじ	У	うー おおもじ
⇔	どーち	Χ	かい おおもじ	Ф	えふ おおもじ
∀	すべての	Ψ	ぷしー おおもじ	Х	はー おおもじ
∃	ある	Ω	おめが おおもじ	Ц	つぇー おおもじ
∠	かく	α	あるふぁ	Ч	ちぇー おおもじ
⊥	すいちょく	β	べーた	Ш	しゃー おおもじ
⌒	こ	γ	がんま	Щ	ししゃー おおもじ
∂	らうんどでぃー	δ	でるた	Ъ	つぼるでぃーずなーく おおもじ
∇	なぶら	ε	いぷしろん	Ы	いー おおもじ
≡	ごーどー	ζ	つぇーた	Ь	みゃーふぃーずなーく おおもじ
≒	にありーいこーる	η	いーた	Э	えー おおもじ
≪	ひじょーにちーさい	θ	しーた	Ю	ゆー おおもじ
≫	ひじょーにおーきい	ι	いおた	Я	やー おおもじ
√	るーと	κ	かっぱ	а	あー
∽	そーじ	λ	らむだ	б	べー
∝	ひれー	μ	みゅー	в	べー
∵	なぜならば	ν	にゅー	г	げー
∫	いんてぐらる	ξ	くさい	д	でー
∬	だぶるいんてぐらる	ο	おみくろん	е	いぇー
Å	おんぐすとろーむ	π	ぱい	ё	よー
‰	ぱーみる	ρ	ろー	ж	じぇー
♯	しゃーぷ	σ	しぐま	з	ぜー
♭	ふらっと	τ	たう	и	いー
♪	おんぷ	υ	うぷしろん	й	いくらとかや
†	だがー	φ	ふぁい	к	かー
‡	だぶるだがー	χ	かい	л	える

次ページへ続く

入力文字	音声読み上げ	入力文字	音声読み上げ	入力文字	音声読み上げ
м	えむ	┷	うえ よこふとけいせん	㍑	りっとる
н	えぬ	┿	たて よこふとけいせん	㍗	わっと
о	おー	┝	たて みぎふとけいせん	㌍	かろりー
п	ぺー	┰	したふと よこけいせん	㌦	どる
р	える	┥	たて ひだりふとけいせん	㌣	せんと
с	えす	┸	うえふと よこけいせん	㌫	ぱーせんと
т	てー	╂	たてふと よこけいせん	㍊	みりばーる
у	うー	①	まるいち	㌻	ぺーじ
ф	えふ	②	まるに	㎜	みりめーとる
х	はー	③	まるさん	㎝	せんちめーとる
ц	つぇー	④	まるよん	㎞	きろめーとる
ч	ちぇー	⑤	まるご	㎎	みりぐらむ
ш	しゃー	⑥	まるろく	㎏	きろぐらむ
щ	ししゃー	⑦	まるなな	㏄	しーしー
ъ	つぼるでぃーずなーく	⑧	まるはち	㎡	へーほーめーとる
ы	いー	⑨	まるきゅー	㍻	へーせー
ь	みゃーふぃーずなーく	⑩	まるじゅー	〝	たてがきにじゅういんよーふ
э	えー	⑪	まるじゅーいち	〟	たてがきとじにじゅういんよーふ
ю	ゆー	⑫	まるじゅーに	№	なんばー
я	やー	⑬	まるじゅーさん	㏍	けーけー
─	よこけいせん	⑭	まるじゅーよん	℡	でんわ
│	たてけいせん	⑮	まるじゅーご	㊤	まるうえ
┌	した みぎけいせん	⑯	まるじゅーろく	㊥	まるなか
┐	した ひだりけいせん	⑰	まるじゅーなな	㊦	まるした
┘	うえ ひだりけいせん	⑱	まるじゅーはち	㊧	まるひだり
└	うえ みぎけいせん	⑲	まるじゅーきゅー	㊨	まるみぎ
├	たて みぎけいせん	⑳	まるにじゅー	㈱	かっこかぶ
┬	した よこけいせん	Ⅰ	わん	㈲	かっこゆー
┤	たて ひだりけいせん	Ⅱ	つー	㈹	かっこだい
┴	うえ よこけいせん	Ⅲ	すりー	㍾	めーじ
┼	たて よこけいせん	Ⅳ	ふぉー	㍽	たいしょー
━	よこふとけいせん	Ⅴ	ふぁいぶ	㍼	しょーわ
┃	たてふとけいせん	Ⅵ	しっくす	≒	にありーいこーる
┏	したふと みぎふとけいせん	Ⅶ	せぶん	≡	ごーどー
┓	したふと ひだりふとけいせん	Ⅷ	えいと	∫	いんてぐらる
┛	うえふと ひだりふとけいせん	Ⅸ	ないん	∮	ふぁい
┗	うえふと みぎふとけいせん	Ⅹ	てん	Σ	しぐま
┣	たてふと みぎふとけいせん	㍉	みり	√	るーと
┳	したふと よこふとけいせん	㌔	きろ	⊥	すいちょく
┫	たてふと ひだりふとけいせん	㌢	せんち	∠	かく
┻	うえふと よこふとけいせん	㍍	めーとる	∟	ちょっかく
╋	たてふと よこふとけいせん	㌘	ぐらむ	⊿	さんかっけー
┠	たてふと みぎけいせん	㌧	とん	∵	なぜならば
┯	した よこふとけいせん	㌃	あーる	∩	きょーつー
┨	たてふと ひだりけいせん	㌶	へくたーる	∪	がっぺー

※ 空白は「くうはく」と読み上げられます。

■ 半角記号

音声読み上げ機能を自動で読み上げを行うように設定している場合（→P215）、半角記号を選択したり入力したときに読み上げられます。→P530、P535

入力文字	音声読み上げ	入力文字	音声読み上げ	入力文字	音声読み上げ
!	かんたんふはんかく	.	ぴりおどはんかく	_	あんだーらいんはんかく
"	にじゅういんようふはんかく	/	すらっしゅはんかく	`	ばっくくおーとはんかく
#	しゃーぷはんかく	:	ころんはんかく	{	ちゅうかっこはんかく
$	どるはんかく	;	せみころんはんかく	|	たてせんはんかく
%	ぱーせんとはんかく	<	しょーなりはんかく	}	とじちゅうかっこはんかく
&	あんどはんかく	=	いこーるはんかく	~	おーばーらいんはんかく
'	いんようふはんかく	>	だいなりはんかく	｡	くてんはんかく
(	かっこはんかく	?	ぎもんふはんかく	｢	かぎかっこはんかく
)	とじかっこはんかく	@	あっとまーくはんかく	｣	とじかぎかっこはんかく
*	こめじるしはんかく	[	だいかっこはんかく	､	とーてんはんかく
+	ぷらすはんかく	¥	えんはんかく	･	なかぐろはんかく
,	こんまはんかく	]	とじだいかっこはんかく	ﾞ	だくてんはんかく
-	まいなすはんかく	^	きゃれっとはんかく	ﾟ	はんだくてんはんかく

※ 空白は「くうはくはんかく」と読み上げられます。

：半角数字入力モードでは「#」は「しゃーぷ」、「*」は「こめじるし」と読み上げられます。

■ 半角カタカナ

音声読み上げ機能を自動で読み上げを行うように設定している場合（→P215）、半角カタカナ入力モードでカタカナを入力したときに読み上げられます。
→P530

入力文字	音声読み上げ	入力文字	音声読み上げ	入力文字	音声読み上げ
ｱ	あ はんかく	ｿ	そ はんかく	ﾑ	む はんかく
ｧ	あ こもじはんかく	ﾀ	た はんかく	ﾒ	め はんかく
ｲ	い はんかく	ﾁ	ち はんかく	ﾓ	も はんかく
ｨ	い こもじはんかく	ﾂ	つ はんかく	ﾔ	や はんかく
ｳ	う はんかく	ｯ	つ こもじはんかく	ｬ	や こもじはんかく
ｩ	う こもじはんかく	ﾃ	て はんかく	ﾕ	ゆ はんかく
ｴ	え はんかく	ﾄ	と はんかく	ｭ	ゆ こもじはんかく
ｪ	え こもじはんかく	ﾅ	な はんかく	ﾖ	よ はんかく
ｵ	お はんかく	ﾆ	に はんかく	ｮ	よ こもじはんかく
ｫ	お こもじはんかく	ﾇ	ぬ はんかく	ﾗ	ら はんかく
ｶ	か はんかく	ﾈ	ね はんかく	ﾘ	り はんかく
ｷ	き はんかく	ﾉ	の はんかく	ﾙ	る はんかく
ｸ	く はんかく	ﾊ	は はんかく	ﾚ	れ はんかく
ｹ	け はんかく	ﾋ	ひ はんかく	ﾛ	ろ はんかく
ｺ	こ はんかく	ﾌ	ふ はんかく	ﾜ	わ はんかく
ｻ	さ はんかく	ﾍ	へ はんかく	ｦ	を はんかく
ｼ	し はんかく	ﾎ	ほ はんかく	ﾝ	ん はんかく
ｽ	す はんかく	ﾏ	ま はんかく		
ｾ	せ はんかく	ﾐ	み はんかく		

次ページへ続く

■ 半角英字

音声読み上げ機能を自動で読み上げを行うように設定している場合（→P215）、半角英字入力モードで英字を入力したときに読み上げられます。→ P530

入力文字	音声読み上げ	入力文字	音声読み上げ	入力文字	音声読み上げ
a	えー	s	えす	K	けー おおもじ
b	びー	t	てぃー	L	える おおもじ
c	しー	u	ゆー	M	えむ おおもじ
d	でぃー	v	ぶい	N	えぬ おおもじ
e	いー	w	だぶりゅー	O	おー おおもじ
f	えふ	x	えっくす	P	ぴー おおもじ
g	じー	y	わい	Q	きゅー おおもじ
h	えっち	z	ぜっと	R	あーる おおもじ
i	あい	A	えー おおもじ	S	えす おおもじ
j	じぇー	B	びー おおもじ	T	てぃー おおもじ
k	けー	C	しー おおもじ	U	ゆー おおもじ
l	える	D	でぃー おおもじ	V	ぶい おおもじ
m	えむ	E	いー おおもじ	W	だぶりゅー おおもじ
n	えぬ	F	えふ おおもじ	X	えっくす おおもじ
o	おー	G	じー おおもじ	Y	わい おおもじ
p	ぴー	H	えっち おおもじ	Z	ぜっと おおもじ
q	きゅー	I	あい おおもじ		
r	あーる	J	じぇー おおもじ		

■ 半角数字

音声読み上げ機能を自動で読み上げを行うように設定している場合（→P215）、半角数字／半角カタカナ／半角英字入力モードで数字を入力したときに読み上げられます。→ P530

入力文字	音声読み上げ	入力文字	音声読み上げ	入力文字	音声読み上げ
0	ぜろ	4	よん	8	はち
1	いち	5	ご	9	きゅー
2	に	6	ろく		
3	さん	7	なな		

マルチアクセスの組み合わせについて

同時に使用可能な通信機能の組み合わせは次のとおりです。

○：現在の通信状態を維持したまま、新たに通信を実行できます。
×：発信・着信できません。

発生・実行する処理 ＼ 現在の状態	音声電話		テレビ電話		iモード	iモードメール	
	発信	着信	発信	着信	接続	送信	受信
音声電話中	×※1	×※1、16	×	×※13	×	○※11	○※2
テレビ電話中	×	×※13	×	×※13	×	×	×
iモード中	×※4、5	○	×※4	×※14、15	×	○※12	○※2
iモードメール送受信中	×※5	○	×	×※14、15	×※10	○※8	○※3
SMS送受信中	×※5	○	×	○	×	○※8	○※6
データ通信（64K）	×	×※16、17	×	×※13	×	×	×
データ通信（パケット通信）	×※5	○	×	×※14、15	×	×	×
ソフトウェア更新中	×	○	×	×※14、15	×	×	×

発生・実行する処理 ＼ 現在の状態	SMS		データ通信（64K）		データ通信（パケット通信）	
	送信	受信	発信	着信	発信	着信
音声電話中	○※11	○※2	×	×※13	○	○
テレビ電話中	×	×	×	×※13	×	×
iモード中	×※9	○※2	×	×※13、15	×	×
iモードメール送受信中	○※8	○※7	×	×※13、15	×	×
SMS送受信中	○※8	○※3	○	○	○	○
データ通信（64K）	×	○※2	×	×※13	×	×
データ通信（パケット通信）	×※9	○※2	×	×※13、15	×	×
ソフトウェア更新中	×	×	×	×※13、15	×	×

※1　：キャッチホンをご契約の場合、通話中に別の相手に電話をかけたり受けたりできます。
※2　：着信音は鳴りません。
※3　：送信中に受信した場合、受信できないことがあります。
※4　：Phone To機能を使用して電話をかけることができます。テレビ電話発信の場合はiモード通信は切断されます。
※5　：平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使用して音声電話をかけることができます。
※6　：SMS送信中は受信できますが、SMS受信中は受信できず、iモードセンターに保管されます。

次ページへ続く

※７　：メール送信中は受信できますが、メール受信中は受信できず、SMSセンターに保管されます。
※８　：送信どうしは実行できません。また、送信と受信を同時に実行できない場合があります。
※９　：かかってきた音声電話を受けたときは、通話中のみ電話帳からSMSを作成・送信できます。
※10：iモードの通信が切断されたサイト画面表示中のみ、メール受信中にiモードに接続できます。
※11：電話帳、個人情報からメールを作成・送信できます。
※12：Mail To機能、またはサブメニューからiモードメールを作成・送信できます。
※13：キャッチホンをご契約の場合、着信履歴には不在着信として残ります。
※14：着信履歴には不在着信として残ります。
※15：転送でんわサービスをご契約の場合は、転送でんわサービスで対応できます。
※16：留守番電話サービス、転送でんわサービスをご契約の場合は、各サービスで対応できます。
※17：キャッチホンをご契約の場合、現在の通信を終了して電話に出るか着信を拒否するかを選択できます。

FOMA端末から利用できるサービス

こんなサービスが利用できます

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内 およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料）　午前８時～午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

お知らせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料金と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2005年8月現在）。
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。また、目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳細は一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2005年8月現在）。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、発信場所が特定できません。警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報して、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の転送電話をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話または携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外、および電源を切っているときでも、発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。ただし、一般電話または公衆電話からFOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話は利用できます。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまなオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細はドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。また、オプション品の詳細は各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA ACアダプタ 01
- 卓上ホルダ F09
- 電池パック F07
- リアカバー F10
- キャリングケース F09
- FOMA DCアダプタ 01
- FOMA USB接続ケーブル
- 車内ホルダ 01
- スイッチ付イヤホンマイク P001※／P002※
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- イヤホンターミナル P001※
- ステレオイヤホンセット P001※
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01
- FOMA室内用補助アンテナ

※：イヤホンジャック変換アダプタ P001を接続しないとご使用になれません。

データリンクソフトのご紹介

FOMA Fシリーズ データリンクソフト※には次の2つの機能があります。
これらをまとめて「データリンクソフト」と呼びます。
※：添付のCD-ROMに収録されている他、ホームページからダウンロードすることもできます。**→P575**

ソフト名	内　容
データリンクソフト	FOMA端末の電話帳やメールなどのデータを、USB接続できるパソコンにバックアップできます。
Fアルバムソフト	データリンクソフトなどでバックアップした画像データを、アルバムを作成して管理したり、編集したりできます。

●データリンクソフトは、次のOSに対応しております。
- Windows XP
- Windows 2000
- Windows Me

●インストール方法、ダウンロード方法、転送可能データ、動作環境、操作方法、制限事項などの詳細はホームページ、添付のCD-ROM、データリンクソフトのヘルプなどをご覧ください。

●Windows XP、2000でインストールやアンインストールを行う場合は、パソコンの管理者権限を持ったユーザで実行してください。それ以外のユーザが行うとエラーになります。

●データ転送を行うにはFOMA USB接続ケーブル（別売）が必要です。

●データリンクソフトはF881iES、F880iES、F901iS、F901iC、F900iC、F900iT、F900i、F700iS、F700i、F2102V、F2051に対応しています。

●FOMA端末外への出力が禁止されている（この端末でファイル制限を「設定する」にしたデータを除く）画像や動画／iモーション、メロディは、パソコンへの転送はできません。

●F881iES以外で撮影された動画／iモーションは、転送できない場合があります。

データ転送時の動作設定

お買い上げ時	確認後に保存

パソコンからFOMA端末へデータを転送するときに、確認してから保存するか、確認なしで保存するかを設定します。

1 **待受画面で(メニュー)▶「# 詳細な機能を設定する」▶「0 データ転送時の動作を設定する」を押す**

2 **「1 確認後に保存」または「2 確認なしで保存」を押す**

3 **(決定)を押す**

メニュー画面に戻ります。

● (終話)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● データリンクソフトでの各データの呼びかたと、FOMA端末内での呼びかたが異なるものがあります。

FOMA F シリーズ データリンクソフト

■データリンクソフトに関するホームページ

http://www.fmworld.net/product/phone/datalink/

■お問い合わせ先：富士通株式会社

0120-176-769

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

受付時間：10：00～19：00 （日・祝祭日を除く）

※ダイヤルの電話番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

● FOMA Fシリーズデータリンクソフトはフリーウェアとして無料配布を行っておりますが、著作権は富士通株式会社に帰属します。使用許諾契約書についてはインストール先のLicense.txtをご覧ください。

● 富士通株式会社は、本ソフトウェアの不稼働、稼働不良を含む法律上の瑕疵担保責任、その他の保証責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアの商品性、またはお客様の特定の目的に対する適合性について、いかなる保証も行わないこととします。本ソフトウェアの使用または、本ソフトウェアを使用できないことにより生じた直接的損害、間接的損害、特別な事情から生じた損害、お客様のデータ喪失および逸失利益などについて、いかなる責任も負いません。

FOMA端末と外部機器とのデータ連携

FOMA端末で撮影したビデオをパソコンなどで再生します

FOMA端末で撮影したビデオ（MP4形式）をメール添付などでデータ転送し、パソコンで再生することができます。

● FOMA端末内で対応している動画データ→ P433

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画データ（MP4形式）を再生するには、アップルコンピュータ株式会社のQuickTime™ Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3＋3GPP）が必要です。

QuickTime Playerは、http://www.apple.com/jp/quicktime/download/よりダウンロードしていただけます。

● ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
● 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細は上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。ソフトウェア更新→ P587

■ 電源・充電関連

症　状	チェック
FOMA 端末の電源が入らない（FOMA 端末が使えない）	・電池パックが正しく取り付けられていますか。→ P48 ・電池切れになっていませんか。→ P55 ・デュアルネットワークサービスで mova 端末が有効となっている場合、FOMA 端末でのサービスの利用はできません。FOMA 端末が有効になっているかご確認ください。詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。
充電中に充電ランプが点滅する	・通話／通信中の場合は、直ちに終了してください。FOMA 端末から AC アダプタ（または卓上ホルダ）、DCアダプタを外してセットし直し、正しい方法でもう一度充電を行ってください。→ P49 以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、ドコモショップなどの窓口にご連絡ください。
ディスプレイの上下のマークが点滅してピピピというアラームが鳴っている	・電池が少なくなっています。充電してください。→ P49

■ 電話関連

症　状	チェック
ディスプレイに「しばらくお待ちください」と表示され、消えない	しばらく お待ちください 決定 ・回線が非常に混み合っていますので、しばらくたってからおかけ直しください。決定を押すと、「しばらくお待ちください」の文字情報を消すことができます。 ・110 番、119 番、118 番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。
ダイヤルボタンを押しても発信できない	・ダイヤル入力での発信を制限してしていませんか。→ P195 ・オールロックを設定していませんか。→ P190 ・セルフモードを設定していませんか。→ P191
ダイヤルしたが話中音（プープー音）が鳴ってつながらない	・市外局番を忘れていませんか。→ P66 ・発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。 ・圏外が表示されていませんか。→ P56
ディスプレイに圏外が表示され、話中音（プープー音）が鳴る	・サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。→ P56

次ページへ続く

■ 設定・操作関連

症　状	チェック
FOMA端末の電源を入れると「FOMAカードを挿入してください」とメッセージが表示される	• FOMAカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があるときに表示されます。FOMAカードが正しく取り付けられているかご確認ください。 →P45
ディスプレイに「このカードは認識できません」と表示される	• FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。 →P45
ディスプレイに「全ての操作を制限しています」と表示されている	• オールロックが設定されています。解除してください。 →P190
自動的に電源が入る時刻を設定しても、指定した時刻に電源が入らない	• 電池パックが外れてしまった場合など、通常の電源を切る操作や自動的に電源が切れる時刻の設定（→P457）以外で電源が切れると、この機能は動作しません。 →P455
目覚ましや予定の時刻に自動的に電源が入るように設定しても、指定した時刻に電源が入らない	• 電池パックが外れてしまった場合など、通常の電源を切る操作や自動的に電源が切れる時刻の設定（→P457）以外で電源が切れると、この機能は動作しません。 →P459
通話料金が積算されなくなった	• 通話料金のFOMAカードへの積算が上限（約1677万円）に達した可能性があります。リセットすることにより0円に戻せます。 →P475
動画／iモーションの再生が途切れる カメラの操作中に画面が動作しない	• 動画／iモーションの再生中やカメラの操作中にメールを受信したりすると、再生中の音声が途切れたり、画面がスムーズに動作しない場合があります。

■ メール・データ関連

症　状	チェック
ダウンロードデータ・メール添付のデータ・メッセージR/Fの表示や再生ができない	• FOMAカード動作制限機能により、別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを取り付けていない場合は、これらの機能は動作しません。→P46
メール受信時に、設定したメール着信音と違う着信音が鳴る	• ワンタッチダイヤルのメール着信音が設定されていませんか。メール着信音を設定したワンタッチダイヤルの相手からメールを受信すると、ワンタッチダイヤルで設定したメール着信音が鳴ります。 →P152、P366 • 電話帳のグループ別着信音が設定されていませんか。メール着信音を設定したグループに登録されている相手からメールを受信すると、グループ別着信音で設定したメール着信音が鳴ります。 →P129

こんな表示が出たら <エラーメッセージ一覧>

電話やカメラ、i モードやSMS利用中の主なエラーメッセージを示します(50音順)。

● エラーメッセージ中の「(数字)」または「(xxx)」は、i モードセンターより送信されたエラーを区別するためのコードです。

■ 電話関連

エラーメッセージ	説　明
個人の情報表示が制限されています この機能は起動できません	個人の情報表示を制限しているため、電話帳などの個人情報から電話をかけることができません。→ P193
セルフモード中です	セルフモード中のため、電話をかけることができません。→ P191
ダイヤル発信が制限されています	ダイヤル入力での発信を制限しているため、電話をかけることができません。→ P195
FOMAカードを挿入してください	FOMAカードが取り付けられていないため、電話をかけることができません。FOMAカードを取り付けてください。→ P45
PIN ロック解除コードがロックされています	PINロック解除コードの入力に失敗したため、FOMA端末がロックされました。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。→ P187

■ カメラ関連

エラーメッセージ	説　明
写真の保存件数がいっぱいです。不要な写真を削除しますか?	保存件数が最大数のため、写真を保存できません。不要な写真を削除してください。→ P428
写真の保存領域が○○○Kバイト不足しています。不要な写真を削除しますか?	FOMA端末の保存領域が不足しているため、写真を保存できません。不要な写真を削除してください。→ P428
ビデオの保存件数がいっぱいです。不要なビデオを削除しますか?	保存件数が最大数のため、ビデオを保存できません。不要なビデオを削除してください。→ P438
ビデオの保存領域が○○○Kバイト不足しています。不要なビデオを削除しますか?	FOMA端末の保存領域が不足しているため、ビデオを保存できません。不要なビデオを削除してください。→ P438

次ページへ続く

■ iモード関連

エラーメッセージ	説　明
いくつかの宛先に送信できませんでした（561）	決定を押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先が正しいか確認の上、電波状態のよい所で送信し直してください。
応答がありませんでした（408）	サイトやインターネットホームページから規定時間内に応答がありませんでした。しばらく待ってから操作し直してください。
カード情報を認識できません	FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。→P45
桁数が多いため宛先を設定できません	SMSの宛先に21桁以上の電話番号が設定されているため、送信できません。宛先が正しいか確認してください。→P372
圏外です	電波の届かない所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。
このカードは認識できません	FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。→P45
このサイトとのSSL通信は無効です	サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。
このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？	サイトの証明書が、FOMA端末でサポートしていない証明書です。接続するときは「接続する」、接続を中止するときは「接続しない」を選択して決定を押します。
このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？	サイトの証明書の有効期限前か期限が過ぎています。接続するときは「接続する」、接続を中止するときは「接続しない」を選択して決定を押します。なお、日付・時刻が未設定または間違っている場合も表示されることがあります。日付・時刻を正しく設定してください。→P58
この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？	FOMA端末の証明書の有効期限前か期限が過ぎています。接続するときは「接続する」、接続を中止するときは「接続しない」を選択して決定を押します。なお、日付・時刻が未設定または間違っている場合も表示されることがあります。日付・時刻を正しく設定してください。→P58
この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？	サイトの証明書のCN名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。接続するときは「接続する」、接続を中止するときは「接続しない」を選択して決定を押します。→P292
このデータは再生できない可能性があります	動画／iモーションがFOMA端末でサポートしていない形式です。再生できない場合があります。
このデータを取得するためには時刻設定をしてください	日付・時刻を設定していないため受信できません。日付・時刻を設定してください。→P58

エラーメッセージ	説　明
このビデオは再生できません	ｉモーションのデータが再生できない場合に表示されます。
このメロディは再生できません	メロディのデータが再生できない場合に表示されます。
このｉモーションを再生するためにはｉモーションタイプを変更してください	ｉモーションタイプ設定が「標準タイプ」の設定のままストリーミングタイプのｉモーションを取得しようとしました。ｉモーション設定でｉモーションタイプを変更してください。→P415
サービス未契約です	● ｉモードの契約がされていないため実行できません。ｉモードを利用するには申し込みが必要です。 ● ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、もう一度電源を入れ直してください。→P56
サービス未提供です	SMSが未提供です。
再生可能日前です。再生できません	ｉモーションに設定されている再生期間より前のため、再生できません。再生可能日以降に再生してください。→P437
再生制限データに誤りがあるため取得できません	再生制限データが誤っているため受信できません。
最大サイズを超えたので中断しました	サイト画面の受信中に最大サイズを超えたため、中断しました。サイト画面では決定を押すと受信済みの画面を表示できます。
サイトが移動しました（301）	サイトやインターネットホームページのURLが変更されています。
サイトに接続できませんでした（403）	指定のサイトやインターネットホームページに接続を拒否されました。
指定サイトがみつかりません（404）	サイトやインターネットホームページが見つかりませんでした。
指定サイトに表示データがありません（204）	指定のサイトにデータがありませんでした。
指定したサイトへは接続できませんでした（504）	ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
しばらくお待ちください	回線がたいへん混み合っています。しばらく待ってから送信し直してください。
	ｉモードの利用が現在規制されています。しばらく待ってから操作し直してください。
受信が中断されました。受信できなかったメッセージがあります	受信中にエラーが発生したため、SMSをすべて受信できませんでした。電波状態のよい所に移動して、SMS問合せを行ってください。→P379
受信を拒否されました	SMSセンターにSMSの受信を拒否されました。
情報が正しくないため再生できません	添付されたメロディや動画／ｉモーションのデータが不正なため再生できませんでした。

次ページへ続く

エラーメッセージ	説　明
既にメッセージをお預かりしています	すでにSMSは送信済みです。
接続が中断されました	電波状態のよい所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらく待ってから操作し直してください。
接続できません	iモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい所に移動して操作し直してください。
設定時間内に接続できませんでした	iモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
センターにメッセージがいっぱいです	iモードセンターにメッセージがいっぱいの場合に表示します。FOMA端末内のメール・メッセージ受信領域を空けた状態で、メール・メッセージを受信してください。→P350
送信できません。宛先を確認してください(451)	iモードメールの宛先が正しいか確認してください。
送信できませんでした	iモードメールまたはSMSの送信に失敗しました。電波状態のよい所で送信し直してください。
送信を拒否されました	SMSの送信が拒否されました。
ダウンロードできませんでした	受信中に通信が中断されました。電波状態のよい所に移動し、しばらくたってから操作し直してください。
データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？	メールのデータにエラーがあります。「1 戻す」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。お買い上げ時の状態に戻さないとメールを起動できません。
データ転送モード中です	データ送受信中の場合に表示します。データ送受信中はiモード接続できません。→P522、P574
問合せできませんでした	電波状態のよい所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらく待ってから操作し直してください。
登録中です。しばらくしてからご利用ください(554)	iモードへのユーザ登録中です。
入力データまたはURLが長すぎます	サイトやインターネットホームページの入力欄に入力された文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから送信し直してください。
入力データをご確認ください（205）	サイトやインターネットホームページの入力データに誤りがあります。入力データを確認してください。
認証タイプに未対応です(401)	指定のサイトやインターネットホームページには接続できません。
認証を中止しました	「基本認証」の画面で（戻る）を押して認証を中止したときに表示されます。

エラーメッセージ	説　明
パスワードをご確認ください（401）	サイトやインターネットホームページの基本認証画面に入力したユーザ名かパスワードに誤りがあります。再入力してください。
保存領域がいっぱいで保存できません	FOMA端末の保存領域が不足しているため、SMSを保存できません。SMSをFOMAカードに移動するか削除してください。→P384、P385
無効なデータを受信しました（xxx）	指定のサイトやインターネットホームページがｉモードに対応していません。URLが間違っている可能性があります。
	受信データにエラーがあるため表示できませんでした。
メールがいっぱいです	受信メールの保存領域の空きが不足しているため、メールを受信できません。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してください。→P351、P380、P384、P395、P398
メール／メッセージがいっぱいです。これ以上受信できません	受信メールが最大保存件数に達しているため、SMSを受信できません。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してください。→P351、P380、P384、P388、P395、P398
メール／メッセージがいっぱいです。受信できなかったメッセージがあります	SMSを受信中に受信メールが最大保存件数に達したため、SMSをすべて受信できませんでした。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してから、SMS問合せを行ってください。→P351、P379、P380、P384、P388、P395、P398
メッセージがいっぱいです	メッセージR/Fの保存領域の空きが不足しているため、メッセージR/Fを受信できません。未読のメッセージR/Fを読むか、メッセージR/Fの保護を解除するか、メッセージR/Fを削除してください。→P301、P303、P304
メモリ不足です。ｉモードメニュー画面に戻ります。	メモリが不足したため処理を中断します。決定を押すと元の画面に戻ります。
ユーザ証明書がありません。継続しますか？	クライアント証明書がダウンロードされていません。→P306
ユーザ証明書の有効期限が切れています。継続しますか？	クライアント証明書の有効期限が切れています。→P306
FOMAカードがいっぱいです	FOMAカードの保存領域が不足しているため、SMSを保存できません。SMSをFOMA端末に移動するか削除してください。→P387、P388
FOMAカードが異なるためご利用できません	サイトやインターネットホームページからダウンロードしたデータやメールの添付データ、メッセージR/Fを保存したときとは異なるFOMAカードを取り付けています。→P46

次ページへ続く

エラーメッセージ	説　明
FOMAカードが挿入されていないためご利用できません	FOMAカードが取り付けられていません。FOMAカードを取り付けて利用してください。
iモーション再生サイズを超えています	iモーション（標準タイプ）データ取得時または、データ取得中の再生時に、受信可能な最大サイズを超えたので、受信を中断しました。 受信可能な最大サイズ→P410
iモーション最大サイズを超えています	データ取得中の再生（ストリーミングタイプ）時に、受信可能な最大サイズを超えたので、受信を中断しました。 受信可能な最大サイズ→P410
iモード接続中のため設定できません	iモード接続中は実行できません。
SMSセンター設定を確認してください	SMS設定のSMSセンターの設定が誤っています。 →P390
SSL通信が切断されました	SSL通信中にエラーが発生したか、その他のクライアント認証に関わるサーバ側での認証エラーのため中断しました。
SSL通信が無効です	SSL通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。
SSL通信が無効に設定されています	FOMA端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。→P291
SSL通信を切断しました	SSL通信中にサイトの証明書に問題が発生しました。接続確認画面で「接続しない」を選択した場合に表示され、SSL通信が切断されます。
URLが長すぎて登録できません	URLが長すぎるためブックマークに登録できません。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA 端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。なお、パソコン（Windows XP、2000、Me）をお持ちの場合は、専用のデータリンクソフトをご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。また、FOMA 端末の修理等を行った場合、i モードにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しい FOMA 端末などに移行を行っておりません。

アフターサービスについて

◎ 調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。→ P577

それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

◎ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

◎ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷は有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

◎ 次の場合は、修理できないことがあります。

- 水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外ですので有償修理となります。

◎ 保証期間が過ぎた場合は

- ご要望により有償修理いたします。

次ページへ続く

◎ **部品の保有期間は**

● FOMA 端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後 6 年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の連絡先へお問い合わせください。

● 詳細は添付の『全国サービスステーション一覧』でご確認ください。

◎ **お願い**

● FOMA 端末、FOMA カードおよび付属品の改造はおやめください。
- 火災・けが・故障の原因となります。
- FOMA 端末、FOMA カードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさない FOMA 端末、FOMA カードは使用できません。
- 改造（部品の交換・改造・塗装など）が施された FOMA 端末の故障修理は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。

● FOMA 端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

● 各種機能の設定や積算の通話時間などの情報は、FOMA 端末の故障・修理やその他取り扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合はもう一度、設定を行ってくださるようお願いします。

● FOMA端末の受話口部やスピーカーに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなる場合がありますので、ご注意ください。

● 電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めにドコモ指定の故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によっては修理できないことがあります。

◆メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報・IC カード内のデータなどについて◆

● お客様ご自身で携帯電話機などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。

● 携帯電話を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータ等が変化・消失等する場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータ等は一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。本FOMA端末はｉモード公式サイトからダウンロードした画像・着信メロディを故障修理時に移し替えます（一部移し替えできないコンテンツもあります）。

ソフトウェア更新を利用します ＜ソフトウェア更新＞

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびらくらくｉメニューの「お知らせ＆ヘルプ」でご案内させていただきます。
※：ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料はかかりません。

● ソフトウェア更新には、次の2種類の方法があります。
- 即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。→P589
- 予約更新：更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。→P591

お知らせ

● 接続先番号を「ｉモード」以外に設定している場合でもソフトウェア更新ができます。→P289
● ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態（　）で実行してください。
● 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
- オールロック中
- 日付・時刻を設定していないとき
- 電池がフル充電されていないとき
- PIN1コードロック中
- PIMロック中
- 電源が入っていないとき
- パソコンとつないだパケット通信中
- 他の機能を使用しているとき
- FOMAカードが取り付けられていないとき
- PIN1コード入力中
- 圏外が表示されているとき
- 通話中
- セルフモード中

● ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
● PIN1コードON／OFF設定を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発着信や、各種通信機能の操作ができません。→P182
● ソフトウェア更新中は、他の機能を使用できません。ただし、ダウンロード中は音声電話の着信のみ受けられます。
● ソフトウェア更新中に目覚ましなどが設定されていても、ソフトウェア更新が継続され、目覚ましなどは起動しません。
● ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。SSL証明書を有効に設定してください。お買い上げ時は、有効に設定されています。→P291
● ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態（　）で、移動せずに実行することをおすすめします。
※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、もう一度電波状態のよい所でソフトウェア更新を行ってください。
● すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新の必要はありません。このままご利用ください」と表示されます。
● ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のマークは消えます。また、メールを選択して受信するように設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にｉモードセンターにメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。→P347

次ページへ続く

● ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
● ソフトウェア更新中は、電池パックを絶対に外さないでください。更新に失敗するおそれがあります。
● ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したままできますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
● ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換えに失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、たいへんお手数ですがドコモ指定の故障窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。
● ダウンロード中に音声電話の着信があった場合、着信音に「着モーション」を設定しているときは、動画／ｉモーションは動作せず、着信音はメロディになります。
● ダウンロード中にテレビ電話の着信があっても電話は受けられません。着信履歴には不在着信として残ります。

ソフトウェア更新を起動します

1 待受画面で メニュー ▶「＊ ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「5 ソフトウェアを更新する」を押す

暗証番号を
入力してください
確定

端末暗証番号入力画面が表示されます。
● 入力した端末暗証番号は「＊」で表示されます。
● お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されています。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力 ▶ 決定 ▶ 注意事項を確認 ▶ 決定 を押す

ソフトウェア更新
注意事項
電池はフル充電
してください
決定

→

ソフトウェア更新
更新が必要か
確認します
決定

3 決定▶決定▶ソフトウェア更新が必要かどうかを確認する

ソフトウェア更新
携帯電話情報を
送信します
決定

ソフトウェア更新
SSL通信を
開始します
(認証中)
中止

ソフトウェア更新
確認中
中止

ソフトウェア更新
更新が必要です。
更新方法を
選んでください
1今すぐ更新する
2更新を予約する
3更新しない
決定

● 携帯電話情報の送信画面で決定を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。
● 更新が必要な場合には「更新が必要です」と表示され、「今すぐ更新する」か「更新を予約する」を選択できます。

■ 更新が必要ないとき

ソフトウェア更新
更新の必要は
ありません。
このまま
ご利用ください
決定

ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックした結果、更新の必要がない場合は左の画面が表示されます。決定を押してFOMA端末をそのままご利用ください。

すぐにソフトウェアを更新します<即時更新>

● サーバが混みあっていて、即時更新ができない場合があります。

1 更新方法の選択画面を表示する

● 操作方法→ P588

次ページへ続く

2 「1 今すぐ更新する」▶決定を押す

ダウンロードが開始されます。ダウンロード中は着信ランプが点滅します。

ソフトウェア更新
更新情報を
ダウンロード
します。
音声着信のみ
ご利用になれます
決定

→

ソフトウェア更新
通信中
中止

→

ソフトウェア更新
更新情報を
ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ中です
中止

→

ソフトウェア更新
更新情報の
ダウンロードを
完了しました。
ソフトウェアを
書換えます
決定

- 決定を押さずに約5秒経過すると、自動的に更新情報のダウンロードが開始されます。
- ダウンロード中に決定：ダウンロードを中止します。
- ダウンロードを途中で中止したときは、最初からソフトウェア更新をやり直してください。

■ サーバが混み合っているとき

ソフトウェア更新
サーバーが
混んでいるため
今すぐ更新できま
せん。
予約しますか？
1更新を予約する
2予約しない
決定

「1更新を予約する」を押して、更新日時を予約してください。→P591

3 ダウンロード終了後、自動的にソフトウェアを書き換える（決定を押すと、すぐに書き換えを開始します）

ダウンロードが終了すると、ソフトウェアの書き換えが開始されます。書き換え中は、着信ランプが点滅します。

書換え中
>>>>>>>

→

書換えを
完了しました。
再起動します

書き換えが終了すると、自動的に再起動が行われます。

- 決定を押さずに約5秒経過すると、自動的に書き換えが開始されます。
- ソフトウェアの書き換え中はすべてのボタン操作が無効となり、更新を中止することもできません。

4 書き換え終了後、自動的に再起動する

再起動すると、もう一度サーバと通信を行いますので、しばらくお待ちください。

ソフトウェア更新
SSL通信を
開始します
（認証中）
中止

→

ソフトウェア更新
更新の完了を
確認中です
中止

→

ソフトウェア更新
更新を
完了しました
決定

5 決定を押す

更新が終了して待受画面が表示されます。

日時を予約してソフトウェアを更新します<予約更新>

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混みあっている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておきます。

1 更新方法の選択画面を表示する

●操作方法→P588

2 「2 更新を予約する」を押す

サーバと通信を行い、予約日時候補を問い合わせます。

ソフトウェア更新
通信中
中止

→

ソフトウェア更新
希望日時を
選んでください
09/15木　18:59
09/15木　19:33
09/15木　23:24
09/16金　00:46
その他の日時
中止　決定

●予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。

付録　ソフトウェア更新

次ページへ続く

3 希望日時を選択する

■表示されている予約候補から選択するとき

希望日時を選択▶決定▶「1 予約する」を押す

ソフトウェア更新
9月15日(木)
18:59に
予約しますか?
1予約する
2予約しない

→

ソフトウェア更新
通信中
中止

→

ソフトウェア更新
9月15日(木)
18:59に
予約しました
決定

■ 表示されている予約候補以外から選択するとき

①「その他の日時」を選択▶決定を押す

ソフトウェア更新
通信中
中止

→

ソフトウェア更新
希望日を
選んでください
2005/09/15 木
2005/09/16 金
2005/09/17 土
2005/09/18 日
2005/09/19 月
決定

- ：希望日の候補が複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

②希望日を選択▶決定を押す

ソフトウェア更新
時間帯を
選んでください
△ 00:00～
○ 02:00～
○ 03:00～
○ 04:00～
△ 06:00～
戻る 決定 説明

各時間帯の予約の空き状況が表示されます。

○：空きあり　　△：空きわずか

- ：希望時間帯の候補が複数ページある場合は、前後のページを表示できます。

③希望時間帯を選択▶決定を押す

サーバに接続され､選択した希望日と時間帯に近い予約候補が表示されます。

- ：希望日時の候補が複数ページある場合は、前後のページを表示できます。
- 電話帳：時間帯の左に表示されている記号の説明を表示できます。

④ 希望日時を選択▶決定を押す

ソフトウェア更新
9月15日(木)
18:59に
予約しますか?
1予約する
2予約しない

⑤「1 予約する」を押す

指定した日時に予約した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

予約の設定が完了してメニュー画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

● 予約中は、待受画面にが表示されます。

予約の確認・変更・取り消しをします

1 待受画面でメニュー▶「✱ ネットワークサービスを使う」▶「8 その他のサービスを使う」▶「5 ソフトウェアを更新する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8 桁の端末暗証番号を入力▶決定を押す

ソフトウェア更新
9月15日(木)
18:59に
予約されています
1終了する
2変更する
3取消す

次ページへ続く

3 内容を確認する

●「1 終了する」：確認を終了します。

■ 予約を変更するとき

「2 変更する」▶ 決定 を押す

予約候補の選択画面が表示されます。

- 以降の操作は、予約更新の「表示されている予約候補以外から選択するとき」の操作②からと同様です。→P592
- 携帯電話情報の送信画面で 決定 を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。

■ 予約を取り消すとき

①「3 取消す」を押す

ソフトウェア更新
予約を
取消しますか？
1取消す
2取消さない
決定

②「1 取消す」▶ 決定 を押す

ソフトウェア更新
携帯電話情報を
送信します
決定

→

ソフトウェア更新
予約を
取消しました
決定

③ 決定 を押す

予約が取り消され、メニュー画面に戻ります。

- 携帯電話情報の送信画面で 決定 を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。
- 終話キーを押すと待受画面に戻ります。

予約の日時になると

ソフトウェア更新

予約時刻です。
更新を開始します

決定

● 予約日時になると左の画面が表示され、FOMA端末は自動的にソフトウェア更新を開始します。予約日時前には、電池がフル充電されていることを確認の上、電波の十分届く所でFOMA端末を待受画面にしておいてください。ダウンロードが完了するとソフトウェアの書き換えが行われ、再起動します。
● ソフトウェア更新を中止する場合は[終話]▶「1終了する」を押します。

お知らせ

● 他の機能を使用していると予約日時になっても起動しない場合がありますのでご注意ください。
● 同じ日時に目覚ましなどが設定されていた場合には、目覚ましなどが優先され、ソフトウェア更新が起動しないことがあります。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種 FOMA F881iES の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが 2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機 FOMA F881iES の SAR の値は 0.930W/kg です。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご覧ください。

総務省のホームページ http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/product/
富士通のホームページ http://www.fmworld.net/product/phone/f881ies/

※：技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）で規定されています。

主な仕様

品名	FOMA F881iES
サイズ	高さ107×幅51×厚さ23mm（折り畳み時）
質量	約122g（電池パック装着時）
連続待受時間	静止時：約470時間 移動時：約345時間
連続通話時間	音声電話時　：約165分 テレビ電話時：約105分
電池パック種別	リチウムイオン電池
電池容量	770mAh
FOMA ACアダプタ01での充電時間	約135分
FOMA DCアダプタ01での充電時間	約135分
カメラ画素数	内側カメラ：有効画素数約11万画素 （記録画素数約10万画素） 外側カメラ：有効画素数約32万画素 （記録画素数約31万画素）
デジタルズーム	内側カメラ：最大2倍 外側カメラ：最大3倍

●連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

●連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合など）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。

●ｉモード通信を行うと連続通話（通信）・連続待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくてもｉモードメールを作成したり、音声読み上げをすると連続通話・連続待受時間は短くなります。

●静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

●移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

●充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種別		保存・登録件数	保護件数	参照先
メール	受信メール※1※2	最大200件	最大100件	P351、P380 P398
	送信メール※1※2	最大50件	最大25件	P343、P376 P398
	未送信メール※2	最大50件	最大25件	P343、P376 P398
	例文	10件	−	P339
FOMAカードのSMS（ショートメッセージ）※3		最大20件	−	P384
メッセージR※4		最大50件	最大25件	P301、P304
メッセージF※4		最大50件	最大25件	P301、P304
ブックマーク		最大50件	−	P268
画面メモ※1		最大50件	最大25件	P276、P278
画像※1		最大500件	−	P231、P279 P356
メロディ※1		最大30件	−	P280、P362
動画／iモーション※1※5		最大50件	−	P234、P359 P413

※1：保存・登録するデータのサイズにより、実際に保存・登録できる件数が少なくなる場合があります。
※2：iモードメールとSMSの合計件数です。
※3：送信SMS、受信SMSの合計件数です。
※4：保存できる件数はメッセージR/Fのサイズによって変わります。
※5：音声は動画データとして保存されます。

お知らせ

- FOMA端末に保存・登録した内容は、別にメモを取るなどして保管してください。FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによって、保存・登録したデータが消失してしまう場合があります。万一、保存・登録したデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- パソコンをお持ちの場合は、添付のCD-ROM内のFOMA Fシリーズデータリンクソフトと FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、メール、ブックマーク、画像、メロディ、動画／iモーションなどの内容をパソコンに転送・保管することができます。→P574

索引／クイックマニュアル

索引

ア

カ

サ

タ

マ

ヤ

ラ

ワ

英数字・記号

クイックマニュアル

クイックマニュアルの使いかた

1 キリトリ線から切り離す（5 枚）

※切り離しの際には、けがなどにご注意ください。

2 それぞれを横半分に折る

3 それぞれを縦半分に折る

クイックマニュアル記載内容

NTT DoCoMo FOMA® F881iES

クイックマニュアル

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合（局番なしの）	一般電話などからの場合
151（無料）	0120-800-000
※一般電話などからはご利用になれません。	※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合（局番なしの）	一般電話などからの場合
113（無料）	0120-800-000
※一般電話などからはご利用になれません。	※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

電話／テレビ電話

電話／テレビ電話のかけかた

1. 待受画面で電話番号を入力する
2. 電話をかける

●音声電話をかけるとき

（発信キー）を押す

・（発信キー）を１秒以上：
スピーカーホン機能を使用して音声電話をかけます。

●テレビ電話をかけるとき

テレビ電話を押す

・テレビ電話を１秒以上：
スピーカーホン機能を使用してテレビ電話をかけます。

・テレビ電話の通信速度を指定する場合：
メニュー▶「5 通知でテレビ電話」または「6 非通知テレビ電話」▶「1 ６４Ｋテレビ電話」または「2 ３２Ｋテレビ電話」を押す

3. 通話する
4. 通話が終了したら（終話キー）を押す

発信者番号を通知する／通知しない

●音声電話をかけるとき

待受画面で電話番号を入力▶メニュー▶「3 通知で音声電話」または「4 非通知音声電話」を押す

●テレビ電話をかけるとき

待受画面で電話番号を入力▶メニュー▶「5 通知でテレビ電話」または「6 非通知テレビ電話」を押す

キリトリ線

通話を保留する

通話中に[決定]を押す

・[決定]を押すたびに保留／解除されます。

スピーカーホン機能を使用する

通話中に[電話帳]を押す

・[電話帳]を押すたびに設定／解除されます。

電話／テレビ電話の受けかた

1. 電話がかかってくる
2. 電話を受ける

● 音声電話を受けるとき

[開始]を押す

● テレビ電話を受けるとき

[テレビ電話]を押す

・[開始]：カメラオフ画像でテレビ電話を受けます。

3. 通話する
4. 通話が終了したら[終話]を押す

電話帳の登録

FOMA 端末電話帳の登録

1. 待受画面で[電話帳]▶「[2] 電話帳に登録する」を押す

漢かな
電話帳登録
名前を
入力してください
メニュー　確定　ガイド

2. 名前を入力▶[決定]を押す
3. フリガナを確認／修正▶[決定]を押す
4. 電話番号を入力▶[決定]を押す
5. 「[1] 入力する」または「[2] 入力しない」を押す
   - 「[1] 入力する」　：2～3件目を入力します。操作4を繰り返します。
   - 「[2] 入力しない」：入力しません。

6. メールアドレスを入力▶[決定]を押す
7. 「[1] 入力する」または「[2] 入力しない」を押す
   - 「[1] 入力する」　：2～3件目を入力します。操作6を繰り返します。
   - 「[2] 入力しない」：入力しません。
8. グループを選択▶[決定]を押す
9. 電話帳番号(0～499) を入力▶[決定]を押す
10. 「[1] 登録する」または「[2] 終了する」を押す
    - 「[1] 登録する」：ワンタッチダイヤル／音声呼出しに登録します。
    - 「[2] 終了する」：登録しません。
11. 登録先を選択する

● ワンタッチダイヤルに登録するとき

「[1] ワンタッチダイヤル登録」▶「[1] ワンタッチ 1」～「[3] ワンタッチ 3」▶電話番号／メールアドレスの選択▶音声電話／テレビ電話／メールの着信音を設定▶[決定]を押す

● 音声呼出しに登録するとき

「[2] 音声呼出し登録」▶単語を入力▶[決定]▶[決定]を押す

12. 「[3] 終了する」を押す

電話帳の検索

1. 待受画面で[電話帳]▶「[1] 電話帳の内容を見る」を押す
2. 「[1] 50音順検索」～「[6] 電話帳番号検索」を押す

● FOMA カード電話帳を検索するとき

[電話帳]▶「[1] 50 音順検索」～「[4] 電話番号検索」を押す

3. 目的の相手を検索して選択する

キリトリ線

電話帳の修正

1.「電話帳の検索」（→P7）の操作1～3を行う
2. メニュー ▶「4 修正する」を押す
3. 必要な項目を修正する
4.「1 上書きする」または「2 新規登録する」を押す
- 「1 上書きする」　：上書きして登録します。
- 「2 新規登録する」：新しく登録します。電話帳番号を入力▶ 決定 を押します。
- 以降は「FOMA端末電話帳の登録」の操作10～12と同様に操作します。→P6

文字の入力

文字入力画面の見かた

入力モードの切り替え

文字入力画面でを複数回押す
- 入力モードの切り替わりかた

→ ひらがな／漢字 → 半角カタカナ → 半角英字 → 半角数字 →（ひらがな／漢字に戻る）

文字の入力・変換

〈例〉「鈴木」と入力するとき

1. ひらがな／漢字入力モードで文字を入力する

「す」：3 を3回▶（カーソルを1つ右に移動）を押す
「ず」：3 を3回▶ ＊ を押す
「き」：2 を2回押す
- 文字を挿入する場合：
  カーソルを挿入位置に移動▶文字を入力する
- 入力した文字の確定前にできる操作
  戻る ：入力した文字を取り消します。
  テレビ電話 ：大文字／小文字を切り替えます。
  ＊（複数回）：
  濁点「゛」や半濁点「゜」を付加します。

2. 電話帳 を押す
- ／ 電話帳 ：
  変換候補一覧を表示します。
- 戻る ：変換前の状態に戻します。

3. 決定 を押す

文字の削除

カーソルが文中にあるとき

戻る ：カーソル位置の1文字を削除します。
戻る を1秒以上：
カーソル位置から文末までの文字をすべて削除します。

カーソルが文末にあるとき

戻る ：カーソル位置の左の1文字を削除します。
戻る を1秒以上：
入力した文字をすべて削除します。

キリトリ線

絵文字・記号・定型文の入力

絵文字を入力する

1. 文字入力中に[メニュー]▶「1 絵文字を入力」を押す
2. 絵文字を選択▶[決定]を押す
   - [メニュー]／[電話帳]：ページを切り替えます。

記号を入力する

1. 文字入力中に[メニュー]▶「2 記号を入力」を押す
2. 記号を選択▶[決定]を押す
   - [メニュー]／[電話帳]：ページを切り替えます。

定型文を入力する

1. 文字入力中に[メニュー]▶「3 定型文を貼付け」を押す
2. フォルダを選択▶[決定]▶定型文を選択▶[決定]▶[決定]を押す
   - [◀]／[▶]：ページを切り替えます。

カメラ機能

写真／ビデオの撮影

写真を撮影する

1. 待受画面で[ ]（[カメラ]）を押す

写真撮影
Sｻｲｽﾞ 残り 153枚
ﾒﾆｭｰ 撮影 見る

写真の大きさと撮影（保存）できる残りの枚数

2. 被写体にカメラを向けて[決定]を押す
3. 「1 保存する」▶[決定]を押す

ビデオを撮影する

1. 待受画面で[ ]（[カメラ]）を押す
2. [メニュー]▶「1 ビデオを撮影」を押す

ビデオ撮影[補正]
残り 00:20:35
ﾒﾆｭｰ 撮影 見る

撮影（保存）できる残り時間の目安

3. 被写体にカメラを向けて[決定]を押す
4. [決定]を押す
5. 「1 保存する」▶[決定]を押す

撮影した写真の表示／ビデオの再生

写真を表示する

1. 待受画面で[メニュー]▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」を押す
2. 「3 写真のアルバムを見る」を押す
3. 「撮影した写真」のアルバムを選択▶[決定]を押す
4. 表示する写真を選択▶[決定]を押す

200509151323
001/006枚
2005/09/15 13…
ﾒﾆｭｰ 一覧 拡大

- [▲]［▼］：アルバム内の他の写真を表示します。

キリトリ線

ビデオを再生する

1. 待受画面で メニュー ▶「4 写真・ビデオを撮る・見る」を押す
2. 「4 ビデオのアルバムを見る」を押す
3. 「撮影したビデオ」のアルバムを選択 ▶ 決定 を押す
4. 再生するビデオを選択 ▶ 決定 を押す

- ／音量ボタン（▲▼）：再生中の音量を調節します。
- 決定 ：再生を一時停止／再開します。
- メニュー ：再生を停止します。

i モードメール

送受信できる文字数

項　目	全角文字	半角文字
題名	15 文字	30 文字
メールアドレス	―	50 文字
本文	5000 文字	10000 文字

i モードメールの作成・送信

未送信メールと送信メールは、それぞれ最大 50 件保存できます。

1. 待受画面で ✉ を 1 秒以上押す

- 簡単メール作成画面が表示された場合は、電話帳 ▶「1 切替える」を押して通常メール作成画面に切り替えます。

2. 宛先欄を選択 ▶ 決定 を押す
3. 宛先を入力する
   - 「1 電話帳から選ぶ」：
     電話帳から選択します。電話帳を検索（→ P 7）▶ 相手を選択 ▶ 決定 ▶ メールアドレスを選択 ▶ 決定 を押します。
   - 「2 直接入力する」：
     直接入力します。宛先を入力 ▶ 決定 を押します。
4. 題名欄を選択 ▶ 決定 ▶ 題名を入力 ▶ 決定 を押す
5. 本文欄を選択 ▶ 決定 ▶ 本文を入力 ▶ 決定 を押す
6. 「送信する」を選択 ▶ 決定 を押す
   - メールを保存する：
     メニュー ▶「2 保存する」▶ 決定 を押します。

データの添付

1. 通常メール作成画面（→ P 1 7）で メニュー ▶「4 添付データ」を押す
2. 「1 追加する」を押す
   - 添付データを解除する：
     「2 解除する」または「3 全て解除する」を押します。
3. 「1 音声」～「4 メロディ」を押す

●音声を添付するとき

「1 音声」▶ 音声を録音して保存する

●写真を添付するとき

「2 写真」▶ 今から撮影／アルバムから選択する

●ビデオを添付するとき

「3 ビデオ」▶ 今から撮影／アルバムから選択する

●メロディを添付するとき

「4 メロディ」▶ メロディを選択する

ｉモードメールの受信

受信メールは、最大200件保存できます。

1. メールを受信する
　画面表示や着信音などでお知らせします。受信結果が表示されます。
2.「1 メール」を押す
3. フォルダを選択▶決定を押す
4. メールを選択▶決定を押す

ｉモード問合せ

1. 待受画面で ▶「6 メールがあるか問合せる」を押す
2.「1 届いているメール・メッセージを受信する」を押す

その他の主な操作

リダイヤルを表示する

1. 待受画面で を押す

リダイヤルから電話をかける

1. 待受画面で を押す
2. を押して目的の電話番号を表示する
3. またはテレビ電話を押す

● 発信者番号通知／非通知で音声電話をかけるとき

リダイヤル表示中に「音声電話をかけるとき」と同様に操作します。→P3

● 発信者番号通知／非通知でテレビ電話をかけるとき

リダイヤル表示中に「テレビ電話をかけるとき」と同様に操作します。→P3

キリトリ線

着信履歴を表示する

1. 待受画面で を押す

着信履歴から電話をかける

1. 待受画面で を押す
2. を押して目的の電話番号を表示する
3. またはテレビ電話を押す

● 発信者番号通知／非通知で音声電話をかけるとき

着信履歴表示中に「音声電話をかけるとき」と同様に操作します。→P3

● 発信者番号通知／非通知でテレビ電話をかけるとき

着信履歴表示中に「テレビ電話をかけるとき」と同様に操作します。→P3

マナーモードを設定／解除する

1. 待受画面で # を1秒以上▶決定を押す
　・解除する：マナーモード中に # を1秒以上▶決定を押す

公共モード（ドライブモード）を設定／解除する

1. 待受画面で * を1秒以上▶決定を押す
　・解除する：公共モード（ドライブモード）中に * を1秒以上▶決定を押す

公共モード（電源OFF）を設定／解除する

1. 待受画面で * 2 5 2 5 1 を押す
　・解除する：公共モード(電源OFF)中に待受画面で * 2 5 2 5 0 を押す

伝言メモを設定／解除する

1. 待受画面で（留守）を1秒以上▶決定を押す
   - ・解除する：伝言メモを設定中に（留守）を1秒以上▶決定を押す

伝言メモを再生する

1. 待受画面で（留守）▶決定を押す
2. （メール）（留守）を押して目的の伝言メモを選択▶決定を押す
   伝言メモが再生されます。
3. 「1 削除する」または「2 削除しない」を押す
   - ・「1 削除する」：
     伝言メモを削除します。決定を押します。
   - ・「2 削除しない」：
     伝言メモを削除しません。

クイック伝言メモを利用する

1. 電話がかかってくる
2. メニュー▶「1 伝言メモ」を押す

自分の電話番号を確認する

1. 待受画面でメニュー▶「0 自分の電話番号を見る」を押す

個人情報（基本）
名称未登録

電話番号
090XXXXXXXX
メールアドレス

詳細 修正

●通話中に自分の電話番号を見るとき

通話中にメニュー▶「0 自分の電話番号」を押す

- ・戻る：通話中の画面に戻ります。

ディスプレイの見かた

ディスプレイ上部

① ② ③④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

① ：電池残量の表示
② ：受信レベルの表示
圏外：圏外の表示
Self：セルフモード中
：データ転送（送受信）中など
③ ：ｉモード接続中、パケット通信中
SSL：SSLページ表示中
：パソコンを接続してパケット通信中
：パソコンを接続してデータ送受信中
④ ：シークレットモード中
⑤ ：音声電話中
64K：テレビ電話中（64K）
32K：テレビ電話中（32K）
64K：64Kデータ通信中
：音声読み上げ可能など
⑥ ：ｉモードメール、SMS、メッセージR/Fの受信完了通知
：ワンタッチアラーム有効
：ワンタッチアラーム利用不可状態

⑦ ：USBハンズフリー通信中
：スピーカーホン機能の使用中
AUTO：オートスピーカーホン機能の設定中
通信中：ｉモード通信中
取得中：ｉモーションデータの取得中
⑧ ：マナーモード中
SV：音声電話のバイブレータと着信音量の消音を同時に設定中
V：音声電話のバイブレータを設定中
S：着信音量を消音に設定中
漢かな：文字入力モードの表示
：ｉモードメール、SMSの受信中
R：メッセージRの受信中
F：メッセージFの受信中
⑨ ：公共モード（ドライブモード）中
：FOMAカードを読み込み中

ディスプレイ下部

ｉモード 決定 長押し
① ② ③ ④⑤⑥⑦ ⑧⑨⑩ ⑪ ⑫

① 留守番 長押し：留守番電話の伝言メッセージあり
ｉモード 決定 長押し：ｉモードの接続操作の表示

キリトリ線

② ：伝言メモが満杯
：未確認の伝言メモあり
：伝言メモの設定中
③ ：未確認の不在着信情報あり
④ ：未読ｉモードメール、SMS 状態表示
⑤ ：未読メッセージ R 状態表示
⑥ ：未読メッセージ F 状態表示
⑦ ：ｉモードセンター蓄積状態表示
⑧ ：ソフトウェア更新の予約中
⑨ ：FOMA USB 接続ケーブルで接続中
⑩ ：個人の情報表示を制限中
：ダイヤル入力での発信を制限中
⑪ ：目覚まし設定中
：通知する予定あり
：目覚まし設定中に通知する予定あり
⑫ ／ ：歩数計の使用中、または歩数自動送信メールを設定中

ネットワークサービス

主なネットワークサービスを開始／停止する

1. 待受画面で メニュー ▶「✱ ネットワークサービスを使う」を押す
2. 「1 留守番サービスを使う」～「5 番号通知お願いサービスを使う」を押す

● 留守番電話サービスを設定するとき

「1 留守番サービスを使う」▶「3 留守番サービスを開始する」または「4 留守番サービスを停止する」

・以降、画面の指示に従い操作します。

● キャッチホンを設定するとき

「2 キャッチホンを使う」▶「1 キャッチホンを開始する」または「2 キャッチホンを停止する」

・以降、画面の指示に従い操作します。

● 転送でんわサービスを設定するとき

「3 転送サービスを使う」▶「1 転送サービスを開始する」または「2 転送サービスを停止する」

・以降、画面の指示に従い操作します。

● 迷惑電話ストップサービスを利用するとき

「4 迷惑電話ストップを使う」▶「1 迷惑電話着信拒否を登録する」▶「1 登録する」▶ 決定 を押す

・以降、画面の指示に従い操作します。

● 番号通知お願いサービスを設定するとき

「5 番号通知お願いサービスを使う」▶「1 番号通知お願いサービスを開始する」または「2 番号通知お願いサービスを停止する」

・以降、画面の指示に従い操作します。

FOMA 端末から利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内 およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料） 午前 8 時～午後 10 時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きた時の緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

キリトリ線

メニュー一覧

各機能の先頭の数字や記号は、ショートカット操作のボタンを示します。
<操作例>電卓を使う：メニュー 7 を押す

- 1 電話してきた相手を見る
- 2 電話・電話帳を使う
  - 1 電話帳の内容を見る
  - 2 電話帳に登録する
  - 3 電話を受けた時の音を選ぶ
    - 1 音声電話の着信音を選ぶ
    - 2 テレビ電話の着信音を選ぶ
  - 4 電話を受けた時の振動を選ぶ
    - 1 音声電話の振動を選ぶ
    - 2 テレビ電話の振動を選ぶ
  - 5 電話を受けた時の音量を調節する
  - 6 相手の声の音量を調節する
  - 7 伝言メモを使う
    - 1 伝言メモを再生する
    - 2 伝言メモを設定する
    - 3 伝言メモの応答メッセージを選ぶ
  - 8 電話帳のグループを設定する
    - 1 グループ名を変更する
    - 2 グループ専用の電話着信音を選ぶ
    - 3 グループ専用のメール着信音を選ぶ
- 3 メールを使う
  - 1 受信したメールを見る
  - 2 メールを作る
  - 3 例文を使ってメールを作る
  - 4 未送信のメールを見る
  - 5 送信したメールを見る

- 3 メールを使う
  - 6 メールがあるか問合せる
    - 1 届いているメール・メッセージを受信する
    - 2 メール選択受信を行う
  - 7 メールアドレスを確認・変更する
  - 8 メールを設定する
    - 1 メールが届いた時の音を選ぶ
    - 2 メールが届いた時の振動を選ぶ
    - 3 メールに付ける署名を登録する
    - 4 例文を編集する
    - 5 メール選択受信を設定する
  - 9 SMS を使う
    - 1 SMS を作る
    - 2 届いている SMS を全部受信する
    - 3 SMS を設定する
    - 4 FOMA カードの受信 SMS を見る
    - 5 FOMA カードの送信 SMS を見る
- 4 写真・ビデオを撮る・見る
  - 1 写真を撮影する
  - 2 ビデオを撮影する
  - 3 写真のアルバムを見る
  - 4 ビデオのアルバムを見る
- 5 ｉモードを使う
  - 1 ｉ Menu を見る
  - 2 ブックマークを見る
  - 3 インターネットに接続する
    - 1 URL を入力して接続する
    - 2 サイトの入力履歴から接続する
  - 4 画面メモを見る
  - 5 メッセージを見る
    - 1 メッセージリクエストを見る
    - 2 メッセージフリーを見る
    - 3 届いているメール・メッセージを受信する

- 5 ｉモードを使う
  - 5 メッセージを見る
    - 4 メッセージが届いた時の音を選ぶ
      - 1 メッセージリクエスト
      - 2 メッセージフリー
    - 5 メッセージが届いた時の振動を選ぶ
      - 1 メッセージリクエスト
      - 2 メッセージフリー
- 6 目覚まし・予定を登録する
  - 1 目覚ましを使う
  - 2 予定表を使う
  - 3 予定の登録件数を見る
  - 4 通知の時刻に電源を入れる
- 7 電卓を使う
- 8 歩数計を使う
  - 1 歩数計の利用／停止を設定する
  - 2 歩数の履歴を表示する
  - 3 歩数の自動送信メールを設定する
  - 4 歩数の履歴を削除する
  - 5 今日の歩数を削除する
- 9 初めに行う設定
  - 1 発信者番号通知を使う
    - 1 発信者番号通知を設定する
    - 2 発信者番号通知設定を確認する
  - 2 待受画面に画像カレンダーを設定する
  - 3 画面の配色を設定する
  - 4 画面の明るさを設定する
  - 5 ボタンを押した時の音を設定する
  - 6 音声読み上げを使う
    - 1 音声読み上げを設定する
    - 2 音声読み上げ用の単語を登録する
    - 3 スピーカー／受話口の切替を行う

- 9 初めに行う設定
  - 7 音声呼出しを登録する
    - 1 音声で呼出す電話帳を登録する
    - 2 音声で呼出す機能を登録する
  - 8 時計を設定する
    - 1 日付と時刻を設定する
    - 2 待受画面に時計を表示する
  - 9 ワンタッチアラームを使う
- 0 自分の電話番号を見る
- ＊ ネットワークサービスを使う
  - 1 留守番サービスを使う
    - 1 留守番メッセージを再生する
    - 2 メッセージがあるか問合せる
    - 3 留守番サービスを開始する
    - 4 留守番サービスを停止する
    - 5 留守番サービスの詳細を設定する
    - 6 留守番呼出時間を設定する
    - 7 留守番サービスの設定を確認する
    - 8 着信通知を使う
      - 1 着信通知を開始する
      - 2 着信通知を停止する
      - 3 着信通知の設定を確認する
  - 2 キャッチホンを使う
    - 1 キャッチホンを開始する
    - 2 キャッチホンを停止する
    - 3 キャッチホンの設定を確認する
  - 3 転送サービスを使う
    - 1 転送サービスを開始する
    - 2 転送サービスを停止する
    - 3 転送先を変更する
    - 4 転送先が通話中の時の設定をする
    - 5 転送サービスの設定を確認する

キリトリ線

- ✱ ネットワークサービスを使う
  - 4 迷惑電話ストップを使う
    - 1 迷惑電話着信拒否を登録する
    - 2 迷惑電話全登録を削除する
    - 3 迷惑電話１登録を削除する
  - 5 番号通知お願いサービスを使う
    - 1 番号通知お願いサービスを開始する
    - 2 番号通知お願いサービスを停止する
    - 3 番号通知お願いサービスを確認する
  - 6 通話中着信設定を使う
    - 1 通話中着信設定を開始する
    - 2 通話中着信設定を停止する
    - 3 通話中着信設定を確認する
  - 7 通話中着信動作を選ぶ
  - 8 その他のサービスを使う
    - 1 遠隔操作設定を使う
      - 1 遠隔操作を開始する
      - 2 遠隔操作を停止する
      - 3 遠隔操作の設定を確認する
    - 2 英語ガイダンスを使う
      - 1 ガイダンスを設定する
      - 2 ガイダンスの設定を確認する
    - 3 デュアルネットワークを使う
      - 1 デュアルネットワークを切替える
      - 2 デュアルネットワークの状態を確認する
    - 4 サービスダイヤルを使う
      - 1 ドコモ総合案内・受付に電話する
      - 2 ドコモ故障問合せ窓口に電話する
    - 5 ソフトウェアを更新する
- # 詳細な機能を設定する
  - 1 入力に関する設定を行う
    - 1 文字の入力方法を設定する
    - 2 よく使う単語を登録する
    - 3 よく使う定型文を登録する

- # 詳細な機能を設定する
  - 2 電話・電話帳の詳細を設定する
    - 1 電話帳の登録件数を見る
    - 2 着信を拒否する相手を指定する
    - 3 着信を許可する相手を指定する
    - 4 電話帳登録外の着信を拒否する
    - 5 発番通知のない着信を設定する
    - 6 イヤホンマイク接続時に自動で着信する
    - 7 背面の画面表示を設定する
    - 8 オートスピーカーホンを設定する
    - 9 無音着信時間を設定する
    - 0 テレビ電話を設定する
      - 1 テレビ電話画面の表示を設定する
      - 2 テレビ電話画面の明るさを設定する
      - 3 音声再発信を設定する
      - 4 発信時の自画像送信を設定する
      - 5 テレビ電話画面の大きさを設定する
  - 3 音を設定する
    - 1 充電開始と完了時の音を設定する
    - 2 電池残量の警告音を設定する
    - 3 イヤホンマイク利用時の切替を設定する
    - 4 通話状態が悪い時に音で知らせる
    - 5 再接続した時の音を選ぶ
    - 6 保存した曲の詳細を設定する
  - 4 メールの詳細を設定する
    - 1 問合せ内容を選ぶ
    - 2 添付の画像を受信する
    - 3 添付のメロディを受信する
    - 4 添付のメロディを自動演奏する
  - 5 メッセージの詳細を設定する
    - 1 メッセージのメロディを自動演奏する
    - 2 未読メッセージを自動で表示する

- # 詳細な機能を設定する
  - 6 ｉモードの詳細を設定する
    - 1 問合せ内容を選ぶ
    - 2 文字の大きさを選ぶ
    - 3 画像表示・照明を設定する
    - 4 ｉモーションの再生を設定する
    - 5 接続までの待ち時間を設定する
    - 6 接続先番号を設定する
    - 7 証明書の表示と使用を設定する
    - 8 ユーザ証明書を操作する
    - 9 証明書の発行先を変更する
  - 7 情報の表示やリセットを行う
    - 1 通話時間を見る
    - 2 通話料金を見る
    - 3 通話時間をリセットする
    - 4 通話料金をリセットする
    - 5 電池残量を確認する
    - 6 設定を初めの状態に戻す
    - 7 本体内データを全て削除する
  - 8 操作の制限をする
    - 1 全ての操作を制限する
    - 2 セルフモードを設定する
    - 3 シークレットモードに設定する
    - 4 履歴の表示を制限する
    - 5 個人の情報表示を制限する
    - 6 暗証番号を変更する
    - 7 FOMA カードの PIN コードを設定する
    - 8 ダイヤル入力での発信を制限する
  - 9 決めた時刻に電源を入／切する
    - 1 電源が入る時刻を設定する
    - 2 電源が切れる時刻を設定する
  - 0 データ転送時の動作を設定する

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合（局番なしの）

151（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合（局番なしの）

113（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

キリトリ線

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など､植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合

FOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※車を安全な所に停車させてからご使用になるか、公共モードをご利用ください。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音をすべて消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（ドライブモード／電源OFF）

電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような所（電車、バス、映画館等）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスを流し、通話を切ります。→P91

●伝言メモ

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。→P93

●バイブレータ

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。→P163

●マナーモード

キー確認音や着信音などFOMA端末から鳴る音をすべて消します。→P168

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◯公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

iモードから　i Menu ⇒ 料金&お申込 ⇒ ドコモeサイト　パケット通信料無料

パソコンから　My DoCoMo（https://www.mydocomo.com/）⇒ 各種手続き（ドコモeサイト）

※ iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※ パソコンからご利用になる場合、「My DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「My DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

あんしん↑
DoCoMo

ドコモ「あんしん」ミッション
みんなが、安心を、携帯できる世の中へ。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道	株式会社NTTドコモ東北	株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海	株式会社NTTドコモ北陸	株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国	株式会社NTTドコモ四国	株式会社NTTドコモ九州

製造元　富士通株式会社

・「音声読み上げ機能」により、視覚に頼らずにメニュー操作が行えたり、メール・iモードが利用できます。
・「ワンタッチダイヤル機能」により、ボタンひとつで電話がかけられます。

Li-ion

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK

Trademark of American Soybean Association

大豆油インキを使用しています。

'06.2（3版）
CA92002-4611

データ通信マニュアル

データ通信について

ここでは、データ通信の形態やご利用時の留意点について説明します。

利用できる通信形態

利用できる通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3つに分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や 64K データ通信を行ったり、電話帳などのデータをバックアップしたりするには、本CD-ROMよりソフトのインストールや各種設定を行う必要があります。
- FOMA端末はFAX通信に対応していません。
- ドコモのPDA、musea や sigmarion Ⅱと接続してデータ通信を行う場合は、musea やsigmarion Ⅱをアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりするのに適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどデータ量の多い通信を行った場合、通信料が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

64kbpsの安定した通信速度でデータを送受信できます。データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行うのに適しています。ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMA64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64kbpsのアクセスポイントを利用します。

データ転送

データを転送したり交換したりできます。課金は発生しません。データリンクソフトを利用して電話帳や送受信メール、ブックマークなどの各種データを送受信します。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンからインターネットを利用する場合は、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）に対する利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細は、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaがご利用いただけます。
  mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。使用した月だけ月額使用料がかかるプランも利用できます。FOMA端末でのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプションや国際ローミングなどに対応したmopera Uのご利用をおすすめします。
  moperaはお申し込みが不要で、月額使用料は無料です。今すぐインターネットに接続したい方に便利なサービスです。

接続先（プロバイダなど）について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64kbps対応の接続先をご利用ください。

- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信やDoPaのアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力してください。IDとパスワードはプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細は、プロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、本CD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定してください。詳細は本CD-ROM内の「FirstPassManual」を参照してください。

■ FirstPass PCソフトの動作環境

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機
OS（各日本語版）	Windows 98SE、Me、2000、XP
必要メモリ※	Windows 98SE、Me、2000 ：32MB以上 Windows XP：128MB以上
ハードディスク容量※	10MB以上の空き容量
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5以上

※：パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。

- FOMA USB接続ケーブル（別売）に対応したパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64kbpsに対応していること

ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

■ データ通信の用語集

- **APN（Access Point Name）**
  パケット通信で接続するプロバイダや社内LANを識別する文字列。たとえば、mopera Uは「mopera.net」がAPNとなります。
- **cid（Context Identifier）**
  パケット通信の接続先（APN）に対応して、FOMA端末に登録したAPNに割り当てられる登録番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。
- **DNS（Domain Name System）**
  ドメインネーム（例：mopera.net）を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのこと。
- **OBEX（Object Exchange）**
  データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データの送受信ができます。
- **QoS（Quality of Service）**
  サービスの品質。通信時にユーザの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。
- **W-TCP**
  FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータ。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。
- **管理者権限**
  Windows XP、2000を使用するときに、OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザは、ドライバやソフトなどのインストール／アンインストールができません。

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。
次のような流れになります。

通信設定ファイルをインストールする →P4

↓

パソコンとFOMA端末を接続する →P4

↓

通信設定ファイルを確認する→P5

↓

FOMA PC設定ソフトをインストールする →P6

↓

かんたん設定でパケット通信の設定をする
- mopera U/mopera→P7
- その他のプロバイダ→P9

かんたん設定で64Kデータ通信の設定をする
- mopera U/mopera→P10
- その他のプロバイダ→P11

↓

通信を実行する→P11
- 切断する→P12

↓

FOMA PC設定ソフトを使わずに通信の設定をする→P15

↓

接続する→P24
- 切断する→P24

通信設定ファイル（ドライバ）について

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA PC設定ソフトをインストールすると、FOMA端末とパソコンを接続してデータ通信を行うために必要なさまざまな設定を、簡単な操作で行えます。

動作環境の確認

通信設定ファイルおよびFOMA PC設定ソフトは、次の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体※1	PC/AT互換機
OS（各日本語版）	Windows 98、Me、2000、XP
必要メモリ※2	Windows 98、Me：32MB以上 Windows 2000　：64MB以上 Windows XP　　：128MB以上
ハードディスク容量※2	5MB以上の空き容量

※1：USB接続の場合は、USBポート（USB仕様1.1/2.0に準拠）が必要です。
※2：「FOMA PC設定ソフト」の動作環境です。パソコンのシステム構成によっては異なる場合があります。

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- データ通信の説明は、主にWindows XPでの操作方法を例にしています。他のOSでは画面の表示が異なる場合があります。

インストール／アンインストール前の注意点

- Windows XP、2000で通信設定ファイルやFOMA PC設定ソフトのインストール／アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザで行ってください。それ以外のユーザで行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- 操作を始める前に、稼動中の他のプログラムがないことを確認してください。稼動中のプログラムがある場合は、プログラムを保存、終了してください。
- パソコンの操作方法、管理者権限の設定などについては、パソコンの取扱説明書も参照してください。

パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。

- 初めてパソコンに接続する場合は、あらかじめ通信設定ファイル（ドライバ）をインストールしてください。→P4

FOMA USB接続ケーブルで接続する

- FOMA USB接続ケーブルは別売りです。

1 FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側をFOMA端末の外部接続端子に差し込む

2 FOMA USB接続ケーブルのパソコン側をパソコンのUSBコネクタに差し込む

- 通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続した場合は、FOMA USB接続ケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求され、ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA端末を取り外し、ウィザード画面で［キャンセル］をクリックして、終了してください。

- パソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の画面に が表示されます。

取り外しかた

1 FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側のリリースボタンを押し（①）、FOMA端末から引き抜く（②）

2 パソコンからFOMA USB接続ケーブルを引き抜く

お知らせ

- データ通信中にFOMA USB接続ケーブルを外さないでください。

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、通信設定ファイルが必要です。使用するパソコンにFOMA端末を初めて接続する前に、インストールしておきます。

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をお読みください。→P3

〈例〉Windows XPにインストールするとき

1 CD-ROMをパソコンにセットする

FOMA端末は操作1～3を行った後にパソコンに接続してください。

2 ［スタート］→「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「名前」に「＜CD-ROMドライブ名＞：￥USBDRIVE￥F881iESi.exe」と入力して［OK］をクリックする

- CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。

次ページへ続く

3 ［はい］をクリックする

FOMA F881iES Installer

FOMA F881iESドライバをインストールしますか？

はい　いいえ

4 FOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されたら、FOMA端末をパソコンに接続する

インストール中の画面表示後に自動的に完了します。

- FOMA端末は電源の入った状態で接続してください。
  接続方法→P4
- インストールされたデバイスの種類とデバイス名を確認してください。→P5

お知らせ

- インストールには数分かかる場合があります。
- Windowsを再起動する旨のメッセージが表示された場合は、画面の指示に従い再起動してください。
- 通信設定ファイルをインストールする前にパソコンとFOMA端末を接続すると、自動的に別のドライバがインストールされてしまう場合があります。その場合、操作2でアンインストールする必要がある旨のメッセージが表示されます。画面の指示に従ってアンインストールを行った後、もう一度通信設定ファイルをインストールしてください。
- 何らかの原因により、パソコンがFOMA端末を認識できなくなった場合は、通信設定ファイルをアンインストールし、もう一度インストールしてください。

通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

- FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

〈例〉Windows XPで確認するとき

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［パフォーマンスとメンテナンス］アイコン→［システム］アイコンをクリックする

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

Windows 2000、Me、98のとき

［スタート］→「設定」→「コントロールパネル」をクリックし、［システム］アイコンをダブルクリックする

2 ［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイス マネージャ］をクリックする

「デバイス マネージャ」画面が表示されます。

Windows Me、98のとき

［デバイス マネージャ］タブをクリックする

3 各デバイスをダブルクリックし、インストールされたデバイス名を確認する

インストールしたデバイス名がすべて表示されていることを確認します。

デバイスの種類	デバイス名
ポート（COM/LPT）または(COMとLPT)	• FOMA F881iES Command Port（COMx）※1 • FOMA F881iES OBEX Port（COMx）※1
モデム	• FOMA F881iES
ユニバーサル シリアル バス コントローラまたはUSB（Universal Serial Bus）コントローラ	• FOMA F881iES • FOMA F881iES Command※2 • FOMA F881iES Modem※2 • FOMA F881iES OBEX※2

※1：xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。

※2：Windows Me、98の場合のみ表示されます。

通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

アンインストールは、パソコンでFOMA端末が正しく認識されない場合や、FOMA端末を接続してデータ通信を行う必要がなくなったときなどに行います。

- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をお読みください。→P3
- アンインストールを実行する前に、必ずパソコンからFOMA端末を取り外してください。

〈例〉Windows XPでアンインストールするとき

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンをクリックする

Windows 2000、Me、98のとき

［スタート］→「設定」→「コントロールパネル」をクリックし、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする

次ページへ続く

2 「FOMA F881iES USB」を選択し、[変更と削除]をクリックする

3 削除するプログラム名を確認し、[はい]をクリックする

通信設定ファイルのアンインストールを開始します。

4 [OK]をクリックする

お知らせ

- インストールに失敗したとき、または操作2の画面に「FOMA F881iES USB」が表示されていないときは、P4「通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする」の操作1〜2を行い、アンインストールを実行してください。
- Windows Me、98では通信設定ファイルのアンインストール後、すぐにインストールし直してデータ通信を行うと、パソコンなどの環境によっては正しく通信できない場合があります。その場合は、FOMA USB接続ケーブルを一度抜き差ししてからデータ通信を行ってください。

FOMA PC設定ソフトを利用して通信する

FOMA PC設定ソフトを利用すると、簡単な操作でパケット通信や64Kデータ通信が行えます。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA PC設定ソフトでは次の設定ができます。

かんたん設定

ガイドに従い操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時にW-TCP設定などを行います。

W-TCPの設定

パケット通信を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。通信性能を最大限に活用するには、「W-TCP設定」による通信設定の最適化が必要です。

接続先(APN)の設定

パケット通信を行う際に必要な「接続先(APN)の設定」を行います。

パケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり、通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPNと呼ばれる接続先名を設定し、その登録番号(cid)を接続先電話番号欄に指定して接続します。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや社内LANに接続する場合はAPN設定が必要です。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

- N2001、N2002、P2401、P2002、F2611、T2101V添付の「W-TCP環境設定ソフト」および「FOMAデータ通信設定ソフト」、901iSシリーズより前に発売されたFOMA端末に添付の「FOMA PC設定ソフト」をインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。
- 操作の前に、必ず「インストール/アンインストール前の注意点」をお読みください。→P3
- 「FOMA PC設定ソフト」は、データ通信対応のすべてのFOMA端末で利用できます。

〈例〉Windows XPにインストールするとき

1 CD-ROMをパソコンにセットする

2 [スタート]→「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「名前」に「<CD-ROMドライブ名>:¥FOMA_PCSET¥SETUP.EXE」を指定し、[OK]をクリックする

- CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。

3 [次へ]をクリックする

FOMA PC設定ソフトの使用許諾契約が表示されます。

4 内容を確認の上、契約内容に同意する場合は[はい]をクリックする

[いいえ]をクリックすると、インストールを中止します。

次ページへ続く

5 「タスクトレイに常駐する」が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックする

セットアップ後、タスクトレイに「W-TCP設定」が常駐します。→P13

- 「W-TCP通信」の最適化の設定、解除を操作する機能です。常駐をおすすめします。
- インストール後に常駐の設定は変更できます。

6 インストール先を確認し、［次へ］をクリックする

- 変更する場合は［参照］をクリックし、任意のインストール先を指定して［次へ］をクリックします。

7 「プログラム フォルダ」のフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックする

- 変更する場合はフォルダ名を入力し、［次へ］をクリックします。

8 ［完了］をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」が起動します。

- このまま各種設定を始められます。

お知らせ

- 「W-TCP環境設定ソフト」「FOMAデータ通信設定ソフト」「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合は、インストールを中断する旨のメッセージが表示されます。［OK］をクリックし、それらのソフトをアンインストールしてから「FOMA PC設定ソフト」をインストールしてください。
- インストールの途中で［キャンセル］や［いいえ］をクリックしたときは、インストール画面の説明に従って［はい］または［いいえ］をクリックしてください。

かんたん設定でパケット通信を設定する

FOMA PC設定ソフトのかんたん設定では、表示される内容に従って選択や入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

- 設定する前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。→P4

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 ［スタート］→「すべてのプログラム」（Windows XP以外のOSの場合は、「プログラム」）→「FOMA PC 設定ソフト」を順に選択し、「FOMA PC設定ソフト」をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」が起動します。

mopera U/moperaを利用する場合

- その他のプロバイダを利用する場合→P9

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、［かんたん設定］をクリックする

2 「パケット通信」を選択し、［次へ］をクリックする

次ページへ続く

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択し、[次へ]をクリックする

- mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。「『mopera U』への接続」を選択し、[次へ]をクリックすると、ご契約の確認メッセージが表示されます。[はい]または[いいえ]をクリックしてください。

かんたん設定
接続先の選択
『mopera U』への接続
『mopera U』をご利用いただくと、安全で快適なインターネット接続が行えます。(mopera Uは有料サービスで、ご契約が必要です。)
『mopera』への接続
ご契約不要で、簡単にインターネット接続が行えます。
その他
FOMAデータ通信対応プロバイダや、社内LANに接続します。
※FOMA端末の接続を確認して下さい。
※[次へ]ボタンを押下すると、自動的にFOMA端末から接続先(APN)情報を取得します。
※ダイアルアップ作成中はFOMAの抜き差しは行わないで下さい。(故障の原因になる恐れがあります)
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

4 FOMA端末設定取得画面で[OK]をクリックする

FOMA端末から「接続先(APN)情報」を取得します。しばらくお待ちください。

5 「接続名」に任意の接続名を入力し、[次へ]をクリックする

- 次の記号(半角文字)は入力できません。
  ¥/: * ?!<> | "

かんたん設定
パケット通信設定
接続名: foma
モデム名: FOMA F881iES
発信者番号通知を行う
※mopera U及び、mopera接続では発信者番号通知が必要です。
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

6 [次へ]をクリックする

- 「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- ご使用のOSがWindows XP、2000の場合は「使用可能ユーザーの選択」を設定してください。Windows Me、98の場合は、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。

かんたん設定
使用可能ユーザーの選択
この接続を利用できるユーザーを指定してください
すべてのユーザー
自分のみ
ユーザー名・パスワード設定
アカウントをお持ちの方は入力して下さい。
(お持ちでない場合は入力不要です。)
ユーザー名:
パスワード:
パスワードを保存する
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

7 「最適化を行う」が選択されていることを確認し、[次へ]をクリックする

- すでに最適化されている場合、この画面は表示されません。

かんたん設定
W-TCP設定
現在、FOMAパケット用に最適化されていません。
FOMAパケット通信を利用するため、パソコン内の通信設定を最適化します。
最適化を行う
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

8 「設定情報」を確認し、[完了]をクリックする

かんたん設定
設定情報
この内容でよろしければ、完了ボタンを押してください。

確認項目	内容
接続方法	パケット通信
接続先	mopera U
接続名	foma
モデム名	FOMA F881iES
使用可能ユーザー	すべてのユーザー
ユーザー名	
パスワードの保存	する
現在のW-TCP設定	非最適化

デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する
< 戻る(B) 完了(F) キャンセル

9 [OK]をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動する旨のメッセージが表示された場合は[はい]をクリックしてください。

- すでにW-TCP設定が最適化されている場合は、再起動する必要はありません。
- 通信を実行する→P11

その他のプロバイダを利用する場合

- mopera U/moperaを利用する場合→P7

1 P7の操作1～4を行う

操作3の接続先は「その他」を選択します。

2 「接続名」に任意の接続名を入力し、[接続先（APN）設定］をクリックする

- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ￥/: ＊ ?!<> | ”
- 「発信者番号通知を行う」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。

■ 高度な設定（TCP/IPの設定）

［詳細情報の設定］をクリックすると「IPアドレス」と「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。プロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を基に、各種アドレスを登録してください。

3 接続先（APN）を設定する

お買い上げ時、番号（cid）1にはmoperaに接続するための APN「mopera.ne.jp」が、3 には mopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。番号（cid）は2または4～10に登録します。

①［追加］をクリックする

「接続先（APN）の追加」画面が表示されます。

②「接続先（APN）」にプロバイダのFOMAパケット網に対応した接続先名（APN）を正しく入力し、[OK］をクリックする

「接続先（APN）設定」画面に戻ります。

- 「接続先（APN）」には半角文字で、英数字、ハイフン（-）、ピリオド（.）のみ入力できます。

4 [OK］をクリックする

操作2の画面に戻ります。「接続先（APN）の選択」には、操作3で設定した「接続先（APN）」が表示されます。

5 「接続先（APN）の選択」の接続先名を確認し、[次へ］をクリックする

6 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[次へ］をクリックする

「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正確に入力してください。

- ご使用のOSがWindows XP、2000の場合は「使用可能ユーザーの選択」を設定してください。Windows Me、98の場合は、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。

次ページへ続く

7 「最適化を行う」が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックする

パケット通信に必要なW-TCP設定を最適化します。

- すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。

8 「設定情報」を確認し、［完了］をクリックする

9 ［OK］をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動する旨のメッセージが表示された場合は［はい］をクリックしてください。

- すでにW-TCP設定が最適化されている場合は、再起動する必要はありません。
- 通信を実行する→P11

かんたん設定で64Kデータ通信を設定する

〈例〉Windows XPで設定するとき

mopera U/moperaを利用する場合

- その他のプロバイダを利用する場合→P11

1 P7の操作1～3を行う

操作2の接続方法は「64Kデータ通信」を選択します。

2 「接続名」に任意の接続名を入力し、［次へ］をクリックする

- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ￥/: ＊ ?!<> | ”
- 「モデムの選択」が「FOMA F881iES」に設定されていることを確認します。

3 ［次へ］をクリックする

- 「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- ご使用のOSがWindows XP、2000の場合は「使用可能ユーザーの選択」を設定してください。Windows Me、98の場合は、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。

次ページへ続く

4 設定情報を確認し、［完了］をクリックする

かんたん設定
設定情報
この内容でよろしければ、完了ボタンを押してください。

確認項目	内容
接続方法	64Kデータ通信
接続先	mopera U
接続名	foma
モデム名	FOMA F881iES
使用可能ユーザー	すべてのユーザー
ユーザー名	XXXXXXX
パスワードの保存	する

デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する
＜戻る(B)　完了(F)　キャンセル

5 ［OK］をクリックする

- 通信を実行する→P11

その他のプロバイダを利用する場合

- mopera U/moperaを利用する場合→P10

1 P7の操作1～3を行う

操作2の接続方法は「64Kデータ通信」を、操作3の接続先は「その他」を選択します。

かんたん設定
接続方法の選択
パケット通信
パケット通信は、通信時
量に応じて料金が課金さ
64Kデータ通信

かんたん設定
接続先の選択
『mopera U』への接続
『mopera U』をご利用いただくと、
ます。（mopera Uは有料サービス
『mopera』への接続
ご契約不要で、簡単にインターネ
その他

2 各項目を設定し、［次へ］をクリックする

ISDN同期64kbpsアクセスポイントを持つプロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に次の項目をそれぞれ登録します。

- 「接続名」：任意
- 「モデムの選択」：「FOMA F881iES」
- 「電話番号」：プロバイダ情報を基に、正しく入力してください。入力できる文字は次のとおりです。
  0123456789ABCDPTWabcdpt
  w!@$-.( )+ ＊ #,&および半角空白
- 「発信者番号通知を行う」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。

かんたん設定
64Kデータ通信設定
接続名: foma
モデムの選択: FOMA F881iES
電話番号: 03XXXXXXXX
発信者番号通知を行う　詳細情報の設定...
＜戻る(B)　次へ(N)＞　キャンセル

■ 高度な設定（TCP/IPの設定）

［詳細情報の設定］をクリックすると「IPアドレス」と「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。プロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を基に各種アドレスを登録してください。

3 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、［次へ］をクリックする

「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正確に入力してください。

- ご使用のOSがWindows XP、2000の場合は「使用可能ユーザーの選択」を設定してください。Windows Me、98の場合は、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。

かんたん設定
使用可能ユーザーの選択
この接続を利用できるユーザーを指定してください
すべてのユーザー
自分のみ
ユーザー名・パスワード設定
アカウントをお持ちの方は入力して下さい。
（お持ちでない場合は入力不要です。）
ユーザー名:
パスワード:
パスワードを保存する
＜戻る(B)　次へ(N)＞　キャンセル

4 「設定情報」を確認し、［完了］をクリックする

かんたん設定
設定情報
この内容でよろしければ、完了ボタンを押してください。

確認項目	内容
接続方法	64Kデータ通信
接続先	その他
接続名	foma
モデム名	FOMA F881iES
電話番号	03XXXXXXXX
発信者番号の通知	する
使用可能ユーザー	すべてのユーザー
ユーザー名	XXXXXXX

デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する
＜戻る(B)　完了(F)　キャンセル

5 ［OK］をクリックする

- 通信を実行する→P11

通信を実行する

FOMA PC設定ソフトで設定した通信の実行や切断について説明します。

1 FOMA端末とパソコンを接続する

- 接続方法→P4

次ページへ続く

2 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする

foma

- アイコンはOSによって異なります。
- 設定中に「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」を選択しなかった場合は、接続アイコンは作成されません。次のスタートメニューからの接続方法を利用してください。

■ Windows XPのスタートメニューから接続するとき

[スタート]→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリックし、接続アイコンをダブルクリックする

■ Windows 2000、Me、98のスタートメニューから接続するとき

[スタート]→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」（Me、98の場合は「ダイヤルアップネットワーク」）をクリックし、接続アイコンをダブルクリックする

3 接続を実行する

- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。そのまま、[ダイヤル]をクリックします。
- その他のプロバイダの場合は、「ユーザー名」「パスワード」を入力して[ダイヤル]をクリックします。
  設定中に「ユーザー名」の入力や「パスワード」の保存をした場合、入力は不要です。
- OSによっては、接続完了画面が表示される場合があります。[OK]をクリックしてください。

foma へ接続

ユーザー名(U):
パスワード(P):
☐次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する(S):
このユーザーのみ(N)
このコンピュータを使うすべてのユーザー(A)
ダイヤル(I): 186*99***3#
ダイヤル(D) キャンセル プロパティ(O) ヘルプ(H)

お知らせ

- FOMA端末には、パケット通信を実行すると発信中の画面、64Kデータ通信を実行すると呼び出し中の画面がそれぞれ表示され、接続すると次の画面が表示されます。

ﾊﾟｹｯﾄ通信中

64Kデータ通信中
27秒
186*8701

パケット通信のとき　64Kデータ通信のとき

- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに通信状態が表示されます。
- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- データ通信を実行する場合、アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ有効です。
- F881iES以外のFOMA端末を接続する場合は、ご利用になるFOMA端末の通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする必要があります。

切断するには

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

1 タスクトレイの をクリックする

- Windows Me、98の場合はダブルクリックします。

2 [切断]をクリックする

fomaの状態

全般　詳細

接続
状態: 接続
継続時間: 00:00:38
速度: 460.8 Kbps

動作状況
送信 — — 受信
バイト: 914 145
圧縮: 0 % 0 %
エラー: 0 0

プロパティ(P)　切断(D)
閉じる(C)

パケット通信の設定を最適化する

「W-TCP設定」を利用してパソコンのパケット通信の設定をFOMAネットワーク用に最適化する方法と最適化を解除する方法について説明します。
「W-TCP設定」とは、FOMAネットワークでパケット通信を行う際にTCP/IPの伝送能力を最適化するためのTCPパラメータ設定ツールです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

Windows XPでの最適化の設定と解除

Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとに最適化できます。

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、[W-TCP設定] をクリックする

- 起動方法→P7

■ タスクトレイからW-TCP設定を起動するとき

タスクトレイの をクリックする

2 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき

①「W-TCP設定」画面で[最適化を行う]をクリックする

②最適化するダイヤルアップを選択し、[実行] をクリックする

システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。

W-TCP設定

FOMAパケット通信を利用するため、パソコン内の通信設定を最適化します。

現在、最適化されていません。

最適化を行う

変更を行わず閉じる

■ システム設定が最適化されているとき

次の画面が表示されます。
内容を変更する場合は設定を行ってください。

W-TCP設定(ダイヤルアップ)

FOMAパケット通信用のダイヤルアップを選択してください。

最適化	変更	現在	ダイヤルアップ名	モデム名
☑する		最適化	FOMA	FOMA F881iES
☑する		最適化	mopera01	FOMA F881iES
☑する		最適化	ドコモワールド	FOMA F881iES
☐する		非最適化	会社用	FOMA F881iES
☑する		最適化	自宅用	FOMA F881iES

実行　キャンセル

システム設定　※FOMAパケット通信用に設定したパソコン内の設定を解除します。

■ 最適化を解除するとき

①「W-TCP設定（ダイヤルアップ）」画面で［システム設定］をクリックする

「W-TCP設定」画面が表示されます。

②[最適化を解除する］をクリックする

③[OK］をクリックする

3 画面に従ってWindowsを再起動する

- 設定した内容は再起動後有効になります。

Windows 2000、Me、98での最適化の設定と解除

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、[W-TCP設定］をクリックする

- 起動方法→P7

■ タスクトレイからW-TCP設定を起動するとき

タスクトレイの をクリックする

2 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき

[最適化を行う］をクリックする

■ システム設定が最適化されているとき

[最適化を解除する］をクリックする

- FOMA端末以外で通信を行う場合などに解除します。

3 画面に従ってWindowsを再起動する

設定した内容は再起動後有効になります。

接続先（APN）を設定する

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。

- 設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。→P4
- 接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号cid1～cid10に設定できます。お買い上げ時、cidの1には moperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。mopera Uまたはmoperaに接続する場合は本設定は不要です。その他のプロバイダや社内LANなどに接続する場合は、cid2または4～10にAPNを登録します。
- 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、[接続先（APN）設定］をクリックする

FOMA端末設定取得画面が表示されます。

- 起動方法→P7

次ページへ続く

2 ［OK］をクリックする

FOMA端末に登録されている接続先（APN）情報を読み込みます。

3 接続先（APN）の設定を行う

接続先(APN)設定
ファイル(F)
FOMA端末設定
接続先(APN)の設定

番号(cid)	接続先(APN)
1	mopera.ne.jp
2	0120.mopera.ne.jp
3	mopera.net

追加 編集... 削除 ダイヤルアップ作成...
FOMA端末へ設定を書き込む
閉じる

■ 接続先（APN）を追加するとき

［追加］をクリックする

■ 登録済みの接続先（APN）を編集・修正するとき

対象の接続先（APN）を一覧から選択し、［編集］をクリックする

■ 登録済みの接続先（APN）を削除するとき

対象の接続先（APN）を一覧から選択し、［削除］をクリックする

- 番号（cid）の 1 と 3 に登録されている接続先（APN）は削除できません。番号（cid）の3を選択して［削除］をクリックした場合も、実際には削除されず「mopera.net」の設定に戻ります。

■ ファイルへ保存するとき

「ファイル」メニュー→「名前を付けて保存」または「上書き保存」をクリックする

- FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存するときに利用します。

■ ファイルから読み込むとき

「ファイル」メニュー→「開く」をクリックする

- パソコンに保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込んだりするときに利用します。

■ FOMA端末から接続先（APN）情報を読み込むとき

「ファイル」メニュー→「FOMA端末から設定を取得」をクリックする

- FOMA端末に手動でアクセスし、登録された接続先（APN）設定を読み込みます。

■ FOMA端末に接続先（APN）情報を書き込むとき

［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリックする

- 表示されている接続先（APN）設定がFOMA端末に書き込まれます。

■ ダイヤルアップを作成するとき

①追加、編集した接続先（APN）を選択し、［ダイヤルアップ作成］をクリックする

「FOMA端末設定書き込み」画面が表示されます。

②［はい］をクリックする

FOMA端末へ接続先（APN）情報の書き込み終了後、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。

③「接続名」を入力し、［アカウント・パスワードの設定］をクリックする

- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、［アカウント・パスワードの設定］はしなくてもかまいません。その場合は、操作⑤に進みます。

④「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、［OK］をクリックする

- Windows XP、2000の場合は、「使用可能ユーザー」を選択してください。
- プロバイダから、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で［詳細情報の設定］をクリックし、必要な情報を登録後、［OK］をクリックしてください。

⑤［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリックする

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

⑥［はい］をクリックする

お知らせ

- 接続先（APN）設定はFOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末（故障修理により交換された端末など）を接続する場合は、APNを登録し直してください。
- パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、同じAPNの登録番号（cid）をFOMA端末に登録してください。
- 通信設定ファイルの確認でFOMA端末がCOM20より大きい番号として認識されている場合は、APN設定の際、APNの情報の取得、書き込みができません。その場合は「パケット通信の接続先（APN）を設定する」を参照して設定してください。→P15

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をお読みください。→P3

アンインストールを実行する前に

タスクトレイの▦を右クリックし、「常駐させない」をクリックして、「W-TCP設定」の常駐を解除してください。

アンインストールする

〈例〉Windows XPでアンインストールするとき

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンをクリックする

■ Windows 2000、Me、98のとき

［スタート］→「設定」→「コントロールパネル」をクリックし、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする

2 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択し、［変更と削除］をクリックする

3 削除するプログラム名を確認し、［はい］をクリックする

FOMA PC設定ソフトのアンインストールを開始します。

■ 「W-TCP最適化」を解除するとき

W-TCPが最適化されている場合は最適化を解除するかどうかを確認する画面が表示されます。
アンインストールする場合は［はい］をクリックします。
「W-TCP最適化」の解除は、再起動後に行われます。

4 ［OK］をクリックする

FOMA PC設定ソフトを利用しないで通信する

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信または64Kデータ通信のダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。

ダイヤルアップネットワークの設定の流れ

データ通信の準備の流れ→P3

接続先（APN）を設定する→P15
※64Kデータ通信の場合と、パケット通信で接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、設定は不要です。

↓

発信者番号の通知／非通知を設定する→P17
※ 必要に応じて設定してください。

↓

ダイヤルアップネットワークの設定をする

ご使用のOS	参照先	
	接続先の設定	TCP/IP設定
Windows XP	P17	P18
Windows 2000	P19	P21
Windows Me	P21	P22
Windows 98	P23	P23

※設定内容の詳細は、プロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

パケット通信の接続先（APN）を設定する

接続先（APN）と登録番号（cid）について

パケット通信の接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号cid1～cid10に設定できます。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。mopera Uまたはmoperaに接続する場合は本設定は不要です。その他のプロバイダや社内LANなどに接続する場合は、cid2または4～10にAPNを登録します。

- 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

次ページへ続く

- 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録として考えられます。接続先の設定項目をFOMA端末の電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA端末の電話帳の登録項目
登録番号（cid）	登録番号（メモリ番号）
APN	相手の電話番号

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

接続先（APN）を設定する

設定するためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 FOMA端末とパソコンを接続する
- 接続方法→P4

2 ［スタート］→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」をクリック（Windows 98ではさらに［Hypertrm］アイコンをダブルクリック）する
- Windows XP以外のOSをお使いの場合は、「すべてのプログラム」が「プログラム」と表示されます。

3 「名前」に接続先名など任意の名前を入力し、［OK］をクリックする

4 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を仮入力し、「接続方法」から「FOMA F881iES」を選択し、［OK］をクリックする
- 市外局番は接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

5 接続画面が表示されたら［キャンセル］をクリックする

6 接続先（APN）を入力し、↵を押す

「AT+CGDCONT=＜cid＞, "PPP", "APN"」の形式で入力します。

＜cid＞：2または4～10の間で任意の番号を入力します。
"PPP"：そのまま"PPP"と入力します。
"APN"：接続先（APN）を" "で囲んで入力します。

「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

■ 接続先（APN）設定をリセットするとき

AT+CGDCONT= ↵：
すべてのcidをお買い上げ時の状態にリセットします。
＜cid＞=1は「mopera.ne.jp」、＜cid＞=3は「mopera.net」に戻り、＜cid＞=2および4～10の設定は未登録になります。
AT+CGDCONT=＜cid＞↵：
特定のcidをリセットします。

■ 接続先（APN）設定を確認するとき

AT+CGDCONT? ↵

■ ATコマンドを入力しても画面に表示されないとき

ATE1 ↵

7 「OK」と表示されていることを確認し、「ファイル」メニュー→「ハイパーターミナルの終了」をクリックする
- 「"XXX"と名前付けされた接続を保存しますか?」と表示されたら、「いいえ」をクリックします。

発信者番号の通知／非通知を設定する

発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。

- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「非通知」に設定すると接続できません。

1 **P16の操作1～5を行う**

2 **パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定する**

「AT＊DGPIR=＜n＞」の形式で入力します。

AT＊DGPIR=1 ↵：
　パケット通信確立時、接続先（APN）に「184」を付けて接続します。

AT＊DGPIR=2 ↵：
　パケット通信確立時、接続先（APN）に「186」を付けて接続します。

AT＊DGPIR=0 ↵：
　設定なし（お買い上げ時）に戻ります。

3 **「OK」と表示されていることを確認し、「ファイル」メニュー→「ハイパーターミナルの終了」をクリックする**

- 「“XXX”と名前付けされた接続を保存しますか？」と表示されたら、「いいえ」をクリックします。

■ ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」（通知）／「184」（非通知）を付けられます。

- ＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で「186」（通知）／「184」（非通知）の設定を行った場合、発信者番号の通知／非通知は次のとおりです。

＊DGPIRコマンドによる設定 ／ ダイヤルアップネットワークの設定（＜cid＞=3の場合）	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊3#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊3#	非通知		
186＊99＊＊＊3#	通知		

Windows XPでダイヤルアップネットワークを設定する

Windows XPで「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。

接続先を設定する

1 **［スタート］→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択し、「ネットワーク接続」をクリックする**

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

2 **「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリックする**

「新しい接続ウィザード」画面が表示されます。

3 **［次へ］をクリックする**

ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

4 **「インターネットに接続する」を選択し、［次へ］をクリックする**

準備画面が表示されます。

5 **「接続を手動でセットアップする」を選択し、［次へ］をクリックする**

インターネット接続画面が表示されます。

6 **「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択し、［次へ］をクリックする**

7 **「モデム－FOMA F881iES（COMx）」のみを選択し、［次へ］をクリックする**

- xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。
- インストールされているモデムが1台しかない場合、デバイスの選択画面は表示されません。操作8へ進みます。

8 **「ISP名」に任意の接続名を入力し、［次へ］をクリックする**

次ページへ続く

9 「電話番号」に接続先の番号を半角で入力し、［次へ］をクリックする

■ パケット通信のとき

「＊99＊＊＊＜cid＞#」を入力します。
＜cid＞には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号を入力します。
mopera Uへ接続する場合は「＊99＊＊＊3#」を、moperaへ接続する場合は「＊99＊＊＊1#」を入力します。

■ 64Kデータ通信のとき

接続先の電話番号を入力します。
mopera Uへ接続する場合は「＊8701」を、moperaへ接続する場合は「＊9601」を入力します。

10 「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」を入力し、各項目を画面例のようにすべて選択し、［次へ］をクリックする

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」は空欄でもかまいません。各項目を画面のようにすべて選択し、［次へ］をクリックします。

11 ［完了］をクリックする

12 設定内容を確認し、［キャンセル］をクリックする

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認だけを行います。

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」メニュー→「プロパティ」をクリックする

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認する

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続方法」の「モデム-FOMA F881iES（COMx）」のみを選択します（xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます）。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（☐）にします。

次ページへ続く

3 ［ネットワーク］タブをクリックし、各項目の設定を確認する

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」に設定します。
- 「この接続は次の項目を使用します」は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」だけを選択します。「QoSパケットスケジューラ」は設定を変更できませんので、そのままにしてください。
- プロバイダから、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は「インターネットプロトコル」を選択し、「プロパティ」をクリックして必要な情報を設定してください。

FOMAのプロパティ
全般 オプション セキュリティ ネットワーク 詳細設定
呼び出すダイヤルアップ サーバーの種類(E):
PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet
設定(S)
この接続は次の項目を使用します(O):
インターネット プロトコル (TCP/IP)
QoS パケット スケジューラ
Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
Microsoft ネットワーク用クライアント
インストール(N)... アンインストール(U) プロパティ(R)
説明
伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまなネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコルです。
OK キャンセル

4 ［設定］をクリックする

5 すべての項目を非選択（☐）にし、［OK］をクリックする

PPP 設定
☐ LCP 拡張を使う(E)
☐ ソフトウェアによる圧縮を行う(N)
☐ 単一リンク接続に対してマルチリンクをネゴシエートする(M)
OK キャンセル

6 ［OK］をクリックする

- ダイヤルアップ接続する→P24

Windows 2000でダイヤルアップネットワークを設定する

Windows 2000で「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。

接続先を設定する

1 ［スタート］→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックする

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面が表示されます。

2 ［新しい接続の作成］アイコンをダブルクリックする

「所在地情報」画面が表示されます。

- この画面は［新しい接続の作成］アイコンを初めてダブルクリックしたときに表示されます。２回目以降の場合は、操作５へ進みます。

3 「市外局番」を入力し、［OK］をクリックする

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4 ［OK］をクリックする

「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されます。

5 ［次へ］をクリックする

ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択し、［次へ］をクリックする

「インターネット接続ウィザード」の開始画面が表示されます。

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択し、［次へ］をクリックする

インターネット接続の設定選択画面が表示されます。

8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択し、［次へ］をクリックする

モデムの選択画面が表示されます。

9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」が「FOMA F881iES」のみに設定されていることを確認し、［次へ］をクリックする

インターネットアカウントの接続情報画面が表示されます。

- 「FOMA F881iES」に設定されていない場合は、「FOMA F881iES」に設定してください。
- パソコンに複数のモデムがインストールされていない場合はこの画面は表示されません。

10 「電話番号」に接続先の番号を半角で入力し、［詳細設定］をクリックする

次ページへ続く

■ パケット通信のとき

「＊99＊＊＊<cid>#」を入力します。
<cid>には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号を入力します。
mopera Uへ接続する場合は「＊99＊＊＊3#」を、moperaへ接続する場合は「＊99＊＊＊1#」を入力します。

■ 64Kデータ通信のとき

接続先の電話番号を入力します。
mopera Uへ接続する場合は「＊8701」を、moperaへ接続する場合は「＊9601」を入力します。

- 「市外局番とダイヤル情報を使う」を非選択（☐）にします。

11 ［接続］タブの各項目を画面例のように設定する

12 ［アドレス］タブをクリックし、各項目を設定する

- プロバイダから、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は必要な情報を設定してください。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合は、設定を変更しなくてもかまいません。

13 ［OK］をクリックする

インターネットアカウントの接続情報画面に戻ります。

14 ［次へ］をクリックする

インターネットアカウントのログオン情報画面が表示されます。

15 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、［次へ］をクリックする

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。［次へ］をクリックし、入力されていないことを確認する画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

16 「接続名」に任意の接続名を入力し、［次へ］をクリックする

17 「いいえ」を選択し、［次へ］をクリックする

次ページへ続く

18 [完了] をクリックする

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面に戻ります。

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」→「プロパティ」をクリックする

2 [全般] タブの各項目の設定を確認する

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続の方法」の「モデム-FOMA F881iES（COMx）」のみを選択します（xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます）。モデムを変更した場合は、「電話番号」の各項目が初期化されますので、もう一度接続先電話番号を入力してください。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

3 [ネットワーク] タブをクリックし、各項目の設定を確認する

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:Windows 95/98/NT4/2000,Internet」に設定します。
- コンポーネントは「インターネットプロトコル（TCP/IP）」だけを選択します。

4 [設定] をクリックする

5 すべての項目を非選択（□）にし、[OK] をクリックする

接続先のプロパティ画面に戻ります。

6 [OK] をクリックする

- ダイヤルアップ接続する→P24

Windows Meでダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 [スタート] →「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」をクリックする

「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されます。

- この画面は「ダイヤルアップネットワーク」を初めて選択したときに表示されます。2回目以降の場合は、操作3へ進みます。

2 [次へ] をクリックする

「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されます。

3 [新しい接続] アイコンをダブルクリックする

次ページへ続く

4 「接続名」に任意の接続名を入力し、[次へ] をクリックする

- 「モデムの選択」が「FOMA F881iES」に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、「FOMA F881iES」に設定します。

5 接続先の番号を半角で入力し、[次へ] をクリックする

■ パケット通信のとき

「＊99＊＊＊<cid>#」を入力します。
<cid>には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号を入力します。
mopera Uへ接続する場合は「＊99＊＊＊3#」を、moperaへ接続する場合は「＊99＊＊＊1#」を入力します。

■ 64Kデータ通信のとき

接続先の電話番号を入力します。
mopera Uへ接続する場合は「＊8701」を、moperaへ接続する場合は「＊9601」を入力します。
- 「市外局番」には何も入力しません。

6 接続先名を確認し、[完了] をクリックする

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」→「プロパティ」をクリックする

2 [全般] タブの各項目の設定を確認する

- 「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」を非選択（□）にします。
- 「接続方法」が「FOMA F881iES」に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、「FOMA F881iES」に設定します。

次ページへ続く

3 ［ネットワーク］タブをクリックし、各項目の設定を確認する

- 「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP: インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me」に設定します。
- 「詳細オプション」はすべて非選択（☐）にします。
- 「使用できるネットワークプロトコル」は「TCP/IP」だけを選択します。
- プロバイダから、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は［TCP/IP 設定］をクリックし必要な情報を設定してください。

FOMA
全般 | ネットワーク | セキュリティ | スクリプト処理 | マルチリンク | ダイヤル
ダイヤルアップ サーバーの種類(S):
PPP: インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me
詳細オプション：
☐ ソフトウェア圧縮をする(C)
☐ この接続のログ ファイルを記録する(R)
使用できるネットワーク プロトコル：
☐ NetBEUI(N)
☐ IPX/SPX 互換(I)
☑ TCP/IP(T)　TCP/IP 設定(P)...
OK　キャンセル

4 ［セキュリティ］タブをクリックし、「ユーザー名」と「パスワード」を入力する

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。

FOMA
全般 | ネットワーク | セキュリティ | スクリプト処理 | マルチリンク | ダイヤル
認証：
ユーザー名(U):
パスワード(P):
ドメイン名(M):
☐ 自動的に接続する(C)
詳細セキュリティ オプション：
☐ ネットワークへのログオン(L)
☐ 暗号化パスワードを使う(E)
☐ データの暗号化が必要(D)
OK　キャンセル

5 ［OK］をクリックする

- ダイヤルアップ接続する→P24

Windows 98でダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

操作方法はWindows Meの接続先設定と同様です。
→P21

TCP/IPプロトコルを設定する

1 P22「TCP/IPプロトコルを設定する」の操作1～2を行う

FOMA
全般 | サーバーの種類 | スクリプト処理 | マルチリンク
FOMA
電話番号の入力
市外局番(R):　電話番号(P):
*99***3#
国番号(U):
日本 (81)
☐ 市外局番とダイヤルのプロパティを使う(S)
接続の方法(N):
FOMA F881iES
設定(C)...
OK　キャンセル

2 ［サーバーの種類］タブをクリックし、各項目の設定を確認する

- 「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP: インターネット、Windows NT Server、Windows 98」に設定します。
- 「使用できるネットワークプロトコル」は「TCP/IP」だけを選択します。
- プロバイダから、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は［TCP/IP 設定］をクリックし必要な情報を設定してください。

FOMA
全般 | サーバーの種類 | スクリプト処理 | マルチリンク
ダイヤルアップ サーバーの種類(S):
PPP: インターネット、Windows NT Server、Windows 98
詳細オプション：
☐ ネットワークへのログオン(L)
☐ ソフトウェア圧縮をする(C)
☐ 暗号化パスワードを使う(E)
☐ データの暗号化を使用する(D)
☐ この接続のログ ファイルを記録する(R)
使用できるネットワーク プロトコル：
☐ NetBEUI(N)
☐ IPX/SPX 互換(I)
☑ TCP/IP(T)　TCP/IP 設定(P)...
OK　キャンセル

次ページへ続く

3 ［OK］をクリックする

- ダイヤルアップ接続する→P24

ダイヤルアップ接続する

通信の実行や切断について説明します。

〈例〉Windows XPでダイヤルアップ接続するとき

1 FOMA端末とパソコンを接続する

- 接続方法→P4

2 ［スタート］→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリックし、接続アイコンをダブルクリックする

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

■ Windows 2000、Me、98のとき

［スタート］→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択し、「ネットワークとダイヤルアップ接続」（Me、98の場合は「ダイヤルアップネットワーク」）をクリックして接続アイコンをダブルクリックする

3 各項目を確認し、［ダイヤル］をクリックする

- Windows Me、98の場合は、各項目を確認し、［接続］をクリックします。
- 「ダイヤル」または「電話番号」には、ダイヤルアップネットワークに設定した接続先の番号が表示されます。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。

切断するには

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

1 タスクトレイの をクリックする

接続の画面が表示されます。

- Windows Me、98の場合はダブルクリックします。

2 ［切断］をクリックする

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

ATコマンドについて

ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ず「AT」を付けて入力します。必ず半角英数字で入力してください。次に入力例を示します。

ATD＊99＊＊＊1#↵

リターンマーク：Enterキーを押します。コマンドの区切りになります。

パラメータ：コマンドの内容です。

コマンド：コマンド名です。

ATコマンドは、コマンドに続くパラメータを含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から↵を押した直前までの文字のことで、「AT」を含み最大160文字入力できます。

ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末のように動作させるモードです。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

- オフラインモード

  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作します。

次ページへ続く

- オンラインデータモード
  FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させる場合があります。通信中はATコマンドを入力しないでください。
- オンラインコマンドモード
  FOMA端末が通信中の状態でも、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

■ オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替えるとき

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- 「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。
  ※：USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO↵」と入力します。

- FOMA F881iES Modem Portで使用できるATコマンドです。
- ATコマンド入力時に、使用しているパソコンや通信ソフトのフォント設定により、「¥」を入力しても「＼」と表示される場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT%V	FOMA端末のバージョンを表示します。	FOMA端末のバージョンを"VerX.XX"などの形式で表示します。	AT%V ↵ Ver1.00 OK
AT&C＜n＞	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。※1	n=0：常にON n=1：回線接続状態に従い変化（お買い上げ時） n=0に設定する場合は、接続完了時の"CONNECT"を送出する直前にCD信号をONにします。回路が切断され、"NO CARRIER"を送出する直前にCD信号をOFFにします。	AT&C1 ↵ OK
AT&D＜n＞	オンラインデータモードのときに、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。※1	n=0：状態を無視（常にONとみなす） n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードに移行 n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモードに移行（お買い上げ時）	AT&D1 ↵ OK
AT&E＜n＞	接続時の速度表示仕様を選択します。※1	n=0：無線区間通信速度を表示 n=1：パソコンと FOMA 端末間の通信速度を表示（お買い上げ時）	AT&E1 ↵ OK
AT&F	FOMA端末のATコマンド設定値を工場出荷時の状態にリセットします。通信中に実行した場合は、回線を切断してからリセットします。	――――	AT&F ↵ OK
AT&S＜n＞	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御のしかたを設定します。※1	n=0：常時ON（お買い上げ時） n=1：回線接続時にON	AT&S0 ↵ OK
AT&W	現在の設定値をFOMA端末に記録します。	――――	AT&W ↵ OK
AT＊DANTE	FOMA端末の受信レベルを数字で表示します。	実行すると"＊DANTE:＜n＞"の形式で表示します。 n=0：圏外 n=1： n=2： n=3：	AT＊DANTE ↵ ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE=? ↵ ＊DANTE:(0-3) OK （表示可能な値の範囲を表示する）
AT＊DGANSM=＜n＞	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。※2	n=0：着信拒否設定OFF、着信許可設定OFF（お買い上げ時） n=1：着信拒否設定ON n=2：着信許可設定ON	AT＊DGANSM=0 ↵ OK AT＊DGANSM? ↵ ＊DGANSM:0 OK
AT＊DGAPL=<n>[, ＜cid＞]	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先（APN）を設定します。※2 APN設定は「+CGDCONT」コマンドで定義された＜cid＞パラメータを使用します。	＜n＞パラメータによって着信許可リストへの追加または削除を指定します。＜cid＞パラメータを省略した場合は、＜cid＞のすべてをリストに追加または削除します。追加または削除する＜cid＞が「+CGDCONT」コマンドで定義されていない場合でも、リストへ追加または削除します。 n=0：＜cid＞で定義されたAPNを着信許可リストに追加 n=1：＜cid＞で定義されたAPNを着信許可リストから削除	AT＊DGAPL=0,1 ↵ OK AT＊DGAPL? ↵ ＊DGAPL:1 OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT＊DGARL=<n>[, ＜cid＞]	パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先(APN)を設定します。※2 APN設定は「+CGDCONT」コマンドで定義された＜cid＞パラメータを使用します。	＜n＞パラメータによって着信拒否リストへの追加または削除を指定します。＜cid＞パラメータを省略した場合は、＜cid＞のすべてをリストに追加または削除します。追加または削除する＜cid＞が「+CGDCONT」コマンドで定義されていない場合でも、リストへ追加または削除します。 n=0：＜cid＞で定義されたAPNを着信拒否リストに追加 n=1：＜cid＞で定義されたAPNを着信拒否リストから削除	AT＊DGARL=0,1↵ OK AT＊DGARL？↵ ＊DGARL:1 OK
AT＊DGPIR=<n>	パケット通信確立時に、番号を通知するかどうかを設定します。※2 発信時、着信時に有効です。	n=0：APNにそのまま接続（お買い上げ時） n=1：APNに「184」を付けて接続 n=2：APNに「186」を付けて接続 本コマンドとダイヤルアップネットワークの両方で「186」（通知）/「184」（非通知）を設定した場合→P17	AT＊DGPIR=0↵ OK AT＊DGPIR?↵ ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW	FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を表示します。	実行すると"＊DRPW:＜n＞"の形式で表示します。	AT＊DRPW↵ ＊DRPW:0 OK AT＊DRPW=？↵ ＊DRPW:(0-75) OK (表示可能な値の範囲を表示する)
＋＋＋	FOMA端末のモードをオンラインデータモードからオンラインコマンドモードへ移行します。 エスケープガード区間は「1秒」の固定値です。	―――――	―――――
AT+CEER	直前の通信の切断理由を表示します。	「切断理由一覧」を参照→P32	AT+CEER↵ +CEER:36 OK
AT+CGDCONT	パケット発信時の接続先(APN)を設定します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照→P32	「ATコマンドの補足説明」を参照→P32
AT+CGEQMIN	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許可するかどうかの判定基準を登録します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照→P32	「ATコマンドの補足説明」を参照→P32
AT+CGEQREQ	パケット通信を確立時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を許可するかどうかの判定基準を登録します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照→P32	「ATコマンドの補足説明」を参照→P32
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	―――――	AT+CGMR↵ 1234567890123456 OK
AT+CGREG=<n>	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。※1 通知される内容は圏内/圏外です。	＜n＞ 0：通知なし（お買い上げ時） 1：通知あり n=1に設定すると、圏内から圏外、または圏外から圏内へ移動したときに"+CGREG：<stat>"の形式で通知されます。<stat>パラメータは「0,1,4」をサポートします。 ＜stat＞ 0：圏外 1：圏内（home） 4：不明 「AT+CGREG?」のとき"+CGREG:<n>, <stat>"を表示します。	AT+CGREG=1↵ OK AT+CGREG?↵ +CGREG:1,0 OK (通知あり、圏外を意味している)
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。	―――――	AT+CGSN↵ 123456789012345 OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CLIP=＜n＞	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示します。※1	＜n＞ 0：リザルトを表示しない（お買い上げ時） 1：リザルトを表示する 「AT+CLIP？」のとき、"AT+CLIP=＜n＞,＜m＞"を表示します。 ＜m＞ 0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 1：発信時に相手に番号を通知するNW設定 2：不明	AT+CLIP=0↵ OK
AT+CLIR=＜n＞	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。※2	＜n＞ 0：サービスご契約の設定に従う 1：通知しない 2：通知する（お買い上げ時） 「AT+CLIR？」のとき、"AT+CLIR=＜n＞,＜m＞"を表示します。 ＜m＞ 0：CLIRは未起動（常時通知） 1：CLIRは常時起動（常時非通知） 2：不明 3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） 4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）	AT+CLIR=2↵ OK
AT+CMEE=<n>	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。※1	エラーを"ERROR"のみで表示するか、理由を文字あるいは数値でレポートするかを設定します。 ＜n＞ 0：リザルトコードを使用せずに　"ERROR"を表示（お買い上げ時） 1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 2：リザルトコードを使用し、文字で理由を表示 n=1またはn=2でエラーレポート表示に設定した場合、エラーレポートは次のように表示されます。 "+CME ERROR：xxxx"（xxxxには、数字または文字が表示されます。「エラーレポート一覧」→P32）	AT+CMEE=0↵ OK AT+CNUM↵ ERROR AT+CMEE=1↵ OK AT+CNUM↵ +CME ERROR:10
AT+CNUM	FOMA端末の自局番号を表示します。	実行すると"+CNUM:<number>,＜type＞"の形式で表示されます。 ＜number＞電話番号 ＜type＞ 129：国際アクセスコード+を含まない 145：国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM↵ +CNUM："+8190 12345678",145 OK
AT+CR=<mode>	回線接続時に"CONNECT"のリザルトコードが表示される前に、パケット通信/64Kデータ通信を表示するかどうかを設定します。※1	<mode> 0：表示しない（お買い上げ時） 1：表示する パケット通信のときは、"GPRS"と表示され64Kデータ通信のときは"SYNC"と表示されます。	AT+CR=1↵ OK ATD＊99＊＊＊1#↵ +CR:GPRS CONNECT
AT+CRC=＜n＞	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。※1	n=0：使用しない（お買い上げ時） n=1：使用する	AT+CRC=0↵ OK
AT+CREG=<n>	ネットワークの圏内/圏外情報を表示するかを設定します。※1	<n> 0：通知なし（お買い上げ時） 1：通知あり 「AT+CREG=1」に設定すると、圏内から圏外、または圏外から圏内へ移動したときに"+CREG:<stat>"の形式で通知されます。<stat>パラメータは「0,1,4」をサポートします。 <stat> 0：圏外 1：圏内 4：不明 「AT+CREG?」のとき"+CREG：<n>, <stat>"を表示します。	AT+CREG=1↵ OK AT+CREG？↵ +CREG:1,0 OK （通知あり、圏外を意味している）
AT+GMI	FOMA端末のメーカの名前が半角英数字で表示されます。	―――――	AT+GMI↵ FUJITSU OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+GMM	FOMA端末の製品名の略称が半角英数字で表示されます。	―――――	AT+GMM↵ FOMA F881iES OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	FOMA端末のバージョンを"VerX.XX"などの形式で表示します。	AT+GMR↵ Ver1.00 OK
AT+IFC=＜n,m＞	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。※1	DCE by DTE（＜n＞） 0：フロー制御を行わない 1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時） DTE by DCE（＜m＞） 0：フロー制御を行わない 1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時）	AT+IFC=2,2↵ OK
AT+WS46=＜n＞	発信時に使用する無線ネットワークを設定します。発信に影響は与えません。	n=22：FOMAネットワーク（固定値）	AT+WS46=22↵ OK
ATA	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。	パケット着信中には、「ATA184」（発信者番号通知なし着信動作）および「ATA186」（発信者番号通知あり着信動作）を入力できます。	RING ATA↵ CONNECT
A/	直前に実行したコマンドを再実行します。	前の応答が"ERROR"の場合"ERROR"が返ります。	A/ OK
ATD	発信処理を行います。	パケット通信：「ATD＊99＊＊＊＜cid＞#」 「ATD＊99#」を入力した場合は「＜cid＞=1」を使います（＜cid＞を省略した場合は、「＜cid＞=1」になります）。 「ATD184＊99」で始まる書式を入力した場合は指定した＜cid＞に設定したAPNに対して"184"が付加されます（186でも同様の操作ができます）。 64Kデータ通信：「ATD［パラメータ］［電話番号］」 電話番号に「0〜9、＊、#、A、a、B、b、C、c、D、d、-（ハイフン）、空白、T、t、P、p、!、W、w、@、,（カンマ）」以外を設定した場合は、発信できません。　の文字は入力できますが、ダイヤル時には認識されません。 「ATDN」または「ATDL」でリダイヤル発信ができます。	ATD＊99＊＊＊1#↵ CONNECT
ATE＜n＞	パソコンから送信されたコマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかどうかを設定します。※1	n=0：エコーバックなし n=1：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定すると文字が二重に表示されなくなります。	ATE1↵ OK
ATH	パケット通信および64Kデータ通信時に入力すると、回線を切断します。	―――――	（通信中） +++ OK ATH↵ NO CARRIER
ATI＜n＞	確認コードを表示します。	n=0：NTT DoCoMo n=1：製品名の略称を表示する（FOMA F881iES） n=2：製品のバージョンを"VerX.XX"などの形式で表示する	ATI0↵ NTT DoCoMo OK
ATO	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。	―――――	ATO↵ CONNECT
ATQ＜n＞	リザルトコードを表示するかどうかを設定します。※1	n=0：表示する（お買い上げ時） n=1：表示しない	ATQ0↵ OK
ATV＜n＞	リザルトコードの表示方法を設定します。※1	すべてのリザルトコードを数字表記あるいは英文字表記で表示します。 n=0：数字表記で表示する n=1：英文字表記で表示する（お買い上げ時）	ATV1↵ OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATX＜n＞	接続の"CONNECT"表示に速度を表示するかどうかを設定します。また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。※1 ビジートーン検出： 接続先が通話中の場合は、"BUSY"応答を送出します。 ダイヤルトーン検出： FOMA端末に接続されているかどうかを判定します。	n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時） n=0に設定すると、「AT&E」コマンドおよび「AT￥V」コマンドが無効になります。	ATX1↵ OK
ATZ	FOMA端末のATコマンド設定値をリセットします。※3	FOMA端末のATコマンド設定値を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に実行した場合は、回線を切断してからリセットします。	（オンライン時） ATZ↵ NO CARRIER （オフライン時） ATZ↵ OK
ATS0=＜n＞	FOMA端末が自動着信するまでの呼出回数を設定します。※1	n=0　　：自動着信なし（お買い上げ時） n=1～255：指定したリング数で自動着信	ATS0=0↵ OK
ATS2=＜n＞	エスケープキャラクタの設定を行います。	n=0～127（お買い上げ時n=43） n=127に設定するとエスケープは無効になります。	ATS2=43↵ OK ATS2?↵ 043 OK
ATS3=＜n＞	復帰（CR）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド文字列の最後を認識するキャラクタを定義します。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。設定値は変更できません（お買い上げ時n=13）。	ATS3=13↵ OK ATS3?↵ 013 OK
ATS4=＜n＞	改行（LF）キャラクタの設定を行います。	英文でリザルトコードを表示する場合、[CR]キャラクタの後に付きます。設定値は変更できません（お買い上げ時n=10）。	ATS4=10↵ OK ATS4?↵ 010 OK
ATS5=＜n＞	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。設定値は変更できません（お買い上げ時n=8）。	ATS5=8↵ OK ATS5?↵ 008 OK
ATS6=＜n＞	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：2～10（お買い上げ時n=5）	ATS6=5↵ OK
ATS7=＜n＞	接続完了までの待ち時間（秒）を設定します。※1	n：1～255（お買い上げ時n=60） 64Kデータ通信およびパケット通信の発呼時に、FOMA端末がパソコンから「ATD」入力を受信してから設定した秒数が経過しても、FOMA端末がパソコンに"CONNECT"を送出できない場合は、"NO CARRIER"のリザルトを返し、切断処理へ移行します。値を「121～255」に設定した場合、"OK"のリザルトを返しますが、値は「120」に設定されます。	ATS7=60↵ OK
ATS8=＜n＞	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、ポーズ時間（3秒）に影響しません。 n=0：ポーズしない n　：1～255（お買い上げ時n=3）	ATS8=3↵ OK
ATS10=＜n＞	自動切断の遅延時間（秒）を設定します。(1/10秒)※1	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：1～255（お買い上げ時n=1）	ATS10=1↵ OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATS30=＜n＞	64Kデータ通信時、データの送受信がない場合に切断するまでの時間（分）を設定します。	n：0〜255（お買い上げ時n=0） n=0は不活動タイマオフ	ATS30=3↵ OK
ATS103=＜n＞	64Kデータ通信で、着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	n=0：＊アスタリスク n=1：/スラッシュ（お買い上げ時） n=2：¥マークあるいはバックスラッシュ	ATS103=0↵ OK
ATS104=＜n＞	64Kデータ通信で、発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	n=0：#シャープ n=1：%パーセント（お買い上げ時） n=2：&アンド	ATS104=0↵ OK
AT¥S	現在設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。	――	AT¥S↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000=000　S002=043 S003=013　S004=010 S005=008　S006=005 S007=060　S008=003 S010=001　S030=000 S103=001　S104=001 OK
AT¥V＜n＞	接続時の応答コード仕様を選択します。※1	n=0：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する	AT¥V0↵ OK

※1：「&W」コマンドでFOMA端末に記録されます。

※2：「&F」「Z」コマンドによるリセットは行われません。

※3：「&W」コマンドを使用する前に「Z」コマンドを実行すると、最後に記録した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありません。
19	相手側が呼出中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、もしくは着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（FOMAカードに相当するICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

ATコマンドの補足説明

■ コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- **概要**
  パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
- **書式**
  +CGDCONT＝[＜cid＞[,"PPP"[,"＜APN＞"]]]↵
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞　：1～10
  ＜APN＞：任意
  ※＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。＜APN＞は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。
- **実行例**
  「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド（＜cid＞＝2の場合）
  AT+CGDCONT=2, "PPP", "abc"↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGDCONT=
  すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT=＜cid＞
  指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT=？
  設定可能な値のリスト値を表示します。
  AT+CGDCONT？
  現在の設定値を表示します。

■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
- **書式**
  AT+CGEQMIN=［＜cid＞［, , ＜Maximum bitrate UL＞[,＜Maximum bitrate DL＞]]]↵

次ページへ続く

- **パラメータ説明**

＜cid＞：1～10

＜Maximum bitrate UL＞

：なし（お買い上げ時）または64

＜Maximum bitrate DL＞

：なし（お買い上げ時）または384

※＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。「Maximum bitrate UL」および「Maximum bitrate DL」では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。

- **実行例**

（1）上りと下りですべての速度を許容する場合のコマンド（＜cid＞＝2の場合）

AT+CGEQMIN=2↵

OK

（2）上り64kbps、下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞＝3の場合）

AT+CGEQMIN=3,,64,384↵

OK

（3）上り64 kbps、下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞＝4の場合）

AT+CGEQMIN=4,,64↵

OK

（4）上りすべての速度、下り384kbps速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞＝5の場合）

AT+CGEQMIN=5,,,384↵

OK

- **パラメータを省略した場合の動作**

AT+CGEQMIN=

すべての＜cid＞の設定をクリアします。

AT+CGEQMIN=＜cid＞

指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQMIN=?

設定可能な値のリストを表示します。

AT+CGEQMIN?

現在の設定を表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

- **概要**

パケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。

- **書式**

AT+CGEQREQ=［＜cid＞］↵

- **パラメータ説明**

上り64kbps、下り384kbpsの速度で接続を要求するコマンドのみ設定できます。各cidにはその内容がお買い上げ時に設定されています。

＜cid＞：1～10

※＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。

- **実行例**

（＜cid＞＝2の場合）

AT+CGEQREQ=2↵

OK

- **パラメータを省略した場合の動作**

AT+CGEQREQ=

すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQREQ=＜cid＞

指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQREQ=?

設定可能な値のリスト値を表示します。

AT+CGEQREQ?

現在の設定を表示します。

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けられません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です（通信ネットワークが混雑しています。しばらくたってから接続し直してください）。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末－パソコン間を速度1200bpsで接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA端末－パソコン間を速度2400bpsで接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA端末－パソコン間を速度4800bpsで接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA端末－パソコン間を速度7200bpsで接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA端末－パソコン間を速度9600bpsで接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA端末－パソコン間を速度14400bpsで接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA端末－パソコン間を速度19200bpsで接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA端末－パソコン間を速度38400bpsで接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA端末－パソコン間を速度57600bpsで接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA端末－パソコン間を速度115200bpsで接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA端末－パソコン間を速度230400bpsで接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA端末－パソコン間を速度460800bpsで接続しました。

お知らせ

- 「ATV」コマンドがn=1に設定されている場合には英文字表記（お買い上げ時）、n=0に設定されている場合には数字表記でリザルトコードが表示されます。→P29
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－パソコン間はUSBケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。

次ページへ続く

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	PPPoverUDで接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
5	PACKET	PACKETで接続

■ リザルトコード表示例

ATX 0が設定されているとき

「AT¥V」コマンドの設定に関わらず、接続完了の際に"CONNECT"のみの表示となります。

文字表示例：ATD＊99＊＊＊3＃
　　　　　　CONNECT

数字表示例：ATD＊99＊＊＊3＃
　　　　　　1

ATX 1が設定されているとき

- ATX1、AT¥V0が設定されている場合（お買い上げ時）
  接続完了のときに、"CONNECT＜FOMA端末－パソコン間の速度＞"の書式で表示します。
  文字表示例：ATD＊99＊＊＊3＃
  　　　　　　CONNECT 460800
  数字表示例：ATD＊99＊＊＊3＃
  　　　　　　1 21
- ATX1、AT¥V1が設定されている場合※1
  接続完了のときに、次の書式で表示します。
  "CONNECT＜FOMA端末－パソコン間の速度＞＜通信プロトコル＞＜接続先APN＞/＜上り方向(FOMA端末→無線基地局間)の最高速度＞/＜下り方向(FOMA端末←無線基地局間)の最高速度＞"※2
  文字表示例：ATD＊99＊＊＊3＃
  　　　　　　CONNECT 460800 PACKET mopera.net/64/384
  　　　　　　(mopera.netに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。)
  数字表示例：ATD＊99＊＊＊3＃
  　　　　　　1 21 5

※1：ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできないことがあります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

※2：AT¥V1が設定されている場合、＜接続先APN＞以降はPACKETで接続している場合のみ表示されます。